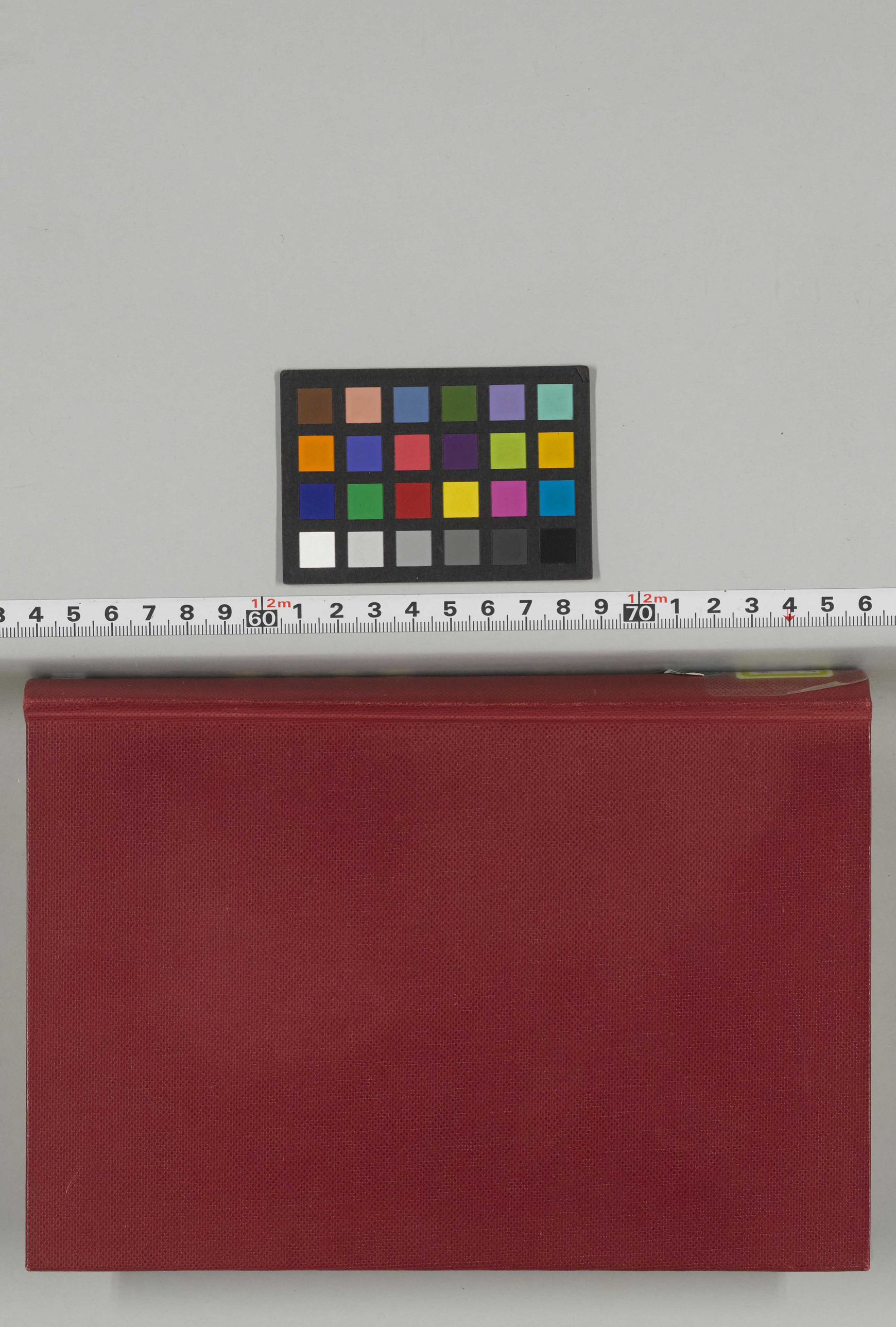


昭和十一年・航空年鑑・目次

口繪

世界各國最新代表航空機

飛行機の部——(**亞爾蘇丁**)Ae・T・1型輸送機(**白耳義**)チップ・チップシイ運動用機 **英吉利**)アームストロング・ホイットワースA・W・三三型爆撃及輸送機——アヴロ六五二型輸送機——アヴロ・アンソン海邊偵察機——ボールトン・ポールP・七一A型輸送機——ブリストル一一三型戰闘機——デ・ハヴイランド・ホーネット・モス輕旅客機——フエアリー・ファントム型戰闘機——グロスター・グラヂアター戰闘機——ハンドレー・ペーヂ四七型萬能機——ハウカーIP・V・四型萬能機——ヘストン・フエニックス客室型——マイルス・マーリン客室型——バーシヴル・ニュー・ガル客室型——スーパーマリン・ストランラー長距離　偵察機——ヴイツカースG4・三一型萬能機(**チエツコスロヴアキア**)アヴイア五一型輸送機(**佛蘭西**)マルセル・ブロツシ二〇〇型夜間爆撃機——ブレゲー四六〇型爆撃機——カムス一一〇型海洋偵察機——コードロンC・五八〇型競爭機——デヴオアチーヌD三七一型戰闘機——ファルマンF・四三一型旅客機——リオレ・エ・オリヴイエH・二四二・一型輸送機——モーブツサン・コルセイア・メージョア客室型——ミュエー式プー・デュ・セル——ポテ六二型旅客機——サルムソン・フリガン輕旅客機(**獨逸**)アラドAr・七六型練習機——B・F・W・Me・一〇八客室型——ユンカースJu五二・3m輸送機——クレムK・L三六A客室型(**伊太利**)ベーガメスキA・P・一型戰闘機——カントZ・五〇一型輕爆撃偵察機——カプロニ一三三型殖民地用機——フイアットC・R三二型戰闘機——マッキM・c・七七型爆撃偵察機——ロメオR・O四三型戰闘機——サヴオイア・マルケツチS・七四型旅客機(**波蘭**)R・W・D一三客室型(**羅馬尼**)イカル旅客機(**露西亞**　カリニンK・6型郵便機——スタルク型旅客機(**西班牙**)イスパノ・スイザE・三〇型練習機(**瑞典**)スヴエンスカ・ヴイキング客室型　**瑞西**)ドルニエ・DO・Y型爆撃機(**亞米利加**)アエロンカC・三輕客室型——アメリカン・チャ

イロ・クルセター客室型——ビーチクラフトC一七E型輸送機——ボーイング二九九型爆撃機——コンソリデーテッドP2Y・一型巡邏機——カーチス・ライト・クープ輕客室型——ダグラスDC・三型輸送機——フエヤチャイルドXA・九四二型輸送機——ホワードDG・A六客室型——キンナー・スポートウイング——ケレット・KD・一型オートヂャイロ——ロックヒードXP・九型戰闘機——マーチン一三九型爆撃機——セヴエルスキーBT・八型陸軍高性能練習機——シコルスキーS・四三型輸送機——ヴオート・コルセア・ジュニオルV・一〇〇型——ヴルチV・一一型爆撃機——ワコー・モデルD型(ユーゴースラヴイア)ロゴジヤスキーP・V・T型

飛行船の部——(獨逸)ツエツペリンL・Z一二九型

世界軍用飛行機記號

本邦航空一年史(昭和十年一月—十二月)……一

海外航空彙報(同右)……三一

本邦民間機の國際飛行(同右)……五九

本邦民間長距離飛行記錄……六三

國際航空聯合會(F・A・I・)公認記錄……六五

附・各國別公認記錄保持數

世界主要航空競技記錄(昭和十年一月—十二月)……八一

世界主要長距離速度飛行記錄(同右)……八八

世界模型飛行機競技記錄(同右)……九〇

太平洋定期航空輸送開拓概況……九四

世界軍用機性能比較表……九七

世界大型飛行艇……一〇七

世界輕飛行機一覽表……一一〇

世界超輕飛行機種……一一八

世界主要帆走飛行機……一二三

世界デイゼル航空發動機……一二五

可變ピツチ・プロペラー類別便覽……一二八

世界航空機標識一覽表……一三一

世界定期航空路……一三五
英吉利(英本國・濠洲・加奈陀・南阿聯邦・埃及・印度)―獨逸―佛蘭西―伊太利―白耳義―和蘭―瑞西―ユーゴースラヴィア―埃太利―匈牙利―チェツコスロヴアキア―波蘭―瑞典―芬蘭―丁抹―西班牙―希臘―ソヴイエート聯邦―暹羅―北米合衆國―墨西哥―コロンビア―秘露―ボリヴイア―智利―亜爾然丁―伯剌西爾―比律賓―中華民國―日本―滿洲國
世界航空輸送會社數……一三三
主要各國定期航空會社使用航空機……一三五
主要各國定期航空輸送各種統計……一三〇
輸送貨物及郵便物量―飛行距離―輸送旅客數―民間航空豫算總額及補助奨勵金額
各國主要商業用飛行機……一三四
主要各國民間飛行場數……一四六
世界主要航空機並製作會社……一五〇
滿洲航空株式會社……一六七
本邦民間飛行機種……一七三
本邦民間飛行場……一七七
本邦航空無線電信局……一七九
本邦航空標識……一八〇
地名標識―航空標識燈
本邦帆走飛行發達便覽……一八八
本邦定期航空路(昭和十年度)……一九二
日本航空輸送株式會社―日本航空輸送研究所―日本海航空株式會社―東京航空株式會社―朝日定期航空會
安藤飛行機研究所
本邦魚群探見飛行成績(昭和十年四月―七月)……一九七
本邦模型飛行機競技(昭和十年度)……一九八
本邦航空關係出版物(昭和十年度)……二〇一
獻納飛行機(昭和十一年四月)……二一六
愛國號―報國號

遞信省航空局總覽……四一八
沿革——事業——職員錄——養成操縱士

帝國飛行協會總覽……四二三
沿革——事業——諸獎勵並補助規程——寄附行爲——會則——地方本部規則——總裁・役員及職員——昭和十年度主要事業費

航空事業調査委員會……四四三

東京帝國大學航空研究所……四四五

國際航空路調査會……四四七

航空關係諸團體……四四九
國際航空聯合會（F・A・I・）——東京飛行記者會——關西飛行倶樂部——交星會——日本キヤタピラ倶樂部——東京飛行倶樂部——日本航空學會——東京アマチュア航空倶樂部——航空野武士會——航空十五會——鳳翼會——日本飛行倶樂部

學生海洋飛行團……四五四

民間航空機・發動機・部分品製作所錄……四五五

新聞社並通信社航空部一覽……四八五

民間飛行學校・同練習所其他……四八九

日本學生航空聯盟……四九五

日本帆走飛行聯盟……五〇二

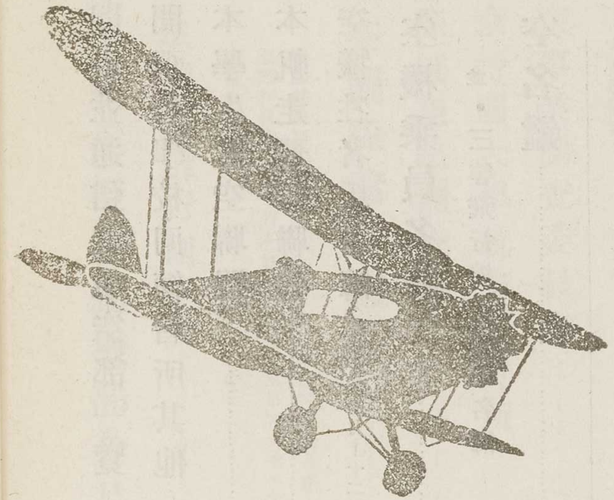
航空犧牲者氏名簿（昭和十年一月—十二月）……五一〇

航空機乘員名簿……五一七
並・三等飛行機操縱士名簿

航空名鑑……六〇五
本邦定期航空線路圖
世界航空線路圖
歐羅巴航空線路圖

昭和十一年・航空年鑑・目次終

日本航空輸送株式會社



航空發動機

航空機機體

電話 高輪 164. 165. 1544. 1677. 8068. 8069. 大森 801. 802

東京瓦斯電氣工業株式會社

航空機設計製作

日本飛行機株式會社

工場　神奈川縣久良岐郡金澤町富岡
電話　横濱長者町(3)八〇四・二八〇三

本店　東京市麹町區丸ノ内海上ビル新館五階
電話丸ノ内(23)四、七五九

軍用機並商業用航空機
スポーツ用小型機並附屬品　設計製作

（株式會社石川島飛行機製作所改稱）

立川飛行機株式會社

東京府立川町（電話・立川二二〇・二二二）
東京事務所　丸ノ内東京海上ビルデング（電話・丸ノ内一五二五・一五二六）

主要製品
飛行機
兵器

株式會社 渡邊鐵工所

本社及工場 福岡市外雜餉隈
東京出張所 東京市丸ノ内東七號館

軍用・商業用航空機
木製・金屬製プロペラー 設計製作

川西航空機株式會社

本社及工場 兵庫縣武庫郡鳴尾
（電話西宮 七八四・二〇九七番 二三六七・二五六七番）
東京事務所 東京市丸ノ内仲十三號館
（電話丸ノ内 四六七三番 四六八五番）

登錄商標

山本螺旋合名會社

明治十三年創業

製品目種

航空機々體金屬部品
精密螺子
落下傘金具一式
螺子及螺桿類
眞鍮木捻子
鐵木捻子
銅ネーバル、ブロンズ
アルミニューム、ブロンズ
マンガニース、ブロンズ
ニッケル、ブロンズ
燐青銅
棒・線材

海軍省指定工場
陸軍省指定工場
鐵道省指定工場
遞信省指定工場

本社及工場　東京市小石川區武島町二二
電話小石川二四〇〇・二四〇一・二四一三
分工場　東京市淀橋區下落合一丁目七五
電話大塚三八一一
伸銅工場　東京市淀橋區下落合一丁目四五
電話大塚三八一一

NOSAWA & CO.,
AVIATION DEPT.

MONOSPAR
PERCIVAL GULL
HUMBER
HILLMAN
TALBOT
KARRIER
COMMER
TELCO
GARGOYLE Mobiloil
AVIATION PRODUCTS SOCONY VACUUM

野澤組航空部

東京市京橋區銀座西五丁目二番地
共同建物ビル　電話銀座(57)3408
支　店　神戸 臺北 シドニー 紐育 倫敦
工　場　東京府立川町

東京・大阪
朝日新聞

大阪朝日新聞

東京朝日新聞

本紙夕刊共十六頁

編輯兼印刷發行人　荒木利一郎

大阪市北區堂島上二丁目三十六番地

發行所　株式會社大阪毎日新聞社

【本紙朝夕刊十四頁】

日本全國で一番よく讀まれる

讀賣新聞

政治面　婦人面
社會面　文藝、科學、宗教面
經濟面　東京各地域版
スポーツ面　地方各府縣版

地方經濟面
娯樂面
便利ニュース面
ラヂオ面
圍碁、將棋欄

朝刊十二頁
（地方十頁）
夕刊八頁

東京銀座
讀賣新聞社

報知新聞

航空機或は航空船がボツシユ　スパーク　プラグと　ボツシユ　マグネトーを裝備して居ればその航空は絶對に安全であります　又ボツシユ製品に裝された特殊無電遮蔽裝置は受信に際し雜音の入るを完全に防止致します

ボツシユ　スパーク　プラグ　ボツシユ　マグネトー其の他ボツシユ製品の絶對安全なる事の證據としては　大西洋横斷　レコード　探險飛行　或は郵便　旅客航空輸送に使用され居る事　就中　グラーフ　ツエペリン號の驚異的大西洋横斷は未だ皆様の御記憶に新な所と存じます

ボツシユ　スパーク　プラグ
優秀なるマイカ絶縁體を有するボツシユ　スパーク　プラグは　ラヂオ　シールドを裝備すると否とに不拘航空機用として絶對信頼し得る世界最優秀のスパーク　プラグであります

ボツシユ　マグネトー
ボツシユ　マグネトーには　一回轉　二、四、八及　十二スパーク式及　シングル並に　トワイン　イグニション式　更にあらゆる多氣筒機關用のものが御座います　ラヂオシールドを裝備すると否とに不拘　機械的　電氣的に最も信頼し得るのみならず　その小形にして輕量なる事は　ボツシユ　マグネトーをして益々斯界の寵兒たらしめて居ります

ボツシユ　ダイナモ
プロペラ　ドライブ式及　エンジン　ドライブ式共電壓調整式にして航空スピードの如何に不拘　一定不變の電壓にて電流を供給致します

獨逸ロバートボツシュ株式會社

日本總代理店　**イリス商會**

ボツシュ・サービス・ステーション
東京　神戸　名古屋　福岡　靜岡
京城　臺北　大連　奉天

發光塗料

蓄光塗料

顯光液

飛行機計器用
夜間標識用
時計　羅針盤用
自動車計器用
無線器材用
暗光照明用

陸海軍省指定工場

日本夜光塗料製造所

東京市品川區北品川四丁目七一五番地　電話高輪(44)六四三・三九六六番

◎詳細說明書御請求次第送呈◎

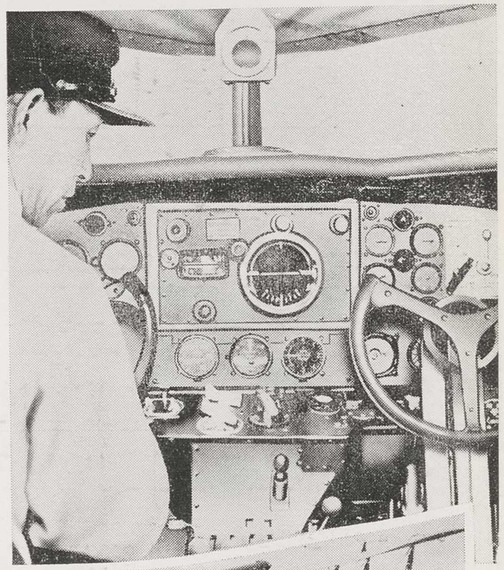
お買物は

松屋

東京銀座・浅草・横濱

Matsuya

飛行機用自動操縦裝置



▲

本裝置は空氣作動の轉輪を利用し自動的に精確なる操舵をなし密雲暗夜の場合にも安全に所期の航空をなし得るものにて現今各國の飛行機に廣く用ひられ絶對の信用を得るに至りました。

特　　徴

1. 電氣式のものに比し重量容積共に著しく小なること
2. 適當なる追從裝置を備ふるにより操舵作動は圓滑確實なること
3. 飛行機の操舵にも亦本裝置分解檢査にも頗る便利なる機構を有すること

▼

製　品　種　目

轉輪羅針儀	磁氣羅針儀	測深儀	航海計器類
探照燈類	動力計類	計壓器類	特殊時計類
回轉計類	電氣計類	試驗器類	聽音機類
船用通信器類	防火裝置	船用自動操舵裝置	
航空計器類	飛行機自動操縱裝置	飛行機用起動機	

其他一般精密機械器具類

株式會社 **東京計器製作所**

本社・工場　東京市蒲田區新宿町八六〇番地
竝研究所　電話大森自三七七八・至三七八二
　　電話蒲田　二六七一・三一四二
大阪出張所　大阪市西區土佐堀通一丁目大同ビル内
　　電話土佐堀　四五一一番

飛行機操縦士
航空機關士の養成

入學資格　學力　中等學校四年修業以上
　　體格　徵兵檢査合格程度以上
（詳細ハ本校ニ問合ハサルベシ）

公認

名古屋飛行學校

校長　陸軍航空兵中佐　御原福平

所在地　名古屋市外守山町小幡陸軍演習場

電話　名古屋東四六一番
　　尾張守山三九番

主要製作品

各種回轉計・自記回轉計・空氣式回轉計・旋回計・速度計・油量計・壓力計・可撓回轉索・高度計・精器用工具(工具箱入)・回轉計檢査機・油量計檢査機・旋回計檢査機・各種精密器具機械

田中製作所

東京市大森區大森三の三六二

(玉川電車大橋停留場側)

電話青山(36)2281

輕飛行機とグライダー設計製作

合資會社 伊藤飛行機製作所

千葉縣・津田沼
（電話新津田沼 一九番）

飛行機とグライダーの操縦士養成

呈會則

日本輕飛行機倶樂部

千葉縣・津田沼

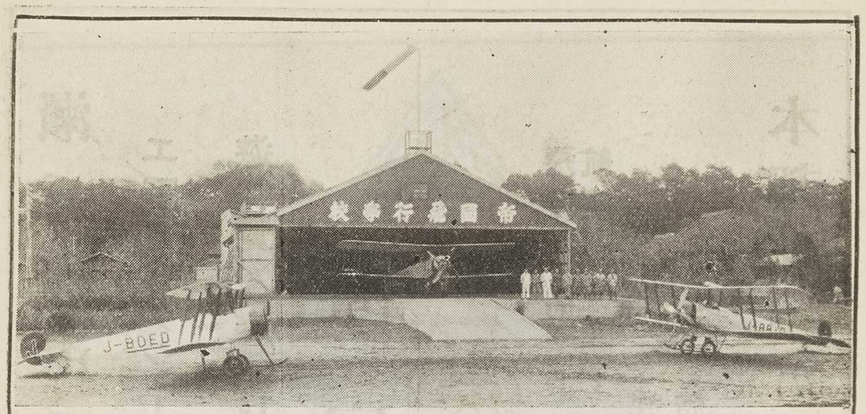
航空機用
自動車用
其他 磁石發電機及電氣部品設計製作

國 國産電機株式會社

本社及工場 東京市豐島區高田南町三丁目七一七
電話牛込(34) 一、七三五番
一、七三六番
五、九三〇番

東京市豐島區高田南町三丁目八一六
電話牛込(34) 六、四七一番

絶緣物工場 滿洲國奉天市西區南壹路二五
奉天工場 電話 七、七三二番
七、七四二番



當校格納庫

帝國飛行學校

學生募集

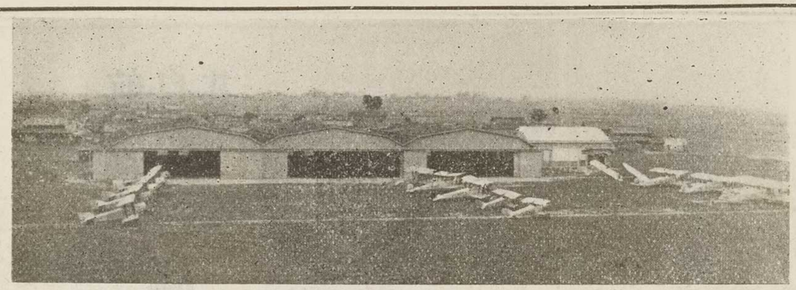
飛行家志願者ハ飛行士自身經營
指導スル事ニヨリ斯界ニ絶對信
用アル當校ニ來リテ學べ。練習
費ノ破格的値下！卒業ハ早イ。
設備内容充實

二錢切手封入申込
次第學則進呈ス

飛行場及事務所
千葉縣津田沼町
鷺沼海岸

今回當校ハ吾民間航空ノ模範的
教育ヲ實施センガ爲宏壯ナル新
校舎ヲ完成シ優秀ナル教官ヲ配
シタル結果卒業期モ徹底的ニ短
縮セリ。特ニ苦學生ノ爲ニ休日
利用ノ便法モ在リ。

本校々舎全景



全國唯一の飛行士無料養成

國粹義勇飛行隊

何等の義務條件なく誰人にても

入隊資格　中學三年程度以上、身體强壯

修業年限　凡一ケ年

詳細は郵券封入照會せられたし

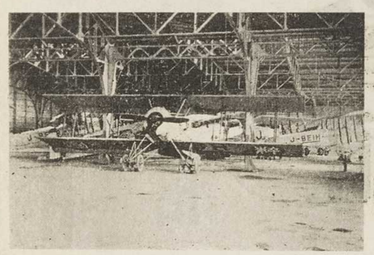
事務所　大阪市東區北濱一丁目二八
電話北濱四九六〇番

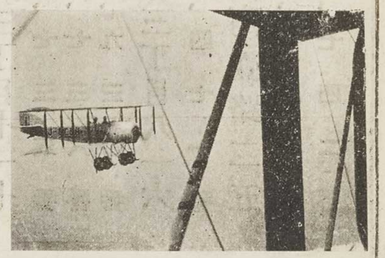
隊長　笹川良一

飛行場　拾萬坪
大阪府中河内郡盾津村

設備

格納庫(三棟)	七〇二坪	寄宿舍	四八坪
講堂	六〇坪	食堂	二二坪
事務所	二七坪	浴場	一八坪
倉庫	二四坪	旅館(客間八室)	五〇坪
教官舍宅(十一棟)	一一五坪	水道機械室	一棟





右—練習飛行
左—格納庫内部

瀬戸内海空の旅

エアータクシー（鞆・松山・別府・宇部間 起點宮島飛行場隨時航空）

遊覽飛行（宮島・廣島・岩國上空 毎日飛行）

宮島航空研究所

公認 **鼓ケ濱航空學校**

飛行機操縦士
航空機機關士 の養成

入學資格 學力 中等學校三年修業以上
體格 徵兵檢査合格程度以上

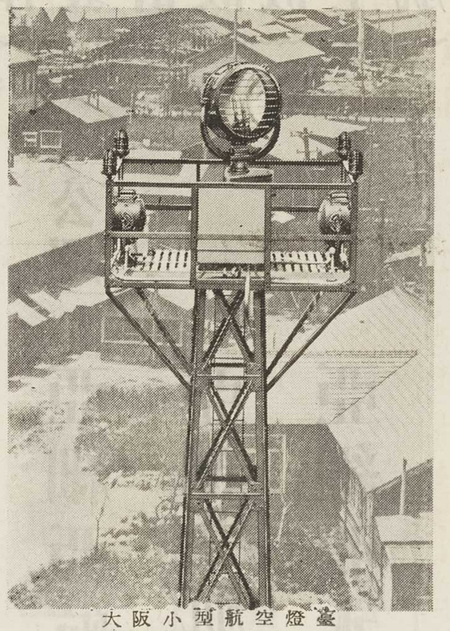
（詳細學則送附郵券要）

本邦唯一の水上飛行練習場

廣島縣佐伯郡大野村宮島驛前

電話宮島驛前十六番

航空燈臺・著陸場燈其他



大阪小型航空燈臺

各種航空照明器具製作

陸軍省 海軍省 鐵道省 遞信省
指定工場

株式會社

小糸製作所

東京市品川區東品川四丁目廿六番地
電話高輪（44）209番 210番 218番 6778番
出張所
大阪市北區堂島中二丁目卅九番地
電話北166番

成養 士 縱 操
作製計設機空航 士 關 機

陸軍大臣認定

公認 亞細亞航空學校
東京市深川區洲崎飛行場

公認 亞細亞航空機關學校
東京市板橋區關町

亞細亞航空機材研究所
東京市杉並區宿町

亞細亞水上航空學校
千葉縣印幡沼畔
（設立準備中）

本部 東京市杉並區宿町二三二番地
電話 萩窪 二〇二七 二一一五番

飛行機操縱士
航空機關士 養成

日本飛行學校

事務所 工場 東京市蒲田區新宿町十番地
電話 蒲田局 二〇六七・二〇七五・二一〇四

飛行場 東京市蒲田區羽田東京國際飛行場
電話 羽田局 二〇四

ハガキにて申越次第學則案内書贈呈す

AIR TAXI

遊覽飛行
飛行機製造修理
空中寫眞
宣傳飛行
魚群探見飛行
エア・タキシー
定期航空輸送

東京…下田…清水

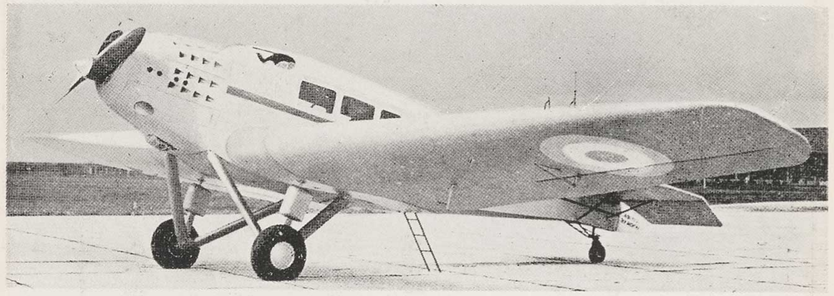
東京航空株式會社

ハガキにて申越次第營業案内・料金表贈呈す

世界各國最新代表航空機

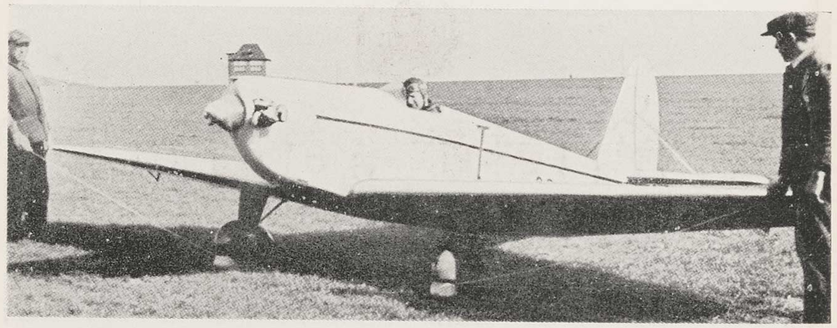
飛行機の部

亞爾然丁

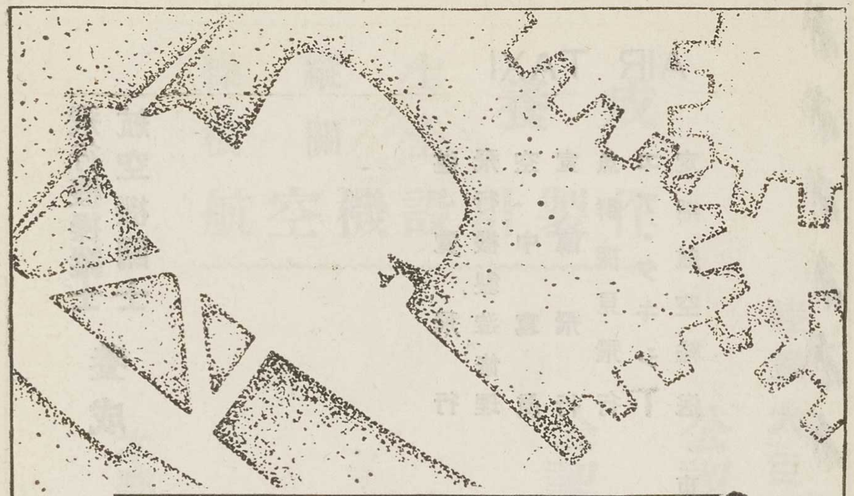


Ae・T・1型輸送機（アルゼンテン・ロレーン450馬力）

白耳義



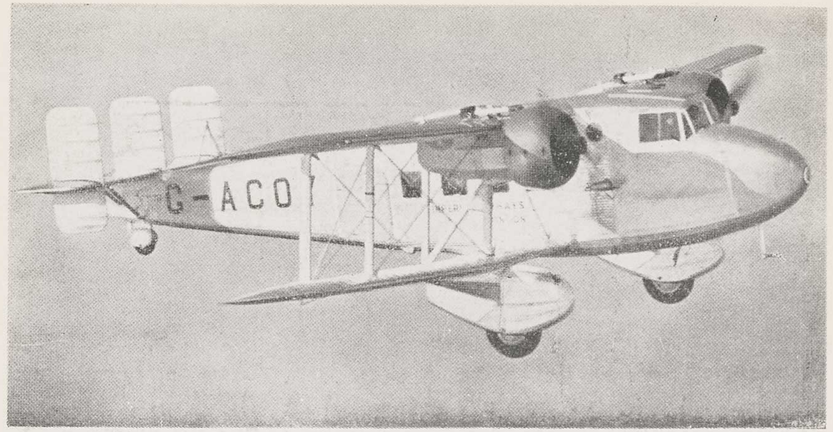
チップ・チップシイ運動用機（ダグラス18馬力）



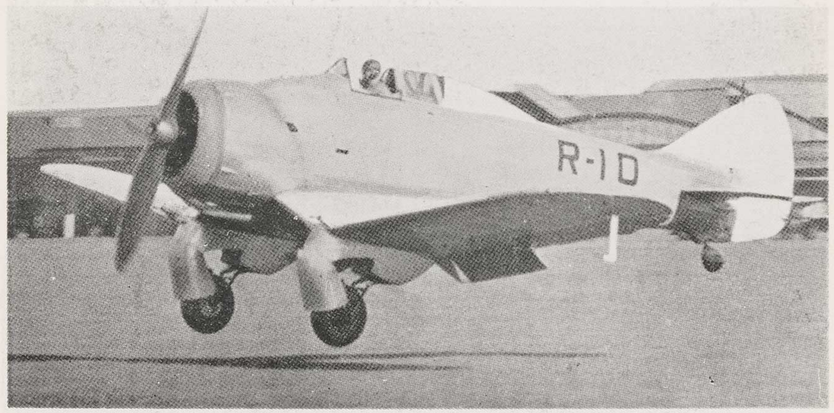
A 航空機部
飛行機　飛行艇
發動機　冷却器
プロペラ
同部分品並附屬品

B 兵器其他
砲　熕　水雷兵器
通信器類　安全硝子
發煙劑　特種接合劑（バルカメン）
液狀膠（液體膠）
アセチレン清淨劑（クラール）

愛知時計電機株式會社
名古屋市南区千年字船方十五番地



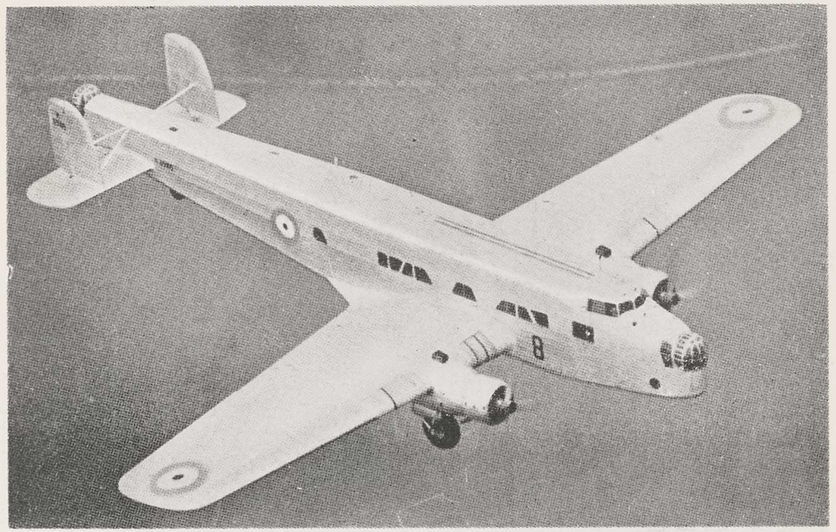
ボールトン・ポール P・71A型輸送機(アームストロング・シドレー・ジャガー)



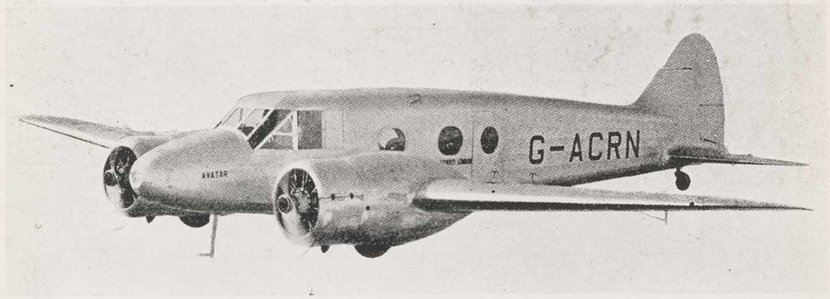
ブリストル 113型戦闘機(ブリストル・マーキュリー)

デ・ハヴィランド・ホーネット・モス輕旅客機(D・Hジプシー・メージョア130馬力)

英　吉　利

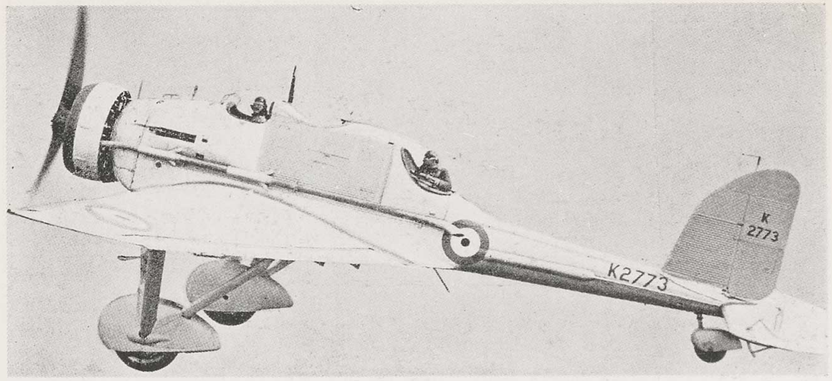


アームストロング・ホイットワース A・W・33型爆撃及輸送機
(アームストロング・シドレー 810 馬力二基)

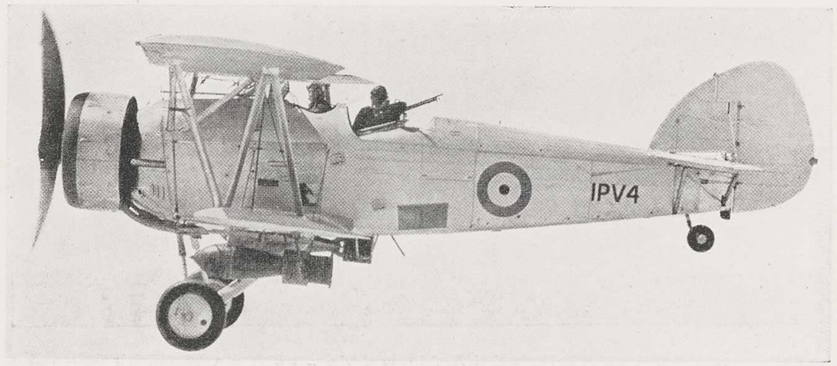


アヴロ 652 型輸送機(アームストロング・シドレー・チータ 270 馬力二基)

アヴロ・アンソン海邊偵察機(アームストロング・シドレー・チータ270馬力二基)



ハンドレー・ペーヂ47型萬能機（ブリストル・ペガサス690馬力）

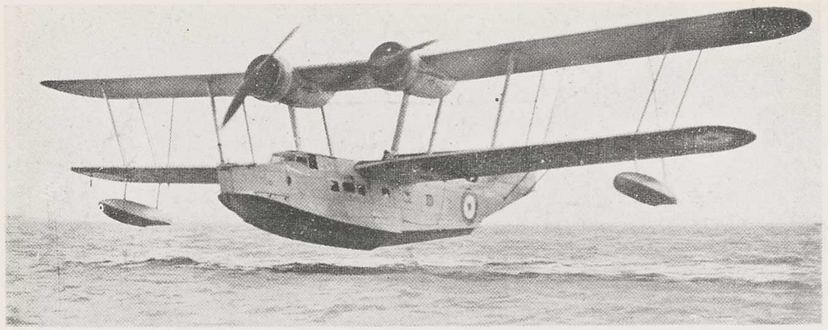


ハウカー P・V・4型萬能機（ブリストル・ペガサス690馬力）

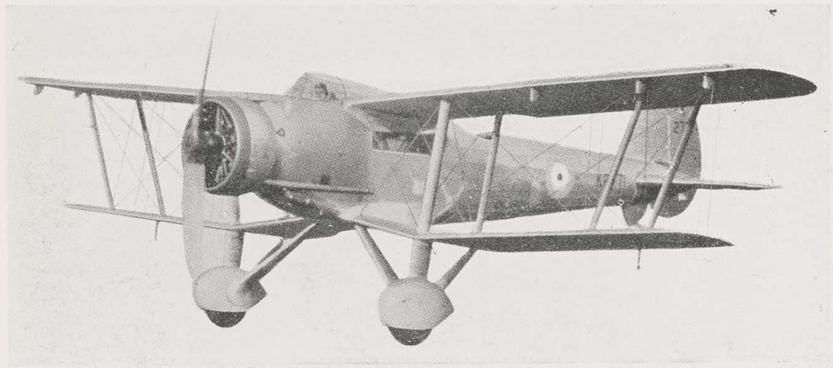
ヘストン・フエニックス客室型 D・Hジプシー・シックス200馬力）

フエアリー・ファントム型戰闘機（イスパノ・スイザ）

グロスター・グラヂアター戰闘機（ブリストル・マーキュリー）

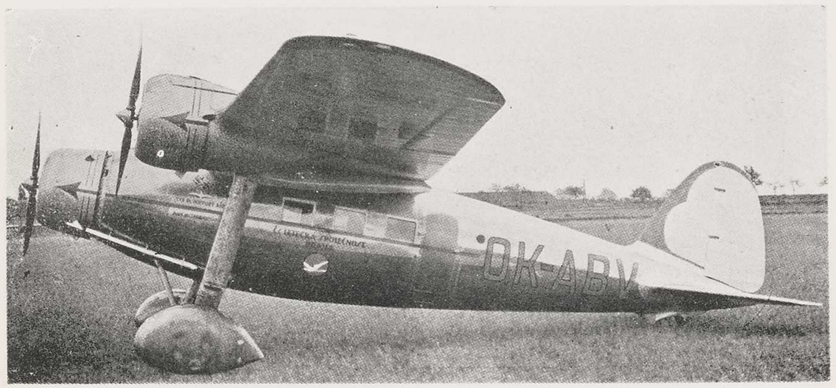


スーパーマリン・ストランラー長距離偵察用機(ブリストル・ペガサス二基)

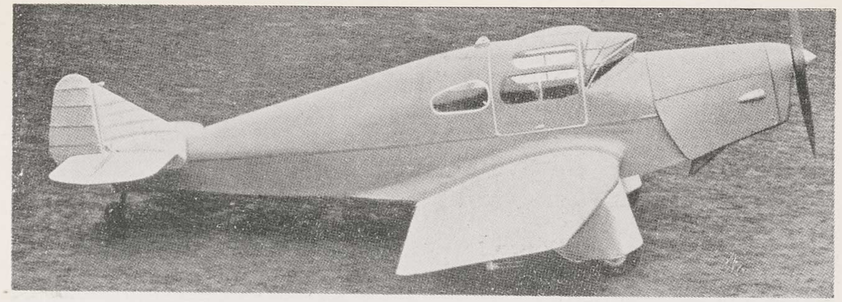


ヴィッカースG4・31型萬能機（ブリストル・ペガサス 690 馬力）

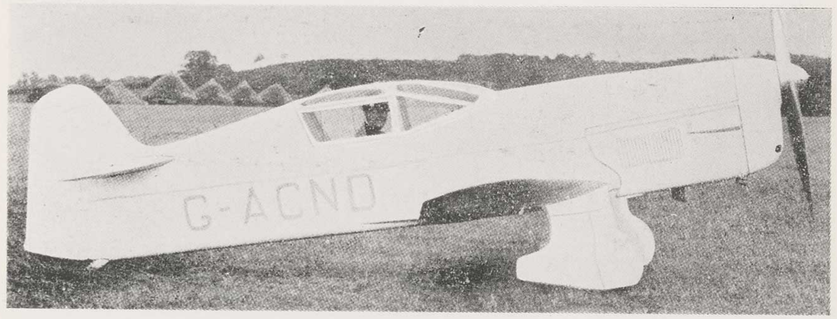
チエツコスロヴアキア



アヴィア51型輸送機（アヴィア200馬力三基）

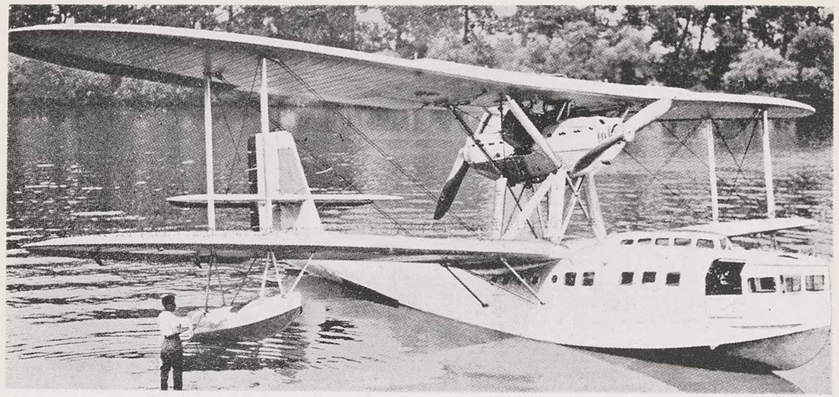


マイルス・マーリン客室型(D・Hジプシー・シックス200馬力)

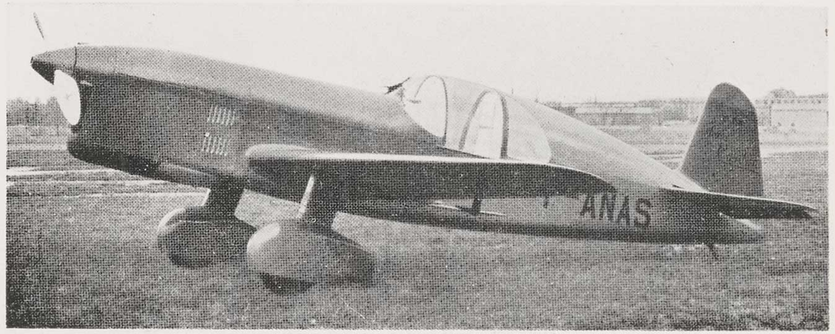


バーシヴル・ニユー・ガル客室型（D・Hジプシー・シックス 200 馬力）

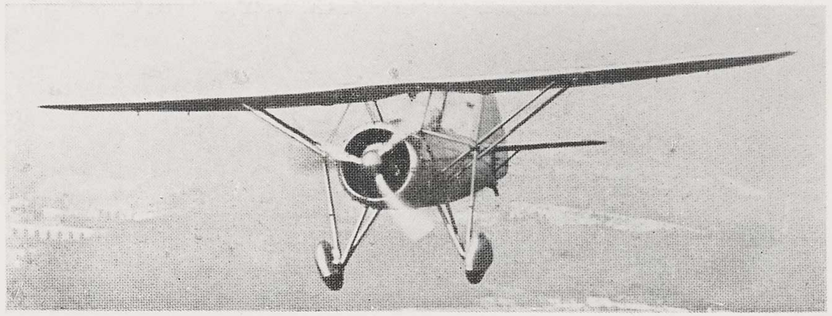
シヨート・シオン・セニオル客室型(ポブジヨイ・ナイアガラ 90 馬力四基)



カムス110型海洋偵察機（イスパノ・スイザ二基）

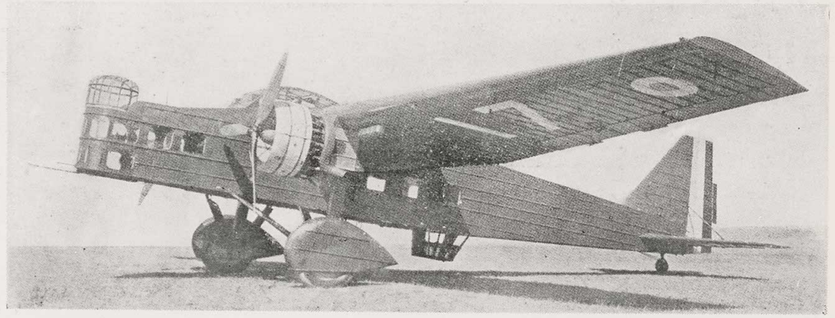


コードロンC・580型競争機（ルノー・ベンガリ140馬力）

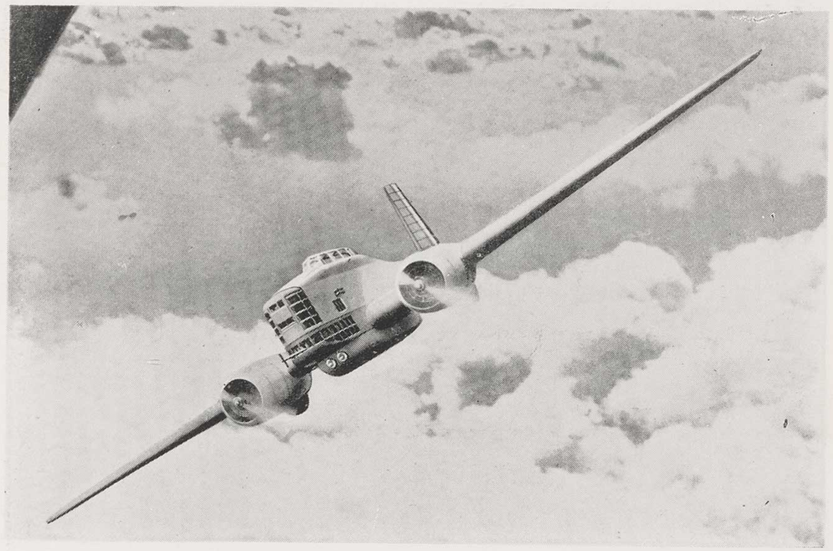


デヴオアチーヌD371型戦闘機（ノーム・ローン880馬力）

佛　蘭　西



マルセル・プロツシ200型夜間爆撃機（ノーム・ローン450馬力二基）



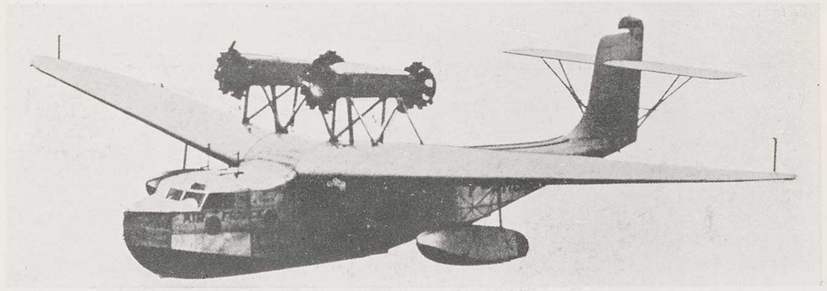
ブレゲー460型爆撃機（ノーム・ローン二基）

ミニエー式プー・デュ・セル（ダン又はアバ20馬力）

ポ　テ 62 型　旅　客　機（ノーム・ローン二基）

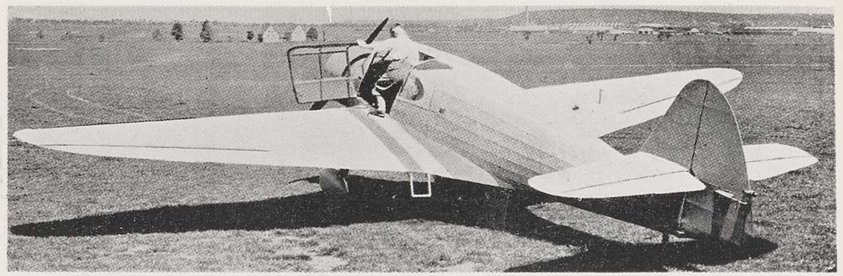
サルムソン・フリガン輕旅客機（サルムソン135馬力）

ファルマンF・431型旅客機（ルノー・ベンガリ・シックス190馬力二基）



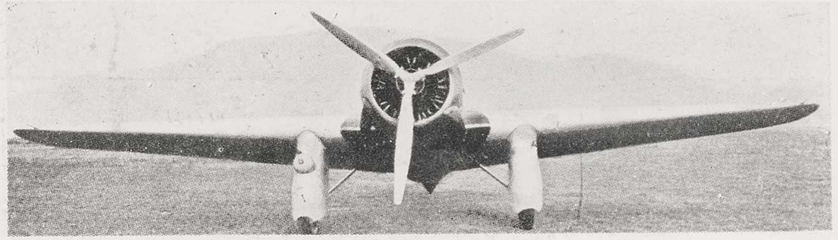
リオレ・エ・オリヴイエH・242・1型輸送機（ノーム・ローン350馬力四基）

モーブツサン・コルセイア・メージヨア客室型（ポブジヨイ90馬力）

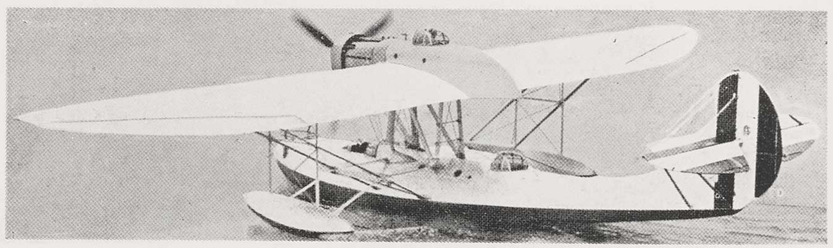


クレムK・L36A客室型（ヒルッ225馬力）

伊　太　利



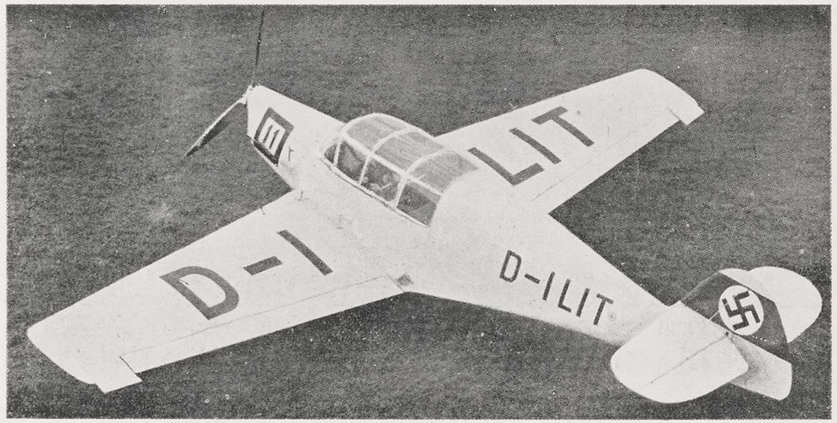
バーガメスキA・P・1型戰闘機（ピアジオ・ステラ600馬力）



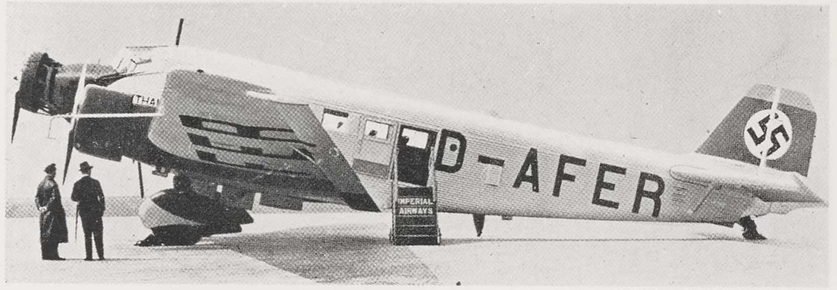
カントZ・501型輕爆撃偵察機（イソタ・フラスキニ・アソ350馬力）

獨　逸

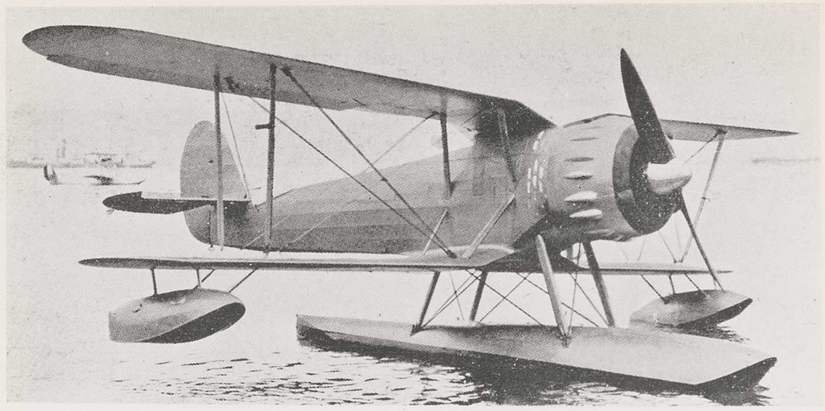
アラドAr・76型練習機（アルグス240馬力）



B・F・W—Me・108　客室型（ヒルッ225馬力）



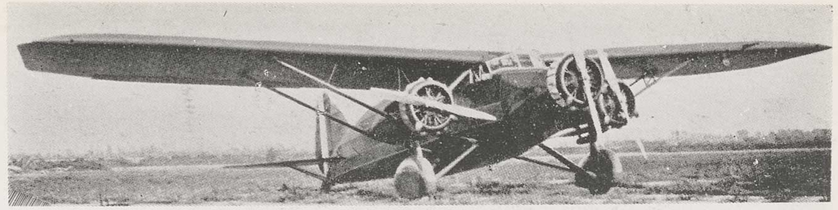
ユンカース Ju52—3m輸送機（B・M・Wホーネット三基）



ロメオRO・43型戰闘機（ピアジオ・ステラ700馬力）

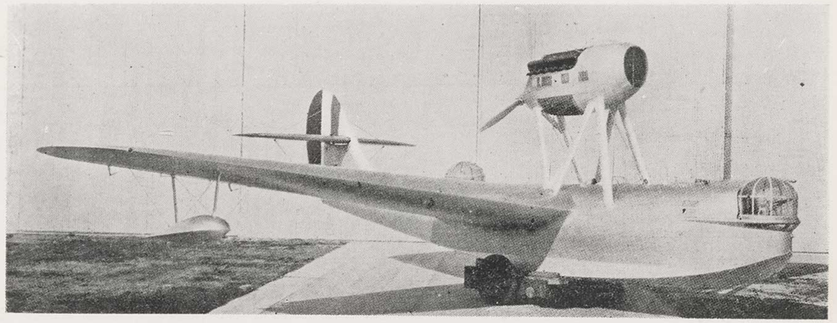
サヴオイア・マルケッチS・74型旅客機（ピアジオ・ステラ700馬力四基）

波　　蘭

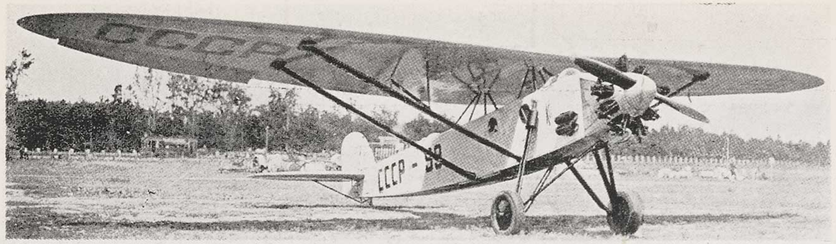


カプロニ133型殖民地用機（ピアジオ・ステラ430馬力三基）

フイアットC・R・32型戰闘機（フイアット550馬力）



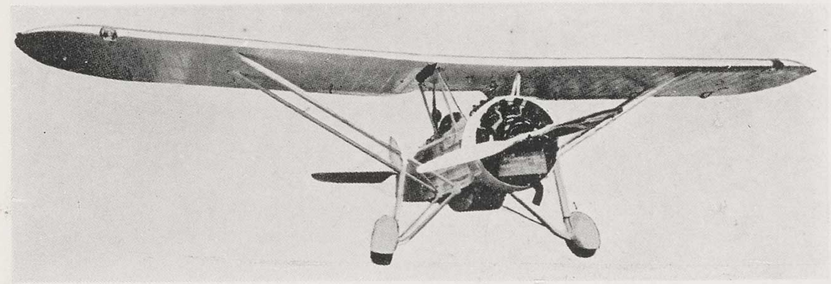
マッキM・C・77型爆撃偵察機（イソタ・フラスキニ・アソ750馬力）



カリニンK・6型郵便機（ノームローン420馬力）

スタル2型旅客機（M・26型300馬力）

西　班　牙



イスパノ・スイザE・30型練習機（イスパノ・スイザ250馬力）

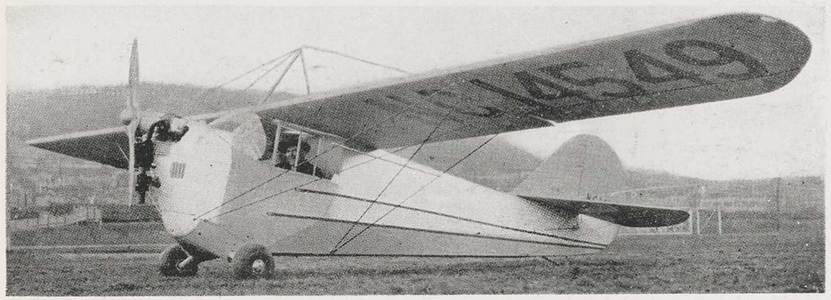
R・W・D13客室型（ワルター・メージョア13）馬力）

羅　馬　尼

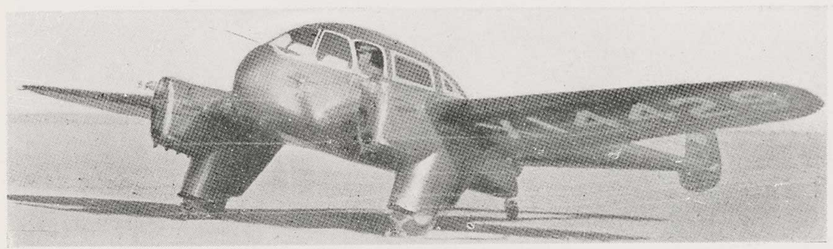
イカル旅客機（アームストロング・シドレー・サーヴル360馬力）

露　西　亞

亞 米 利 加



アエロンカ C・3 輕客室型（アエロンカ 40 馬力）



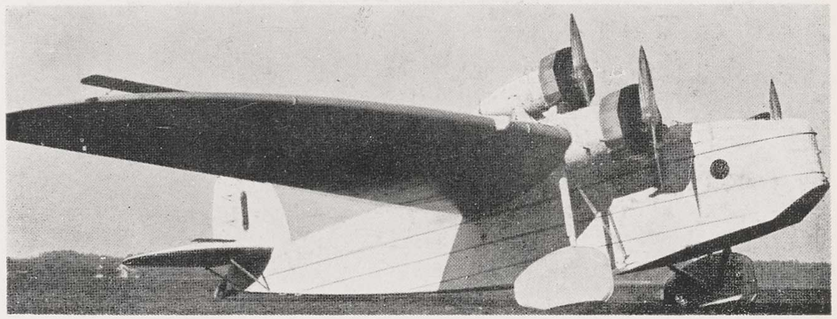
アメリカン・デヤイロ・クルセダー客室型（メナスコ 125 馬力）

ビーチクラフト C 17 E 型輸送機（ライト 285 馬力）

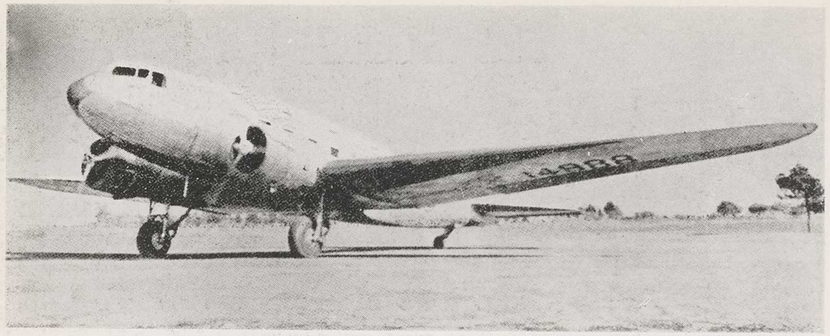
瑞　　典

スヴエンスカ・ヴイキング客室型（D・Hジプシー・シックス 200 馬力）

瑞　　西



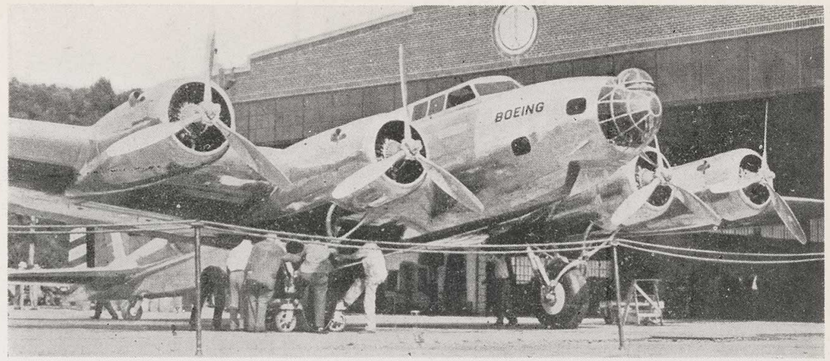
ドルニエーDO・Y型爆撃機（ブリストル・ジユピター三基）



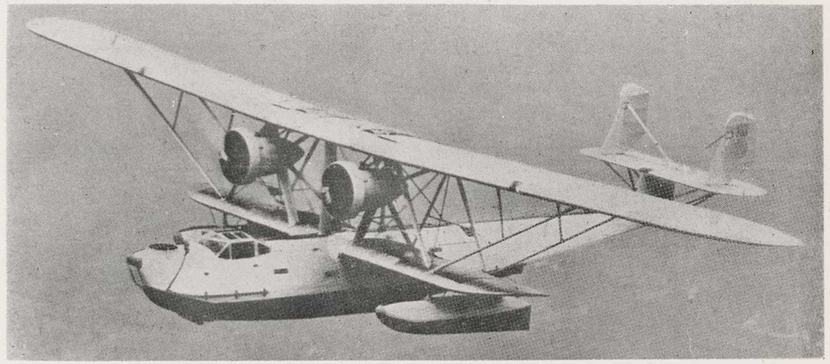
ダグラス Dc・3 型輸送機（ライト・サイクロン900馬力二基）

フェアチャイルドXA・942型輸送機
（プラット・エンド・ホイットニー・ホーネット650馬力）

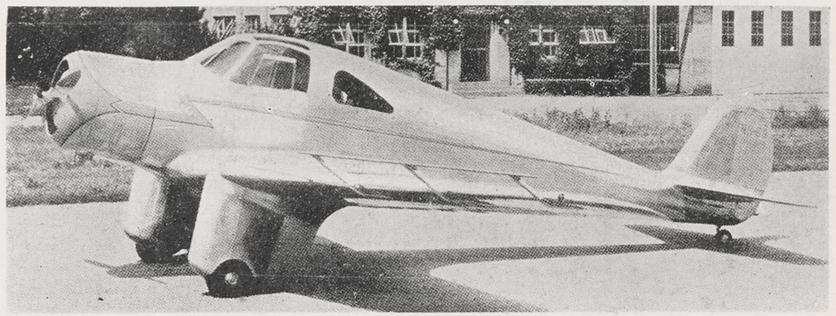
ホワードDG・A6客室型（プラット・エンド・ホイットニー・ワスプ550馬力）



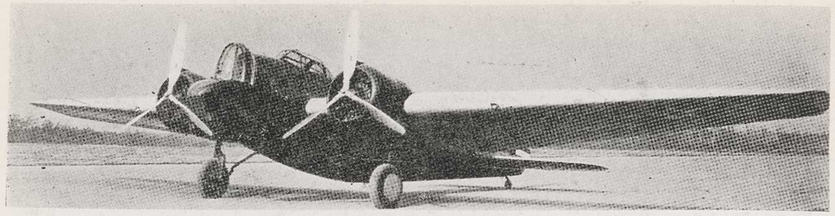
ボーイング299型爆撃機（プラット・エンド・ホイットニー・ホーネット700馬力四基）



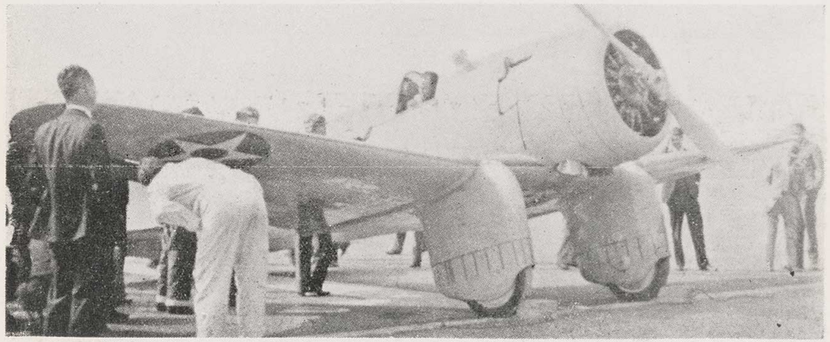
コンソリデーテッドP2Y・1型巡邏機
（プラット・エンド・ホイットニー・ホーネット575馬力二基）



カーチス・ライト・クープ輕客室型（ラムバート90馬力）

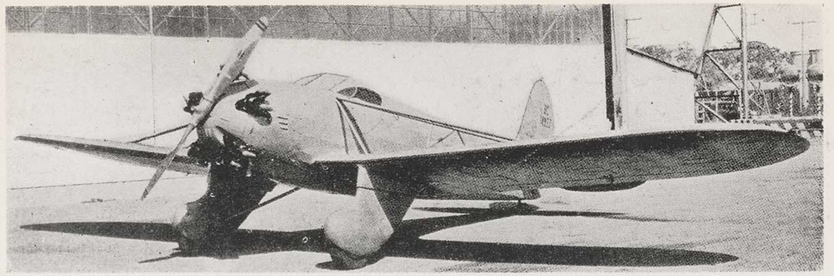


マーチン139型爆撃機(ライト・サイクロン750馬力二基)

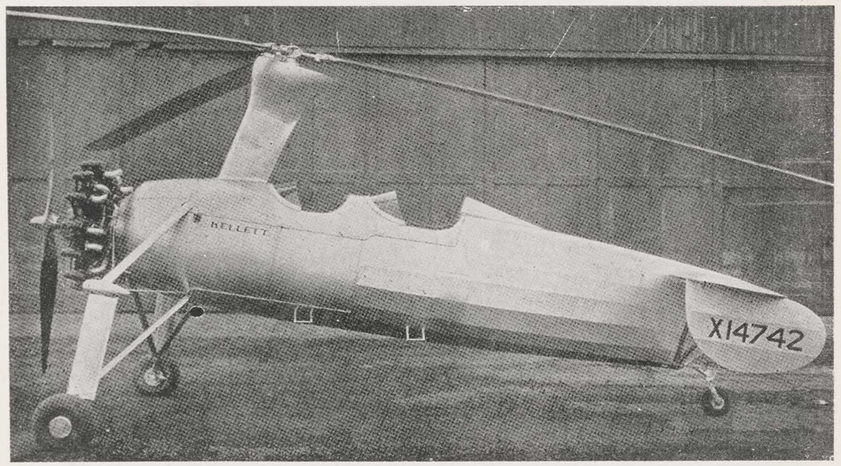


ノースロップXFT・1型戦闘機
(プラット・エンド・ホイットニー・ツウイン・ワスプ・ジユニオル250馬力)

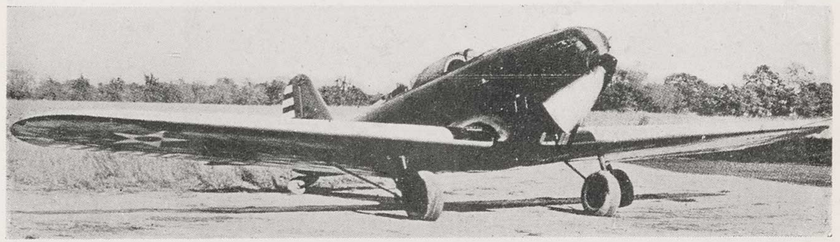
セヴエルスキーBT・S型陸軍高性能練習機



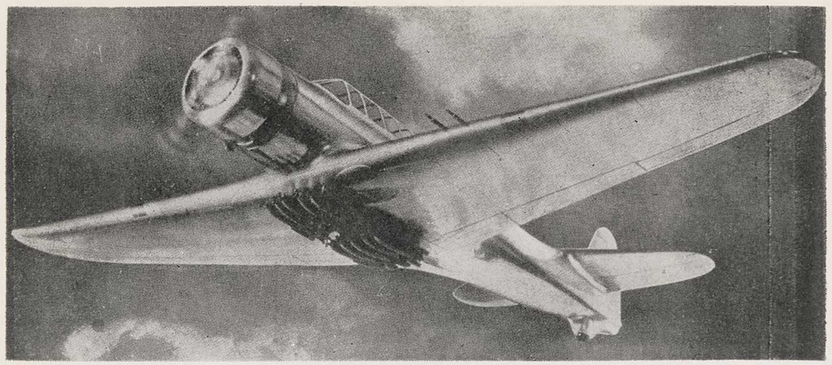
ナンキー・スポートウイング (キンナー125馬力)



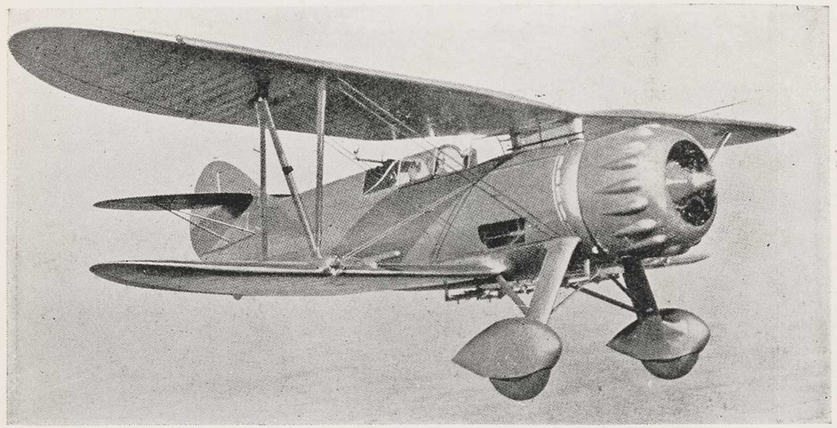
ケレット・KD・1型 (ジヤコブス225馬力)



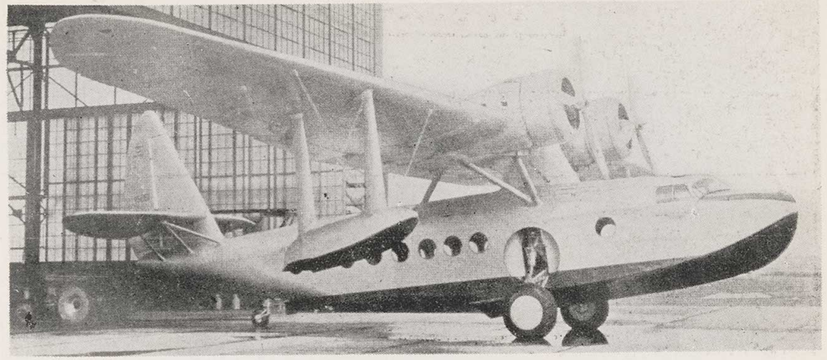
ロックヒードXP・9型戦闘機(カーチス・コンケラー730馬力)



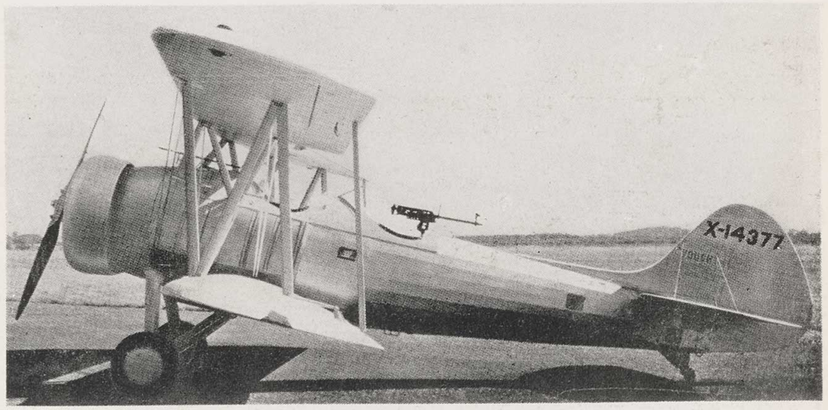
ヴルチーV・11型爆撃機 （ライト・サイクロン775馬力）



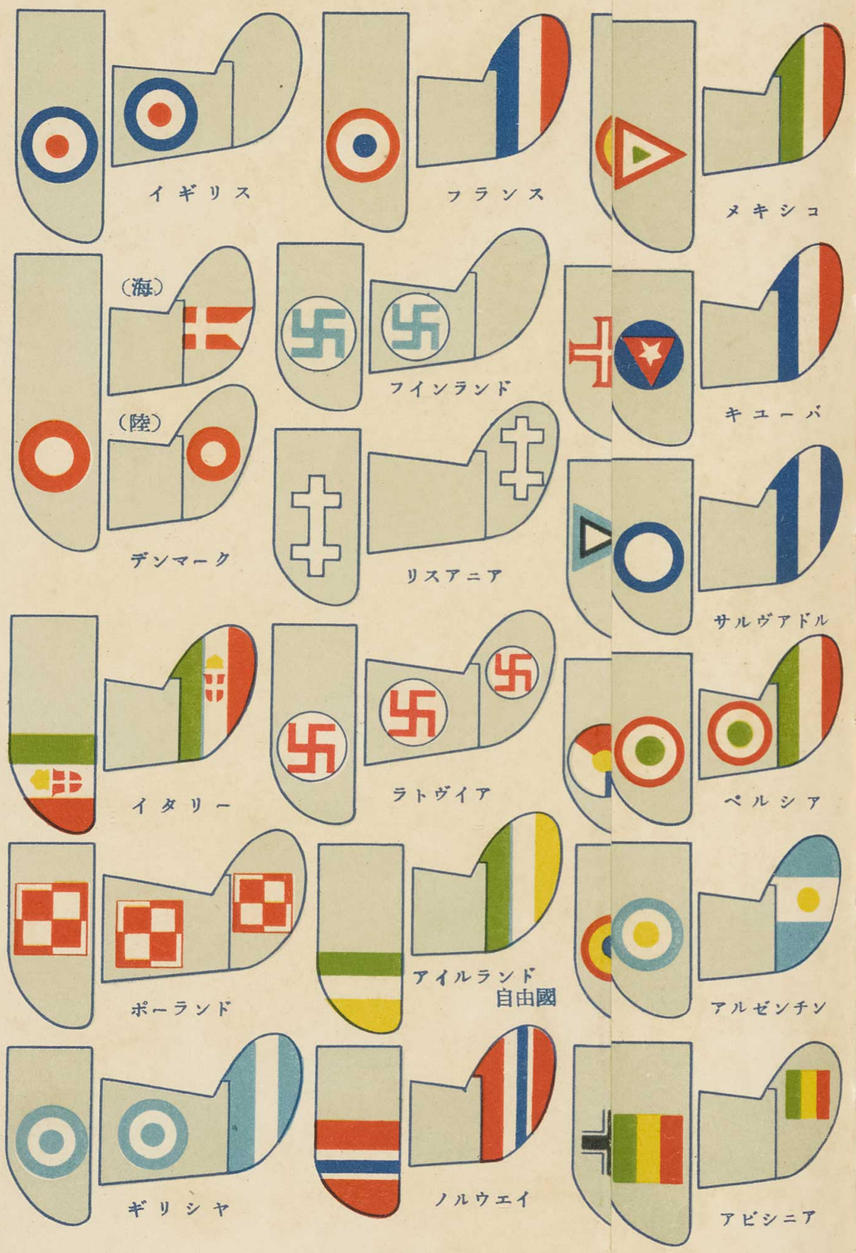
ワコー・モデルD型（ライト・ホワール・ウインド420馬力）



シコルスキーS・43型輸送機
（プラット・エンド・ホイットニー・ホーネット750馬力二基）



ヴオート・コルセア・ジユニオルV・100型
（プラット・エンド・ホイットニー・ワスプ・ジユニオル400馬力）

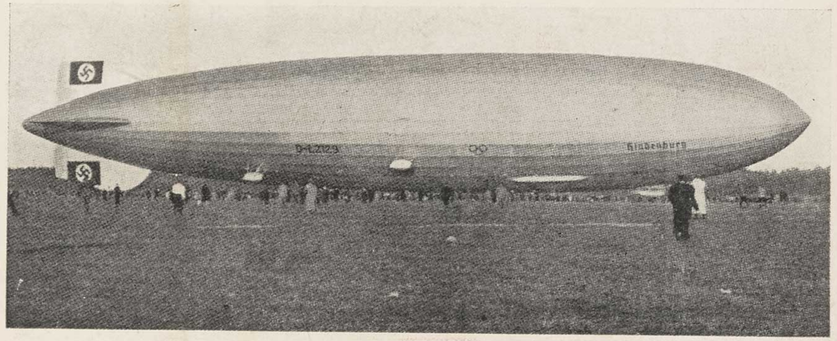


ユーゴースラヴイア

ロゴジヤスキー P・V・T型（ノーム・ローン420馬力）

飛行船の部

獨逸



ツエツペリンL・Z129型（デイゼル・エンヂン1100馬力四基）

世界軍用飛行機記號

イギリス
フランス
ベルギー
ルーマニア
南アフリカ
ボリヴイア
ペルー
メキシコ
(海)
(陸)
デンマーク
フインランド
ポルトガル
チエツコスロヴアキア
(海)
(陸)
アメリカ
エクアドル
ブラジル
キユーバ
リスアニア
エストニア
ソヴイエートロシア
ウルグアイ
チリー
サルヴアドル
イタリー
ラトヴイア
オランダ
ユーゴースラヴイア
シアム
ホンデユラス
イラク
ペルシア
ポーランド
アイルランド自由國
スペイン
スイス
日本
支那
(海)
(陸)
アルゼンチン
ギリシヤ
ノルウエイ
ドイツ
スウエデン
トルコ
エジプト
パナマ
アビシニア

687.05
K

昭和十一年

鑑年空航

(二五九六年)

逓信省航空局監修

帝國飛行協會發行

日本航空図書館
912

本邦航空一年史

（自昭和十年一月
至同　年十二月）

一月

一日　日本航空輸送研究所の大阪——白濱間新定期便は、張、片山兩飛行士の義勇第十二號、一四式の二機に旅客七名滿載して午前十時半出發、十一時十分白濱網不知に着水、午後四時二十分大阪歸着、處女コースを開拓した。

二日　霧ケ峰グライダー研究會では午後零時十分、鵜飼照彦氏操縦の日土第一號機が筑波山を離陸、八分二十一秒の滯空記錄で眞壁町附近の千田中に着陸、同四時半から吉原清治飛行士が二回に亘つて滑空を行ふ。

四日　朝鮮慶尙北道の文明琦氏は、愛國號獻納運動新願のため申載佑飛行士及び砂田朝鮮民報社員同伴、伊勢參宮の上、發願を誓ふ。

五日　朝鮮白頭山の處女空を征服、京都帝大遠征隊との連絡任務を完ふした大阪朝日新聞社長友飛行士操縦の川崎A六型機は午前九時二十六分、新義州を出發、氷點下二十餘度の高空を四時間餘、午後二時二十一分新義州飛行場に歸還。

國粹義勇飛行隊では午前八時、白石一等飛行士以下大阪防空飛行場に集合、五機編隊の初飛行を行ひ同十時半終了。

六日　大阪毎日新聞社では日本帆走飛行聯盟を結成し、三月中旬發會式擧行の旨發表した。

七日　霞ケ浦海軍航空隊の初飛行は、午前十時、寺田副長指揮下に敷十機と友部分遣隊の二十機が加はり、三粁の大編隊をもつて房總上空を一周した。右の内、藤崎二等航空兵の一四式水上機は發動機が停止したが、巧みに陸上班中央格納庫附近に着陸し、その沈着が稱揚された。

飛行第三聯隊では八八式十二機編隊で伊勢大廟、多賀神社、建部大社を空中參拜、武運長久を祈つた。

八日　午前十時四十二分、新義州飛行場を出發した長友機は第二回白頭山連絡飛行を行なひ、新聞、天氣圖、其他使用品等を投下し午後二時五十五分、出發地に歸還す。

○午後零時半から京城朝鮮ホテルに於て文明琦氏を始め、總督府側から井上遞信局長外各局長、課長、長尾航空官等出席「朝鮮國防飛行機獻納會」發會式を擧行。

東京朝日新聞社初飛行の河内、小俣兩飛行士操縦のドルニエ・コメット機は東京飛行場を離陸、箱根航空無電局上空より同局員慰問の食糧品を投下して午後三時四分歸還。

九日　日滿合辦太平洋航空株式會社は貳千萬圓の資本でツエッペリン航空船を購入、千葉縣長生郡茂原に飛行場建設の上、日滿、南洋コースを開始する旨、發表。

十一日　館山海軍航空隊では松永司令指揮、相模灘に於て練習艦隊との聯合演習を開始。

△**十三日**　內田鐵相の立案になる航空連絡輸送調査委員會の類觸決定し、鐵道省を主體として各方面へ働

きかけることゝなつた。

十五日 白頭山征服の長友機は任務を果して永田機關士同乘、荒天をついて新義州より京城へ一時間三十六分で翔破、午後零時二十一分着陸。

十六日 **帝大航空研究所では、貳拾四萬圓の巨額を算て航續力一萬三千七百粁の長距離飛行機を設計し、東京瓦斯電氣工業會社で製作に着手。**

十七日 午前十時半、所澤陸軍飛行學校第五十二期生佐伯喜太治少尉は乙式偵察機を操縱、場内上空で訓練飛行中、發動機の故障で二百米の高度から墜落、殉職。

十八日 横須賀鎭守府所屬の各艦、團部隊に對する末次司令長官の閲兵式は午後一時より擧行、横須賀、館山、霞ケ浦各航空隊より數百機參加して空中分列式を行ひ午後三時終了。

長友機は午前十時二十六分京城飛行場出發、九百粁のコースを三時間で翔破し、午後一時五十一分大阪城東練兵場に着陸。

二十日 午後五時四十分、大湊海軍航空隊格納庫から發火し、一四式八式偵察機七機も出發、指揮官松岡中佐は九二式偵察機に搭乘、太刀洗に向ひ、途中廣島で給油、午後二時太刀洗上空で飛行第四聯隊の二十機と空中戰を演ず。

二十四日 館山海軍航空隊の館山——奥——佐世保間連絡飛行第一回は鈴木大尉操縱、平野一等航空兵曹外六名同乘の九一式飛行艇で午前八時出發、盲目飛行を行ひつゝ途中奥にて補油の上、午後三時五十五分佐世保海軍航空隊に到着。又、同隊では中島少佐が九〇式巨人艇を鳴尾の川西航空機會社へ空輸した。

二十三日鹿屋に到着した所澤の三機は午前八時三十五分、鹿屋發午後二時三十三分無事所澤に歸着。

二十五日 午前九時、立川を出發した立川——太刀洗間無着飛行の八八式偵察機三機の中二機は、午後二時四十分目的地に到着、丸山軍曹操縱、田中大尉同乘機は故障の爲め濱松に不時着、修理の上、同五時五十分太刀洗に到着。

陸軍少年航空兵操縱科生徒採用決定の第二次試驗は、午前九時から所澤陸軍飛行學校で實施。

所澤陸軍飛行學校の所澤——鹿屋間長距離飛行の第二回は今津大尉指揮の八八式偵察機三機で實施、午前七時十五分所澤出發、九時半明野着、十時十五分同地發、日向灘上空を翔破して午後二時十五分鹿屋に到着。

二十六日 二十四日館山から佐世保に飛行した九一式飛行艇は二十五日奥に一泊、二十六日午前九時五十分同地發、潮岬を迂回して午後二時十五分、無事館山に歸着。

二十八日 貴族院本會議に於て津村重舍氏は航空問題を論じ我國航空豫算等の列强に比して劣勢なるを嘆じ、民間航空の發達助長に對する庶次遽相の答辯を求む。

大阪朝日新聞社の新鋭川崎C五型に無電裝置をなし、新野飛行士試乘して好成績を收めた。呼出符號はJ——BBEAである。

二十九日 館山海軍航空隊金子二等航空兵の三式戰闘機は着陸を誤まり水上班道路に激突大破して重傷。又、同隊の奥及び佐世保往復飛行は、勝田大尉指揮の九〇式飛行艇と、小西中尉の一五式飛行艇が雁行して第二回軍港連絡飛行に出發、九〇式は午後三時五十分佐世保へ、一五式は午後一時二十分奥に到着。

三十日 佐世保と奥に一泊した館山の兩飛行艇は午後それ〳〵歸還した。

三十一日 午前八時四十五分、霞ケ浦海軍航空隊第二期飛行練習生阪井常喜一等航空兵は九三式中間練習機を操縱訓練飛行中、機體の故障から新治郡中家村水田中に墜落、重傷後遂に死亡。

午前九時、大湊海軍航空隊三浦武夫中尉操縱、中村禮二一等航空兵同乘の九〇式水上偵察機報國北海道號は訓練飛行中、機體の故障から同隊城ケ澤飛行場積雪中に墜落、搭乘者は何れも重傷。

水野甚次郎、田中館愛橘兩氏は貴族院本會議に於て、民間航空の充實並に航空機研究機關整備に關しての質問をなす。

二月

一日 我が民間航空界の功勞者朝日新聞社取締役小西勝一翁に對し、有志より成る謝恩の記念品を朝日ビル内關西飛行倶樂部で贈呈した。

三日 堺市堺化學工業會社田中銀次郎氏は、四鹽化チタニュムによる防空煙幕材料の經濟的採取に成功した。

四日 採用決定の陸軍少年航空兵操縱生徒（　）技術生徒（　）の入學式が所澤陸軍飛行學校で擧行。

大阪朝日ビルに於て、學生航空聯盟出身會員をもつて鳳翼會を設立。

六日 館山海軍航空隊杉本中尉指揮、菅芳太郎一等航空兵操縱、駒田新吉一等整備兵曹同乘の八九式艦上攻撃機は午前八時半、横須賀より館山に歸還の途、浦賀水道上空で消息を絶つたので捜索の結果、午後二時五十分に劍ケ崎東二浬の海上に於て機體と共に漂流中の三氏の死體を發見。

七日 明野陸軍飛行學校教官福山吉則曹長は宮村克德軍曹とともに八八式偵察機を操縱、午前九時空中偵察訓練飛行中、三百米の上空で空中分解し、三重縣多氣郡西外城田村外城田川に墜落、兩氏殉職。

館山海軍航空隊の軍要港連絡の三機は午前八時半、田中中尉指揮の下に大村海軍航空隊を離陸、玄海灘上空に於て猛吹雪に遭ひ、正午呉に着陸、燃料補給の上、午後三時出發、同六時十分無事原隊に歸着。

九日 名古屋國際航空協會では午

前十一時から名古屋商工會議所内に常務理事會を開催、飛行場夜間照明設備に就いて協議し、名古屋飛行場の日滿直通ダイヤに加入のことを强調す。

十日 博多灣を中心に海軍攻防演習參加の吳海軍航空隊一四式水上偵察機は午後一時、消息を絶つたので捜索の結果、同二時半福岡縣糸島郡野北村脇山牧場に墜落したのを發見、宮本具明一等航空兵、竹内幸雄二等航空兵は死亡、都築基久三等航空兵は落下傘で降下したが重傷。

十一日 午前八時四十分、福岡市外雜餉隈渡邊鐵工所飛行機製作工場の中央部より發火、十三棟全燒、飛行機モーター約八百個を燒失、同十時半鎭火。

鳳翼會はOBの意氣高く、大阪城東練兵場で發會式を擧げ、烈風中に快翔した。

日本グライダー少年團は川口市外荒川岸の舟戸原で發會式を擧げた。

十二日 帝國海事協會では航空機の功績者として、日本航空輸送會社便で滿洲へ送り贈呈した。

日本經濟聯盟では倫敦——東京間飛行郵便について工業クラブで協議し、開始方促進を近く陳情することゝした。

二十七日 明野陸軍飛行學校及び太刀洗飛行第四聯隊と聯合空中戰鬪演習の爲め、午前所澤を出發した所澤陸軍飛行學校の武田中佐指揮八八式偵察機七機と九一式戰鬪機九機は午後一時二十五分、明野に着陸、明野機十五機と空中戰鬪を實施、二十八日午前八時五分明野出發、太刀洗に向ふ。

去る昭和七年二月、福岡縣下で墜落した日本航空輸送會社のドルニエー・ワール艇「白鳩」號の事故調査につき、帝大航空研究所和田博士以下二十一名の詳細な研究で、遂に翼搖れによるものだとの報告書が完成した。

身の交星會より兒玉常雄氏に贈る立體寫眞の胸像が完成したので、日本

三月

一日 全國からの志願者六十餘名から選拔した航空局第十五期委託操縱學生前地君以下三名の入校式は、午前十時より所澤陸軍飛行學校に於て擧行、二日より佐藤大尉指導の下に訓練を開始。

二日 衆議院本會議に於て政友會所屬竹内友治郎代議士は航空國策樹立を力說し、採決の結果、滿場一致可決。

海外同胞の愛國的醵金で帝國飛行協會が東京瓦斯電氣工業會社に製作を依頼した輕飛行機KR二型神風百五十馬力海外同胞號の受渡式は午後二時より東京飛行場に於て關係者多數來賓列席の上、盛大に行はる。同社はこれによつてエア・タキシー及び遊覽飛行を行なふことになつた。

三日 日本海航空會社の城崎、松江及大阪線は、豫て舞鶴要港司令部で調査中のところ、丹後海橫斷コースを條件に認可された。

四日 午前六時五十分、濱松を出發した北浦大尉指揮重爆撃三機は午後零時半太刀洗に到着、小憩後午後三時出發、北九州一周飛行を實施。

五日 館山海軍航空隊の第五回連絡飛行訓練の館山——佐世保間無着水飛行は九型飛行艇で中島少佐指揮、館山——明野ヶ原間は艦上戰鬪機四機、同攻撃機四機で相生、新郷、武田三中尉指揮、何れも午前七時半出發、館山——富田濱——吳間は水上偵察機四機で川久保、中島兩中尉並今川、萩野兩少尉指揮、館山——吳間は小型飛行艇二機で清水少尉指揮の下に午前八時館山發、一路目的地に向ふ。

六日 鹿兒島縣に於て訓練中の第一航空戰隊鳳翔所屬戰鬪機四機の中、石川二等航空兵曹操縱機は午後二時四十分、肝屬郡高須港沖合に不時着、搭乘者は機體と共に沈沒殉職。

七日 高松宮殿下には海軍大學第三十四期甲種學生二十餘名と御一緒に霞ヶ浦海軍航空隊に成らせられ、飛行教育狀況一般を御受講の上、三式初歩練習機に御搭乘、御練習遊ばさる。

午後六時半より帝國飛行協會鳩の間に於て竹内友治郎、牧野良三、上原平太郎各代議士發起の代議士航空懇談會を開催、各派代議士三十名、協會側より四王天總務理事、戸川理事、小野、井上兩嘱託出席。

八日 空中よりオホツク海の流氷を調査し、東北冷害の對策に當る事となつた中央氣象臺調査班は、根岸錦藏一等飛行士と十年式艦上機を根據地北海道網走へ先發せしめた。

九日 霞ヶ浦海軍航空隊に御受講中の高松宮殿下は、御出迎へのフオッカー旅客機で横須賀航空隊へ成らせられた。

十日 滿洲國新京では忠靈塔前に記念式典を擧行し、關東軍飛行隊の〇〇が佐野少將の閲兵をうけ、終了後〇〇の高等飛行があつた。

明野陸軍飛行學校では日露戰役三

格付のため「航空委員」と「技術委員」を組織し、伊藤乙次郎氏を航空委員長、新井三郎氏副委員長、斯波忠三郎氏を格付委員長、岩本周平氏副委員長、多田技術委員長を決定した。

十三日 霞ヶ浦海軍航空隊の飛行機移動による霞ヶ浦——名古屋間二百五十浬の長距離計器通信航法飛行は副長寺田大佐總指揮、小笠原大尉指揮の下に午前八時四十分教官分乘の一四式水上偵察機三機、九〇式水上偵察機二機は名古屋へ向ひ、午後零時五十五分目的地に到着。

佐世保に一泊、歸還の途に就いた館山海軍航空隊伊藤中尉指揮の中型飛行艇は午後一時五十五分無事原隊に歸着す。

館山發吳に向つた霞沼中尉指揮の九〇式水上偵察機二機、一五式飛行艇二機は午後六時目的地に着水す。

十四日 霞ケ浦海軍航空隊の長距離計器通信航法訓練飛行中の名古屋港に一泊した五機は、竹内大尉指揮の下に午前十一時同地發、午後三時原隊に歸還。

館山海軍航空隊霞沼中尉指揮の飛行艇二機、水上偵察機二機は午前八時三十五分吳を離水、館山に歸還。

十八日 午前十一時五十分、亜細亜航空學校助教授黒崎七郎氏はアヴロ機を操縦、洲崎飛行場三百米の上空で螺旋降下練習中、錐揉狀態となつて飛行場北端に墜落、同氏は重傷收容後死亡。

十九日 大村海軍航空隊艦上戰鬪機四機は午後三時十五分、追濱から大村へ歸還の途、野口毅次郎二等水兵操縦報國二五號機は、靜岡市上空で突如機關部に故障を生じ安東練兵場に不時着。

大阪朝日新聞社では川崎A六型機を飯沼飛行士操縦、大場航空局技手同乗して午後四時二十九分、城東練兵場より烈風をついて六千八百米の高空に達し、傳書鳩の試驗放鳩を行なつた。

二十日 霞ケ浦海軍航空隊少年航空兵の第一回場外訓練飛行は、小田原、木村兩少佐指揮により九三式中間練習機三機、一五式水上偵察機七機によつて擧行、午前七時半霞ケ浦出發、同九時半前後して館山に安着、少憩の後歸途に就く。

我が飛行界の先覺八幡の二宮忠八翁は、自宅内の飛行神社に饒速日命を始め、官民殉職者五百九十三名を合祀し、財團法人飛行義會の認可を得た。

二十三日 近畿在住の航空乘務員、工場、營業の關係者大懇親會「新交會」は午後五時から大阪四ツ橋實業協會で開催、玉宮航空局出張所長、石田日本空輸支所長、井上日本空輸研究所長等集るもの約百名。

二十四日 霧ヶ峰グライダー研究會主催の筑波山グライダー大會は午後一時より筑波山行幸ヶ原、霞山二滑空場で「日土第一號」「筑波第一號」の二機で開催、吉原、鵜飼兩氏各八分の記錄を作る。

二十五日 遞信省航空局委託生出

十周年を記念し、八八式、九一式三十七機が春田校長指揮で伊勢灣一周の大飛行を行つた。

十一日 北鮮の上層氣流觀測中の愼飛行士、飯塚技手は前日京城より羅南へ飛行したが、本日荒天を冒して羅北河の河口を通過する航空路を調査した。

去る五日、立川を出發した申戴佑氏は九日大邱着、本日故郷訪問飛行を行なつた。

十二日 霞ヶ浦海軍航空隊少年航空兵卒業飛行は、水上班は木村少佐指揮で大濱に一四、一五兩式水上偵察機七機で午前七時出發、陸上班は小田原少佐指揮で三方ヶ原に一三式艦上攻撃機十一機で午前七時四十分出發、目的地へ向ふ。

十三日 午前十一時、霞ヶ浦より大濱に向ふ少年航空兵卒業飛行の水上機班の中、指揮官增田大尉他一名搭乘の敎導機はエンヂンの故障で靜岡縣天龍川口に不時着。

八日市飛行第四聯隊加藤中佐統裁の下に八八式偵察機十機で八日市—渡邊四技師が渡米したと傳へらる。

—熊毛岬間往復二千七百六十粁の飛行を實施、午前四時八日市出發、同八時半太刀洗着、同十時半より午後二時までの間に同地發、志々岐岬を經て熊毛岬を回る無着海洋飛行の途に就く。

十四日 霞ヶ浦の少年航空兵卒業飛行で木村少佐指揮の水上班七機は大濱から午後二時二十分、小田原少佐指揮の陸上班十機は三方ヶ原から中八機は三時十分、二機は發動機故障で横須賀海軍航空隊に不時着、修理を加へて三時四十分、何れも霞ヶ浦に歸還。

航空界の驚異と謂はるゝゼツトプレーンの發明者西氏の研究所では、

機材購入のため松崎、植田、須貝、

十七日 霧ヶ峰グライダー研究會平地練習會開會式は常設平地練習場開場式と併せて午前十一時から上井草グラウンドで擧行。

東京朝日新聞社の南京訪問機は正午大阪出發、午後一時三十七分東京飛行場に到着。

所澤陸軍飛行學校少年航空兵は野外訓練の爲め佐藤大佐、山崎中尉引率、午前九時半各務ヶ原飛行第一聯隊に來隊、一方練習機乙式偵察機十一機は午前八時半龜山大尉指揮で所澤出發、同十一時二十五分各務ヶ原に到着。

十八日 明野、濱松兩陸軍飛行學校と、各務原第一、二聯隊の聯合演習は本日より三日間、明野校幹事儕峨大佐統監の許に行はれ、早朝明野の三島、新藤兩中尉指揮の八八式六機と、九一式九機は濱松校の輕爆七機と戰鬪開始、參加機四十機に及んだ。

佐伯海軍航空隊の第一小隊相澤大尉は鎭海往復、第二小隊宮田中尉外二機は鎭鶴を經て鎭海——佐世保の周航を本日より向ふ三日間に擧行。

大濱海軍航空隊では、上田大尉指揮霞ヶ浦まで二百六十哩を飛行、翌日歸還。

十九日 正午東京飛行場で朝日新聞社機南京訪問飛行出發式擧行、床次遞相、廣田、林、大角各社代理、以下航空界の名士多數列席。

澤藤電機會社專務澤藤忠藏氏は昨年來苦心の結果、世界に誇る航空用二十四氣筒一千五百馬力用SRW二十四型高速度高壓縮マグネットを完成し、帝大航空研究所富塚、田中、中西三博士立會の上、試驗を行ひ好成績を擧ぐ。

二十日 南京訪問の東京朝日新聞社機朝日第一一〇號川崎C—五型を新野飛行士操縱、塚越機關士同乘一千四百餘通の郵便を搭載して午前七時四十七分東京飛行場出發、同九時二十八分大阪通過、午後一時

二十七分京城着、二千五百粁を翔破して午後六時四十三分無事南京に到着。所要時間十時間十分。

佐世保海軍航空隊の本土一周及佐世保——横須賀間往復飛行は貴志少佐總指揮の下に決行、一周飛行は飛行艇四機、往復飛行は九〇式水上偵察機四機並一四式水上偵察機四機で何れも午前七時出發、一周機は關門上空で二機づゝ二隊に分れて表と裏廻りのコースを採る。

二十一日 日本空輸會社では午後一時から東京飛行場に代議士連を招待、旅客機の試乘會を催し四十八代議士來會試乘す。

大村海軍航空隊九州一周飛行は午前十時艦上攻撃機四機を武田少尉、呉所屬攻撃機を川島兵曹長指揮の下に南北兩コースに別れて出發、大村機は惡天候の爲め間もなく原地に歸還、呉機は富高飛行場に到着。

館山海軍航空隊司令松永大佐以下幹部四名は得猪少佐指揮のフオツカー機に同乘、午後一時同隊出發、濱松飛行第七聯隊を視察す。

佐世保海軍航空隊本土一周の裏廻り飛行艇二機は午前五時半舞鶴發、大湊で燃料補給の上、午後零時横須賀に到着。

二十二日 吉林上空に於て夜間飛行訓練中の關東軍所屬飛行機は午後八時半墜落、機體粉砕、大塚曹長、住原軍曹、佐古田軍曹、齋藤軍曹は卽死、今村特務曹長は重傷。

館山海軍航空隊内地聯絡飛行の川村中尉指揮の艦上攻撃機二機は、午前八時出發各務ヶ原に向ひ、午後四時四十分歸還。

午後零時四十七分、南京飛行場を出發した朝日機は、同二時五分上海龍華飛行場に到着。

二十三日 日本空輸會社では日滿連絡定期航空實施のため東京——大阪間拂曉、夜間の飛行練習を開始、午前二時五十分志知飛行士が中島式P一型郵便專用機で東京飛行場を離陸、同五十五分鳥居飛行士が出發大阪に向ひ、同五時二十五分、二十八分大阪飛行場に着陸、同飛行士は午後六時三分大阪發、同九時東京飛行場に歸還。

松江——大阪間定期航空路開設試驗飛行は中島飛行士操縱の日本海航空會社水上機「松江號」を以て午前八時半松江市出發、城崎經由大阪に向ふ。

流氷調査のため、北海道女滿別に根據地を設けて準備中の根岸飛行士は朝九時、初飛行を行なひ、斜里、網走方面を視察した。

日本學生航空聯盟關東支部の春期合宿練習は立川飛行場で行なはれ堀航空本部長以下武田中佐、指導將校吉岡大尉等が檢閲した。

本土一周中の佐世保機は、春雨をついて原田中尉以下の九〇式水上偵察八機、貴志少佐以下一五式飛行艇三機（一機は殘留）は無事原隊に歸つた。

二十四日 大阪城東練兵場で學生航空聯盟關西支部學生は、來阪した堀航空本部長の檢閲をうけ、烈風裡に飛行。二十五日より八日市飛行隊に合宿練習をすることゝなつた。

二十五日 太刀洗飛行第四聯隊川上敏夫少尉操縱、吉田潔軍曹同乘の八八式偵察機は午前十一時十五分、高等飛行中空中分解して飛行場の西方麥畑に墜落、兩氏は重傷後間もなく絶命。

新野飛行士操縱朝日第一一〇號は午前九時、上海より千五百粁を一氣に東支那海を橫斷して午後三時二十分、歡迎裡に大阪練兵場に着陸。

佐世保飛行場前寺島水道附近に於て第一艦隊大村、佐世保警備、同防備戰隊が空水聯合演習中、午前六時伊藤大尉指揮飛行艇は故障のため大島燈臺南端十八海里の海上に不時着せんとした際、風浪の爲め海中に突入、海江田一等航空兵は重傷後死亡、他は輕傷。

二十六日 濱松陸軍飛行學校學生清水民一曹長は午前十一時、三方ヶ原爆撃場に於ける實彈投下演習の爲め、

三機編

に晩餐會を催す。

横須賀海軍航空隊の横須賀――富田港間飛行訓練は林少佐指揮の下に午前八時十分、一四式水上偵察機五機前後して出發、同十時三十分富田港着、燃料補給の上午後一時同地發、歸還の途に就く。

館山海軍航空隊　内地聯絡飛行は午前八時、艦上攻撃機四機館山發、うち二機は同十時五十分各務ヶ原着、他の二機は三方ヶ原に着陸の上、午前十一時五十分各務ヶ原に着、後着水の刹那、操縦の誤りから同町四機共燃料補給の上午後一時同地發、同四時十分原隊に歸還。

二十八日　八日市飛行第三聯隊河口猪三夫航空兵軍曹は、滋賀縣浦生郡善光寺磧上空の空中實戦射撃演習に參加、午後一時五十分頃八八式偵察機に同乘して機關銃から地上布板的を目がけて射撃中、左腕に連續十五發が命中同乘席に昏倒してゐたのを着陸と同時に發見。

二十九日　歐洲大戦の勇士、日本並佛國文學博士東京日佛會館員ジョルジュ・ボノー氏は少佐に進級するを爲め日本飛行學校で操縦練習を開始。

日本學生航空聯盟海洋部の第一回卒業式は午後一時半から東京飛行場で擧行、田中館聯盟名譽會長、鹽澤海軍航空本部長等列席、卒業生明大山内保三君以下十三名。

三十日　午前九時四十分、館山海軍航空隊九一式飛行艇に大谷利郎兵曹長等搭乘、館山町上空で飛行訓練後着水の刹那、操縦の誤りから同町西之濱沖合海中に顚覆機體兩斷、大谷兵曹長、乾一三等航空兵曹、齋藤忠治一等航空兵は絶命、濱田重愁一等航空兵は重傷、蛯名幸四郎一等航空兵曹、前田誠吉二等航空兵曹、岩倉賢次郎二等整備兵曹、村上友之助三等整備兵曹は輕傷。

所澤陸軍飛行學校　機關科下士學生卒業式は午前十時、長きあたりから御差遣の侍從武官後藤光藏少佐を初め、堀陸軍航空本部長等關係者出席の下に擧行、平壤飛行第六聯隊附軍曹富田正二氏に對し恩賜の銀時計傳達さる。

四月

一日　日本飛行倶樂部主催第七回全國飛行機操縦士競技大會は午前八時より東京飛行場で擧行、參加飛行士二十九名、第一種羽田――立川――原町田――羽田間野外飛行競技から開始、第二種制限地内離着陸競技があつて午後四時終了。野外飛行は北澤重雄（日本飛行學校）制限着陸は瀬川良立（帝國飛行學校）曲技飛行は江島三郎（日本飛行學校）君等が優勝。

二日　東京――奉天間郵便即日聯絡定期航空は、二日午前三時東京出發、新義州で滿洲航空會社機に引き繼ぎ、午後三時半奉天に到着。

日本航空輸送研究所でも大阪――松山線をその日歸り、別府――白濱の週一回乃至三回の新線を增加施行。

隊で單發動機輕爆撃機を操縦、長田曹長と同乘して離陸、高度千米の上空で發動機停止し、清水曹長は長田曹長と共に落下傘で飛降りるべく機外に出たが、實彈を搭載し被害の甚大なるを思ひ、再び機中に入り既に二百五十米も低下した機と運命を共にすべく決心し、最善なる操縦をなし無事着陸す。

二十七日　午後二時半より洲崎埋立飛行場で航空關係者立會で野中肖人氏發明の落下傘落下實驗を行ふ。

濱松飛行第七聯隊の重爆四機、輕爆二機　による濱松―霞ケ浦及び釜石間の航法飛行は、檢閲官岩下同聯隊長搭乘の下に午前三時半濱松を出發、同六時四十五分霞ケ浦に安着、同八時五分釜石に向けて出發、途中無着陸で釜石を經て午後二時半霞ケ浦に歸着。

宋次源相は朝日機の南京訪問飛行の成功を祝し、且つ新野、塚越兩氏への慰勞を兼ねて午後六時、遞相官邸

滿洲國皇帝陛下新京御出發の寫眞空輸のため、大阪毎日新聞社のロツクヒード機は大藏飛行士操縦、午前八時六分發、一氣に大阪上空に現はれ、原稿投下の上、東京まで二千粁を六時間十八分で翔破。朝日新聞社の川崎C五型も飯沼飛行士操縦、八時五分新京發、午後零時四十五分大阪着陸更に二時四十分東京着。

三日　東京港まつりの最終日を洲崎飛行場で午前十時から、亞細亞、東京、小栗飛行學校、田中飛行研究所主催で航空ページェントを擧行、午後三時終了。

東京飛行少年團のグライダー第一號命名式並練習開始式は、午前十一時から東京市杉並區上井草グライダー平地練習場で擧行。

四日　午後一時半から東京飛行場で、東京市聯合防護團獻納の「愛國東京號」飛行機の命名式擧行。

各務ヶ原で猛訓練を續けてゐた所澤陸軍飛行學校陸軍少年航空兵乙式偵察機操縦及基本航法等約二週間の所定練習を終り、午後岐阜發歸校の途に就く。

館山海軍航空隊の小西中尉指揮の小型飛行艇二臺は、雲低く雨濕い瀬戸内海を突破して佐世保に向つたが天候益々險惡のため呉に不時着。

五日　遞信省委託操縦士始業式は、霞ケ浦海軍航空隊で午前八時十五分より行なはれた。

六日　滿洲國皇帝陛下奉迎のため館山海軍航空隊司令松永大佐は九一式飛行艇上より指揮をとり、館山、霞ケ浦、横須賀の三隊百餘機は横濱沖に御召艦上低く旋廻し、源田大尉の三機編隊曲技や、カタパルト出發、煙幕展開を演じた。

七日　所澤陸軍飛行學校長德川好敏少將は空軍生活二十五周年を記念として、午前十時から同校に於て陸空軍發祥時代の追懷談を試みる。

日本橋區の呉服商杉野德太郎氏夫妻は、銀婚式を空中で行なふべく東京航空輸送社の海外同胞號に同乘して飛行した。

八日　**館山海軍航空隊の日本一周飛行は勝田大尉指揮九〇式、九一式兩飛行艇に十九名分乘、午前八時館山發、午後零時三十分大湊に着く。**

九日　**午前七時十分、大湊を離水した館山海軍航空隊の飛行艇は同十一時三十分、金澤市通過後、天候險惡となり、玄海灘附近で暴風雨に惱まされながらも一千三百粁を八時間四十分で翔破し、午後三時五十分無事佐世保に到着。**

館山――大湊間連絡飛行の館山海軍航空隊淵田大尉指揮水上偵察機二機、小型飛行艇二機は午前七時二十五分館山發大湊に向ふ。

十日　大湊を出發、歸還飛行の館山機は（内一機は故障の爲め大湊に引返す）途中雨の爲め困難を極め、午後五時霞ケ浦に不時着。

十二日　天候不良の爲め佐世保に待機中の館山海軍航空隊勝田大尉指揮、中型飛行艇二機は午前八時半佐世保出發、千四百粁を六時間四十分で無着水翔破、午後三時十分館山に着水、かくて表裏日本沿海三千二百八十粁を十九時間五十分で翔破す。

佐伯海軍航空隊の一五式飛行艇二機の佐伯――横須賀間無着水飛行は、未明相澤大尉指揮の下に同隊發、惡天候を冒して午前十時五十分横須賀に着。

十三日　午後一時半から東京飛行場で報國第七四第三全國民號、同第七五第四全國民號及同第七六第二南洋號の三海軍機命名式擧行。

午後四時、第二艦隊所屬軍艦摩耶搭載九〇式水上機が佐伯上空で飛行演習中、誤つて爆彈を同町女島山林に落し山火事を起す。

十四日　所澤陸軍飛行學校創立記念祭は午前九時半から擧行、殉職勇士五十柱の慰靈祭、祝賀飛行に次いで午後一時から所澤町協賛會主催の關東模型飛行機競技大會が催さる。

十五日　東京朝日新聞社の新野百三郎氏及亞細亞航空學校の松本キク子孃に國際飛行家聯盟よりハーモ

ン・トロフイーを贈らる。

臺灣國防義會の專賣號、學生號の兩義勇機KR一型は、佐倉、塚原兩飛行士の手で臺北出發、花蓮港へ飛んだ。

佐伯海軍航空隊の南廻り九州一周夜間飛行は、川口大尉指揮の水上機三機を以て午前四時三十分同隊發、鹿兒島經由佐世保に一泊、十八日午後七時同隊發、同八時原隊に歸着。

十八日 帝都防空協會では陸海軍兩省を初め各方面支援の下に防空民間飛行機根據地として新設された東京江戸川區上篠崎町江戸川河川地區七萬五千六百坪の飛行場開きを擧行。

八日市機九機は午前十一時半、奉天發午後四時五十分齊々哈爾飛行場に到着。

十九日 午前十時、齊々哈爾飛行場を出發した八日市機は大興安嶺を迂回し午後三時十分ハルビン陸軍飛行場に到着。

二十日 佐伯海軍航空隊に陸上飛行場が開設され、赤城搭載の攻撃機二臺が初めて離着陸を試みた。

二十一日 麹町區防護團によつて午前十時から三宅坂元衞戍病院跡で一時間半に亘る燒夷彈防火演習が行はる。

八日市機、午前九時新京出發、奉天に向ふ。

佐伯海軍航空隊の日本海一周飛行の飛行艇二機は相澤大尉、宮田中尉操縱、總員十六名搭乘、午前五時十五分出發、一千百粁を翔破、午後一時北鮮羅津に到着。所要時間八時間。

早朝曉雲を衝いて平壤往復直線飛行の壯擧についた所澤陸軍飛行學校八八式偵察機は、太刀洗に於て燃料補給の上、午後六時三十分無事平壤に到着。

臺灣震災報導のため、大阪毎日新聞社のロックヒード機と、朝日新聞社川崎C五型は、前日大阪出發、太刀洗に待機してゐたが、飯沼、塚越兩氏のC五型のみ午前八時半出發、臺灣へ向ひ那覇上空で天候不良のため着陸一泊。

二十三日 午前九時半頃、大濱海軍航空隊高橋實一等航空兵操縱、上田猛虎大尉同乘の九〇式水上偵察機は同隊外港より離水して約十米餘上昇の際、突如機關の故障から墜落、海中に沈沒、上田大尉は輕傷、高橋航空兵は海中に沈沒、殉職。

那覇にゐた朝日新聞社飯沼飛行士操縱C—五型機は、午後二時十分同地發、午後四時十三分臺北飛行場に着陸。

女滿別で氣象調査飛行中の根岸飛行士は、奥女滿別を經て藻琴山をかすめ、チエフ部落を訪問して歸着した。

二十四日 佐伯海軍航空隊の飛行艇二機は朝大濱出發、日本海岸を快翔、午後三時舞鶴に着水。

所澤陸軍飛行學校の八八式偵察機六機は午前六時三十五分、平壤發、途中太刀洗で補油、千三百五十粁を翔破、午後五時四十五分無事所澤に歸還。

東京市中野區東京道愛盲學校長和田秀豐氏以下同校生徒五十名は午前十時、立川飛行第五聯隊に於て飛行機の觸知見學を行ふ。

午前六時二十分、臺北を出發した朝日新聞社C五型は飯沼、塚越兩氏搭乘、五時間五十七分で都城に到着、更に太刀洗を經て大阪に歸着。

博多灣で演習中の太刀洗飛行第四聯隊の松本中尉は、九一式戰闘機で

三百米を距てた標的に、命中の記錄を擧げた。

二十五日 關西學生航空聯盟では來阪した床次遞相を迎へ、午後二時から大阪飛行場で歡迎飛行を行なふ。尙遞相は豐嶋飛行士操縱の日本空輸會社のフオツカー機に搭乘して空中視察をなす。

佐伯海軍航空隊二飛行艇は午前七時五十五分舞鶴發、午後一時十分原隊に歸還。佐伯——羅津——大湊——舞鶴——佐伯間四千粁、飛行時間二十五時間。

二十六日 午前六時四十分（大連時間同五時四十分）日本空輸會社日滿連絡の清水幸作一等飛行士、原篠喜久郎機關士搭乘の旅客機は、風速二十米の荒天を冒して大連飛行場を出發新義州に向つたが、到着時間に到るも機影を見せず、捜査の結果、大孤山の東南東太洋河々口で大阪行郵便行囊の漂着せるを發見、遭難せるものと見らる。

二十七日 午後一時、大鹿島西方沖合三里の遠淺の海中に空輸會社遭難機を發見せる旨、同島居留漁民より安東警察署に報ず。機體は座席の中央より切斷され翼は流失、機中には清水飛行士の飛行帽の一部、原篠機關士の飛行服の袖、ワイシヤツ等遺留さる。

明治大學學友會では航空部設立五周年と、滿洲國皇帝御來訪を記念としてサルムソン二A二型一機を購入、午前十一時から東京飛行場で命名式を擧行。

床次遞相は午後二時半、大阪府中河内郡盾津大阪義勇飛行場を視察。

本年度横須賀鎭守府特命檢閲の空中分列式は擧行され、松永大佐總指揮のもとに館山、霞ヶ浦、横須賀各航空隊の百餘機飛ぶ。

二十八日 霧ヶ峰グライダー研究會春季氣流調査會は午前十一時から筑波山で行はる。この日、高松宮殿下には午前十時半筑波町に御到着、御幸ケ原で「筑波一號」「日土二號」の快翔を御覽遊ばさる。

立川飛行第五聯隊及び下志津、所澤兩飛行學校の七十一機の特命檢閲は、大江下志津校長指揮のもとに分列式を行なつた。

三十日 霞ヶ浦海軍航空隊では、午前九時半より霞ヶ浦神社大祭を行なひ、鹽澤航空本部長以下參列のもとに砲難勇士三十餘柱の合祀祭を擧げた。

清水、原篠兩遺族を迎へた新義州飛行場では午前九時、空輸會社員其他參列、慰靈祭を擧行。

五月

一日 横須賀海軍航空隊豫科練習部第三回卒業式は、午前八時十五分より擧行。

陸軍航空兵科が獨立して滿十年に當るので午後六時半から上野精養軒に記念會が開催され、井上、渡邊兩大將を始め三百餘名出席。

午前三時、東京飛行場出發の日滿國都聯絡定期航空は午後七時新京飛行場到着、最初の飛行を終る。

午前七時半、館山海軍航空隊を出發した蓮沼中尉操縱、松永同隊司令同乘の飛行艇は午後三時、佐伯海軍航空隊に到着。

日本學生航空聯盟海洋部を出た山内保三君他十四名は、海軍航空豫備學生として霞ヶ浦海軍航空隊に入隊。更に二日より横須賀海軍航空隊に於て一般的教育と航空士官としての基礎訓練を受けることゝなる。

館山海軍航空隊飛行艇は午前八時、佐伯を出發、午後一時無事原隊に歸還。

二日 堺大濱に新たに堺水上飛行學校創立され、操縱整備の教育に當ることゝなる。

四日 別府——松山間新航空路開きの日本航空輸送研究所旅客機フオツクス・モス機は淸水飛行士操縱、午前十時大阪飛行場發、高松、松山を經て午後一時五十分別府に向ふ。

八日 小柳新潟市長は東京朝日新聞社の東京——新潟間定期航空の功

の日本帆走飛行聯盟結成會は午前十一時大阪クラブで擧行、午後一時より眉津陸軍飛行場で同聯盟最初のグライダー練習會を開催、同七時より大毎本社講堂に於て講演と映畫の會が催さる。

十三日 「青海號」は午後四時十五分ブラッセル發、ライプチッヒに向つたが、同市の南方六十五粁のゲラに不時着。

十四日 「青海號」午前十時十五分ゲラ發、同十一時十分ライプチッヒに到着。

館山海軍航空隊松尾中尉指揮の攻撃機四臺は午前七時半出發、大村へ向ふ。

十五日 東京朝日新聞社の東京—新潟間本年度定期航空開始。長友飛行士操縦の郵便機は午前十時三十三分、新潟發東京に向つたが信越國境密雲深く同十一時四十分新潟に引返へす。

所澤陸軍飛行學校の新偵察機三機、九一式戰闘機二機は所澤——札幌間野外航空法訓練の爲め立山大尉指揮の下に午前九時四十分所澤發札幌に向ふ。

十六日 大阪商業會議所宛、希臘より飛行機用パラシウトを買入れたい旨、申込んできた。

「青海號」ライプチッヒ發、午後五時ニュルーンベルクに到着。

十七日 「青海號」午前ニュルーンベルク發、ミュンヘンに立寄り午後二時四十五分ウイーンに到着。

大村に滯在の館山海軍航空隊攻撃機四臺は午前六時半出發、午後二時半原隊に歸還。

志鶴飛行士は九州帝大航空會の滑翔機阿蘇號で、大阪府下生駒山上より十五分五十秒に十八キロの滑空に成功した。日本における距離記錄である。

「青海號」午前十時、ウイーン發ブタペストに向ふ。

十九日 日本航空輸送研究所の清水飛行士は、KR二型水上機で午前十時五十分別府上空遊覽飛行中、着水の際、鶴水園テニスコートの柵へ翼を引掛け防波堤に激突大破、同乘の別府署矢野保巡査部長、服部行雄巡査は即死、清水飛行士は重傷を負ふ。

午後二時四十分、紀州白濱溫泉遊覽飛行の日本航空輸送研究所大堀修一飛行士操縦一四式水上飛行艇は、エンヂンの故障の爲め着水せんとして石垣に觸れて轉覆、機體大破、乘客四名の中辻忠雄氏は重傷後死亡、他は擦過傷を負ふ。

「青海號」午後二時二十五分イスタンブール發、アレッポに向ふ。

二十日 「青海號」午前十時五分イスタンブールに到着。

二十二日 長谷川海軍次官は、呉鎭飛行艇山下中尉操縦により、午前十時佐伯出發大阪に向つたが强風のため引返し午後零時十分兵庫縣明石垂水濱に着水し自動車にて大阪に向つた。

ダグラス機に搭乘、濱松陸軍飛行學校檢閲に出張した堀陸軍航空本部長以下は午後四時二十分同地發、立川に向つたが强風の爲め流されて館山海軍航空隊に不時着。

「青海號」午前六時四十五分アレッポよりバグダッドに到着。

所澤陸軍飛行學校第一期少年航空兵の第二回所澤——上田間夜間飛行は午前十一時二十分所澤出發、午後零時四十分より指導機を入れて合計十一機は同一時二十分までに着陸、同四時三十五分同地發歸還の途に就く。

二十三日 羽田の東京飛行場で、東京朝日新聞社製作の朝日第一號高性能ソアラーが完成したので、河内航空部次長がテストして好成績を生む。

二十四日 館山海軍航空隊鈴木正巳二等航空兵操縦、若松淳吉三等航空兵曹、宇沼國治一等航空兵同乘の艦上攻撃機は館山灣上空を訓練飛行中、發動機に故障を生じ、北條町の料亭春野方に墜落し、同家女中諸岡なかさんは即死、鈴木氏は輕傷、若松、宇沼兩氏は重傷。

二十六日 「青海號」午前十時六分、カルカッタ着。

午後六時四十分、千葉縣下に於ける近衞歩兵第一旅團聯合演習に參加すべく立川飛行場を離陸した立川飛行第五聯隊峰岸勝軍曹操縦、佐野武中尉同乘の八八式偵察機は高度二百米に達した際、機關に故障を生じ、雜木林狀態となつて格納庫前に墜落、佐野中尉即死、峰岸軍曹は重傷、收容後死亡。

日本學生航空聯盟O・B東京アマチュア航空倶樂部發會式は午後一時から東京飛行場で擧行。

二十七日 日本海々戰紀念日に當り、大阪に始めての海軍機百餘臺の大編隊飛行があり、源田大尉等三機の編隊高等飛行が行なはれた。

二十八日 午前四時五十六分、カルカッタを出發した「青海號」は午後三時頃、猛烈な颱風に遭遇しランゲーンの手前サンドウエイに不時着。

二十九日 「青海號」は午前十一時二十分所澤出發、ラングーン發盤谷に向ふ途中、天候不良の爲め英領ビルマのタヴオイに不時着、機體大破。

三十日 シカゴ——メキシコ間の記錄飛行家として有名な駐日墨國公使ミゲール・アロンド・ロメロ氏は午後、亞細亞航空學校を訪問し、青山飛行士操縦機に同乘飛行をなす。

午後一時、太刀洗を出發した立川飛行第五聯隊機は無電連絡演習を續けながら同五時四十分原隊に歸着。

三十一日 午前十時、日本特殊鋼會社代表渡邊三郎氏は海軍省に長谷川次官を訪問し、航空關係國防資金として金五萬圓也の獻納を申出づ。

午前九時四十五分、大村海軍航空隊佐伯國盛二等航空兵は一三式艦上戰闘機を操縦、同隊上空で飛行訓練中、機關の故障から附近海上に不時着、重傷後死亡。

六月

一日 東京飛行場内に新築の報知新聞社格納庫落成式は、午前十一時から航空關係者列席、盛大に擧行さる。

大阪府中河内郡盾津村の大阪陸軍飛行場は午前十時半より、東久邇第四師團長宮殿下の台臨を仰ぎ、盛大な獻納式を擧行す。

日本學生航空聯盟關西支部では午後、大阪城東練兵場で會員五十名參集、聯盟主任中島飛行士の說明後、飛行を實施同三時終了。

二日 防空思想普及の航空ページェントは、東京月島第四號埋立地で日本防空協會主催民間機參加の下に擧行、各種高等飛行の演技が行はる。

名古屋グライダー研究會發會式及グライダー初飛行は東京日々新聞名

古屋支局、日本帆走飛行聯盟支部共同主催で午後一時から名古屋城北練兵場で擧行、同三時終了す。

三日 隱岐——松江間定期初飛行は日本海航空會社松江號を午後零時二十分、長嶋飛行士操縱、米澤飛行士操縱の城崎號二機で松江離水、隱岐黒木飛行場に到着、飛行場開きを行ひ同四時、松江に歸着。

各務ヶ原飛行第一聯隊では單機並編隊による　移動訓練飛行を實施。午前同隊を出發の吉田大尉指揮の九一式戰闘機六機は飛行第二聯隊を始め、第三、第四、第五、第七各聯隊並下志津氣球隊、明野陸軍飛行學校等、戰闘、偵察、爆撃各分科に亘り、戰闘機能訓練の遍歷をなし十五日までつゞく。

四日 渥美半島沖で難船した末廣丸救援のため、濱松飛行第七聯隊から輕爆機二機が出動して食糧、ロープなどを投下した。

五日 午前八時三十五分、八日市飛行場上空に於て飛行第三聯隊所屬八八式偵察機と空中戰闘演習中の各務ヶ原飛行第一聯隊酒井勇特務曹長操縱の九一式戰闘機が空中で火災を起し、同飛行場東北の民家に墜落、氏寄贈のグライダーで、午後五時五十分から校庭で初練習を試む。

八日 午前十時半、八戸市外大女ヶ窪に於て擧行された防空飛行大會に田畑勝飛行士は離陸の際、群衆中に突入、二名を卽死、二名に重傷を負はす。

長谷川孝航空兵曹長、三原伊東喜航空兵軍曹は、滿洲國鏡泊湖北部無名島附近で匪賊討伐中、敵彈に當り戰死す。

九日 日本帆走飛行聯盟の十國峠氣流調査飛行は午後二時、清水綠氏が八〇六米の標柱附近から出發、六分五十四秒を滑空、十粁を飛んだ。

十一日 札幌を根據とする北海道一周飛行の館山海軍航空隊山本榮少佐總指揮の艦上攻撃機八機は午前七時原隊發、太平洋沿岸を北上して山本大尉指揮の四機は午後四時五十五分、田村大尉指揮の四機は同六時四十分札幌に到着。

日本航空輸送株式會社森田勝人、齋藤羊五兩操縱士は鹿兒島市役所訪問、勝目助役の案内で新川尻飛行場建設豫定地を視察。

各務ヶ原飛行第一聯隊に宿營して基本航空法訓練中の所澤陸軍飛行學校少年航空兵は、五千米の高空飛行演習の際、午後二時頃九二式偵察機で上昇した渡邊一夫航空兵は四千八百米まで一氣に上昇、强風の爲め氣流惡く、それより上昇困難だつたが五千米の高空に達し、滯空二時間の少年航空兵としての初記錄を作る。

十三日 國際空中港として施設中の福岡飛行場に附設する無線航空燈臺は、發信局を和白村十六萬坪とし、受信局を糸島海岸十萬坪として航空專用三キロ三臺、陸地用五臺を裝置することゝなり、遞信省工務局荒川無線課長は同地に赴いた。

十五日 學生航空聯盟關西支部は、結成五週年に相當するので大阪朝日新聞社に於て祝賀會を開き、席

上京都帝大辻君の「ピストンリング」大阪商大原君の「空氣力學干渉」の研究發表あり、懇親會を開いた。

十六日 午前九時十分、平壤飛行第六聯隊田野武軍曹は九二式戰闘機を操縱、試驗飛行中、岐阜縣羽島郡川島村上空で機體に故障を生じて不時着の際、電線に觸れて墜落殉職。

日本航空學會では、大阪に於ける最初の講演會を開き、田中館、岩本兩博士始め在阪航空關係者二百名參會、講演及晩餐會が行はれた。

十八日 午後三時二十九分、大阪盾津飛行場に於て、大阪毎日新聞社松下飛行士操縱の一三式は、志鶴忠夫氏操縱の九大グライダー阿蘇號を曳航して離陸し、二百米の高度で大阪市上空を飛行、同三時五十一分、上空でグライダーは飛行機と離れて滑空に移り、同五十五分着陸。我國最初の空中曳航を記錄す。

十九日 九大阿蘇號を志鶴忠夫氏操縱、大阪毎日新聞社の松下飛行士操縱機に曳航されて、この日も午後三時二十四分、大阪盾津陸軍飛行場を離陸、高度六百米で飛行機と離れ、單獨滑空で同四十四分無事着陸。

岩佐憲兵司令官の熱河視察巡行の關東局警察機プス・モス機は午前六時四十五分、承德飛行場發赤峰に向はんとして離陸直後二十米の上空から飛行場に墜落、機體燒失、小尾操縦士、赤星機關士は重傷を負ふ。

二十日 朝日新聞社高性能ソアラー河内飛行士搭乘、小俣飛行士のR三三型機に曳行されて滑翔、羽田沖二粁の空中で機を離れ、快速力を出して飛行した。

二十一日 床次遞相は航空國策樹立問題を重要視し、腹案具體化を企圖して高橋藏相と會見することゝなり、其の上で遞信當局の主張を提示して諒解を求め、內閣審議會に付議することに決定。

二十二日 午後一時四十分、大阪發、東京に向ふ日本空輸會社志知亮飛行士操縦の郵便機は岐阜縣竹ヶ鼻町上空で民家家根に衝突して墜落火災を起し、五戸を燒失す。同飛行士は慘死。

二十三日 午後零時半、元山灣を離水した佐世保海軍航空隊水上機二機は咸鏡南道高原郡水源端燈臺附近に於て濃霧の爲め空中衝突をなし一機墜落、搭乗者三名の中高橋豐中尉は殉職。他は負傷す。

二十五日 立川飛行第五聯隊の八八式偵察機四機の立川——青森間の三時二十四分、大阪盾津陸軍飛行場を離陸、高度六百米で飛行機と離れ、單獨滑空で同四十四分無事着陸。

岩佐憲兵司令官の熱河視察巡行の關東局警察機プス・モス機は午前六時四十五分、承德飛行場發赤峰に向はんとして離陸直後二十米の上空から飛行場に墜落、機體燒失、小尾操縦士、赤星機關士は重傷を負ふ。

二十日 朝日新聞社高性能ソアラー河内飛行士搭乘、小俣飛行士のR三三型機に曳行されて滑翔、羽田沖二粁の空中で機を離れ、快速力を出して飛行した。

二十一日 床次遞相は航空國策樹立問題を重要視し、腹案具體化を企圖して高橋藏相と會見することゝなり、其の上で遞信當局の主張を提示して諒解を求め、內閣審議會に付議することに決定。

新設さるべき臺灣飛行聯隊は嘉義に設置內定の旨、臺灣軍司令部より發表。

館山海軍航空隊の館山——呉間三百六十五海里の無着陸盲目飛行は、鈴木正一大尉指揮の下に艦上攻撃機四機に十二名分乘、午前八時同隊發、同時に潮岬廻り呉に向ふ四百海里無着水飛行は田淵大尉指揮小型飛行艇二機に十二名分乘、午前七時半同隊發、鳴尾に向ふ今川、萩野兩少尉指揮の水上偵察機四機は午前八時同隊發、呉に空輸の中型飛行艇二機は宗雪少佐指揮の下に午前八時館山灣を離水、夫々目的地に向ふ。

二十六日 夜より翌朝にかけて東京、横濱、川崎三市に亘る防空演習豫行實施。

午後十時五十分、所澤陸軍飛行學校龜山計衞大尉操縦、東京警備司令部附福島久作大尉同乘の八八式偵察機は帝都の燈火管制を視察せんと品川區大井北濱川町先海上を飛行中、發動機に故障を生じ海上に不時着。

午前十一時十二分、各務ヶ原飛行第二聯隊中澤昇特務曹長操縦、橋本末中尉同乘の九二式偵察機は、聯合演習中の太刀洗飛行第四聯隊赤司文雄曹長操縦九二式戰闘機と岐阜縣稻葉郡蘇原村坂井千二百米の上空で空

中衝突し兩機共墜落、三氏は殉職。

新潟縣北蒲原郡大日ケ原に於ける新發田第十六聯隊村松分屯隊と聯合演習中の各務ケ原飛行第二聯隊川口一三軍曹操縱、桐山敏夫大尉同乘の偵察機は午前八時四十分、同郡神山村南方二百米の低空を飛行中機關に故障を生じて發火、田圃中に墜落機體燒失、兩氏共殉職。

二十八日 三越の全國從業員八千名が獻納した報國第八十一號三越號の獻納命名式は午後一時半より東京飛行場に於て擧行。

二十九日 佐世保へ歸還飛行の途次、密雲の爲め午後二時三十分朝鮮江原道襄陽の東方十海里の沖に不時着せる大村海軍航空隊小森田義國一等航空兵操縱、松尾正雄三等航空兵曹、大丸忠男一等航空兵同乘の艦上攻撃機は捜査の結果、七月二日殉職と認定さる。

七月

二日 館山海軍航空隊の艦上攻撃機八機は、各務ケ原移動訓練の爲め午前九時半原隊出發、强風と濃霧の中を濡航したが遂に靜岡縣御前崎上空から引き返す途中、新野正雄、小林鐵祖は床次遞相、兒玉拓祖に會見して諒解を求め、內鮮各地を空輸會社機と鐵道との連絡切符を發行する案を說明した。

六日 東京日本橋防護團員醵金に依つて陸軍に獻納した九二式阻塞氣球「愛國第一號防空氣球」命名式は、午前十一時から濱町公園で擧行。

東京、橫濱、川崎三市聯合防空演習は東京警備司令部指導の下に三市聯合防護團が主體となり、日沒と共に警戒管制を斷行、敵機の空襲に對し折柄の雨中に大攻防戰を展開、實戰さながらの演習を行ひ、七日午前七時二十分、牛塚防護團長及西本部防衞司令官等の演習に就いてラヂオ放送があり、第三回防空演習を終る。

七日 大西飛行士は友人と共に愛機フェアチャイルド單葉で三保飛行場へ出發したが、濃霧のため箱根山中でコースを失なひ、山中湖ホテル際に不時着。

八日 霞ケ浦海軍航空隊の擴大に伴ふ二十四萬坪の谷田部分遣隊飛行場に於て、海軍省及本隊より河村少將他幹部出席、盛大なる開場式を擧行。

十日 北海道 飛行演習を終へた濱松飛行第七聯隊岩下聯隊長以下搭乘の輕爆擊機四機は午前七時、靑森縣古間木飛行場出發、惡天候と闘ひつゝ午後零時十五分三方ケ原に歸着。九日夕刻、栃木縣太田原に着陸した重爆擊機二機も午後一時無事歸還。同縣鍋掛に不時着大破した重爆擊機は解體輸送。

十一日 明治大學航空部東日本一周飛行は午前十時二十分、熊谷一等飛行士操縱、白鳥學生同乘、東京飛行場出發、第一日の航程仙臺に向け壯途に就く。

午後二時半、愛知時計電機株式會社の內村靜則飛行士操縱、神保鉦正

氏同乘の陸上機は試驗飛行中、エンヂンの故障から名古屋市南區築港海上に墜落、內村氏は卽死、神保氏は重傷。

日本學生航空聯盟海洋部員五十名は部長松原海軍大佐に引率され、霞ケ浦海軍航空隊を見學、本月二十五日まで十五日間、同隊及友部分遣隊に於て操縱訓練に從ふ。

十二日 遞信省の航空事業調査委員會は午後一時半より遞信省第一會議室に於て開會、會長床次遞相の挨拶後、片岡航空局長から幹事會議事經過を報告し、次いで幹事會の修正になる答申原案をもとに審議を凝らし同四時半散會。

靜岡地方震災視察の爲め、館山海軍航空隊水上偵察機二機、艦上攻撃機四機は午前四時二十分から五時十七分にかけ館山を出發、靜岡、淸水兩市を中心に附近一帶を視察し、中五機は同九時前後に歸隊、一機は故障を生じ下田港外に不時着。

十三日 九時半、高知縣足摺岬沖合で第一艦隊との對抗演習中、赤城搭載の戰鬪機は機關の故障から不時着、機體沈沒、搭乘者三名の中二名は救助されたが、同乘の赤城飛行長山田周祓少佐は行方不明、十五日附死亡と認定さる。

尙同時刻、同艦艦上攻撃機五機は足摺岬沖に不時着、二機は引揚げ、三機は沈沒、搭乘員は全部救助。

相模グライダー倶樂部茅ケ崎海岸練習場開きは午前十時から同海岸で擧行、厚木中學、藤澤中學、藤澤農業學校生徒百餘名參加。

十四日 五月二十九日、天候不良の爲め英領ビルマのダヴオイに不時着して機體を大破した阿野機「靑海號」は修理成り午前五時、ラングーン發、ムールメンに到着。

十五日 午前十時、立川飛行第五聯隊歩兵代誠四郎少尉は同聯隊長田中毅一大佐同乘の新偵察機を操縱、多摩川上空を飛行中、發動機に故障を生じたので不時着の姿勢を取つたが及ばず、急速度垂直降下となり、中央線日野鐵橋東方約三百米の日本電力架空線に機脚を引き掛けて河原に顚覆大破、聯隊長は卽死、少尉は重傷收容後翌日遂に死亡。

朝、館山を出發した館山海軍航空隊の武田中尉指揮艦上攻撃機八機は午前十一時仙臺着、燃料補給の上、午後一時同地發、同四時前後して原隊に歸着。

「靑海號」はムルメン發、午後三時十五分バンコックに着く。

十六日 屛東飛行第八聯隊田中義雄曹長操縱の戰鬪機は演習中、午後六時、惡氣流の爲め基隆鼻頭角沖合に不時着沈沒、同曹長は十七日死亡と認定。

十七日 館山海軍航空隊板谷茂中尉は午前九時半、館山灣鷹の島上空で艦上戰鬪機を操縱、爆擊訓練飛行中、高度二千五百米から二千米を急降下海上の浮標に向つて爆擊のスイッチを切つた刹那、爆彈が爆發して機翼、機體を大破し、同中尉も破片で打撲傷を受けたが同隊飛行場に無事着陸。その沈着ぶりを稱讃さる。

十八日 午前十時半、佛領印度支那の河內を出發、香港啓德飛行場に向つた「靑海號」は雷雨の爲め、廣州灣附近に不時着の際、支那の女をプロペラーにかけて卽死せしむ。

十九日 午前九時二十分、チ、ハル飛行場上空千二百米でチ、ハル飛行第〇大隊高田定太郎大尉は高等飛行中、機關に故障を生じたので水平旋囘で故障を修理しつゝ四百米まで下降したが力盡き、落下傘で飛降りたところ落下傘が開かず、同飛行場西方道路上に墜落殉職。

霞ケ浦海軍航空隊で性能試驗を終へた大阪每日新聞社ロックヒード式アルテア新型機は大藏飛行士操縱、午前九時二十三分東京飛行場發、同十一時十五分大阪城東練兵場に着く。

二十日 二十二日梨本宮殿下の御視察を仰ぐ中越飛行場に奉迎の爲め、帝國飛行協會總務理事四王天中將はオイローバ號に搭乘、午前十一

二十五日 去る十九日、閣議で決定した陸軍航空本部令中改正の件、陸軍航空廠令、陸軍航空技術研究所令、陸軍飛行學校令の改正は八月一日より實施さるゝことゝなつた。

二十六日 遞信省では、明年度豫算案として第一次三年計畫一億五千萬圓、第二次計畫八千萬圓で定期航空路、パラオ、北鮮に至るもの、國内ローカル線等十三線を一齊着手する計畫を樹てた。

二十八日 去る昭和七年九月二十七日、ホロンバイル事件當時、碾子山にて殉職した滿洲航空株式會社板倉機搭乘八氏の「板倉機八士忠魂碑」は、碾子山驛北方に建てられ、午前十時半より除幕式擧行、關東軍司令代理井上少佐外多數參列。

二十九日 午前九時、靑島市に於て山東在留邦人一萬五千の獻納にかゝる報國第八三「靑島號」獻納命名式擧行。

三十日 明野陸軍飛行學校では梨本元帥宮殿下の台臨の下に、航空兵科戰鬪射撃學生　の卒業式を擧行。

神戸高等工業學校航空研究會の高工式グライダーを午後一時半、同校庭に於て會員小原君操縦、玉宮航空官立會で試驗飛行を行ふ。

三十一日 午後零時五分、大阪城東練兵場で大朝コメット機を飯沼飛行士操縦、盾津飛行場に向はんと滑走離陸の途端、見物中の東成區猪飼野中二ノ五三中西方佐井英一(三五)がプロペラに觸れて重傷死亡。

八月

一日 新義州飛行場浸水三尺に及び、旅客機二、警備機一、探照燈等何れも損害。

所澤陸軍飛行學校水崎輩中尉が九三式輕爆撃機を操縦、齊森縣大湊を出發、所澤に歸還の途、午後四時半茨城縣那珂郡勝田村上空でエンヂンに故障を生じ發火、錐揉狀態となつて墜落せんとしたが、同中尉は約十二粁を空中滑走して同郡川田村畑中に無事不時着。

陸軍編成改正により、各務ケ原に第一飛行團設置に付、六軒地中仙道沿ひに司令部新設に着手。

二日 滿洲產金會社では、興安嶺葡萄溝採金場よりハルビンまで產金を空輸することゝなつた。

三日 北滿大洪水のため滿鐵本線不通の對策として、周水子——奉天間にフオツカー3M二臺、スーパー三臺を準備して旅客輸送に當つた。

「靑海號」午前八時二十分、香港啓德飛行場出發、上海に向つたが、機關の故障から午後二時三十五分、福州五庄飛行場に不時着。

四日 「靑海號」午後零時十分、福州發、同五時十分、上海龍華飛行場に着く。

石巻市の旅館阿部たかのさん主唱銀紙蒐集でサルムソン機を建造、大日本義勇飛行會に寄附、午前十時同市雲雀岡で命名式擧行。

六日 チヽハル飛行隊五十嵐政雄

時半東京飛行場發、午後一時五分中越飛行場に到着。

二十二日 靑島在留民より海軍省に獻納する報國機靑島號の寄附金三萬一千圓也は大角海相宛送金さる。

二十三日 **所澤陸軍飛行學校の日本一周飛行は、午前六時所澤を出發した八八式偵察機三機と九一式戰鬪機三機は同八時半、仙臺上空を通過したが天候不良の爲め一ノ關附近から引返し九時半仙臺に着陸、天候回復を待つて九一式三機は午後二時二十分仙臺發、途中能代で燃料を補給し、同六時半富山飛行場に到着。**

二十四日 **日本一周飛行の所澤陸軍飛行學校九一式戰鬪機三機は朝富山飛行場出發、太刀洗を經て歸還の途中、箱根山で雷雨に包まれ佐々木琴治曹長操縦機は午後七時五分、三島練兵場に不時着の際、滯に車輪を引きかけ機體は轉覆大破、同曹長は輕傷、他の二機は同七時二十分所澤に無事歸還。**

軍曹は午前八時、同所上空で高等飛行の練習中、機體の故障から同飛行場西方に墜落殉職。

七日 朴敬元孃が鄕土訪問日滿親善飛行の途伊豆玄岳で遭難して三周年、地元多賀村では慰靈祭を實施、慰鮮出身李貞喜孃は午前十時四十分、遭難記念碑近く低空飛行を行ひ花環を投下す。

陸軍　少年航空兵願書は、整理中のところ、操縦科千六百八十四名、技術科は四千四十五名に達した。

八日 廣島縣宮島から山口縣宇部まで一三〇粁のエア・タクシー料金一人五十圓を計畫し、宮島航空研究所より出願。

九日 午前十時五十分、陸軍士官學校航空兵科乘所澤陸軍飛行學校教官家里東陽夫大尉が八八式偵察機を操縦、高度三百米附近で宙返りの剩那錐揉狀態となり、府下北多摩郡大和村雜木林に墜落殉職。

十一日 名古屋遞信局主催の航空郵便懸賞は應募者三萬六千四百名に及び、一二三等九十五名に航空旅行券を進呈。

十三日 午前九時半、平壤飛行第六聯隊所屬藤田少尉操縦、中山中尉、村田軍曹同乘の輕爆撃機は立川に飛行の途、三重縣上野町上空に於て機關に故障を生じ服部川畔に不時着、藤田少尉は無事、中山中尉は重傷、村田軍曹は輕傷を負ふ。次いで九時五十分、突如ガソリンに引火して爆發、機體燒失し群衆二十數名負傷。

十五日 霞ケ浦海軍航空隊第二十期操縦練習生卒業式は午前八時同隊で擧行。

「靑海號」は午前七時四十五分、上海を出發したが濃霧のため海上を飛行すること八時間餘、午後五時十分六村海軍飛行場に不時着。

十六日 「靑海號」は午前七時四十五分大村發、同八時三十分太刀洗着、午後三時三分日本空輸會社上り旅客機の先導で同地發、同六時五分大阪城東練兵場に着いたが、着陸指定地無斷變更の件で玉宮航空官の取調べを受く。

十八日 **「靑海號」午後零時十三分大阪出發、同二時四十分東京飛行場に着く。鵬程一萬七千粁、去る五月十二日英國出發以來九十九日振りの苦心に成る飛行であつた。**

十九日 三菱重工業株式會社の購入したドイツ製ユンカース・JU一六〇型旅客機の組立てが完成したので、各務原飛行場で試驗飛行。

二十日 東日本都市訪問飛行の秋谷マリエさんは、夫君同乘のサルムソン機を操縦して午前六時半東京飛行場出發、同九時四十七分仙臺着、午後三時二十五分新潟に到着。

二十一日 秋谷機は午前九時二十分、新潟飛行場出發、同十一時二十五分富山飛行場に着陸の際、機脚破損。

二十二日 阿野勝太郎飛行士の指定コース無視航空法違反の査問會は午前十時航空局に於て田村監理課長、新井技術課長以下より長時間取調べを受く。

京都第一工業學校倉橋周治氏設計のボックス・ガーターの新グライダー完成し、畠山航空局技手の檢査を受け練習に使用。

二十三日 午前十一時、阿野飛行士に對し遞信大臣賞三つ組大銀盃授與さる。

秋谷機は午前、富山發北陸線森田驛上空三百米で發動機の過熱から運轉不能、福井市外北野競馬場に不時着、秋谷飛行士は輕傷を負ふ。

新たに英國のエアスピード會社から購入した日本航空輸送會社のエンヴオイ旅客機は、太刀洗に於て訓練の上、蔚山へ空輸。

二十五日 銀座柳號の大日本義勇飛行會の贈呈式は午後一時三十分、洲崎飛行場で擧行。

その餘興で田中飛行機研究所林茂

飛行士操縦アヴロ機に、パラシューター光野君子孃が搭乗して午後四時三十五分、三百五十米の高度から降下の際、パラシュートの連繫索が離脱せず、同孃は宙吊りとなつて人事不省に陷つたが約五分間の後、漸く離脱して筏上に落下重傷を負ふ。

二十七日 師團長會議に御上京中の第四師團長東久邇宮殿下には南部御附武官を從へさせられ、午前十時東京飛行場發の日本空輸旅客機で御歸任、午後零時四十分大阪飛行場に御安着遊ばさる。

午後二時半より帝國飛行協會では阿野飛行士に對し、飛行館鳩の間に於て紅色有功章授與並奬勵金壹千圓の贈呈式擧行。同三時半より講堂に於て同飛行士の講演會開催。

二十八日 午前十一時三十分、濱松陸軍飛行學校四機は靑森飛行場を出發、歸還飛行の途中、小名濱附近で天候不良の爲め引返し、三機は仙臺飛行場に着陸したるも同校附濱谷憲二航空兵曹長操縦、飛行第八聯隊檜本正二航空上等兵同乘の輕爆撃機は福島縣石城郡夏井村海岸に墜落、兩氏殉職。

二十九日 愛知縣八幡山の熊崎惣二郎氏出願の名古屋擧母町西端十一萬五千七百平方米、滑走區域五百米の非公共用飛行場設置は許可さる。

九州帝大航空會では松浦航空官指揮、阿蘇山大觀峰におけるグライダー練習を開始。

三十日 大角海相は午前九時九分、荒川沖驛着の列車で霞ヶ浦海軍航空隊に來隊、水陸兩班の施設を視察後、谷田部、友部兩分遣隊を視察し午後三時半友部發歸京。

三十一日 所澤陸軍飛行學校第將校操縦學生卒業式は午前九時畏き邊から御差遣の朝香近衞師團長宮殿下を始め奉り林陸相以下列席の上擧行さる。

九月

一日 愛知縣下に聯合大防空演習より陸軍省へ獻納された九〇式大空中聽音機其他の命名式は午前十一時から日比谷公園で擧行。

五日津田沼から岐阜縣高山町目指して郷土訪問飛行の途、荒天の爲め東京飛行場に待機してゐた上仲鈴子孃は、安岡飛行士附添の下に午前十一時四十五分離陸したが、惡天候の爲め鎌倉上空より引返し、午後二時四十五分再び羽田を出發、同四時五十分各務ヶ原飛行第二聯隊飛行場に着陸。

七日 午前十時より東京飛行場に於て、海相代理鹽澤海軍航空本部長出席、東日本洋服商聯合會獻納報國第八二號、大日本飛行少年團獻納報國第八四號の獻納命名式を擧行。

上仲機は午後二時五十分各務ヶ原出發、途中益田、大野、吉城三郡下の鄕土民にメッセージを投下、同四時、高山町郊外上野平に安着。

八日 日本帆走飛行聯盟の東京飛行少年團三十名は午後一時から洲崎飛行場でグライダー天風號を組立て羽太、岡、大多和飛行士立會の下に

第一回練習を實施。

九州帝大の帆走機は阿蘇大觀望に於て志鶴飛行士により午前十一時廿八分離陸、滯空四時間十二分で午後三時四十分、熊本縣菊池郡北合志村小原に着陸、新記錄を作る。

十一日 增水のため久しく使用を中止してゐた新義州飛行場は本日から再び民間航空發着を開始した。

十二日 午前九時二十分、館山海軍航空隊艦上戰鬪機報國第五四號を洲原輝三等航空兵曹操縦、戰鬪飛行訓練中、一千米の上空で機翼離脫、機體は那古町觀音堂前に墜落、操縦者は重傷收容後死亡。

民間航空の發達に伴ひ勅令を以て「飛行機操縦指導の爲め學校等に陸軍現役將校以下派遣の件」を公布さる。

十四日 大村海軍航空隊所屬九〇式戰鬪機三機は午前十時十八分、同隊上空にて一番機と二番機と接觸し、一番機搭乘の山下少尉は落下傘で無事降下、二番機搭乘の大橋正則一等航空兵曹は機體と共に海中に墜落殉職。

十五日 東京朝日新聞社に於ける航空犧牲者慰靈祭は午前十一時から東京飛行場同社格納庫で擧行。尙大阪に於ても午後四時半から大阪城東練兵場同社格納庫で擧行。

鳥取縣六橋町では大阪朝日新聞社の酒井飛行士、片桐機關士殉難追悼慰靈祭を午前十時から同町立石城趾の殉難碑前で擧行。

隱岐——松江間第一回定期航空は午前十一時二十分、日本海航空會社城崎第一號機及松江號の二機によつて決行。午後零時五分隱岐黑木水上飛行場に到着、兩機は午後二時二十分同飛行場出發、松江號は一路城崎に向ひ、城崎第一號機は松江に着水。

北海タイムス社主催の札幌——帶廣間二四〇粁の定期航空は、同社上出飛行士操縦、六百四十九通の郵便物を積載して往復した。

去る十日、高山町出發、名古屋に到着した上仲鈴子孃のサルムソンA二型旅客機で正操縦士藤田雄藏大尉以下民間操縦士等十名搭乘、午前五時十分離陸、一路新京へ向つたが、天候不良の爲め同七時三十分、八日市飛行場に不時着。

十六日 午前七時、京城飛行場より日、滿、支親善飛行の途に就いた愼鏞頊飛行士操縦、坂田源吾機關士同乘の飛行機は龍井村に着陸、午後一時新京に向つたまゝ消息を絶つたが、ガソリン缺乏で京圖線秋梨溝驛附近に不時着。

聯合艦隊所屬航空母艦龍驤乘組奧義光中尉は午後零時三十分、艦上戰鬪機操縦飛行中、機體に故障を生じ津輕海峽海上に不時着。機體は沈沒、同中尉は殉職。

十七日 東京——新京間を一日で結ぶ日滿高速連絡飛行に、陸軍航空技術研究所では立川飛行場で飛行班長恩田少佐指揮の下に、ダグラスDC二型旅客機で正操縦士藤田雄藏大尉以下民間操縦士等十名搭乘、午前五時十分離陸、一路新京へ向つたが、天候不良の爲め同七時三十分、八日市飛行場に不時着。

十八日 日滿連絡のダグラス機は午前八時八日市飛行場發、同十一時三十一分京城飛行場着、給油の上午後一時五分同所發、同二時五十分關東軍、滿洲航空會社代表、一般市民の歡迎裡に無事新京飛行場に着陸。

愼飛行士の日、滿、支親善飛行機は午後二時吉林發、同三時新京に到着。

十九日 太刀洗飛行第四聯隊では石津中尉操縦、佐々聯隊長同乘の八八式を先頭に八機を三木大尉指揮、九二式戰闘機十臺を江山、吉岡兩大尉指揮して北九州一帶を午前九時より一時間半に亘つて一周。

二十日 午前八時四十五分、霞ヶ浦海軍航空隊水上班の九三式水上中間練習機を藤澤辰次郎三等水兵が操縦訓練飛行中、同隊を距る北方五粁

の新治郡上大津村菅谷の畑中に墜落、機體粉碎搭乘者は卽死。

ダグラス機は歸還の途に就き、午前八時五分ハルビン發、同九時五十五分奉天西飛行場に到着。

愼飛行士の日、滿、支親善機は午前十一時二十分、奉天飛行場に新京から到着、午後一時半離陸、錦州に向ふ。

二十一日 午前七時、奉天發京城經由のダグラス機は、天候不良の爲め午後一時四十八分、太刀洗に不時着。

午後二時半から東京日々新聞社に於て、同社並日本帆走飛行聯盟主催の上越上野原高原に開催せるグライダー講習員に、帝國飛行協會制定の三級グライダー飛行證第一號より第三十五號までの授與式擧行。

堺市日本航空輸送研究所では、同飛行場に建設中の空の犧牲者の英靈を祀る征空碑が竣工したので、昨年の風水害の復興完成を兼ねて午後一時から征空碑除幕式を行ふ。

二十二日 午前九時五十分、太刀洗を出發したダグラス機は途中密雲と豪雨に難航を續け、立川に向ふ豫定を午後二時三十五分、東京場行飛行場に到着。

二十三日 ダグラス機は午前八時五十分東京飛行場發、同九時十二分立川着。

午前十一時半、徐州發の愼飛行士機は午後三時半、南京郊外故宮飛行場着。

二十四日 鐵道省々營航空路の調査委員として陸海軍側から和田海軍大佐、高橋航空兵中佐、遞信省中尾書記官等に決定委囑した。

二十六日 郵船龍田丸でフランスの名飛行家マルセル・ドレー氏は、新日報社のサルムソン機で空中寫眞を完成。

三十日 帝國飛行協會の功勞者に對する御下賜品御親授式並に航空神社例祭合祀祭は、總裁 梨本宮殿下の台臨を仰ぎ奉り、午後三時より飛行館に於て多數の官民來賓、遺族列席の上擧行、陸海軍並民間飛行機三十機は飛行館上空より空中參拜を行ふ。

讀賣新聞社熊川飛行士操縱のスチンソン機に、東京文理科大學八木博士が搭乘し、各高度における都市空中の細菌檢査を行なつた。

十月

一日 京都府與謝郡粟田村在に新設の舞鶴海軍航空隊の開隊式行なはれ、後藤要港部司令代理臨場の下に擧行。

二日 グライダー研究の指導に當るべく獨逸滑空界の第一人者ウオルフ・ヒルト氏はシュトルツ技師、バウアー飛行士と共に來朝、午前七時十分東京驛着。

臺灣へ空輸の日本航空輸送會社加賀飛行士操縱スーパー旅客機は午前八時太刀洗出發、午後二時五分那覇飛行場に到着。

朝鮮に飛行したオイローパ號は無事目的を果し、午前八時二十六分京城飛行場發、歸京の途に就いたが天候險惡の爲め同十一時五十分蔚山に着陸、午後二時同地發、同四時十分太刀洗に着陸。

三日 横須賀海軍航空隊所屬九二式艦上攻撃機三機は大村に向ふ途中、鈴鹿山脈上空で荒天に遭ひ楠木、田中兩大尉搭乘の二機は午前十一時五十分大阪飛行場に不時着、他の一機は午後二時吳に着陸。

宇部——宮島間航空路開設のため、宮島航空研究所の竹内飛行士は一五式水上機で、宇部に試驗飛行。

四日 佐伯海軍航空隊の横須賀往復飛行は、池田少尉指揮の艦上攻撃機五機で午後零時四十分横須賀到着、午後二時四十五分、故障の一機を殘して玉井大尉指揮出發、午後五時大阪着一泊。

亞細亞航空學校朴奉祉一等飛行士の朝鮮全羅南道羅州邑郷土訪問飛行は、甲式四型戰鬪機をもつて午前七時二十五分、洲崎埋立地飛行場を出發壯途に就いたが、水ポンプの故障で同十時五分八日市飛行場に不時着、同十一時四十五分大阪飛行場に着陸。

加賀飛行士操縱の內臺空輸機は那覇出發、午前十時二十五分臺北飛行場に安着。

東京日日新聞社岡飛行士操縱ブレダ機は午前十一時京城飛行場出發、朝鮮八景八勝當選の扶餘、內藏山白羊寺、邊山半島の空を祝賀飛行の後、午後三時半歸還。

五日 朴飛行士の郷土訪問機は午前八時二十分、大阪飛行場發、同十一時三十分太刀洗着、午後一時半同地發、同三時二十三分蔚山に着陸の際、機體大破。

遞信省 海軍委託學生四名は午前八時、內田少佐指揮九三式中間練習機四臺に分乘して霞ヶ浦發、午前十一時、各務原着、一泊の上歸還。

訪郷飛行準備中の李貞喜孃は午後三時三十五分、羽田東京飛行場でブルーバード輕飛行機で練習中、誤つて地上に激突大破したので、折角の雄圖も當分再起覺束なくなつた。

六日 愼飛行士のサルムソン機は午前七時十六分、京城發內地訪問飛行に上り、同九時二十五分蔚山着、同十時三十八分同地發、午後零時三十八分太刀洗に無事着陸。

七日 先月末、デボアチーヌD五一〇型戰鬪機を携へて來朝したマルセル・ドレー氏は、午後一時半から所澤陸軍飛行學校で堀航空本部長、德川飛行學校長等多數立會の下に各種高等飛行を行ふ。

午前十一時四十分、大阪飛行場を出發した愼飛行士は午後三時三十五分、羽田東京飛行場でブルーバード輕飛行機で練習中、誤つて地上に激突大破したので、折角の雄圖も當分再起覺束なくなつた。

六日 愼飛行士のサルムソン機は午前七時十六分、京城發內地訪問飛行に上り、同九時二十五分蔚山着、同十時三十八分同地發、午後零時三十八分太刀洗に無事着陸。

七日 先月末、デボアチーヌD五一〇型戰鬪機を携へて來朝したマルセル・ドレー氏は、午後一時半から所澤陸軍飛行學校で堀航空本部長、德川飛行學校長等多數立會の下に各種高等飛行を行ふ。

午前十一時四十分、大阪飛行場を出發した愼飛行士は午後三時十五分東京飛行場に着く。

日本帆走飛行聯盟、東京日々新聞社並飛行協會主催、獨逸グライダー界の權威ウオルフ・ヒルト氏の講演會は午後六時半から飛行館講堂に開催さる。

遞信省 陸軍委託學生は八八式三機で山本八尉指揮、午前八時所澤發、午後一時青森着。又、同校少年航空兵は九三式單輕爆三機で大島まで海洋飛行を行なつた。

八日 横須賀海軍航空隊の横須賀——富田濱間長距離飛行演習のため、林田少佐指揮一四式水上偵察機三臺は午前七時四十分、横須賀發、同十時二十分富田濱着、給油の後、正午原隊に向け歸還。

館山海軍航空隊の館山——各務ケ原日歸り飛行は、牧野中尉指揮の下に艦上攻撃機七機午前八時館山發、同十時半各務ケ原着、燃料補給の上、午後歸還の途に就く。

當分一週一往復の內臺定期航空は本日をもつて開始され、午前七時太刀洗を出發した大森飛行士以下搭乘の日本空輸會社フオツカー3M機「かりがね」號は同十一時五十分

那覇着、午後四時五十分臺北飛行場に安着。飛行時間八時間五十分。

佐伯海軍航空隊所屬艦上戰鬪機二機は午前十時四十五分、飛行場上空にて訓練中、空中衝突し兩機とも早ケ鼻の河中に墜落、搭乘者藤本義晴一等航空兵、倉地守憲二等航空兵は殉職。

九日 橫須賀海軍航空隊所屬飛行艇は午前六時半、大連發歸途に就き、午後五時五十分原隊に安着。

十日 愼飛行士は午前五時二十分、東京飛行場發歸途に就き、同八時四十分大阪着、給油の上同十時太刀洗に向け出發、午後二時二十分同地着。

午後零時十分、香川縣三豐郡莊內村大濱小峰一海里の上空に於て、佐世保海軍航空隊所屬偵察機は空中衝突し兩機とも海上に墜落、白地武人少尉、久野豐一三等兵曹、岸川春雄二等兵曹殉職。

午前九時十五分、京城飛行場を出發した東京日日新聞社岡飛行士操縱のプレダ機は、西北鮮の八景八勝を視察飛行中、行方不明となる。

十一日 阪神防空演習は今夜の燈火管制實行を序曲として十二、十三兩日大阪府の大部分、神戸市、兵庫縣武庫郡、川邊郡に亘る大阪灣沿岸一帶に實施さる。

橫須賀海軍航空隊內に建造の追濱航空神社鎭座祭並慰靈祭は、午前八時半から杉山司令以下參列、同隊開設以來の犧牲者五十柱を合祀冥福を祈る。

內臺聯絡定期航空の「かりがね」號は午前九時半臺北飛行場出發、復航の途に就き那覇着一泊。

十二日 日、鮮、滿、支飛行を完成して歸途にあつた愼飛行士は、京城飛行場に歸着。

十三日 「かりがね」號は午前六時五十九分那覇發、途中雨と密雲に難航を續け、午後零時四十二分無事太刀洗に到着。

十五日 午前八時二十分、橫須賀海軍航空廠實驗部附操縱士松尾義雄氏は戰鬪機を操縱し東京灣上空で試驗飛行中、行方不明となる。

日本航空輸送研究所の大阪——白濱間定期飛行は五ケ月振りに復活、ハンザ式單葉水上機「千鳥號」を池田飛行士操縱、午前十時四十五分大阪發、同十一時五十分白濱着。同所にて遊覽飛行の後、午後三時發歸阪す。

太刀洗に飛來して蔚山、都城、琉球上空で夜間航法を實施中の濱松飛行第七聯隊井戶田大尉指揮の重爆擊二機は任務終了、岩下聯隊長同乘して海上コースにより、午後零時五十分出發歸還。

橫須賀海軍航空隊攻擊機三機は新田、田中兩大尉、大石兵曹長搭乘、密雲をついて今曉六時、大村着、更に同夜歸還、長距離夜間往復飛行に成功。

十六日 去る五月以來、新航空路として大阪——新潟間定期飛行を行なつてゐた朝日定期航空會は、東京——新潟線一〇四回、二三二時間二五分、三九、五二〇粁、大阪——新潟線一六回・七七時間五四分、九、六〇〇粁で終了。

十七日 ウオルフ・ヒルト氏は所澤飛行場に於て午前九時半よりゲツビンゲン一型「ウオルフ號」に搭乘、バウアー氏操縱の輕飛行機クレム二五型機の曳航によつて離陸、折柄の秋雨を衝いて公式試驗を實施、同十一時終了。

鐵道省では、日本空輸會社と連絡して空陸連帶切符發賣中のところ、本日初めて大阪——名古屋間の連絡切符NO1號が賣れた。

十八日 ヒルト氏は「ウオルフ號」を操縱、バウアー氏操縱のクレム機に曳航されて午前十時二十五分所澤發、午後零時四十六分上田飛行場に着陸。やがて同飛行場東南方烏帽子岳山上に空中曳航され、宙返り、錐揉み等の妙技を演ず。

エチオピア戰亂寫眞急送のため、朝日新聞社飯沼飛行士は川崎C五型で十七日早朝滿洲里發、荒天をついてハルビン着、原稿を汽車便で本日朝新京へ送り、新野飛行士はA六型で濃霧を冒して午後零時二十分發、太刀洗に飛行。

十九日 午前十時二十二分、太刀洗飛行場を出發した日本空輸會社森田飛行士操縱定期旅客機は旅客一名を乘せ飛行中、同十一時四十五分發動機に故障を生じ蔚山の南方百米の海中に不時着したが、搭乘者は附近の漁船に救助さる。

二十日 午後四時、名古屋飛行學校元島喜讀二等飛行士は小幡ケ原飛行場で、プライマリー式グライダーを操縱練習開始の際、急激なショックによつて足を踏みすべらし、十米の高度から墜落、頭部を强打人事不省に陷り、直ちに病院に收容手當を加へたが同四時半死亡。

二十一日 京洛の空を護る帝都防空演習は河村司令官を防衞司令官、鈴木知事を統監として午後二時開始。

海軍航空豫備學生の卒業飛行は桑原大尉指導、井口大尉指揮の下に九二式艦上攻擊機四機に分乘、午前七時三十分霞ケ浦海軍航空隊出發、同十一時大阪眉津陸軍飛行場に到着。

二十二日 下志津陸軍飛行學校の九二式偵察機六機は演習の爲め盛岡に向ふ途中、午前十一時半宮城縣登米郡南方村上空に於て眞海軍曹操縱、梶原曹長同乘機は機關の故障から不時着滑走の際顚覆。

新井遞信省航空局技術課長は內鮮航空の空港候補地として擧げられてゐる下關市外長府町松小田海岸埋立地を視察す。

二十三日 十八日より上田飛行場で帆走指導を續けてゐたヒルト氏は、午前十一時ゲツピンゲン一型に搭乘、クレム機に曳航されて所澤に歸還。

二十五日 遞信省航空局委託生　の卒業式は午前十時、所澤陸軍飛行學校で行はれ、篠原幹雄氏は遞信大臣賞を贈らる。

日本空輸會社細川飛行士操縱の旅客機に遞信省工務局無線課多田幸穗氏他二氏搭乘、マルコニー會社製航空機用ラヂオを積んで午前九時二十九分東京飛行場發、地上と送受信を行ひつゝ同十一時二十分名古屋着、午後一時同地發東京に歸還す。右試驗は一週間に亘つて實施さる。

二十六日 ヒルト氏は午後二時より所澤飛行場に於て、軍部關係者に對し實演を供覽し同三時終了。

第二回全日本學生航空選手權大會を記念して航空思想普及の爲め、大阪朝日新聞社主催の航空大講演會が午後六時半より大阪朝日會館に開催。

二十七日 午前十時五分、大阪飛行場を離陸して太刀洗へ空中輸送の日本空輸會社旅客機エンヴオイ機は同飛行場西北隅の外柵に觸れ轉覆大破、同乘の航空局大阪出張所大場技手並野寺飛行士は打撲傷を負ふ。

八日市飛行第三聯隊では井下聯隊長指揮の下に八八式偵察機による朝鮮飛行を計畫、午前十時五十五分出發、午後二時三十六分第一戰隊の着陸を始めとし、無事太刀洗に到着。

チヽハル飛行隊附小川安正航空兵中尉は熱河省に於ける匪賊討伐に參加、熱河省建平縣城附近上空から匪賊を攻擊中、敵彈の爲め戰死。

二十八日 大阪朝日新聞社主催第二回全國學生航空選手權大會は、午前七時から大阪眉津陸軍飛行場に於て開催。東西學生五十八名參加、種々の競技は無事終了したが六種目競技中、五種目まで關西側に凱歌擧がる。

第二回航空野武士會を午後六時より大阪南地本みやけで開催、關西側八名、關東側五名出席、氣焰を吐いた。

八日市第三聯隊　機は午前六時、太刀洗發、同十一時半から午後零時四十分までの間に全部平壤飛行場に到着。

大阪市大阪ホテルに開かれた第十

四回大都市事務協議會に東京市から「都市防空法制定促進案」提出さる。

二十九日 午後一時より東京飛行場でエンヴオイ旅客機試乘に望月遞相初乘をなす。

二十四日東京發、撫順に向ふ途中、大阪飛行場着陸の際、格納庫に機翼を打ちつけ破損した齋藤國松二等飛行士のサルムソン機は、航空局の注意で關口一等飛行士同乘午前七時五十四分大阪發、同十一時五十分太刀洗着、ガソリン補給の上蔚山に向ふ。

三十日 全國聯合小學校教員會關係の小學校、青年學校、幼稚園の教職員及兒童の獻納艦上輕爆撃機報國第八十五號「教育號」の命名式は午後一時より東京飛行場で行はる。

齋藤機は午前九時二十五分蔚山發午後零時六分京城飛行場に到着。

午後五時、大阪眞津陸軍飛行場上空で九帝七型グライダーに志鶴飛行士搭乘、大阪毎日新聞社の松下飛行士操縦飛行機に曳航され、高度四百米で牽引ワイヤを離脱し、同機初めての飛行機による曳航飛翔テストを行ふ。

ヒルト氏はバウア氏同伴、羽太飛行士等と共に十國峠より箱根町に至る一帶のスロープを實地視察。

三十一日 八日市飛行聯隊の歸還飛行は午前六時半、平壤出發、原隊に向ひ第二中隊の五機が太刀洗へ、第一中隊の一機が岡山へ夫々燃料不足の爲め着陸したのを除いて、第一中隊は午後一時三十五分沖野ヶ原に着陸、ついで第三中隊の五機も約五分遲れて着陸、太刀洗で給油の第二中隊五機も同五時歸還、三千八百二十粁に亘る連續長距離編隊飛行を完成。

東京市日本橋區武揚堂書店主小島武夫氏は航空施設費として金五百圓を陸軍省に獻金、同省では直ちに學藝技術奬勵費として受領。

故郷訪問飛行中の齋藤國松二等飛行士の撫順號は、無事城外永安假飛行場に安着。

十一月

一日 大阪天王寺茶臼山で、亞細亞聯盟主催航空先覺者慰靈祭行なはれ、始祖表具屋幸吉の靈も合祀した。

二日 所澤に新設の陸軍航空技術學校開校記念祝賀會は、午前九時より堀陸軍航空本部長其他航空關係二百餘名參列、盛大に擧行。

望月遞相は午後五時半から官邸に遞信省委託操縦生第一期の小川寛爾、伊藤治郎、羽太文夫、河内一彦、永田重治、國枝實諸氏を招き、片岡航空局長初め新井、小松兩課長等と一夕の歡談を催す。

三日 日本帆走飛行聯盟では大阪眞津陸軍飛行場で練習飛行を行ひ、午後三時三十二分松下飛行士曳航、志鶴飛行士操縦の高性能ソアラー九帝七型は高度八百米で曳航索を離れ高等飛行の妙技を見せる。

六日 ヒルト氏は上田陸軍飛行場に來り千曲川上空で高等滑空飛行を行なひ、熱心に帆走指導をなす。

館山海軍航空隊では熊谷中尉指揮戰鬪機四機の館山——明野間日歸り飛行、清水中尉指揮小型飛行艇三機の館山——舞鶴間飛行、中尾兵曹長指揮水上偵察機三機の館山——富田濱間日歸り飛行は午前八時、原隊出發、明野飛行は午後三時半、富田濱飛行は午後四時歸隊、舞鶴飛行は同地に一泊。

七日 チ、ハルでエンヂン修理を終つた大阪朝日新聞社C・五型機は、長友飛行士操縦、午前十時十分同地發、ハルビンに向ふ途中、機關の故障から同十一時十五分、朱驛西方の鐵道沿線に不時着、機翼と脚を破損。

陸軍特別大演習に際し、福岡日々新聞社のフエアチヤイルド機に片山飛行士、飯島機關士搭乘して熊本より鹿兒島、宮崎縣下一周の聖駕奉迎飛行を行なつた。

館山海軍航空隊では、引つゞき明野——富田濱の日歸り飛行及び今村中尉指揮小艇三機の舞鶴訪問、松永

司令搭乘機も飛行した。

正午より帶山練兵場で大阿蘇グライダー・クラブ發會式が擧行され、久保田太飛行士外四臺の帆走機が快翔した。會長丸山一男氏。

八日 南九州陸軍特別大演習のため、日本航空輸送會社では本日から十七日まで午前四時羽田發、十時四十分鹿屋着、午前十一時半鹿屋發、午後八時半羽田着の臨時郵便飛行を開始。

名古屋市の有力者より成る航空談話會發會式を偕行社で開き、四王天飛行協會總務理事外百八十名出席、青木鎌太郎氏を會長に推し、防空の實を擧ぐることゝなつた。

ヒリツピン親善飛行の大阪毎日新聞社ロツクヒード機は大藏操縦士、布施機關士兩氏搭乘、大阪城東練兵場から出發地羽田飛行場へ空中輸送した。

故郷訪問中の尾井角辰飛行士は、去る七日富山飛行場出發、松本飛行場に一泊の上、本日東京へ歸着。

九日 帝都防空協會の東京市江戸川區上篠崎江戸川飛行場起工式は午後一時から擧行。

舞鶴海軍航空隊では格納庫其他諸設備落成、午前十時半から松下要港部司令官、鈴木京都府知事等官民五百餘名參列擧行。

上田陸軍飛行場で行はれたヒルト氏を中心とするグライダー講習會は終了。

南九州方面に陸軍特別大演習開始され、夜にかけて華々しい空中戰が都城飛行場を中心として行なはる。

十日 比律賓獨立を記念する大毎・東日新聞社の日比親善マニラ訪問のロツクヒード機は大藏飛行士操縦、布施機關士、福本記者同乘、午前十時東京飛行場を出發壯途に就き午前十一時五十分大阪着、零時四十分同地發、同三時太刀洗飛行場に到着。

撫順に滯在中の齋藤飛行士は故郷鐵嶺へ飛行して午前十一時二十五分着、大歡迎を受け、母校撫順中學に愛機を寄贈。

十一日 午前十一時、吳鎭守府所屬航空母艦龍驤牧野中尉操縦、細川一等航空兵曹同乘の艦上攻撃機に野外飛行演習中、廣島縣安藝郡下浦苅島の畑中に墜落、細川一等航空兵曹は落下傘で無事降下、牧野中尉は殉職。

訪比ロツクヒード機は午前九時、太刀洗出發、一千六百粁を飛び午後二時四十一分臺北飛行場に着陸。

十二日 **ロツクヒード機は午前十時五分、臺北を出發、千五百粁を翔破して午後三時二十八分、マニラ市外グレース・パーク飛行場に安着。東京—マニラ間 總距離 四千三十二粁、飛行時間十四時間五十四分。**

大藏省豫算省議の結果 遞信省より要求せる民間航空事業擴張費千三百七十萬圓は對外關係のみが認められ、國内航空路の擴張は百二十八萬圓に壓縮さる。

十三日 吳鎭守府所屬報國第三號を南野少尉操縦、他二名同乘して宮崎縣より吳に歸還飛行の途、機關の故障から午前八時四十分、愛媛縣西宇和郡四ツ濱村大久東海岸に不時着せんとして海中に墜落、機體大破。

午後三時半から櫻澤如一氏が飛行館鳩の間に於て「プー・ド・シエル」を航空關係者に紹介す。

特別大演習に參加した濱松飛行第七聯隊の重爆撃機六機は、太刀洗を出發し、七百粁を三時間半で翔破。

十六日 兵庫縣選出代議士多木久米次郎氏は日比飛行の成功を祝し、搭乘者に金壹千圓也贈呈方を岡東京日々新聞社會長宛申出づ。

平壤第六聯隊の戰鬪射撃演習は咸興平野で行なはれ、元山を中心にして猛演習を擧行。

十七日 岡山市防空豫行演習は午後一時から演習統監上野衛戍司令官統裁の下に實施、同四時迄晝間演習、同八時夜間演習を以て終了。

南九州大演習地行航空便は本日をもつて終了したが、宮崎郵便局の差立數四十九通、到着數九十四通の不

成績であつた。

十八日 臺北――福州間日支親善飛行のため、日本航空輸送會社の「かりがね號」フオツカー3M機は加賀、森田、森、鈴木氏搭乘して太刀洗飛行場を出發。

「かりがね」號を加賀飛行士操縦、前田機關士、森通信士搭乘、親善使節として總督府の坂本外事課長が同乘、午前九時七分臺北飛行場發、同十時五十四分福州飛行場に着陸。

ヒルト氏は名古屋市外小碧原に赴き、名古屋グライダー研究會員を指導し模範滑空を行ふ。

二十日 午前九時五分、マニラのニコルズ陸軍飛行場を出發、歸還の途に就いた大藏操縦士のロックヒード機は、バシー海峽上空にさしかゝつたが天候險惡で飛行困難に陷り、午後一時半（日本時間午後二時半）遂にニコルズ飛行場に引返へす。

ヒルト氏は大阪眉津陸軍飛行場で志鶴氏操縦のグライダー滑空を視察し、午後六時大阪毎日新聞社講堂で講演をなす。

二十一日 日支親善の雁號は午後零時二十分臺北飛行場に歸着。

ロックヒード機は午前九時十五分、ニコルズ陸軍飛行場出發、一路臺灣に向ひ、午後二時二十六分臺北飛行場に無事着陸。

岐阜縣各務ヶ原に於ける第一飛行團開廳式は午前十一時から盛大に擧行。

二十三日 午前九時三十七分、臺北を離陸したロックヒード機は突如琉球諸島に襲來した惡氣流に難航をつゞけ午後一時、那覇飛行場に着陸。

日本帆走飛行聯盟の箱根山十國峠に於けるグライダー練習は、本日より三日間、ヒルト氏指導の下に行はる。

日本學生航空聯盟内にグライダー部を設置することゝなり、午後一時より東京飛行場東京朝日新聞社格納庫に於て、其の發會式を兼ね第一回總會を開催。

二十四日 日本帆走飛行聯盟の十國峠練習第二日は午後二時二十六分、志鶴氏は三十一分の飛行後、山頂出發點に戻り、豫定通り出發點に着陸の好成績を收めた。

臺灣に於ける最初の遊覽飛行は、日本空輸會社のフオツカー機で二十五回飛行し、百五十名を同乘させて遊覽飛行の記錄を作つた。

二十五日 日比親善飛行のロックヒード機は午前八時、那覇飛行場を出發太刀洗に向ひ、同十一時三十八分同地に着陸、ガソリン補給の上午後零時十五分同地出發、同二時十五分大阪城東練兵場に着陸。

二十六日 日比親善飛行のロックヒード機は午前十時大阪發、同十一時四十分東京飛行場に歸還。

富士山麓で横須賀陸軍砲兵學校實彈射擊が行なはれ、十五サンチ加農砲の描く彈道内を、下志津陸軍飛行學校の八八式偵察機が着彈觀測をした。

二十七日 所澤陸軍飛行學校少年航空兵操縦科生徒の卒業式は午前十時より擧行。

二十九日 東京市目黒區綠ヶ丘石田雄彦氏の苦心發明になる「透明飛行機」に對し東京府の發明奬勵規定に基き奬勵金壹千圓授與さる。

午前十時、横須賀海軍航空隊福地

榮一等航空兵曹操縦、神威乘組增淵勝平一等航空兵曹同乘の練習機は同隊上空で飛行訓練中機體に故障を生じ、八百米の上空から錐揉み狀態になつて海中に墜落、兩氏は殉職す。

霞ヶ浦海軍航空隊本年度各種飛行學生、各種操縦練習生卒業式は伏見海軍々令部長宮殿下台臨の下に午前十時より擧行。

岡山縣眞庭郡美甘村齒科醫日本帆走飛行聯盟の横山晃氏は、プライマリー型練習機を製作、玉宮航空官の出張を得て日本原陸軍演習地で機體性能試驗を行なひ好成績を得。

三十日 ヒルト氏の滑翔妙技は午後二時、東京飛行場に於て公開、同四時盛會裡に終了。

遞信省航空關係の諸豫算は閣議で百萬圓を承認され、既に承認された分と併せて明年度の航空新規承認額は百九十二萬圓に達す。

十二月

一日 遞信省特別會計による復活豫算成立して百九十二萬圓を計上。

大阪第二飛行場、臺北――盤谷線、東京――大連線增回、米子飛行場、乘員養成、檢査設備費、航空局員增加、機材製作奬勵、無線設備、國内線新設維持等十五項目に分れ、民間飛行の擴充を期せられることになつた。

日本學生航空聯盟關西支部では、大阪城東練兵場朝日新聞社格納庫でグライダー部の發會式を擧げた。

四日 午前九時二十五分、東京飛行場を出發せるヒルト氏操縦グライダー、ゲツピンゲン一型はバウア氏操縦のクレムL二五型輕飛行機に曳航され、同十一時三保飛行場に着陸、午後零時十分、同地發、同三時名古屋市外小幡ヶ原に無事着陸。

霞ヶ浦海軍航空隊で各種の航空訓練に精進した 遞信省航空局 午前八

三百米の高度に昇つた處、續いて離陸せる學生筒井敏夫軍曹操縦の單輕爆機が同機の胴體に激突、兩機は折重つて飛行場外富岡村の畑中に墜落、搭乘者三名は殉職。

日滿航空運絡樞要の清津飛行場開きは午前十時半、清津郊外飛行場で擧行。

午前十一時三十五分、平壤飛行第六聯隊鹿兒島愛國第四〇號九二式戰闘機を道見多作曹長が操縦演習中、平壤師範學校上空で突如空中發火、同校寄宿舍屋上に墜落、寄宿舍の一部を燒失、搭乘者は即死。

館山海軍航空隊では、艦上攻撃機六機が午前六時出發、呉へ飛行の途についた。

三日 午前十時十分、所澤陸軍飛行學校助教榮地豐彥特務曹長は、双輕爆機に學生淺井十四軍曹を同乘させ、訓練飛行の爲め同飛行場を離陸時須田大尉指揮の下に九二式艦上攻撃機三機に分乘、大阪に向ひ同十一時目的地に到着。

館山海軍航空隊鈴木大尉指揮の中型飛行艇は、佐世保より一氣に歸翔して五時間五十五分の記錄を作り、石橋中尉指揮の小艇二機も呉を出發歸還、入れ代つて足立中尉指揮の艦攻六機は午後二時五十分呉に到着一泊。三浦中尉指揮の水上偵察機二機も午後四時半呉着、熊谷中尉指揮の艦戰四機は午前十時二十分、仙臺着、直ちに引返して午後三時五十分歸還。

東京飛行場に於て貴族院議員三十餘名は飛行機を見學し、日本空輸會社のフオツカー旅客機で遊覽飛行を行なつた。

五日 ヒルト氏は午前十時二十六分、小幡ヶ原出發、午後零時五分大阪眉津飛行場に安着。

ヒルト氏の大阪毎日新聞社主催帆走飛行講習會は午前十一時半から同社會議室で發會式を擧げ、午後三時

半第一日講習課程を了る。

去る三日以來、西廻りで四國一周の途にあつた高知新聞社二式水上機は青木飛行士、楠瀬機關士同乘、無事使命を終る。

七日 帝國飛行協會では午後三時四十五分、飛行館鳩の間で阪谷會長よりヒルト氏に紅色有功章、隨員バウア、シュトルツ兩氏に記念品を贈り歡送茶話會を催す。

大阪朝日新聞社飯沼飛行士はA—六型機を操縱、奥野寫眞部員を同乘せしめ大阪城東練兵場離陸、大阪港上空四千米で三百五粁を距る富士山を撮影、日本遠距離寫眞記錄を作る。

望月遞信大臣は、日比親善飛行の完成を祝して大藏、布施、福本三氏を官邸に招き慰勞宴を張つた。

八日 日本帆走飛行聯盟主催大阪盾津飛行場でヒルト氏の妙技公開され、午後二時より數次の快翔後、大阪毎日新聞社の松下機に曳行された九帝七型機の志鶴氏と、バウア氏に曳行されたヒルト氏のゲツピンゲン機が編隊飛行の上、相並んで曲技を演じた。

九日 ヒルト氏の來阪を機會に大阪飛行場關係者間に組織されH・M・Gクラブ發會式は午後三時半、同飛行場日本空輸會社格納庫内で開催される。

十日 舞鶴海軍航空隊近藤厚中尉、宮崎京一、小峰輝男兩一等兵曹搭乘の九四式水上偵察機は廣島發舞鶴に向ふ途中、午前十時半滋賀縣高島郡川上村黒禿山頂で墜落粉砕、近藤、宮崎兩氏は座席中に絶命、小峰氏は半開の落下傘と共に機外に投げ出されて慘死。

大村海軍航空隊では艦上攻撃機六機で九州一周飛行實施、中村中尉指揮の下に午前八時原隊出發、南廻りコースで佐伯海軍航空隊に着陸、補油の上北廻りをとり歸着。

佐伯海軍航空隊一五式飛行艇數機は演習の爲め大阪方面に出動中、一機は强風の爲め神戸沖に不時着の際、搭乗の柴田政雄一等整備兵は海中に墜落行方不明となつたが捜査の結果、死體發見さる。

十二日 耐寒訓練の爲め明野ヶ原を出發、太刀洗を經て五機編隊で京城に向つた中、一機は正午忠清南道天安郡成歡面附近に不時着、搭乗の澤田中尉は負傷、尚一機は同時刻京畿道西井里、平澤兩驛間に不時着、搭乗の武田大尉は無事。他の三機は午後一時京城飛行場に無事着陸。

朝、大連より新義州飛行場に到着の青木飛行士操縱日本空輸會社のエムボイ機はオイルブレーキに故障を生じ、修理の上午後一時十三分試驗飛行の爲め滑走中機關から發火、機體は燒失、搭乗者は無事。

十三日 長き邊では帆走王ヒルト氏の功績に對し勳五等瑞寶章を賜はつたので、午前十時五十分から陸軍航空本部で畑陸軍航空本部長から傳達さる。

十四日 館山海軍航空隊では、田中少尉指揮艦上攻撃機六臺で大島洋上の訓練飛行を行なひ、便宜新聞を島民に投下した。

熊谷陸軍飛行學校開校式は午前十時から擧行、川島陸相始め關係將星五十餘名、地元官民三百餘名參列、同十一時二十分より同校所屬機、立川、所澤の爆撃、偵察機を交へた四十機の編隊飛行、各種高等飛行が行はる。

十六日 來朝以來二ヶ月半に亘り、講演に實演に我がグライダー界に貢獻したヒルト氏一行は正午神戸出帆の淺間丸で上海に向ふ。

十八日 帝國飛行協會では事業功勞者、航空技術功勞者並寄附者三十二名に對し午後二時より總裁 梨本宮殿下より同邸に於て夫々御下賜品並有功章御親授あらせらる。

東京日日新聞社では午後六時より星ヶ丘茶寮に陸、海、帝大、民間の我航空界先驅者、功勞者を招待、航空二十五週年記念會を催す。

鳳翔所屬九二式艦上攻撃機は十七日夜間飛行訓練中、午後五時四十分發動機の故障から鎌倉町材木座沖に

不時着、水沼憲男三等航空兵曹は救助されたが森岡仁太郎中尉、中村桂治二等航空兵曹は行方不明、捜査の結果午前六時機體發見、午後一時葉山沖で中村兵曹の死體發見さる。

十九日 滿洲航空會社の永淵運航課長は、シベリア經由で歐洲航空界視察の途に上つた。

二十日 遞信省航空局委託練習生の卒業式は霞ヶ浦海軍航空隊で正午より擧行。

午前十時四十五分、横須賀海軍航空廠戰闘機を吉富茂馬大尉操縱實驗飛行中機體に故障を生じ、横須賀市浦郷雷神社附近に墜落、同大尉は落下傘で降下重傷を負ふ。

二十一日 滿津飛行場開場以來、初の新京——滿津定期連絡一番機は間宮、安武兩操縱士搭乗、午後零時三分滿津に飛來、同零時三十分新京へ歸還の途に就く。

大阪盾津飛行場に於て、關西學生航空聯盟關西支部員四十八名はグライダー及び飛行機の冬季練習を開始した。

二十二日 名古屋飛行場に於ては、都市上空の空氣有菌量檢査のため、三堀衞生試驗所技師が天貝飛行士操縱の九二式艦攻改造機で四十分間に亘り飛行し、所期の採集を終つた。

二十三日 新航空母艦蒼龍は朝九時より吳工廠にて伏見軍令部長宮殿下台臨の下に大角海相以下官民多數參列、進水式が行なはれた。電氣熔接を大量に採用した一萬五十噸、全長二百九米八四、幅二十米八、吃水五米〇二、速力三十節、十二糎七高角砲十二門、探照燈四、タービン式六萬馬力の新鋭艦は我海軍に一威容を加へた。

大阪毎日新聞社では午後五時、大阪毎日新聞社を訪問し、大藏飛行士、布施機關士に對し日比飛行完成を祝しロックヒード機模型のついた煙草セットを贈る。

二十四日 所澤陸軍航空技術學校卒業式は午前一時より行なはれ、神立大尉外十名に對し證書を授與、德永中尉は優等賞を受く。

二十五日 日本航空輸送研究所では、年末サーヴイスとして特急便大阪——高松間臨時增發を實施し、又遊覽、湯治客のため大阪——別府線を年末より一月五日まで毎日一往復す。

二十七日 昭和七年九月、太平洋横斷の壯擧を劃して淋代を出發した報知日米號の搭乗者本間中佐、馬場一等飛行士、井上無電士の行方は三年間の捜査も空しく、遂に報知新聞社は本日その死亡を發表、併せて前後五次に亘る太平洋横斷飛行計畫全支出金八十一萬二千九百餘圓、收入金二十三萬七千四百餘圓、差引金五十七萬五千圓及び帝國飛行協會に對し民間航空奬勵費として十五萬圓提供を發表。

三十日 海軍明年度豫算案中、航空隊設備費追加は八百四十萬圓で、昭和十二年三月までに三十九隊の整備をなすことゝなつた。

三十一日 大阪朝日新聞社の購入した新鋭國産機中島AN一型中島式空冷五五〇馬力付低翼單葉は、新野飛行士操縱して午後三時四十二分東京飛行場出發、五時七分大阪に到着し、一時間二十五分で兩地間を飛行。

海外航空彙報

（自昭和十年一月至同　十二月）

一月

一日　米國前年度航空貿易の最大顧客は支那で機體百二十七、發動機十四、次で獨逸へ八、發動機百九十六、ソヴイエートへ發動機三百四十六、日本へは飛行機五、發動機四と發表。

二日　米國航空母艦一萬五千噸一、海軍機二百七十、陸軍機七百臺の大擴張豫算案を審査終了。

三日　ソヴイエートでは世界最長の航空路として計畫中の浦鹽——莫斯科間歐亞航空幹線輸送を開始。朝、エルマチウク飛行士、エレノフ機關士搭乘機は浦鹽を出發、第一コースをモゴーケへ向ふ。

四日　前日のソヴイエート機、カザンに向ふ。

五日　米國ユナイテツド航空會社の補助會社たるチヤンスヴオー會社では、米國政府より爆撃機八十四臺總經費二百萬弗の註文契約を受けた旨發表。

六日　中國航空公司は昨年度の營業成績につき北平——上海、上海——廣東、上海——成都線を合して、その航空距離百三十四萬七百九十四粁、旅客數四千五百七十名、郵便物五萬八千五十二瓩と發表。

七日　佛系西南航空公司は、エール・フランス終點の西貢より安南、廣東に進出する協定成立。

汎米航空會社サンタ・リチア號ダグラス機はアンデス山嶺斷中、平均百八十九哩五を出し、前にリマにて二萬九千八百呎に上昇したのと合せて二つの記錄を作る。

八日　北平南苑に於て北平市獻納機五臺の命名式擧行、機體は何れも米國コンソリデイテツド・エアクラフト・コーポレーション製練習機で、杭州中央航空學校支那人敎官の操縱五機編隊並單獨各種高等飛行を行なふ。

九日　米國では太平洋沿岸警備のため、四箇の新根據地と精鋭機二百臺を配備に決す。

十日　南極探險中のバーント・バルチエン氏操縱リンカン・エルスワース氏同乘のノースロップ「南極星」號は、二時間二十八分の飛行中、五つの新島を發見。

ラリー・ホルスナー氏のボーイング旅客機は、桑港——市俄古間を九時間五十五分で前記錄より二十分短縮。

十一日　最初の女流單獨の布哇——米大陸間の飛行は、アメリア・イヤハート孃により午後四時四十三分、ホイラー飛行場をロツクヒード・ヴエガ單葉で出發。

十二日　**アメリア・イヤハート女史機は午後一時三十分（日本時間十三日午前六時三十分）オークランド飛行場に着陸、ホノルル——オークランド間三千八百六十五粁の東太平洋飛行最初の成功者となる。十一日午後四時四十三分（日本時間十二日午後零時十三分）ホノルル郊外ホイラー飛行場出發以來、十八時間十五分。**

十三日　極東赤衞軍計畫中の衞生航空隊は、沿海州を舞臺として飛行開始。

歐亞航空公司は香港經由、上海に至る南方コースにつき國民政府交通部と諒解成り、二月より試驗航空開拓の旨發表。

十五日　ゼームス・ドウリツトル少佐は、セル揮發油會社のヴアルチ1單葉で加州バーバンク出發、紐育フロイド・ベンネツト空港まで十一時間五十九分（前記錄より五分早し）で飛行し、更にニユワーク飛行場へ飛んだ。

米國ヘレン・マツクロスケイ孃は、英濠飛行に用ひられたジヤツクライト氏のワーナースカラブ發動機附モノクーペ單葉で、百粁に對し百六十六哩六十七の新婦人記錄を樹立。

米國海軍最大の飛行艇ホール・XP2H。I哨戒爆撃飛行艇は午後三時三十分、ノーフオーク港出發、パナマ運河口のココ・ソロに向け三千百二十粁無着長距離飛行の壯途に就く。

十六日　去る七日、チタを發したロシアの第三インター所屬機は外蒙の賣買城を經由し、支那陝西省北部よりウエーキ、キングマン・リーフ、ジョンストン、サンドの各島を海軍省に移管を命じ、軍政施行を聲明。

アメリカ地理學協會では今夏氣球をもつてアルバート・スチヴン大尉總指揮、オーヴイル・アンダーソン氏操縱の下に、サウス・ダコタ州ラピツド・シチー東南ブラツク・ヒル盆地より上昇、成層圈探險實施の旨發表。

二十日　L・Z一二九號航空船建造責任者クヌート・エツケナー博士は、同航空船が來る四月中に進空式的記錄を作つた。

十八日　米國陸軍長官ジョーヂ・ヘンリー・ダーン氏は冗員淘汰新進拔擢の目的を以て、陸軍現役飛行將校一千二百二十八名に對し、飛行試驗を課する旨命令。

十九日　汎アメリカ航空會社は米支聯絡商業飛行の爲め、ハワイ諸島に發着施設準備中であるが、オマフ島東北部カネオへ灣へ大飛行場設置の計畫が傳へらる。

二十一日　ソヴイエートの北氷洋探險隊は、クラシン號を先頭に、飛行機數臺を携へてムルマンスクに向つた。

二十二日　佛紙ジュルナルは、巴里、東京經由、世界一周競爭を計畫してゐる旨發表。

二十三日　米國特別航空委員會クラーク・ハウエル氏は、兩洋上航空路開設に付、報告書を提出したが、それによると太平洋には飛行機、大西洋は飛行船により今年內に試驗航空を行なふべき意味の內容であつた。

米國海軍長官スワンソン氏は去る十九日、農務省より移管を受けたウエーキ島に對し、米支聯絡商業航空路の要地と認め、航空機發着基地たる施設をなすべく汎米航空會社と協力して、これが考慮中なる旨言明。

米國飛行家ロスコー・ターナー氏は、パナマ出發、アフリカ、シンガポール、ニユーギニア、ホノルルの四箇所を着陸地とする赤道經由世界一周飛行決行の旨發表。

二十四日 リチヤード・ライト博士一行の水上機ベランカ單葉「世界見物」號は昨年八月二十日、ニューヘヴン出發以來、太平洋を除いて北氷洋から印度洋に至る世界一周二萬九千哩に亙る六百枚の寫眞を撮影し、ウイルソン飛行士と共にキューバを經て歸着。

二十五日 グナン、ル・ラント、ローベル三氏はフワルマン一九九型で巴里出發。

二十五日 滿洲國交通部、關東軍交通監督部、滿洲航空會社は露國政府當局に對し、チタ――ウラジオ間露國航空路と、ダウリヤ及び滿洲里で滿洲國側航空路と接續、滿露航空聯絡を正式に提議する意向で、滿洲國側意見は既に一致す。

二十六日 全米飛行協會々長エリオット・ルーズヴエルト氏發案の南北米大陸に跨る三萬粁の大飛行競爭計畫發表。賞金拾萬弗。

英國ヒルマン航空路のD・H・ドラゴン機が拾萬八千圓の金塊を巴里より空輸中、英佛海峽で猛突風のため陸に衝突、ウエストハル飛行士外旅客十名卽死。

米國陸軍航空隊では數年來、航空機燃料について研究の結果、「一九〇オクタン」と稱する燃料の發見に成功、航空隊員E・D・クレイン中尉は航空科學研究所で右發見の經過を公表。

ルーズヴエルト大統領は議會に特別教書を送付、航空委員會報告を基礎に航空國策樹立を勸告、交通運輸事業全般を統一し、聯邦政府監督下に交通運輸各機關相互の調整を圖る必要を力說、具體案の大綱を示唆す。

二月

一日 佛國ボール・メシネ氏は馬塞巴にて帆走中、機體より投出されて慘死。

二日 英國マグドナルド首相と、佛國ラヴアル外相との會談に於て、英佛協定は事實上の成立を見、英佛相互の防空並英、佛、伯、獨五箇國空軍相互援助條約等協定。

三日 全金屬性飛行機の發明者で、デッサウ飛行機製造會社長として世界飛行機製作工業に貢獻したユーゴー・ユンカース博士はミユンヘンで逝去、享年七十五。

四日 英佛防空協定にベルギーも參加と決定し、イーマンス外相は駐白英大使と會見。

五日 國際航空聯合會一般委員會は巴里に於て開催、會長ビベスコ殿下以下二十個國代表出席、一九三七年を期して世界一周飛行競爭を擧行する旨決議。

ウイリー・ポスト氏は成層圏飛行のため、氣密飛行服を試驗して好成績を得た。

六日 シコルスキー會社で製造中のクリッパーS四十二型、四發動機附二十五噸の大飛行艇完成し、貳拾五萬弗の工費を投じた太平洋定期飛行機も近く試驗飛行を行なふことになつた。

七日 ソヴイエートのモスクワで

は商業飛行機性能試驗大會が開かれ、三十八臺の國産機が續々集結したが、內十八機は双發十二人乘であつた。

八日 米支聯絡太平洋横斷定期飛行實施を急ぎつゝある汎米航空會社では、超强力無電方向指示網の完備によつて、純然たる計器飛行によつても不安なき發着を期待し得る設備を整へることゝなつた旨發表。

昨年十月二十日、メルボルン市百年記念英濠連絡懸賞飛行に參加のR・J・ベアラー、G・E・ヘムスワース兩氏は十月二十日、ミルデンホール飛行場出發後、機關の故障でボーヴエーに墜落し失格したが、兩氏は悠々とポートダーウインに到着。

九日 伊太利政府は空軍相互協約に參加のため、伊英間は地理的關係から相援せず、主としてロカルノ精神に基く代案を提示。

十日 ソヴイエート商業機大會は、カリニン式が優勝と決定。

英國に於ける飛行學校の創始者マカードル氏は六十歲で逝去。

米國マイアミに於て、ハリイ・リチマン氏はジョージ・ドーフカーク氏と同乘し、兩用艇に於ける最初の千粁に對する百哩五の速力記錄を作る。

米國下院は太平洋防備のため、千百萬弗でハワイ飛行場建設及び太平洋岸防備に充てることを豫定し、豫算委員會へ成案を提出。

中國航空公司では、米支航空聯絡に關しては交通部より命令に接せず、全然傳へらるゝ如き折衝は行はれざる旨發表。

十一日 シヤトル在住飛行家J・R・ドレーン氏は來る五月、太平洋無着横斷飛行決行の旨發表。

米國ウイルコックス案の代案として提出された陸軍省起草の太平洋岸防備强化計畫の內容は左の如し。

一、アラスカに空軍根據地を設置し、軍用機二百臺を配備。

二、パナマ運河並カリビヤ海防備の爲め、南東大西洋岸に空軍根據地を設置。

三、太平洋岸、大西洋岸と內地を連絡する根據地を設置、地下兵器庫を設備し空軍の活動を支持す。

米陸軍參謀總長マックアーサー將軍は裝備の機械化、飛行機八百八十臺增建の費用として四億五百萬弗の追加豫算要求を提出。

獨逸も、その空軍均勢を容認したものとすれば、空軍ロカルノ條約參加の意志ありと發表。

十二日 米國海軍航空船メーコン號は午後五時十八分、桑港より南百八十粁のスーマ岬附近で艦隊と共に演習航行中、船尾の故障から危險に瀕し、無電をもつて海上不時着を報じつゝモントレー市沖合に墜落、總指揮ワイリー中佐以下八十一名乘組員殆ど救助さる。

英國センピル卿は日本訪問の途次、午前十時、單身ジプシー一二〇馬力裝備プス・モス單葉機を操縱、オーストラリヤのオンスローを出發したが、ノースウエスト岬上空で暴風に遭遇し消息を絶つ。

十三日 英國政府は極東空軍擴張のため、ウエルス少將以下を派遣して新嘉坡及び印度の空軍根據地を充實することゝなつた。

十四日 行方不明を傳へられたセンピル男は、途中着陸の上、更に飛行を繼續。

航空船隊の狂信論者ミツチエル將軍は、メーコン號遭難の現實に直面しても、午前下院特許委員會席上に於て、航空船抛棄の愚劣なる所以を極力强調。

十五日 英空軍の精銳ロールスロイス發動機四基裝備のショート・シンガポール飛行艇は、ナポリからマルタ島に向け空輸の途中、メツシナ海峽附近に於て濃霧に包まれ、岩山に墜落燒失、搭乘の飛行大尉H・L・シピーテイ氏以下八名燒死。

十六日 世界長距離飛行記錄保持の佛飛行家コドス、ロツシ兩氏はジヨセフ・ル・ブリ號に搭乘して午前六

時三十分、イストルを出發、南米ブエノスアイレス指して大西洋縱斷九千八百粁翔破の途に就いたが、大西洋上サンペトロ岩礁附近で給油器に故障を生じ、アフリカ西方のカボ・ヴエルデ島に引返す。

十七日 ソヴイエート極東赤衞軍所屬の重、輕爆擊、戰、偵の各機約百六十臺を動員、露滿國境スパスクを根據地としてハバロフスク、ウラジオ沿海州一帶を舞臺とする耐寒空地聯絡演習を開始。

米國東部航空路會社のダグラス旅客機は、マイアミより紐育へ千二百哩を五時間三十四分で飛行。平均二百十五哩の速度で旅客十三名を乘せてゐて、ドン・ジョンソン氏、ジョン・バツトル氏が操縱してゐた。

ウイリー・ポスト氏は、成層圈飛行試驗のため、約二時間に亙つて飛行し、二萬八千呎に上り三百哩の速力を出し得た。

十八日 汎米航空會社の申請により、米國特別遞信委員會は加州アラメダ、ミツドウエイ、ウエーキ、グアム各島に無電臺設置に決定。

十九日 米國下院歲出委員會では空軍擴充の陸軍費三億弗を可決、尙ほハワイに飛行場及び沿岸要塞を建設する爲めの二千萬弗支出要請を否決。

英國のグレンデル・マヂウス氏が、政府のため祕密裡にサウス・ウエルスの山莊に立籠つて實驗中であつた電氣光線により、發動機を停止せしめる防空裝置發明を完成したと發表。

二十日 訪日飛行のセンピル卿は飛行中止の旨、英國大使館、外務省を通じて遞信省航空局に通知。

米國參謀總長マツカーサー將軍は來る三月一日に空軍四十八箇中隊よりなる參謀本部空軍開設の旨命令。

米國海軍長官スワンソン氏は航空船に關する海軍省の立場を闡明し、今後商業用には利用すべきも軍事用航空船建造反對を表明。

メーコン號墜落に關し、空中で破壞した骨格は、酸類をかけたものだと言ひ、日本人系比律賓人であつた殉職給仕に疑を抱くとの驚くべき陳述が傳へられた。

二十一日 伊太利のカルロ・アダモイル氏は、マダカスカル島より南ロデシアのサルスベリまで千哩を一氣に飛行。

米國エス・アンドリユース氏は、サイクロン發動機附ヴアルチー單葉で加州バーバンク飛行場を出發し、ワシントンに着陸、十二分休憩の後、紐育フロイドベンネツト飛行場まで十一時間三十四分十六秒で飛行し、前記錄より二十五分早く平均二百十八哩を出した。

二十二日 ウイリー・ポスト氏は成層圈に近接せる高空を超スピードで飛ぶことを實驗すべく、西部標準時間午前六時八分、ロサンゼルス發、百二十五哩の速力でニユーヨークへ向つたが、間もなく給油管に故障を生じ、ミユーロツク湖々床に不時着。

「ハーレムの黑鷲」として勇名を響かせてゐる黑人飛行家ジユリアン氏は、伊・エ兩國の國交急迫を告げると共に奮然エ軍參加に決し、愛機を携へてニユーヨーク發エチオピアに向ふ。

二十四日 英國のグレンデル・マチウス氏はサウスウエールスの實驗室で、空中の飛行機を電氣で追ひかけ、その發動機の活動を停止させることに成功したと云ふ。

佛國最大のラテコエール飛行艇リユーテナン・デユ・パリ號完成、試驗飛行を終了。

二十五日 南北米國を一周するエア・ダービーは向ふ一箇年間延期と決定。

二十六日 デル・ルフト會社の北歐線に使用中のロールバツハ機に代るユンカース五二型は本日リガに到着。

二十七日 大西洋定期飛行機クージネ虹號は、イスパノスイザ六五〇馬力に改裝、試驗飛行に百九十哩を出す。

二十八日 ウイリー・ポスト氏、再擧を聲明。

三月

一日 米國空軍司令部はヴアージニア州ラングレー飛行場に移轉、アンドルース少將總司令として加州マーチフイールド、ガルベストラン、ラングレーの三箇所に集中せる一千餘機の戰鬪機部隊を指揮することゝなる。

米支航空路開設問題に關し、支那側はこれを拒絕することに決定し外交部當局は非公式に意見を發表。

二日 英國の極東政策は俄に積極化し、香港の從來の航空施設を軍事的に擴大し、極東に於ける陸海空軍の永久的根據地とすることに決定。

英軍事當局は一九三六年以後の事態をも考慮し、シンガポール空軍根據地の一大擴張を決定、航空省工務局長ターナー大佐以下數名の專門技術家をシンガポールに派遣してゐたが、一行の現地視察の結果、具體策の作製を終り、傳へらるゝ內容は

一、現在の空軍根據地の擴張

一、新に二箇の空軍根據地築造

右に要する費用六百萬乃至七百萬海峽弗。

米國飛行協會主催の南北米大陸飛行競爭は、外國飛行家の便宜上延期

三日 ソヴイエートでは、ハバロフスクに工業貳百萬ルーブルの大空中港を設立し、極東國民航空會支部を設置する旨發表。

四日 希臘革命軍對政府軍は、クレート島を中心として激戰し、政府飛行機は革命軍海軍及び叛將ヴエニゼロスの邸宅に爆擊を加ふ。

四日 米國では將來の空軍戰に絕大な威力を有する裝甲攻擊機の試驗飛行が、E・M・ロビンス大尉操縱主任の下に太平洋岸上空で行はるゝばかりになつてゐると傳へらる。

五日 英空軍一九三五年度豫算額二千六十五萬磅と發表。

六日 レランド・アンドリユース氏は、ヴアルチー單葉に五人の旅客を乘せ、羅府――メキシコ市間千六百七十哩を八時間九分で飛行し、前記錄を二時間六分短縮。

七日 米國陸軍省では、極祕裡にダグラス機にロボツトをとりつけて試驗飛行を行なつた。

一萬七千呎から無開傘降下の記錄を有する英人ジョン・トラナム氏は、ローラン氏と同乘して上昇中、生理變化により機上で絕命。

英國航空隊組織部長ウエルシユ氏シンガポール航空隊指揮官スミス氏外二名は香港着、同地の空軍を中心とした防備施設を視察。

九日 希臘叛軍掃討のため、早曉雪の晴れ間に革命軍根據地ドラマ、カヴアラ、セレスミ市を二十餘機をもつて偵察し、商業機ユンカースJu五二型は五百封度爆彈を投下した。

十日 汎米航空會社の太平洋橫斷定期航空計畫は殆んと完了し、アメリカ政府の許可を得て空路に當るホノルル、ミツドウエー島、ウエーク島、グアム島、マニラに飛行場設置に決定し、各飛行場基地員として技師四十四名、職工七十四名、材料六千噸を汽船ノース・ヘヴン號で差立てる旨發表。

十一日 ソヴイエート民間飛行極東管理局は北方各地の航空路開設、設備の完璧に意を注ぎつゝあるが、ハバロフスク――シミツト岬間に着陸場を設置、地上勤務員を配屬し、ヲドビヤーノフ氏をして試驗飛行をなさしめ、同氏は午前九時、ハバロフスクを出發。

十二日 マーチン・クリツパー七號は、チエサーピーク灣で六名の乘員及び四千ガロンの燃料を載せ、全備重量五萬千封度の非公式試驗飛行を終つた。

極東空軍擴充の使命を帶びて派遣されたと傳へられる英國のウエルシユ、ターナー兩氏は、香港に於て英國陸海軍當局と會議を行なひ、極東に於ける商業航空路計畫達成の具體的準備は既に終つたと云ふ。

獨逸ゲーリング空相は、突として四月一日よりヴエルサイユ條約軍事條項廢棄を宣告し、空軍部隊整備を發表。

米國陸軍省及び商務省の飛行家はダグラス機を使用、祕かに新案の方向指示羅針盤の實驗を行なひつゝあるが、これは飛行機操縦のロボットと連繫せしめて自動飛行を可能ならしめる目的のものと見らる。

メーコン號遭難の實情に鑑み、太平洋岸サンニーヴエルの航空船根據地を事實上廢止することに決し、海軍長官スワンソン氏も右提案を承認。

米國政府はハワイ空軍根據地建設敷地買收費百九拾壹萬弗を含む一億一千二百萬弗の追加豫算案を下院に提出。

ヴエルサイユ條約により前後十五箇年間、空軍活動を禁ぜられた獨逸政府は四月一日より公然空軍部隊整備に決し　航空相ウイルヘルム・ゲーリング氏は空將の新地位に就く。

十三日　スワンソン米海軍長官は、海軍統制のもとに米領太平洋諸島へ航空聯絡基地として必要なる諸施設を新築し、有事の場合に備ふることを發表。

米國商務省當局は新方向探知機感度試驗の爲め、所屬大型ダグラス單葉機でカリフオルニヤ州――ハワイ間無着長距離飛行決行、航空局長ヴイダール氏及び技師五名搭乘、アルバート・ヘーゲンベーガー、クレートン・ビツセル兩大尉操縦の下に午後一時四十六分（日本時間十四日午前六時四十六分）オークランド發三百二十粁の太平洋上に飛び出し、同六時十五分（日本時間十四日午前十一時十五分）出發地に歸還。

十四日　獨逸空軍整備に乘り出すとの報道に對し、佛國政府は極度に憤慨、絕體不承認を闡明。

南京政府は杭州飛行學校學生十五名を、航空訓練の爲め伊太利に派遣。

米海軍練習用飛行船ロサンゼルス號はレークハースト飛行場の繫留柱に繫留中、突風に煽られて尾部をもぎ取られ、地面に衝突破損。

四月一日正式に成立する獨逸大空軍はベルリンを中心とし、十二箇の空軍根據地と地下大格納庫を建造中、且つベルリン市西方の湖水には海軍根據地が設置さることになる。

米海軍では、太平洋上の五島を正式に汎米航空會社に商業飛行用の整備を許可したが、一旦緩急ある場合、諸施設を收用する旨留保してゐる。

十五日　ウイリー・ポスト氏の成層圏飛行による米大陸横斷は午前六時十六分、ウイニー・メー號に搭乘、ロサンゼルス出發、ニューヨークに向つたが途中呼吸用酸素に不足を來し、午後五時二十分、クリーヴランド空港に不時着。

十六日　汎米航空會社が海軍所屬の島嶼を利用する太平洋横斷航空路計畫發表に就き、ワシントン官邊では右は純然たる商業用航空路にして、國際協定に抵觸するものにあらずと主張。

米國T・W・A社のダグラス機は、羅府――ニユワーク間を十二時間四十四分三十九秒で飛行。操縦士はウイニ・ウイルアムスとアール・ハイデマン兩氏で平均二二八哩を出した。

十七日　獨逸航空工業界は、一日十四臺の製造能力あり、現在八百の軍用機を有すると發表。

十八日　伯林西方の湖水に獨逸新海軍空軍根據地を設立。

十九日　エクワドル總督は管下地方視察中、白領コンゴー・コキラヴル附近で乘機墜落し、エトアル・ルナール氏外乘員悉く慘死。

伯林では最初の空軍大演習を行なひ、四十臺のハインケル戰鬪機が飛び、市民を狂喜せしめた。

二十日　獨政府の再軍備宣言に對し、佛政府は即時空軍大擴張に決し、航空相ドナン將軍は右擴充費十六億フラン追加豫算を議會に提出の方針を言明。

二十一日　佛國陸相は、ドイツの積極的進出に對する英佛伊の空軍協力を力說。

國防軍備充實の必要より陸、海、空軍の根本的建て直しを要求中であつた蔣介石氏は、航空委員會を設立して自ら委員長となり、航空九箇大隊となし、洛陽、杭州を空軍重要根據地となし、三年間に飛行機三千臺を整備、飛行士二千名を養成等の成案を得、これが實現に決定。

二十二日　二十三日にかけて、香港に於て英國空、陸軍總員の聯合演習開始。

ソヴイエートの赤軍中央飛行場では、P・五型飛行機か五臺のグライダーを曳行し、最後に各一臺づゝ分離して着陸。

ドイツのツエツペリン會社は、空相ゲーリング氏立會の許に創立總會を開き、エッケナー博士を社長とし、資本金九百五拾五萬マークをツエツペリン製作所と、ルフト・ハンザで折半し、定期航空を經營することゝなつた。

二十三日　**汎米航空會社が米支聯絡飛行に使用する大飛行艇シコルスキーS四二型は、二十二日マイアミ發、試驗飛行の途に就き四、一〇〇粁を翔破、十七時間十六分飛び續けて出發地に歸還。三つの世界記錄を作つた。**

ロボット機のハワイ飛行計畫に就き、米國商務省當局は莫大の費用を要するのみならず、無用の冒險と云ふので不可許になつた。

二十四日　英國イーデン國璽相は、サイモン外相が別仕立飛行機で午前十時十六分、倫敦から伯林へ赴くのとアムステルダム飛行場で落合ひ、共に伯林へ飛行。

二十五日　中國航空公司のフオード機は、上海發、四川の重慶を經て貴州より雲南に至り、新航空路を開拓。

米國海軍はカ州サンタモニカ港及びヴアージニア州ノーフオーク港で航續三千二百粁の二新鋭水上飛行機の性能試驗を實施、成功すれば三十機を購入して太平洋大西洋兩岸、ハワイに配備の豫定。

二十七日　去る十一日、ハバロフスクを出發したソヴイエートのラトビヤノフ氏は、八九米の超短波無電を裝置し、ニコラエフスク、オホツク、ノガイオを經てカメンスカヤに至り、遂に北極圈のマナドイル、ウエーレンを連絡し、シユミツト探險船と連絡の上、ハバロフスクに歸還。

佛航空相ドナン將軍は上院航空委員會で、獨逸空軍充實に對抗し、急ぎ空軍更新案を完了すべく政府は必要な豫算案を議會に提出を言明。

伊國下院は空軍擴充三箇年計畫來年度豫算中、八億五千萬リラ（邦貨一億五千萬圓）を可決。

米支航空聯絡に付、中國航空公司經理戴恩基氏は「米航空路はフイリツピンを終點として廣東には飛來せず、外國主權の航空路が我が領土内に入るは許し難い」と發表。

汎米航空會社は米支聯絡飛行の準備完了、來る四月十日、カリフオルニヤ――ハワイ間に郵便試驗飛行開始に決定　遞信當局より許可。尚、極東終點をマニラに變更の旨、正式發表。

汎米航空會社米支聯絡航空に就航のシコルスキー・チヤイナ・クリツパーはマイアミ飛行場出發、サンデイエゴに向ひ、十一時間十五分でガリブ海を翔破、午後メキシコのアカプルコに到着。

二十八日　午前四時五十分、アカプルコを出發したチヤイナ・クリツパー飛行艇は二千九百粁を飛んで午後五時、サンデイエゴ軍港海軍飛行場に無事着水。

三十一日　英人ルイズ・ブルツク氏は去る二十三日、濠洲ポート・ダーキン出發後、本日午前五時五十五分、ライム飛行場に安着したが、所要時間七日十九時間五十分で、前記錄を二時間も短縮。

蔣介石氏は大空軍充實の爲め、技術家指導として米國前陸軍航空隊司令デチマン氏を航空委員會最高顧問

に招聘することゝなり、同氏はシアトル發支郵に向ふ。

四月

一日 東部シベリアの軍事中心チタ市と、外蒙首都庫倫間の定期航空開始。

南京政府は、空軍救國の下に空軍整備の活動を續けてゐるが、空軍改編を斷行することに決定。

ソヴイエート女流飛行家フエデロヴア孃は、酸素吸入器なしに六千三百五十米の高空より落下傘降下、女子世界新記錄を作る。

獨逸政府は空軍整備令を公布、國內を六空軍區に分割し、各區を更に十五空軍聯隊に分割してゐる。

二日 紐育チヤーム・エスパート十傑の投票中、バード少將、リンデイ夫人、イヤハート孃が英國皇太子殿下やローマ法王、ルーズヴエルトなどゝ共に當選。

四日 英國イーデン國璽尚書は、プラーグに於けるベネシュ外相との會談を終へ、定期旅客機で歸國の途中惡天候の爲め、午後一時二十五分ケルンに不時着。

六日 K・L・Mの名飛行士ソール氏は、ウエストフワリアで暴風雪のため山腹に衝突殉職。

七日 墺太利では、ウキンの觀兵式に平和條約で禁止されてゐるに拘らず、公然と十五臺の軍用機が飛行し、歐洲に新たなショックを與へた。

八日 ソヴイエートのオリガ附近で、浦鹽より尼港に向つたC・五五號飛行艇墜落し、極東赤衞軍將校八名慘死。

クライド・バングボーン氏は、北洋橫斷定期旅客輸送に就航のツエツペリン伯號は、濃霧の爲め着陸點を發見し得ず、ルシフの蹴球競技場へ降下着陸の際、同所の建物に衝突して主要ゴンドラを歪め、プロペラを損傷したが乘客並乘組員は無事。

十三日 英國ベツドフオード公妃は、プレストン中尉操縱のプス・モス機でケニア地方に向け三月二十日獨逸で購入したグライダーを友人キング大尉のアヴロ機に曳行されて七百哩の飛行後、ヘストンに安着。

十日 ストレーザの英佛伊三國會商のため、ムツソリーニ伊首相は自ら水上機を操縱してローマよりマジヨーレ湖に着水。

ゲーリング獨空相は、女優エミー・ゾンネマン孃と盛大な華燭の典を擧ぐ。

十一日 デ・シエルヴア氏は水上オートヂヤイロを試乘し、サンプトン川より直接操縱式の廻轉翼により離水。

十二日 獨逸——ブラジル間大西洋橫斷定期旅客輸送に就航のツエツペリン伯號は、濃霧の爲め着陸點を發見し得ず、ルシフの蹴球競技場へ降下着陸の際、同所の建物に衝突して主要ゴンドラを歪め、プロペラを損傷したが乘客並乘組員は無事。

十三日 英國ベツドフオード公妃は、プレストン中尉操縱のプス・モス機でケニア地方に向け三月二十日以來、九千七百五十哩を飛行してライム飛行場に歸つた。

十四日 スペインのマドリツドでは、十階のビル屋上に六萬五千平方呎のオートヂヤイロ飛行場を建設に着手。

十五日 ウイリー・ポスト氏の第三回成層圈大陸橫斷は、八時間十二分後にラファエツトに不時着、時速二百七十九哩三六を得たが橫斷は失敗。

十六日 佛國政府は英濠飛行に成功せるデ・ハヴイランド・コメツト二臺を購入し、軍用として實驗を開始。

汎米航空會社の太平洋橫斷旅客機チヤイナ・クリツパー機は午後三時五十一分（日本時間十七日午前八時五十一分）カ州アラメダを出發、ホノルルに向ふ。

十七日 月明の東太平洋上を快翔したチヤイナ・クリツパー機は午前七時五十七分（日本時間十八日午前三時二十七分）ホノルル眞珠灣に着

水。所要時間十八時間三十六分。

ソヴイエートのカウコフ飛行機研究所ネーマン氏のカーイ一型引上脚付郵便機は、モスクワ——チフリス間を二百二哩で飛んだ。

十八日 佛國フイナツト氏は、大戰の勇士フオルゲ伯と南阿へ飛行中、暴風雨のためキリマンジヤロ山腹に衝突慘死。

十九日 英濠聯絡定期航空路開始され、旅客並郵便物を積載した飛行機は午前六時三十分、ダーウインを出發。

ソヴイエートの空軍司令長官フリピン氏は世界各國に對し、獨逸の空襲、科學戰、細菌戰に備へる爲め團結せよと警告を與へ、更に露滿國境に於ける日本の空軍に對し、蘇聯邦は多數の豫備空軍を整備する必要ありと力說。

米國海軍太平洋作戰計畫により、北太平洋に於ける空軍演習命令を受けたサンピドロ、サンヂエゴ兩海軍根據地は色めき渡り、ジョンソン少將麾下の大型偵察兼爆擊水上艇の一隊はダツチハーバーに向ひ、アダク島を根據地として北太平洋作戰に活躍、更にハワイ攻防大演習に加はる豫定。

アメリヤ・イヤハート夫人は午後八時、ロサンゼルスを出發、メキシコ市へ向ふ。

二十日 アメリヤ・イヤハート女史は午後二時二十七分、メキシコ・シチーに到着、十三時間三十二分の長航程を翔破。

獨逸コプレンツ陸軍飛行場所屬軍用飛行機二機は佛國領上に飛來、一帶地域を偵察して飛び去つた旨、ルクセンブール國境現場で目擊した佛將校より報ぜらる。

二十一日 モスクワを出發したオソアビアヒムV六號新飛行船は、八千六百立方米の威容を誇り二十六時間飛行後、無事着陸。

二十二日 汎米航空會社のチヤイナ・クリツパー飛行艇は午後三時二十九分（日本時間二十三日午前十時五十九分）眞珠灣空港を離水、カ州アラメダへ歸還。

二十三日 クリツパー飛行艇は午後二時五十八分（日本時間二十四日午前七時五十八分）アラメダ空港に着水。所要時間二十時間五十九分。英米兩國政府は、商業飛行聯絡の單一化を期し航空協定を締結し、五月五日から實施に決す。

米下院陸軍委員會は米本國、アラスカ其他の版圖を保護する爲め、空軍根據地網を設置すべき旨の勸告案を採擇。

二十四日 獨逸空軍の指導者フオン・ビユーロー氏は、國防省の代辯者としてソヴイエート空軍の脅威を強調、更に極東に於けるソ聯の空軍集中狀況に關し、同空軍の飛行機一萬臺整備、攻擊目標は中歐諸國と日本にありと暴露。

チエツコ・スロヴアキア國のアヴイア新旅客機は、本日プラーグ飛行場で公式試驗を行なひ、イスパノ五七五馬力三臺付で十二名の旅客を乘せ最高二百五哩を出した。

二十五日 ソヴイエートのコムサクアート製の翼附きパラシユートは、無開傘のまゝ三千呎から十八秒間に千三百五十米滑空後、開傘した。

ソヴイエートの新飛行船V六號は再び二十二名を乘せ三十時間二十分の滯空飛行に成功し、平均七十五哩の速力を出した。

二十六日 英國バターン孃は、單獨濠洲より歸途についたが、荒天に惱まされて十七日十五時間十五分を費す。

佛國航空省は獨機の越境四回に及ぶので、爾今佛國政府の許可を受けざる國境侵犯機は發見次第、佛戰鬪機部隊は射落すべしと非常命令を發す。

二十八日 ソヴイエート落下傘の名手ジヴアレフ氏は、レニングラード飛行場で落下後一定時間で自働的に開く落下傘を使用、八百米上空の機上より落下を開始し、落下傘は正確に落下後五・五秒の後開き無事着

陸。

獨飛行機國境要塞地帶侵犯飛翔阻止の使命を帶びた新式フランス追擊機六臺は、ストラツスブルクに到着。

ソヴイエートのコクテベル帆走飛行學校教師ラストルグエフ氏は、SH五號に友人と同乘、二十六時間二十九分の二人乘滯空記錄を樹立。

二十九日 前米國陸軍作戰部長キルバーン少將、米空軍總司令アンドリユース少將等、陸軍、空軍首腦部が現下の國際政局に鑑みアラスカ、太平洋、西印度方面に强力なる空軍根據地建設の祕密報告書を下院陸軍委員會宛提出せるに對し、ルーズヴエルト大統領は米國の平和外交政策を强調して、右提言を反駁。

ロンドンのハンワース飛行場で、阿野勝太郎氏のクレーム・イーグル機に松平大使夫人より「靑海號」と命名された。尙、同機は日魯漁業會社常務眞藤愼太郎氏の後援による。

三十日 佛國政府は歐洲現在の急迫せる形勢に鑑み、一九三三年末立案の空軍擴張政策は一九三七年春までに完成の豫定なりしも、今回突如本年末までに完成することに變更の旨言明。

佛國政府は獨逸再軍備の脅威に備へる爲め、空軍部隊を戰時編成するに決定、航空士、機關銃兵、無電技師、機關士等の義勇兵を募集。

佛國政府は、アゾレス群島經由の南大西洋空路の開設を發表し、アメリカと協議を進めることゝなつた。

五月

一日 米國カリフオルニア州サンタ・モニカのダグラス飛行機製作會社では、航續力五千粁、時速三百六十粁、積載量千百三十五瓩の巨大なる爆擊機を製作中、これによつて大西洋及び太平洋に於ける空襲に對する防禦線を一千六百粁に亙つて擴張し得ることになる。

英國政府閣議に於て、ロンドンデリー空相は「獨空軍力は既に英本國空軍の二倍に相當し、これに對抗する爲めには既定の英空軍四十一箇飛行中隊增設五箇年計畫變更の必要あり」と述べ全閣僚も贊意を表した。

英國政府は極東の軍備狀況調査の結果、シンガポール根據地の空軍防備を急速に强化するに決定。

二日 獨空相ゲーリング氏は、外國新聞記者團との會見で、獨空軍は今や世界各國の空軍に對抗し得る實力を完備するに至つた旨豪語す。

三日 米國太平洋大演習のため、飛行機四百七十七臺、艦船百五十三隻はヘプバーン提督指揮のもとに演習開始。

四日 ソヴイエート空軍は、メーデー當日二千八百七十機が參加し、モスクワ八百、極東八百、レニングラード三五〇、ミンスク三五〇、キエフ三百、ハルコフ一七〇、ロストフ一〇〇機の割であつたことが明かにされた。

四日 四月三十日、ブレスラウに向けスツツトガルトを出發したヘーリング少將搭乘のユンカース空輸會社旅客機は消息を絕ち、搜査のところチエツコスロヴアキア國境附近フイヒテル山脈中に墜落大破せる機體發見。搭乘者七名慘死。

五日 獨逸空軍の所有機八百三十五臺と發表。

六日 極東制空權の掌握をめざすソヴイエートは、極東露領に五新航空路線を開設、極東赤衞軍の直轄とし、平時は商業用に使用、有事の際は軍用に變更する計畫。

トランス・コンチネンタル・エンド・ウエスターン・エアウエイズ會社の定期旅客機スカイ・チーフ號は、未明アトランタ市西方に於て濃霧の爲め墜落、操縱士並乘客カツテング上院議員外二名慘死、九名は瀕死の重傷。

八日 アメリア・イヤーハート女史は、ロツクヒード・ベガ單葉機で午前メキシコ市を出發、三千四百粁を十四時間二十分で翔破し、午後十時半、ニユーワーク飛行場に到着。

九日 布哇――ミツドウエイ間に於ける米海軍の太平洋上大航空作戰に海軍飛行艇四十五臺、午前八時十五分眞珠灣發、二千百粁を大編隊飛行でミツドウエイ島に向ふ。

佛空相ドナン將軍はムツソリーニ首相と會見、商業航空協力、空軍協定締結にロツシ大尉操縱の飛行機でヴイラクウブレー飛行場出發、ローマに赴く。

獨政府は國際政局の緊迫に鑑み、外國航空機の領空通過を嚴重に取締まるに決定の指令を出す。

英國航空省當局は、國內軍需工業會社に對し準戰時待機令を通達。

午前六時、ハワイ眞珠灣よりコンソリデーテツドP二Y一型大飛行艇四十六隻は、ウエン・トツド中佐指揮のもとに三分每に續々離水し、十日朝フレンチフリゲートに到着、十一日全機ミツドウエイ島に安着、未曾有の大編隊飛行に成功。

蔣介石氏は、中國空軍擴張計畫を正式に發表。

一、中央空軍は明年二月までに現在勢力の二倍とする。

一、各地中隊を大隊制に改め、フイアツト、ブレゲー爆擊中隊各一隊づゝを配し、明年二月までに千臺以上を保有する。

一、航空通信隊の新設。

一、杭州飛行學校を擴張して洛陽に新設。

一、明年度中に飛行士千名、昭和十二年末までに三千名を養成。

一、飛行機は英、佛、伊三箇國より購入する等。

十日 商業機による加州――紐育間十一時間五分四十三秒の新記錄がT・W・A社ダグラス機を操縱するトミイ・トンミルトン氏、ピーター・レドパス氏、ハロルド・スネード氏のロボツト裝置付によつて成功。

十一日 ソヴイエートでは浦鹽に接したボシエツト灣に一大水上機倉庫を新設。

米海軍大演習ハワイ攻防戰參加機は四隻の航空母艦搭載機二百七十、各艦隊搭載機百十六、其他飛行艇等を含む四百六十三臺と算せらる。

十二日 ソヴイエート政府は、極東方面の商業航空路に使用する航續五十時間半硬式飛行船數隻建造を發表。

十三日 ヴエネチヤ宮にて佛空相と伊首相との間に空軍相互援助、航空技術協力、商業航空提携の條約成る。

米陸軍機九臺はクリストバル出發、コスタリカ、ニカラグア、サルヴアドル訪問。

十四日 北米フロリダ州マイアミを出發した飛行機曳航のグライダー三臺は郵便物、急送貨物を搭載、メキシコ灣上二百四十粁を南下して灣上の小島キーウエストに安着、更に二百四十粁を飛んでハヴアナに安着。

十五日 キングスフオード・スミス代將は、英帝在位二十五年祝典紀念書狀三萬四千通其他を積載、午前零時二十分サヾンクロツス號を操縱してシドニー出發、ニユージーランドへ向つたがタスマニア海上でプロペラ一箇破損、發動機に故障を生じ、シドニーに引き返し午後四時十分歸着。

一九三三年より二年間、南極に滯在したバード少將一行は幾多の功績と共に去る十日歸國し、一切の公式訪問を終つて探險の整理に着手。

米國アルドリン少佐、ジミイ・テイラー兩氏はダグラス・ドルフイン兩用艇で、百粁に對し百五十九哩八の新記錄を作つた。

ラヴアール佛外相はソヴイエート空軍を視察。

十六日 ソヴイエートの半硬式飛行船V六型は、いよ〳〵モスクワ――スエルスドロフスク間の定期航空路に就航する事となつた。

ロシアとチエツコスロヴアキアとは、相互援助條約締結と同時に兩國間の航空條約を締結しプラーグ――モスコー間新定期航空路開設を約す。

十八日　マキシム・ゴルキー號は午後零時四十分、モスコー中央飛行場に於てユーロフ、ミカエル兩飛行士操縱のもとに中央航空力學研究所勞働突擊隊員並に其家族を搭乘せしめ遊覽飛行中、プラーギン飛行士操縱の同伴機はゴルキー號附近で禁を犯して、七百米の上空で宙返り飛行をした際、機體をゴルキー號の翼に接觸した爲め兩機共飛行場附近のソコール村に墜落、乘組員十一名、同乘者隊員二十三名、その家族婦人八名、小兒六名、同伴機搭乘者二名及び機體に押潰された民家の婦人一名を合せ死者合計五十一名。

ポーランド系米人スタンレイ・ハウスナー氏は、曾て大西洋で八日間漂流して救助された奇蹟的飛行家であるが、新造機試乘中墜落火を失して慘死。

米國のヴアンス・ブリース氏は砲彈型ケイス・ライダー機に急送貨物を積み、桑港――サンゼルス間五百八十粁を一時間十一分五十六秒で突破。

十九日　ソヴイエート政府は、國費をもつて、マキシム・ゴルキー號殉難者の國葬を營み、弔慰金一萬ルーブルを支出。

二十一日　米國大演習中のプラン・デンパーカー大尉は海中に墜落、乘員六名即死。

二十一歳のジユアン・イグナチオ・ポンボ氏は、アフリカよりナタールまで南大西洋を十六時間五十五分で横斷、最弱年の横斷者となる。

二十二日　米海軍演習終了し、飛行艇VP九型六臺はミツドウエイ出發、二十三日午後ホノルルへ戻つた。

二十三日　英國空軍大擴張案七十一箇中隊新設の原案は三四〇票對五二票で下院の支持を得。

二十三日　佛國が現在の空軍を縮少し、且つ英國が獨逸以上の空軍を建設せざることに同意するときは、獨逸も亦これを縮少することに贊成する旨を公式に英、佛、白、伊各國政府に通牒。

ライアンS・T・輕飛行機によつて、ベーター・ダナと云ふ十九歳の少女は、三十三時間四十六分で米大陸橫斷に成功。

二十四日　米海軍V・P一〇型飛行艇六機は、ミツドウエイ島――ホノルル間千九百粁を無着飛行して午後九時十五分、ホノルルに到着。

二十五日　米國のルーラ・インガルス孃は午前四時四十七分、バーバンカル發米大陸橫斷飛行の途に就いたが、送油管の壓力低下で午後七時三十分、インデアナポリスに不時着。

米海軍の空前の大演習は事實上終了し、正午（日本時間二十六日午前七時半）海軍機二百二十五臺は相次いで航空母艦を飛び出し、堂々空を壓する編隊飛行をもつてオハフ島を一周し、空中分列式を行なふ。

三十日　單獨大西洋を橫斷したイゲナチオ・ポンボ氏は、ペルナンブコよりメキシコ市へ飛行して目的を終了。

三十一日　世界的落下傘士にして昨年九月、十六分五十秒間に繰返し

八回降下を試みたアイヴオル・プライス氏は、英國ウツドフオードにて不開傘のため墜死。

六月

一日　印度ベルチスタン地方の震害にて空軍基地全滅し、格納庫燒失、將兵四十三名死亡。

二日　リトワニアのジヤブロンスキー少佐は、國產輕爆アンボー四型ブリストル・ペガサス附單葉にてバルチツク海一週を行なひ、平均二百八十粁の高速力を出し、最高二百九十五粁にさへ及んだ。

三日　チエツコスロバキア國政府は、アヴイア會社にR・K・一七型四百五十馬力發動機八臺の製造方を命じた。

五日　米國のシコルスキー新兩用艇S・四三型は、双發中の一箇を停止したまゝ十五秒間の滑走で滿載のまゝ離水。

六日　萬國航空聯盟會長ビベスコ殿下は、ソヴイエート國の萬國航空聯盟加入の件に關し、同國オソアヴイアヒム會長アイデマン氏と會見、正式にソ聯の加入を認めた。

七日　伊太利政府は時局に鑑み、空軍强化のため一八八五年生れの飛行士、技術員に二箇月の臨時訓練を施し、又一八八〇年より一九〇七年生れの豫備下士に再訓練を施すため一齊に召集。

八日　英國パーシバル大尉は輕飛行機による性能を示すべく、午前一時半クロイドン飛行場出發、平均百六十哩の速力で一氣に北アフリカのオーランに到着、午餐を終へて再び歸途百五十七哩の速力で午後六時二十分、クロイドンに着。

九日　**ソヴイエートのコズルカ氏はモスコー郊外に於て、七千四百四十五米の上空からの落下傘降下に成功し、世界記錄を作る。**

十日　米國太平洋岸に於て、大防空演習行なはれ、サンデイゴ市空襲を實施。

十一日　英國政府は、新萬能型軍用機設計の懸賞募集發表。

日滿兩國民一致協力して新京の空を護る國都防空演習は、日本軍隊參加の下に午前八時より開始、十三日まで續く。

十二日　米支連絡定期航空の汎米航空會社クリツパー機はハワイ經由、ミツドウエイ島まで第二航程の初飛行を試むべく、太平洋標準時午後三時（日本時間十三日午前八時）カ州アラメダ發、ホノルルに向ふ。

チエツコ國スコーダ發動機工場は、國家に買收さるゝことゝなつた。

十三日　チヤイナ・クリツパー機は地方時間午前六時二十七分、ホノルルに到着。飛行時間十七時間五十七分。

十四日　二十五年前、米航空界の始祖ハミルトン氏の紐育――費府飛行に因み、リツケンベーカー大尉はダグラス機で僅々五十六分で兩地間を飛行。

十五日　ウイリー・ポスト氏の第四回目の成層圏飛行は加州を出發、ウイチタに於て不時着、又もや失敗に歸した。

十五日　午前八時二十七分（日本時間十六日午前一時二十七分）ホノルルを出發せるチヤイナ・クリツパー機は午後五時四十分（日本時間十六日午前十時四十分）ミツドウエイ島に安着、航程二千粁の所要時間九時間十三分。

十六日　ソヴイエート政府は、ハバロフスク起點、アレキサンドロフスクを經、オハに通ずる旅客貨物の新定期航空路を開始。

米國ベンジヤミン・キング氏は、エーロンカ超輕飛行機で紐育オシニング邊にて三七〇粁六五六の速力を出し、水上輕飛行機の記錄を破る。

十七日　**佛國マリイ・イルズ孃は、軍用ブレゲー六百馬力機で一一、八〇〇米に達し、婦人高度記錄を作る。**

ミツドウエイ島からハワイに歸還のチヤイナ・クリツパー機は午後四時二十九分（日本時間十八日午前十

一時五十九分）ハワイに到着、逆風の爲め所要時間十時間五分。

ソヴイエートの女性パラシュータ一六名は、モスコー近郊に於て七千三十五米の上空より落下傘降下を演ず。

十八日　墺國クロンフエルド氏は、倫敦――巴里間を四時間五分で飛行し、ドローン式の新記錄を作つた。

十九日　新嘉坡空軍根據地の第三次擴張のため、英政府は五百六十八エーカーの土地を買收。

二十日　伊太利カリーナ・ネグロネ侯爵夫人は、ローマのモントセリオ飛行場で一萬二千四十三米に上昇し、婦人高度の新記錄を作つた。

米國政府は、下院豫算委員會に對し、追加國防豫算案の緊急審議方を要請。內容は、

一、米支航空路開設費百萬弗。

二、ハワイに陸軍飛行場を建設し、同地の要塞を強化。

三、ハワイに海軍根據地を新設等

二十二日　シンガポール――香港間四十八時間の記錄作成と、香港慶祝飛行場の强化程度視察のシンガポール第二百五飛行隊所屬大型スーパーマリン・サヴムプトン重爆撃飛行艇は、途中カムラン灣に着水の際、事故を起し、豫定より遲れて午後二時半香港に着く。

チヤールス・リンドバーグ大佐は、ロツクフエラー研究所にて人工心臟の製作に沒頭してゐたが、アレキシス・カレル博士と協力して人工心臟に成功。

ソヴイエートのL・一型一九二九號は、四名の旅客と郵便物百十瓩を積載してハバロフスクを出發し、四十六時間で八千五百粁を飛び、モスクワへ二十四日朝到着。

チヤイナ・クリツパー機はホノルル出發、午後零時十分（二十三日午前五時十分）アラメダ港に歸還。所要時間十八時間三十九分。

二十三日　エブラール、ダイイエール兩中尉の佛國水上機「南十字星號」は、二十二日午前八時二十五分、シエルブール出發、二十時間三十三分で四千四百四十九粁を翔破、午後一時五十五分佛領ギニアの邊境ジグインショアに到着、水上機直距離公認記錄を作る。

二十六日　英國ハンプシヤー・フアーンボローで世界最初のロボット機「クキーン・ビー」實驗さる。

米國海軍作戰部長スタンドレー提督は、今次の米國海軍大演習の結果、五百機に及ぶ航空隊の威力を以てしても、尙ほ水上艦艇に代る力はなく、水上艦艇の力を補足するに過ぎずと斷ず。

二十七日　米國國務省は、郵便航空路を濠洲及びニュージーランドまで延長すべき目的の下に、諸資料を南洋方面に亙つて蒐集を開始。

米國海軍長官スワンソン氏は、一九三五――六年度海軍豫算に基く海軍飛行機五百五十五臺建造の第一着手としてコンソリデーテッドP二Y一型飛行艇と同型の巨人哨戒爆撃兼用飛行艇六十臺の建造契約を締結。

二十七日　米國航空局は、本年上四分の一期飛行機生産高は、前年同期に比して九十臺增加し、三百四十九臺に及んだと發表。

二十八日　米國メーン州エルメラにて擧行中の全米帆走大會は本日終了し、デユポン氏の新米國滯空記錄及び距離記錄等の收穫を得た。

和蘭王立航空會社はバンコツク發海防經由とバアタヴイア發、蘭領ボルネオ、タラカン、マニラ經由と、香港までの二大航空路開設に決定。

二十九日　米海軍長官スワンソン氏は、空軍擴張五五機建造の第一次着手に、本日コンリデーテッド會社へP五Y・一型飛行艇六十臺、七百七十萬七千弗を註文。同機は翼幅百四呎、二十時間の航續力をもつてゐる。

七月

一日　去る六月四日以來、ミシツ

ビイ州メリデアンに於て飛行を續けてゐたフレデリツク及びアルフレツドのキー兄弟は、愛機エル・ミス號を操縱して去る五月二十九日、午後零時三十二分をもつて前記錄五五三時間四一分を破つた世界滯空記錄樹立の目的は、本日遂に非公認記錄たるジヤクソン、オブライエン兩氏の六四七時間二十八分三十秒をも破つて完成し、滯空將に一箇月、午後七時大群衆の熱狂裡に着陸。六百五十三時間三十三分の大記錄を作つた。

メキシコ政府は今回、メキシコ國內の商業飛行に從事する資格を、メキシコ生れの同國人のみに與へることゝなり、從來右飛行に從事の米國人五十名を解職す。

二日　獨逸のベーター・リーデル氏はグライダーを操縱、伯林――ハンブルグ間二百七十粁を六時間四十分て翔破し、新記錄を作つた。

米國ボーイング飛行機會社は昨年來、ミステリー・ボンバー（神祕爆撃機）として知られてゐる世界最強と稱する爆撃機完成。

三日　獨支合辦の歐亞航空公司は資本金二百四十萬元增加、合計七百五十萬元となし、ユンカース機を購入して北平――廣東間の定期航空に從事せしむること丶なる。

米國オークランドの飛行場で嚴祕裡に無線誘導の飛行を行なひ、九時間に七百哩を飛行し、宙返りなども行つて無事着陸。

ルーズヴエルト大統領は、米國の航空會社保護方策を樹立すべき目的の米國航空輸送保護委員會を任命。

五日　ジーメンス航空機製造會社飛行機が、ベルリン郊外ブリツツ上空から人家の上に墜落、これを炎上せしめ、飛行機搭乘の試驗員六名並に墜落を受けた家の家族二名卽死。

ボストンの國際航空聯合會副會長ゴツドフレー・カボツト氏は、飛行機が無電信號其他、地上からの助けを借らずに百哩の濃霧中、何れの場所にも安全に着陸し得る裝置の發明者に一萬弗を與へる懸賞を發表。

伊エ紛爭に際し、ムツソリニ首相の愛兒ビツトリオ、ブルノ兩氏は、エレトリアへ出征飛行の途に上つた。

六日　英國ブロイド大尉は、佛國へ賣却したコメツト機を操縱して倫敦――巴里間を五十分で飛行。

カドガン英大使は國民政府當局との間に、

一、支那は歐亞航空公司の新疆線をカシユガルまで延長。

一、カシユガル――拉薩間に英支合辦の一航空會社を作り定期航空せしむ。

の諒解を得。

ソヴイエート政府はゴルキー號墜落後、直ちに同型の巨人機三臺建造の資金募集に着手したが、更に計畫を擴大して十六臺建造、空中艦隊編成に決定。

七日　佛國アンジエルに於ける第三回十二時間競技は、十二機中九機が飛行を終り、アルノー氏は十二時間に三千二百六十八粁を飛行して優勝。

十日　米國航空技術長官アーネスト・キング少將は、海軍航空充實計畫に次年度に於て代機二百八十二臺新機二百七十三臺建造の意向あり、また實驗用として航空母艦積載の水雷爆撃機、戰鬪機、潛水爆撃機、船艦偵察機各二臺、偵察爆撃機數機建造中若くは試驗中なる旨言明。

米國新進の化學者アドルフ・ブラシン博士は過去十六年間に亙り、實驗に沒頭した不爆發性固形ガソリンの製造法發明、ソリーンと命名してニューヨークのガツゲンハイム飛行學校にて實驗。

十一日　紐育マンハツタン警察署は、交通整理に飛行機を利用すべく、オートヂヤイロで空中よりラヂオをもつてゴー・ストツプの試驗を行なひ好成績を收めた。

十二日　米國ラピツト市に於て、地理學協會主催成層圈探險準備中であつた三十萬立方呎の大氣球エキスプロア二世號はヘリユム・ガス注入

中、大爆發した。

伊・エ兩國紛爭の切迫と共に、米國飛行家ハルト・ベリアー氏は同志十三名を糾合し、義勇飛行隊を組織してエチオピア空軍に投ずることゝなる。

十三日 「ハーレムの黑鷲」ことフーバード・ジユリアン氏は、エチオピア國籍を取得したので愛機を携へ愈々エ國に歸參することゝなつた。

十四日 和蘭K・L・M會社のフオツカーF二二型はコペンハーゲンに向けアムステルダム出發直後、燃料管の故障で片舷二臺の發動機停止して墜落、乘員五名中四名と旅客十五名中二名が死亡。政府は直ちに同型機を一時定期輸送に使用するのを禁じた。

佛國政府は南太平洋タヒチ島に空港を建設、水上機三機を所屬せしむることに決定。

十五日 中國航空公司のフオード機昆明號は四川省成都より貴州の貴陽を經て雲南まで初航空に就いた

が毎週一往復、木曜日午前十時重慶發、午後三時半雲南着、金曜日午前十時雲南發、午後三時重慶着のダイアである。

十六日 英國政府は空軍三倍擴張二箇年計畫經費として、五百三十三萬五千磅を本年度追加豫算として議會に提出。

ヴアルレ伊空相は、急據カプロニ重爆三百臺をアフリカに出征せしむべく國內空軍に命令。

十七日 **伊太利空軍のマリオ・スパニ氏は、北伊トリエスト灣モンフワルコーニからカント飛行艇で出發、二十五時間に三千八十七哩を翔破してソマリランド着。水上機の新記錄を作つた。**

伊國航空次官ヴアレル將軍は、東亞情勢の新展開に應ずる爲め、三百四千萬弗の支出方を要求。

二十一日 本日より八月六日にかけ、獨逸のワツサークーベに於て本年度帆走大會開かれ、參加機六十一臺に及ぶ。

二十二日 メキシコのフツツ・ビーラ氏は、舊獨逸軍の勇士であるが、今回ビーチクラフト機で駐墨英大使館書記官ハワート・ファーカー氏と共に世界一週飛行に出發。

二十三日 ウイリー・ポスト氏は夫人及び漫文家ウイル・ロージヤース氏同伴、ロツクヒード單葉で午後一時二十分、ロサンゼルスのユニオン飛行場を出發。

英空軍のレンダー・リース少佐はホブス操縱士以下四名を隨へ、空軍機を操縱、ロンドン——シンガポール間聯絡飛行の途に就く。

二十四日 汎米航空會社の太平洋上根據地建設の途にあつた準備船ノース・ヘヴン號は、地上員の燃料、食糧の配給を終つて歸還。

二十五日 ポスト氏一行は豫想を裏切りニユ・メキシコ市に着陸、單なる避暑旅行にすぎないことが判明。

二十六日 廣西政府では、王禮明少佐以下十五名を航空訓練のため日本へ派遣。

操縱士に起用、バイヴコフ第二操縱士、レヴチエンコ航空士を介添として北氷洋岸より桑港に到達する大飛行を決行することゝなる。

十八日 米國汎米航空會社のマーチン一三〇型大飛行艇は、二十三噸の全重量で五千五百五十米の高度に達し、この積荷十噸八八による高度記錄は陸上機のカプロニ式によるものさへ凌いだ。

二十日 スキスのテイチーノ地方メソルチーナ溪谷のメソツコに於て、K・L・M會社バタヴイア行きダグラス旅客機は、突風のため墜落、乘員四名、旅客十名全部慘死。

米國陸軍省は議會に對し、空軍整備計畫の一端として六百臺以上の軍用機購入の爲め、これに要する經費

二十七日 メーコン號の遭難に對し、その設計者たるカール・アーンスタイン氏が、同船の改裝を提言したところ政府が用ひなかつたのが最大の原因であると、杳問員ケイ・デイフオレスト氏より摘發。

二十八日 ムツソリーニ氏から蔣介石氏へ進呈するため、伊太利セスト・カレンデを出發、南廻りコースで上海へ向ひつゝあるシルビオ・スカローニ、アントロ・トレデイ兩氏操縱、四名同乘のサヴオイア七二型三發三十二人乘旅客機は、午後三時香港慶德飛行場に到着。

二十九日 米本土並にアラスカ防備强化を目的とせる陸軍航空隊、アラスカ、太平洋岸西北部、ロツキー山地方、大西洋岸東北部、大西洋岸東南カリブ海沿岸、米本土東南部の六大根據地增設法案は上院を通過、大統領の許に廻付さる。

三十日 ニユーヨーク・タイムス紙はニユージヤーシー州オートモンマウスのアメリカ陸軍信號隊實驗所で八十粁以上を透視し得る祕密光線を發明したと報じてゐる。

廣東省北部の廣東空軍の韶關飛行機製作所では、第一回分としてダグラス複葉戰鬪機四臺の製作を完成、午後三時半、廣東郊外の天河飛行試驗場で試驗飛行。

八月

一日 米海軍は太平洋防備强化の一として、サンピドロのターミナル島民間飛行場を向ふ三十年租借し、よ艦載水上飛行機の發着設備を整へ、百三十六臺の偵察機を常備する計畫。

ソヴイエートではアイル九型低翼石氏に寄贈のサヴオイア七二號は午後三時五十五分、香港から上海虹橋飛行場に到着。

二日 獨逸のルフト・ハンザでは、いよ〳〵北大西洋定期航空路の開拓を企て、シユワベンランド汽船を改造して洋上補油船とすることになつた。

三日 オルヂ・レヴアネフスキ氏は僚友バイヴコフ操縱士、レヴチエンコ航空士と共にCCCPO二五號單葉機を操縱、午前六時（日本時間午後零時半）モスコウ中央飛行場出發、桑港に向け東經四十度の線に沿ふて北上、北極圈橫斷無着飛行の壯途に就き、時速百五十粁をあげ午後には蘇聯領內を越え、午後三時三十分、北極洋の一部バレンツ海上を順調に飛行中だつたが、燃油裝置に異狀發見、修理の方法なく同海上南方よりコラ半島、白海、ペトロザヴドスを經由して午後十時三十分、レニングラード南部飛行場に歸還。

四日 ムツソリーニ首相より蔣介石氏に寄贈のサヴオイア七二號は午後三時五十五分、香港から上海虹橋飛行場に到着。

ソヴイエートのボリス・ロマノフ氏と、アンドレ・バグリスキン兩氏は、千六百立方米の氣球で五十六時間の新世界記錄を作つた。

七日 伊國空軍少將ラフエレ・ボエタニ氏は午前、サヴオイア・マルケッチ單葉機を操縱、公共事業相ルイギ・ヲツツア氏並に空軍將兵五名搭乘、伊領エリトリアのマッサワに向け出發、後間もなく機體の故障からヘリオポリス西方二十粁の地點に墜落、搭乘者全部慘死。

南京政府では、支那內地への外國航空路開拓に對し、自國航空の發達するまで聯絡せざる方針をもつて一切拒否した。

アメリヤ・イヤハート女史は、國內航空會社副社長を辭任したが、在任中、その給金は四十二仙であつた。

ウイリー・ポスト氏操縱、ウイルロジヤース氏同乘のロツクヒード機は午前九時十五分（日本時間八日午前二時十五分）シヤトル飛行場出發第一コース千四百五十粁を飛んで午後五時三十五分、アラスカのジユノーに到着。

八日 米空軍司令ベンジヤミン・フロア少將は、軍用機購入の濱職により六箇月間待命を命ぜられ、後任

はオスカー・ウエストフオア氏が任命さる。

十日 太平洋横斷第三次試驗飛行のチヤイナ・クリツパー機は、九日アラメダを出發以來、好調の飛翔を續け午前五時四十二分（日本時間十一日午前一時十二分）ホノルル眞珠灣に着水。飛行時間十七時間十二分。

佛國アルノ氏はエタンプ飛行場でコードロン競技機を操縱し、百粁上の四七六粁三一六、千粁上の二九二粁八二五の新記錄を出した。

十一日 米國郵便省では、十月二十一日限りで太平洋定期航空の公入札を發表。每週一回、郵便物八百封度以上、六人旅客を收容し、時速百二十五哩以上等の條件をもつて十年契約となつてゐる。

十二日 米國ルーズヴエルト大統領は、ウイルコツクス氏提案の陸軍防空法案に署名したが、內容は沿岸十飛行場、千五百機を一億二千萬弗の豫算である。又、大統領は、西經一六七度以西のアリユーシアン列島と軍用地帶の商業飛行を禁止。

十三日 獨逸のエリ・バイエルホルン孃は、シレシアのグレイウイツよりトルコまで往復二千二百三十粁を十三時間十五分で翔破。

チヤイナ・クリツパー機は十六日午前九時二十一分（日本時間十七日午前二時二十一分）ミツドウエイ出發、八時間四分で二千粁を翔破、午後零時二十五分（日本時間午前十時二十五分）ウエーク島に到着。

ヒリツピン島駐屯米國陸軍では、臺灣を指呼の間に望むバタン島に飛行場を新設。

十九日 伊政府は空軍增員法令を公布、正規空軍の兵數一萬三千二百八十八名增員、豫備空軍三千名を新設することになる。

二十一日 **シアトルのボーイング航空機會社製作の新爆擊機は、シアトル——デイトン間三千三百八十粁の試驗飛行を實施、三百七十粁の時速記錄を作る。**

クリツパー機はウエーク島發、歸還の途に就き、ミツドウエイ島に到着。

ソヴイエートでは新飛行船V七型チエリユスキーネツ號の試驗飛行を行なひ、九千五百立方米の老大な姿を、始めてモスクワの空に浮べた。

二十二日 チヤイナ・クリツパー機は午前九時二十七分、（日本時間二十三日午前二時二十七分）ミツドウエイ島發、午後五時二分（日本時間二十三日午前十時二分）ホノルルに到着。

ポスト氏の盛葬は故郷オクラホマ市にて行なはれ、全米を擧げて弔問し、またウイル・ロジヤース氏の葬儀は柊林で行なはれた。

二十三日 ヘンリ・パトラー中將統裁のもとに、米國加州サンデイゴ米海軍根據地では、四百十六機が參加して中將自ら追擊機に乘り、各種の示威運動を行なつた。

二十四日 **マーチン重爆擊機を水上機としてフランク・アンドリユス氏操縱し、二千貯を積んで千粁のコース上に三時間四十五分十三秒で飛**

行し、**百六十五哩四の世界記錄を作つた。**

二十五日 イタリーでは南阿政策の促進上、エレトリアに三十五箇所の飛行場を設け、アスマラとローマ間を三日間で每週二回定期航空を開始。

二十六日 英航空母艦グロリアス號は、突如マルタに向けて戰鬪機一中隊、偵察、重爆各一機、將士千名を乘せて出帆。

二十八日 二十七日午後二時五十九分（日本時間二十八日午前十時二十九分）ホノルルを出發したチヤイナ・クリツパー機は、十七時間二十六分を要して午前十時五十五分（日本時間二十九日午前三時五十五分）アラメダ空港に到着。

三十日 **米國空界の年中行事ペンデイツクス氏提供一萬五千弗懸賞ロサンゼルス——クリーヴランド間飛行競爭は、午前零時五十分イヤハート女史を先頭に濃霧を衝いて十機出發したが、殿りのセシル・アレン氏操縱機は、離陸後五分にしてロサンゼルス市郊外ヴアン・ナイスの畑中に墜落慘死。**

シカゴ出身のベニー・ハワード氏は、ロサンゼルス——クリーヴランド間三千三百粁を八時間三十三分で翔破して午後一時四十分クリーヴランドに到着、第一着の榮冠を得、ロスコー・ターナー大佐は十三秒五で第二着。

三十一日 英航空省は伊エ紛爭の激化に鑑み、空軍擴充計畫を最大限度まで促進するの必要を認め、空軍機製作工場は一齊に二十四時間工場運轉を開始し、非常時的作業狀態に入る。

英航空省は新建造機二千臺に應じた航空兵員募集に着手、恒久的航空兵訓練所數箇增設に決定。

英帝國空中路會社では海峽殖民地から香港への定期航空路をいよ〳〵開始することゝし、デ・ハヴイランド八六型を用ふることにした。

九月

二日 伊國政府はエチオピア一擧攻略のため、三百臺のカプロニー重爆機をエレトリアに出征を命じたと傳へらる。

佛國政府は、突如陸空軍を動員してガメララン將軍自ら指揮し、獨伊國境に大演習を開始。

三日 汎米航空會社では、支那に着陸地を求めて拒否されたので、英國に交涉した處、これ又不調となり、辛らうじてポルトガルと交涉成功して澳門に着陸地を設けることゝなつた。

五日 アデス・アベバでは空襲に備へる地下室塹壕を工作し、英國公使館には百三十名の機關銃兵が到着。

六日 佛國ジヤン・メルモ氏は佛國製コメツト機で巴里——アルゼール間を四時間五分で飛行し、平均二百六哩の速力を出した。

七日 去る七月三十一日以來、アーサー・スケア氏が試乘中の新ノースロツプ戰鬪機は、加州サン・カタリナ灣上を飛行中行方不明になつた旨、羅府警察官から發表。

八日 ソヴイエートの大飛行船V二號は繫留中、突風のため綱が切斷し、グドブアンツエン氏は勇敢にも綱にすがつて吊船內に入り、六時間漂流の後、無事着陸。

九日 米國T・W・A社のトムミルトン飛行士は、ニユワーク——カンサス兩市を盲目飛行で七時間飛行。

ソヴイエートの青年飛行家によりモスコー——オレンヂブルグ——スタールングラド——キエフ——モスコー間五千粁一周飛行が三十臺の練習用輕飛行機で擧行。

十日 ツルソーに於て萬國氣球大會開かれ、波蘭の一氣球はシベリアまで飛行。

十一日 英國プロペンシアル飛行倶樂部教官アンリ・シヤペル氏は「空の虱」號でマルセーユに於て着陸を

誤まり慘死。

十二日　米國ハワード・フユーズ氏は新製作の千馬力競爭機により、加州に於て三百五十一哩七九の快速力を出して世界記錄を破り、アーヴン・ランチの三粁コースを五周して最高三百五十二哩を出した。

十三日　**米國ルーラ・インガル孃は、ロツクヒード・オリヂン單葉で六百四十ガロンの燃料をつみ、東行き機斷十三時間三十四分、平均二百二十五哩の驚くべき記錄を作つた。**

十四日　英國空軍はアテネ、スエズ方面に於て軍事動員に入り、休暇は取消しとなつた。

十五日　**米人アレキサンダー・ゼヴレヴスキー氏は、自作機により二百三十哩〇三の兩用機に於ける新記錄を出し、三粁に對し平均二百二十七哩七三三を出した。**

十六日　伊エ紛爭に際し、伊太利に派遣中の支那飛行將校王勳、田曦、亞楊峰は伊太利に到着。

十七日　グライダーの權威獨逸ヴオルフ・ヒルト氏一行は日本に向けベルリンを出發。

米國では世界最高速度の戰鬪機建造に研究を續けてゐるが、ロサンゼルスに於てデイツクブール氏操縱、機關士ストーン氏同乘の時速五百粁を出すと云ふ新戰鬪機は、試驗飛行の際、離陸と同時に錐揉狀態になつて墜落、兩氏は慘死。

二十日　チイホフ、ドローキン兩飛行士は二千二百立方米の氣球に搭乘し、モスコー郊外ヅヴエニゴロドを離陸、五十六時間で二千三百粁を飛行、カザクスタンに着陸。

二十一日　リトアニアの飛行家フエリツクス・ワイトクス中尉は午前六時四十五分、紐育フロイド・ベネツト飛行場を出發、母國の首都コヴノに向け、ニューファウンドランドから大西洋橫斷、英本國、バルト海を通過、七千二百五十粁翔破の壯途に就く。

二十二日　ワイトクス中尉は前後二十二時間で大西洋を橫斷、午前十時アイルランド西部バリンローブで霧の爲め畑中に不時着、立木に衝突機體大破。

フイリツピン軍事顧問就任の米國陸軍參謀總長マツクアーサー大將は、最近提出した年次報告中に米空軍擴充五個年計畫として每年八百機づゝ四千機の航空機增建を提案。

去る八月二十四日、紐育を出發せる駐墨英公使館書記ヘラルド・ファーガー飛行士、獨逸人フリツツ・ヒーラー機關士の搭乘せるビーチクラフト快速水上機は、ノームを經てハバロフスクより十九日ハルビンに飛行し、本日天津に着。

二十三日　**伊國アテルス・ピスコ氏は新飛行艇で二噸積載千粁に對し三百九十粁の速力記錄を作り、併せて五百旺及び一噸積載千粁の記錄を破り、二噸積載二千粁に對しても三百八十粁の新記錄を作つた。**

二十七日　獨空相ゲーリング氏は、祕書ミルヒ氏をハンガリーに飛行せしめ、更に駐獨波蘭大使リプスキー氏と共にワルソーに向ひ、獨波

匈の航空協定の內約を成立したと報ぜられる。

二十八日　十三國委員會では、サンカンタン佛委員とトムソン英委員等は、中立オブザーバー派遣の要請に對し、八臺の飛行機により伊エ兩國軍事行動を監視することゝして兩國へ回答。

二十九日　英國東洋艦隊航空母艦ヘルメス號は、急據威海衞より印度に到着、更にジブラルタルに向ふ。

三十日　伊太利航空母艦ミラグリア號は、十六臺の飛行機と二基のカタパルトを裝備し、ナポリ出發、エレトリアに向つた。

十月

一日　佛空軍の四十八機は、ソマリランド防備のためジプチに到着し、英空軍司令ポツパム元帥もカイザ一世號で將士三十名と共にジブラルタルに到着。

二日　張學良氏の購入した自家用ボーイング二四七D型白鷺號が南京へ飛行。

三日　拂曉、伊太利カプロニ爆撃機十五臺はチヤノ伯指揮し、ムツソリーニ首相の愛息ブルーノ、ヴイトリオ兩君も參加、アスマラを出發してアデイ・グラツトに猛烈な爆撃を行なひ、エチオピア軍は數千の死傷者を出した。

四日　伊軍は再びアドワを爆撃し、百八十名の死者を出さしめたが、イタリー機一臺もエ軍の猛射を浴びて墜落。

伊軍二機は北エチオピアのワルカイト州セチトを空襲し、守備兵十一名を殺した。

五日　汎米航空會社のチヤイナ・クリツパー機は午後三時（日本時間六日午前八時）アラメダ飛行場出發ホノルルに向ひ、第四次太平洋橫斷試驗飛行の途に就く。

拂曉、伊機はアドワ、セチト、キンヤフタ各地に爆撃を加へ、マカレ及び首府を去る七十哩のハヤ・フエツチにも七臺のカプロニ機が現はれ、デシエは空襲により全く潰滅し去つた。エチオピア軍の義勇飛行家ハレムの黑鷲ロビンソンは、伊二機と空中戰を演じた。

六日　アデイ・グラツト附近でエチオピアの高射砲は、伊一機を射落した。

カプロニ機六臺は午前中、ゴラエを完全に爆破し、無線局を破壞。

チヤイナ・クリツパー機は午前五時三十五分（日本時間七日午前一時五分）ホノルルに到着。

七日　カ州オークランドからニューヨークへ向けて飛行中のアメリカ合同空輸會社の旅客機は午前六時、ワイオミング州シヤイアンを距る二十七粁のシルヴアークラウン附近で墜落、旅客九名、乘組員三名慘死。

八日　英國極東航空隊司令スミス少將並に英本國航空隊附武官ボーエン大佐の香港來着により、香港が空軍根據地として且商業空港として擴充されつゝある事實が明白となる。

九日　伊機空襲に脅へ、アギス・アベバでは全市非常管制を行なひ、日沒後市民の外出を禁じた。

十日　ゲラルタ地方戰線にて、伊太利機一臺墜落し搭乘者四名は死傷。

十一日　米國クネフラー・マクギニス海軍少佐は、新造飛行艇XP三Y一號哨戒艇を操縱、前日午後五時、ノーフオクを離水してカリビア海を橫斷し、コゝソロまで二千哩を十七時間二十分で翔破し、午前十時二十八分到着、前記錄を八時間五分短縮。

十二日　チヤイナ・クリツパー機は朝、ウエーク島を出發し、太平洋標準時間午後九時十分無事グアム島に到着。

十三日　伊太利軍はダナキル地方を爆撃し、土民兵に莫大なる損害を與へた。

十四日　米國では、ハワイ島からフイジイ島に至るジヤルヴイス、ベーカー、ハウランド三島を米濠航空の重要地點として、正式に併合する

ことになる。

十五日 チヤイナ・クリツパー機は午後零時二十一分（日本時間十六日午前五時二十一分）グアム島を出發、ウエーク島に向つて復航の途に就く。

コンソロへ飛行した米海軍のクネフラー・マクギニス少佐は哨戒艇X・P3Y・一號を操縱、乘組員五名を乘せ、十四日拂曉パナマ灣を離水、中米西岸に沿ひて北上、五千四百五十粁を三十四時間四十五分で翔破、午後二時十五分アラメダ港に安着。

十六日 伊國飛行艇二臺は飛行士五名搭乘、十日にオルベテロ出發のまゝ行方不明となつてゐたが、本日エルバ島海上に於て墜落した殘骸を發見。

十七日 米海軍航空局長官キング少將は、近くコンソリデーテッド航空會社サンヂエゴ工場で建造されるX・P3Y・一號飛行艇百二十臺を中軸とせる强力なる偵察飛行艇隊を新設するに決した旨發表。

十八日 英國スーダン總督スチュアード卿は埃及王ファド一世と會見より桑港――マニラ間一週一回、郵便物八百封度まで一哩につき二弗、以上は一封度千哩に付一弗の追加料金として發表。

二十二日 中華民國空軍の根據地南昌、洛陽、杭州では、英、米、伊の指導者が擔當してゐるので、首席指導員伊國ダール氏との協和を缺き、內部の抗爭激化したと傳へらる。

二十三日 巨人キングスフォード・スミス代將は午前六時五十五分、英國より愛機レデイ・サバンクロス號により英濠間高速連絡記錄作製のため濠洲へ出發したが、荒天のため飛行を中止。

二十四日 中國航空協會は、民間航空促進のため組織章程及び實習綱要を決定、上海龍華飛行場に於て二臺の練習機により杜月笙、呂蘊秋兩氏の指導で練習を開始。

太平洋航空路第四次試驗飛行のチヤイナ・クリツパー機は午前十一時一分アラメダに歸還。

太平洋定期飛行は汎米航空會社の單獨入札となり、同會社は太平洋航空郵便施設に乘り出すことゝなる。

二十五日 英國民間飛行家チヤールス・フレンチ氏は伊エ紛爭以來、最初のジブチ――アデス・アベバ間の往復飛行を行なひ、貴重なる體驗を發表したが、氏は九時間二十六分で兩地間を往復した。

二十六日 チアノ伯は爆撃機三臺を率ひ、マカレ、アヂイグラットを攻撃した。

二十七日 英帝國航空會社では、極東線を香港まで延長する試驗飛行を好成績で終つたので、佛領印度上空通過のため佛國航空會社に交換條件として、河內――香港間定期航空路を許可することになつた。

二十八日 ダカブルのエチオピア機關銃隊は伊國一爆撃機を射落し、搭乘者三名は卽死。

米國陸軍省はマックアーサー前參謀總長の方針に基き、空軍五箇年計畫に乘り出すことゝなり、一九三六年一月の第七十四議會第二會期に空軍充實案を提出することに決定。

米海軍當局は十一月九日、四十八臺の水上機を以てハワイ眞珠灣司令官ケネス・ホワイテング大佐指揮の下に、ホノルル――ミツドウエイ間大編隊飛行敢行を發表。

二十九日 ソヴイエート國防大臣ウオロシロフ氏は、極東飛行隊の成績拔群の故をもつてミレチキン大佐以下ブラゴエスチエンスク管區中隊に五萬留の賞金を授與。

三十日 伊空軍はダナキールに根據地を建設し、十二臺のカプロニ爆撃機はモガルを襲撃、エ軍の高射砲隊を潰滅せしめた。

シヤトルのボーイング飛行機製作會社が、五拾萬弗の巨費を投じて最近建造の全金屬製、速力四百粁を有するボーイング型爆撃機はデイトン飛行場に於て陸軍側の試驗飛行に離陸の際、墜落して燒失。試驗官プロイヤー・ヒル少佐卽死、搭乘員四名は輕傷。

十一月

一日 エチオピア南國境ドロに於て、伊軍用機一臺射落された。

二日 新嘉坡に新設中のテムガー飛行場は殆ど完成し、廣さ千ヤード平方の地均し工事を終つた。

濠洲の飛行家メルローズ氏は、英濠飛行新記錄樹立の爲め午前七時半附近で遭難を傳へらる。

三日 伊空軍は、マカレに進撃し、數千名のエチオピア兵に向つて機銃掃射により數百名を死傷せしめた。

四日 國民政府の六中全會に於て、蔣介石氏は河南省洛陽に空軍を集結せしめ、杭州飛行場の所屬隊員を移動した。

五日 伊國政府は、エレトリア―ソマリランド間に一週一往復の定期航空路の開始を命じた。又、空軍十二機は英領ソマリランドよりハラルに向け前進中の隊商を爆撃し、運搬中の彈藥ベンヂンを爆破した。

太平洋橫斷のチヤイナ・クリツパー機は四日、ハヴアナのアカプルコに到着、燃料補給の上、本日桑港へ向けて出發。

八日 英濠飛行新記錄樹立の爲め、キングスフォード・スミス氏は去る二日、英本國を出發したが機關の故障と天候とにより、ベンガル灣附近で遭難を傳へらる。

九日 英國飛行家ブロードベント氏は英濠單獨飛行でボードダーウインに到着。所要時間六日二十一時間十四分、一九三三年キングスフォード・スミス氏樹立の七日四時間四十七分を破る。

午前八時二十九分、米海軍飛行艇隊四十一機はハワイ眞珠灣を出發、テネス・ホワイテング大佐指揮、千粁を距てたフレンチ・フリゲート島に向ひ、六時間二十六分で、午後二時五十二分着。

十日 ペナンにある英國雷撃機二臺は、英濠飛行の途中シンガポールに到着したメルローズ氏と共に、行方不明中のスミス代將を捜査。

十一日 米國陸軍のスチーヴンス大尉及びオーヴイル・アンダーソン大尉は、アメリカ地學協會、陸軍航空隊協力で製作した氣球に搭乘、東部標準時午前九時一分、ラピツドシチーを離陸、午後一時二十五分遂に二萬二千六十六米の高空に達し、宇宙線測定、成層圈觀測を行なひ、同二時五分下降開始、東部標準時間午後五時十三分、スチツクニー市郊外に着陸。

數年來の懸案佛支航空聯絡問題は兩國間に協定成立して調印を了り、廣東――河內間の國民政府交通部飛行機による運航の許可、佛國定期航空の中國航空との連絡等、三箇年の契約である。

十二日 フレンチ・フリゲート島にある米海軍飛行艇隊四十一隻は、南方千百粁のウヨンソン島に飛行。

十三日 ニユージーランドの女流飛行家ジーン・バツテン孃はセネザ

ルのダカールを出發、前後十三時間十五分で大西洋二千六十粁を翔破、ナタールに到着。

十六日 埃及政府は伊國政府に對し、埃及は中立嚴守の立場から軍用の目的を以てする伊太利飛行機の埃及上空通過禁止を通告。

「ハレムの黒鷲」ヒユーバード・ジユリアン氏は待遇改善を口實として辭表を出し、エ國を立去つた。

十七日 去る八日、消息を絶つたスミス代將は、ベンガル灣内モスコス島に飛行機らしいものが下降してゐるのを見たと、一汽船より傳へられ、直ちに捜査機が出發。

十八日 英國の新軍用機ホーカー單葉機は、四百粁の速力を出して公試驗に合格。

十九日 伊軍チアノ伯のカプロニ爆撃機二十臺は拂曉、マカレを爆撃し、エ軍六千の兵士を全滅させたが、ダルマツツ・ビルスゴ中尉の負傷したのと、チアノ伯が燃料槽の故障でマカレに不時着した外、伊軍は何等損害なかつた。

エチオピアでも皇帝ハイレ・サラシエ陛下自ら飛行機で戰線に出動、伊軍二機と空中戰を演じた。

二十日 リンカーン・エルスワース博士及びハーバート・ホリツク・ケニヨン氏の南極探險機は、根據地ダンデイ島を出發し、南極洲に向つて出發。

二十二日 **ソヴイエートのウラジミル・コキナーキ氏はモスコーで復葉機に搭乘、所要時間六十二分で一萬四千五百七十五米に達し、世界高度記錄を作つた。**

汎米航空會社の太平洋横斷定期航空のチヤイナ・クリツパー機は、艇長エドウイン・ミユージツク氏以下九名乘組、郵便物十餘萬を搭載、盛大なる開航式の後、午後三時四十七分（日本時間二十三日午前八時四十七分）アラメダ飛行場出發壯途に就く。

二十三日 米海軍省はメルボルン在住の英國アンダーソン氏の發明した殺人光線を買收し、レークハースト實驗所員に招聘すべく慫慂。

チヤイナ・クリツパー機はアラメダ出發後、逆風に惱まされて三千八百粁を翔破し、午前十時二十一分（日本時間二十四日午前五時五十一分）ホノルルに安着。

リンカーン・エルスワース博士はホリツク・ケニヨン氏と共に愛機「ボーラー・スター號」を驅り、午前三時三分南極探險隊根據地ダンデイ島を出發、ロス海の鯨灣の方向に向つたまゝ消息不明となる。

二十四日 チヤイナ・クリツパー機は午前六時三十五分（日本時間二十五日午後十一時三十五分）ホノルル發、午後三時三十一分（日本時間二十五日午前十一時一分）ミツドウエイ島に着。

二十五日 チヤイナ・クリツパー機は太平洋岸標準時間午前十時十二分（日本時間二十六日午前三時十二分）ミツドウエイ島出發、太平洋岸標準時間午後六時四十分（日本時間二十六日午前十一時四十分）ウエーク島に到着。

歐亞航空公司ではフリツツ・ホーン技術部長より北平——鄭州——漢口——長沙——廣東に新航空路開始の旨發表。

二十六日 **去る二十四日、獨逸を出發した南米行きツエツペリン伯號は、リオ・デ・ジヤネイロ上空でブラジルの内亂のため着陸不能となり、終日飛行をつゞけた上、二十七日午後辛うじてリオに着陸、期せずして百十九時間の新航續記錄を作る。**

二十七日 南米ブラジルのナタール一帶の共産黨暴動に、ヴアルガス大統領は空軍を動員して爆撃を命じ、一方逆軍はリオ市の航空學校でも格納庫を燒拂ひ、政府打倒を宣言した。

歐亞航空公司のユンカース機は蘭州より西安へ歸還飛行の途、靈臺附近で不時着の際、墜落して獨逸人飛行士二名慘死、旅客二名負傷。

二十七日 チヤイナ・クリツパー機は午前六時四十分（日本時間午前四時四分）ウエーク島發、午後三時七分（午後二時七分）グアム島アプラ港に到着。

二十八日 ポルトガル植民相は、澳門政府と汎米航空の米支聯絡郵便飛行協約の成立を承認し、汎米會社ビツクスビー氏と調印した。

二十九日 **チヤイナ・クリツパー機は午前五時（日本時間午前四時半）グアム島出發午後三時三十三分（日本時間四時三十三分）マニラに着水。總距離一萬二千七百粁、飛行時間七十六時間五十三分。**

三十日 ソヴイエート政府試驗用大飛行機ジツグ第一號は、モスコー市外で低空飛行中突如墜落大破、政府航空試驗所長ステロンスキ氏以下搭乘者七名慘死。

十二月

一日 冀東防共自治委員會の飛行機冀東號は、北平上空を宣傳飛行した。

二日 チヤイナ・クリツパー機は午前二時五十三分（日本時間午前三時五十三分）マニラ出發歸還飛行の途に就き、太平洋岸標準時間二日午前零時四十二分（日本時間二日午後五時四十二分）グアム島に到着。

三日 チヤイナ・クリツパー機はウエーク島地方時間午後八時五十八分（日本時間三日午後六時五十八分）ウエーク島に安着。

六日 米國、英國、カナダ、愛蘭土、ニユフワウンドランドの航空技術者をワシントンに招集し、世界一週航空路を二箇年以内に設立することゝなり、フアーレー米遞相は百萬弗を議會豫算に要求することゝなつた。

米比連絡太平洋郵便飛行一番機チヤイナ・クリツパー機は五日午後三時五分ホノルル出發、午前十時三十分（日本時間七日午前三時三十六分）無事アラメダに臨着、マニラ出發以來、四日二十三時間四十分。飛行時間六十三時間二十八分。

七日 飛行艇を指揮して日本訪問飛行を行なふ英國極東航空司令スミス少將は、香港航空隊擴張狀態視察の爲め香港に來着。

九日 米國陸軍長官ダーン氏は、毎年八百臺宛の戰鬪機を新造、五年以内に陸軍空軍三千機の大擴張を提案。

汎米航空會社の太平洋横斷二番機フイリツピン・クリツパー機は午後三時十七分、日本時間十日午前八時十七分、アラメダ出發、マニラに向ふ。

十日 フイリツピン・クリツパー機はアラメダ——ホノルル間二十時間十四分で翔破、午前十一時三十一

分（日本時間十一日午前四時三十一分）ホノルルに到着。

十一日　大西洋定期航空に關し、英國航空省と米國遞信省當局間に協定成立。

英國印度政府では、デ・ハヴイラント・ドラゴン機を正式に沿岸防備隊用の哨戒輕爆撃機に採用。

十四日　聯盟が對伊石油禁輸制裁を實行するならば、二百名の決死飛行隊に命じて地中海の英軍艦に着艦自爆の策に出る用意ありと、ムツソリーニ氏より公表。

佛大使フランソア・ポンセ氏並に英大使サー・[illegible]・フイツプス氏は、ヒツトラー[illegible]統を訪問して空軍相互援助協約案を締結し、ロカルノ條約を補強することに協議。

十五日　フイリツピン・クリツパー機は午後三時十三分、グアム島に到着。

十六日　フイリツピン・クリツパー機は午後三時五十分　日本時間午後四時五十分）マニラ着水、艇長ダールストーム氏以下乘組員上陸歡迎さる。

アンリ・ミニエ氏は、「空の虱」の二人乘機を完成し、夫人同乘最初の試驗飛行を行なつた。

十七日　米國陸軍省は、ダーン陸軍長官提案の空軍擴充五箇年計畫の第一着手として、機關銃四挺裝備、時速二百五十哩の高速度戰鬪機百臺竝ひ、密かに米國を脫出して英國へ移住することゝなつた。

十八日　歐亞航空公司の李景樅氏は、中華グライダー・クラブを組織し、上海龍華飛行場に於て練習を開始。

十九日　米國下院は陸軍クレーグ參謀總長案たる三箇年間軍用機二千四百臺建造計畫を受理し、每年七千萬弗づゝ支出することゝなつた。

二十日　佛國の巨人飛行艇ラテコエール・パリ大尉號は修理完成し、ジヤブールで最初の試驗飛行を行なつた。

二十一日　米國陸軍省ウツドリング次官補の名を以て、爆撃機百三臺の新造註文手續き完了を發表。

佛國政府は、米國にボーイング四發動機付超重爆撃機十七臺、ダグラスDC三型重爆撃機九十臺の大量を註文。

二十二日　空界の寵兒リンドバーグ夫妻は、次男ジョーンの身邊を氣

二十三日　伊太利空軍はアシヤンギ湖に爆撃を加へたが、戰鬪機一臺は射落された。

二十五日　ソヴイエート國民航空隊は極東の中心地ハバロフスク——北樺太間定期航空を實施、使用機は三發動機付U・G型二機、P・S型二機。

二十六日　米國陸軍當局は陸軍航空兵力補强の爲め、總計三百三十三機の軍用機購入契約を行なふ。總經費一千五百萬弗。

二十七日　米國政府は、無條約時代の太平洋上防備强化に腐心し、金門灣のアラメダ又はサン・マテオ市に空軍根據地設置を準備してゐる。

二十八日　英、佛、獨三國政府では、空軍ロカルノ案を祕密裡に折衝中であるが、ヒツトラー總統は、獨逸が空軍に於て優越な地歩を占むるのを條件として參加の用意ありと聲明。

二十九日　去る二十六日、エチオピアのダガブールに不時着した伊太利飛行將校二名が、斬首されて晒しものにされたに對し、報復的空襲を決行すべしと、空軍は命令を受けた。

三十日　リンドバーグ大佐の乘船は、リヴアプール港プラツドストン・ドツグ第一水門に入港することゝなり、英國當局は明朝の入港に對して一般人の立入りを禁止。

伊空軍はエ軍が遁入したといふ名目で西南戰線に出動、ドロ市に於ける瑞典赤十字野戰病院に爆撃を加へ、病院勤務の瑞典人九名　エ人二十三名慘死。アヂス・アベバ市民は國際法を無視した伊國の暴狀に激昂

本邦民間機の國際飛行

（昭和十年度）

阿野操縱士の母國歸朝飛行

長崎縣人日本飛行學校出身二等飛行機操縱士阿野勝太郎氏は、單身よく倫敦——東京間の歐亞連絡飛行を企圖し、幾多の困難と死闘を續けながら本邦人として最初の南廻りコースに成功した。勿論、この成功の裏面には海外在留同胞の眞摯なる後援に俟つもの多かつたことも事實である。

使用機　青海號（ブリテツシユ・クレム式イーグル型低翼單葉引上脚。ジプシー・メージョア二〇〇馬力裝備）

コースと發着日時

月日	時	場所（發）	時	場所（着）	粁程
五・三	前八・二〇	ヘストン	前一〇・一五	ブラツセル	三三〇
三	後四・二〇	ブラツセル	後七・四〇	ゲ　ラ	
四	前一〇・二一	ゲ　ラ	前一〇・四四	ライプチツヒ	六四五
五	後一・二〇	ライプチツヒ	後四・四〇	ニウルンベルヒ	五六三
七	後〇・五五	ニウルンベルヒ	後二・四四	ウ イ ン	三三
八	前一〇・〇〇	ウイン	後四・〇五	ニシユ	五四七
八	後六・〇五	ニシユ	後七・三〇	ソフイア	一六一
九	前一一・二〇	ソフイア	後一・五五	君　府	五三〇
一〇	前一〇・五五	君　府	後二・〇〇	エスカシヤイア	二六六
一〇	後三・〇五	エスカシヤイア	後五・二〇	コ ニ ア	三三三
一一	前八・〇〇	コ ニ ア	前一一・二〇	アレツポ	五二七
一三	前四・二〇	アレツポ	前八・三四	バグダツド	
一三	後〇・三〇	バグダツド	後五・〇〇	ブシール	一、五七四
一三	前五・〇〇	ブシール	前一〇・一五	ジヤスク	
一三	前〇・三〇	ジヤスク	後五・一五	カ ラ チ	一、八四三
一五	前七・一〇	カ ラ チ	後四・一五	アラハバツド	一、五四五
一六	前五・五四	アラハバツド	前一〇・一〇	カルカツタ	七五六
一八	前五・一四	カルカツタ	前七・二七	チタゴン	
一八	前八・〇〇	チタゴン	前一一・二五	サンドウエイ	
一八	後〇・二五	サンドウエイ	後二・四〇	ラングン	一、一七五
二九	前一一・一〇	ラングン	後二・一〇	タ ボ イ	四三九

（タボイにて大破し、修理のため七月十四日まで滯在）

本邦民間機の國際飛行

七・四〇　前六・〇〇　ラングン　前九・二〇　モールメン
後〇・〇五　モールメン　後三・〇〇　バンコック　七二四
一六　前九・三三　バンコック　後七・五〇　ハノイ　一、八二五
一八　前一〇・三〇　ハノイ　後三・〇〇　フオバイヤ　五五五
一九　前八・三〇　フオバイヤ　前一〇・五九　香港　三七〇
八・三〇　後一・一〇　香港　前二・一五　厦門　四六六
四　後〇・三〇　福州　後二・三五　福州　二一七
一五　前七・四五　上海　後四・〇〇　上海　七二四
一六　後三・〇三　大村　前八・三〇　大村　一、二八七
一九　後〇・一五　太刀洗　後六・〇三　太刀洗　一二三
後〇・二五　大阪　後二・三八　大阪　四九九
東京　四一〇

航程　一九、二六七粁
飛行時間　一一八時四六分

朝鮮施政二十五周年紀念
東亞親善飛行

半島出身の操縦士にして、半島に活躍する唯一の飛行家たる愼一等操縦士は、朝鮮施政二十五周年紀念のため京城日報、毎日申報及びセウルプレス社共同後援のもとに日、満、支東亞連絡飛行を企圖し、坂田機關士同乘、渺たる舊式機を驅使して克くその使命を完成した。

乘員　一等飛行機操縦士　愼鐵鎭氏
機關士　坂田源吾氏

使用機　サルムソン式二A二型　二三〇馬力裝備

コースと發着日時

（滿洲及び支那訪問）

月日	時	場所（發）	時	場所（着）	粁程
九・一六	前七・二五	京城	前一一・二五	羅南	五六〇
	後一・〇五	羅南	後七・一〇	黃泥河	二〇〇
			（荒天にて不時着）		
一八	前一〇・四〇	黃泥河	前一一・五〇	吉林	一四〇
	後二・〇五	吉林	後二・五〇	新京	一〇〇
二〇	前一〇・〇五	新京	後〇・一〇	奉天	一二五六
	後一・三〇	奉天	後三・〇五	錦州	二三〇
二二	前八・三五	錦州	前一一・〇〇	承德	三一五
	後一・二〇	承德	後三・一〇	北平	二三〇
二三	前九・三〇	北平	後〇・二〇	濟南	四六五
	前一〇・三二	濟南	後〇・三〇	徐州	二八〇
	後一・一〇	徐州	後三・〇〇	南京	二五〇
二五	前八・四〇	南京	前一一・二〇	上海	三五〇
二六	前七・〇〇	上海	前一一・二五	海州	五三〇
	後〇・〇〇	海州	後二・〇〇	青島	二五〇
二七	前七・三〇	青島	前一一・三〇	大連	五二〇
二八	前八・三〇	大連	前一〇・五〇	新義州	二七三
	後〇・二〇	新義州	後三・〇五	京城	三六〇

（内地訪問）

往航

月日	時	場所（發、着）	粁程
三・二〇	前七・四七	東京飛行場發	
	後一・二七	京城飛行場着	二七五
	同二・一三	同右發	
	四・〇〇	（威海衞通過）	
	四・四五	（青島通過）	
	五・三〇	（海州通過）	
	六・四三	南京飛行場着	二、四七〇
	（一〇時間一〇分）		

（復航）

二二	後〇・四七	南京飛行場發	
	後二・〇五	上海龍華飛行場着	二七五
二五	前一〇・〇〇	同右發	
	正午	（濟州島通過）	
	後〇・四五	（五島南端通過）	
	一・四二	（太刀洗通過）	
	二・四〇	（多度津通過）	
	三・一〇	（神戸通過）	
	三・二一	大阪城東練兵場着	一、四五〇
	（五時間二一分）		

往復航程　四、一九六粁
携帶郵便物　二瓩一〇〇
飛行時間　一六時間四九分

日支親善南京訪問飛行

朝日新聞社は前年二機をもつて北平訪問飛行を敢行し、日支親善のため效果を擧げたが、更に國産新鋭機による隣邦首都南京訪問即日飛行を企圖し、同社の新野操縦士、塚越機關士の名コンビをもつて克くこれを完成したのみならず、本邦民間航空界に空前の長距離記錄を樹立した。

乘員　一等飛行機操縦士　新野百三郎氏
航空機々關士　塚越賢爾氏

使用機　朝日第一一〇號（川崎式C・五型低翼單葉國產全金屬製。B・M・W六〇〇馬力裝備）

コースと發着日時（日本時間）

比律賓獨立紀念祝賀

日比親善飛行

大阪毎日・東京日日新聞社は、比律賓獨立を紀念し併て同國初代大統領の就任祝賀のため、本邦民間航空界最初の南方海外コースたる日比親善飛行を企圖し、同社大藏操縦士、布施機關士及び祝賀使節福本社員三氏は、これが任に當つてロツクヒード機に搭乗、往航に於て克く新記錄を擧げ得た。

乘員　一等飛行機操縦士　大藏清三氏
機關士　布施德司氏
大阪毎日新聞社員　福本福一氏（往航のみ）

使用機　大毎二二號（ロツクヒード・アルテア低翼單葉。ワスプ・スーパーD型四五〇馬力裝備）

コースと發着日時　（日本時間）

	月日	時	場所（發、着）	粁程
（往航）	一一・一〇	前 一〇・〇〇	東京飛行場發	
	同 一一・五〇		大阪城東練兵場着	四三〇
	後 一・〇〇		同右 發	
	同 三・〇〇		太刀洗飛行場着	五〇〇
	一一 前 九・〇〇		同右 發	
	後 二・四一		臺北飛行場着	
	一二 前 一〇・五		同右 發	
	後 三・二八		マニラ市グレース・パーク着	
	（一四時間五四分）			
（復航）	一五 前 九・〇〇		グレース・パーク發	
	同 九・三一		ニコルス陸軍飛行場着	
	二〇 同 一〇・〇五		同右 發	
	後 一〇・三五		同右着（天候不良引返す）	
	二一 前 一〇・一五		同右 發	
	後 三・二六		臺北飛行場着	
	二三 前 九・三七		同右 發	
	後 一・〇〇		那覇飛行場着	
	二五 前 八・〇〇		同右 發	
	同 一一・四〇		太刀洗飛行場着	
	後 〇・一五		同右 發	
	後 二・一五		大阪城東練兵場着	
	二六 前 一〇・〇〇		同右 發	
	同 一一・四〇		東京飛行場着	
	（一五時間五四分）			

航程　七、八五〇粁
飛行時間　三〇時間四八分

本邦民間長距離飛行記錄

年月日	操縦者	航空路	飛行距離	所要日時	使用機
大正七・四・一	後藤正雄	所澤—大阪	四二五粁	六・三〇時分	モーリス・ファルマン一四年型（ルノー七〇馬力）
同一二・五・	石橋勝浪	平壤—群山—太刀洗—東京	二、〇九〇		スパッド・エルブモン（イスパノ・スイザ三〇〇馬力）
同一四・七・二五 一〇・二七	安邊浩 河內彥一	東京—モスコー—巴里—倫敦—羅馬	一六、一九六	九三・三〇	ブレゲー一九A二型（ロレーン四〇〇馬力）「東風號」「初風號」
昭和五・三・七	藤本照夫	福岡—上海	九〇〇	四・五〇	ドルニエ・ワール艇（B・M・W五〇〇馬力）「白鳩號」
同 六・二二 八・三一	東善作	ロスアンゼルス—紐育—倫敦—モスコー—東京	一六、九一四		トラベル・エア四、〇〇〇型（ライト・ホワールウインド二〇〇馬力）
同 八・二〇 三〇	吉原清治	伯林—モスコー—イルクーツク—東京	一一、〇九六	七九・五八	ユンカースA五〇型（シドレー・ジエネツト八〇馬力）
同六・五・二九 八・三一	熊川太郎 栗村良盛	東京—ハルビン—モスコー—伯林—ブラッセル—倫敦—巴里—羅馬	一三、六七一	一二六・五三	石川島R三型（シラス・ハーメス一二〇馬力）「青年日本號」
同 一〇・四	小川寬爾	太刀洗—臺北	一、五四七	九・二〇	フオツカーF七B型（ライト・ホワールウインド六〇〇馬力）「雲雀號」

同	一〇・五	藤本照夫	福岡—淡水	一、五九九	八・三〇	ドルニエー・ワール艇（B・M・W五〇〇馬力）「白鳩號」
同	七・四・三（夜間）	小川寛爾	東京—太刀洗	九二五	六・三四	フオツカーF七B型（ライト・ホワールウインド六〇〇馬力）「雲雀號」
同	九・七・二二	熊川良太郎	デトロイト—ロス・アンゼルス	三、八〇〇		スチンソン・リライアント二二五馬力
同	八・一五	大藏清三	大阪—霞ケ浦—太刀洗—大阪（日本一周）	三、一〇〇	一三・二九	ロツクヒード・アルテア（ワスプ・スーパーD型四五〇馬力）
同	九・一五	新野百三郎	北平—大阪—東京	二、六二五	九・三四	川崎C・五型（川崎八型六〇〇馬力）「朝日第一一〇號」
同	一〇・二二—一一・四	松本キク子	東京—大阪—太刀洗—京城—奉天—新京	二、三五〇		サルムソン式二A二型（二三〇馬力）「白菊號」
同	一〇・三・二〇	新野百三郎	東京—京城—南京	二、五〇〇	一〇・一〇	川崎C・五型（川崎八型六〇〇馬力）「朝日第一一〇號」
同	四・二	大藏清三	新京—東京	二、〇〇〇	六・一八	ロツクヒード・アルテア（ワスプ・スーパーD型四五〇馬力）
同	五・一二—八・一九	阿野勝太郎	倫敦—ウイン—君府—バグダツト—ラングン—香港—東京	一九、二六七	一一八・四六	ブリテツシュ・クレム・イーグル單葉（ジプシー・メージョア二〇〇馬力）「青海號」
同	九・一六—一〇・二一	愼鏞頊	京城—新京—承德—上海—京城—東京—京城	八、三七五	六七・〇〇	サルムソン式二A二型（二三〇馬力）
同	一一・一〇—二六	大藏清三	東京—臺北—マニラ	四、〇三〇	一四・五四	ロツクヒード・アルテア（ワスプ・スーパーD型四五〇馬力）

國際航空聯合會（F・A・I・）公認記錄

（昭和十一年四月調）
（太字ハ世界記錄）

年月日	記錄	氏名	機體	發動機	場所
自由氣球第一類（六〇〇立方米以下）					
一九二四年八月一〇日—一一日	航續時間二二時三四分	G・コルミエ（佛）	、		
一九二二年七月一日	直線距離八〇四粁一七三	G・コルミエ（佛）			
自由氣球第二類（六〇一—九〇〇立方米）					
一九二二年五月一四日—一五日	航續時間二三時二八分	J・デュボア（佛）			
一九三五年三月二五日—二六日	直線距離一、二〇三粁六〇〇	WE・ステューベル／W・シエーフエル（獨）	ライプチーゲル・メッセⅡ	ビツテルフエルト（獨）パツアリキー（露）	
自由氣球第三類（九〇一—一、二〇〇立方米）					

一九二七年七月四日五日	航續時間二六時四六分	E・J・ヒル A・C・シュロッサー（米）		
一九三二年九月二五日二六日	直線距離一、二三八粁	G・ラベイヌ（佛）	バール（瑞西）トカリー（波蘭）	

自由氣球第四類（一、二〇一―一、六〇〇立方米）

一九二七年七月四日五日	航續時間二六時四六分	E・J・ヒル A・C・シュロッサー（米）	デトロイト モントヴエイル	
一九三二年九月二五日二六日	直線距離一、二三八粁	G・ラベイヌ（佛）	バール（瑞西）トカリー（波蘭）	
一九三五年九月一五日一八日	航續時間五七時五四分	ブルチンスキー ウイソーキ（波）	ワルソー チスキノ	ポロニアⅡ
一九三五年九月一五日一八日	直線距離一、六〇一粁四七四	ブルチンスキー ウイソーキ（波）	ワルソー チスキノ	ポロニアⅡ

自由氣球第五類（一、六〇一―二、二〇〇立方米）

一九三五年九月一五日一八日	航續時間五七時五四分	ブルチンスキー ウイソーキ（波）	ワルソー チスキノ	ポロニアⅡ
一九三五年九月一五日一八日	直線距離一、六五〇粁四七四	ブルチンスキー ウイソーキ（波）	ワルソー チスキノ	ポロニアⅡ
一九三五年九月一五日一八日	航續時間五七時五四分	ブルチンスキー ウイソーキ（波）	ワルソー チスキノ	ポロニアⅡ

自由氣球第六類（二、二〇一―三、〇〇〇立方米）

一九三五年九月一五日一八日	直線距離一、六五〇粁四七四	ブルチンスキー ウイソーキ（波）	ワルソー チスキノ	ポロニアⅡ
一九二七年三月九日	高度八、六九〇米	H・C・グレイ（米）		

自由氣球第七類（三、〇〇一―四、〇〇〇立方米）

一九三五年九月一五日一八日	航續時間五七時五四分	ブルチンスキー ウイソーキ（波）	ワルソー チスキノ	ポロニアⅡ
一九三五年九月一五日一八日	直線距離一、六五〇粁四七四	ブルチンスキー ウイソーキ（波）	ワルソー チスキノ	ポロニアⅡ
一九三五年三月二八日	高度九、四三七米	L・J・ブルチンスキー（波）	トルン	レデオノーヴオ
一九一三年一二月一三日一七日	航續時間八七時	H・カウレン（獨）		
一九一四年二月八日一〇日	直線距離三、〇五二粁七〇〇	ベルリナー（獨）		

自由氣球第八類（四、〇〇一立方米以上）

一九三五年一一月一一日	高度二二、〇六六米	O・A・アンダーソン A・W・ステヴエンス（米）	エクスプローラーII	ラピッドシテー（サウス・ダコタ）

航空船

一九二八年一〇月二九日一一月一日	直線距離六、三八四粁五〇〇	エッケナー	（獨）	L・Z・一二七「グラーフ・ツェッペリン號」

陸上飛行機

一九三三年八月五日七日	**直線距離九、一〇四粁七〇〇**	**ロッシコドス**	（佛）	**ブレリオ單葉**
一九三二年三月二三日二六日	**周回距離一〇、六〇一粁四八〇**	**ボッスウトロロッシ**	（佛）	**ブレリオ一一〇單葉**
一九三三年八月五日七日	迂回距離九、一〇六粁三三〇	ロッシコドス	（佛）	ブレリオ單葉
一九三四年四月一一日	高度一四、四三三米	R・ドナチー	（伊）	カプロニ複葉
一九三五年九月一三日	速度五六七粁一一五	H・ヒューズ	（米）	ヒューズ・スペシアル單葉
一九三五年八月一〇日	一〇〇粁間速度四七六粁三一六	M・アルヌー	（佛）	コードロン單葉
一九三五年八月二四日	一、〇〇〇粁間速度四五〇粁三七一	R・デルモツト	（佛）	コードロンC・四六〇
一九三五年九月二三日	二、〇〇〇粁間速度三八〇粁九五一	A・ビセオG・カステツラニー	（伊）	S・七九I—M・A・G・O
一九三五年九月一六日一七日	五、〇〇〇粁間速度二七二粁〇三〇	D・W・トムリンソンJ・S・バートルス	（米）	トランスポート・ダグラス・D・C・單葉
一九三一年六月七日一〇日	一〇、〇〇〇粁間速度一四九粁八五三	ル・ブリM・ドレー	（佛）	デボアチーヌ單葉

陸上飛行機（重量携行五〇〇瓩）

一九三二年九月二一日	高度一〇、二八五米	シニュラン	（佛）	ブレゲー一九八
一九三五年九月二三日	一、〇〇〇粁間速度三九〇粁三七一	A・ビセオG・カステツラニー	（伊）	S・七九I—M・A・G・O
一九三五年九月二三日	二、〇〇〇粁間速度三八〇粁九五一	A・ビセオG・カステツラニー	（伊）	S・七九I—M・A・G・O
一九三五年五月一六日一七日	五、〇〇〇粁間速度二七二粁〇三〇	D・W・トムリンソンJ・S・バートルス	（米）	トランスポート・ダグラス・D・C・單葉
一九三五年九月二三日	二、〇〇〇粁間速度三八〇粁九五一	A・ビセオG・カステツラニー	（伊）	S・七九I—M・A・G・O
一九三五年五月一六日一七日	五、〇〇〇粁間速度二七二粁〇三〇	D・W・トムリンソンJ・S・バートルス	（米）	トランスポート・ダグラス・D・C・單葉
一九三一年六月七日一〇日	一〇、〇〇〇粁間速度一四九粁八五三	ル・ブリM・ドレー	（佛）	デボアチーヌ單葉

陸上飛行機（重量携行一、〇〇〇瓩）

一九三二年九月二三日	高度八、九八〇米	シニュラン	（佛）	ブレゲー一九七

一九三二年九月二三日	高度八、九八〇米	シニュラン	（佛）	ブレゲー一九七
一九三五年九月二三日	一、〇〇〇粁間速度三九〇粁三七一	A・ビセオG・カステツラニー	（伊）	S・七九I—M・A・G・O
一九三五年九月二三日	二、〇〇〇粁間速度三八〇粁九五一	A・ビセオG・カステツラニー	（伊）	S・七九I—M・A・G・O
一九三五年五月一六日一七日	五、〇〇〇粁間速度二七二粁〇三〇	D・W・トムリンソンJ・S・バートルス	（米）	トランスポート・ダグラス・D・C・單葉
一九三五年九月二三日	二、〇〇〇粁間速度三八〇粁九五一	A・ビセオG・カステツラニー	（伊）	S・七九I—M・A・G・O
一九三五年五月一六日一七日	五、〇〇〇粁間速度二七二粁〇三〇	D・W・トムリンソンJ・S・バートルス	（米）	トランスポート・ダグラス・D・C・單葉
一九三一年六月七日一〇日	一〇、〇〇〇粁間速度一四九粁八五三	ル・ブリM・ドレー	（佛）	デボアチーヌ單葉

陸上飛行機（重量携行五〇〇瓩）

一九三二年九月二一日	高度一〇、二八五米	シニュラン	（佛）	ブレゲー一九八
一九三五年九月二三日	一、〇〇〇粁間速度三九〇粁三七一	A・ビセオG・カステツラニー	（伊）	S・七九I—M・A・G・O
一九三五年九月二三日	二、〇〇〇粁間速度三八〇粁九五一	A・ビセオG・カステツラニー	（伊）	S・七九I—M・A・G・O
一九三五年五月一六日一七日	五、〇〇〇粁間速度二七二粁〇三〇	D・W・トムリンソンJ・S・バートルス	（米）	トランスポート・ダグラス・D・C・單葉
一九三五年九月二三日	二、〇〇〇粁間速度三八〇粁九五一	A・ビセオG・カステツラニー	（伊）	S・七九I—M・A・G・O
一九三五年五月一六日一七日	五、〇〇〇粁間速度二七二粁〇三〇	D・W・トムリンソンJ・S・バートルス	（米）	トランスポート・ダグラス・D・C・單葉
一九三一年六月七日一〇日	一〇、〇〇〇粁間速度一四九粁八五三	ル・ブリM・ドレー	（佛）	デボアチーヌ單葉

陸上飛行機（重量携行一、〇〇〇瓩）

一九三二年九月二三日	高度八、九八〇米	シニュラン	（佛）	ブレゲー一九七

一九二八年一〇月二九日一一月一日	直線距離六、三八四粁五〇〇	エッケナー	（獨）	L・Z・一二七「グラーフ・ツェッペリン號」
一九三三年八月五日七日	直線距離九、一〇四粁七〇〇	ロッシコドス	（佛）	ブレリオ單葉
一九三二年三月二三日二六日	周回距離一〇、六〇一粁四八〇	ボッスウトロロッシ	（佛）	ブレリオ一一〇單葉
一九三三年八月五日七日	迂回距離九、一〇六粁三三〇	ロッシコドス	（佛）	ブレリオ單葉
一九三四年四月一一日	高度一四、四三三米	R・ドナチー	（伊）	カプロニ複葉
一九三五年九月一三日	速度五六七粁一一五	H・ヒューズ	（米）	ヒューズ・スペシアル單葉
一九三五年八月一〇日	一〇〇粁間速度四七六粁三一六	M・アルヌー	（佛）	コードロン單葉
一九三五年八月二四日	一、〇〇〇粁間速度四五〇粁三七一	R・デルモツト	（佛）	コードロンC・四六〇
一九三五年九月二三日	二、〇〇〇粁間速度三八〇粁九五一	A・ビセオG・カステツラニー	（伊）	S・七九I—M・A・G・O
一九三五年五月一六日一七日	五、〇〇〇粁間速度二七二粁〇三〇	D・W・トムリンソンJ・S・バートルス	（米）	トランスポート・ダグラス・D・C・單葉
一九三一年六月七日一〇日	一〇、〇〇〇粁間速度一四九粁八五三	ル・ブリM・ドレー	（佛）	デボアチーヌ單葉

陸上飛行機（重量携行五〇〇瓩）

一九三二年九月二一日	高度一〇、二八五米	シニュラン	（佛）	ブレゲー一九八
一九三五年九月二三日	一、〇〇〇粁間速度三九〇粁三七一	A・ビセオG・カステツラニー	（伊）	S・七九I—M・A・G・O
一九三五年九月二三日	二、〇〇〇粁間速度三八〇粁九五一	A・ビセオG・カステツラニー	（伊）	S・七九I—M・A・G・O
一九三五年五月一六日一七日	五、〇〇〇粁間速度二七二粁〇三〇	D・W・トムリンソンJ・S・バートルス	（米）	トランスポート・ダグラス・D・C・單葉
一九三五年九月二三日	二、〇〇〇粁間速度三八〇粁九五一	A・ビセオG・カステツラニー	（伊）	S・七九I—M・A・G・O
一九三五年五月一六日一七日	五、〇〇〇粁間速度二七二粁〇三〇	D・W・トムリンソンJ・S・バートルス	（米）	トランスポート・ダグラス・D・C・單葉
一九三一年六月七日一〇日	一〇、〇〇〇粁間速度一四九粁八五三	ル・ブリM・ドレー	（佛）	デボアチーヌ單葉

陸上飛行機（重量携行一、〇〇〇瓩）

一九三二年九月二三日	高度八、九八〇米	シニュラン	（佛）	ブレゲー一九七

一九二八年一〇月二九日一一月一日	直線距離六、三八四粁五〇〇	エッケナー	（獨）	L・Z・一二七「グラーフ・ツェッペリン號」
一九三三年八月五日七日	直線距離九、一〇四粁七〇〇	ロッシコドス	（佛）	ブレリオ單葉
一九三二年三月二三日二六日	周回距離一〇、六〇一粁四八〇	ボッスウトロロッシ	（佛）	ブレリオ一一〇單葉
一九三三年八月五日七日	迂回距離九、一〇六粁三三〇	ロッシコドス	（佛）	ブレリオ單葉
一九三四年四月一一日	高度一四、四三三米	R・ドナチー	（伊）	カプロニ複葉
一九三五年九月一三日	速度五六七粁一一五	H・ヒューズ	（米）	ヒューズ・スペシアル單葉
一九三五年八月一〇日	一〇〇粁間速度四七六粁三一六	M・アルヌー	（佛）	コードロン單葉
一九三五年八月二四日	一、〇〇〇粁間速度四五〇粁三七一	R・デルモツト	（佛）	コードロンC・四六〇

一九三五年九月二三日	一、〇〇〇粁間速度三九〇粁三七一	A・ビセオ G・カステツラニー	（伊）	S・七九I—M・A・G・O アルファ・ロメオ三基
一九三五年九月二三日	二、〇〇〇粁間速度三八〇粁九五二	A・ビセオ G・カステツラニー	（伊）	S・七九I—M・A・G・O アルファ・ロメオ三基
一九三五年五月一六日一七日	五、〇〇〇粁間速度二七二粁〇三〇	D・W・トムリンソン J・S・バートルス	（米）	トランスポート・ダグラスD・C・1・單葉 ライト「サイクロン」七一〇馬力二基

陸上飛行機（重量携行二、〇〇〇瓩）

一九三四年五月一二日	高度八、四三八米	N・マウロ G・オリヴアリ	（伊）	サボイア・マルケツチ七二 ペガサスS—2三基
一九三五年九月二三日	一、〇〇〇粁間速度三九〇粁三七一	A・ビセオ G・カステツラニー	（伊）	S・七九I—M・A・G・O アルファ・ロメオ三基
一九三五年九月二三日	二、〇〇〇粁間速度三八〇粁九五二	A・ビセオ G・カステツラニー	（伊）	S・七九I—M・A・G・O アルファ・ロメオ三基

陸上飛行機（重量携行五、〇〇〇瓩）

一九三四年六月一六日	高度六、六四九米	L・クウペ	（佛）	ファルマンF型二二二 グノーム・ローンK一四R・S・D・四基

陸上飛行機（重量携行一〇、〇〇〇瓩）

一九三〇年二月二二日	高度三、二三一米	D・アントニニ	（伊）	カプロニCa・九〇複葉 イソツタ・フラスキーニ・アツソ一、〇〇〇馬力六基

陸上飛行機（上昇限度二、〇〇〇米に到る最大携行重量）

一九三〇年二月二二日	一〇、〇〇〇瓩	D・アントニニ	（伊）	カプロニCa九〇複葉 イソツタ・フラスキーニ・アツソ一、〇〇〇馬力六基

陸上輕飛行機 第一類（五六〇瓩以下の多座機體）

一九三一年一月一一日一二日	直線距離二、九一二粁	ラルウエツトド・ペルマングル	（佛）	ファルマン二三一單葉 ルノール九五馬力
一九三二年一二月三〇日	高度九、二八二米	R・ドナーチM・ランチアニ	（伊）	フイアットA・S・I・c・n・a C・N・A・C7
一九三五年八月八日	一〇〇粁間速度四五三粁七四三	M・アルヌーペツケル	（佛）	コードロンC・四五〇單葉 ルノール
一九三五年七月一日	一、〇〇〇粁間速度二九二粁八二五	M・アルヌーペツケル	（佛）	コードロン「ラファール」單葉 ルノール一四〇馬力

陸上輕飛行機 第二類（四五〇瓩の單座機體）

一九三三年五月七日	直線距離三、五八二粁	スカルチンスキ	（波）	R・W・D・5bis單葉 ジプシー・メージョア一三〇馬力

一九三三年一二月二四日	高度一〇、〇〇八米	F・ニクロツト（伊）	E・T・A・c・n・a	C・N・A・C・7一六〇馬力
一九三五年一月九日	一〇〇粁間速度三五八粁六六四	A・C・チエスター（米）	チエスター・スペシアル單葉	メナスコ・C・四―五
一九三三年一二月二六日	一〇〇粁間速度三三二粁八八三	デルモツト（佛）	コードロン三六二單葉	ルノール・ベンガリ一五〇馬力

陸上輕飛行機第三類

（二八〇瓩以下の多座機體）

一九三三年四月二四日	直線距離八八六粁六七七	S・ベンドドー P・ヌボリ（伊）	N・S・	ボブジョイ七五馬力	ミラノ ブリンデイツシ
一九三三年一二月二日	高度六、九五一米	G・ザペツタ R・フランチエスコ（伊）	N・5・一號單葉	ボブジョイ七五馬力	モンテチエリオ
一九三五年二月一七日	一〇〇粁間速度二二二粁五七九	S・ベンドドー R・ステニコ（伊）	N・5	ボブジョイ七五馬力	リツトリオ
一九三五年二月一六日	五〇〇粁間速度二一三粁六七六	S・ベンドドー R・ステニコ（伊）	N・5	ボブジョイ七五馬力	
一九三三年一〇月六日	一、〇〇〇粁間速度一九五粁七六〇	ベイレー レヂナンシー（佛）	ファルマン二三九	ボブジョイ七五馬力	ヴイルソーヴアーヂユラ・マルモーニユ

陸上輕飛行機第四類

（二〇〇瓩以下の單座機體）

一九二九年九月一〇日	直線距離八五二粁一〇〇	G・フオーヴエル（佛）	モオブツサン・ペイレイ一〇型一號	A・B・C・スコルピオン	
一九二九年九月五日	高度五、一九三米	G・フオーヴエル（佛）	モオブツサン・ペイレイ一〇型一號	A・B・C・スコルピオン	ル・ブウルデエ
一九三四年二月一四日	一〇〇粁間速度二二一粁三〇七	S・J・ウイツトマン（米）	ウイツトマン「ボブジョイ・スペシアル」單葉	ボブジョイ七五馬力	ニユーオルレアンス
一九三五年一〇月一四日一五日	直線距離五、二八〇粁〇一五	K・マックギニス（米） J・K・エーヴリル T・F・ウイルキンソン	XP3Y―1	プラット・エンド・ホイツトニー八二五馬力二基	クリストバール アラメダ（カリフオルニア）
一九三五年一〇月一四日一五日	迂回距離五、五四一粁三九二	K・マックギニス（米） J・K・エーヴリル T・F・ウイルキンソン	XP3Y―1	プラット・エンド・ホイツトニー八二五馬力二基	クリストバール アラメダ
一九二九年六月四日	高度一一、七五三米	A・サウセック（米）	ライト・アバツシユ複葉	プラット・エンド・ホイツトニー四二五馬力	ワシントン
一九三四年一〇月二三日	**速度七〇九粁二〇九**	**F・アゼツロ（伊）**	**M・C・七二**	**フイアツト・A・S・6**	**デセンツアノ**
一九三三年一〇月八日	一〇〇粁間速度六九二粁三七〇	G・カツシネリ（伊）	M・C・七二	フイアツトA・S・6二、四〇〇馬力	フアルコナラ・ベサロ
一九三五年八月二四日	一、〇〇〇粁間速度二二六五粁六〇六	F・W・アンドリユース（米）	マーチンB―一二A	プラット・エンド・ホイツトニー「ホーネット」七〇〇馬力二基	ウイローピイ・スピット・（ヴアーヂニア）

水上飛行機

一九三四年八月一日	二、〇〇〇粁間速度二二五三粁一八二	E・ミユージツク（米） B・サーヂエヴスキー C・A・リンドバーク	シコルスキーS・四二	プラット・エンド・ホイツトニー「ホーネツト」六七〇馬力四基	ストラットフオード
一九三一年六月四日五日	五、〇〇〇粁間速度一三九粁五六七	パリ M・ゴノール（佛）	ラテコエール二八・三	イスパノ・スイザ六〇〇馬力	アルカツシオン

水上飛行機（重量携行五〇〇瓩）

一九三四年一月二六日	高度九、五三二米	M・ブウルダン（佛）	リオレ・エ・オリヴイエ	イスパノ・スイザ六九〇馬力二基	アンチーブ
一九三五年八月二四日	一、〇〇〇粁間速度二二六五粁六〇六	F・M・アンドリユース（米）	マーチンB—一二A	プラット・エンド・ホイツトニー「ホーネツト」七〇〇馬力二基	ウイローピイ・スピツト・（ヴアーヂニア）
一九三四年八月一日	二、〇〇〇粁間速度二二五三粁一八二	E・ミユージツク（米） B・サーヂエヴスキー C・A・リンドバーク	シコルスキーS・四二	プラット・エンド・ホイツトニー「ホーネツト」六七〇馬力四基	ストラットフオード

水上飛行機（重量携行一、〇〇〇瓩）

一九三三年一二月二六日	高度八、八六四米	M・ブウルダン（佛）	リオレ・エ・オリヴイエ	イスパノ・スイザ六九〇馬力二基	アンチーブ
一九三五年八月二四日	一、〇〇〇粁間速度二二六五粁六〇六	F・M・アンドリユース（米）	マーチンB・一二A	プラット・エンド・ホイツトニー「ホーネツト」七〇〇馬力二基	ウイローピイ・スピツト（ヴアーヂニア）
一九三四年八月一日	二、〇〇〇粁間速度二二五三粁一八二	E・ミユージツク（米） B・サーヂエヴスキー C・A・リンドバーク	シコルスキーS・四二	プラット・エンド・ホイツトニー「ホーネツト」六七〇馬力四基	ストラットフオード

水上飛行機（重量携行二、〇〇〇瓩）

一九三四年一月三日	高度七、五〇七米	M・ブウルダン（佛）	リオレ・エ・オリヴイエ	イスパノ・スイザ六九〇馬力二基	アンチーブ
一九二四年八月一日	一、〇〇〇粁間速度二二五三粁六〇一	E・ミユージツク（米） B・サーヂエヴスキー C・A・リンドバーク	シコルスキーS・四二	プラット・エンド・ホイツトニー「ホーネツト」六七〇馬力四基	ストラットフオード
一九三四年八月一日	二、〇〇〇粁間速度二二五三粁一八二	E・ミユージツク（米） B・サーヂエヴスキー C・A・リンドバーク	シコルスキーS・四二	プラット・エンド・ホイツトニー「ホーネツト」六七〇馬力四基	ストラットフオード

水上飛行機（重量携行五、〇〇〇瓩）

一九三四年五月一七日	高度六、二二〇米	B・サーヂエヴスキー（米） R・B・クイツク	シコルスキーS・四二	プラット・エンド・ホイツトニー「ホーネツト」六七〇馬力四基	ブリツヂポート

水上飛行機（上昇限度二、〇〇〇米に到る最大携行重量）

一九三四年五月一七日	七、五三三瓩	B・サーヂエヴスキー（米）	シコルスキーS・四二	プラット・エンド・ホイツトニー「ホーネツト」六七〇馬力四基	ブリツヂポート

水上輕飛行機第一類（六八〇瓩以下の多座機體）

一九三一年五月一三日	直線距離一二二粁五六〇	ラルウエツト アルベール（佛）	ファルマン二三一・bis	ルノール九五馬力	ペツク コードベツク・アン・コウ

一九三二年一二月二八日	高度七、三六二米	M・ニクロツト F・ランチアニ	（伊）	リットリオ水上空港
一九三一年三月二八日	一〇〇粁間速度一八九粁四三三	ラルウエツト ブウランデエー	（佛）	ドラヴエイユ モントロー

水上輕飛行機　第二類

（五七〇瓩以下の單座機體）

一九三五年六月二五日	直線距離三五三粁九八八	B・キング	（米）	アエロンカC―3	アエロンカE一一三A三六馬力	ポート・ワシントン アナコスチア
一九三三年一一月六日	高度八、四一一米	E・ニクロツト	（伊）	E・T・A―C・N・A	C・N・A・C―7一六〇馬力	リットリオ空港
一九三〇年六月一三日	一〇〇粁間速度一六五粁〇四四	A・グルントツケ	（獨）	ユンケルスJ五〇C・V	アームストロング・ゼネツト・シドレイ八五馬力	デツソー

水上輕飛行機　第三類

（三五〇瓩以下の多座機體）

一九三五年六月一六日	直線距離二九八粁三七三	B・キング D・ブリム	（米）	アエロンカ―C―3	アエロンカE一一三A三六馬力	ワースビーチ ホイツトニー（離着陸場（マリーランド）
一九三六年二月一日	高度三、五二三米	T・ムーア夫妻	（米）	アエロンカC―3	アエロンカE一一三―B三六馬力	ボストン
一九三一年六月二六日	一〇〇粁間速度一四三粁五四〇	ド・ヴイスカヤ シヨーデ	（佛）	ファルマン二三〇	サルムソン四〇馬力	ル・ペツク ボニエール・ルウル

水上輕飛行機　第四類

（二五〇瓩以下の單座機體）

一九三五年五月二六日	直線距離三七〇粁六五六	B・キング	（米）	アエロンカC―2	アエロンカE一一三A三六馬力	アナコスチアクロトン灣
一九三五年九月二四日	高度四、五九七米	B・キング	（米）	アエロンカC―2	アエロンカE一一三A三六馬力	アナコスチア
一九三五年一二月一日	一〇〇粁間速度一三〇粁二四六	B・キング	（米）	アエロンカC―3	アエロンカE一一三A三六馬力	マイアミ
一九三五年一二月一一日	五〇〇粁間速度一一三粁四五七	B・キング	（米）	アエロンカ―C2スカウト	アエロンカE一一三A三六馬力	マイアミ

水陸兩用飛行機

一九三五年一二月一二日	直線距離一、六六二粁七七八	H・マツクカフリー A・Y・スミス H・S・ハンセル	（米）	ダグラスC―A5	ライト「サイクロン」七五〇馬力二基	サンジユアン マイアミ
一九三五年一月二九日	高度五、六八二米	H・リツチマン	（米）	シコルスキーS―三九	プラット・エンド・ホイツトニー―三〇〇馬力	マイアミ
一九三五年九月一五日	速度三七〇粁八一四	A・P・ド セヴエルスキー	（米）	セヴエルスキー	ライト「サイクロン」七一〇馬力	デトロイト
一九三五年六月二三日	一〇〇粁間速度二七九粁九三八	R・L・バーク	（米）	グルマン一六七號	ライト「サイクロン」・F七〇〇馬力	ケープ・メイ

一九三六年二月一〇日	一、〇〇〇粁間速度一六〇粁八五四	H・リツチマン G・ドーフカーチ	（米） シコルスキーS三九

水陸兩用飛行機（重量携行五〇〇瓩）

一九三五年六月二七日	高度五、四四九米	R・L・バーク	（米） グルマン一六七號

グライダー

一九三三年八月三日四日	周回時間三六時三五分	K・シユミツト	（獨） グルナウ・バビー型「D・レールツエル」
一九三五年七月二九日	直線距離五〇四粁二〇〇	R・エールツシユネル	（獨） 「D―ロイナ」
一九三四年二月一七日	高度四、三二五米	H・デイツトマル	（獨） 「D・コンドール」

ヘリコプター

一九三〇年一〇月八日	周回時間八分四五秒	M・ネリ	（伊） 「ダスカニオ」
一九三〇年一〇月一〇日	直線距離一、〇七八米六〇〇	M・ネリ	（伊） 「ダスカニオ」

一九三〇年一〇月一三日	高度一八米	M・ネリ	（伊） 「ダスカニオ」

婦人記錄

一九三二年八月二四日二五日	陸上機直線距離三、九三九粁二四五	A・イヤーハート	（米） ロツクヒード・ベガ單葉
一九三五年六月二〇日	陸上機高度一二、〇四三米	C・ネグロン	（伊） カプロニ一一三R
一九三四年八月一一日	陸上機速度四四五粁〇二八	H・ブウシエー	（佛） コードロンC・四五〇
一九三四年八月八日	陸上機一〇〇粁間速度四一二粁三七一	H・ブウシエー	（佛） コードロンC・四五〇
一九三四年八月八日	陸上機一、〇〇〇粁間速度四〇九粁一八四	H・ブウシエー	（佛） コードロンC・四五〇
一九三五年一月一五日	陸上輕飛行機第一類一〇〇粁速度二六八粁一六九	H・マツクロスキー G・M・サベイヂ	（米） モノクウプ單葉
一九三四年七月八日	陸上輕飛行機第一類一、〇〇〇粁間速度二五〇粁〇八六	H・ブウシエー	（佛） コードロン「ラフアール」
一九三五年一月二九日	陸上輕飛行機第一類高度六、一一五米	M・シヤルノークラーク	（佛） フアルマン三五七單葉

			プラット・エンド・ホイツトニー三〇〇馬力
			ライト「サイクロン」・F七〇〇馬力
			グルナウ・バビー型「D・レールツエル」
			「D―ロイナ」
			「D・コンドール」
			「ダスカニオ」
			「ダスカニオ」
			「ダスカニオ」
			フイアツトA・五〇
			ブラット・エンド・ホイツトニー「ワスプ」四五〇馬力
			ルノール・ベンガリ三一五馬力
			ルノール三〇〇馬力
			ルノール三〇〇馬力
			ルノール・ベンガリ一四五馬力
			ルノール一二〇馬力

			マイアミ
			ケープ・メイ
			コルシエンルー（東部プロシア）
			ヴツセルキユツペブリユン飛行場（智惠）
			カンポス・ドス・アフオンソス（ブラジル）
			ローマ
			ローマ
			ローマ
			モンテチエリオ
			ロサアンゼルスニユーヨーク
			イストル
			イストル
			イストル
			マイアミ
			イストル
			オルリー

連續長距離飛行　第一類

（搭乘員一名）

一九三六年一月一三日	ロサアンゼルス	ロッキード	陸上輕飛行機第二類	M・バスチエー（佛）	クレム單葉
速度四一七粁（九時間二六分一〇秒）	ニューヨーク	一四型	高度七、三三八米		サルムソン四〇馬力
一九三五年一二月一二日	パリー	ロッキード	陸上輕飛行機第二類	M・ビドー（佛）	ルヴブウルデエ
速度一〇二粁五〇一（九八時間五二分）	サイゴン	一四型	高度五、五五四米		ウリノ（露）

連續長距離飛行　第二類

（搭乘員二名以上）

一九三四年一〇月二〇日	ロンドン	C・W・A・スコット	陸上輕飛行機第二類	M・バスチエー（佛）	クレム單葉
速度二五五粁九四七（七時間〇分一八秒）	メルボルン	T・C・ブラック（英）	高度七、三三八米		サルムソン四〇馬力
一九三五年四月三〇日	ロサンゼルス	D・W・トムリンソン	陸上輕飛行機第二類	M・イルズ（佛）	モーブソサンM・一二二型
速度三五六粁三六五（一一時間五分四五秒）	ニューヨーク	H・B・スニード	高度七、三三八米		單葉「コルセール」
		F・R・レッドパース（米）			サルムソン九AR3
					七五馬力
一九三五年一二月一八日	パリー	ゼナン	陸上輕飛行機第二類	I・F・コツペツヂ（米）	アエロンカ
速度一五一粁九〇八（一五七時間三五分二一秒）	タナナリーヴ	ロベール（佛）	高度四、六四九米	J・ガルリガス	アエロンカE一一三A
					三六馬力
一九三六年二月一日			陸上輕飛行機第四類	H・リツチエイ（米）	アエロンカC—2
			一〇〇粁間速度一一六粁二三四		アエロンカE一一三A
					三六馬力
一九三四年五月五日			水上輕飛行機	C・ネグロン（伊）	ブレダ一五
			高度五、五五四米		イソツタ・フラスキニ・アツソ八〇
一九三四年五月五日			水上輕飛行機第二類	C・ネグロン（伊）	ブレダ一五
			高度五、五五四米		イソツタ・フラスキニ・アツソ八〇
一九三六年一月一四日	ロサアンゼルス	H・ヒユーズ（米）	ノースロツプ水上機「ガムマ」		ライト「サイクロン」八〇〇馬力
速度四一七粁（九時間二六分一〇秒）	ニューヨーク				
一九三五年一二月一六日	パリー	A・ジヤピー（佛）	コードロン「エーグロン」		ルノール
速度一〇二粁五〇一（九八時間五二分）	サイゴン				

連續長距離飛行　第二類

（搭乘員二名以上）

一九三四年一〇月二〇日	ロンドン	C・W・A・スコット	ロバートソン四A		デ・ハヴイランド「コメツト」
速度二五五粁九四七（七時間〇分一八秒）	メルボルン	T・C・ブラック（英）	型		D・H・デプシーVI二基
一九三五年四月三〇日	ロサンゼルス	D・W・トムリンソン	ロバートソン四A		ダグラスD・C・I單葉
速度三五六粁三六五（一一時間五分四五秒）	ニューヨーク	H・B・スニード	型		ライト「サイクロン」七一〇馬力二基
		F・R・レッドパース（米）			
一九三五年一二月一八日	パリー	ゼナン	ロバートソン四A		コードロン「シムーン」
速度一五一粁九〇八（一五七時間三五分二一秒）	タナナリーヴ	ロベール（佛）	型		ルノール一八〇馬力

各國別公認記錄保持數

英國	佛國	米國	獨國	伊國	波蘭	計
一	三六	四三	八	三二	四	一二三

世界主要航空競技記錄

（昭和十年度）

ツーグスピッツ・フルーグ

主催　獨逸航空聯盟

二月十八日——二十日

ミュンヘン市の南方五十哩ツーグスピッツ山を中心とするスポーツ飛行競技。

五十八機參加の中、クレム式二十六臺、ハインケル式十一臺、B・F・W式十四臺等あり。ヘツス遞相も參加。

優　勝　一、六二三點　ハインケル機（ケーニヒスベルグ飛行團）ルドリヒ・エルフバイン氏

第七回全國飛行機操縦士競技大會

主催　日本飛行倶樂部

四月一日　東京飛行場

參加機十二臺　操縦士二十五名

第一種競技　羽田——立川——原町田間八三粁

優　勝　（日本飛行學校）北澤二等操縦士

二　位（日本輕飛行機倶樂部）黑澤一等操縦士

三　位（日本飛行學校）瀧澤二等操縦士

第二種競技　制限地着陸

優　勝　（帝國飛行學校）瀨川二等操縦士

二　位　瀧澤二等操縦士

三　位（帝國飛行學校）黑瀨一等操縦士

第三種競技　曲技飛行

優　勝（日本飛行學校）江島一等操縦士

二　位（帝國飛行學校）伊藤一等操縦士

（目的）最大速力

優　勝　四四三粁九六（コードロン・C四六〇型ルノー三三〇馬力）デルモット氏

二　位　四二四粁（使用機同右）ラコンブ氏

三　位　三四八粁（使用機同右但し固定脚）アルノー氏

ダッチ・デユ・ラ・ムルト賞杯競技

主催　佛蘭西飛行倶樂部

五月十九日

巴里エタンプ飛行場より三角コースにて二千粁競技。

（制限）單座機にして發動機容積八立以下

獨逸一周飛行競技

主催　獨逸航空聯盟

五月二十八日——六月二日

民間飛行家の編隊飛行習熟と、航空法及び空中偵察練習の目的で、テムペルホフ飛行場を出發、北部獨逸一周五千五百粁を期間內に飛行して出發地に歸還する團體競技である。

百五十四機參加し、時速一六〇粁以下のもの以上のものを二隊に分ち、出發から歸着まで完全に飛行したもの百三十八機であつた。

實施コースは五月二十八日、九百粁、二十九日千粁、三十日千二百四十四粁、三十一日千粁六月一日九百粁、二日四百五十粁。

第六回全米滑空大會

主催　全米滑空協會

五月二十九日——六月十五日

紐育州エルミラ市

會期中天候不良にして、好適の日は一週間に過ぎなかつたが、百八十五機參加、延距離五百三十二粁に及んだ。エヴアンス・トロフイ。

優　勝　百十哩五時間三一分　リチヤード・デユポン氏

萬國曲技飛行大會

主催　葡萄牙飛行倶樂部

六月九日　アマドラ飛行場（リスボン市）

英、米、獨、佛各機參加

戰技飛行（葡）ホセ・カブラル一等中尉

遲開傘降下（佛）エデス・クラーク孃

帆走曲技（獨）ルドルフ・オエルツエル氏

曲技飛行（獨）ルイ・ホフマン孃

帆走飛行（智）フラント・ノヴアク氏

低空曲技（佛）マルセル・ドレー氏

SBAC競技大會

主催　大英飛行機製造者協會

六月十五日　英國ウエセックス飛行場

三十機參加　ハンデキヤツプ附速力競技

優　勝　一三三哩（クレム・イーグル機）ウイルグビイ・ブロック氏

二　位（シラス・モス機）ナツホール氏

三　位（アヴロ・カデツト機）アール・ホール氏

第三回十二時間飛行競技

主催　佛蘭西飛行倶樂部

七月七日　アンジエル飛行場

午前六時より十二時間中に最大距離を飛行。

（制限）發動機容積八立以下

（前年記錄の二、八八五粁、前々年記錄の二、四六三粁五一を破つたものを有資格者とし、十二機の參加機中、八機はコードロン低翼單葉、一機はオートヂヤイロであつた）

優　勝　二、〇四一哩三、二六八粁）（コードロン・ラファール型ルノー一八〇馬力）アルノー氏

二　位　一、九四二哩（コードロン三座シモン型）ゲオルグ・ノヴエル氏

三　位　一、九三九哩（使用機同右）エーヴエ・ラコン氏

四　位　一、九二〇哩　セルジユ・ポリス氏

（本競技中、コードロン機搭乘のブジエ、ギユイノ兩氏は遭難慘死）

グロスバーナー・チヤレンヂ賞杯競技

主催　英國ライセスター市

七月十三日

ハンデキヤツプ制による英國私有飛行家の輕飛行機速度競技にして、十一倶樂部代表者參加

優　勝（ジプシー・モス機）C・フイリツプ氏

二　位（ハウク・メジヨア機）ルイ・フオンテ氏

三　位（ヘンデイ三〇二型）C・ネビーア氏

第十六回ローン滑空競技大會

主催　ローン・ロジツテン帆走飛行聯盟

七月二十一日——八月四日

六十一臺參加。飛行回數五百十三回、舊世界記錄を破るもの十機に及ぶ）

距離記錄（四百粁以上）
五〇二粁（コンドル號）
オエルツナー氏(七月二十九日)
五〇二粁（B一〇型）
ブラウチガム氏　同　〃
五〇二粁（ローンシュベルバー）
ハイネマン氏(　同　〃
（以上、ワツサークーペよりブルユン(習)まで）
五〇二粁（ローン・アドラー）
スタイノフ氏(　同　〃
四八一粁（同右）バータンヌ氏(　同　〃
四七六粁（ローンシュベルバー）
ホフマン氏(七月二十一日)
四五二粁（同右)ベーター氏(七月二十九日)
四二四粁（ゲツピンゲン二型）
ヒルト氏(七月二十七日)
四一六粁（コンドル號）
スパート氏(七月二十九日)

高度記錄（出發點「標高九五〇米」二千米以上）
二、七二〇米（ローン・アドラー）
シリング氏　七月二十九日)
二、四七〇米（コンドル號）
スパート氏(七月二十四日)
二、一七〇米（ローン・アドラー）
ケンネル氏(　同　〃
滯空記錄（八時間以上）
一〇時一三分（ローン・アドラー）
ケンネル氏(七月二十二日)
九時二八分（同右）スタイノフ氏(同)
九時一〇分（同右）
ハイダーリツシュ氏(　同　〃
八時五五分（ローンシュベルバー）
ブリンクマン氏(　同　〃

第三回ライム國際飛行競技會

主催　シンクポート飛行倶樂部
八月二十二日　ライム飛行場
ウェーク・フイルド賞盃（五十哩コース三周）
英、佛、獨、白の私有飛行家による競技
優勝　一七七哩（コードロン・シモン型）
（佛）アンセー氏
二　位　一〇一哩五（デソーター單葉）
（英　クラウストン氏
二三八哩五二二（リング・フリー機）
ロスコー・ターナー氏
二〇一哩九二八（ノースロップ・ガンマ機
ラッセル・ソウ氏
B　ルス・チヤータートン・スポーツマン・パイロット・トロフイ
優勝（トラベルエアー機）
グレース・プレスコツト氏
二　位（フリート機）　S・ウードソン氏
C　競技(一)　五五〇立方吋　ATC競技
一四一哩五七（セスナ單葉）L・ハート氏
一一一哩三七(モノクーペ單葉)J・モリス氏
七一哩七三（テイラー機)K・ギニップ氏
競技(二)　二百立方吋級速力競技
一二五哩三〇五　ニコラス機）
F・シヤフエ氏
一二四哩〇六九（アレンブルグ機）
ロージヤー・ドン・レー氏
競技(三)　グレーブ・トロフイ競技
二一二哩七一六（ハワード機）
ハロルド・ヌーナン氏
競技(四)　婦人競技
八一哩九〇九（同右）メルバ・ベアード夫人
競技(五)　三七五立方吋級競技
一八九哩三八四　チエスター機）
アート・チエスター氏
競技(六)五五〇立方吋級グレーヴ・トロフイ
一九四哩九三〇（セスナ機）
ハロルド・ヌーナン氏
一八九哩六六三（マイルス・スペシアル機）
リー・マイルス氏
競技(七)　八〇〇立方吋ATC競技
一九七哩七七二（マイルス機）
リー・マイルス氏
一九七哩五二五（チエスター機）
アート・チエスター氏
競技(八)　三七五立方吋級競技
一四一哩三五（セスナ機）
ジョージ・ハート氏
競技(九)　五五〇立方吋級距離競技グレーブ・トロフイ
五四四哩（ブラウン・レーサー）
マツキーン氏
四八九哩（ハワード機）
ハロルド・ヌーナン氏
競技(一〇)　二二〇立方吋スピード・トロフイ

主催　伊太利飛行倶樂部
八月二十四——五日
リレー及び伊太利一周のハンデキヤツプ競技にして、英、佛、白、墺、智、瑞より七十九機參加。八月三十日に終る。
優勝（ブレダ三三型）（伊）ニクロツト氏
二　位（プラーグBH三型）（智）カーラ氏
三　位（墺）アンブーナツク氏
リレー優勝（マイルス）（伊）パロヂー氏

大英帆走飛行競技大會

主催　大英帆走飛行協會
八月二十四日——九月二日
ヨークシヤー州スツトン・バンク
國内各倶樂部より十七機種になる三十二機參加、延時間四十五時間半に及んだ。
野外飛行優勝　六一哩ネーラン氏
二　位　四八哩ニコルソン氏
高度優勝　五、一〇〇呎ウイルス氏
時間優勝　八時間二〇分ネーダム氏

フエミナ・カツプ競技

主催　萬國飛行協會
八月三十一日　ブレリオ飛行場(佛國ビツク)
婦人操縱士のみの競技にして、前年遭難せるエレナ・ブシエ孃遺族提供のブシエ・トロフイ獲得競技。七機參加。
ビツク——カンヌ間六八九粁の速力競技
優勝　二七七粁二九(ブレゲー・二七型軍用機八〇〇馬力)　佛　マリー・イルツ孃
二　位　二五一粁四(マイレー二一型ルノー一八〇馬力)　佛　クラリエ・ロマン夫人
三　位　二一三粁六（マイルス・ハウク・メージヨア型ジプシー二〇〇馬力）
英　マクドナルド夫人

米國ナシヨナル・レース

主催　クリーブランド市
九月一日
米大陸横斷及び各級飛行機の場内周回競技等十種目に分れて行なはれたが、本年の性能は發動機容積の制限下に限定したので、記錄としては見るべき程のものはなく、且つ相當事故も多く、太平洋横斷飛行家アレン氏（ギー・ビー機）が墜落慘死するなどのことがあつた。
A　ベンデツクス・トロフイ（大陸横斷）
二三八哩七〇四（ハワード・レーサー）
ベン・ハワード氏

一一九哩六（ニコラス機）　ペリー・シヤフエール氏
一一四哩四（ランシング機）　ロージヤー・ドン・レー氏

競技（一一）三七五立方吋級
二〇〇哩五六五（チエスター機）　アート・チエスター氏
一九三哩六七三（マイルス機）　リー・マイルス氏

D トムソン・トロフイ　短距離ダッシュ
二二〇哩一九四（ミスター・ムリガン號）　ハロルド・ヌーナン氏
二一八哩六八六（ホキツトマン機）　ホキツトマン氏
二一三哩九四二（ランシング機）　ロージヤー・ドン・レー氏

英國皇帝賞杯競技

主催　英國王立飛行倶樂部

九月六・七日

第十四回キングス・カツプ・レースで三十六機參加し、比較的短距離コースであつたが、機體は殆んど低翼式となり、複葉はアヴロ一臺、双發はモノスパーとD・H・ドラゴンで、八割までジプシー六型發動機が裝備され、例年の如く參加パトロンはケント公殿下以下名門の人が多く操縱士はデ・ハヴイランドの息、マイルス、或はパーシバルなどの設計者自身の出馬もあつたが、優勝は全部マイルス・ハウク系の占むるところとなつた。

優　勝　ハンデ賞（マイルス・フワルコン機）　ロー　ズ氏
二　位　同（マイルス・トレーナー機）　エドワード氏
三　位　同（同右）カスカート・ジョンス氏

最短時間セル賞杯　五時間五二分二三秒（二一一哩一七）

（ミュ・ガル機）　パーシバル氏

團體競技　シドレー賞杯

（パーシヴアル・ガル機）　ピーター氏

第九回全ソヴイエート帆走飛行大會

主催　ソヴイエート帆走飛行競技會

九月六日より一週間

南露コクテベリに於て行なはれ、驚異すべき世界記錄を出し、先進獨逸の有する諸記錄を悉く打倒して大いに新興ソヴイエート帆走飛行界の進歩を示した。

滯空時間記錄

一人乘　三八時間一〇分（スタリネツ式四型）　スホムリノフ氏（十月三日）
二人乘　二九時間一〇分（同右式二型）　リツツイン氏、ドームツ氏（十月二日）
三人乘　一一時間三〇分　コシツ氏外二名（十月四日）

婦人記錄

一二時間九分（SHA式五型）　ゼリヨンコーワ孃

空中曳航記錄

モスコー——コクトベリ間八三七哩（九月十八日）

國際滑空大會

主催　瑞西飛行倶樂部

九月十日より一週間

アルプス山上ベルネス高原（海拔四、五〇〇米）に於て、獨、墺、智等の參加あり。

距離競技

優　勝　一〇八粁（獨）ホフマン氏
二　位　八八粁（同）リーデル氏
三　位　八一粁五（瑞）ボロニー氏

滯空競技

優　勝　四時間四八分　墺　ガンベルト氏
二　位　四時間一〇分　（智）スタノエヴイツクユー氏
三　位　四時間五分（獨）デイツトマール氏

高度競技（出發點上）

優　勝　一、〇六六米（獨）デイツトマール氏
二　位　一、〇六六米（墺）グンベルト氏
三　位　六九六米（獨）ユーデツト氏

倫敦——カーデフ市間競翔第五年

主催　倫敦市

九月十二日

倫敦ヘストン飛行場と、カーデフ市間百二十哩の一齊速力競技で、殆ど海上のみであるため私有飛行家のコース選定競技である。

優　勝　二一八哩　パーシバル・ミュ・ガル機）　パーシバル氏
二　位　一五二哩五（クレーム・イーグル機）　ウイルソン氏

ゴルドン・ベネツト國際氣球競技

九月十六日

前年の優勝國波蘭にて行なはれ、十三箇の各國氣球參加。ワルソー飛行場を出發したものは波蘭三、獨逸三、白、佛各二、蘭、米、瑞西各一であつた。

優　勝　九九〇哩六十時間（ポロニア號）　（波）ブルチンスキー氏
二　位　主催　波蘭飛行倶樂部

全日本學生航空選手權大會

主催　日本學生航空聯盟
大阪朝日新聞社

十月二十八日　大阪眉津陸軍飛行場

參加機十五、選手二十八名の外にO・B團より九名參加。關東側に凱歌擧がる。

關西側の優勝は一種のみにして、

（一）東西對抗野外リレー競技（盾津——丹波市——京都深草——神戸——木津川）

優勝　一九五點九（五時間十七分）　關西チーム
二位　一九三點九　五時間四十一分）關東チーム

（二）8字形飛行競技

優勝　八七點四　（關西學院）　金子　良夫氏
二位　八五點二　（慶　大）　玉木　五郎氏
三位　八四點四　（關西學院）　中來田隆二氏

（三）制限地着陸競技

優勝　九四點　（早　大）　山田　正一氏
二位　八九點八六　（帝　大）　杉山　好彥氏
三位　七八點七一　（關西大學）　吉田　正治氏

（四）曲技飛行（競技外）

（日　大）縣　信男氏
（大阪商大）久野　正雄氏

（五）通信筒吊上げ　同右）

（六）模擬爆彈投下競技

優勝　八八點二六（關學O・B）　衣笠　武男氏
二位　四八點七　（明大O・B）　滑川　博氏

（七）高度目測水平直線飛行競技

優勝　九五點二　（關西學院）　金子　良夫氏
二位　九一點　（　同　）　森重　猛夫氏
三位　八九點　（法　大）　良地　勇氏

（八）發動機分解組立競技

優勝　神戸高等工業チーム
二位　大阪帝大チーム

世界主要長距離速度飛行記錄

（昭和十年度）

英本國——濠洲間

月日	氏名	使用機	方向	記錄
三・三一	H・ブルツク	マイルス・フワルコン	濠——英	七日十九時間五〇分（單獨搭乘記錄）
四・二五	ジエン・バターン嬢	ジプシー・モス同	同	十七日十五時間十五分（婦人記錄）
一二・九三	H・ブロードベント	パーシバル・ニユ・ガル	英——濠	六日二十一時間十四分（單獨搭乘記錄）

米大陸横斷（東行き）

一・一五	ゼームス・ドウリツトル	ヴアルチーVA一型	加州——紐育	十一時間五十九分
二・二一	S・アンドリユウス	同	同	十一時間三十四分
三・一六	ウイン・ウイリアムズ	ダグラスDC二型	同	十二時間四十四分三十九秒（商業機記錄）
四・一〇	トニイ・トムミルトン	同	右同	十一時間五分四十五秒（同右）
五・一九	ベーターダナ嬢	ライアンST型	同	三十三時間四十六分（少年級記錄）

太平洋横斷（定期空輸を除く）

九・一	ベニー・ハワード	ハワード・スペシアル	加州——紐育	八時間三十三分
九・一三	ルーラ・インガル嬢	ロツクヒード・ヴエガ	加州——紐育	十三時間三十四分（婦人記錄）

一・一二一	アメリヤ・イヤハート夫人	ロツクヒード・ヴエガ	布哇——加州	十八時間十六分
一・一一五	米海軍飛行隊員	ホール・XP2H1型	ノーフオーク、ソロセネガル、ナタール	二十五時間二十五分
四・二二一	イグナチオ・ポンボ	クレーム・イーグル		十六時間四十二分
六・二三五	エブラール外六名	ラテコエール三〇〇型	シヤブールギネア	四千四百四十五粁
七・一六一七	ストパニ・バツビ	カントZ五〇一型	ローマソマリランド	四千九百二十九粁六九七
九・二二二	フエリス・ワイトチクス	ロツクヒード・ヴエガ	紐育アイルランド	二十五時間五十七分
一〇・一二一	マクギニス外七名	コンソリデーテツドXP3Y1	ノーフオーク、ソロコ、ソロ桑港	十七時間二十分
一〇・一五	同	右同	同	五千六百三十粁

歐洲——阿弗利加間

一・二四	グナン・ルラント外一名	フアルマン一九九型	巴里マダカスカル	三日三時間十八分
一一・一五	レウリーン・ウインダム夫人	ヘンデイ・ヘツク	ケープタウン倫敦	六日十二時間十七分

世界模型飛行機競技記錄

（昭和十年度）

全獨逸選手權大會

主催　獨逸少年航空教育聯盟

二月十二日　ミュンヘン市

一九三五年度選手權獲得競技、百三十九機參加、スケール標準コンテスト、性能テスト、時間及び距離競技

優勝　九七五米　ハンス・ベルトラーメ氏

濠洲ウエーク・フイールド競技豫選

主催　濠洲模型飛行機競技會

三月九日　メルボルン市

優勝　二一分一三秒　（オーストラリア號）C・S・クロウ氏

三分三三秒五（オートヂヤイロ機ミルトン號）世界記錄　同右氏

波蘭LOPP大會

主催　TAMC模型飛行機倶樂部

三月十三日　倫敦ホーチカルチユラル・ホール

本シーズン最後の室內飛行競技

時間優勝　二分一二秒　（ウインブルドン・チーム）ブラウン氏

曲技優勝　三〇秒にて九種　（ウインゾア・チーム）ハドスン氏

（スカイバード・リーグ・リレー）

純正スケール・モデルに對するオープン競技

優勝　コメット機　M・J・フライスベイ氏

派米選手豫選大會

主催　SMAM模型航空技術協會

四月二十二日　英國フエアリー飛行場

米國モフエツト將軍賞杯國際競技參加者選手豫選競技（離陸、滯空三回制）

合格　(1)　一三七秒フラツト　ケンウオシイ氏

(2)　八二秒二　バツフエリ氏

(3)　五五秒　ビヤンキ氏

(4)　五一秒八　ラシユブルツク氏

(5)　四三秒　ラシユブルツク氏（弟）

(6)　三四秒　ウイルソン氏

佛國々際模型飛行機競技

四月十二日　巴里飛行場

自力滑走による離陸後の滯空時間と、性能テスト。七十五機參加

滯空優勝　四分二〇秒　（佛）デユボア氏

四分　七秒　（英）ロツス氏

性能テスト　七五秒　（英）リギツト氏

英國ガメージ・カップ競技

五月十二日　ウインブルドン飛行場

公式による性能算定競技

優勝　七八秒二　モグフオード氏

リレー競技

主催　ノーザンプトン模型飛行機倶樂部

ミドルランド模型飛行機倶樂部

五月十九日　サイウエル飛行場

ゴム動力の部優勝　一二一秒　モロード氏

發動機附の部優勝　三分三十秒（ガル機）　アルマン氏

高度競技の部優勝　一、三〇〇呎　モロード氏

ウインブルドン・リレー

主催　TMAC模型飛行倶樂部

六月九日　ヘースロー飛行場

團體競技にして滯空及び性能のオープン・レース。參加者四百名

(イ)　コンクール・デレガンス（製作競技）ガソリン・モーター附

優勝　ウイリス氏

二位（兩用艇）　ロツス氏

(ロ)　純正縮寸雛型競技

優勝　七五點（コメット機）　ウエブ氏

(ハ)　ゴム動力附飛行競技

優勝　ウエクフイルド・トロフイ獲得　アルマン氏

二位　ロ　ウ氏

(ニ)　少年組レース

優勝　七九點　ウインドア氏

全伊太利代表優勝競技

主催　航空大臣

六月十二日　ローマ飛行場

一九三五年度首相楯獲得競技

距離優勝　一、九七〇米　ピアトリーニ氏

時間優勝　三九分二五秒　ストパーニ氏

二位　一、二二〇米　マーレツタ氏

フライト・トロフイ競技

主催　ノーザン・ハイツ模型飛行機組合

六月三十日　純滯空競技

(イ)　團體對抗競技（フェアリー・トロフイ）

優　勝　二九七秒八　ブラックハース・チーム

(ロ)　個人競技

優　勝　一六六秒四　（SMAE）　ブルロック氏

(ハ)　重量型競技

優　勝　一四一秒八　鳩型ルムプラー（ノーザンハイツ）　リツボン氏

(ニ)　スケール・モデル競技（フライト・トロフイ）

優　勝　六六秒（三回飛行）　ランバート氏

二　位　五三秒三（同）　クロー氏

番外競技

發動機附オートヂヤイロ　ビショップ氏

ジヨン・セリ卿賞杯競技

七月七日　フエアリー飛行場

動力附模型機のみの競技

製作優勝　**バーシヴル・ガル機**（翼幅七呎八吋、グレイスペック一五CC附）　モロード氏

時間優勝　二一秒（スカイ・ローバー號、翼幅九呎、アトム・ミノア一五CC附）　ウイリス氏

ナシヨナル・カツプ競技

主催　SMAE模型飛行機倶樂部

八月四日　フエアリー飛行場

七倶樂部代表參加者二十名。各三回離陸、滯空競技

優　勝　一分三七秒二　（TMAC）　ウオルデン氏

二　位　一分二四秒一七　（SMAE）　ウイルソン氏

三　位　一分一三秒　（TMAC）　リギツト氏

SMAEスケール競技豫選大會

八月十二日　CSSAカツプ競技に參加の一呎を一時に縮せるスケール・モデル豫選

優　勝　一三八點六　三三秒　フオツクス・モス機（ブラックハース）　クロー氏

二　位　一二三點六　二六秒　レオパード・モス機（PMAL）　ギレツト氏

速力競技會

主催　TMAC模型飛行機倶樂部
SMAE模型飛行機倶樂部

八月十八日　ハーリン・ハム・クラブのボロ・グラウンド

離陸後五十ヤードの直線ダツシュの時間競技

優　勝　二九哩六　（TMAC）　ブラウン氏

二　位　二五哩七五　ワルデン氏

放手型　三一哩四六　ナイト氏

第二會全英水上機大會

主催　SMAM模型飛行機倶樂部

九月八日　ダンソン公園

レデイ・セリー卿夫人賞杯。全部單葉二十五機參加、一機のみ複葉、可變ピツチ・プロペラー附、一分間の浮泛テスト（二回離着水）

最長時間　九五秒二　アイヴス氏

優　勝　四九秒七　（SMAE）　ウイルソン氏

二　位　四七秒七　（TMAC）　ワルデン氏

三　位　三六秒七　（BHMFC）　クロウ氏

同日同時にTMAC倶樂部の水上機競技を兼ね行なふ。

優　勝　四七秒七　ワルデン氏

二　位　三九秒五八　リギツド氏

模型帆走飛行機競技

主催　SMAE模型飛行機倶樂部

十月六日　アイヴアンホー・ビーコン

モデル・エンジニア誌提供カツプ競技

優　勝　四五秒　アイヴイス氏

二　位　三九秒　エヴアンス氏

三　位　三一秒六　リユカーニ氏

萬國選手權獲得競技大會

十月十二日　米國セント・ルイス市

國際選手參加

發動機附の部優勝　一時間四分一二秒（紐育出身）　レオ・ウイズ氏

ゴム動力附の部優勝　（二三分二九秒三）（**公認世界記錄**）（シカゴ出身）　カール・ゴールドベリー氏

同大人の部優勝　二四分四〇秒八（クリブランド出身）　リチヤード・コーダ氏

太平洋定期航空輸送開拓概況

（昭和十年度）

第一回横斷試驗飛行

日　時　四月十六日——二十三日
區　間　米本土加州アラメダ——布哇往復
使用飛行機　汎米航空路會社所屬シコルスキーS四二型「クリッパー號」プラット・エンド・ホイツトニー・ホーネツト（四基）三千馬力
積載物　燃料三千ガロン、郵便物一萬通
乘　員　艇長エドワード・シー・ミユジツク　副艇長ロツド・サリヴアン　航空長フレツド・ジエー・ヌーナン　操縱士ハリー・キヤナダデイ　無電士ターナー・デヤーボー　機關士ヴイクター・ライト
航空記錄　アラメダ發　十六日午後三時五十五分
ホノルル着　十七日午前七時九分
ホノルル發　二十二日午後三時二十九分
アラメダ着　二十三日午後二時五十八分
距　離　二千百哩

第二回横斷試驗飛行

日　時　六月十二日——同二十二日
區　間　アラメダ——布哇——ミツドウエイ往復
使用機　同前
乘　員　ロツド・サリヴアン　外五名
航空記錄　アラメダ發　十二日午後三時
ホノルル着　十三日午前八時五十七分
ホノルル發　十五日午前五時五十七分
ミツドウエイ着　同日午後五時四十分
ミツドウエイ發　十七日午前八時五十四分
ホノルル着　同日午後四時二十九分
ホノルル發　二十一日午後三時一分
アラメダ着　二十二日午後零時十分
距　離　三千四百二十三哩

第三回横斷試驗飛行

日　時　八月九日——二十八日
區　間　アラメダ——布哇——ミツドウエイ——ウエイク島間
使用機　同前
乘　員　エドワード・ミユジツク　以下五名
航空記錄　アラメダ發　九日午前十時
ホノルル着　十日午前五時四十二分
ホノルル發　十三日午前六時
ミツドウエイ着　同日午後三時
ミツドウエイ發　十六日午後九時二十一分
ウエーキ島着　十七日午後零時二十五分
ウエーキ島發　二十二日午後零時三十分
ミツドウエイ着　二十三午後九時二十分
ミツドウエイ發　二十四日午前九時二十七分
ホノルル着　同日午後五時二分
ホノルル發　二十七日午後二時五十九分
アラメダ着　二十八日午前十時五十五分
距　離　四千六百六十五哩

第四回横斷試驗飛行

日　時　十月五日——二十四日
區　間　アラメダ——布哇——ミツドウエイ——ウエーキ——グアム島
使用機並に乘員　同前
航空記錄　アラメダ發　五日午後三時十分
ホノルル着　六日午前七時十二分
ホノルル發　七日午前七時
ミツドウエイ着　同日午後五時
ミツドウエイ發　八日午前十時十九分
ウエーキ着　同日午後十一時三十分
ウエーキ發　十二日午前六時五十九分
グアム着　同日午後九時十分
グアム發　十五日午前七時五分
ウエーキ着　同日午後九時二十五分
ウエーキ發　十七日午前十時四十四分
ミツドウエイ着　十六日午後十一時
ミツドウエイ發　同日午後四時十四分
ホノルル着　二十三日午後二時五十分
アラメダ着　二十四日午前十一時一分
距　離　六千六十五哩

第一回太平洋定期航空

日　時　十一月二十二日——十二月二日
區　間　アラメダ——布哇——ミツドウエイ——ウエーキ——グアム——マニラ
使用飛行機　汎米航空路會社所屬マーチン一三〇型「チヤイナ・クリツパー號」プラット・エンド・ホイツトニー・ホーネツト（四基）三千二百馬力
乘　員　艇長エドワード・ミユジツク　機長ロツド・サリヴアン　副操縱士ジョージ・キング　機關士ジイ・デイ・ライト　機關士ヴイ・エ・ライト　特務航空士フレデリツク・ヌー

ナン　航空士モーリス・ロドーゼン　無電技士ウイリアム・ジヤーボー　同トーマス・ランネル

航空記錄

アラメダ發　二十二日午後三時四十七分
ホノルヽ着　二十三日午後零時四十九分
ホノルヽ發　二十四日午前六時三十五分
ミツドウエイ着　同日午後三時三十一分
ミツドウエイ發　二十五日午前十時十二分
ウエーキ着　二十六日午後六時四十分
ウエーキ發　二十七日午前六時四分
グアム着　同日午後三時七分
グアム發　二十九日午前六時六分
マニラ着　同日午後三時三十一分

七千九百二十二哩

六日七時間五十六分（**飛行時間七十六時間五十三分**）

マニラ發　十二月二日午前二時五十分
グアム着　同日午後零時三十分
グアム發　三日午前十時
ウエーキ着　同日午後八時五十八分
ウエーキ發　四日午前六時四十五分
ミツドウエイ着　同日午後四時五十分
ミツドウエイ發　五日午前九時十七分
ハワイ着　同日午後五時二十七分
ハワイ發　六日午後三時五分
アラメダ歸着　七日午前十時三十六分
五日二十三時間四十分（**飛行時間六十三時間二十八分**）

旅客　九名（內支那人コツク四名）
積載物　三千封度（內一六五三封度郵便）

第二次太平洋定期航空

日時　十二月九日——十六日（往航）
區間　同前
使用機　同型「ファイリツピン・クリツパー號」

航空記錄

アラメダ發　九日午後三時十七分
ホノルヽ着　十日午前十一時三十一分
ホノルヽ發　十一日午前六時二十四分
ミツドウエイ着　同日午後一時三十九分
ミツドウエイ發　十三日不詳
ウエーキ着　同日午後一時三十九分
ウエーキ發　十四日
グアム着　同日
グアム發　十六日
マニラ着　十六日午後三時五十分

世界軍用機性能比較表

（昭和十年度）

（一）單座戰鬪機

國名	飛行機	發動機	馬力	全備重量	最大速度	戰鬪高度	上昇力（五千米まで）	上昇限度	武裝	型式
日本	九一式（陸）	中島壽式二型	五五〇	一、三〇〇瓩	三〇〇粁	五、〇〇〇米	九・〇〇分秒	九、〇〇〇米	銃二	高・單
日本	九二式（同）	川崎式B・M・W	八〇〇	一、七五〇	三三〇	八、〇〇〇	八・〇〇	八、五〇〇	同	複
日本	九〇式（海）艦戰	中島壽式三型	六〇〇	一、二〇〇	三五〇	三、〇〇〇	七・〇〇	九、〇〇〇	同	同
英吉利	ホーカー・スピート・フユーリー	ロールス・ロイス・ゴスホーク	六五〇	一、五四三	四〇〇	四、六〇〇	七・〇〇	一二、三〇〇	銃一二	複
英吉利	アームストロング・シミター	シドレー・パンサー	七三五	一、八六〇	四一〇	四、二七〇	九・三〇	九、三〇〇	同、爆一	同
英吉利	ブリストル・ブルドツク四型	パーシューズ	五五五	一、八五九	三三五	四、八八〇	一〇・〇〇	九、六〇〇	同	同
英吉利	グロスター・ガントレツト	ブリストル・マーキユリ	六一〇	一、七七五	三六七	四、七五〇	七・〇〇	一〇、二〇〇	同、爆四	同
英吉利	グロスター・グラデユエーター	同　右	七五〇	一、七九〇	三七〇	四、八二〇	七・〇〇	一〇、八〇〇	同	同
英吉利	ホーカー・ニムロツド	ロールス・ロイス・ケストレル	六五〇	一、八四〇	三三三	四、四二〇	九・〇〇	一〇、〇〇〇	同	同
ボーイング P二六型		ワスプ	五五〇	一、二七〇	三七〇	四、〇〇〇	一〇・〇〇	八、〇〇〇	銃三	低・單

世界軍用機性能比較表

國名	飛行機	發動機	馬力	全重量	最大速度	航續力	上昇限度	武裝	乘員	型式
亞米利加	カーチスP六E型	カーチス・コンクエラー	一、〇〇〇	六、七五〇	三一七	三、〇〇〇	九、三〇	銃二、爆一	複	
	カーチスF一一C二型	ライト・サイクロン	一、〇〇〇	一、八四七	三〇九	一、〇〇〇	七、七五〇	同、同二	同	
	グランマンF二F一型	ツイン・ワスプ	一、〇〇〇	一、九〇〇	四二〇	一、〇〇〇	一〇、一〇〇	同	同	
	ノースロープ								低・單	
佛蘭西	ニユーポール一二二型	イスパノスイザ	七〇〇	一、七九〇	三六五	三、七五〇	六、三一	銃二	高・單	
	ミユーロー一七〇型	同 右	六五〇	一、六七〇	三八〇	四、三〇〇	七、〇〇	同	同	
	モラーヌ・ソルニエー二七五	ノーム・ローン	六五〇	一、七二四	三七八	四、〇〇〇	七、三〇	同	同	
	同	イスパノスイザ	七二〇	一、七八九	三七五	四、〇〇〇	八、二〇	同	低・單	
	三二五型									
	ロアール四六型	ノーム・ローン	八二〇	一、八二五	四〇五	四、一五〇	五、二〇	同二、砲二	高・單	
	デヴオアチーヌ三七一型	同 右	八八〇	一、六八〇	四〇五	五、五〇〇	五、五〇	同、同	同	
	同	イスパノスイザ	七五〇	一、七二〇	四一三	五、〇〇〇	五、二七	同	低・單	
	五一〇型									
伊太利	ブレダ二七型	アルファ・ロメオ	六三〇	一、七九〇	四〇〇	五、〇〇〇	七、三〇	銃二	低・單	
	アツサルト・パラビチノ	同 右	六〇〇	二、三三〇	三五五	四、一〇〇	一〇、一〇	同	同	
	カプロニ・キオヂ C H型	ピアジオ・ステラ	七八〇	二、一〇〇	四四〇	四、七五〇	四、七〇	同	同	
	フイアツト C R三三型	フイアツト	七〇〇	一、九一〇	四一三	三、五〇〇	四、一〇	同	複	
	同 C R四〇型	ピアジオ・ステラ	七八〇	一、九七五	四五〇	三、〇〇〇	四、一〇	同	同	
ソエヴー	I 七型	M一七型	六三五	一、七〇	三三五	五、〇〇〇	五、二〇	同	複	
	M一型水上機	M四型	七〇〇	一、七二三	三〇〇	三、〇〇〇	九、一〇	同	低・單	

國名	飛行機	發動機	馬力	全重量	最大速度	航續力	上昇限度	武裝	乘員	型式
イタリア	ポリカルボフ	L五型	七〇〇	一、八〇〇	四二〇	九、〇〇〇	四、二〇	一五、〇〇〇 銃三	複	
チエコスロヴアキア	アヴイア三四型	イスパノスイザ	六五〇	一、七五〇	三三三	三、五〇〇	一〇、〇〇	七、五〇〇 銃二	複	
	ルトーフ二三一三型	ワルター・マーキユリ	五八〇	一、七一五	四〇四	四、〇〇〇	六、〇〇	一〇、四〇〇 銃四	同	
	プラーガE四四型	プラーガE八型	五五〇	一、六五〇	三五〇	二、五〇〇	九、〇〇	七、五〇〇 同二	同	
和蘭	フオツカーD一九型	ロールス・ロイス・ケストレル	七五〇	一、一四〇	四一〇	四、二五〇	七、三〇	九、四〇〇 同三	複	
波蘭	PZL二四型	ノーム・ローン	八〇〇	一、七二四	四一六	四、八〇〇	五、〇〇	一五、〇〇〇 銃一、砲二	高・單	
マールアニ	IAR一六型	ブリストル・マーキユリー	六〇〇	一、六五〇	三八〇	二、五〇〇	六、三〇	一二、五〇〇 銃二	低・單	

(二) 多座戰鬪機(又は地上攻撃機)

國名	飛行機	發動機	馬力	全重量	最大速度	航續力	上昇限度	武裝	乘員	型式
英吉利	ホーカー・デモン	ケストレル五型	五二五	二、〇四〇瓦	三二五粁	六七〇粁	七、五〇〇米	固銃二旋一、爆一	二	複
	同 オスプレイ	同 右型	六〇〇	二、一二四五	二九九	九五〇	七、八〇〇	固銃一、旋一、爆	二 同	
	同 オーダツクス	ケストレル一B型	五二五	二、〇〇〇	二九〇	七九三	六、五五〇	固銃一、旋一、爆	二 同	
	同 ヘクター	ダガー三型	八二〇	二、一六五	三〇六	一、〇〇〇	二、一〇〇	固銃一、旋一、爆	二 同	
	コンソリデーテツド三〇型	カーチス・コンクエラー	六七五	——	四〇三	七五〇	八、三〇〇	固銃四、旋一、爆	二 低・單	

亞米利加	カーチスA八型	カーチス・コンクエラー	六〇〇	二、六一五	三五〇	八〇〇	八、〇〇〇	固銃四、旋一、爆	二	低・單
	カーチス・フワルコン	ライト・サイクロン	七一五	二、三一八	三三〇	九〇〇	八、五三〇	固銃三、旋一、爆	二	複
	ダグラスO・四三型	カーチス・コンクエラー	六〇〇	—	三八〇	—	八、〇〇〇	固銃四、旋一、爆	二	低・單
	カーチスYO四〇B型	ライト・サイクロン	六五〇	二、二三〇	三〇二	九〇〇	七、〇五〇	固銃一、旋一、爆	二	高・單
	カーチス・ヘルダイバー	同右	五七五	一、八四七	三〇四	九五〇	七、七五〇	固銃一、旋一、爆	二	複
	ヴオートV九〇型	ホーネット	六七五	二、〇九四	三〇四	八五〇	八、五五〇	固銃二、旋一、爆	二	同
	グランマンSF一型	ライト・サイクロン	七一〇	二、四五〇	三一五	五〇〇	七、一〇〇	—	二	同
佛蘭西	アミオ一四二型	ノーム・ローン(2)	七〇〇	七、〇〇〇	三〇七	一、三〇〇	八、一〇〇	固銃二、旋六、爆	四	低・單
	ボルドレーズ八〇型	イスパノスイザ(2)	八六〇	八、一〇〇	三三〇	一、〇〇〇	八、五〇〇	旋銃六、砲一、爆	六	高・單
	ブレゲー四一M四型	同右	六五〇	六、二三五	三一五	一、三〇〇	七、〇〇〇	旋四、砲一、爆	六	一半葉
	ブレゲー四六〇型	ノーム・ローン(2)	八〇〇	七、四〇〇	三八五	一、〇〇〇	八、五〇〇	旋四、爆	四	同
	マルセル・ブロッシュ	同右	八〇〇	—	三四〇	一、五〇〇	八、〇〇〇	旋三、砲一、爆	五	高・單
	ポテー五四型	イスパノスイザ(2)	八〇〇	六、七〇〇	三〇九	一、二〇〇	一〇、〇〇〇	旋六、砲一、爆	五	同
	S・P・C・A三〇型	ロレーン(2)	六五〇	六、五八五	二五五	六〇〇	六、二〇〇	旋六、爆	四	低・單
	ミユロー一一三型	イスパノスイザ	六五〇	二、四八五	三二〇	一、〇〇〇	一〇、六〇〇	固銃二、旋二	二	高・單
伊太利	ピアジオP一六型	ピアジオ・ステラ(3)	六一〇	八、四五〇	四〇〇	一、〇〇〇	九〇〇	固銃二、旋四、爆	五	單
	フイアットA七〇型	フイアット二四型	七〇〇	二、五五〇	二四八	一、五〇〇	六、八〇〇	固銃二、旋一、爆	二	高・單
	カプロニ一一一型	イソタ・フラスキニ	八八〇	二、九五〇	三五〇	一、一〇〇	六、〇〇〇	固銃一、旋二、爆	三	同
	ロメオ三〇型	ピアジオ・ステラ	五五〇	二、六四〇	二五〇	八〇〇	七、五〇〇	同	三	複

獨逸	ドルニエーC四型	ロールス・ロイス	六〇〇	二、三〇〇	三一五	八〇〇	八、八〇〇	固銃一、旋二、爆	二	高・單
	ハインケル八〇型	B・M・W	七〇〇	二、三〇〇	三四〇	九〇〇	九、五〇〇	同	三	低・單
	ユンカースJu五〇型	シーメンス	七二五	七、六〇〇	二〇六	二、〇〇〇	四、七〇〇	固銃二、旋六、爆	五	同
チロエヴツアコキスア	アエロ一〇〇型	アヴイア	六五〇	三、二二〇	二七〇	八〇〇	六、五〇〇	固銃二、旋一、爆	二	複
	ルトーフ四二八型	イスパノスイザ	六五〇	三、六四〇	二八〇	七〇〇	七、五〇〇	固銃四、旋二、爆	二	同
	プラーガ三六型	同右	六五〇	三、二五〇	二七〇	一、〇〇〇	六、五〇〇	固銃二、旋一、爆	二	同
波蘭	ラブリン一三型	ライト・ホワールウインド	二二〇	一、二九〇	一九〇	六〇〇	四、一〇〇	固銃一、旋一	二	高・單
	P・W・S一九型	ホーネット	五二〇	一、九五〇	二五五	七〇〇	七、二〇〇	同	二	同
和蘭	フオツカーCVE型	ペガサス	五八〇	二、四五〇	二六六	一、二〇〇	八、一〇〇	固銃一、旋二	二	複
	同CX型	ロールス・ロイス	六五〇	二、三〇〇	三五〇	六七五	九、五〇〇	同	二	同
ソヴイエート	D一・三型	M一七型	六八〇	一、八〇九	三〇〇	七五〇	八、〇〇〇	固銃二、旋二、爆	二	複
	ヱイル七型	M二二型	五〇〇	一、四〇〇	三三〇	一、〇〇〇	六、〇〇〇	同、旋四、爆	三	低・單
	エル七型	M二二型(2)	六〇〇	—	三五〇	一、〇〇〇	八、〇〇〇	—	三	同
	ハイ六型	同右	六〇〇	—	四〇〇	一、二〇〇	一二、〇〇〇	固銃四、旋一	二	同

(三) 輕爆撃機(又は雷撃機)

國名	飛行機	發動機	馬力	全備重量	最大速度	航續力	上昇限度	武裝	型式
日本	八八式（陸）	川崎式B・M・W	六〇〇	三、一〇〇瓩	二一〇粁	八〇〇粁	五、三〇〇米	固銃一、旋一、爆	複
	九二式輕偵（同）	三菱九二式	五〇〇	一、八〇〇	二三〇	八〇〇 同	五、八〇〇 同	同	高・單
	九三式單輕爆（同）	川崎式B・M・W	七〇〇	三、一〇〇	二八〇	一、〇〇〇 同	七、〇〇〇 同	同	複
	九三式双輕爆（同）	中島壽式改二型（2）	五〇〇	四、六〇〇	二八〇	一、一〇〇	八、〇〇〇	—	低・單
	九二式艦攻（海）	九三式	六〇〇	三、〇〇〇	二〇〇	—	八、〇〇〇	—	複
	九四式輕爆（同）	中島壽式改二型	六五〇	—	—	—	—	—	複
英吉利	ブラックバーン・シャーク	タイガー	七〇〇	三、一〇〇	二四五	八五八粁	五、一〇〇	固銃一、旋一、雷	複
	フェアリーTSR型	ペガサス	六五〇	—	二五〇	一、〇〇〇 同	五、〇〇〇 同	同	同
	ヴイツカース・ヴアイルド・ビースト	同右	六五〇	三、九四六	二三〇	一、二〇〇 同	四、九〇〇 同	同	同
	ウエストランド・ワーレス	同右	六五〇	二、六一〇	二五二	一、七九二	七、〇〇〇	固銃二、旋二、爆	同
	フエアリーPVG型	タイガー	六七〇	—	二〇〇	一、一〇〇	九、〇〇〇	—	同
亞米利加	キーストンB六型	ライト・サイクロン（2）	五七五	六、〇五〇	一九九	一、三一〇	五、〇三三	旋五、爆	複
	ダグラスYB七型	カーチス・コンクエラー（2）	六〇〇	四、六二六	二八六	一、一〇〇	七、〇〇〇	旋五、爆	高・單
	ベランカ水上攻	ライトサイクロン（2）	七一五	八、一五九	二八〇	二、四〇〇	六、一五八	旋三、爆	同
	ノースロープ2E型	同右	七五〇	三、四〇〇	三五四	二、四〇〇	八、五〇〇	同	低單
伊太利	サヴオイア六二型	アツソ（2）	七五〇	四、〇五〇	二四三	一、〇〇〇	四、一〇〇	旋四、雷	低・單・艇
	カントZ五〇一型	イソタ・フラスキニ	七五〇	五、〇〇〇	二六〇	二、五〇〇	五、〇〇〇	同	同

國名	飛行機	發動機	馬力	全備重量	最大速度	航續力	上昇限度	武裝	型式
佛蘭西	ブレゲー一九R二型	ロレーン	五五〇	二、〇二三	二一七	九〇〇	五、六〇〇	固銃一、旋二	一半葉
	同二七型	イスパノスイザ	六五〇	三、六〇〇	二四〇	一、五〇〇	六、五〇〇	同一、旋二、砲一	同
	ポテー二五型	ロレーン	五〇〇	二、五四七	二一七	九〇〇	五、六〇〇	固銃二、旋一、爆	同
	同三九型	イスパノスイザ	六五〇	二、六五〇	三一〇	七四〇	一〇、五〇〇	固銃二、旋二	高・單
	同五〇型	ノーム・ローン	七〇〇	二、七〇〇	三〇五	六五〇	一〇、〇〇〇	固銃一、旋一、爆	複
	ラテコエール四九型	イスパノスイザ	六五〇	二、七五一	二七五	九三〇	七、八〇〇	固銃二、旋二、爆	高・單
	アミオ一二三型	ロレーン	七〇〇	四、三〇〇	二三〇	七〇〇	六、五〇〇	同	複
ソヴエイト	エル五型	M一七型	六五〇	三、三〇〇	二七〇	一、〇〇〇	六、五〇〇	同	複
	アント四型	B・M・W（2）	六八〇	七、九二八	三〇七	一、〇〇〇	六、〇〇〇	固銃二、旋四、爆	低・單

（四）重爆撃機（又は超重爆撃機）

國名	飛行機	發動機	數	馬力	全備重量	搭積量	最大速度	航續力	上昇限度	武裝	型式
日本	九三式（陸）	九三式	二	七〇〇	八、一〇〇	—	二三〇	一、五〇〇	—	—	低・單
英	ボルトンポール・オーバ・ストランド	ペガサス	二	五五〇	四、八三六	一、九〇四	三一〇	一、〇〇〇	九、〇〇	銃六、砲一	複
	ヴイツカース・バージニア	同	二	五五〇	七、九八四	三、八九四	二〇三	一、二〇〇	六、一〇〇	同四	同

國名	飛行機	發動機	數	馬力	全備重量	搭積量	航續力	上昇限度	武裝	型式
吉利	ハンドレーページ・ヘイフオード	ロール・ロイス	二	六〇〇	七、六〇〇	二、八〇〇	一、四七二	八、三五〇〇	銃四	複
	フエアリー・ヘンドン	同	二	七〇〇	八、六四九	三、一〇〇	二八五	一、一〇	八、〇〇〇	銃六	低・單
	アームストロング	タイガー	二	八四〇	—	—	三一〇	一、二〇〇	—	銃五	同
	ハンドレーページ	タイガー六型	二	八四〇	—	—	二九〇	—	—	—	同
亞米利加	カーチス・コンドル	ライト・サイクロン	二	七一五	七、九二九	二、八二九	二八八	二、二四〇	七、七二	銃五	複
	マーチン一〇二型	ホーネット	二	六五〇	—	二、二三四	三五四	一、一〇〇	二、〇三〇	同四	低・單
	ベランカC二七型	ライト・サイクロン	二	七一五	五、一七六	二、二三四	二六四	八〇〇	四、五七五	同四	高・單
	マーチン二九九型	ツインワスプ	四	一、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	低・單
佛蘭西	リオレ・オリヴイエ二〇六型	ノーム・ローン	二	四八〇	七、二〇〇	三、四二〇	二三〇	二、〇〇〇	七、五〇〇	銃四	複
	ボルドレーズ二〇型	ロレーン	四	六〇〇	一四、八〇〇	四、九五〇	二一〇	五九〇	四、七〇〇	銃五、砲二	高・單
	フワルマン二二二型	ノーム・ローン	四	七〇〇	一四、三〇〇	六、〇〇〇	二七六	一、六〇〇	八、五〇〇	銃三、砲一	同
	リオレ・オリヴイエ二〇八型	同	二	七一〇	八、五〇〇	四、三〇〇	三三五	二、〇〇〇	八、二〇〇	銃三	複
	マルセル・ブロシユ二〇〇型	同	二	八〇〇	六、五七五	—	二九〇	一、五〇〇	七、〇〇〇	銃五	低・單
伊太利	カプロニ七九型	イソタ・フラスキニ	四	五〇〇	一一、〇〇〇	四、五〇〇	一九〇	一、五〇〇	七、〇〇〇	銃四	複
	同九〇型	同右	六	一、〇〇〇	三五、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二一〇	一、七〇〇	五、一〇〇	銃八	同
	同九三—三型	同右	三	一、〇〇〇	一五、〇〇〇	七、五〇〇	二三五	一、一〇〇	五、〇〇〇	銃六	高・單
	サヴオイアS七二型	ブリストル・ペガサス	三	五五〇	三六、〇〇〇	六、〇〇〇	二六一	三、三五〇	六、五〇〇	銃六	同
	サヴオイアS八一型	ピアジオ・ステラ	三	六五〇	八、〇〇〇	三、五〇〇	三二五	一、〇〇〇	七、〇〇〇	銃六	低・單

國名	飛行機	發動機	數	馬力	全備重量	搭積量	航續力	上昇限度	武裝	型式
ソヴイエート	TB一型	M一七型	二	六五〇	六、七五〇	三、一九九〇	二〇九	一、七四四	五、四〇〇	銃四	複
	アント六型	同右	四	一、八六〇	一四、六〇〇	四、七五〇	二〇五	三、五〇〇	五、〇〇〇	銃一〇	低・單
	同一四型	ジユピター	五	四八〇	一七、三三〇	一〇、六五〇	二三〇	二、五〇〇	四、〇〇〇	銃一〇	同
	同二〇型	M三四型	八	六〇〇	四〇、〇〇〇	七、〇〇〇	二三八	二、〇〇〇	—	—	同
和蘭	フオツカーT四型	ロレーン。	二	四五〇	六、七〇〇	二、五三〇	二三〇	一、二〇〇	四、五〇〇	銃四、雷	同

(五) 哨戒飛行艇

國名	飛行機	發動機	數	馬力	全備重量	搭積量	航續力	上昇限度	武裝	型式
日本	九〇式二號	ロールス・ロイス	三	八〇〇	一三、〇〇〇 瓲	— 瓲	— 料	— 米	—	複
	八九式	九〇式	二	六〇〇	六、〇〇〇	—	一、一〇〇	七、〇〇〇	—	同
英吉利	ブラックバーン・パース	ロールス・ロイス	三	八二五	一四、七五五	五、三五〇	一、六一〇	三、五〇七	銃二、砲一	複
	サロー・ロンドン	ペガサス	二	五八〇	八、三四六	三、三一一	一、六〇九	四、五七〇	同三	同
	ショート・シンガポール	ロールス・ロイス・ケストレル	四	五六〇	二一、四七七	四、二〇〇	一、六一〇	四、〇五〇	同	同
	スーパーマリン・スカパ	同右	二	六〇〇	一一、〇〇〇	—	一、六一〇	五、〇〇〇	同	同
	同ストレーナー	ペガサス一〇型	二	六五〇	—	—	—	六、二〇〇	同四	同
	同シーガル	同二型	一	六五〇	—	—	—	—	同二	同

利	ショート・サラファンド	ロールス・ロイス・ブザード	六	六五〇	三七、四七〇	二一、四七〇	二、三四〇	三、九七〇	—	同
亞米利加	ホール P二H一型	カーチス・コンクエラー	四	六〇〇	一五、七九九	四、五〇〇	三、〇〇〇	五、〇〇〇	銃四	複
	コンソリデーテッド P二Y一型	ホーネット	二	五七五	九、〇六五	四、〇二七	三、五〇〇	三、五七〇	同五	一半葉
	グランマン JF一型	ツイン・ワスプ	一	七五〇	二、四三〇	五六五	四〇〇	七、一〇〇	同二	複
	コンソリデーテッド P三Y一型	同右	二	七五〇	—	—	五、四〇〇	—	—	同
佛蘭西	フワルマン 二七〇型	ノーム・ローン	二	七〇〇	九、四〇〇	三、六〇〇	二、五〇〇	七、五〇〇	銃四	複
	ロアール 七〇型	同右	四	五五〇	一〇、五〇〇	四、一〇〇	二、五〇〇	六、二二〇	銃三	低・單
	ブレゲー・ビゼルト	同右	三	八四五	一五、〇〇〇	三、七〇〇	一、八〇〇	三、七〇〇	銃三	複
	カムス	同右	二	四八〇	六、六〇〇	二、六〇〇	一、五〇〇	四、〇五〇	銃四	同
伊太利	サヴオイア S七八型	イソタ・フラスキニ	一	九〇〇	五、一五〇	二、一〇〇	二、五〇〇	五、七〇〇	銃二	複
	同 S五五X型	同右	二	八〇〇	七、七〇〇	二、五〇〇	四、五〇〇	五、〇〇〇	銃四	低・單
	カント 二一型	同右	一	五〇〇	三、三九〇	一、一〇〇	二、二〇〇	四、七〇〇	銃三	同
獨逸	ドルニエー 一八型	ユンカース・ユーモ	二	五六〇	九、二〇〇	三、八三〇	四、四五	四、四〇〇	—	高・單
ソエヴーイト	MDR一型	M一七型	二	五八〇	五、九九〇	二、三〇〇	一、〇〇〇	五、〇〇〇	銃三	
	MDR二F型	同右	二	六八〇	六、九八五	二、六七五	一、五四〇	五、〇〇〇	銃六	

（備考）「發動機」欄括弧内の數字は基數。「型式」欄の高單は高翼單葉、低單は低翼單葉、複は複葉。「武裝」欄の銃は機關銃、固は固定式機關銃、旋は旋廻銃、砲は輕砲、爆は爆彈。

世界大型飛行艇

（昭和十年度）

昭和十年は、大型飛行艇時代への第一歩を踏み出した最も意義ある年で、勿論過去に於てもドルニエDOXの如き巨人艇の作られた事はあるが、眞に航空技術上の種々の難點を解決して實用的の洋上航空を現出したのは、この年に於ける巨人艇の成功に外ならない。特にこの大飛行艇に着目し、立派な成功を收めたのは米國であつて、別項の如き赫々たる太平洋定期航空の開拓を始め、幾多の空軍用大哨戒艇の成功は、悉くその製造上の勝利に負ふものである。

永年、飛行艇王國であつた英國が、依然として翼幅三十米以内、全備重量十五噸級の複葉以上に進境を見せぬ間に、米國の執つた四發動機單葉飛行艇は、航續力、積載力、速力、凡ての點で優越し、特に飛行艇の性能向上のため翼荷重を大にすることに成功してゐる。翼荷重增加に伴つて生じる離水速度の大により生起した波水抵抗の難點を、構築上の技術によつて解決し、又補助浮舟を揚力鰭に置き換へたマーチン式や、引上式翼端浮舟としたコンソリデーテッドXP三Y一の如き新らしき技術上の解決もついた。

殊に最近の飛行艇は、著しく面比の大きい翼を使用して誘導抵抗を減じ、速力を獲得し、全備重量に對して搭積量特に徴料荷重を高くする傾向が著しくなつた。即ちマーチン一三〇型クリッパーは面比七・七シコルスキーS四三型は九・四七の驚くべき大面比をとり、ラテコエール五二一型は三十七噸の巨大なもので現在世界一と云はれ、地中海用としたら七十二名を乘せて千二百粁、南大西洋では三十名を乘せて五千粁を飛行し得る。シコルスキー・クリッパーは三二二粁の高速力を出し、伊太利カントZ五〇一型は二六〇粁を出す。

從來、飛行艇の最も困難とされた離水の問題も、可變ピッチ・プロペラーと下げ翼の進歩によつて、かゝる大なる翼荷重を增加し、而も發動機の出力が七八百を限度とする現在では、馬力荷重を五—七瓩馬力より減少し得ないに拘らず、相當速力も增加し、離水時の限界速力を容易に突破し、短時間で離水し得る性能を獲得したのである。即ち十七—三〇秒で離水するのが標準で、その上、耐波性と收容力の增大も著しい。旅客飛行艇としてマーチンやラテコエールは、防音とか居住性の研究は十分に積まれて空のホテルとさへ言はれてゐる。同時に軍用としてもこの種大飛行艇が哨戒艇として、或は純然たる航空艦隊として恐るべき威力を備へ來つたことは事實である。

ブラックバーン・パース艇の輕速射砲付は既に前年から現れてゐたが、ショート會社の六發動機付サラファンド號や、双發重爆ナックルダスター號の死角無き射界の持つ火力、コンソリデーテットXP3Y

型の五千六百粁の航續力等、空軍の渡洋戰術に最も强味を與へるものではあるまいか。

翼幅三十米以上及び全備十噸以上の巨人艇を表示して見ると、次の如くになる。

	佛蘭西								亞米利加					英吉利		
機名	ラテコエール	同	同	ブレリオ五一九〇型	ブレゲー	ロアール	リオレ・オリヴイエ	マーチン一三〇型	シコルスキーS四二型	ホール	コンソリデーテット	ショート・シピオ	ブラックバーン	ショート		
型式名稱	五二一型パリー大尉號	三〇・一型南十字星號	L・三〇・二型	サントスヂユモン號	ビゼルト及びサイゴン級	L〇七〇型	LeOH二七型	チヤイナ・クリツパー號	ブラジリアンクリツパー號	XP2H・1型	P2Y3型	シピオ級	バース型	シンガポール型		
翼幅	四九・三米	四四・二	四四	四三	三五・一	三〇	三六・八	三九・六	三四・八	三四・二	三〇・四	三四・四	二九・四	二七・四		
全長	三一・六米	二五・八	二六	二六	二〇・三	一九・二	二二・八	二八・〇二	二〇・九	一九・七	一八・九	二三・九	二一・三	一九・五		
翼面積	三三〇平方米	二六〇	二五六	二三二	一六九・八	一三六	一八〇	二〇一・六	一二三・五	一四二	一三二	二四五・二	二三三	一七〇		
自重	一九、七五二瓩	一三、一二四	一三、二三〇	一一、二〇〇	八、一二二	五、九〇〇	九、八〇〇	一〇、四七八	八、九七三	九、二六九	五、〇三八	八、五八〇	九、五五六	八、三六〇		
積載量	一一、八三五瓩	一一、二〇一	一、〇九〇	一一、三〇〇	六、八七八	五、六〇〇	九、一〇〇	一二、六五五	八、二七七	一〇、七〇七	四、〇二七	五、九四八	五、一八四	五、八四〇		
徵料荷重	七、一六八瓩	一、〇〇〇	—	三、五〇〇	三、九五〇	—	六〇〇	四、二〇〇	三、九七九	—	—	二、八五四	—	—		
全備重量	三五、〇〇〇瓩	二三、三二五	二三、九二〇	二三、五〇〇	一五、〇〇〇	一一、五〇〇	一八、〇〇〇	二三、一三三	一七、二五〇	一九、九七六	九、〇六五	一四、五二八	一四、七四〇	一四、三〇〇		
乘員	五	四	七	八	六	七	四	五	五	七	六	三	六	六		
最大旅客	七〇	—	—	六〇	一九	—	一三	四八	三二	—	—	一五	—	—		
最大速度	二六〇粁	二一〇	二三三	二二〇	二四〇	二三四	二四五	二九〇	二九一	二二四	二一〇	二一九	二一三	二三三		
巡航速度	二二〇粁	一八五	二〇〇	一九〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二六二	二五一	二一〇	一九〇	一六八	一七六	一八〇		
上昇限度	五、一〇〇米	四、六〇〇	五、八〇〇	五、二〇〇	六、六〇〇	六、〇〇〇	四〇〇	六、二〇〇	四、八八〇	三、四四六	三、五七〇	五、三三〇	三、五一〇	四、五七〇		
徵料荷重の航續力	一、五〇〇粁	三、五〇〇	二、四〇〇	三、二〇〇	一、〇〇〇	一、八〇〇	一、四〇〇	一、九三一	一、九二〇	二、〇〇〇	三、〇〇〇	七二〇	一、〇〇〇	一、六一〇		
最大航續力	六、二〇〇粁	四、八〇〇	三、〇〇〇	四、〇〇〇	一、八〇〇	二、四〇四	四、二〇〇	六、四三七	三、八〇〇	三、五〇〇	三、六〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、八〇		
發動機	イスパノ八〇〇馬力	イスパノ六五〇	イスパノ八五〇	イスパノ六五〇	ノーム・ローン八四五	ノーム・ローン五〇〇	イスパノ六五〇	ツインワスプ八〇〇	ホーネット七〇〇	カーチス・コンクエラー六〇〇	サイクロン七〇〇	ジユピター五五五	ロールス・ロイス八二五	同		
右數	六	四	四	四	四	三	四	四	四	四	二	四	三	四		
翼荷重	一二二・一瓩	八九・一	七六・八	一〇一・一	七九・四	七七・五	一〇五・五	一一四・七	一三九・七	七七・五	六八・二	五九・二	六三・〇	六二・〇		
用途	南大西洋	同郵便	哨戒	同上	同上	同上	郵便南大西洋	太平洋	カリビア海	同上	同上	地中海	哨戒	同上		

世界輕飛行機一覽表

（昭和十年度）

國名	飛行機	發動機	馬力	數	全備重量	搭積量	最大速度	航續力	座席數	上昇限度	用途	型式
日本	石川島式五型	シーラス・ハーメス	一三〇	一	七七七瓩	二四〇瓩	一八五粁	四八〇粁	二	四、〇〇〇米	練習	複・開
	東京瓦斯電式KR一型	神風三型	一五〇	一	九八〇	四三〇	一九七	六五〇	四	五、〇〇〇	輕旅客機	複・客
	同二型	同右	一五〇	一	九八〇	四一〇	二一五	七五五	四	四、五〇〇		同
英	アヴロー・カデット	ゼネット・メージョア	一三五	一	八〇一	二四二	一八七	七〇〇	二	三、九〇〇	練習	複・開
	同六三六型	パンサー一一型	六四〇	一	一、六八八	四三三	三〇一	九二〇	二	九、四五〇	高級練習	同
	同コモダー	リンクス	二一五	一	一、五八七	五七〇	二〇九	八〇〇	四	三、五〇〇	旅行	複・客
	ブラックバーンB二型	シーラス・ハーメス	一三五	一	八三二	三〇〇	一八〇	五一五	二	五、〇〇〇	高級練習	複・開
	コンパー・カイト	ポブジョイ・ナイヤガラ	九〇	一	五四四	二〇〇	二五〇	一、一三〇	二	三、九〇〇	スポーツ	低・單・開
	デ・ハヴイランド・レオパード・モス	ジプシイ・メージョア	一三〇	一	一、〇一〇	三八五	二〇五	一、一三八	三	四、四二〇	旅行	高・客・單
	同タイガー・モス	同右	一三〇	一	七九五	三二〇	一七五	七〇九	二	五、五二〇	練習	複・開
	同ホーネット・モス	同右	一三〇	一	八八五	三二二	二一一	一、〇六〇	二	五、四三〇	旅行	複・客
	同コメット	ジプシイ六型	二〇五	二	二、三八四	—	三七八	四、六〇〇	二	四、一〇〇	競技	低・單・客
吉利	ヘンデイ・ヘック	ジプシイ六型	二〇五	一	一、〇九〇	四二〇	二五八	—	二	—		
	ブリテッシュ・クレーム・イーグル	ジプシイ・メージョア	一三〇	一	一、〇四六	四三二	二三六	一、〇四〇	三	四、八五〇	輕旅客機	同
	同スワロー	ブリテッシュ・サルムソン	七五	一	六八三	二四九	一六三	六七〇	二	五、一五〇	スポーツ	低・單・開
	マイルス・ホーク	シーラス	九五	一	八一六	三四二	一八三	七五〇	三	四、八五〇	同	低・單・客
	同フワルコン	ジプシイ・メージョア	一三〇	一	一、〇四四	四五〇	二三三	一、〇七二	四	四、五七〇	同	同
	同マーリン	ジプシイ六型	二〇〇	一	一、三六〇	五五六	二四九	九〇〇	四	五、〇〇〇	同	同
	モノスパー一〇型	ポブジョイ・ナイヤガラ	九〇	二	一、一五九	四九一	二二八	九四〇	四	四、八八〇	輕旅客機	同
	同一一型	同右	九〇	二	一、一五九	四六二	二四九	一、〇三〇	四	五、三一〇	同	同
	同一二型	ジプシイ・メージョア	一三〇	二	一、三〇五	四七〇	二五四	六六〇	四	五、九一三	同	同
	パーシヴル・ガル	ジプシイ六型	二〇五	一	一、〇四三	三八一	二六七	八〇五	三	五、一〇〇	同	同
	同ミュ・ガル	同右	二〇五	一	七〇一	二三〇	三二八	八六四	一	四、九八〇	スポーツ	同
	ショート・シオン	ポブジョイ・ナイヤガラ	九〇	二	一、四五一	六四八	二〇五	六二八	六	三、五〇〇	輕旅客機	高・單・客
	同シオン・セニア	同右	九〇	四	二、六〇八	一、〇〇〇	二三〇	六七五	一〇	三、六六〇	同	同
	TK一型	ジプシイ三型	一二〇	一	六五八	二三二	一八九	六二〇	二	六、〇〇八	スポーツ	高・單・開
	同二型	同右	一四〇	一	六八〇	二二七	—	—	二	—	同	低・單・開
	エアスピード・クーリー	リンクス	二四〇	一	一、七七一	八二〇	二五九	一、〇二四	六	六、四〇〇	輕旅客機	低・單・客
	ヘストン・フエニツクス	ジプシイ六型	二〇五	一	一、五〇〇	五九〇	二三四	九〇〇	四	四、二七〇	同	高・單・客
	ビーチクラフト一七R型	ジヤコブ	三〇〇	一	二、〇一〇	八一〇	三一二	一、六一〇	四	六、一〇〇	高速輕旅	複・客
	アメリカン・クルセダー	メナスコ	一二五	二	一、三六〇	四五三	一四四	八〇〇	六	三、五〇〇	同	低・單・客

| | | |

西	アンリオ	一二型	サルムソン	一三五	一	九一二	三〇〇	一五八	七二〇	二	四、九五〇	スポーツ	高・單・開
	同	一八〇型	ルノー・レニエ	二〇〇	一	九六〇	四〇五	二三〇	八〇〇	三	六、七〇〇	同	高・單・客
	モーブッサン・コルセヤ		サルムソン	六〇	一	六〇九	二六〇	一七〇	六五〇	二	五、〇〇〇	同	低・單・開
	モラーヌ・ソルニエー	三三型	同 右	二五〇	一	一、二三七	三三四	二九〇	四五〇	二	一〇、〇〇〇	練習	高・單・開
	ポテー	五八型	ポテー	一二〇	一	九〇〇	二九三	一九〇	七五〇	三	五、五〇〇	輕旅客機	高・單・客
	同	六〇型	同 右	六〇	一	五四七	二二〇	一四五	七二〇	二	三、五〇〇	スポーツ	高・單・開
	サルムソン	D二型	サルムソン	一三五	一	一、一〇〇	五七〇	一九五	七八〇	三	五、八〇〇	同	高・單・客
獨逸	アドラー	RC型	ヒルト	七〇	一	五〇〇	一九〇	一六〇	五〇〇	二	四、七〇〇	練習	複開
	アラド	六九型	シーメンス	一四〇	一	八〇五	三二〇	一八四	五六〇	三	四、二〇〇	スポーツ	同
	BFW	三五型	ヒルト	二二五	一	一、〇五〇	五一〇	三〇〇	七〇〇	四	五、三〇〇	輕旅客機	低・單・開
	ビユツカー・ユングマン		同 右	八〇	一	六〇〇	二六五	一七〇	六五〇	二	四、〇〇〇	練習	複開
	ドルニエー・リベレ		アルグス	二二〇	一	一、一〇〇	二八〇	一九五	五〇〇	三	四、五〇〇	スポーツ	低・單・艇
	エルラ	五型	DKW	二〇	一	三四〇	一二〇	一二五	四〇〇	一	一、三五〇	同	低・單・開
	フイズラー	F五型	ヒルト	六〇	一	六六〇	二六五	二〇〇	六〇〇	二	四、二〇〇	同	同
	同	F九七型	同 右	二五〇	一	一、〇五〇	四九〇	二五〇	九〇〇	四	五、七〇〇	競技	低・單・客
	フオツケ・ウルフ	四四型	シーメンス	一四〇	一	七五〇	二五〇	二〇一	五四〇	二	五、一〇〇	スポーツ	複開
	同	五六型	アルグス	二四〇	一	九八五	三二〇	二六五	四〇〇	二	六、〇〇〇	同	高單開
	ハインケル	六四型	同 右	一八〇	一	七八〇	三〇〇	二四五	一、五〇〇	二	六、〇〇〇	同	同
	同 カデット		同 右	二五〇	一	八〇〇	二九六	一八〇	五〇〇	二	四、七〇〇	同	複開
	クレーム	三二型	シーメンス	一四〇	一	一、一五〇	五五〇	一八五	六八〇	四	三、七〇〇	同	低・單・開
	クレーム	三六型	アルグス	二〇〇	一	一、〇五〇	四九〇	二五〇	九〇〇	四	五、九〇〇	競技	低・單・客
	シエーラー	三二型	シーメンス	八八	一	六三〇	二五〇	二四〇	三七〇	二	四、〇〇〇	スポーツ	低・單・開
伊太利	ブレダ	二五型	ロメオ	二二〇	一	一、〇〇〇	二五〇	二〇五	五〇〇	二	四、九〇〇	高等飛行	複開
	同	三九型	コロンボ	一四〇	一	九一〇	三五〇	二〇〇	九〇〇	二	六、〇〇〇	スポーツ	低・單・開
	CNA		CNA七型	一七〇	一	八〇〇	三二〇	二一七	四一〇	二	八、〇〇〇	同	高・單・開
	カプロニ	一二五型	コロンボ	二二五	一	八一三	二七〇	二三〇	一、〇〇〇	二	五、五〇〇	同	複客
	フイアツト	G五型	フイアツト	一三五	一	八六〇	二八〇	二〇〇	七七〇	三	五、七五〇	同	低・單・開
	サヴオイア	S八〇型	コロンボ	一三〇	一	一、〇〇〇	三〇〇	二二七	一、一〇〇	三	五、八〇〇	同	低・單・客 兩艇
瑞西	フアルナ	一一型	ポブジヨイ	七五	一	八五〇	三〇〇	一六〇	—	二	四、七〇〇	スポーツ	複開
	コント	一二型	アルグス	九五	一	九〇〇	三七〇	一八〇	四五〇	三	五、〇〇〇	同	高・單・客
瑞典	スヴエンスカ・パイレート		シドレー・リンクス	二〇〇	一	一、二四五	四七〇	一七五	七二〇	二	六、〇〇〇	同	複開
	同 ファルケン		モングース	一三五	一	九〇〇	三〇〇	一七五	五〇〇	二	四、八七〇	同	同
ソヴイエート	カリニン	K九型	ワルター	六〇	一	八五〇	—	一六五	—	二	三、五〇〇	輕旅客機	高・單・開
	エイア	七型	M二二型	三八〇	一	一、一四〇	四七〇	三〇五	—	三	五、七〇〇	同	低・單・客
	同	五型	M一一型	一〇〇	一	九六五	三八〇	一七〇	—	三	四、七〇〇	同	高・單・客
	ジグ	一型	M三〇型	四五〇	二	五、九〇〇	—	三五〇	九二〇	二	五、〇〇〇	高速旅客機	低・單・客
	スタリ	七型	M二四型	五〇〇	二	—	—	三五〇	一、三〇〇	一四	九、二〇〇	同	同

アルマニア	アイ・エ・アール	二二型	ジプシイ	一二〇	一	八八〇	一七四	一九三	四〇〇	二	六、〇〇〇	スポーツ	低・單・開
	イカル・コンマーシャル		アームストロング	三六〇	一	二、二五〇	九三〇	二五〇	七〇〇	六	五、〇〇〇	輕旅客機	高・單・客
波蘭	R・W・D	一〇型	ハーメス	一二〇	一	四七二	一三〇	二〇五	—	二	—	スポーツ	高・單・開
	同	九型	スコーダ	二五〇	一	一、〇五〇	四九一	二七五	六五〇	四	六、五〇〇	輕旅客機	高・單・客
	P・Z・L	二六型	メナスコ	二四〇	一	一、〇〇五	四七〇	三〇〇	八五〇	三	五、五〇〇	同	低・單・客
	P・W・S	一二型	スコーダ	二三〇	一	一、〇五〇	一八〇	一九〇	四二〇	二	四、五〇〇	同	複・開
	ルブランX	四型	同	二三〇	一	一、〇九〇	二九〇	一九八	五五〇	二	四、五〇〇	同	高・單・開
白耳義	ルナール	三三型	ルナール	一二〇	一	一、〇五〇	三八〇	一九〇	七三〇	二	五、五〇〇	スポーツ	高・單・開
	グルデントツプス		同	一二〇	一	九三〇	—	一七〇	六三〇	二	三、七〇〇	同	同
	フエルトンゲン	四型	ジプシイ	二一〇	一	七五〇	二九〇	一八〇	四五〇	二	六、〇〇〇	同	複・開
	S・V	四型		—	一	七五四	二六〇	一九〇	四〇〇	二	五、五〇〇	同	同
洪牙利	ゲル	一二型	マンフレツド	八〇	一	七〇〇	二五〇	一六〇	四二五	二	四、五〇〇	スポーツ	複開
	ヴ・エ・エム	一〇型	ヴエ・エム	一二〇	一	七〇〇	二〇五	一八〇	五一〇	一	五、一〇〇	同	同
墺太利	ホツブナー	一〇三型	ジプシイ	一二〇	一	八八〇	三五〇	一九五	四五〇	三	五、四〇〇	スポーツ	高・單・客
	同	九三二型	シーメンス	一六〇	—	八五〇	三五〇	二〇〇	五七〇	三	五、一〇〇	同	同
瑞典	パンダー	八五型	ワルター	一〇〇	一	六一〇	二〇〇	一六〇	—	二	四、五〇〇	スポーツ	一半・開
	同	一〇〇型	ジプシイ	一〇〇	一	八〇〇	二五〇	一六五	六一〇	二	五、〇〇〇	同	同
蘭	同	ムルテイ	ポブジョイ	八〇	一	七〇〇	二八〇	一六四	七〇〇	二	五、〇〇〇	輕旅客機	高・單・客
	クールホーヴン	四六型	ジプシイ	一三〇	一	八五〇	六五〇	一七五	六〇〇	三	四、五〇〇	同	複・客
	同	五〇型	ワスプ・ジユニア	四六〇	二	一、一〇〇	一、五二五	二七五	二、〇〇〇	一〇	六、〇〇〇	同	
チスパニア	アエロ	二〇〇型	ワルター	二三〇	一	五六〇	三五〇	二三五	七二五	四	五、二〇〇	スポーツ	低・單・客
エヴエロ	アイア	一二二型	同 右	二六〇	一	九八〇	四〇〇	二四〇	三五〇	一	六、〇〇〇	高等飛行	複・開
ツキ	レトーフ	三九型	ポブジョイ	九〇	一	五八〇	二三五	一八四	一、〇〇〇	二	五、〇〇〇	スポーツ	高・單・開
コア	プラーガ	四一型	イスパノスイザ	一六五	一	一、二七〇	三九七	二一五	五〇〇	二	五、五〇〇	高級練習	複・開
	同	一一四型	プラーガ	二〇三	一	四六七	二〇三	一五〇	五〇〇	二	三、一〇〇	スポーツ	高・單・客
濠洲	コドツク		ネピア・ジヤブリン	一六五	二	—	二二四	六四〇	二二五	六	五、七九五	輕旅客機	高・單・客
	ウイクナー		シーラス	九五	一	五一〇	一九二	五一〇	二七〇	二	四、二〇〇	練習	低・單・開

（備考）「型式」欄の複は複葉、一半は一半葉、單は單葉、高は高翼式、低は低翼式、開は開放座席、客はキヤビン型、艇は飛行艇又は兩用艇

世界超輕飛行機種

（昭和十年度）

曾て今日の輕飛行機が出現する前提として、所謂ローン・ライム時代と呼ばれてゐる一九二〇―二四年代に、獨逸の帆走機に自動自轉車用發動機を用ひた超輕飛行機の大會が、英國ライムを中心にして屢々行はれたことがある。その頃の輕飛行機は、やがてシーラス發動機の完成によつて一九二五年から十年間、所謂デ・ハヴイランド・モスを標準とする自重四百瓩以下の完全な輕飛行機へ進歩したのである。

然るに技術の進歩は既に輕飛行機の眞意義を失なひ、萬國航空協會でも一九三五年をもつて自重による區別の愚を悟り、發動機容積八立以下に標準を變更するに及んで、恰もローン・ライム時代の再來とも云ふべき超輕飛行機の流行が又も擡頭し來つた。

即ち帆走機に補助發動機を裝置するもの、極めて簡楚な構造の機體を基とするもの、或は全く違つた原理より出發するものなどが現はれ、混然として歷史循環說を立證してゐる。

然しながら、これ等の超輕飛行機の製作者は、所謂一般飛行機製造者の辿るべき性能向上のための馬力强大化を踏まず、超輕級それ自體の持つ多少不便な近代式ならざる造形上の缺點を顧みず、主として經濟的な、大衆價値のみに重點を置いて始終一貫してきた人々のみである。

從つて發動機は自動車、自動自轉車又は特殊の小馬力のものに限り、機體は大體に於て帆走機を動力化した程度で、その市場賣値は米國で七百弗、英國で五十磅　日本流に考へても千圓級と云ふのが目標である。

第一の帆走機に動力を附するものには、（英）ドローム、カーデン・ベイネス、（米）サイクロプレンC一、（獨）グロノウ「ベビー」二型、コルモランKO二型等があり、第二の簡單な構造を持つものに、（米）アエロンカ、ヘイス、（佛）ポテ六〇、（智）プラーガ・エア・ベビー一一四型などがある。

少し意味は違ふが、米國商務省の奬勵で自動車用發動機を飛行機に轉用し、千弗以下で製造し得る大衆向き飛行機が相當作られた中にクライスラー高翼單葉、フオード推進式などが出來た。第三の特殊機としては佛人アンリ・ミニエ氏によつて發明され、自動又は手働で迎角を變じ得る前翼と、固定した後翼を串型喰違ひに配し、方向舵の操縱以外必要のない「空の虱（ブード・シエル）」の壓倒的流行がある。「空の虱」は既に佛國製と英國製とが英佛海峽を立派に飛び越え、五百臺以上も作られつゝあり、唯米國と獨逸では大財閥の重工業上の政策から壓迫を加へてゐるので、この年中には大した發達を見なかつたが、英、佛、白、智、西等、歐羅巴では逐次增加の傾向を示した。その他、前尾式、無尾式等の超輕飛行機があるにはあるが、未だ注意を惹く程進歩もせず、依然試作機時代を徘徊してゐる。

代表的超輕飛行機を擧げると左の如くである。

名稱	BAC ドローン	アボツト ベインス	（英）空の虱	（佛）空の虱	アエロンカ	アエロンカ	ポテ六〇	プラーガ エア・ベビー	ヒース CNA四〇
翼幅	一二・四米	一三・九	六・七	五	一〇・九	一〇・九	一〇・〇	一一	八・一七
全長	七・〇米	七・〇	三・九七	三・五	六・一	七・〇	六・九	九・〇	五・二六
翼面積	一六平方米	一一・二	一三	一二	一三・二	一四・一	一四	一五	九・九四
自重	一七八瓩	一五〇	一六〇	八五	二五九	二六〇	二八六	二六五	二〇六
搭乘數	一	一	一	一	一	二	二	二	一
全備重量	二九〇瓩	二三六	二五〇	一八〇	四五五	五一〇	五四七	四六七	三〇六
翼荷重	一八・一瓩	二一・〇	一九・三	一三・六	三一・八	三六・三	三九・一	二一・一	三〇・九
馬力荷重	一四・五瓩	二六・二	八・三	一〇	一一・六八	七・二	九・一二	一二・三	八・二七
最大速度	一一〇粁	六五	一一三	一〇〇	一五三	一六〇	一四五	一五〇	一三九
巡航速度	九七粁	六五	九七	八五	一四〇	一三〇	一二〇	一〇〇	一一二
着陸速度	三六粁	四〇	四八	三〇	五三	五五	五〇	六〇	六五
上昇力（毎分）	一一五米	七〇	九一	七〇	一三七	一四〇	一四〇	一三〇	九〇
上昇限度	三、七五〇米	—	三、〇〇〇	二、五〇〇	三、六〇〇	四、〇〇〇	三、五〇〇	三、三〇〇	四〇〇〇
航續力	五〇〇粁	—	三二二	三〇〇	四八三	五二〇	七二〇	五〇〇	二八〇
發動機	ダグラス七五〇cc	ヴイリエ二五〇cc	カーデン三〇	オーヴエ・ダン一八	アエロンカ三六	ルポンド七〇	ポテ3B六〇	プラーガ三六	コンチネンタル三七
型式	單高	單高	串翼	串翼	高翼開	低單客	パラソル開單	高單客	高單

構造	推進式	折込發動機	フォード・モーター改造	特殊翼	水上機も可	木製	木製	木製	セット組立
離陸滑走	四〇米	一三七	九一	五〇	一一八	八〇	七五	五〇	七〇
着陸滑走	四〇米	四五	一八	二〇	一一〇	五〇	六〇	五〇	六〇

これ等の超輕飛行機は構造が極めて簡單で、從つて翼荷重僅かに三十瓩以下のもののみで、中にもアボット・ベインズ式の如きは操縱者の任意に折疊み得る補助機關によつて、帆走中上昇氣流の無い場合に飛行を繼續し得る如く、大衆の航空關心に最も強い魅力を與へてゐる。

從つてこれ等の超輕量飛行機熱の旺盛に伴つて、小型弱馬力發動機も盛んに製造されるに至り、五〇－七〇馬力級のものと、それ以下三十馬力以下の二種に分れ、前者は普通の航空用エンジンと大差ないが、低馬力のものは二衝程が多く殆ど空冷式で、僅かに英のカーデンと米のクライスラーが自動車發動機を改造した水冷式であるのが稍異色を見せてゐる。而してこの二衝程の小馬力發動機は益々進歩するものと見られてゐる。

主なものを示すと、次の如くになる。

名稱	オービエダユンヌ	同B	サルムソン四〇	ポアンサールB	スコット	スコーピオン	アエロンカE一一三	コンチネンタル四〇	ポテ3・B
氣筩數	二	三	九	二	二	二	二	四	三
衝程	二	二	四	二	四	四	四	四	四
型式	逆直列	逆W	星型	水平對向	逆V	水平對向	水平對向	二重水平對向	Y型
冷却	空氣	空氣	空氣	空氣	空氣	空氣	空氣	空氣	空氣
廻轉（正規	四、〇〇〇毎分	三、四〇〇	二、二〇〇	二、五〇〇	五、二〇〇	二、三〇〇	二、四〇〇	二、五〇〇	二、三〇〇
發生馬力	一七	二八	四五	二八	三四	三四	三八	三五	六〇
減速比	〇・四	〇・五	直結	〇・五	〇・五	直結	直結	直結	直結
プロペラ廻轉	一、六〇〇毎分	一、七〇〇	二、二〇〇	一、二五〇	—	—	—	—	—
氣筩口徑	七〇ミリ	七〇	七〇	九四	七三	一、〇一一	一〇八	八四	一〇五
氣筩行程	七〇	七〇	八六	九〇	七八	九一、四	一〇一	九五	一二五
氣筩容積	〇・五四立	〇・八一	二・九八	一・二五	〇・六五	一・二〇	一・八六	一・八八	三・二
燃料消費	毎時馬力三八五瓦	四〇〇	三〇〇	二四〇	二五四	二五〇	二五〇	三三〇	二五〇
滑油消費	毎時馬力二六瓦	二〇	一一	八	一三・六	七	一六	—	八
重量	七〇瓩	八〇	七四	三四	四〇	五七	五二	六二	七二

世界主要帆走飛行機

（昭和十年度）

國	型式	翼幅	翼比	自重	翼斷面型	沈下速度	滑空比
		米		瓩		米/秒	
日本	伊藤式A二型	一〇・〇	六・七	八〇	ゲツピンゲン	一・〇〇	一二・〇
	同 B二型	一三・六	八・〇	一三八	同	〇・九三	一三・五
	九帝式二型	一一・四	七・三	八七	五三二型	一・一〇	一〇・〇
	同 五型	一〇・〇	七・四	九〇	同	〇・九三	一〇・〇
	同 七型	一三・一	一三・〇	一一〇・四	五八〇型	〇・九〇	一九・〇
	朝日一號	一五・〇	一五・〇	一四〇	同	〇・六八	一八・七
	筑波一號	一二・〇	九・〇	二一〇	——	〇・九五	一三・〇
英吉利	アボット・ベイン	一四・〇	一四・〇	一三五	——	〇・六〇	一四・〇
	RFD	一四・六	一一・一	一八〇	RAF型	〇・六二	一三・〇
	スクード二型	一三・二	一六・〇	六七	ゲツピンゲン	〇・七七	一〇・〇
	カデット	一二・二五	一二・〇	一〇七	六五二型 右	〇・九三	一五・〇
亞							
	アロバトロス	一八・七	一七・〇	一五七	——	〇・七七	一三・〇

米利加								
	シヤニユート	一六・二	一六・〇	一七〇	ゲツピンゲン	六五〇型	〇・六二	一三・〇
	ボーラス	一六・五	一八・〇	一八〇	クラーク Y 型		〇・六〇	一三・〇
獨逸	アグフア	一四・〇	一四・〇	九八	ゲツピンゲン	五八〇型	〇・九九	一〇・〇
	ブラウエ	一五・〇	一三・〇	八八	同	五〇五型	—	一三・〇
	ダルムスタツト D一八型	一三・〇	一三・六	一五三	同	五三五型	〇・六四	一三・〇
	同 DB一〇型	一三・〇	一三・〇	八〇	同	五四九型	〇・五五	一三・〇
	ファフニール	一九・〇	一〇・〇	一〇〇	同	五三五及びクラーク型	〇・七六	一三・〇
	同 サウパウロ型	一九・〇	一〇・〇	一四〇	同	右	〇・六九	一八・〇
	ゲツピンゲン一型	一四・〇	一三・〇	一四五	同	五三五型	〇・七〇	一四・〇
	同 四型	一六・〇	一〇・〇	一五〇	同	——	〇・七一	一四・〇
	グル・ノウ七型（モアツアゴツトル）	一〇・〇	一〇・〇	一九〇	同	六一九型	〇・八〇	一三・〇
	グルノウ・ベビー	一三・八	一三・〇	九八	同	五三八型	〇・七三	一九・〇
	ヒユツター一七型	九・六	九・〇	六七	USAM六型		〇・八八	一七・〇
	マデブー無尾型	一四・〇	一〇・〇	二五	ゲツピンゲン	五三五型	〇・九五	—
	メーシユ	一〇・〇	六・〇	八〇	同	右	一・〇〇	一二・五
逸太利	ローン・アドラー	一七・四	一八・〇	一六〇	同	六一九型	〇・七三	一三・〇
	ローン・ブザード	一四・三	一四・〇	一三〇	同	五三五型	〇・八〇	一三・八
	ローン・シユベルペル	一五・三	一五・〇	一五〇	同	右	〇・七二	一三・〇
伊太利	イタリS一型	一七・〇	一六・〇	二一〇	——		〇・六四	一三・〇

國名	製作所	型式	氣筒數	内徑×行程	毎分回轉	ピストン速度	最大馬力 BHP	正味平均有效壓力	一馬力當リ重量	燃料消費	壓縮比
				糎		米/秒		瓲/平方糎	瓲	瓲/毎時馬力當リ瓦	
利	ボノミ	BS二型	一三・〇	一三・〇×一七・〇	一、二〇〇	一二・二	六五〇	六・〇	六・三四	一七五	一二・二
智利	トレユゴロニク		一〇・八	一一・〇	一、二〇〇	一二・二	六五〇	六・〇	六・三四	一七五	一二・二
	ベラカン		二〇・〇	一九・四	一、二〇〇	一二・二	六五〇	六・〇	六・三四	一七五	一二・二
波蘭	C		一八・〇	一三・五	一、二〇〇	一二・二	六五〇	六・〇	六・三四	一七五	一二・二
	W		一六・五	一八・〇	一、二〇〇	一二・二	六五〇	六・〇	六・三四	一七五	一二・二
	ネルスキー		一七・〇	一七・〇	一、二〇〇	一二・二	六五〇	六・〇	六・三四	一七五	一二・二
ソヴイエート	GNI	四型	一八・〇	二〇・〇	一、二〇〇	一二・二	六五〇	六・〇	六・三四	一七五	一二・二
	ガマイオン		一六・〇	一一・一	一、二〇〇	一二・二	六五〇	六・〇	六・三四	一七五	一二・二
	グリボフスキー	五型	一四・〇	一一・二	一、二〇〇	一二・二	六五〇	六・〇	六・三四	一七五	一二・二
	コクトベリ		一七・〇	一三・〇	一、二〇〇	一二・二	六五〇	六・〇	六・三四	一七五	一二・二
	スキーフ		一六・〇	一〇・〇	一、二〇〇	一二・二	六五〇	六・〇	六・三四	一七五	一二・二
佛蘭西	アヴイア	四一P型	一八・一	一九・四	一、二〇〇	一二・二	六五〇	六・〇	六・三四	一七五	一二・二
	シヤボー	二五型	一八・〇	一八・〇	一、二〇〇	一二・二	六五〇	六・〇	六・三四	一七五	一二・二
	セレックG	二型	一六・七	一五・五	一、二〇〇	一二・二	六五〇	六・〇	六・三四	一七五	一二・二
	ムルホース		一七・〇	一五・三	一、二〇〇	一二・二	六五〇	六・〇	六・三四	一七五	一二・二

二衝程式

| | | |

可變ピッチ・プロペラー類別便覽（昭和十年度）

昭和十年度に於ける最大の航空技術上の收穫は、可變ピッチ・プロペラーの普及化であつて、この考案は相當古い歷史を有し、幾多の試作が行はれたが、機構上、取扱上未だ一般の實用機に採用さるゝ域に至らなかつた。然るにこの年になつて米國の研究が大成して、俄かに可變ピッチ・プロペラーは商業機にも軍用機にも標準裝備品と化し、他の國でも獨自の型式又は製作權により、凡そ近代式飛行機には必ずこの種の螺旋機を裝置する樣になつた。

可變ピッチ螺旋機は飛行機の飛行狀態、卽ちその荷重に應じ、プロペラーの螺歩を變へて各飛行狀態に於て常に最大能率を發揮するのが目的であり、特に最近高速度の重荷重の大なる飛行機を狹い飛行場から離陸させ、發動機の最大效率を發生する所定高度へ迅速に上昇する必要上、この研究が非常に早く解決したのである。卽ち地上近く又は荷重大なる場合には螺歩を低くして高速廻轉をなし、高々度では高い螺歩で最大速度を得るような二段の變更をなすものと、今一つは常に發動機の恒速廻轉數による最大效率を得る恒速度螺歩式とがあるが、大部分は前者に屬してゐる。

可變ピッチ・プロペラーの方式は左の如くなつてゐる。

（一）操縱式のもの

（イ）操縱者の手働によるもの。
（ロ）電動機によるもの。
（ハ）水壓、空氣動力によるもの。
（ニ）發條又はゴムを利用するもの。

（二）自動式のもの

（イ）推力又はトルクを利用するもの。
（ロ）プロペラー葉の遠心力利用のもの。
（ハ）プロペラー葉の空氣モーメントの利用。
（ニ）プロペラーと共に廻轉する質量の遠心力によるもの。
（ホ）風壓によるもの。

今、可變ピッチ・プロペラーを固定ピッチのものと比較すると、ワスプS－D－型付ボーイング二四七型旅客機が、五九三〇呎の全備重量で飛行せしめた場合について左の如くなる。

	可變式	固定式
離陸距離	二〇六米	二八二米
同　時間	一五秒二	一九秒
離陸時の廻轉數	一九三〇回／分	一六五〇回／分
千五百米への上昇速度	五米／秒	四米一秒
十分間の上昇高度	二九〇〇米	二五三〇米
千五百米まで上昇中の廻轉數	二一五〇回／分	一八三五回／分
同　上　巡航速度	二七五粁	二六〇粁
巡航時の廻轉數	二〇〇〇回／分	二〇〇〇回／分
單發動機にての上昇限度	一二二〇米	六一〇米

以て可變プロペラーの優秀さを知る事が出來るではないか。今まで實際に利用され、相當成績を收めてゐる各種の可變ピッチ・プロペラーの主なるものを擧げると左の如くなつてゐる。

操縱式の部

手働式　スミス（米）

ポストの世界早廻り機に裝着され、操縱者が索を引いて芋蟲齒輪軸を廻轉せしめれば、これに嚙合つたプロペラー葉の根部の變更螺桿を滑動せしめる。

同　ノーム・ローン（佛）

米國のスミス式を改良したもので、クラッチ式環輪ギヤをプロペラー・ボスに嚙合せ、その廻轉を利用してスミス式と同じ原理で變更するもので、百十度の廣い變角範圍を有し、プロペラーが千六百廻轉の際、二秒半で一度だけ角度をかへ得る。

電動機式　カーチス（米）

プロペラー・ボス前端の小電動機の滑輪をへて電流を送り、アマチュアの廻轉を減速裝置とトルクスプリングを仲介し、傘ギアを傳へてピッチを變更するもので、プラス九十度よりマイナス十度まで角度を變更し得る。

同　ラチエー（佛）

曲軸室前方の二十分の一馬力電動機によつて固定圓盤が移動し、プロペラー根部のカラーに運動を傳へ、曲軸上を滑動させて連桿によりピッチを變更する。

水壓式　ヒルシヨウ・ピーチヤム（英）

最初に作られたもので非常に優秀な設計であり、螺旋機の定速廻轉と調節機との連絡により、油ポンプを媒介して油壓口より定速廻轉數を保つように作られ、操縱士の任意にハンドルをもつて調節機の平衡位置を變へれば自由なピッチを得られるものであつた。

但し構造が稍複雜で、發明當時、さして必要に迫られてゐなかつたので實用にならずに終つた。

同　ハミルトン・スタンダード（米）

現在可變ピッチの代表とされ、最も簡潔に且つ故障部分少く效率高く作られ、その發明者は一九三五年度の最高技術賞盃を得た。プロペラーボスの前端にある油壓活塞の外套の突起が、プロペラー葉根部の平衡錘の溝に嵌入してゐて、操縱士はプロペラー軸を通じて、この活塞に油壓を與ふれば突起の移動により、プロペラーの螺歩は最少角に變更され、且つ最大ピッチは上記の平衡錘の作用で遠心力を利用し、油壓さへ拔けば自然に得られることゝなつてゐる。

發條式　ルヴアスール（佛）

操縱士が索を引いて手働式に於ける如き操作を與ふれば、プロペラー葉はゴム紐とリンクによつてピッチを低め、滑動ピンの發條によつ

て固定されるので、僅か二三廷程度の輕量のものである。

自動式の部

ラチエー式（佛）（**風壓によるもの**）

ドイツ・ド・ラ・ムルト競技や英濠飛行に使用され、ボスの內部に豫めゴム球を膨脹させてプロペラーを低ピツチとして離陸し、一定速度となるとプロペラー・ボスの風壓盤は自動的に瓣を開いてゴム球の膨脹に打勝ち、スプリングの力によつてピストンが押出され、そのためプロペラー葉根の突起はピストンの後方溝を滑つてピツチを高める。

エクリプス式（米）（**推力によるもの**）

プロペラーのボスは、スプリングに推されて曲軸上を前方に滑り、プロペラー翼根は連桿で固定されてゐるので角度は低い。離陸後、飛行速度が增してくると、プロペラーの推力は減るからボスの金具はスプリングによつて後退され、葉の角度が大きくなり、常に良好な效率で働くことが出來る。但し構造上大型飛行機には不向きであらう。

ゼツペラー（獨）（**遠心力を利用するもの**）

プロペラーの前方に裝置した發條は、廻轉數の少い間、ボス金具の連桿でプロペラー葉を引きこみ、ピツチは低いが廻轉が增加して遠心力が强くなると、スプリングの捩れの强さに打勝つてピツチが高くなるのである。

其の他、多くの可變ピツチ式が考案されてゐるが、構造の堅固なこと、輕量なること、機械的故障の絕無なること、取外しの便利なること等が最も重要である。

世界航空機標識一覽表

（昭和十年度）

民間飛行機

國名	頭記號	登錄記號	
埃太利	A	數文字	
智利	CC		四字組合せ
スキス	CH		
加奈太	GF		三字組合せ
キユーバ	CL又はCM		
モロツコ	CN		
葡領殖民地	CR		
ポルトガル	CS		
ウルグアイ	CX		
モナコ	CZ		
ドイツ	D	數文字又は四字組合せ	
スペイン	EC		三字組合せ
愛蘭土自由國	EI		
エストニア	ES		
ザール地方	EZ		
佛國	F		四字組合せ
英國	G		
ウンゲリア	HA		三字組合せ
エクワトル	HC		
ヘイチ	HH		
コロンビア	HK		
シヤム	HL		
伊太利	I		四字組合せ
日本	J		
プルガリア	LZ		三字組合せ
ノールウエイ	LN		AEOを含む三字

米國	N	
秘露	OB	
フインランド	OH	
チエツコ	OK	
ベルギー	OO	
デンマーク	OY	
和蘭	PH	
キユーラソ島	PJ	
蘭領印度	PK	
ブラジル	PP	
スリナン	PZ	
ベルシヤ	RV	
パナマ	RX	
リトワニア	RY	
スベチア	SE	
波蘭土	SP	
エギート	SO	
ギリシヤ	SX	
トルコ	TC	
アイランド	TF	

數文字
三字組合せ
Wを含む三字

三字組合せ

（殖民地及び英領保護地）

リユクセンブルグ	VO	
濠太利	VH	
ニユフワウンドランド	OL	
バハマ島	C	B で始まる三字（以下同じ）
セイロン島	F	
フワルクランド島	G	
英領ギニア	H	
ホンヂユラス	J	
ジヤマイカ獨立州	K	
ケニア		
マルタ島	N	M で始まる四字（以下同じ）
ネサランド保護領	P	
太平洋諸島	R	
ローデシヤ	S	
ソマリランド	T	
トリニダツド・タバゴ	U	
ヴインセンゾ島	V	
ウガンダ地方		

VP
V

ガンビア地方	X	
ローデシヤ中央部	Y	
サンジバー保護領	Z	
バルバラ島	C	B で始まる三字（以下同じ）
シプロ島	F	
フイジイ島	G	
グランダ島	H	
セント・ヘレナ島	L	
セント・ルシア島	M	
サン・マリジオ島	P	
パレスタイン	S	
シシリイ島	T	
バームダ島	G	B で始まる三字（以下同じ）
ジブラルタル	H	
香港	N	
ニゲリア	S	
海峡地方	T	
タンガニーカ地方		

VQ
VR

印度	VT	
メキシコ	XA 又は XB	

世界航空機標識一覧表

支那	XT	
アフガニスタン	YA	
イラク	YI	
新ヘブライ	YJ	
リトニカ	YL	
ダンチヒ自由市	YM	
ルーマニア	YR	
サルバドル	YS	
ユーゴスラヴイア	YT 又は YU	
ヴネチユーラ	YV	
アルバニア	ZA	
新蘭土	ZK	
南阿聯邦	ZS	

三字組合せ

軍用飛行機

米國

機種別標識記號

戰鬪機 F 製造型式の數字（以下同じ）

爆撃機	B
観測機	O
巡邏機、哨戒艇	P
輸送機	R
雑用機	J
練習機	N
雷撃機	T
患者輸送機	H
爆撃戦闘機	BF
試作機	X

製造會社記號

ボーイング	B
カーチス	C
ダグラス	D
ベランカ	E
グランマン	F
グレートレーキ	G
ホール	H
バリナー・ジョイス	J
キーストン	K
ロエニング	L
マーチン	M
海軍航空工廠	N
ピツトカーン	P
フオード	R
シコルスキー	S
ノースロープ	T
ヴオート	V
コンソリデーテッド	Y

製造型式番號の數字（以下同じ）

（例）BF2C3　カーチス3型爆撃戦闘機三式飛行機
XP一Y2型　試作コンソリデーテッド2型哨戒一號飛行艇

佛國

機種	標識記號	坐席數
偵察機	A	
戦闘機	C	
爆撃機	B	
観測機	R	

（例）サルムソン2A2型　サルムソン2型偵察二人乗機
ブレリオ81CI型　ブレリオ式81型単坐戦闘機

世界定期航空路

（一）英吉利

總延距離　七三、四一九粁

（イ）英本國

航空線路	延距離	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
倫敦—巴里	八、三〇一粁							
倫敦—巴里		三七五	二時・二五分	旅・貨・郵	四・二五・〇	一瓩ニ付志片〇・六	日曜ヲ除キ毎日一往復	日曜三往復
倫敦—バーゼル		三七五			四・二五・〇	〇・六		
倫敦—チューリッヒ		七八〇			七・一〇・〇	一・六		
倫敦—ブラッセル		八六〇	六・一〇		八・二〇	一・八		
倫敦—ケルン		三〇〇	二・〇〇		四・〇・〇	〇・九		
ケルン—ライプチッヒ		五三五	三・四五		五・一〇・〇	一・一	インペリアル・エアウェイズ會社	其他五往復
倫敦—プラーグ			二・二五		五・一〇・〇	一・一		
倫敦—維納		一、五九五	四・四〇		九・〇・〇	一・九		
倫敦—ブダペスト			五・五五		一三・〇・〇	二・七		
			七・四五		一五・〇・〇	三・〇		
			九・〇〇		一七・〇・〇	三・四		

倫敦—ベルファスト・ツーケ	倫敦	バーミンガム	二五〇	一・〇五	三・一五・〇	毎週三往復
		マンチェスター				
		リヴァプール				
		ベルファスト		一・五〇		旅
		グラスゴー	七六〇		六・〇・〇	日曜ヲ除キ毎日一往復
		バーミンガム				
		ブリストル				
		サザンプトン				
		ポーツマス				
		ブライトン	四四〇		二・一二・六	日曜ヲ除キ毎日二往復
		デンバリー				
		カーヂフ				
		ブリマス				
		ノッチンガム	三六〇		三・一〇・〇	
		バーミンガム				
		マンチェスター				
		リヴァプール				
		ブラックプール	一九五		一・一五・〇	毎日三往復
		アイル・オブ・マン				

倫敦—リヴァプール	倫敦	デンバリー	三七〇		三・〇・〇	日曜ヲ除キ毎日二往復
		カーヂフ				レールウェイ・エア・サーヴィシズ會社
		ブリストル				
		サザンプトン				
		ポーツマス				
		ブライトン				
		サザンダウン	三五		〇・九・〇	毎日數往復
倫敦—ベルファスト	倫敦	リヴァプール				
		ベルファスト				
		グラスゴー	六九五		六・〇・〇	日曜ヲ除キ毎日二往復
倫敦—ターネ	倫敦	マンチェスター				ヒルマン會社
		リヴァプール				
		ベルファスト	四三五		四・〇・〇	毎日一往復
		ターネ	一〇〇		一・〇・〇	
倫敦—ブラックプール	倫敦	ブラックプール	四二〇		三・三・〇	毎日二往復
		アイル・オブ・マン				ユナイテッド會社
		ブラックプール				
		リヴァプール	一五〇		一・一〇・〇	毎日數往復

ブラックプール—モアカンブ							
アイル・オブ・マン—カーリスル	三〇	旅・貨				毎日	四往復
	一三〇			〇・一〇		土曜	二往復
				一・七・〇		其他	一往復
リーズ—マンチェスター							
ブラックプール—アイル・オブ・マン	三一〇			二・九・〇		毎日	數往復
マンチェスター—リヴァプール	一八〇			一・一五・〇			
リヴァプール—ブラックプール	五〇			〇・一〇・〇		毎日	六往復
ブラックプール—リーズ	一〇〇			一・四・〇			
アイル・オブ・マン—カーリスル	一三〇			一・七・〇		毎日	一往復
アイル・オブ・マン—ベルファスト	一〇〇			一・七・〇			
ウィーク							
アバーディーン—サルソ	一九七			三・〇・〇		毎日	一往復
カークウォール				一・一九・六			
アバーディーン—エジンバラ	一四五	旅・貨					
ウィーク							
アバーディーン—カークウォール	一九七	旅・貨		二・一〇	三	毎日	一往復
ウィーク							
インヴァネス—カークウォール	一八〇	旅・貨・郵				同	右

グラスゴー—アイル・オブ・マン—グラスゴー							
キャンベル・タウン	一七五						
アイラー							
アイル・オブ・マン—グラスゴー	一九〇	旅・貨		一・一〇・〇		日曜ヲ除キ毎日	二往復
				一・一七・六		毎日	二往復
倫敦—ドンカスター							
レスター—スケグネス	三〇〇			三・〇		毎日	一往復
ノッチンガム—スケグネス	一二五			一・〇			
レスター—リヴァプール	一〇〇			一・五		毎日	二往復
ノーザンプトン—レスター—ノッチンガム	一五〇						
	八〇	旅・貨		一・〇		毎日	三往復
ブリストル—ノーウィッチ	三〇〇						
レスター—ノーウィッチ	一六五			四・〇		日曜ヲ除キ毎日	二往復
イプスウィッチ—ノーウィッチ				二・〇			
サウスエンド—ラムスゲート	一八五			一・五		日曜ノミ	一往復
グリムスビー—ノッチンガム—レスター—サザンプトン—ポーツマス	三四〇			三・七・六		毎日	一往復

倫敦—サザンプトン	四五〇		旅・貨		四・一〇・〇	
倫敦—ボーンマス						
倫敦—トルケイ						
倫敦—プリマス						
倫敦—ニューケイ						
倫敦—ペンザンス						
ポーツマス—ボーンマス	五五		旅・貨	一一		コーバム會社
カージフ—ブリスドル	一三五		旅・貨	一・九		ノーマン・エトガー會社
カージフ—ボーンマス						
サウスエンド—ロチェスター	二三		旅・貨	八		サウスエンド會社
ランディ—パーンステープル	二五		旅・貨	九		アトランティック・コースト會社
クロイドン—ヘストン	二〇		旅・貨	六・六		コンマーシャル・エア・ハイヤー會社
倫敦—ベンブリッヂ	一四五		旅・貨	一・六・六		スパータン會社
倫敦—カウズ						
倫敦—サンダウン						

倫敦—ライド	一二〇		旅・貨	一・四・六		毎日數往復
倫敦—シャンクリン						
倫敦—ライド	四八			九・〇		
倫敦—サザンプトン						
ポーツマス—ライド	七〇			一一・〇		ポーツマス・サウスシー會社
ポーツマス—シャンクリン				四・六		
ポーツマス—ライド	一〇			六・六		
ポーツマス—シャンクリン	二〇					
ブライトン—ライド				一四・六		毎日數往復
ブライトン—ポーツマス	三〇					
倫敦—ジャージー	二六六		旅・貨	二・一三・六		ジャージー會社
サザンプトン—ジャージー	一九二			一・一五・〇		毎日二往復
ジャージー—ガーンジー	五〇		旅・貨	一三		ガーンジー會社
倫敦—ポーツマス						
倫敦—ボーンマス						
倫敦—ガーンジー	三〇〇			三・五		同右
巴里		第一日		四・一五	〇・六	

倫敦

| | | |

倫敦	リュクソール									
	ワデ・ハルファ									
	カルツーム									
	コトシ									
	マラカル									
	ジュバ									
	エンテベ	第五日	七〇・〇	七〇・〇	七〇・六	一〇九・〇	一〇・六	一〇九・〇	一〇・六	一三〇・〇
	キスム	第六日	七〇・〇	七〇・〇	七〇・六	一〇九・〇	一〇・六	一〇九・〇	一〇・六	一三〇・〇
	ナイロビ	第七日	七〇・〇	七〇・〇	七〇・六	一〇九・〇	一〇・六	一〇九・〇	一〇・六	一三〇・〇
	モッシ	第八日	七〇・〇	七〇・〇	七〇・六	一〇九・〇	一〇・六	一〇九・〇	一〇・六	一三〇・〇
	ドドマ	第九日	七〇・〇	七〇・〇	七〇・六	一〇九・〇	一〇・六	一〇九・〇	一〇・六	一三〇・〇
	ベア	第十日	七〇・〇	七〇・〇	七〇・六	一〇九・〇	一〇・六	一〇九・〇	一〇・六	一三〇・〇
	ムベ									
	ピカ									
	ブロークンヒル									
	ソールスベリー									
	ブラワヨ									
	ピータースバーグ									
	ヨハネスバーグ									
	キンバレイ									
	ヴィクトリアウェスト									
			旅・貨・郵	インペリアル・エアウェイズ會社						
				毎週二往復						

ケープ・タウン										
ブラワヨ	二三、三七四		二・一〇							
ソールスベリー—ピータースバーグ—ヨハネスバーグ	一、一五三		五・一〇	旅・貨・郵						
（ロ）濠洲 延距離	九、一四〇		八・二五							
ウインダム										
オードリヴァー										
ダービー										
ブルーム										
ポートヘッドランド—ダリーウォーターズ										
ローボーン										
オンスロー										
カーナヴォン										
ゲラルドトン										
パース	三、六三三									
ウインダム—オードリヴァー	二三六			旅・貨・郵						
コーゴーリー										
フォレスト										
パース—セデュナ										
アデレイド	二、三三五			旅・貨・郵						
			一三〇・〇							
			六・〇							
			一三・〇							
			一五・〇							
			一三・〇							
			〇・八							
			一・三							
			一・六							
				マツクロバートソン・ミラー會社						
				同						
				毎週一往復						
				右						
				ウエスト・オーストラリアン會社						
				同						
				右						

キング島						
ロンセストン						
ホバート						
メルボルン						
ロンセストン						
フリンダース島						
メルボルン	七八四	旅・貨・郵				
ブリスベーン	八〇五	旅・貨・郵				
シドニー						
ブルック	一、〇一三	旅・貨・郵				
チャールヴィル						
クータマンドラ						
クロンカリー	三五五	旅・貨・郵				
ノーマントン						
(ハ)加奈陀	七、一四八	旅・貨・郵				
プリンスアルバート	一三〇					
ラックラルージュ						
ゴールド・プリンス						
シウルックアウト						
ナロー・レイク						
カスミット・レイク	三三三	旅・貨・郵				
シウルックアウト						
レッド・レイク	九〇	旅・貨・郵				
ベンビナ	五三	旅・貨・郵				
ウヰニペッグ						

延距離

タスマニア會社	毎週三往復	ニューイングランド・エアウェイズ會社	日曜ヲ除キ毎日一往復	CAバトラー	毎週一往復	クワンタス・エンパイア會社	同	右
			毎週一往復					
			毎週二往復					
			日曜ヲ除キ毎日一往復					

ホワイト・フィッシュベイ						
レッド・レイク	一九八	旅・貨・郵				
マッケンジー・アイランド						
ケベック						
モントリオール						
セブン・アイランヅ	九二七	旅・貨・郵				
アンチコスチ						
チャイプーヤン						
レゾリューション						
プロジィデンス						
フォートマクマレー						
ノーマン						
グット・ホープ						
アクラヴィク	二、三三四	旅・貨・郵				
チャイプーヤン	二四〇					
フォン・デ・ラック						
ゴッズ・レイク						
ウヰニペッグ						
ソルウェイ・ハウス						
クロス・レイク	八八八	旅・貨・郵				
イル・アラクロス						
プリンス・アルバート	二一〇					
テレグラフ・クリーク						
アトリン	二四三	旅・貨・郵				
ライ						
レゾリューション						
コッパー・マイン	四一〇	旅・貨・郵				
コリンスーピクル・クロウ	一四四	旅・貨・郵				

ヴィクトリア―ヴァンクーヴァー		九八			
デトロイト―ウインザア					
ロンドン		二五〇			
バッファロー					
モンクトン―サンマーサイド					
チャーロット・タウン					
マグダレン島		一九〇			
モントリオール―リムスキー		五二八			
(ニ)南阿聯邦	延距離				
ケープタウン―ポート・エリザベス		二、八五三			
イースト・ロンドン					
ダーバン		一、一八〇			
ダーバン―ヨハネスバーグ		四八二			
キートマンショープ		四六〇			
ウインドホーク―ウビントン		八一〇			
キンバレイ		一、一九〇			
シスコ―ブーラマーク		八三			
アモス					
ダーバン―ロウレンスマーケス		四八			
ヨハネスバーグ―ブラワヨ		四〇〇			
ケープタウン―ブラワヨ		一、〇〇〇			
ケープタウン―ヨハネスバーグ		九六六			
ケープタウン―ダーバン		一、〇〇〇			
ケープタウン―ポート・エリザベス		四〇〇			
ケープタウン―ウビントン		四〇〇			
ケープタウン―ロンドン		六〇〇			
ケープタウン―ウインドホーク		一、〇〇〇			
ケープタウン―ブーラマーク		一、〇〇〇			
ケープタウン―ジョハネスバーグ―ブラワヨ		一、四〇〇			
ケープタウン―ダーバン―ロウレンスマーケス		一、〇〇〇			
ケープタウン―ダーバン―ヨハネスバーグ		一、〇〇〇			
ケープタウン―ポート・エリザベス―イースト・ロンドン		四〇〇			
ケープタウン―ポート・エリザベス―ウビントン		四〇〇			
ケープタウン―ポート・エリザベス―ロンドン		六〇〇			
ケープタウン―ポート・エリザベス―ウインドホーク		一、〇〇〇			
ケープタウン―ポート・エリザベス―ブーラマーク		一、〇〇〇			
ケープタウン―ポート・エリザベス―ジョハネスバーグ―ブラワヨ		一、四〇〇			
ケープタウン―ポート・エリザベス―ダーバン―ロウレンスマーケス		一、〇〇〇			
ケープタウン―ポート・エリザベス―ダーバン―ヨハネスバーグ		一、〇〇〇			

郵	旅・貨・郵	カナディアン・エアウェイズ會社	毎日	一往復	
毎週	一往復				
		ジェネラル會社	毎週	三往復	
	旅・貨・郵	サウス・アフリカン會社	毎日曜ヲ除キ	一往復	
			毎週	一往復	

(ホ)埃及	延距離				
ポートサイド―ガザ		一、三四			
カイロ―ズェリコ					
ハイファ		七〇〇	埃及磅七		
カイロ―アレキサンドリア		一四四			
アレキサンドリア―マルサ・マトル		三三〇	ピアストル一五〇		
カイロ―ポート・サイド		一六〇	二八〇		
			五・〇〇	旅・貨・郵	
			一・一五		
			二・四〇		
(ヘ)印度	延距離				
アーメダバッド―ボンベイ		四、六五四			
カラチ―ハイドラバッド		二、二一〇	ルーピー八〇		
マドラス			一五〇	旅・貨・郵	
			二三〇		
			三〇〇		
チタゴング―アキャブ					
カルカッター―バシン					
ラングーン		一、一三	一封度ニ付ルーピー一六		
		一〇・一五		旅・貨・郵	
カルカッター―ダッカ		二四一			
カラチ―ラホール		一、〇七一			
			〇・一一・〇		
			一・四・五		
			二・〇・三		
			二・八・一二		
		ミスル航空會社	毎週	三往復	
		タタ・サンズ會社	毎日	二往復	
			毎週	一往復	
			毎週	三往復	
		インディアン・ナショナル會社	毎日	一往復	
			毎週	一往復	
			同	右	

(二) 獨逸

總延距離 五〇、〇〇六粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
伯林—アムステルダム	九八九粁	三・三五時分		一四〇馬	一瓩ニ付馬 一・四〇		毎日一往復
伯林—倫敦							
伯林—ハンノーヴァー							
伯林—ミュンスター							
伯林—ドルトムンド							
伯林—エッセン							
伯林—アムステルダム	六六九	五・三〇		七〇	〇・七〇		
伯林—ダンチッヒ							
伯林—ケーニヒスベルヒ	五四八	三・二〇	旅・貨・郵	七〇	〇・五五		日曜ヲ除キ毎日一往復
伯林—ライプチッヒ							
伯林—ニュルンベルヒ						獨逸ルフト・ハンザ會社	
伯林—ミュンヘン	五二七	三・〇〇		七〇	〇・六〇		
伯林—ライプチッヒ							
伯林—エールフルト							
伯林—フランクフルト							
伯林—ザール・ブリュッケン	五九四	三・二五		七〇	〇・七〇		
伯林—漢堡							
伯林—ブレーメン	三四九	一・五五		三〇	〇・三〇		
シュテッチーン—伯林							
シュテッチーン—ブレスラウ							
シュテッチーン—グライウィッツ	五六七	二・五〇		五四	〇・五四		
伯林—ライプチッヒ							
伯林—フランクフルト	四三二	三・一五		五五	〇・五五		
伯林—ブレスラウ							
伯林—グライウィッツ	四三九	二・〇五		三九	〇・三九		
伯林—フランクフルト							
伯林—マンハイム			旅・貨・郵			獨逸ルフト・ハンザ會社	同右
伯林—カールスルーエ	五七四	二・三〇		七一	〇・七一		
伯林—ケルン	四八三	一・四〇		六〇	〇・六〇		
伯林—ニュルンベルヒ							
伯林—ミュンヘン	五二七	二・三〇		七〇	〇・七〇		
ブレスラウ—ドレスデン							
ブレスラウ—ケムニッツ							
ブレスラウ—ニュルンベルヒ							
ブレスラウ—シュツットガルト	六六五	三・三〇		七一	〇・四五		

世界定期航空路						
漢堡—ケルン	エッセン	三八三	一・四〇			
伯林—ケムニッツ	ドレスデン	二二三	一・三五			
ケルン—ミュンヘン	フランクフルト・ニュルンベルヒ	五〇七	三・〇五			
フランクフルト—ミュンヘン	シュツットガルト・フライブルヒ	二七七	二・四〇			
ミュンヘン—ザール・ブリュッケン	シュツットガルト・マンハイム	三九九	三・〇〇			
エッセン—カールスルーエ	デュッセルドルフ・フランクフルト・マンハイム	三三九	三・〇〇			
ケルン—ボルクム	デュッセルドルフ・エッセン・ノルデルナイ	三四六	二・一五			
			旅・貨・郵			

漢堡	キール	一五〇	一・二〇		一三	〇・一三
	フレンスブルヒ					
漢堡	ウェスターランド	二一五	一・三〇		二九	〇・二九
	ウィック					
漢堡	ワンゲローゲ					
	ランゲオーグ					
	ノルデルナイ					
	ボルクム	二二九	三・二〇		四〇	〇・四〇
漢堡	アムステルダム					
	倫敦	七九六	二・五〇	旅・貨・郵	一二〇	一・二〇
伯林	シュテッチーン					
	シュウィーネミュンデ					
	ゼリトン					
	シュトラールズンド					
	ヒッデンゼー	三二五	三・三〇		四六	〇・四六
シュトラールズンド	ヒッデンゼー	三五	〇・一五		一〇	〇・一〇
ブレスラウ	ドレスデン					
	ライプチッヒ					
	ケルン	七一五	四・四〇		七八	〇・七八

獨逸ルフト・ハンザ會社　同　右

伯林	ハンノーヴァー					
	ケルン					
	倫敦	一、一二三	五・〇〇	貨・郵		
ケルン	フランクフルト					
	ミュンヘン					
	ニュルンベルヒ	六〇五	四・二五			
伯林	ライプチッヒ	一四五	〇・五五	貨・郵		
シュツットガルト	フランクフルト					
	ハンノーヴァー	四二七	三・〇五			
伯林	ケルン	四八三	二・〇〇	貨		
伯林	シュツットガルト					
	セヴィラ					
	バサースト					
	ナタール					
	ペルナンブコ					
	リオ・デ・ジャネイロ					
	モンテヴィデオ					
	ブエノス・アイレス	一四、〇〇〇	三日半	貨・郵		

獨逸ルフト・ハンザ會社　日曜ヲ除キ　毎日一往復

獨逸ルフト・ハンザ會社　伯國コンドール會社　毎週一往復

伯林	コペンハーゲン	四九九	二・一〇	旅・貨・郵	六二	〇・六二	獨逸ルフト・ハンザ會社 丁抹航空會社 瑞典A・B會社	毎日一往復
伯林	コペンハーゲン	四九九	二・一五	旅・貨・郵	六二	〇・六二	獨逸ルフト・ハンザ會社 丁抹航空會社	日曜ヲ除キ 毎日一往復
漢堡	コペンハーゲン	三一五	一・四五		五七	〇・五七		毎日二往復
コペンハーゲン	ゴーテンブルヒ	四八二	二・四〇		クーロン 一一〇	クーロン 一・一〇		
伯林	ケルン	八八八	四・二〇	旅・貨・郵	一一〇	一・一〇	獨逸ルフト・ハンザ會社 エール・フランス會社	毎日一往復
ケルン	ブラッセル	四〇九	二・四五	貨郵			獨逸ルフト・ハンザ會社 エール・フランス會社 白耳義サベナ會社	日曜ヲ除キ 毎夜一往復
伯林	ミュンヘン	一、三五八	六・五五	旅・貨・郵	一三〇	一・三〇	獨逸ルフト・ハンザ會社 伊國アラ・リトリア會社	毎日一往復
伯林	ライプチッヒ							
	シュツットガルト							

	チューリッヒ	七〇〇	三・四〇	旅・貨・郵	九五	〇・九五	獨逸ルフト・ハンザ會社 瑞西エール會社	同右
アムステルダム	ケルン							
	フランクフルト							
	バーゼル							
	チューリッヒ	七三一	四・一〇		フロリン 五六	一瓩ニ付フロリン 〇・五五		
伯林	ボーゼン	五二〇	三・〇五	旅・貨・郵	馬 一〇五	馬 一・〇五	獨逸ルフト・ハンザ會社 波蘭ロット會社	同右
伯林	維納							
	ブダペスド							
	ベルグラード							
	ソフィア							
	サロニカ	一、七二三	一一・一五		二三五	二・二五		
伯林	ドレスデン			旅・貨・郵			獨逸ルフト・ハンザ會社 墺太利航空會社	日曜ヲ除キ 毎日一往復
	プラーグ							
	維納	五三五	三・五〇		八二	〇・八二		
チューリッヒ	ミュンヘン							
	ザルッブルヒ							
	維納	六二八	三・二五		一一七	一・一七		

伯林—エッセン							
伯林—デュッセルドルフ							
伯林—ブラッセル	六六〇	三・三五	旅・貨・郵	八三	〇・八三	獨逸ルフト・ハンザ會社 白耳義サベナ會社	日曜ヲ除キ 毎日一往復
伯林—シュツットガルト							
伯林—ジュネーヴ							
伯林—マルセイユ							
伯林—バルセロナ							
伯林—マドリッド	二、二六〇	一〇・一〇	旅・貨・郵	二三七	二・三七	獨逸ルフト・ハンザ會社 西班牙ラペー會社	毎日一往復
アムステルダム—フランクフルト							
アムステルダム—ミラノ	八九八	三・五五	旅・貨・郵	七一	〇・七一	獨逸ルフト・ハンザ會社 和蘭K・L・M・會社	日曜ヲ除キ 毎日一往復
伯林—ダンチッヒ							
伯林—ケーニヒスベルヒ							
伯林—カウノー							
伯林—ウェルキエ・ルキ							
伯林—莫斯科	一、六九三	一二・〇五	旅・貨・郵	一六〇	〇・七一	デルルフト會社	毎日一往復
ケーニヒスベルヒ—カウノー							
ケーニヒスベルヒ—リガ							
ケーニヒスベルヒ—レヴァール							
ケーニヒスベルヒ—レニングラード	一、一二七	八・二五		九〇	〇・九〇		
伯林—ダンチッヒ							
伯林—ケーニヒスベルヒ	五八二	三・二五					
伯林—ブレスラウ	二九三	一・二五					
伯林—ミュンスター	四〇一	二・一五	貨・郵			獨逸ライヒス・バーン鐵道會社	毎夜一往復
伯林—ミュンヘン	五〇九	二・三〇					
伯林—シュツットガルト	五二七	二・二五					毎日一往復

(三)佛蘭西

總延距離 四九、〇六九粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
巴里—倫敦	三七五粁	一・三〇時分		四〇五法	二・五〇一瓩ニ付法		日曜一往復 其他三往復
巴里—里昂	四四五	一・四五		三五〇	三・五〇		
巴里—マルセイユ	七三〇	三・一〇		七〇〇	七・〇〇		毎日一往復
巴里—里昂	四四五			三五〇	三・五〇		
巴里—ジュネーヴ	五八八	二・四五		四〇〇	四・〇〇		毎日二往復
マルセイユ—アジャクシオ	三七〇	二・二五		三五〇	三・五〇		
マルセイユ—チュニス	一、〇〇〇	七・一〇		八〇〇	八・〇〇		

里昂	巴里—マルセイユ	四四五	一・四五	三・五〇	月曜ヲ除キ毎日一往復	旅・貨・郵		
		七二〇	三・一〇	七・〇〇				
		八八〇	四・三五	八・〇〇				
	マルセイユ—アルクディア							
	アルジュ	八〇三	二・〇〇	五・〇〇	毎週二往復			
	マルセイユ—バルセロナ	四九五	四・五〇	八・〇〇				
			一・三〇	三・三〇				
	バルセロナ	三八〇						
	アリカント	八六〇						
	ツールーズ—タンジェール	一、五二〇						
	ラバ	一、七五五						
	カザブランカ	一、八四五	八・一五	二・五〇	日曜ヲ除キ毎日一往復			
	ツールーズ	六〇〇						
	バルセロナ	九七〇	第一日					
	カザブランカ	二、四四五						
	ダカール	五、一九五	第二日					
巴里—ナタル		八、六二八						
	リオ・デ・ジャネイロ	一〇、九一八	第三日					
	モンテヴィデオ	一二、九六八						
	ブエノス・アイレス	一三、二七八	第四日					
	サンチャゴ	一四、四七八						

貨・郵（貨物はダカールまで）

アルジェ		八〇三						
	エル・ガオ	一、五〇三						
	アウレフ	一、九八三						
	ガオ	三、二四三						
	ニアメイ	三、六四三						
	ジンデル	四、四五三						
	マルセイユ—フォール・ラミー	五、一三三						
	フォール・アル・シャンボール	五、六三三						
	バンギー	六、一八三						
	コキルハトヴィル	六、七三三						
	ブラッザヴィル	七、二三三						
	レオポルドヴィル	七、五七三	所要日数六日					
ナポリ			第一日					
コルフー								
雅典			第二日					
カステルロッツォ								
ベイルート			第三日					
バグダッド								
ブシール			第四日					
ジャスク								

貨・郵

		八二五	四・五〇			エール・フランス會社		
		一、五〇〇	七・五〇					
		一、八六五	九・五〇					
		二、三二五	一二・〇〇					
		三、〇〇〇	一五・〇〇					
		四、一二五	二一・〇〇					
		四、八七五	二五・〇〇					
		五、五六〇	二八・〇〇					
					毎月二往復			

| | | |

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
巴里—ナンシー							
巴里—ストラスブール	三九二	一・四〇				エール・ブルー會社	每日一往復
巴里—ツール							
巴里—ポアチェ			郵				
巴里—アングーレム							
巴里—ボルドー	五〇八	二・〇〇					

(四)伊太利

總延距離 一五、五六一粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
羅馬—ナポリ							
羅馬—シラキューザ							
羅馬—マルタ							
羅馬—トリポリ	二、二七五粁	九・二五時分					
羅馬—ジェノア			旅・貨・郵				
羅馬—マルセイユ							
羅馬—バルセロナ	一、二九九	六・四五					
ブリンディジ—雅典	五九〇	六・〇〇					
ブリンディジ—スタンブール	一、三三七	九・一〇					
ロードス—雅典	四三〇						
ロードス—ブリンディジ	一、〇二〇	五・四五					
ザラ—デラッソ							
ザラ—ブリンディジ	六〇〇	六・〇〇					
トリエスト—ヴェニス	一一三	一・〇〇					
羅馬—アンコーナ	二〇五	一・三〇					
トリエスト—ブリオニ							
トリエスト—リュシノ							
トリエスト—アンコーナ	二八五	四・三五					
フィウメ—トリエスト							
フィウメ—ヴェニス	二二五	二・一〇	旅・貨・郵				
羅馬—バリー							
羅馬—ブリンディジ							
羅馬—チラナ							
羅馬—サロニカ	九四五	六・二〇					
羅馬—ナポリ	一八五						
羅馬—カイアリ	六六五						
羅馬—パレルモ	一、〇五五						
羅馬—トラパニ	一、一三四						
羅馬—チュニス	一、三八九	七・一〇					

航空線路	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
ロードス—雅典	二八〇	二・八〇		
ロードス—ブリンディジ	六〇〇	六・〇〇		每週一往復
ザラ—デラッソ	一七五	一・七五		
ザラ—ブリンディジ	二九〇	一・五〇		每週二往復
トリエスト—ヴェニス	七五	〇・七五		
羅馬—アンコーナ	八〇	〇・八〇		
トリエスト—ブリオニ	五〇	〇・五〇		
トリエスト—リュシノ	六五	〇・六五		日曜ヲ除キ每日一往復
トリエスト—アンコーナ	一七五	一・七五		
フィウメ—トリエスト			アラ・リトリア會社	
フィウメ—ヴェニス	一〇〇	一・〇〇		
羅馬—バリー	二五〇	二・五〇		
羅馬—ブリンディジ	三〇〇	三・〇〇		
羅馬—チラナ	五〇〇	五・〇〇		
羅馬—サロニカ	五五〇	五・五〇		
羅馬—ナポリ	一二〇	一・二〇		每週三往復
羅馬—カイアリ	二四〇	二・四〇		
羅馬—パレルモ	三二〇	三・二〇		
羅馬—トラパニ	三七〇	三・七〇		
羅馬—チュニス	四四〇	四・四〇		

羅馬—カイアリ	五一〇	二・三〇		二四〇	二・四〇			日曜ヲ除キ 毎日一往復
羅馬—チュニス	八〇〇	三・一五		四四〇	四・四〇			
ブダペスト—維納	四九〇	一・〇五						毎週三往復
ブダペスト—ヴェニス	七二〇	四・二五	旅・貨・郵	三六五	三・六五	アラ・リトリア會社		
スクタリー—チラナ	九五	〇・四五		アルバニア法 二二	アルバニア法 〇・二二			
チラナ—ヴァロナ	一〇〇	〇・五〇		三二	〇・三二			同右
チラナ—ロリッツア	一二五	一・〇〇		三五	三・三五			
チラナ—クカス	一三〇	一・〇〇		五〇	〇・五〇			毎週二往復
伯林—ミュンヘン				七〇 馬	〇・七〇 馬	アラ・リトリア會社		
伯林—ヴェニス			旅・貨・郵	一〇〇	一・〇〇	獨逸ルフト・ハンザ會社		毎日一往復
伯林—羅馬	一、三五八	六・五五		一三〇	一・三〇			
羅馬—ミラノ	四七七	二・五〇		二五〇 リラ	二・五〇 リラ	アヴィオ・リーネ會社		日曜ヲ除キ 毎日二往復
ミラノ—トリノ	一二六	〇・五〇	旅・貨・郵	六〇	〇・六〇			
ヴェニス—ミラノ	二五〇	一・三五		一二五	一・二五			日曜ヲ除キ 毎日一往復
ミラノ—チューリッヒ	二四五	一・四五		一三〇	一・三〇			
ベンガジ—シルテ				二五〇	二・三五	北阿弗利加航空會社		毎週二往復
ベンガジ—トリポリ	九三二	七・四五	旅・貨・郵	四六六	六・六〇			

(五)白耳義

總延距離 一四、四三〇粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
倫敦—ブラッセル	三一九粁	一・二五時分		四・〇・〇磅志片	〇・九一瓩ニ付志片		日曜一往復 其ノ他二往復
倫敦—ケルン	五五九	二・一五		五・一〇・〇	一・一		
アンヴェルス—ブラッセル	四三	〇・二〇		六〇 白法	一・〇〇 白法		
アンヴェルス—ブラッセル	四三	〇・二〇		六〇	一・〇〇		
アンヴェルス—倫敦	三六二	二・三五	旅・貨・郵	五五〇	五・五〇		日曜ヲ除キ 毎日一往復
アンヴェルス—ブラッセル				六〇	一・〇〇		
アンヴェルス—デュッセルドルフ				二一五	二・一五		
アンヴェルス—エッセン				二七五	二・七五	サベナ會社	
アンヴェルス—伯林	八〇七	三・三〇		八三五	八・三五		
ブラッセル—マルセイユ	八四〇						
ブラッセル—オラン	一、八四〇						
ブラッセル—コロンボ・ベシャール	二、三九〇						
ブラッセル—レガン	二、九七〇						
ブラッセル—ガオ	四、二〇〇						
ブラッセル—ニアメイ	四、六〇〇						
ブラッセル—ジンデル	五、三九〇		貨・郵				毎月二往復

	フォール・ラミー	六、〇九〇					
	フォール・アル・シァンボール	六、五九〇					
	バンギー	七、一四〇					
	コキルハト ヴィル	七、六九〇					
	レポルド ポィル	八、三三〇	所要日數 六日				
レオポルド・ヴィル	バンダンデュ	三〇〇			旅・郵		
	ポルトフランキ	七〇〇					
ボマ	レオポルド ヴィル						
	バンダンデュ	五六〇					
	コキルハト ヴィル	九三〇					
	シザラ	一、三八〇			郵		
	バソコ	一、六四五					
	スタンレー ヴィル	一、九六〇					
ケルン	ブラッセル						
	巴里	四四九	二・四五	貨・郵			
巴里	ブラッセル						
	ハンブルヒ						
	コペンハーゲン						
	マルメ	九〇〇	五・一〇	旅・貨・郵			
					瑞クーロン 二二五	瑞クーロン 一	
							一、四八五 白法
							三、四六五
							一、七三五
							四、〇〇〇
							サベナ會社
							毎週一往復
							サベナ會社 獨逸ルフト・ハンザ會社
							日曜ヲ除キ 毎夜一往復
							サベナ會社 エール・フランス會社
							日曜ヲ除キ 毎日一往復

ノック・ズート	フリッシンゲン						
	ハームステーデ						
	ロッテルダム						
	アムステルダム	一三〇	・〇五				
ノック・ズート	ロッテルダム	九〇	〇・二六	旅・貨・郵			
ノック・ズート	フリッシンゲン						
	ハームステーデ						
	ロッテルダム	一〇〇	〇・五〇				
					白法 八五	白法 〇・八五	
					一五〇	一・五〇	
					フロリン 一三	フロリン 〇・一五	
					一六	〇・一五	
					一三	〇・一五	
					一三	〇・一五	
							サベナ會社 和蘭K・L・M・會社
							毎日二往復
							毎日一往復

(六)和蘭

總延距離 二四、六〇七粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
アムステルダム	ハル	一時〇五分		磅志 五・〇			日曜ヲ除キ 毎日一往復
	リヴァプール	五六〇粁	三・一〇	六・一〇			
ブラッセル	ノック・ズート						
	オステンド	一五〇	一・一〇	旅・貨・郵	白法 一二五	白法 一・二五	K・L・M・會社
巴里	アムステルダム	四六〇	二・四〇		佛法 三三〇	佛法 三・三〇	
倫敦	アムステルダム	三一〇	二・〇〇		磅 五	片 一〇	
	ブラッセル		一・三〇		佛法 一六五	一瓩ニ付 佛法 一・六五	毎日二往復

| | | |

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	旅客賃金	物貨賃金	經營者	飛行回數
アムステルダム—ロッテルダム	一三〇	一・〇五		一六	〇・一五	K・L・M・會社 白耳義サベナ會社	毎日一往復
ノック・ズート—ロッテルダム	九〇	〇・二六		一三	〇・一五		
フリッシンゲン ノック・ズート— ハームステーデ ロッテルダム	一〇〇	〇・四〇		一三	〇・一五		
漢堡 アムステルダム— コペンハーゲン マルメ	七一七	三・二五	旅・貨・郵	七七 フロリン三三	〇・五〇 フロリン〇・二〇	K・L・M・會社	同 右
アムステルダム— コペンハーゲン マルメ	六五五	三・一五		八一	〇・五〇	瑞典A・B・會社	
				七七	〇・五〇		
				八一	〇・五〇		
バタヴィア—パンドン	一一〇	〇・四五		九	〇・一〇		毎日三往復
バタヴィア— スマラン スラバヤ	六七〇	四・五〇		二四	〇・二五		毎日一往復
バタヴィア— バレンバン 新嘉坡	一、一六二	五・五五	旅・貨・郵	一一〇	一・一〇	蘭領東印度航空會社	毎週一往復
バタヴィア— バレンバン バカンバロエ メダン	一、七三二	八・三五		二〇〇	二・一〇		

(七)瑞西

總延距離　四、八八五粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	旅客賃金	物貨賃金	經營者	飛行回數
倫敦—バーゼル チューリッヒ	八六〇粁	時分 三・四五		瑞法一一〇	一瓩ニ付瑞法一・一〇	日曜ヲ除キ 毎日一往復	
ジュネーヴ—ベルン チューリッヒ	二三五	〇・四五		一二五	一・二五		
チューリッヒ—バーゼル	八五	一・四五		一三五	一・三五		
		〇・三五	旅・貨・郵	一二五	〇・二五	瑞西エール會社	
チューリッヒ—バーゼル 巴里	四八五	二・二〇		二三五	〇・三五		
維納—ミュンヘン チューリッヒ	六〇〇	三・〇〇		一一七	一・一〇		
ベルン ローザンヌ— パーゼル	八〇			瑞法二〇	一瓩ニ付瑞法〇・二〇		
	一四〇	二・〇〇		二〇	〇・二〇		
ショー・ド・フォン バーゼル— ローザンヌ ジュネーヴ ベルン	三八八	二・二〇	旅・貨・郵	三五	〇・三五	アルパー會社	同 右
				三〇	〇・三〇		
				二〇	〇・二〇		
				二〇	〇・二〇		

バーゼル—ローザンヌ	三〇九	一・四〇		三〇	〇・三〇		
ローザンヌ—ジュネーヴ	六〇	〇・二五		三五	〇・三五		
ベルン—バーゼル	六〇	〇・三五		一五	〇・一五		
サン・ガレン—チューリッヒ	六六			二〇	〇・二〇		
サン・ガレン—ベルン	一七六	一・四五	旅・貨・郵	一五	〇・一五	サン・ガレン會社	同右
サン・ガレン—チューリッヒ	六六	〇・二五		三〇	〇・三〇		
伯林—ライプチッヒ				一五	〇・一五		
伯林—シュツットガルト							
伯林—チューリッヒ	七〇〇	三・四〇		九五馬	〇・九五馬	瑞西エール會社 獨逸ルフト・ハンザ會社	毎日一往復
アムステルダム—ケルン			旅・貨・郵				
アムステルダム—フランクフルト・アム・マイン							
アムステルダム—マンハイム							
アムステルダム—バーゼル							
アムステルダム—チューリッヒ	七三一	四・一〇		フロリン五六	フロリン〇・五五		

(八)ユーゴースラヴィア

總延距離 一、二三一粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
ザグレブ—ソーセク		時分 〇・五五		デイナー一〇〇	一瓩ニ付 デイナー二・〇〇		日曜ヲ除キ毎日一往復
ザグレブ—ルジブルジャナ	一九〇粁	一・四〇		四〇〇	四・〇〇		
ベルグラード—スコプリー	三三〇	二・三五	旅・貨・郵	三〇〇	三・〇〇	ユーゴースラヴィア會社	日曜一往復
スコプリー—サロニカ	二一〇	三・〇〇		二五〇	二・五〇		毎週三往復
ベルグラード—サラエボ	一八六	一・一五		二五〇	二・五〇		
維納—グラーズ				墺志四〇	墺志〇・四〇	ユーゴースラヴィア會社	毎週三往復
維納—ザグレブ			旅・貨・郵	七五	〇・七五	墺太利航空會社	
維納—ベルグラード	三一五	四・四〇		一三〇	一・三〇		

(九)墺太利

總延距離 四、〇一六粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
維納—クラーゲンフルト	二四〇粁	時分 一・四五		墺志六〇	一瓩ニ付 墺志〇・六〇		毎週三往復
インスブルク—ザルツブルヒ	一四〇	〇・五〇	旅・貨・郵	四〇	〇・四〇	墺太利航空會社	日曜ヲ除キ毎日一往復
ヴェニス—維納	四三五	二・五五		一三五	一・三五		毎週三往復
維納—グラーズ				四〇	〇・四〇	墺太利航空會社	毎週三往復
維納—ザグレブ			旅・貨・郵	七五	〇・七五	ユーゴースラヴィア會社	
維納—ベルグラード	三一五	四・四〇		一三〇	一・三五		

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
維納—ザルツブルヒ							
維納—ミュンヘン							
維納—チューリッヒ	六二八	三・二五					
伯林—維納			旅・貨・郵			墺太利航空會社 獨逸ルフト・ハンザ會社	日曜ヲ除キ 毎日一往復
伯林—ブダペスト							
伯林—ベルグラード							
伯林—ソフイア							
伯林—サロニカ	一、七二三	一一・一五					
伯林—ドレスデン							
伯林—プラーグ							
伯林—維納	五三五	三・五〇		八二	〇・八二		

(十)匈牙利

總延距離 六六七粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
ブダペスト—維納	二二七粁	一・三五時分	旅・貨・郵	ペンゴ 四〇	一瓩ニ付 ペンゴ 〇・四〇	マグヤル會社	日曜ヲ除キ 毎日一往復
ブダペスト—クラーゲンフルト	四四〇	二・三五		六〇	〇・六〇		毎週三往復

(十一)チェッコスロヴァキア

總延距離 四、四七二粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
プラーグ—ウズホロド	五九五粁	九・一〇時分		クーロン 二八〇	一瓩ニ付クーロン 二・八〇		
プラーグ—ブカレスト	一、一四五			一、二〇〇	三・〇〇		
プラーグ—ブルノ				一四〇	一・四〇		
プラーグ—ブラチスラバ				一七〇	一・七〇		
プラーグ—コズイス				二五〇	二・五〇		
プラーグ—ウズホロド	六九〇	四・三五	旅・貨・郵	二八〇	二・八〇	國營	日曜ヲ除キ 毎日一往復
維納—ブラチスラバ	五六	〇・二〇		八〇	〇・八〇		
維納—ピスタニー	一二九	一・一〇		一二〇	一・二〇		
プラーグ—ブルノ				一四〇	一・四〇		
プラーグ—ブラチスラバ	三一五	二・一〇		一七〇	一・七〇		
プラーグ—マリアン・ラスヌ	一三八	一・一五		一一〇	一・一〇		
プラーグ—ライプチッヒ				二五五	二・五五		日曜ヲ除キ 毎日二往復
プラーグ—エッセン				六一〇	六・一〇		
プラーグ—ロッテルダム				七八〇	七・八〇		
プラーグ—アムステルダム	八一〇	五・四〇	旅・貨・郵	七八〇	七・八〇	チェッコスロヴァキア會社	日曜ヲ除キ 毎日一往復
プラーグ—ミュンヘン				三二〇	三・二〇		
プラーグ—チューリッヒ		四・〇〇		七〇五	七・〇五		
プラーグ—ジュネーヴ				九七〇	九・七〇		
プラーグ—マルセイユ	一、二四五	七・五五		一、三三〇	一三・三〇		

(十二)波　蘭

總延距離　四、二四六粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
ワルソー——ダンチッヒ	三三〇粁	二・一〇時分	旅・貨・郵	三〇	ソロット四五	ロット會社	毎日一往復
ワルソー——カトヴィス	三三〇	一・三五		四五	〇・四五		
ワルソー——レウォウ	三三〇	二・一五		三五	〇・三五		
ワルソー——クラコー	二五五	一・三〇		四〇	〇・四〇		
クラコー——ブルノ	二八〇	二・一〇		四五	〇・六〇		
維納	三一〇	二・五〇		五〇	〇・六〇		
ゼルノーチブカレスト				三五	〇・三五		
レウォウ——ソフィア				一五五	〇・八五		
サロニカ	一、二六一	八・五五		二三〇	一・三〇		
ワルソー——ウィルノ				一三五	〇・八〇		
ワルソー——リガ	九四〇	五・三〇		七九	〇・八〇		
タリン				一二五	一・二五		
伯林——ボーゼン	三五〇	三・〇五	旅・貨・郵	二八馬	〇・二〇馬	ロット會社	毎日一往復
ワルソー				五〇	〇・五〇	獨逸ルフト・ハンザ會社	

(十三)瑞　典

總延距離　二、二九〇粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
アムステルダム——コペンハーゲン							
ストックホルム——ヘルシンキ	四九〇粁	四・四五時分	旅・貨・郵	一二〇	瑞典クローン 五九 一斤付	A・B・會社	毎日一往復
タリン				八八	瑞典クローン 〇・五〇		
ゴーテンブルヒ——コペンハーゲン	二四三	一・二〇		五〇	〇・五〇		
ストックホルム——ヴィスビー	一九〇	一・一〇		四五	〇・四〇		
アムステルダム——コペンハーゲン	六五〇	三・三五	旅・貨・郵	八一	フロリン七	A・B・會社	同
マルメ				三三	フロリン 〇・五〇		
アムステルダム——コペンハーゲン	七一七	三・二五		七七	〇・三〇	和蘭K・L・M・會社	右
マルメ				八一	〇・五〇		

(十四)芬　蘭

總延距離　三九〇粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
ヘルシンキータリン	九〇粁	〇・三〇時分	旅・貨・郵	一二〇芬馬	一斤ニ付五・〇〇芬馬	O・Y・會社	毎日二往復
ストックフォルム——マリハム	三〇〇	一・四五		三〇瑞典クローン	瑞典クローン 〇・五〇		毎日一往復

（十五）丁抹

總延距離　一、二九六粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
伯林—コペンハーゲン	四九九粁	二・一五時分	旅・貨・郵	六二馬	〇・六〇馬	丁抹航空會社	日曜ヲ除キ毎日一往復
伯林—マルメ							
コペンハーゲン—ゴーテンブルヒ	四八二	二・四〇		一一〇クーロン	一・一〇クーロン	獨逸ルフト・ハンザ會社	毎日一往復
コペンハーゲン—オスロー							
漢堡—コペンハーゲン	三一五	一・四五		五七馬	〇・五五馬		
漢堡—マルメ							

（十六）西班牙

總延距離　六、六八〇粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
マドリッド—セヴィラ	三八〇粁	二・三〇時分	旅・貨・郵	一二五ペセタ	一・二五一耳ニ付ペセタ		日曜ヲ除キ毎日一往復
パルマ—バルセロナ	二〇〇	一・一〇		九〇	〇・九〇		
マドリッド—ヴァレンシア	三〇〇	一・五〇		一一〇	一・一〇		
マドリッド—バルセロナ	五〇〇	三・一五		一五〇	一・五〇	ラペー會社	毎週一往復
マドリッド—セヴィラ							
マドリッド—カァプ・ジッピー		八・〇〇	旅・貨・郵				
ラス・パルマス	一、九八〇粁	一三・〇〇		六一〇	六・一〇		
巴里—ボルドー	五〇〇	二・〇五	旅・貨・郵	四〇〇佛法	四・〇〇佛法	ラペー會社	日曜ヲ除キ毎日一往復
巴里—マドリッド	一、〇六〇	三・五〇		九二〇	九・二〇	エール・フランス會社	
伯林—シュツットガルト			旅・貨・郵			ラペー會社	毎日一往復
伯林—ジュネーヴ						獨逸ルフト・ハンザ會社	
伯林—マルセイユ							
伯林—バルセロナ							
伯林—マドリッド	二、二六〇	一〇・一〇		二三七馬			

（十七）希臘

總延距離　七五三粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
雅典—アルジニオン	三〇〇粁	二・一五時分	旅・貨・郵	六〇〇ドラクマ	六一耳ニ付ドラクマ	希臘航空會社	日曜ヲ除キ毎日一往復
雅典—ジャニナ				七一六	六		
雅典—サロニカ	三〇三	二・〇〇		一、〇〇〇	六		
サロニカ—ドラナ	一五〇	二・〇〇		五〇〇	三		

（十八）ソヴイエート聯邦

總延距離　四八、九八二粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
カザン							
スウエルドロフスク							
クルガン							
オムスク							
ノヴォシビリスク	三、〇三〇粁	三〇—四〇時	旅・貨・郵	三六五留	一斤ニ付留三・八〇		
クラスノヤウルスク							
ニージネウジンスク							
イルクーツク							
ウラン・ウデ							
チタ							
莫斯科—ネルチンスク	五、四八〇粁		郵			聯邦民間航空隊	毎日一往復
モゴチア							
ルフローヴォ							
テイグチャ							
ボチカリヨフ							
アルハラ							
チホンカヤ							
ハバロフスク							

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
ラーゾ							
浦鹽							
ハバロフスク	八、一九〇粁	九六・三〇時分	旅・貨・郵	一、七五二・五〇留		アコ漁業會社	
ニコライエフスク							
シヤンタルスキー島							
アヤン							
浦鹽—オホツク							
ナガエウオ							
ハリューゾオ							
ボリシェレック							
ペトロパウロフスク	四、〇〇〇粁	四・〇五					
莫斯科—ボロゴエ	六五〇						
レニングラード							
ペトロザヴォドスク	三六五	三・一〇					
レニングラード—オレル							
ハリコフ							
ロストフ							
ミネラルヌイヴォドイ							
ピヤチゴルスク							
莫斯科—グロスヌイ							

マハチカラ					毎日一往復
バクー					
チフリス	三、〇二五	三八・〇五			
ミネラルヌイヴオドイ—チフリス	三七〇	二・四〇			
ロストフ—ソーチ	四七五	三・三〇			
莫斯科—ウォロネージ					
スターリングラード	九九五	八・〇〇			
ハリコフ—ルガンスク					
マリウボリ	三六〇	三・三〇			
ハリコフ—ドネープロペトロフスク					
オデッサ	六二〇	六・二五	旅・貨・郵	聯邦民間航空隊	
ハリコフ—キエフ	四一五	三・〇〇			同右
キエフ—オデッサ	四四五	三・二〇			
オムスク—タラ	三二〇	二・〇〇			隔日一往復
スウエルドロフスク—マグニトゴルスク	四八五	三・四五			毎日一往復
アクチュビンスク—グーリヴ					
ウラルスク					
アクチュビンスク					
アクチュビンスク—クスタナイ	一、七三五				
アクモリンスク	五八九	五・四五			隔日一往復

ペトロパフロフスク—カラカンダ					
アルマ・アタ					
フルンゼ					
タシケント	二、六七〇				
セルギオポール—バツイ	二五四	二・〇〇			
フルンゼ—カラコール	三八三	二・二五			
ウラン・ウデ—アルタンブラク					
庫倫	五四〇	四・三〇	旅・貨・郵	留 二三〇	一瓩ニ付留 一・二〇
イルクーツク—ウエルホレンスク					
グルヂノフスコエ					
ウスチ・クート					
キーレンスク					
イチエラ					
ウィチーム					
ニュヤー					
オレクミンスク					
イセッカヤ					
ヤクーツク	二、七〇三	二〇・四五	旅・郵		
ハバロフスク—マリンスク					
ニコライエフスク					

オ	ハ	一、一〇〇	五・〇〇	旅・貨・郵	每週二往復
マリンスク	ハバロフスク				
アレキサンドロフスク	ハバロフスク	九五〇	三・三〇		
オ	ハバロフスク	二八〇	二・〇〇	旅・郵	
コムソモリスク	ハバロフスク	二五〇			
デロビッヂャン	ビロビッヂャン	五〇			
スターリンフエリート	浦鹽	一〇〇			
ウラジミロ・アレキサンドロフスク	尼港	三一〇			聯邦民間航空隊
ケルビ	尼港	二四〇			每月十五往復
デカストリー	尼港	一八〇			
コルチヤン	尼港	一五〇			
ラングル	尼港	一〇			每日一往復
コーリ					
ブラゴエチエンスク	ボヤルコウオ	二一〇		旅・郵	每月十往復
ブレーヤ	チェクンダ	二一〇			
イルクーツク	ウエルホレンスク				
キーレンスク	グルチノスコエ				
	ウスチ・クート				

イチエラ	ウィチーム	一、七七八	一四・〇〇	旅・貨・郵	每週二往復
ボダイボ		三〇〇	二・一〇		
アルマ・アタ	ジャールケント	四七〇	三・〇〇		
タシャウズ	ノヴォウルゲンチ	四八〇	三・〇〇		聯邦民間航空隊
タシャウズ	チャルジュイ	四八〇	三・〇〇		每月十五往復
タシケント	アシハバッド	一、七〇〇			每日一往復
	サマルカンド				
	チャルジュイ				每月十往復
	ガサンクリ				
タシケント	サマルカンド	九六五	六・〇〇	郵	每日一往復
	テルメッツ	四四八	二・四五		
タシケント	スタリナバード	一七〇	一・〇〇		每日一往復
オ	スタリナバード	一八〇	一・〇五		
ハ	スタリナバード	一七〇	一・〇五		每月十往復
ガルム	スタリナバード	一八〇	一・〇五		
ラブ	スタリナバード	一七〇	一・〇五		每月十五往復
ログ	スタリナバード	一九〇	一・一五		
バウマナバード	ペンザ				每月九往復

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
莫斯科—サマラ							
〃—アクテュビンスク							
〃—チェルカールクシル・オルダ							
〃—タシケント	三、〇五〇	一三・四五					
アルハンゲリスク—ウスト・ジルマ		翌日 八・三五					
アルハンゲリスク—コトラス	一、〇一〇	六・二〇					
ノヴォシビリスク—スイソリスク	九二〇						
ノヴォシビリスク—カメローヴォ	二、四六	一・五〇	旅・貨・郵				
ノヴォシビリスク—コルパチヴォ	四九〇	三・一五					
莫斯科—ウェルキエ・ルキ	四一九						
〃—カウナス	九八〇						
〃—ケーニヒスベルヒ	一、二〇〇						
〃—ダンチッヒ	一、三四八						
〃—伯林	一、六八二	七・三五	旅・貨・郵				
〃—ターリン	三六〇						
〃—リガ	六六四						
レニングラード—カウナス	九二四						
レニングラード—ケーニヒスベルヒ	一、〇三二	四・二五					

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
ロア・エ	二〇〇粁	一・二〇時分					
コラト—コン・カエ	二九五	二・〇〇	旅・貨・郵				
ナゴールプノム	六三〇	四・〇八					

（十九）遲羅　總延距離　六二〇粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
						遲羅航空會社	毎週二往復

（二十）北米合衆國　總延距離　一〇二、二九〇粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
フォートウォース—アビリーン							
〃—ビッグ・スプリングス							
〃—エル・パソ							
ダラス—ダグラス							
〃—タクソン							
〃—フェニックス							
〃—羅府	二、一二九粁		旅・貨・郵			アメリカン・エア・ラインズ會社	毎日二往復
〃—サウス・ベンド							

市俄古—デトロイト					
〃—バファロー					
〃—エルミラ					
〃—スクラントン					
紐育—ボストン	紐育	一、二四五	軒	旅・貨・郵	毎日一往復
〃	ボストン	三〇九			
ボストン—紐育	紐育				
〃—スプリング・フィールド					
〃—オルバニー					
〃—シラキューズ					
〃—ロチェスター					
〃—バファロー					
〃—クリーヴランド		九五一			
〃—トレントン					
〃—カムデン					
〃—ボルチモア					
〃—華府					
〃—チャーロッツヴィル					
〃—リンチバーグ					
〃—ロアノック					

ブリストル—ノックスヴィル					
〃—ナッシュヴィル		一、三〇〇			
華府—チャールストン					
〃—ハンチントン					
〃—シンシナティ					
〃—インデアナ・ポリス					
市俄古—華府		一、〇九三		旅・貨	毎日一往復
〃—市俄古		一五〇			
クリーヴランド—デトロイト					
市俄古—ペオリア					
〃—スプリング・フィールド					
〃—セント・ルイス					
〃—スプリング・フィールド（南）					
〃—タルサ					
〃—オクラホマ・シティー					
〃—ダラス					
〃—フォートヴォース		一、五二九		旅・貨・郵	毎日一往復
コラムバス—シンシナティ					
〃—ルイスヴィル					

クリーヴランド—ナッシュヴィル					
〃—メンフィス					
〃—リトルロック					
〃—テクサカーナ					
〃—ダラス					
〃—フォートヴォース					
紐育—オルバニー	一、八一三		旅・貨・郵	アメリン・エア・ラインズ會社	毎日二往復
〃—モントリオール	五三四				
市俄古—サウス・ベンド					日曜ヲ除キ毎日一往復
〃—デトロイト	四二〇				
フォートウォース—ダラス					
〃—ヒューストン	四二〇				
ダラス—ワコ					
〃—オースティン					
〃—サン・アントニオ					
〃—コープスクリスチ					
〃—ブラウンスヴィル	八七九		旅・貨	バウエン・エア・ラインズ會社	
カンザス・シティー					

市俄古—ヴィチタ					
〃—ボンカ・シティー					
〃—オクラホマ・シティー					
〃—ダラス	一、五五三		貨・郵	ブラニツフ・エア・ウエイズ會社	毎日一往復
〃—カンザス・シティー	六六一				
フォートウォース—ワコ					
〃—オースティン					
〃—サン・アントニオ					
〃—コープスクリスチ					
〃—ブラウンスヴィル	八三〇		旅・貨・郵		
フォートウォース—ヒューストン					
〃—ガルヴェストン	四六三	軒	旅・貨・郵		同右
〃—ウィチタフォールス					
フォートウォース—アマリロ	五〇七				
華府—ピッツバーグ					
〃—エクロン					
〃—クリーヴランド					
〃—デトロイト	七五五		旅・貨・郵	セントラル・エア・ラインズ會社	毎日三往復

市俄古―ペオリア					
スプリング・フィールド					
セント・ルイス					
メンフィス					
グリーンウッド					
ジャクソン					
ニュー・オルレアンス	一、四〇三				
		旅・貨・郵	毎日一往復	シカゴ・エンド・サザーン・エア・ラインズ會社	
ダラス―シュリーヴ・ポート	一、六〇七	旅・貨・郵	同右	デルタ・エア・サーヴィス會社	
モンロー					
ジャクソン					
メリディアン					
バーミンガム					
アタランタ					
オーガスタ					
コロムビア					
チャールストン					
ソールト・ポカテロ・アイダホ・フォールス―オグデン				ナショナル・パークス・	

レイク・シティー―ビュート					
ヘレナ					
グレート・フォールス	七八八				
		旅・貨・郵	毎日一往復	エア・ウェイズ會社	
サンディエゴ―羅府					
ラスヴェガス					
ソールト・レイク・シテー	一、一五〇	旅・貨・郵	毎日一往復	ジェネラル・エア・ラインズ會社	
沙市―ブレマートン	三四	旅・貨		ゴースト・エア・トランスポート會社	
スー・フォールス―スー・シティー					
セントポール―オマハ					
セント・ジョセフ					
カンザス・シティー	八五二				
フロン					
スー・フォールス―アバーディーン					
ビスマーク	三〇七	旅・貨・郵	毎日二往復	ハンフォード・エア・ラインズ會社	
ボートランド―オーガスタ			毎日一往復		

ボストン—ウォーターヴィル バンゴー	三四三		旅・貨・郵		
マンチェスター コンコルド ボストン—ホワイト・リヴァー モントペリア バーリントン	三二		旅・郵		
オランド デイトナビーチ—レイクランド タムパ セント・ピータースバーグ	二四〇		旅・郵		
紐育—トレントン カムデン ボルチモア 華府 リッチモンド グッーンボロ ハイポイント チャーロット			旅・貨・郵		

紐育—スパーテンバーグ グリーンヴィル アタランタ モントゴメリー モービル ニュー・オルレアンス	二、〇八五		旅・貨・郵	ノース・アメリカン・アヴィエーション會社	毎日二往復
トレントン カムデン ボルチモア 華府 リッチモンド ラレイ フローレンス チャールストン サヴァンナ ジャクソンヴィル デイトナビーチ ヴェロビーチ ウェスト・パームビーチ マイアミ	一、八四一		旅・貨・郵		

紐育—華府	一、五〇一	三三六	旅・貨		
市俄古—インデアナ・ポリス					
〃 ルイスヴィル					
〃 ナッシュヴィル					
〃 チャッタヌーガ					
〃 アタランタ					
〃 メーコン					
〃 ジャクソンヴィル					
市俄古—メディソン			旅・貨		
〃 セントポール—ミルウォキー	六五六				
市俄古—セントポール—ロチェスター	五七三				
市俄古—セントポール—ファルゴ	三四六				
〃 ジェームストン					
〃 ビスマーク					
〃 グレンダイヴ					
〃 マイルス・シティー					
〃 ビリングス					
				ノース・ウエスト・エア・ラインズ會社	毎日一往復

ファルゴ—ビュート					
〃 ミスラ					
〃 スポーケン					
〃 ウェナッチー					
沙市	二、〇二七		旅・貨・郵		
市俄古—セントポール					
〃 ファルゴ					
〃 グランド・フォークス					
〃 ペンビナ					
〃 ウェニペッグ	一、三四三				
華府—ビッツバーグ					
〃 アクロン					
〃 クリーヴランド					
〃 デトロイト	六六〇		旅・貨		
デトロイト—ボンテアック					
〃 ランシング					
〃 グランド・ラピッヅ					
〃 マスケゴン					
〃 ミルウォーキー	四二六				
				ペンシルヴァニア・エア・ラインズ會社	同 右

沙市—ヴィクトリア	二九	郵	シアトル・ヴィクトリア・エア・メール會社	
紐育—カムデン ハリスバーグ ピッツバーグ サウスベンド 市俄古 カンザス・シティー ヴィチタ アマリロ アルブケルケ ウインスロー キングマン 羅府	四、一四	旅・貨	トランス・コンチネンタル・エンド・ウェスターン・エア會社	毎日三往復

紐育—カンザス・シティー ウィチタ アマリロ アルブケルケ ウィンスロー キングマン 羅府	四、三〇	旅・貨		
紐育—カムデン ハリスバーグ ピッツバーグ サウスベンド 市俄古	一、二三六	旅・貨・郵		
クリーヴランド トレド サウスベンド 市俄古 モーリン アイオワ・シティー デ・モイン				

紐育—オマハ				
〃—リンカーン				
〃—グランド・アイランド				
〃—ノースプラット				
〃—シャイエン				
〃—ロックスプリングス				
〃—ソールト・レイク・シティー				
〃—エルコ				
〃—レノ				
〃—サクラメント				
桑港—カンザス・シティー				
〃—市俄古				
〃—羅府				
羅府—ベーカース・フィールド				
〃—フレスノ				
〃—桑港	四、二五九			
桑港—サンディエゴ				
〃—メッドフォード				
〃—ポートランド				
〃—沙市				
沙市—タコマ	一、八六八			
旅・貨・郵				
旅・貨				
旅・貨・郵				
		ユナイテッド・エア・ラインズ會社	毎日三往復	

ボイズ—ペンドルトン				
〃—ポートランド				
ソート・レイク・シティー—タコマ				
沙市—一、三一三				
ペンドルトン—パスコ				
〃—スポーケン	二七二			
スポーケン—ウェナッチ				
〃—沙市	三七〇			
沙市—ヴァンクーヴァー市	一九一			
旅・貨				
トリニダード—ラスヴェガス				
プウェブロ—サンタフェ				
〃—アルブケルケ				
〃—エルパソ	八三五			
旅・郵				
		ヴァーネー・スピード・ラインズ會社	毎日一往復	
ボーモント—レイク・チャールス				
〃—バトンルージュ				
〃—ニュー・オルレアンス	五二九			
旅・貨・郵				
		ウィデル・ウィリアムス會社	同	右

ウィルミントン—アヴァロン	五五	旅・貨		
デンヴァー—シャイエン—コロラド・スプリングス—プウェブロ	三一〇	旅・貨・郵		
シャイエン—シェリダン—ビリングス	六二八			
メキシカリ—ノガレス—ヘルモジロ—クリアカン—マザトラン—ドラゴ—レオン—メキシコ・シティー	二、七〇六	旅・貨		
パナマ—プナペンツェラ—マコ				
グワヤキル—タラ—トリヒヨ—里馬—アレキパ—モリェンド—アリカ—イキケ—アントファガスタ—コピアポ—サンチャゴ—メンドサ—メルセデス—ルヒノ—ブエノス・アイレス—モンテヴィデオ	七、三四	旅・貨・郵		
メキシカリ—ヘルモジロ—クリアカン				

ウィルミントン・カタリナ會社		毎日三往復	ワイオミング エア・サーヴィス會社	バン・アメリカン・グレース會社
		毎日一往復		
			ヴアーネー・スピード・ラインズ會社	毎週二往復

羅府―マザトラン				
ドランゴ				
レオン				
メキシコ・シティー	二、七一〇	旅・貨		
ヘルモジロ				
ノガレス―クリアカン				
マザトラン	一、〇七〇			
チワワ				
エル・パソ―トレオン				
ドランゴ	一、〇六七			
マイアミ―ハヴァナ	三六八	旅・貨・郵	毎日一往復	パン・アメリカン會社（アエロヴィアス・セントラル會社）
ヌーヴィタス				
アンチラ				
ポート・オ・プリンス				
セント・ドミンゴ				
サンペドロ				
サン・ファン	一、八九九		毎週三往復	
セント・トマス				
セント・ジョーンズ				
ポート・オブ・スペイン			毎週一往復	
サン・フアン―バラマリボ				
バラマリボ				
カイエンヌ	二、二一七	旅・貨・郵		パン・アメリカン會社
パラ				
マランハオ				
フォータレザ				
ナタル				
ペルナンブコ				
マセイオ				
バヒア				
カラヴェラス				
ヴィクトリア				
リオ・デ・ジォネイロ				
サントス				
パラナグア				
フロリアポリス				
ポート・アレグレ				
リオ・グランデ				
モンテヴィデオ				
ブエノス・アイレス	七、七八八		毎週一往復	
ハヴァナ				

コズメル				
メリダ				
ベリーズ				
サン・サルヴァドル				
マナーガ				
サン・ホーセ				
ダビド				
パナマ				
クリストバール				
キングストン				
バランキラ				
クリストバール				
マラカイボ				
マイクチャ				
マテュリン				
ボート・オブ・スペイン				
マイアミ―ナッソー				
タンパ―ハヴァナ				
タンピコ				
ブラウンスヴィル―メキシコ・シティー				

マイアミ―	三、五八五		旅・貨・郵	パン・アメリカン會社
キングストン				
バランキラ	二、九一二		旅・貨・郵	
クリストバール				
マイアミ―ナッソー	一、六四三		旅・貨	
ボート・オブ・スペイン	三〇三			
マテュリン	五四五			
マラカイボ	七九八			

毎週一往復

毎週二往復

ヴェラ・クルス				
メキシコ・シティー				
サン・ゼロミモ				
ガテマラシティー				
サンサルヴァドル	一、五二〇		旅・貨・郵	
サンチャゴ				
キングストン				
ポート・オ・プリンス	四八九			
ポート・オ・プリンス				
サン・ドミンゴ	二五九			
サンタレム				
パラ				
オビドス				
マナオス	一、三七一		旅・貨	
ミナチトラン				
ヴェラクルス				
カムペーチェ				
メリダ	八五三			
ヌラト				
フェアバンクス				
ノーム	八五〇			
フェアバンクス				
ホワイトホース				
フェアバンクス				
ジュノー	一、〇三〇	五・〇〇	旅・貨	
フェアバンクス				
マック・グラス				
ベセル	八七〇			

（二十一）墨西哥　總延距離　三、二六一粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
ヒロ—ホノルル	三六一	二・一〇	旅・貨・郵			インター・アイランド會社	毎日一往復
ホノルル—リウエ	一七一	一・〇〇					
メキシコ・シティー—タムピコ	七四四粁	四・〇五時分	旅・貨・郵			メキシコ航空會社	毎日一往復
タムピコ—マタモロス							毎週五往復
タムピコ—ヴェラ・クルス	三八三	三・〇五					毎週六往復
メキシコ・シティー—ヴェラ・グルス							
メキシコ・シティー—ヴィラエルモサ							
メキシコ・シティー—メリダ	一、一八六	七・〇〇					毎週二往復
メキシコ・シティー—ヴェラ・クルス	九四九	四・三五					
タバクラ							

（二十二）コロンビア　總延距離　二、六六〇粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
カラマール							
マガンゲ						スカドタ會社	毎週五往復
エル・バンコ							
ガテマラ							
バランキラー—プエルトウェルチス							毎週四往復
バランカベルメジャ							
プエルトベリオ							
バランケロ							
ギラルドット	九〇〇粁	六〇〇時分	旅・郵				
メデリン—プエルトベリオ—カルタゴ							
カリ	五九〇						
バランキラー—カルタヘナ							
バランケロ	二一〇	〇・四〇					毎週四往復
メデリン—ボゴダ	三一〇	一・三〇					毎日一往復
メデリン—テュルボ	二五〇	二・〇〇					毎週二往復
キブド—ブェナベンツェラ							
カルタゴ—ギアピ							毎週一往復
ツマコ	四九〇						

（二十三）秘露

總延距離　三、一八四粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
里馬—パカスマヨ							
里馬—タララ	九九四粁						
里馬—モレンド			旅・郵			フォーセット會社	毎週一往復
里馬—アレキパ	七六〇						
イキトス—モヨバムバ	四七〇						
イキトス—コンタマナ							
イキトス—マシセヤ			旅・郵			海軍航空隊	毎週二往復
イキトス—プエルトベルムーデス							
イキトス—サン・ラモン	九六〇						

（二十四）ボリヴィア

總延距離　二、九一〇粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
ラ・パズ—オリュロ							
ラ・パズ—コチャバンバ							
ラ・パズ—サンタ・クルズ							毎週二往復
サン・ジヨゼ							
ロボレ							
コチャバンバ—プエルトシュアレス	一、六二〇粁						
コチャバンバ—シュクレ	二四〇	一・四五時分	旅・貨・郵			アエロ・ロイド會社	
コチャバンバ—トードスサントス							
コチャバンバ—トリニダッド	四五〇	三・〇〇					毎週一往復
サンタクルズ—ヤキーバ	六〇〇	四・三〇					毎週二往復

（二十五）智利

總延距離　一、七二九粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
サンチャゴ—オバイエ	三三五粁						
サンチャゴ—コピアポ	六八二						
サンチャゴ—アントファガスタ	一、一〇七						
サンチャゴ—イキケ	一、五三二		旅・貨・郵			智利航空隊	毎週二往復
サンチャゴ—アリカ	一、七二九	九・三〇時分					

（二十六）亞爾然丁

總延距離　二、四八五粁

(二十七) 伯剌西爾

總延距離 一〇、一九五粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
サンアントニオ トレルー コモドロ バヒアブランカ—プェルトデセド サンフリアン サンタ・クルス ガレゴス	一、八〇〇粁		旅・貨・郵			アエロ・ポスタ會社	毎週二往復
ブェノス・アイレス—コルドバ	六八五		旅・郵		ペソ	陸軍航空隊	毎週三往復

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
レシフェ	第一日	時分 三・三〇	旅・貨・郵			コンドール會社	毎週一往復
バヒア リオ・デ・ジャネイロ サントス フロリアノポリス ポルトアレグレ							
ナタル—	第二日						
レシフェ バヒア リオ・デ・ジャネイロ サントス フロリアノポリス ポルトアレグレ							

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
モンテヴィデオ ブェノスアイレス	四、六五〇粁	一三・三〇	旅・貨・郵			同	右
サントス							
パラナガ							
サンフランシスコ フロリアノポリス ポルトアレグレ	一、一四〇	八・〇〇					
サンパウロ—カムポグランデ コラムバ キアバ	一、〇〇〇	八・一〇					
クリテイバ サンパウロ—ジョインヴィル	四一〇		旅・貨・郵			アエロ・ロイト・イガンス會社	毎週二往復
	五四〇						
ポルトアレグレ—ペロタス	二八〇		旅・貨・郵				
ペロタス バゲ リブラメント カライ	七五〇					リオ・グランデース會社	毎週一往復 毎週二往復

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
サンパウロ—リベロンプレート	三〇〇			ミルレイス 一・〇			
サンパウロ—ウベラバ	四五〇	三・一五	旅・貨・郵	二五〇		サン・パウロ會社	每週三往復
サンパウロ—サン・カルロス	二一五			一三五			
サンパウロ—リオ・プレート	四二〇	二・五五		二〇〇			

（二十八）比律賓

總延距離 二、三〇〇粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
マニラ—イロイロ	四八〇粁			ペソ・四九			每週三往復
イロイロ—バコルド	五〇	一時分・一五					每日二往復
マニラ—イロイロ				四九			
マニラ—セブ		五・一〇	旅・貨・郵	五五		イロイロ・ニグロス航空會社	每週二往復
マニラ—ザンボアンガ	一、〇七〇	七・五五		九五			
イロイロ—ラカルロタ	一八〇						日曜一往復其ノ他二往復
イロイロ—デルモンテ							
イロイロ—ダヴァオ	五二〇			五六			每週二往復

（二十九）中華民國

總延距離 一二、二五六粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
上海—南京	二七九粁	二時分・一五		銀元 四八			每週八往復
上海—九江	六四二						
上海—漢口	八四一						
上海—宜昌	一、一二一						每週五往復
上海—重慶	一、六二六						
上海—成都	二、七三三	八・〇〇		四〇〇			每日一往復
重慶—貴陽	三五〇	一・四五		一五〇	一斤ニ付銀元 一・五〇		
重慶—雲南	七八〇	四・一五		三〇〇	三・〇〇	中國航空公司	每週二往復
上海—海州	四二〇	三・〇〇	旅・貨・郵	七五			
上海—青島	六一六	四・三〇		一二〇			
上海—天津	一、〇八三	八・〇〇		二〇〇			每週三往復
上海—北平	一、二七八	九・〇〇		二二〇			
上海—溫州	三八〇						
上海—福州	六六五						
上海—廈門	八五五			一七五			每週二往復
上海—廣東	一、三七五			二七〇			
上海—南京	二七〇	一・三〇		二五	一斤ニ付銀元 〇・五		每週一往復
上海—鄭州	八四〇	五・〇〇		八五	一・六五		

西安—蘭州	西安	一、二九〇	八・二〇		一四五	三・〇八		每週二往復
	蘭州	一、八六〇	翌日 三・〇〇		三一五	六・〇八		
西安—漢中	漢中	二二〇	一・〇〇		八〇			
西安—成都	成都	六三〇	三・〇〇	旅・貨・郵	二〇〇		歐亞航空公司	同右
北平—鄭州	鄭州	六五〇	三・三〇		六〇	一・〇五		
北平—漢口	漢口	一、一五〇	六・五〇		一一〇	一・九五		
北平—長沙	長沙	一、四五〇	翌日 一・四〇		一五〇	二・七〇		
北平—廣東	廣東	二、〇五〇	五・二〇		二七〇	四・九五		
蘭州—寧夏	寧夏	四〇〇	二・〇〇		一四〇	二・五五		
蘭州—包頭	包頭	八二〇	四・五〇		二七〇	五・二五		
廣東—茂名	茂名			郵			西南航空公司	每週一往復
廣東—瓊州	瓊州							
廣東—北海	北海	七八〇						
廣東—梧州	梧州			旅・貨・郵				每週三往復
廣東—南寧	南寧	五八〇						

（三十）日本

總延距離 五、一六二粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
一、東京—大連線							
東京—名古屋	二九六粁	一・五〇時分		二〇円	一・〇〇一粁ニ付円		日曜、月曜一往復、其ノ他二往復
東京—大阪	四三五	二・五〇		三〇	一・〇〇		
大阪—福岡	五〇〇	三・〇〇		三五	一・〇〇		
福岡—蔚山	二四〇	一・五〇		一八	二・〇〇		
福岡—京城	五五〇	三・五〇	旅・貨・郵	四〇	二・〇〇	日本航空輸送株式會社	日曜ヲ除キ每日一往復
福岡—平壤	七五〇	〇・五〇		五三	二・〇〇		
福岡—新義州	九一〇	六・一〇		六五	二・〇〇		
福岡—大連	一、一八三	八・〇〇		八〇	二・〇〇		
二、大阪—上海線							
大阪—福岡	五〇〇	三・〇〇		三五	一・〇〇		夏期二十八往復（自五月九日至十月十四日）
三、東京—富山	二八〇	二・〇〇		一六	〇・五〇		
大阪—富山	三五〇	二・〇〇			〇・七〇		每月二往復（自六月一日至十月十五日）
大阪—新潟	六〇〇	四・〇〇	貨・郵		〇・七〇	朝日定期航空會	
東京—新潟	四一五	二・三〇			〇・七〇		每週三往復（自五月十五日至十月十四日）
大阪—白濱	一二〇	一・〇〇		一三	〇・二〇		每週三往復

（三十一）滿洲國

總延距離　五、八四〇粁

航空線路	距離	所要時間	輸送種類	賃金 旅客	賃金 貨物	經營者	飛行回數
大阪—高松	一〇〇粁	一・〇〇	旅・貨・郵	一三	〇・一〇	日本航空輸送研究所	日曜ヲ除キ毎日一往復
松山—別府	二九〇	二・二〇		一八	〇・一〇		
	一三〇	一・〇〇		一〇	〇・一〇		毎週一往復
名古屋—二見	六七	〇・四〇	旅・貨・郵	六	〇・一〇	安藤飛行機研究所	毎週三往復（自四月一日至十月十四日）
東京—下田	一五〇	一・〇〇	旅・貨・郵	一〇	〇・五〇	東京航空株式會社	毎週三往復（自六月一日至九月三十日）
大阪—城崎	二一五	一・五〇	旅・貨・郵	一五	一粁迄 一・〇〇	日本海航空株式會社	毎週一往復
阪—鳥取	二八五	三・二〇		二〇			但シ城崎—鳥取—松江間ハ自四月一日至三月廿一日毎週一往復
松江—黒木	七三	〇・四〇		五	四粁迄 一・〇〇		
松江—西郷	一〇三	一・〇〇		一〇			
新京—奉天	四八五	三・一五	旅・貨・郵	三四	〇・三〇	滿洲航空株式會社	毎日一往復
奉天—錦州	二七五	一・四〇		一八	〇・二〇		
錦州—朝陽	三一五	一・五五		二一	〇・二〇		
朝陽—凌源	四一五	二・二五		二七	〇・二〇		
凌源—承德	五四五	三・二五		三六	〇・三〇		
奉天—朝陽	三一五	一・五五		二一	〇・二〇		月曜ヲ除キ毎日一往復
朝陽—赤峰	二三五	一・二五		一五	〇・一〇		
赤峰—錦州	八五	〇・三〇		五	〇・一〇		
新京—吉林	一〇〇	〇・三〇	旅・貨・郵	一〇	〇・一〇	滿洲航空株式會社	毎週二往復
吉林—延吉	二三五	二・〇〇		一五	〇・一〇		
延吉—龍井村	三九〇	二・一〇		二六	〇・一〇		
龍井村—新京	三七〇	二・一〇		二五	〇・一〇		
新京—奉天	四八五	三・一五	旅・貨・郵	三四	〇・三〇	滿洲航空株式會社	毎日一往復
奉天—錦州	二七五	一・四〇		一八	〇・二〇		
錦州—錦	二三〇	一・二五		一五	〇・一〇		
錦州—清津	五一〇	三・〇五		三四	〇・三〇		
新京—龍井村	三九〇	二・一〇		二六	〇・一〇		月曜ヲ除キ毎日一往復
龍井村—延吉	三七〇	二・〇〇		二五	〇・一〇		
延吉—吉林	一〇〇	〇・三〇		一〇	〇・一〇		
吉林—新京	四八五	三・一五		三四	〇・三〇		
新京—奉天	二七五	一・四〇	旅・貨・郵	一八	〇・二〇	滿洲航空株式會社	毎週二往復
奉天—大連	一、三六〇	六・〇五		一四六	〇・三〇		
大連—天	一、七一五	八・五〇		一八四	〇・四〇		
天—新京	一、七一五	八・五〇		一八四	〇・四〇		
新京—奉天	二七五	一・四〇		一八	〇・二〇		
奉天—大連	一、三六〇	六・〇五		一三〇	〇・三〇		
大連—天	一、七一五	八・五〇		一四六	〇・三〇		
天—新京	一、七一五	八・五〇		一四六	〇・三〇		
新京—奉天	二七五	一・四〇		一八	〇・二〇		
奉天—大連	一、三六〇	六・〇五		一三〇	〇・三〇		
新京—奉天	四八五	三・一五	旅・貨・郵	三四	〇・三〇	滿洲航空株式會社	毎日一往復
奉天—錦州	二七五	一・四〇		一八	〇・二〇		
錦州—朝陽	三一五	一・五五		二一	〇・二〇		
朝陽—凌源	四一五	二・二五		二七	〇・二〇		
凌源—承德	五四五	三・二五		三六	〇・三〇		
新京—奉天	四八五	三・一五	旅・貨・郵	三四	〇・三〇	滿洲航空株式會社	毎日一往復
奉天—錦州	二七五	一・四〇		一八	〇・二〇		
錦州—朝陽	三一五	一・五五		二一	〇・二〇		
朝陽—赤峰	二三五	一・二五		一五	〇・一〇		
赤峰—錦州	八五	〇・三〇		五	〇・一〇		
新京—吉林	一〇〇	〇・三〇	旅・貨・郵	一〇	〇・一〇	滿洲航空株式會社	毎週二往復
吉林—延吉	二三五	二・〇〇		一五	〇・一〇		
延吉—龍井村	三九〇	二・一〇		二六	〇・一〇		
龍井村—新京	三七〇	二・一〇		二五	〇・一〇		
新京—奉天	四八五	三・一五	旅・貨・郵	三四	〇・三〇	滿洲航空株式會社	毎日一往復
奉天—錦州	二七五	一・四〇		一八	〇・二〇		
錦州—清津	五一〇	三・〇五		三四	〇・三〇		
錦州—錦	二三〇	一・二五		一五	〇・一〇		
新京—奉天	四八五	三・一五	旅・貨・郵	三四	〇・三〇	滿洲航空株式會社	毎日一往復
奉天—錦州	二七五	一・四〇		一八	〇・二〇		
錦州—朝陽	三一五	一・五五		二一	〇・二〇		
朝陽—凌源	四一五	二・二五		二七	〇・二〇		
凌源—承德	五四五	三・二五		三六	〇・三〇		
奉天—朝陽	三一五	一・五五		二一	〇・二〇		月曜ヲ除キ毎日一往復

世界航空輸送會社數

（昭和十一年五月）

國別	數	國別	數	國別	數
歐羅巴	四五	希臘	一	マダカスカル	一
英吉利	一六	諾威	一	ケンヤ	一
外にチャーター會社	二四	ユーゴースラヴィア	一	セネガル	一
佛蘭西	四	匈牙利	一	南ローデシア	一
瑞西	三	葡萄牙	一	コンゴー	一
獨逸	二	瑞典	一	阿弗利加	一三
伊太利	二	抹比利	一	中華民國	三
チエツコスロヴアキア	二	蘭領	一	滿洲國	一
ルーマニア	二	西班牙	一	日本	六
ソヴイエート	一	波斯	一	印度・ビルマ	五
埃及	二	阿弗利加	一三	亞細亞	一九
白耳義	一	アルゼリア	三	暹羅	二
芬蘭	一	埃及	二		

| | | |

比律賓	二	アラスカ	一	中部亞米利加	八													
蘭印	一	布哇	一	メキシコ	四													
濠洲及附近		**亞米利加**																
濠洲	一四			サルバドル	一													
ニユージランド	五	ペルー	二	ホンジユラス	一													
ニユーギニア	四	智利	一	ガテマラ	一													
タスマニア	一	ヴエネズラ	一	キユーバ	一													
北亞米利加	**三八**																	
米國	二七	ボリヴイア	一	合計	一													
カナダ	九	ブラジル	五		一五九													

主要各國定期航空會社使用航空機

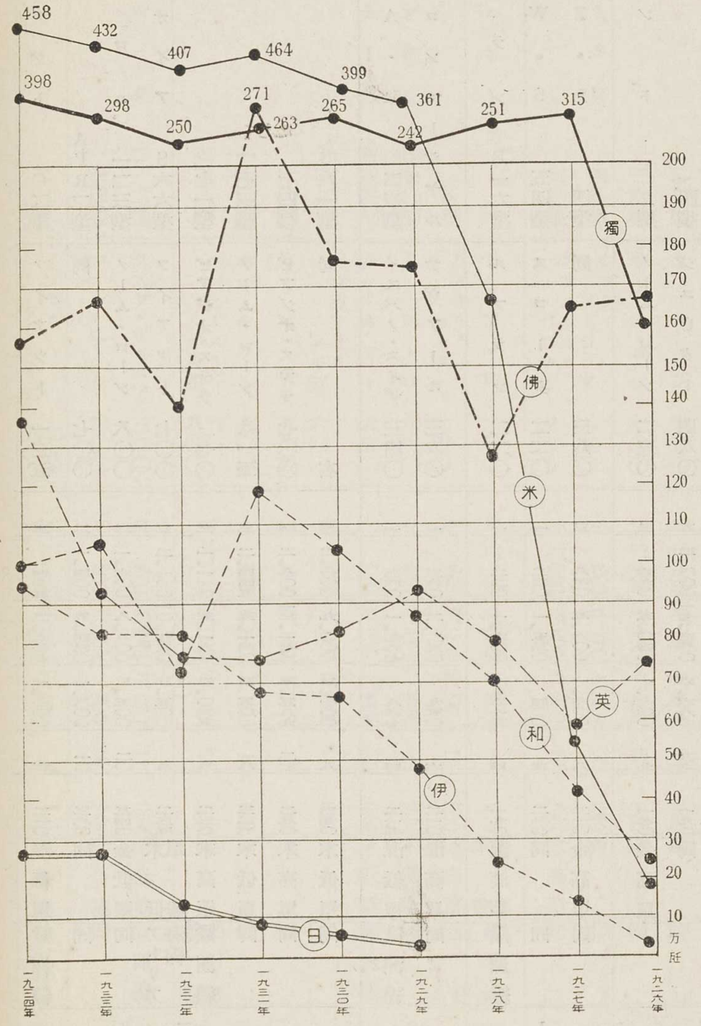
國名	飛行機	發動機 名稱及馬力	數	總馬力	全備重量(瓩)	搭載量(瓩)	客席	巡航速度(粁)	型式構造	就航線	會社名
英吉	アームストロング・ホイットワース・アタランタ	シドレー・モングース 三四五	四	一、三六〇	九、四四〇	三、八三〇	一二	二〇九	金 高翼單	阿大陸線	
同	ハンドレーペーヂ・ヘラクレス級	ブリストル・ジユピター 五五五	四	二、三一〇	一三、四〇〇	三、八六〇	三八	二六九	金 複	印度緬甸線	
同	ハンニバル級	同 四九〇	四	一、九六〇	二、八二〇	三、一八〇	二四	二六九	同	巴里印度線	
同	ショート・シピオ級	同 五五五	四	二、二三〇	一四、五二八	五、九四八	一六	二六九	金 複	艇地中海線	
同	シーラ級	シドレー・チーター 二九〇	四	二、二三〇	一四、五二八	四、九二一	三九	一六八	金 複	歐洲線	
アヴロー	六五二型	アームストロング・ジヤガー 四六〇	二	五八〇	三、四〇一	一、一〇九一	八	二六五	混 低單	タクシー英帝國空中路會社	
同	六四二型	ジプシー・メージヨア 一三〇	二	九二〇	五、三一八	一、八五〇	三	二七	混 高單	國內線	
デ・ハヴイランド・ドラゴン	八六型	ジプシー・シックス 二〇五	二	二六〇	二、〇四四	六七八	一〇	一八三	木	複 同	
同	八九型	同 右	二	四二〇	二、二六七	九七四	六	二三五	同	同	
*同	ボールトン・ポールP七一・A型	シドレー・ジヤガー 四二五	二	八五〇	四、三〇八	一、六四二	二	二四一	金	複 郵便專用	
スパータン・クルーザー		ジプシー・メージヨア 一三〇	三	三九〇	二、六三〇	九八〇	五	一九〇	木	低單 國內線	スパータン航空會社

| | | |

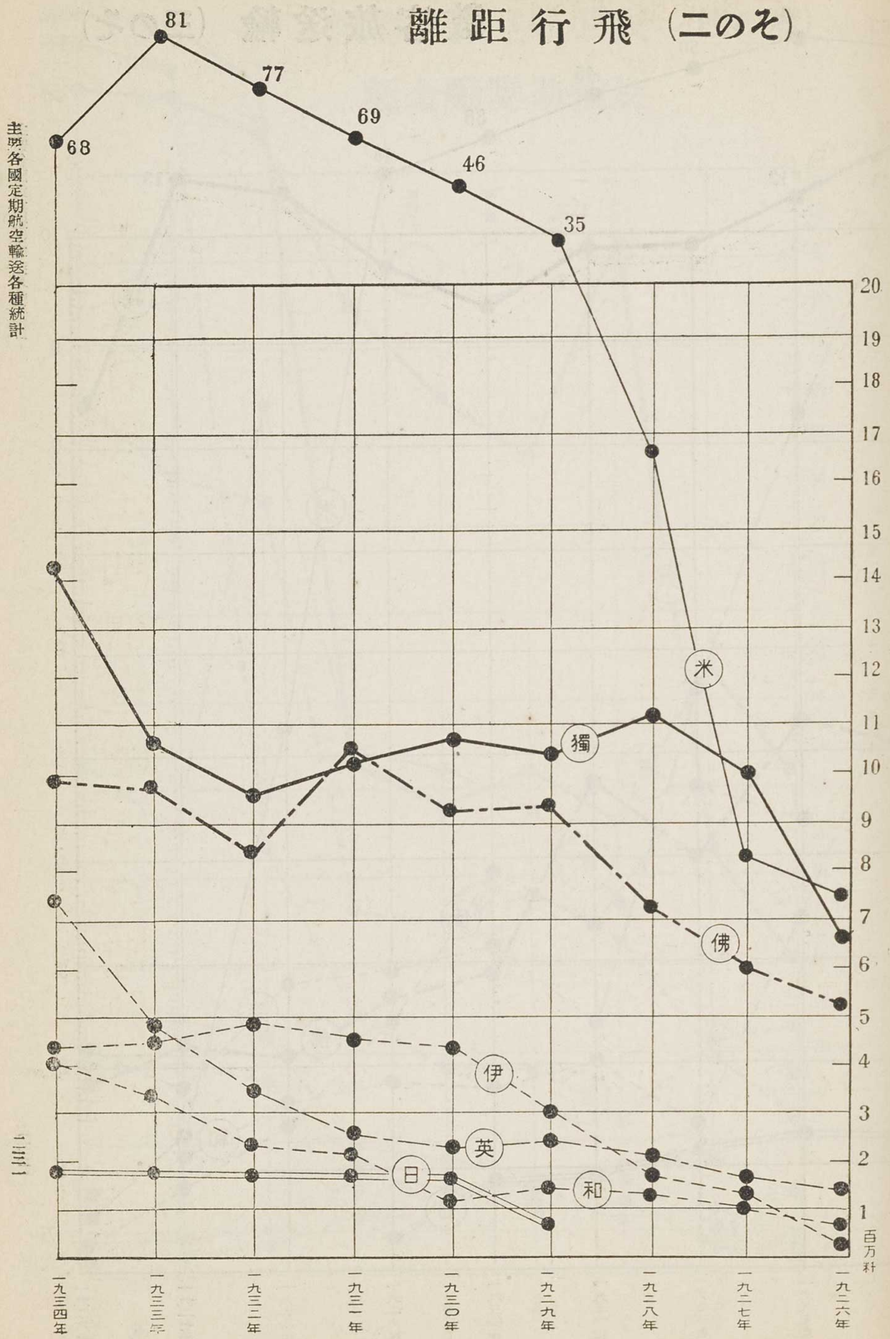
| | | |

主要各國定期航空輸送各種統計

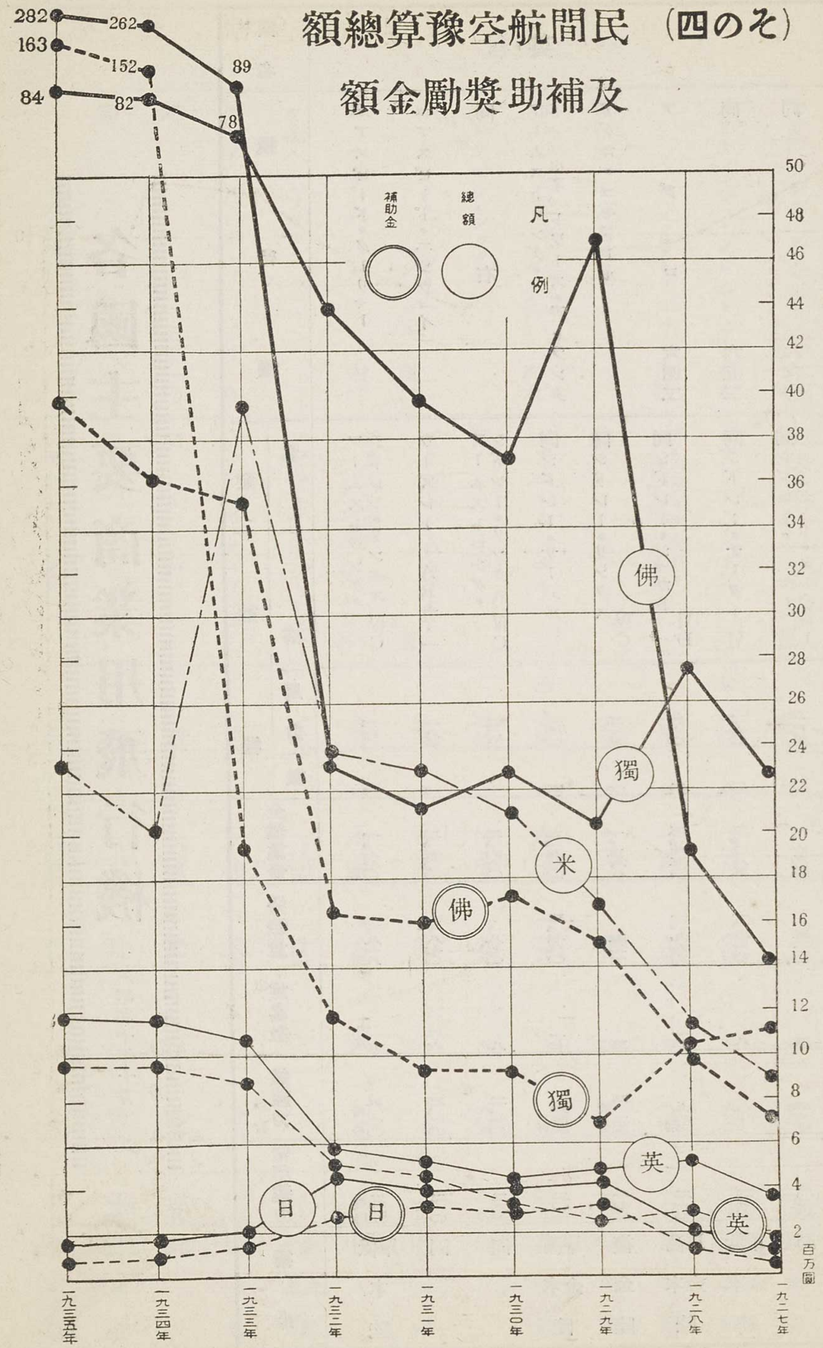
量物便郵及物貨送輸（一のそ）



離距行飛（二のそ）

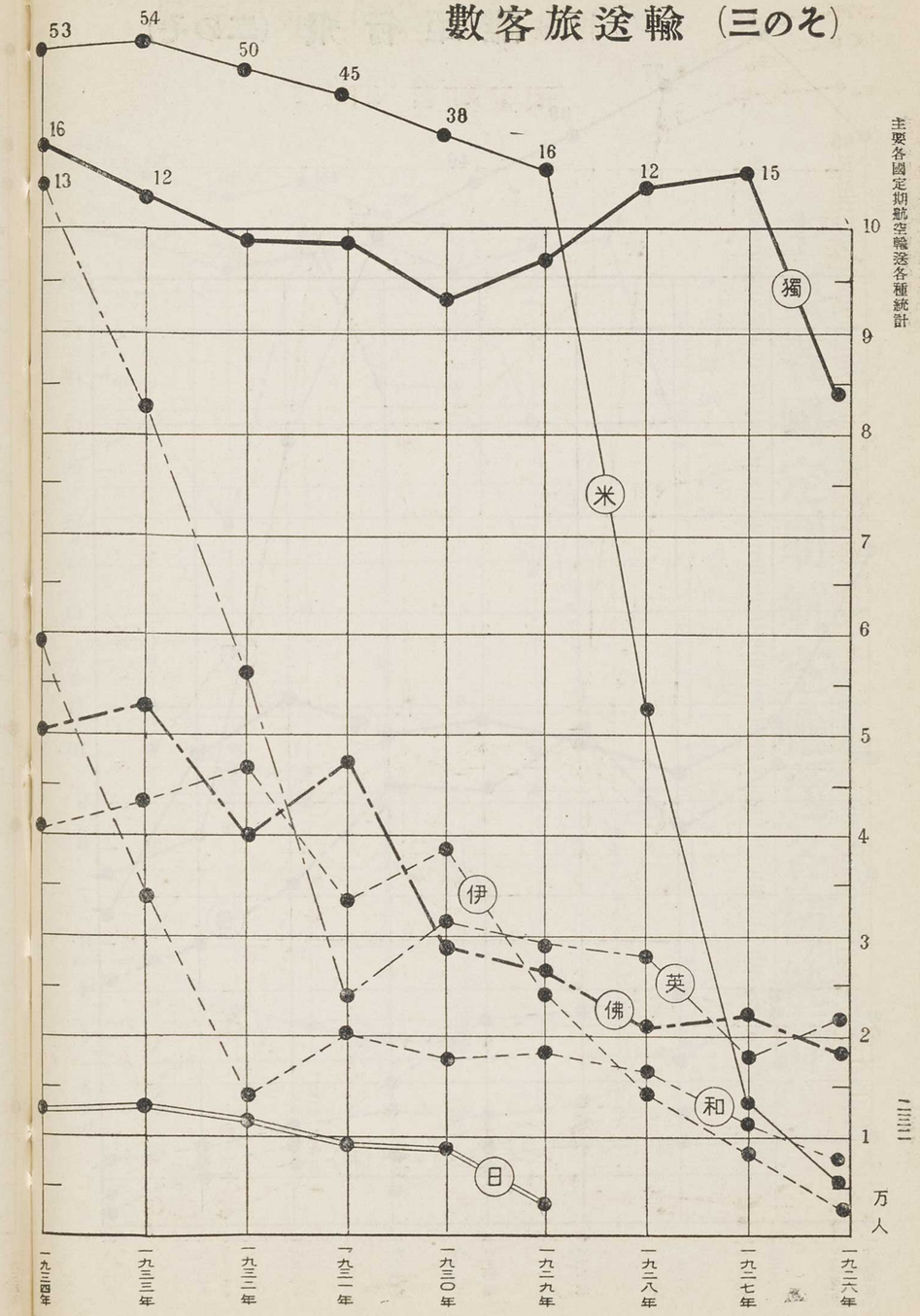


民間航空豫算總額及補助獎勵金額（そのの四）



主要各國定期航空輸送各種統計

輸送旅客數（そのの三）



主要各國定期航空輸送各種統計

各國主要商業用飛行機

（昭和十年十月）

國名	飛行機	發動機 名稱	發動機 馬力	發動機 數	全備重量	搭載量	旅客數	航續力	常用速力	構造
英	エアスピード・クーリャー	アームストロング・シドレー・リンクス ⅣC	二四〇	一	一、七七一 瓩	八一八 瓩	五 人	五、〇〇 時分	二三九 粁時	低單木陸
	エアスピード・エンヴォイ	ウーズレー AR九・一	一八五	一	二、五〇〇	八七〇	六	三、三〇	二一〇	同
	同右	アームストロング・シドレー・リンクス ⅣC	二三三	—	二、六六〇	八七〇	八	二、三〇	二三五	同
	アームストロング・ホイットワース・アトランタ	同シドレー・サーバル	三四〇	四	九、五三〇	三、七三〇	一七	六四四 粁	二〇一	高木單金陸
	アヴロ・コモドール	同シドレー・リンクス ⅣC	二一五	一	一、五八八	五三一	三	四、二五 時分	一七二	複金陸
	アヴロ 六四二	同シドレー・ジャガー ⅥD	四六〇	二	五、三五二	一、九九六	一二	九六五 粁	二一七	高木單金陸
	同 六五二	同シドレー・チーター Ⅵ	二九〇	二	三、〇八五	一、〇一六	八	—	二五七	低木單金陸
	同 六六〇	同シドレー・ジェネット・メージャー	一三五	二	一、六三三	五二六	五	五一五	二二六	同
吉	ブールトン・アンド・ポール P七一A	同シドレー・ジャガー Ⅵ	四〇〇	二	—	—	七	六七〇	二四〇	複金陸
	ブリティッシュ・クレム・イーグル	ジプシー・シックス	一八五—二〇〇	一	一、〇九〇	四〇四	二	九六〇	二三七	低單木陸
	デ・ハヴィランド・ドラゴン 八四	デ・ハヴィランド・ジプシー・メージャー	一三〇	二	二、〇四三	九八三	六	八九六	一八二	複木陸
	同レオパード・モス	同右	一三〇	一	一、〇一〇	三八六	二	—	一九三	高單木陸
	同エクスプレス・エァー・ライナー 八六	ジプシー・シックス	一九〇—二〇五	四	四、一七五	一、六七〇	—	—	二三二	複木陸
	同ドラゴン・シックス	同右	二〇〇	二	二、二七五	九七九	八	九四五	二二四	同
	ハンドレー・ベージ・ハンニバル 四二	ブリストル・ジュピター Ⅺ	五五〇	四	一三、六五〇	五、〇〇〇	一八	—	一五二—一六九	複金陸
	同ヘラクルス 四二	ブリストル・ジュピターXFBM	五五〇	四	一三、六五〇	五、八〇〇	三八	—	一五三—一六九	同
	マイルス・ファルコン	ジプシー・メージャー	一三〇	一	一、〇四四	四五四	二	—	—	低金單木陸
	モノスパー ST四	ポブジョイ・ナイアガラ	九〇	二	一、一五七	四八五	三	八六八	一九三	低單金陸
	同 ST一〇	同右	九〇	二	一、一五九	四九一	三	九四〇	二〇九	同
	同 ST一一	同右	九〇	二	一、一八二	四九一	三	一、〇三〇	二二八	低單金陸
	パーシヴァル・ガル	ジプシー・シックス	二〇〇	一	一、〇四四	三八一	二	八〇〇	二四三	低單木陸

利	サロー・カッティー・サーク	アームストロング・シドレー・ヂェネット・メージャー	一五〇	二	一、七六八	五三一	三	三、三〇	一三七	單木水陸金兩用
	サロー・クロード	ネピア・ラピヤー	三四〇	二	四、四〇三	一、四七五	八	四、〇〇	一六四	同
	ショート・シピオ	ブリストル・ジュピターXFBM	五五五	四	一四、五二八	五、九四八	一五	七二〇粁	一六八	複金艇
	ショート・シーラ	ブリストル・ジュピターXFBM	五五五	四	一四、五三〇	—	—	—	一六八	複金陸
	ショート・シオン	ポブジョイ・ナイアガラ	九〇	二	一、三六〇	五八五	五	五六〇	一六四	高單金陸
	スパルタン・クルーザー	デ・ハヴィランド・ジプシー・メージャー	一三〇	三	二、六三〇	九七五	九	—	一九〇	低單木金陸
佛	ブレゲー 三九T	グノーム・ローン 七K	三五〇	三	四、五〇〇	二、二〇〇	一〇	一、〇〇〇	二四五	複金陸
	コードロン・フアレーヌⅧ	ルノー・ベンガリー	一二〇	一	一、一〇〇	四〇〇	三	一、五〇〇	一五五	高單木陸
	コードロン C四四〇	ルノー	二一〇	二	三、〇〇〇	一、七九〇	六	二、〇〇〇	二一〇	低單木陸
	クーヂネ 一一〇	サルムソン	一三五	三	二、九〇〇	一、〇六〇	四	一、二〇〇	二三〇	同
	同 七〇 アル・カン・シエル	イスパノ・スヰザ 一二Nb	六五〇	三	一六、七九〇	九、四八〇	貨物郵便物	六、八〇〇	二三六	同
	同 一〇一	ポブジョイR	七五—八五	三	一、四二〇	五二〇	二	八八五	二二〇	同
	デヴォアチーヌ D—三三三	イスパノ・スヰザ 九V	五七五	三	八、三九八	四、一四四	八	—	—	低單金陸

蘭	同 D—三三四	同 右	五七五	三	八、三九八	四、一四四	三〇	—	—	同
	同 D—三三五	同 右	五七五	三	八、三九八	四、一四四	二〇	—	—	同
	ファルマン F—四〇二	ロレーン	一〇〇—一二〇	一	一、一〇〇	—	二	一、〇〇〇	一七〇	高單木陸
	同 F—四三〇	ジプシー・メージャー	一三〇	二	二、〇五〇	八五〇	五	一、〇〇〇	—	低單木陸
	ラテコエール 三〇—一	イスパノ・スヰザ 一二Nbr	六五〇	四	二三、〇〇〇	一一、七〇〇	郵便物	四、八〇〇	—	單金艇
	同 三八—〇	同 右	六五〇	二	九、九二〇	四、五九七	郵便物	四、八〇〇	—	同
	同 五〇—〇	イスパノ・スヰザ	四〇〇	三	九、八一六	五、三七〇	郵便物	四、八〇〇	—	同
	同 五〇—一	同 一二Jb	四〇〇	三	六、二〇〇	二、四八〇	一〇	—	—	同
	リオレ・エ・オリヴィエ LEO—二一	ルノー 一二Jc	四五〇	二	五、七〇〇	二、五五〇	一八	—	一七五	複金陸
	同 H—二四—二	グノーム・ローン 七Kd	三五〇	四	八、四〇〇	三、九五〇	一〇	一、〇〇〇	—	單木金艇
	同 H—二七	イスパノ・スヰザ 一二Nbr	六五〇	四	一八、二〇〇	—	—	四、〇〇〇	—	單金艇
	同 H—一九九	グノーム・ローン・チタン K—7	三〇〇	二	三、八五〇	一、五五〇	五	—	—	複木金艇
西	ポテ 五八	ポテ 六B	一二〇	一	九〇〇	三九〇	二	一、二〇〇	一六〇	高單木陸

米

| | | |

國											
同	同	同	同	同	ワコ	ヴァルテー	ライト・サイクロン	伊太利	ブレダ	ライト・サイクロン	國
モデルD	ライト・ホワールウインド R九七五E二	ヤコブL—四	モデルF三	ワーナー・スカラブ モデルF	コンチネンタル R六七〇 モデルC	V—一A	F—二		三二	ブラット・アンド・ホイットニー・ワスプ ジュニオール	
四一〇	七二五	二二五	二二五	一二五	二一〇	七二五	七二五		三一〇	三一〇	七二五
一	一	一	一	一	一	一	一		三	三	一
一、七二五	一、一三五	八六一	一、一三五	一、三六二	三、八六〇				六、四九一		三、八六〇
七五八	四三五	三三九	四三五	五六五	一、四一七				二、六九六		一、四一七
一	二	二	二	三	八				一一		八
一、一六〇	六〇〇	五七六	二〇五	六一六	三四	低金陸			一、二四四	低金陸	
二六六	同	同	同	一九二	単金陸				二一〇	単金陸	
				複木陸					一八〇	複木艇	
										高金陸	
										高木陸	
										低金陸	
										高木陸	
										複木艇	
										低金陸	
										高木陸	
										単金陸	
										高木陸	

蘭											和										太利										太利	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
F・K・五〇	F・K・四八	F・K・四三	コール・ホーフェン F・K・四〇	F・三六	ライト・サイクロン R一八二〇F—三	F・二〇	F・一八	フォッカー F・一二	ブラット・アンド・ホイットニー・ワスプ S一D一	ライト・サイクロン SGR一八二〇F—二	ブラット・アンド・ホイットニー! ワスプ T一D一	F・二二	ライト・サイクロン R一八二〇F—三	F・一〇	同	ジプシー・メージャー	ホフナー HS一〇三二	ラモール	ジプシー・メージャー	K	ブラット・アンド・ホイットニー・ワスプ ジュニオール	コロンボ S六三	イソタ・フラスキーニ・アソセミ・アソ	ロレーン	ロメオ・リンクス 一〇五	フィアット A五四	フィアット C二	サヴォイア・マルケッチ S六六	同	ピアジオ・ステラ Ⅶ	S七一
ブリストル・ペガサス	同 右	ジプシー・メージャー	プラット・アンド・ホイットニー・ワスプ ジュニオール	ライト・サイクロン SGR一八二〇F—二	プラット・アンド・ホイットニー! ワスプ T一D一	プラット・アンド・ホイットニー・ワスプ S一D一	同 右	プラット・アンド・ホイットニー・ワスプ S一D一	ライト・サイクロン R一八二〇F—三	プラット・アンド・ホイットニー・ワスプ S一D一	ライト・サイクロン R一八二〇F—三	プラット・アンド・ホイットニー・ワスプ S一D一	ライト・サイクロン R一八二〇F—三	プラット・アンド・ホイットニー・ワスプ S一D一	同	ジプシー・メージャー	ジプシー 一		ジプシー・メージャー	K	プラット・アンド・ホイットニー・ワスプ ジュニオール	コロンボ S六三	イソタ・フラスキーニ・アソセミ・アソ	ロレーン	ロメオ・リンクス	フィアット A五四	フィアット C二	同	同	ピアジオ・ステラ Ⅶ	S七一
七〇〇	七五〇	五五〇	五五〇	七一三	五一五	五五〇	七、七五〇	三、二〇〇	一六	一、四〇〇	二四三	単金陸	一三〇	一	八六〇	三五〇	二	—	一八〇	単金陸	三一〇	二一五	二、〇〇〇	一〇〇—一三〇	一、〇〇〇	一、四五〇	一、〇〇〇	七〇〇	三	一、二四四	二一〇	単金陸
四	三	二	一	四	四	三	三	三	一四	一三	三三	高木陸	一	一	七八〇	—	三	七〇〇	一四	低木陸	三	二	一	一	一	一	三	一	—	一八〇	複木艇
一二、二〇〇	九、四〇〇	七、〇〇〇	二、〇〇〇	一六、六〇〇	一二、七〇〇	九、四〇〇	七、八五〇	三、八〇〇	一、七〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	単金陸	一、一五〇	二、一〇〇	一、一五〇	一、一五〇	一、一五〇	一、一五〇	一、一五〇	単金陸	一、一五〇	一、一五〇	一、一五〇	一、一五〇	一、一五〇	一、一五〇	一、一五〇	一、一五〇	一、一五〇	一、一五〇	一、一五〇	高金陸
六	五	四	三	二	一	一	一	一	一	一	一	高木陸	一	一	一	一	一	一	一	高木陸	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	高木艇
六、〇〇〇	二、七〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	四、七〇〇	三、二〇〇	二、七〇〇	二、一五〇	九〇〇	四〇〇	三〇〇	三〇〇	単金陸	三〇〇	六〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	単金陸	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	高金陸
二	二	二	一	二	二	二	二	二	二	二	二	高木陸	二	二	二	二	二	二	二	高木陸	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	高木艇
六、一〇〇	二、〇〇〇	一、七〇〇	一、〇〇〇	二、六〇〇	二、〇〇〇	一、七〇〇	一、四〇〇	五〇〇	二〇〇	一五〇	一五〇	単金陸	一五〇	三〇〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	単金陸	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	高金陸
三	二	一	一	二	二	一	一	一	一	一	一	高木陸	一	一	一	一	一	一	一	高木陸	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	高木艇
五〇〇	一、〇〇〇	八五〇	五〇〇	一、三〇〇	一、〇〇〇	八五〇	七〇〇	二五〇	一〇〇	七五	七五	単金陸	七五	一五〇	七五	七五	七五	七五	七五	単金陸	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	高金陸
二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	高木陸	一	一	一	一	一	一	一	高木陸	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	高木艇
二、六〇〇	一、〇〇〇	七〇〇	五〇〇	一、三〇〇	一、〇〇〇	七〇〇	七〇〇	二五〇	一〇〇	七五	七五	単金陸	七五	一五〇	七五	七五	七五	七五	七五	単金陸	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	高金陸

	バンダー・ポストジャガー	ソヴイエート	A	N	T	九	グノーム・ローン・チタン	同	一四	ジュピター九AKK	二三〇	三	五、〇四〇	一、六九〇
	ライト・ホワールウインド		同			一四	ジュピター九AKK				四八〇	五	一七、三三〇	六、六八〇
			エール			五	ライト・ホワールウィンド J—四B				二〇〇	一	一、三九〇	五八〇
			同			六	M—一一				一〇〇	一	九六三	三八〇
			カリーニン	K		五	M—一五				四五〇	一	三、五〇〇	一、五〇〇
			同			K六	グノーム・ローン・ジュピター				四一〇	一	—	郵便物
			スタール			二	M—二六				三〇〇	一	一、八〇五	七七五
	ライト・ホワールウインド	波蘭	ルブラン	R		一六	ライト				二一〇	一	一、〇〇〇	六一〇
			P											
			W	S		五四T	スコダ・ライト				二一〇	一	一、五二〇	四〇〇
			Z											
			L			Ⅳ	同			J五a	—	三	五、八〇〇	一、七〇〇
		ナカ	フェアチャイルド			七一	プラット・アンド・ホイットニー・ワスプ一D一				五一〇	一	三、〇八七	一、三五八
		ダ	同					同		ワスプC	四一〇	一	二、七二四	一、二七〇
		ブガアリ	D					同			一四五	三	二、一七〇	八四〇
			A											
			R			四	ワルター・マールス				一四五	三	二、一七〇	八四〇
		チゼアンルン	A								四五〇	二	二、八一〇	一、〇二〇
			e											
			T			一	ロレーン				四五〇	二	二、八一〇	一、〇二〇
		瑞典	スペンスカ・ウィキング								一四五	一	六五〇	—
		瑞西	コンテ			AC八	ライト			J六	三〇〇	一	一、一五〇	六三五
			ドルニエ			DOX	カーチス・コンケラー				六〇〇	一三	五六、〇〇〇	二六、〇〇〇

主要各國民間飛行場數

（昭和十年十月調）

國名	飛行場の種別	合計
英吉利（英蘭竝愛蘭）		
一、公共用飛行場		
（イ）國有飛行場		三五
（ロ）市有飛行場		四
（ハ）飛行倶樂部所有飛行場		一〇
（ニ）私有飛行場		四
二、非公共用飛行場		一七
（イ）國有飛行場		三六二
（ロ）市有飛行場		一
（ハ）飛行倶樂部所有飛行場		三
（ニ）私有飛行場		四
（ホ）遊覽飛行用假飛行場（私有）		二五
		三二九
佛蘭西		三九七
一、陸上税關飛行場		一四
二、陸上飛行場 公共用 非公共用		四四
三、水上税關飛行場		二二
四、水上飛行場 公共用 非公共用		四
五、不時著陸場		二
		二四
		一一二
獨逸		
第一級飛行場 陸上飛行場（税關飛行場一六を含む）		二七
水上飛行場（税關飛行場二を含む）		六
第二級飛行場 陸上飛行場（税關飛行場九を含む）		六一
水上飛行場		四
第一級不時著陸場		二三
第二級不時著陸場		一一〇
		二三二
北米合衆國		
一、陸上飛行場		
（イ）市立飛行場		七〇二
（ロ）私立飛行場		五七〇
（ハ）商務省著陸場		二五九
（ニ）不時著陸場		五八〇
（ホ）聯邦、州及市有飛行場（專用）		一〇四
		一、三三四
二、水上飛行場		
（イ）一級水上飛行場		四一

	（ロ）二級水上飛行場	七八
伊太利	一、陸上稅關飛行場	二二
	二、陸上飛行場	一五
	三、水上稅關飛行場	一七
	四、水上飛行場	一三
		六七
和蘭	一、國際航空用飛行場	五
	（イ）陸上稅關飛行場	四
	（ロ）水上稅關飛行場	一
	二、國內航空用飛行場	三
	三、不時著陸場	六
	四、軍用飛行場にして不時著陸の場合に使用し得るもの	一六
	（イ）不時著陸場	一四
	（ロ）不時著水場	二
		三〇
白耳義	一、公共用陸上稅關飛行場	二
	二、公共用陸上飛行場	五
	三、公共用水上飛行場	一
	四、非公共用陸上飛行場	一一
	五、不時著陸場	九
		二八
瑞西	一、陸上稅關飛行場	七
	二、水上稅關飛行場	一一
	三、陸上飛行場	五
	四、不時著陸場	一五
		三八
加奈陀	一、公有陸上飛行場（稅關飛行場一二を含む）	三九
	二、私有陸上飛行場（著陸場五を含む）	七
	三、不時著陸場	一
	四、公有水上飛行場（稅關飛行場二を含む）	七
	五、私有水上飛行場	四
	六、公有著水場	四
	七、私有著水場	一五
		七七

世界主要航空機並製作會社

凡例

（1） 配列の順序は先づ各國名頭字の五十音順に從つて配列し、各國内に於ける製作會社の順序は各その會社名頭字の五十音順によつて配列し、會社名の下にアンダーラインを附す、又各會社内の航空機はその建造年月の古きものより列記せり。

（2） 建造年月欄に於ては總て 1900 年を略し、例へば 1936 年を單に 36 と記載せり。

（3） 主材欄の翼及胴は何れも第一字目は骨格、第二字目は被覆の材料を示し、中央にあるものは骨格被覆とも同種材料なることを示す。その略字は次の如し

木——木製骨格
ヂ——ヂユラルミン骨格又は被覆
鋼——鋼鐵製骨格（特殊鋼製を含む）
ア——アルミニウム合金骨格又は被覆
輕——特殊輕合金製骨格又は被覆
金——以上の範疇に入らざるか又は種類不明の金屬製骨格又は被覆
布——羽布により被覆されたるもの
板——合板により被覆せられたるもの

（4） 用途欄中の略字次の如し

ス——スポーツ機 (Sporting machine)
練——練習機 (Training machine)
競——競爭機 (Racing plane)
旅——旅行機 (Touring machine)
通——通信機 (Newo carrier)
客——旅客機 (Passenger plane)
輕客—輕旅客機 (Passenger light plane)
貨——貨物輸送機 (Freigeit carring machine)
郵——郵便機 (Mail-carrier)
測——地上測量機又は氣象觀測機
輕——輕飛行機 (Light plane)
戰——戰闘機 (Fighter)
追——追撃機 (Pursuit machine)
偵——偵察機 (Reconnaissance machine)
哨——哨戒機 (Patrol machine)
爆——爆撃機 (Bomber)
攻——攻撃機 (Attack plane)
雷——雷撃機 (Torpedo bomber)
艦戰——艦上戰闘機
艦偵——艦上偵察機
艦攻——艦上攻撃機
軍輸——軍用輸送機 (Military transport machine)
患輸——患者輸送機 (Ambulance machine)

各機の用途は大部分その主要なるものを代表的に記載したるも特に二種の略字を併記して兼用を示したるものあり。

（5） 座席欄中旅客機及輸送機のものは旅客及乘員の合計座席數を示す。

（6） 發動機名稱欄中の略字次の如し。

プ・ウイ——プラット・ウイットネー
ア・ス——アームストロング
デ・ハ——デ・ハビランド
ロ・ロ——ロールス・ロイス

（7） 發動機型式欄中第一字目は冷却法、第二字目は氣筒の配列型を示す。

その略字次の如し

空——空氣冷式 (Air-cooled engine)
水——水冷式 (Water-cooled engine)
プ——プレストン冷却式 (Prestone-cooled engine)
蒸——蒸發式冷却 (Evaporative cooling)
星——星型 (Radiale engine)
併——併列型 (Ⅱ-type engine)
Y——Y 型 (Y-type engine)
扇——扇型 (Fan type engine)
一——一字型 (Horizontal opposed engine)

（8） 備考欄の（陸）は陸上機、（水）は水上機、（交）は水陸交替機、（兩）は水陸兩用機の略。

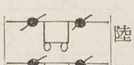
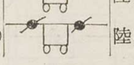
建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 米	性能 上昇率 秒	性能 航續力 千粁	機型	備考

アメリカ

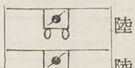
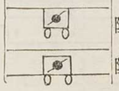
アトランテイツク The Atlantic Aircraft Corp., (Hasbrough Heights, N. Y.)

27	XLB—2			爆	4	プラット	空・星	1×850	23.3	15.6		69.50		5.45							陸

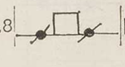
アツパーシユー・バーネリ The Uppercu Burnelli Aircraft Corporation. (Keyport, New Jersey.)

34		チ	ヂ	客	14	ライト・サイクロン	空・星	2×725	21.7	13.4	3.05	63.73	3.62	6.36	376	96	6.7	427			陸（引込脚）
35	UB—14B	木板	鋼	客	14	プ・ウイ・	空・星	2×700	21.7	13.1	3.05	63.73	3.63	6.35	362	101	6.7	427	2.0		陸（引込脚）

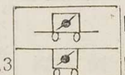
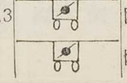
アメリカン・イーグル・リンカーン The American Eagle-Lincoln Aircraft Corporation. (Fairfax Airport, Kansas city, Kansas.)

32	イーグレツド	木布	鋼布	輕	2	スゼクリー	空・星	1×45	10.5	6.55	2.40	15.27	0.23	0.42	144	40	4.4	264			陸
32	イーグルリンカーン A—P	木布	鋼布	客	3	キンナ K—5	空・星	1×100	11.3	7.90	2.50	19.17	0.60	0.98	179	768	3.4	152			陸
32	〃 P. T	木布	鋼布	練	2	ワーナー	空・星	1×110	9.9	7.96	2.80	27.60	0.55	0.81	173	51	4.3	265			陸

アメリカン・ヂヤイロ The American Gyro Company. (Denver, Colorado.)

35	クルーセーダ	輕	鋼輕	旅	4	メナスコ	空・星	2×125	11.0	6.60	2.21	19.10	0.91	1.36	375	885	4.7	305	0.8		陸（引込脚）

アレクサンダー The Alexander Aircraft Mechanics Inc. (Colorado Springs, Colorado.)

32	イーグルロツク	木布	鋼布	輕	3	ライト・ワールウインド	空・星	1×165	11.2	7.80	2.90	30.60	0.75	1.18	189	64	4.0	220			陸
32	D—1	木布	鋼布	輕	2	コンチネンタル A—40	空・一	1×45	11.5	6.50	1.70	16.25	0.26	0.41	128	45	2.5	100	0.3		陸
32	D—2	木布	鋼布	輕客	2	スゼクリー	空・星	1×45	11.5	6.50	1.70	16.25	0.27	0.45	149	48	4.0	213			陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千米	性能 上昇率 米/分	性能 航續力 千粁	機型	備考
	アルコー The Alhambra Airport & Air Transport Company. (Alhambra Airport, Cal.)																				
35	Duo—6	木板	輕板	客貨		メナスコ・バツガア	空・併	2×210	12.8	8.69	2.89	26.19	1.33	2.31	304	92	5.6	427	1.1		陸
	アロー The Arrow Aircraft and Motors Corporation. (Lincolnk, Neb Raska.)																				
32	6 0	木布	鋼布	ス	2	ルブロン	空・星	1×60	7.70	5.80	2.25	17.00	0.40	0.60	160	48	4.2	270	—		陸
32	6 6	木布	鋼布	ス	2	ルブロン	空・星	1×85	7.80	6.10	2.36	17.00	0.42	0.65	168	52	4.2	240	—		陸
32	パシユート	木布	鋼布	ス	2	キンナ K—5	空・星	1×100	7.70	5.90	2.50	14.00	0.45	0.70	176	56	4.8	350	—		陸
35	F	木布	鋼布	輕	2	フオードV—8	水・併	1×	9.76	6.50	2.69	13.90	—	0.68	176	64	4.9	—	—		陸
	イー・エム・レアード The E. M. Laird Airplane Company. (5,301 56th Street, Chicago. Illinois.)																				
32	B—300	ヂ	ヂ	客	3	ライト・ワールウインド J—5	空・星	1×220	11.10	7.70	3.02	28.00	0.70	—	210	73	—	451	—		陸
32	DW—500	木布	鋼布	競	1	プ・ウイ・ワスプ・ジユニア	空・星	1×510	6.40	5.90	1.90	10.40	0.71	—	352	—	—	—	—		陸
33	スピードウイング	木布	ヂ	輕	3	ライト・ワールウインド J—6	空・星	1×300	8.50	6.90	2.70	18.70	0.87	1.36	210	73	6.7	488	—		陸
35	EW—450	木布	鋼	客	6	プ・ウイ・ワスプ C	空・星	1×450	11.57	8.38	2.64	23.20	14.5	2.43	322	94	6.4	—	1.4		陸
	ヴアイキング The Viking Flying Boat Company. (New Haven Municipal Airport, Conn.)																				
31	キテイホーク	木布	鋼布	客	4	キンナ 5	空・星	1×125	8.53	6.90	2.61	21.70	0.53	0.89	176	61	5.5	—	—		陸
32	V2	木布	木布	客	4	ライト・ワールウインド	空・星	1×240	13.20	8.90	3.10	37.30	1.05	1.57	168	74	4.3	180	—		
	ヴアルテイー The Airplane Development Corpoation. (Glendale, California.)																				
35	V—11			爆	2	ライト・サイクロン SR-1820-F S2	空・星	1×820	15.3	11.3	3.05	35.67	2.36	4.74	335	113	6.5	244	4.3		陸(引込脚)
35	V—11			爆	2	ライト・サイクロン SR-1820-F S3	空・星	1×820	15.3	11.3	3.05	35.67	2.36	4.74	348	113	7.4	217	4.4		陸(引込脚)
35	V—11			攻地	2	S2	空・星	1×750	15.3	11.3	3.05	35.67	2.36	3.86	364	105	7.8	397	2.4		陸(引込脚)
35	V—11			攻地	2	S3	空・星	1×750	15.3	11.3	3.05	35.67	2.36	3.86	382	105	8.5	381	2.5		陸(引込脚)
	ヴアンス The Vance Aircraft Corp., (Troy Ohio.)																				
33	フライングウイング			郵	1	プラツト	空・星	1×660	16.8	9.15		46.00		5.45	265		3.9		1.2		陸
	ウイリ・ポスト The Wiley Post Aircraft Corpo Rtion. (Oklahoma city, Oklahoma.)																				
35	A	木布	鋼布	輕	2	フオード變形A型	水・併	1×40	8.17	6.01	2.35	19.13	0.28	0.45	130	40	3.7	138	0.2		陸
	ウアコ The waco Aircraft Company. (Troy, Ohio.)																				
32	RBA	木布	鋼布	ス	2	ワーナ・スカラブ	空・星	1×110	8.90	6.40	2.62	22.40	0.57	0.88	168	64	3.9	153	0.6		陸
32	UBA	木布	鋼布	ス	2	コンチネンタル R—670	空・星	1×210	8.90	6.40	2.62	22.40	0.64	1.02	211	67		458			陸
32	UEC	木布	鋼布	客	6	〃 R—670	空・星	1×210	10.0	7.56	2.60	22.30	0.77	1.23	208	78	4.4	305			陸
32	OEC	木布	鋼布	客	6	キンナ C—5	空・星	1×210	10.0	7.56	2.60	22.30	0.77	1.23	213		4.6				陸
32	BEC	木布	鋼布	客	6	ライト R—540	空・星	1×165	10.0	7.56	2.60	22.30	0.76	1.23	194	78	4.0	214			陸
32	M.N.F	木布	鋼布	ス	3	メナスコ・パイアリツト	空・星	1×125	8.98	6.39	2.54	22.40	0.52	0.86	184	52	4.8				陸
32	F	木布	鋼布	客	5	ワーナ・スカラブ	空 星	1×110	8.98	6.39	2.54	22.40	0.52	0.86	173	51	4.6				陸
32		木布	鋼布	客	5	キンナ K—5	空 星	1×100	8.98	6.39	2.54	22.40	0.51	0.85	184	51	4.9				陸
33	(F2) PBF	木布	鋼布	客	5	ジャコブス LA-1	空・星	1×170	8.90	6.30	2.60	22.40	0.61	1.04	195	67	4.4	260			陸
33	(F2) UBF	木布	鋼布	客	5	コンチネンタル R—670	空・星	1×210	8.90	6.30	2.60	22.40	0.63	1.04	211	67	4.8				陸
33	240 A			戰	1	ライト	空・星	1×240	9.32	6.89	2.74	26.76	0.73	1.17	206	74	5.4	320			陸
33	240AH			戰	1	ライト	空・星	1×240	9.32			26.76									陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/分	性能 航續力 千粁	機型	備考
33	300 T			戰	1	ライト	空•星	1×300	9.27	6.88	2.74	21.10	0.72	1.17	255	92	6.1	450			陸
34	D	木布	鋼布	戰	2	プ•ウイ•ワスプジュニアT—3A	空•星	1×420	9.98	7.60	2.70	23.70	0.97	1.73	312	85	6.8	550			陸
34	D	金布	ヂ	偵	2	T—3A	空•星	1×450	9.97	7.64	2.73	23.70	0.97	1.73	330	85	6.9	220	1.2		陸
34	D	木布	鋼布	偵	2	ライトワールウインド R—975—E	空•星	1×420	9.98	7.64	2.73	23.70	0.97	1.73	333	85	6.8	458	1.2		陸
35	Cスタンダード	木布	鋼布	客輕	4	コンチネンタル R—670	空•星	1×210	10.1	7.68	2.59	22.30	0.80	1.36	230	85	4.0	229	0.6		陸
35	Cスタンダード	木布	鋼布	客輕	4	ジャコブスL—4	空•星	1×225	10.1	7.73	2.59	22.30	0.82	1.36	238	85	4.6	244	0.7		陸
35	Cスタンダード	木布	鋼布	客輕	4	ライトワールウインド R—760—E	空•星	1×250	10,6	7.79	2.66	24.50	0.90	1.45	243	83	4.9	259	0.8		陸
35	Cカスタム	木布	鋼布	客輕	4	コンチネンタル R—670	空•星	1×210	10.7	7.72	2.52	22.18	0.86	1.41	241	85	4.3	216	0.7		陸
35	Cカスタム	木布	鋼布	客輕	4	ジャコブス L—4	空•星	1×225	10.7	7.77	2.52	22.18	0.87	1.41	249	85	4.9	231	0.7		陸
35	Cカスタム	木布	鋼布	客輕	4	ライトワールウインド R—760—E	空•星	1×250	10.7	7.75	2.52	22.18	0.91	1.45	262	88	5.2	259	1.0		陸
35	F—5	木布	鋼布	輕	3	ジャコブス L—4	空•星	1×225	9.15	7.00	2.60	21.70	0.70	1.14	235	75	4.4	335	0.6		陸
35	F—5	木布	鋼布	輕	3	コンチネンタル R—670	空•星	1×210	9.15	7.00	2.60	21.70	0.67	1.14	229	75	4.5		0.6		陸

ウエデル・ウイリアムス The Wedell-Williams Air Service Corporation. (Patterson, Louisiana.)

31	4 4	鋼布	鋼ア	競	1	プ•ウイ•ワスプジュニア	空•星	1×550	7.97	6.48											陸

ヴオート The Chance Vought Corporation. (East Hartford, Conn.)

25	UO—1A			偵	2	ライトワールウインドT	空•星	1×200	10.3	7.40			0.64	1.06	197	65	5.6	268			交
26	O2U—1a			偵	2	プ•ウイ•	空•星	1×400	9.14	6.71					254		6.7	426	3.3		陸
32	O3U—1 コーセア	木布	鋼布	偵	2	プ•ウイ•ワスプ C	空•星	1×450	10.9	7.64	3.06	29.60			221	98	4.9	247			交
32	V—70 コーセア	木布	鋼布	偵	2	プ•ウイ•ホーネット R—1690—C	空•星	1×600	11.2	8.00		30.24			278	93	6.8	503			陸
32	OSU—1			偵	2	プ•ウイ•ワスプ C	空•星	1×450	10.9	7.64	3.06	29.60			220	95	4.9	240			兩
33	V-65コーセア	木布	鋼布	戰偵	2	プ•ウイ•ホーネット R—1690—C	空•星	1×600	11.2	8.00	3.30	30.24			289	95	6.1	472			交
33	V-80コーセア	木布	鋼布	戰	1	プ•ウイ•ホーネット SD	空•星	1×675	11.0	8.41	3.19	31.20	1.49	2.09	316	98	8.5	564			交
33	SU-1 コーセア SU-2	木布	鋼布	艦偵	2	プ•ウイ•ホーネット	空•星	1×600	10.9	8.82	3.29	30.25			274	96	6.3				陸
34	SU-4 コーセア	木布	鋼布	艦偵	2	プ•ウイ•ホーネット	空•星	1×600	10.9	8.32	3.29	30.25									陸
34	V-90 コーセア	木布	鋼布	戰偵	2	プ•ウイ•ホーネット SD	空•星	1×600	11.0	8.36	3.19	31.20	1.40	2.04	296		7.2	396	1.1		陸
35	V-100 コーセア•ジュニア	木布	鋼布	練	2	プ•ウイ•ワスプ•ジュニア SB	空•星	1×400	10.7	8.14	3.18	30.50	1.09	1.62	250	88	6.3	314	0.9		交
35	SBU—1	輕輕	輕輕	偵爆	2	プ•ウイ•トウインワスプ	空•星	1×700													陸

エアロンカ The Aeronautical Corporation of America. (Lunken Airport, Cincinnati, Ohio.)

32	A	木布	鋼	ス	2	エアロンカ E-107-A	空 一	1×30	10.9	6.10	2.28	13.20	0.19	0.31							陸
32	B	木布	鋼	ス	2	エアロンカ E-113	空 一	1×30	10.9			13.20									水
35	C—3	木布	鋼	ス	2	エアロンカ E-113-B	空•一	1×40	10.9	6.10	2.37	13.20	0.26	0.46	149	56	3.7	137	0.3		陸
35	C—70 C—85		鋼布	ス	2	ルブロン 70	空•星	1×70	10.9	6.85	2.13	15.20	0.40	0.68	185	77	4.0				陸

A. A. E. C. The American Airplane & Engine Corporation. (122E. 42nd Street, New-York city.)

32	100—A			客		プ•ウイ•	空•星	1×575	17.4	11.6	3.50	38.30	2.11	3.51	214	104	4.1	220	0.8		陸
32	100—B			客		ライト	空•星	1×575	17.4	11.6	3.50	38.30	2.13	3.51	214	104	4.1	220	0.8		陸

A. A. C. A. A. C. (Port Washington L. J., N. Y.)

32	BB 1			ス	4	キンナ	空•星	1×210	10.3	7.80	3.12	27.16	0.79	1.20	188	61	7.0	380			兩

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千米	性能 上昇率 米/分	性能 航續力 千粁	機型	備考
	A. A. & M. C.																				
35	Arrow			ス	2	フォード V—8	水・併		9.75						177						陸
	A. D. C. Airplane Development Corporation. (Glendale, California.)																				
33	V—1	金ア	金ア	客	9	ライト サイクロン F-2	空・星	1×700	14.6	10.8	2.82	33.56	1.94	3.29	362	105	7.6		1.3		陸(引込脚)
34	V—1A	金ア	金ア	客	10	ライト サイクロン F-2	空・星	1×735	15.3	11·3	2.80	35.69	2.44	3.86	376	96	6.7	300	1.6		陸(引込脚)
35	ヴアルテイー V—11	鋼	鋼	攻爆	2	ライトサイクロン SR—1820-F53	空・星	1×750	15.3	11.5	3.05	35.70	2.50		490						陸(引込脚)
36		鋼		輕	2	ルブロン	空・星	1×90							211	64					
	エバハート The Eberhart Aeroplane & Moter. Co., Inc. (Buffalo, N. Y.)																				
31	"Comenche" (FG—1)	ヂ	輕	艦戰	1	プ・ウイ・	空・星	1×425	8.76	6.76		73.10	0.82	1.16							交
	エムスコ The Emsco Aircraft Corporation (Downey, Cal.)																				
31	B—3	木布	鋼布	客	8	プ・ウイ・ワスプ	空・星	1×425	17.0	12.4	3.40		1.91	3.00	240	80		244			陸
31	B—7	木布	鋼布	ス	2	カーチス チャレンヂャ	空・星	1×170	10.9	7.00	2.50	18.00	0.68	0.95	208	64	5.5	366			陸
	カーチス The Curtiss Aeroplane and Motor Company Inc. (29W. 57th Street New-York City.)																				
27	F7C-1 シーホーク	ヂ	鋼	艦戰	1	プ・ウイ・ワスプ	空・星	1×425	11.6	8.22			0.92	1.26	234		7.1	459	0.6		交
27	XB—2			爆	5	カーチスコンカラ V—1550	水・Y	2×600	27.4	14.5	5.63	139.0	4.16	7.51	209	73	4.7	270			陸
32	F8C—7 ヘルダイヴア	木布	ヂ	艦戰	2	ライトサイクロン	空・星	1×575	9.76	7.92	3.09	28.60	1.18	1.71	230		6.0	315	0.6		陸
32	フォールカン	ヂ布	ヂ布	偵	2	カーチスコンカラ V-1570-C	空・星	1×600	11.6	8.38	3.09	32.30	1.52	2.13	275		6.3	366	0.9		陸
32	O—40A レイヴン	輕金	輕金	偵	2	ライトサイクロン R-1820-E	空・星	1×650	13.4	8.50	3.20	29.20	1.53	2.06	314		7.7	597	0.7		陸(引込脚)
32	LB—10			爆	4	ライト	空・星														陸
32	A—8 シュライク	輕金	輕金	攻	2	カーチス・コンカラ	プ・Y	1×600	13.4	9.75	2.74	23.70	1.77	2.59	315		6.0	475	0.8		陸
33	F9C—2 スパロホーク	ヂ布	ヂ	艦戰	1	ライトワールウインド R-975-E	空・星	1×420	7.70	5.90	2.10	14.30	0.95	1.25	285		6.6	682	0.5		陸
33	P6E ホーク	木布	鋼布	追	1	カーチス コンカラ	プ・Y	1×675	9.60	6.87	2.74	23.40	1.23	1.54	317	104	7.5	620	0.5		陸
33	F11C—2 ゴシヨーク	木布	鋼布	艦戰	1	ライトサイクロン R-1820-F-2	空・星	1×600	9.60	6.80	2.74	23.40	1.35	1.85	309		8.1	508	0.9		陸
33	ホーク 1	木布	鋼布	追	1	ライトサイクロン SR-1820-F-3	空・星	1×715	9.60	6.80	2.97	24.00	1.25	1.65	336	95	9.6				陸
33	ホーク 2	木布	鋼布	追	1	ライトサイクロン SR-1820-F-3	空・星	1×715	9.60	6.80	2.97	23.40	1.52	1.76	335	101	8.6				交
34	F11C—3	木布	鋼布	戰	1	ライトサイクロン F-50	空・星	1×700	9.60	7.17	3.04	24.35	1.44	1.92	393		7.9	725			陸
34	ホーク 3	木布	鋼布	追	1	ライトサイクロン R-1820-F-3	空・星	1×715	9.60	7.17	3.04	24.36	1.45	1.94	380	105	9.8				陸(引込脚)
35	フォールカン	ヂ布	ヂ布	偵	2	ライトサイクロン SR-1820-F-3	空 星	1×700	11.6	8.00	3.09	32.20	1.56	2.16	330	965	8.5	478	0.9		交
34	YO-40A レイヴン	輕布	輕	偵	2	ラトイサイクロン SR-1820	空・星	1×650	13.4	8.55	3.20	31.40	1.64	2.16	291		7.3	524			陸(引込脚)
34	YO-40B レイヴン	輕布	輕	偵	2	ライトサイクロン SR-1820	空・星	1×650	12.7	8.54	3.20	25.25	1.71	2.23	302		7.1	560			陸(引込脚)
35	O3C—1																				陸
35	A—12 シュライク	ヂ	鋼布	攻	2	ライト・サイクロン SR-1820-F	空・星	1×750	13.4	9.60	2.86	26.41	1.77	2.62	308	112	7.0		0.7		陸
	カーチスライト The Curtiss-Wright Airplane Company. (29w. 57th Street New York City.)																				
32	ジュニア	木布	鋼布	ス	2	スゼクリー	空・星	1×45	12.0	6.48	2.2	16.30	0.25	0.4[illegible]	12[illegible]		3.6	180	0.3		陸
32	12Q	木布	鋼布	ス	2	ライトヂプシー	空・併	1×90	8.78	6.50	2.68	19.18	0.48	0.78	164		3.0				陸
32	16E スポーツ	木布	鋼布	ス	3	ライトワールウインド R-540-E	空・星	1×165	8.80	6.40	2.70	19.10	0.62	0.98	216		4.9	366	0.6		陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	発動機 名稱	発動機 型式	発動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 粁	性能 航續力 千粁	機型	備考
32	6B	木布	鋼布	客	6	ライト J—6	空・星	1×300	14.8	9.57	2.80	26.10	1.24	2.02	225		5.5	274	0.9		陸
32	キングバード	ヂ布	ヂ布	客	8	ライト ワールウインド	空・星	2×300	16.6	10.6	3.04	37.62	1.87	2.89	223	104	5.3	340			陸
32	A14D スピードウイング	木布	鋼布	ス	3	ライト ワールウインド	空・星	1×240	9.45	7.16	2.70	23.00	0.80	1.30	248		4.8	300			陸
32	B14B S. W. de Luxe	木布	鋼布	ス	3	ライト ワールウインド	空・星	1×300	9.45	7.16	2.70	23.00	0.91	1.39	272		5.6	480	1.0		陸
32	B14R S. W. de Luxe	木布	鋼布	ス	2	ライトワールウインド R-975-E	空・星	1×240	9.45	7.16	2.70	23.00	0.94	1.39	296	92	6.5		0.9		陸
33	AT-32 コンドル	鋼布	鋼布	客	15	ライトサイクロン R-1820-F	空・星	2×700	25.0	14.8		12.22			272		4.7				陸
33	オスプリ C14R	木布	鋼布	偵爆		ライトワールウインド R-975-E	空・星	1×420	9.45	7.16	2.70	23.00	0.99	1.48	278		5.6	519	0.9		陸
34	BT-32 コンドル	輕	鋼布	爆	4	ライトサイクロン R-1820-F	空・星	2×715	25.0	15.6	5.00	118.5	5.09	7.93	288	102	7.7	311	2.2		陸(引込脚)
34		木布	鋼布	客	5	ライト ワールウインド	空・星	1×365	12.2	9.45	3.56	30.55	1.35	2.06	243		5.0	254	0.9		陸
35	パンテイング	木布	鋼布	ス	1	エアロンカ	空・一	1×36	7.32	5.18	1.88	6.80		0.27							陸
35	19—L クブ			輕	2	ランバト R-266	空・星	1×90	10.6	7.77	2.18	16.10	0.52	0.81	210	69	5.2	160			陸

キーストン The Keystone Aircraft Corporation. (29w. 57th Street, New-York City.)

26	AT2a			戰	1	ライト ワールウインド	空・星	1×180	8.83	7.31											陸
29	LB-7 パンサ			爆	4	プ・ウイ・ホーネット	空・星	2×525	22.9	14.0	4.57	106.0			185	72	4.8	250	0.5		陸
32	B-6A パンサ	木布	鋼布	爆	5	ライトサイクロン	空・星	2×575	22.8	14.8	5.20		3.57	6.05	193		5.0	210	1.3		陸
32	コミユタ	ヂユ	木布	ス	4	ライト J—6	空・星	1×300	12.2	9.75	4.06	40.60	1.32	1.89	168	77	2.9	160	0.7		兩
32	エアヨツト	木ヂ	木ヂ	客	7	ライトサイクロン	空・星	1×525	14.2	11.3		44.40	1.84	2.86	211	88	4.2	260			兩
32	PK—1			偵	5	ライトサイクロン	空・星	2×575	22.2	14.4	5.10			0.19			3.7				陸
32	OL—9			偵	2	プ・ウイ・ワスプ	空・星	1×425	13.7	10.7	3.93	46.68	1.47	2.38	198	88		250			兩

キ ン ナ Kinner Airplane & Motor Corporation Ltd. (635, West Colorado Boulevard, Glendale, Cal.)

32	キンナ・モノプレン	木布	鋼布	ス	2	キンナ K—5	空・星	1×100	11.9	7.19	3.23	18.70	0.49	0.75	168	61	4.9		0.6		陸
34	エンヴオイ	木布	鋼布	輕客	4	キ ン ナ	空・星	1×300	12.1	8.72		20.90	1.16	1.82	264	74	5.8	560	1.0		陸
34	スポーツスタ	木布	鋼布	ス	2	キンナ K—5	空・星	1×100	11.9	7.20	3.23	18.70	0.55	0.85	166	64	4.3	244	0.6		陸
34	スポーツウイング	木布	鋼布	ス	2	キンナ B—5	空・星	1×125	10.5	7.40			0.60	0.89	186	64	5.3	244	0.7		陸
34	プレイボイ	木布	鋼布	ス	2	キンナ	空・星	1×160	9.98	7.37	2.36	17.50	0.66	1.03	211	88	4.9	244	0.8		陸
35	インヴエイダ	木板	鋼	客	6	キンナ C—7	空・星	2×370					2.40	3.86	338	101	6.1	366	1.5		陸(引込脚)

グラマン The Grumman Aircraft Engineering Corporatian. (Valley Stream Long Island, N. Y.)

32	XFF—1	金布	金布	戰	2	ライトサイクロン	空・星	1×600													陸(引込脚)
34	FF—1 SF—1	輕布	輕布	戰	2	ライトサイクロン SR—1820-F	空・星	1×710													陸
34	JF—1			戰	2—3	プ・ウイ・トウインワスプ	空・星	1×425	13.7	10.7	3.90	50.20	1.48	2.39	198	80					陸
35	JF—1	輕	輕	哨	2—3	プ・ウイ・トウインワスプ	空・星	1×800	11.9	10.1	4.62	37.50	1.87	2.43	315	98	7.1	324	0.4		
35	JF—2	輕	輕	蒐	4	ライトサイクロン	空・星	1×800	11.9	10.1	4.62	37.50							0.4		

グランヴイル Granvill Bros. Aircraft, Inc. (Springfield, Mass.)

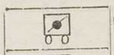
32	スポーツスタ	木布	鋼布	ス	1	メナスコ A—4	空・倒	1×95	7.60	5.26	1.80	8.80	0.41		224	80		336			陸
32	シーニアスポーツスタ	木布	鋼布	ス	1	ライト J—6	空・星	1×240	9.15	6.40		12.80			264	90		378			陸
32	シユーバスポーツスタ	木布	鋼布	ス	1	プ・ウイ・ワスプジユニア	空・星	1×535	7.16	4.50		6.96	0.63	1.43	432	128					陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/分	性能 航續力 千粁	機型	備考
32	シユーパスポーツスタ	木布	鋼布	ス	1	プ・ウイ・ワスプ	空・星	1×800	7.60	5.40			0.83	1.39	474						陸
33	C—8	木布	鋼	客	8	ライトサイクロン又ハプ・ウイ・ホーネツト	空・星	1×700	13.7	10.4		36.23	1.78	3.18	360	104		762			陸
33	シユーパスポーツスタ	木板	鋼	競	1	プ・ウイ・ホーネツト	空・星	1×900	7.60	5.40											陸
34	R—6H	木板	鋼布	競	2	プ・ウイ・ホーネツト SD	空・星	1×675	10.4	8.28	2.90	19.60	1.43	2.95					3.9		陸
	グリーガ																				
34	グリーガ	木布	鋼布	ス	2	ア・ス・シラス	空・併	1×90	8.54	5.87	2.31		0.41	0.70	177			360			陸
	グレート・レークス Great Lakes Aircraft Corpration. (16,800, St., Clair Avenue, Cleveland, Ohio.)																				
32	2TIA	ヂ	鋼布	ス	2	ア・ス・シラス	空・併	1×90	8.14	5.20	2.40	17.40	0.50	0.72	176	72	3.9				陸
32	2T—IE	ヂ	鋼布	ス	2	ア・ス・シラス	空・併	1×95													陸
32	TG—2	輕	輕	雷爆	3	カーチスサイクロン	空・星	1×575	16.2	10.6	4.09		2.06	3.79	220		3.6		1.3		交
34	XSG—1	輕	輕	偵	1	プ・ウイ・ワスプジユニア	空・星	1×400	10.7	9.93	4.30		1.47	2.15	198	109	2.6				
35	61	輕	輕	偵	1	プ・ウイ・ワスプジユニア	空・星	1×550	12.2	9.93	4.30		1.50	2.18	224	99	3.8	229	0.9		
	クローフオード Crawford all-metal Airplane Co. (11, 308, South Main Street. Los Angeles, Col.)																				
32	65	ア	ア	客	6	ライト J—6	空・星	1×300	12.8	9.00	2.40	20.80	1.02	1.79	272	72		420	1.6		陸
	ケアンズ Cairns Aircraft Syndicate. (Naugatuck, Connecticut.)																				
31	A	ヂ	ヂ	ス	2	ライトヂプシー	空・併	1×90	10.8	7.15	2.10	15.80	0.52	0.82	208	72	5.5	275			陸
32	AW	ヂ	ヂ	ス	2	ライト J—6	空・星	1×170	10.8	7.46	2.10	15.80	0.68	0.99	272		5.4	305			陸
34	B—G	ヂ	ヂ	ス	2	ライト ヂプシー	空・併	1×90	10.4	7.00	2.10	14.80	0.51	0.87							陸
35	AC6・AM6	ヂ	ヂ	輕	2	カーチスチヤレンヂア	空・星	1×180	11.1	7.50			0.78	1.24							陸
	コーバン Corben Aircraft Corp. (Los Angeles. Cal.)																				
33	ジユニアエイス			ス	2	スゼクリー	空・星	1×45	11.0	6.09	1.82		0.24	0.42	137	45	4.0				陸
35	シユーパエイス	木布	木布	ス	1	フオード		1×45	8.23	5.58	2.00		0.27	0.39	161	51	3.0	213			陸
	コンソリデーテツド The Consolidated Aircraft Corporation. (Lindbergh Field, San Diego, Cal.)																				
29	XPYI アドミラル			偵爆	4	プ・ウイ・ワスプ	空・星	2×425	30.5	18.9	4.57	103.0	3.72	6.26	190	93	5.1	220			
32	17—A フリートスタ	ヂ	鋼布	客	10	ライトサイクロン又ハプ・ウイ・	空・星	1×600	15.5	10.2	3.50	33.60	1.70	2.95	304	98	6.1	350			陸
32	20—A フリートスタ	ヂ	ヂ	客	8	ライトサイクロン又ハプ・ウイ・	空・星	1×600	15.3	10.3	3.40	33.50	1.88	3.08	296	99	5.6	320			陸
32	7 A	木布	鋼	ス	2	キンナ B—5	空・星	1×125	8.53	6.50		18.00			184	80	4.8	220			陸
32	21a トレイナ	木布	鋼布	ス	2	キンナ C—5	空・星	1×170	9.60			24.70	0.77	1.09	190		3.8	220			陸
32	23	ヂ	鋼布	偵戰	2	カーチスコンカラ GV—1570	プ・Y	1×660	12.1	8.76	3.35	32.30			307			508			陸
33	21 I			ス	2	プ・ウイ・ワスプジユニア	空・星	1×300	9.60			24.70	0.94	1.36	240		5.6				陸
34	PI—11c	木板	ヂ	練	2	ライトワールウインド R-760-E	空・星	1×250	9.60	8.16	2.89	26.00	0.89	1.23	211	85	6.2	222	0.5		陸
34	NY—2			練	2	ライト J—5	空・星	1×200	12.2	9.33	3.61				193		5.0	290			陸
34	フリート 10	木布	鋼布	練	2	キンナ B—5	空・星	1×125	8.54	6.60	2.39	18.05			185	76	4.4	264	1.0		陸
34	P—30			戰	2	カーチスコンカラ SR-1820-F	空・星	1×700	13.4	8.84					403		8.3	920			陸
35	フリート 10G	木布	鋼布	練	2	ヂプシー・メヂア	空・倒	1×130	8.53	6.50	2.40	18.00			175		3.5	204	1.0		陸
35	フリート 11	木布	鋼布	練	2	キンナ R—5	空・星	1×160	8.54	6.60	2.39	18.05			201	77	5.4	360	0.9		陸

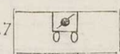
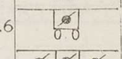
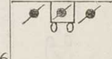
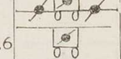
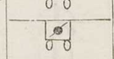
建造年月 1909	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/秒	性能 航續力 千瓩	機型	備考
35	PB—2A			戰	2	カーチスコンカラ	プ・冷														陸(引込脚)
35	P2Y—1			哨		プ・ウイ・ G	空・星	2×575													
35	P3Y—1			哨																	
	サイクロプレーン Cycloplane Co., Ltd. (Los Angeles, Cal, 3901 Grenshaw Boulevard)																				
32	C—1			ス	1	アーウイン		1×22	12.0	5.80		17.50	0.20	0.30	110	32			0.3		陸
	ジエネラル・アヴイエーシヨン The General Aviation Manufacturing Corporation. (1775. Broadway, New-York City.)																				
32	F—14	木板	鋼布	郵客	7	プ・ウイ・ホーネツト又ハライト・サイクロン	空・星	1×525	17.9	16.5	4.10	77.50	3.60	6.12	240	102	5.6		1.3		陸
32	XO—27	木布	木布	偵		カーチスコンカラ	プ・冷	2×600													陸
32	Y1C15			患輸		ラ イ ト	空・星	1×525	17.9	13.2	3.90	51.00			224	88	5.4	300	1.3		陸
33	GA—43	輕	輕	客	10	ライトサイクロン F—2	空・星	1×700	16.2	13.0	3.80	42.73	2.58	3.97	324						陸
33	G. A. 14	木布	鋼布	偵	2	プ・ウイ・ワスプ S. D.	空・星	1×525	10.3	7.85	3.02	30.55			288	93	7.1	458			陸
33	B/J OJ—2	木布	鋼布	偵	2	プ・ウイ・ワスプジュニア	空・星	1×440	10.3	7.84	3.30	30.55	1.06	1.69	248	92	5.1	260	0.9		陸
33	FLB—50			客		プ・ウイ・	空・星	2×420	22.6	16.4	4.72	61.04	3.17	5.08							兩
34	GA—43 J	輕	輕	客	10	プ・ウイ・ホーネツト T2D1	空・星	1×690	16.2	13.2	4.19	42.73	2.71	4.09	258	122	4.4	272			水
	シコルスキー The Sikorsky Aviation Corporation. (Bridgeport, Conn.)																				
27	S—37 ヴイルドパリ			爆	4	プラツト	空・星	2×525	30.5	13.9		100.0	3.64	6.82	218	92	4.9				陸
32	S19B	輕	輕	客	5	プ・ウイ・ワスプジュニア	空・星	1×300	15.8	9.70	3.50	32.50	1.21	1.81	192	85	5.4	220			兩
32	S—38—B	ヂ	ヂ	客	10	プ・ウイ・ワスプ	空・星	2×420	21.8	12.3	4.22	66.80	2.95	4.65	200	89	5.4	228			
32	S39B			客	5	プラツト	空・星	1×300	15.8	9.70	3.50	32.50	1.21	1.81	192	85	5.4	220			兩
32	S-40	ヂ	ヂ	客	28	プ・ウイ・ホーネツト	空・星	4×550	34.7	23.3	7.20	161.6	9.53	15.4	215	106	3.5	104			兩
32	S-41	ヂ	輕	客	16	プ・ウイ・ホーネツト	空・星	2×575	24.0	13.8	4.60	67.60	3.67	6.26	209	106	5.5				兩
33	S-42	ヂ	輕	客	32—40	プ・ウイ・ホーネツト	空・星	4×700	34.8	20.9	5.28	123.5	8.97	17.3	291	104	6.1	305	1.9		
34	S-43	木布	ヂ	客	18	プ・ウイ・ホーネツト	空・星	2×750	25.6	15.6	5.41	72.00		8.10	322	105	7.0	390	1.2		兩
	ス タ ー The Star Aircraft company. (Bartlesville. Okla.)																				
32	カヴアリエ	木布	鋼布	ス	2	ラムバト R—266	空・星	1×90	9.60	6.10	2.00	11.60	0.41	0.64	201		4.8	290			
	ステイアマン Stearman Aircraft Company. (Wichita kansas.)																				
31	C—3R	木布	鋼布	客	3	ライトワールウインド J—6	空・星	1×240	10.7	7.59	2.90	28.70	0.79	1.25	213	67	4.8	350	1.0		陸
31	4E	木布	鋼布	ス	3	プ・ウイ・ワスプ	空・星	1×450	11.6	8.00	3.09	28.50	1.10	1.78	252		5.4	400	1.0		陸
32	アルフア 1			客	7	プ・ウイ・ワスプ	空・星	1×420	13.0	8.65		27.40	1.20	2.04	272	96	5.8	420			陸
32	アルフア 2	ア		客	7	プ・ウイ・ワスプ	空・星	1×420	13.0			27.40	1.31	2.13	264		5.4	380			水
32	ノースロツプベータ	輕金	輕金	ス	2	メナスコバカニア	空・倒	1×160	9.70	6.60	1.80	12.70	0.51	0.80	280	77	6.9	350			陸
33	6D	木布	鋼布	ス	2	ライト R-975-E 又ハプ・ウイ・ワスプジュニア	空・星	1×300	9.70	7.50	2.92	25.28		1.22	228		5.5	380	0.8		陸
33	6C. 6H. C6L	木布	鋼布	練	2	ライト R-175-E	空・星	1×300	9.50	7.50	2.92	25.28		1.24	229		5.5	390			陸
33	80	木布	鋼布	客	2	プ・ウイ・ワスプジュニア	空・星	1×420	10.6	7.60	2.90	25.50	1.08	1.59	280	93	6.0	480	1.0		陸
33	81	木布	鋼布	客	2	プ・ウイ・ワスプジュニア	空・星	1×420	10.6	7.60	2.90	25.50	1.08	1.82	272	93	5.2	336	1.7		陸
35	73(NS-1)	木布	鋼布	練	2	ライトワールウインド	空・星	1×220	9.80	7.63	2.85	27.60	0.90	1.22	201	82	4.3	238	0.7		陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	発動機 名稱	発動機 型式	発動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千瓩	性能 上昇率 粁	性能 航續力 千粁	機型	備考

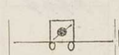
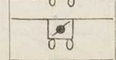
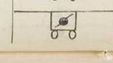
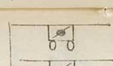
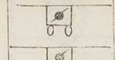
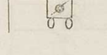
ステーツ The States Aircraft Corporation. (1632, Wentworth Avenue, Chicago Heights, Illinois.)

32	B—3	木布	鋼布	ス	2	キンナ K—5	空・星	1×100	9.76	7.00	2.40		0.49	0.84	168		4.2	270			陸
32	B—4 ドリュクス	木布	鋼布	ス	2	キンナ B—5	空・星	1×125	9.76	7.00	2.40				208		6.7	360	0.8		陸

スチンスン The Stinson Aircraft Corporation (Wayne, Mich.)

32	R	木布	鋼布	ス	4	ライカミング	空・星	1×215	13.1	7.90	2.60	22.00	1.00	1.50	208	83	3.6	200	0.7		陸
32	ジュニア S	木布	鋼布	輕客	4	ライカミング	空・星	1×215	12.8	8.8	2.66	21.80	0.98	1.48	201	83	4.6	198	0.6		陸
32	エアライナ	鋼布	鋼布	客	10	ライカミング R680—3A	空・星	3×215	18.3	11.8	3.60	45.50	2.57	3.90	241	88	4.6	274			陸
32	U			客		ライカミング	空・星	3×720	20.1	13.3	2.60	53.30	2.82	4.22	227		4.2		0.6		陸
34	A エアライナ	鋼	鋼	客	8	ライカミング R—680—5	空・星	3×260	18.3	11.2	3.50	46.45	2.57	4.48			4.6	320			陸(引込脚)
35	SR—6A リライアント	木布	鋼布	旅	4	ライカミング R—680—4	空・星	1×225	12.5	8.18	2.57	21.35	1.02	1.51	222		4.4	214	0.6		陸
35	SR—6B リライアント	木布	鋼布	旅	4	ライカミング R—680—5	空・星	1×260	12.5	8.18	2.57	21.35	1.06	1.61	208		4.6	244			陸
35	B	輕	輕	客	6	ライカミング	空・星	2×260	15.9	9.45		109.7	2.04	2.5			4.6	366	1.4		陸(引込脚)

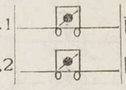
スパータン The Spartan Aircraft co. (Tulsa oklahoma.)

32	C2—60	木布	鋼布	ス	2	ジャコブス	空・星	1×60	12.2	6.80	2.10	15.00	0.31	0.51	152	63	3.9	240			陸
32	C4—225	木布	鋼布	客	4	ライト ワールウインド	空・星	1×240	15.3	9.8	2.74	27.70	1.06	1.60	208	82	4.6	276			陸
32	C4—300	木布	鋼布	輕客	4	ライト ワールウインド	空・星	1×300	15.3	9.80	2.74	27.70	1.16	1.80	228	90	4.6	300			陸
32	C4—301	木布	鋼布	輕客	4	プ・ウイ・ワスプジュニア	空・星	1×300	15.3	9.94	2.71	27.70	1.18	1.84	232	8.9	4.6	294			陸
32	C5—300	木布	鋼布	輕客	5	ライト ワールウインド	空・星	1×300	15.3	9.80	2.74	27.70	1.18	1.90	229	92	4.5	287			陸
32	C5—301	木布	鋼布	輕客	5	プ・ウイ・ワスプジュニア	空・星	1×300	15.3	9.94	2.71	27.70	1.20	1.90	232	92	4.5	287			陸

スウオンスン The Swanson Aircraft Co., Inc. (Rockford, Illinois.)

32	ク ペ	木布	鋼布	ス	2	ワーナスカラツプ	空・星	1×110	11.0	7.60	2.30	18.40	0.60	0.93	200		4.8	300	1.0		陸

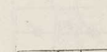
セヴアスキー The Seversky Aircraft Corporation. (Collegepoint, Long Island. N. Y.)

32	Sev—3	輕	輕	ス	2	ライト J-6-9E	空・星	1×420	10.9	7.80	2.97	19.30	1.09	1.48	238	96	6.2	500	1.1		兩
35	Sev—3 XAR	輕	輕	練	2	ライトワールドウインド R-975-E	空・星	1×350	11.0	7.39	2.67				322	98	6.6	366	1.2		陸

セキユリテイ

34	エアスタ	木布	鋼布	輕	1	キンナ K—5	空・星	1×100	12.2	7.29	2.36	22.30	0.54	0.81	161	55	6.1				陸

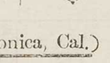
ソーラ The Solar Aircraft Company Ltd., (Lindbergh Field, San-Diego Cal.)

32	MS—2	ヂ	ヂ	客	10	プ・ウイ・ワスプ	空・星	1×420	17.2	10.9	3.08	45.10	1.65	3.17	208	96	4.5	220			陸

タウル The Towle Aircraft Co., Inc. (261. St. Aubin street, Detroit, Mich.)

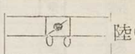
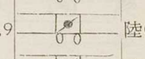
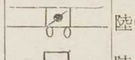
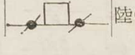
32	TA—3	輕ア	輕ア	客	5	パカドデイーゼル	空・星	2×225	17.0	13.1	3.90	37.55	1.79	2.82	192		5.2		0.8		兩

ダグラス The Douglas Aircraft Company Inc. (3,000. Ocean park Boulevard, Santa Monica, Cal.)

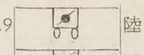
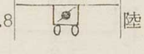
24	AT—2			雷	2	リバテイ		1×400	15.3	11.5		66.00			160	80	2.0				水
32	ドルフイン	木布	ヂ	客	6	プ・ウイ・ワスプ	空・星	2×420	18.3	13.7	4.30	48.00	2.76	4.06	241	98	5.2	260			兩

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 粁/分	性能 航續力 千粁	機型	備考
32	O—38B	木布	鋼布	偵	2	プ・ウイ・ホーネット	空・星	1×525	12.2	9.20	3.30		1.37	1.99	238	94	6.3	370			陸
32	O—38S	木布	鋼布	偵	2	ライトサイクロン	空・星	1×575	12.2	9.15	3.30		1.60	2.23	275	98	6.5	458			陸
32	BT—24	木布	鋼布	偵	2	プ・ウイ・ワスプ	空・星	1×450	12.2	9.20	3.30		1.32	1.84	216	91	5.7	340			陸
32	P2D—1	輕布	鋼布	偵	2	ライトサイクロン	空・星	2×575	17.4	13.4	4.60		3.44	5.85	216	98	3.6	270			交
33	エアライナ	輕布	鋼布	客	14	ライトサイクロン SGR-1820—F-3	空・星	2×710	25.9	18.3	4.88		5.35	7.95	338	97	7.0	320			陸(引込脚)
33	O—38P	木布	鋼布	偵	2	ライトサイクロン	空・星	1×640	12.2	9.15	3.30		1.54	2.22	275	98	6.6	458			交
34	トランスポート	輕布	鋼布	客	14	ライトサイクロン SGR-1820—F-3	空・星	2×710	25.9	18.9	4.95		5.48	8.18	343	93	7.7	305			陸(引込脚)
34	ドルフイン			軍輸	8	プ・ウイ・ワスプ	空・星	2×450	18.3	13.7	4.30		3.17	4.31	243	93	5.2				
35	ドルフイン	木布	鋼布	客	8	プ・ウイ・ワスプ	空・星	2×450	18.3	13.8	5.21	55.00	3.05	4.31	251	103	6.0	217	1.2		兩
35	DST	輕	輕	客		ライトサイクロン G—5		2×	29.0	19.8	4.88	300.9	7.14	10.9	352	105	7.8		3.3		陸
35	DC—3	輕	輕	客		ライトサイクロン SBG		2×	29.0	19.8	4.88	300.9	7.14	10.9	348	105	7.3		3.2		陸
35	RD—3			軍輸	7	プ・ウイ・ワスプ	空・星	2×450													
35	YOA—5			偵		プ・ウイ・トウインワスプ ジュニア	空・星	2×													
85	O—43A			偵	2	カーチスコンカラ	プ・Y	1×675							300						
35	XO—46			偵	2	プ・ウイ・トウインワスプ ジュニア	空・星	1×700													
35	XT3D—1			雷爆	4	プ・ウイ・トウインワスプ SR1820C	空・星	1×850													
35	XP3D—1			哨		プ・ウイ・ワスプ	空・星	2×													
35	XB—14			爆		プ・ウイ・トウインワスプ	空・星	2×700							360						
35	XBD—1			爆	2			1×							432						
35	XFD—1			戰	2	プ・ウイ・トウインワスプジュニア	空・星	1×700													
	チェスナ The Cessna Aircraft co. (Wichita, Kansas.)																				
34	C—34	木板	鋼布	輕	4	ワーナシューパスカラブ	空・星	1×145	10.3	7.49		16.72	0.55	1.00	250		5.8	305			陸
	テイム Timm Aircraft Corporation. (Glendale, cal.)																				
35	T—800	木布	鋼布	客	8-10	ライトR-975-E-2又ハプウイワスプジュニア	空・星	2×420	16.3	1.21	4.27	42.73	2.52	4.09	322	90	7.9	483	1.2		陸
	テーラ The Taylor Aircraft Co. (Bradford, Pennsylvania.)																				
32	カブ	木布	鋼布	輕	2	コンチネンタル A—40—3	空・—	1×35	10.7	6.80	1.90	17.00	0.23	0.42	128	42			0.4		陸
32	F-2 カブ	木布	鋼布	輕	2	エアロマリーン AR3—40	空・星	1×40	10.8	6.82	1.90	17.00	0.24	0.43	136	48		165			陸
	デーヴイス The Davis Aircraft Corporation. (Richmond Indiana.)																				
32	D—1W	木布	鋼布	ス	2	ワーナ スカラブ	空・星	1×110	9.19	6.19			0.42	0.66	227	64	4.5	410			陸
	N. A. X. M. C.																				
35	ナショナルブルバード	木布	鋼布	輕	2	ナショナル 35	空	1×35	11.0	6.10	2.44	18.34	0.20	0.41	137	44	4.3	150			陸
	N. B. Nicholas-Beazeley Airplane Co., Inc. (English at North St. Marshal, Missouri.)																				
32	N.B. 8 トレイナ	木布	鋼布	輕	2	ア・ス・シドレーデエネット	空・星	1×80	11.4	6.20	2.36	17.00	0.30	0.52	176	61	5.4	270	0.6		陸
	ノース・アメリカン North American Aviation, Inc. (1.775, Broadway, New-York City.)																				

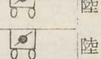
建造年月 1939	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	発動機 名称	発動機 型式	発動機 数×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 粁/分	性能 航続力 千粁	機型	備考
35	NA—16	軽	鋼軽	戦	2	プ・ウイ・H型ワスプ	空・星	1×500							341						陸
35	NA—18				2	プ・ウイ・ワスプ	空・星	1×	12.8	8.87	3.66										陸
	ノースロップ The Northrop Corporation. (Mines Field, Imperial Highway, Inglefield, cal.)																				
31	ベータ	軽	金	軽	2	メナスコバカニア	空・倒	1×160	9.70	6.60	1.80	12.70	0.52	0.80	280	77	6.9	351			陸
33	2D ガムマ	鋼	金	偵輸	1	ライトサイクロン SR-1820 F-3	空・星	1×710	14.6	9.15	2.80	33.40	1.50	3.25	215	70			4.0		陸
33	1D デルタ	鋼	金	客	8	ライトサイクロン SR-1820 F3-	空・星	1×710	14.6	9.80	2.80	33.40	1.86	3.18	336	96	6.1		1.0		陸
34	ヴィクトーリア	鋼	金	客		プ・ウイ・ワスプ S.D.	空・星	1×525	14.6	9.07		33.70	1.63	3.17	322	93					陸
35	XFT—1		ヂ	艦戦	1	プ・ウイ・トウインワスプ	空・星	1×750							453						陸
35	2—E	軽	軽	爆	2	ライトサイクロン SR-1820 F-53	空・星	1×750	14.6	8.79	3.54	33.60	1.72	3.40	326	104	7.4	816			陸
35	XF2T—1														480						陸(引込脚)
35	ガムマ 2—D	軽	軽	貨	1	ライトサイクロン SR-1820 F3-S	空・星	1×710	14.6	9.50	2.74	33.70	1.87	3.34	358	96	6.9	366	2.7		陸
35	デルタ 1—D			客	9	ライトサイクロン SR-1820 F3-S	空・星	1×575	14.6	9.78		33.72	2.06	3.34	359	100	7.7	360	2.7		陸
	ハミルトン The Hamilton Metalplane Division of the Boeing Airplane Co. (530, Park Street, Milwaukee, Wisconsin.)																				
29	H—45	ヂ	軽	客	6	プ・ウイ・ワスプ	空・星	1×425	16.6	10.6		35.30	1.50	2.56	217	85		289			陸
29	H—47	ヂ	軽	客	6	プ・ウイ・ホーネット	空・星	1×525	16.6	10.6		35.30	1.56	2.56	225	84		305			陸
	ハモンド Hammond Aircraft Corporation. (Ann Arbor, Mich.)																				
34	100	木布	鋼布	練	3	キンナ K—5	空・星	1×100	9.15	7.16	2.80	27.00	0.57	0.91	184	58			0.6		陸
35	Y	軽	軽	軽	2	メナスコ B—4	空・倒	1×95							176	56					陸
	ハワード Ben O. Howard. (Chicago)																				
35	DGT—A6	木布	鋼布	軽	4	プ・ウイ・ワスプ SE	空・星	1×550	9.76	7.47		12.82	1.09	2.38	432	104		220			陸
	バード The Bird Aircraft Corporation. (Glendale, Long Island, N. Y.)																				
31		木布	鋼布	ス	3	キンナ	空・星	1×100	10.4	7.00	2.44	24.50	0.54	0.89	184	55	4.8	270			陸
31		木布	鋼布	ス	4	キンナ	空・星	1×125	10.4	7.00	2.44	24.50	0.61	1.06	192	56	5.2	336			陸
	パークス Parks Aircraft, Inc. (Parks Airport, E. St., Louis, Ill.)																				
32	P—1H	木布	鋼布	練	3	キンナ K—5	空・星	1×100	9.15	7.16	2.79	26.90	0.54	0.90							陸
	B/J The B/J Aircraft Corporation. (Baltimore, Md.)																				
32	XFJ—2	木布	鋼布	艦戦	1	プ・ウイ ワスプ	空・星	1×500	8.50	6.36		16.50			308	102	7.5		0.8		陸
32	P—16	ヂ布	鋼布	戦	2	カーチスコンカラ	プ・冷	1×600	10.4	8.58		23.20			281	104	7.9	420			陸
	ヒース The Heath Airplane Co., Inc. (1,727, Sedgwick Avenue, Chicago Illinois.)																				
32	パラソル	木布	鋼布	ス	1	ヒース B—4	空・併	1×30	9.40	5.26	1.80	12.50	0.20	0.31	120	48	4.2	150	0.6		陸
32	CNA—40 セスナウイング	木布	鋼布	ス	1	コンチネンタル A—40 フラットフォー	空・—	1×37	9.40	5.26	1.80	12.50	0.14	0.27	136	48	4.2	150	0.4		陸
	ビーチ The Beach Aircraft Co. (Beach Airport, Wichita, Kansas.)																				
33	17R ビーチクラフト	鋼布	鋼布	客	4	ライトワールウインド R-975E-2	空・星	1×420	10.5	7.2	2.60	30.00	1.23	2.04	324	96	6.1	458	1.6		陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千米	性能 上昇率 粁	性能 航續力 千粁	機型	備考
33	B—17L	鋼布	木布	旅	4	ジャコブス	空・星	1×225	9.76	7.44	2.59	25.30	0.73	1.43	280	72	4.6	305			陸(引込脚)
33	A—17F	鋼布	鋼布	客	4	ライトサイクロン	空・星	1×700	10.5	7.20	2.60	30.00			400				1.9		陸(引込脚)
35	B—17E	木布	鋼布	旅	4	ライト R—760E	空・星	1×285	9.76	7.44	2.50	24.80	0.91	1.63	296	80	5.5		1.1		陸(引込脚)
35	18K			旅	4—8	ジャコブス L-5	空・星	2×	16.6	10.5									•		陸(引込脚)

フアーリン Fahlin Aircraft Co. (Marshall, Mo.)

34	S. F. 1.	木板	鋼布	輕	2	ポブジョイ R	空・星	1×75	8.54	6.66	2.23	13.37	0.31	0.54	213	64	5.8	442	0.9		陸
35	プリモ・クベ S. F. 2.	木板	鋼布	輕	2	プリムス	水・併	1×80	9.76	6.10	2.07	15.90	0.49	0.73	184	68	4.9	244	0.8		陸

フエアチヤイルド The Fairchild Aviation Corporation. (270 W. 38th Street, New-York City.)

32	22	木布	鋼布	ス	2	シラス ヒードライヴ	空・倒	1×95	10.0	6.70	2.40	15.80	0.42	0.68	182	67	3.9		0.5		陸
32	24	木布	鋼布	ス	2	シラス ヒードライヴ	空・倒	1×9 5	10.8	7.06	2.13	15.80	0.46	0.72	182	69	3.6	210	0.6		陸
32	KR34			ス	3	ワーナ	空・星	1×110	9.15	7.00	2.82	26.40	0.67	1.06	196	76					陸
34	24			ス	3	ワーナ シューパスカラブ	空・星	1×145	11.1	7.40	2.20		0.63	1.09	214	69	5.8	151			陸(引込脚)
34	X—31 XC-31	輕布	鋼布	軍輸	1	ライトサイクロン R—1820—25	空・星	1×750	25.6	16.8	4.83		3.32	5.89	269	84			1.2		陸
35	22	木布	鋼布	輕	2	ワーナ シューパスカラブ	空・星	1×145	10.0	6.78	2.40	16.00	0.56	0.95	216	77	4.9	223	0.8		陸
35	24C8	木布	鋼布	旅	3	ワーナ シューパスカラブ	空・星	1×145	11.1	7.24	2.21	17.30	0.63	1.09	214	79	4.7	213			陸
35	22 C-7 G	木布	鋼布	ス	2	ワーナ シューパスカラブ	空・星	1×145	10.1	6.78	2.41	16.06	0.56	0.95	217	77	4.9	226			陸
35	45	輕板	鋼布	旅	5	ジャコブス	空・星	1×225	12.0			75.60	1.03	1.63	257	77.2		195			陸
35	XC—31		鋼布	客	2	ライトサイクロン R—1820—25	空・星	1×750	22.9	16.9	4.80		3.32	5.90	269	84					陸
35	F—45	木布	鋼布	客	5	ジャコブス	空・星	1×225	12.1	8.81	2.44	22.70	0.98	1.63	274	77		478	1.0		陸(引込脚)
35	XA—942	輕布	輕布	客	10	プ・ウイ・ホーネツト S4D	空・星	1×650	17.1	14.0		45.00	2.50	4.36	296	109	6.1	274	1.2		兩

フオード The Airplane Division of the Ford Mortor Co. (Dearborn, Michigan.)

32	4AT.F	ヂ	ヂ	客	11	ライト J—6	空・星	3×300	22.6	12.5	3.85	72.90	3.04	4.99	221	94	5.0		0.9		陸
32	5—D	ヂ	ヂ	客	14	プ・ウイ・ワスプ	空・星	3×400	23.7	16.5	4.10	77.50	3.61	6.13	240	102	5.6		0.9		陸
32	8—A	ヂ	ヂ	貨		イスパノ・スイザ	水	1×650	23.7	16.3	3.90	77.50	2.81	4.99	221		4.5	229	0.9		陸
32	14—A	鋼布	鋼布	客	32	イスパノ・スイザ 18Sf	水・扇	1×1100 2×720	33.5	24.6	5.94	148.6									陸(半引込脚)

ブラウン The Brown Metalplane Company. (Spokane, Wash.)

32	メタラーク	ヂ	ヂ	ス	—1 2—	アメリカンシラス	空・併	1×90	8.00	6.40	1.90	9.29	0.40	0.60	217	80	4.4		1.1		陸
34	ブラウン	木布	鋼布	競	1	メナスコ パカニア C-6-S	空・倒	1×300	5.87	6.04		5.57	0.40	0.59	435	80					陸
35	B—3	木布	鋼布	旅	2	メナスコパカニア	空・倒	1×200	9.71	7.89	2.44	13.93	0.66	1.04	322	65			1.6		陸

ブール The Buhl Aircraft Co. (Buhl Field, St. Clair, Mich.)

33	ドーモイ			ス	2	コンチネンタル		1×165	14.6	8.23	4.57		0.64	0.91	153		4.0				陸

プライヴアテイア Amphibions Inc. (Garden City, L.I.N.Y.)

32	3	鋼布	鋼布	輕	3	コンチネンタル R—670	空・星	1×210	12.9	9.15	1.83		0.89	1.23	192	80			0.6		
35	P—3—W	鋼布	輕布	客	3	ライト・ワールウインド J—6	空・星	1×270	14.1	23.1			1.16	1.66	201	88					兩

ベランカ The Bellanca Aircraft Corporation. (New-Castle Delaware.)

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/分	性能 航續力 千粁	機型	備考
32	ペースメーカ	木布	鋼布	輕客	6	ライト ワールウインド	空・星	1×300	14.5	8.5	2.56	26.40			240		5.2	275	1.4		陸
32	ペースメーカ	木布	鋼布	輕客	6	ライト ワールウインド	空・星	1×300	14.5	8.5	2.56	26.40	1.34	2.2[illegible]	226		4.6	229	1.4		水
32	デイーゼル ペースメーカ	木布	鋼布	輕客	5	パツカド デイーゼル	空・星	1×225	14.5	8.5	2.56	26.40	1.13	1.93	211		5.2	214	1.6		陸
32	スカイ ロケツト	木布	鋼布	客	6	プ・ウイ・ワスプ	空・星	1×425	14.5	8.50	2.5	26.4	1.19	2.09	248		6.1	381	1.2		陸
32	スカイ ロケツト	木布	鋼布	客	6	プ・ウイ・ワスプ	空・星	1×425	14.5			26.4	1.38	2.27	233		5.4	270	1.2		水
32	スカイ ロケツト	木布	鋼布	客	6	プ・ウイ・ワスプ	空・星	1×425	14.5	8.50	2.5	26.4	1.35	2.23	275		7.3	458	1.2		陸
32	エアバス	木布	鋼布	客	11—14	カーチス コンカラー	水・Y	1×600	19.8	12.4	3.5	60.5	2.47	4.31	235		4.9	229	0.8		陸
33	シーニア ペースメーカ	木布	鋼布	輕客	6	ライト ワールウインド	空・星	1×300	15.4	8.50	2.6	31.1	1.34	2.39	256		5.2	275	2.2		陸
33	スカイロケツト シーニア	木布	鋼布	客	8	プ・ウイ・ワスプ	空・星	1×425	15.4	8.50	2.6	31.1	1.45	2.55	269		6.1	305	1.9		陸
33	スカイロケツト シーニア	木布	鋼布	客	6	プ・ウイ・ワスプ S1—D	空・星	1×525	15.4	8.50	2.6	31.1	1.43	2.55	288		7.0	381	1.7		陸
33	エアクルーザ	木布	鋼布	客	11—14	カーチス コンカラー	水・Y	1×600	19.8	12.4	3.5	60.5	2.47	4.31	235		4.9	229	1.2		陸
33	カーガー エアクルーザ	木布	鋼布	客	11—14	ライトサイクロン D—2	空・星	1×650	19.8	12.4	3.5	60.5	2.41	5.18	256		4.6	183	0.8		陸
34	ペランカ・ボムバー	鋼布	鋼布	爆	4	ライトサイクロン SR—1820 F3	空・星	2×715	23.2	12.2	4.3		3.73	7.41	305	93	7.6	366	2.4		陸
34	ペランカ・ボムバー	鋼布	鋼布	爆	4	ライトサイクロン SR—1820 F3	空・星	2×715	23.2	13.7	5.0		4.25	8.16	280	93	6.6	290	2.4		水

ホール Cunningham-Hall Aircraft Corporation. (Rochester. N. Y.)

35	GA—21 M	金布	金	ス	2	ワーナ シユーパスカラブ	空・星	1×145	9.15	6.10	2.13	12.10	0.59	0.94							陸(半引込脚)
35	PH—1	輕布	輕	哨爆	5	ライトサイクロン R—1820—EG	空・星	2×575	22.2	15.8	5.26	108.7	3.62	6.95	215	95		175	3.0		
35	XP2 H—1	輕	輕	哨爆	6	カーチスコンカラ GV—1570—G	プ・Y	4×600	34.2	19.7	7.77	24.20	9.27	20.0	224	94	3.4	232			

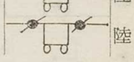
ボーイング The Boeing Airplane Company. (Georgetown Station. Seatle Wash.)

26	PB—1			雷	5	プ・ウイ・		2×525	11.3			39.60		1.09							陸
27	66			戰	1	パツカード 2A—1500	水・倒	1×600	9.16	6.95	2.50										陸
27	FB—5			戰	1	パツカード 2A—1500	水・倒	1×600													水
32	80—A	ヂ布	ヂ布	客	12—18	プ・ウイ・ホーネツト	空・星	3×525	24.4	15.8	4.62	116.1	4.73	7.95	220	89	4.3	260			陸
32	40B—4	木布	鋼布	客		プ・ウイ・ホーネツト	空・星	1×525	13.5	10.2	3.56	60.63	1.72	2.76	216	91	4.6	240			陸
32	P—12E	木板	鋼布	戰	1	プ・ウイ・ワスプ	空・星	1×500	9.13	6.29	2.92	21.10	0.89	1.21	304	97	8.5	628	1.2		陸
32	F4B—3	木ヂ	鋼ヂ	戰	1	プ・ウイ・ワスプ	空・星	1×500	9.13	6.29	2.90	21.10	0.96	1.28	299	98	8.3	488	0.7		陸
32	Bomber	ヂ	ヂ	爆	5	プ・ウイ ホーネツト 減	空・星	2×573													陸(引込脚)
33	247	鋼輕	鋼輕	客	13	プ・ウイ・ワスプ	空・星	2×550	22.6	16.3	4.88	77.60	3.78	5.94	292	95	5.7	402	1.2		陸(引込脚)
33	F4 B—4	木ヂ	鋼ヂ	戰	1	プ・ウイ・ワスプ	空・星	1×500	9.13	6.20	2.90	21.10	1.05	1.37	267	98	8.4	604			陸
33	P—26	鋼ア	鋼ア	戰	1	プ・ウイ・ワスプ	空・星	1×							370						陸
33	P—26A	鋼ア	鋼ア	戰	1	プ・ウイ・ワスプ	空・星	1×600	8.50	7.20	2.40	13.88	1.01	1.39	376	109	8.5				陸
34	247—D	鋼輕	鋼輕	客	12	プ・ウイ・ワスプ	空・星	2×550	22.6	15.7	3.70	77.70	4.06	6.19	322	100	7.7				陸(引込脚)
34	Y1B—9A	輕ア	輕ア	爆	5	プ・ウイ・ホーネツト	空・星	2×600	23.2	17.5	3.88	88.58	4.06	6.50	298	68	6.7	275			陸(引込脚)
35	281	木ア	輕ア	戰爆	1	プ・ウイ・ワスプ	空・星	1×550	8.51	7.20	2.40	13.88		1.53	371		7.9				陸
35	299			爆		プ・ウイ・ホーネツト	空・星	4×700	30.5	21.4	4.58				410		7.6				陸

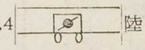
ポータフイールド The Porterfield Aircraft Corporation. (2500-2510, Mcgee Street, St. Trafficway, Kansas City, Mo.)

35	ポーター フイールド	木布	鋼布	輕	2	ヴエリ	空・星	1×65	9.76	6.10	2.00	13.65	0.35	0.67	184	64		183	0.5		陸

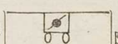
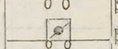
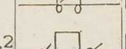
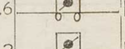
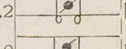
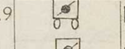
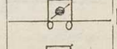
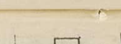
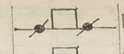
建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	発動機 型式	発動機 数×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千米	性能 上昇率 米/秒	性能 航續力 千粁	機型	備考
	マーキユリ Mercury Aircraft, Inc. (Hammondsport, N. Y.)																				
34	チーク	金布	鋼布	練	2	ルブロン	空・星	1×90	10.8	7.00	2.62	17.80	0.42	0.69	184	64	5.5	274	0.6		陸
	マーチン The Glenn L. Martin Company. (Baltimore Md.)																				
29	T4M1a			爆戰	2	プ・ウイ・ホーネツト	空・星	1×525	16.2	10.7	3.80	61.00									陸
32	120 p3 M2			偵	4	プ・ウイ・ホーネツト	空・星	2×540	30.5	18.8	5.00	103.5	4.44	7.70	185	97	3.6	140			水
32	123	輕	輕	爆	3—4	ライトサイクロン	空・星	2×650							321						陸
32	125	輕	輕	爆	2	プ・ウイ・ホーネツト	空・星	1×575	12.5	8.60	3.50	38.70	1.62	2.78	230	98	4.6		0.8		陸
32	120 P3 M2			偵	4	プ・ウイ・ホーネツト	空・星	2×540	30.5	18.8	5.00	103.5	4.44	7.70	185	97	3.6	180			兩
32	121a XP2 M1			偵	4	ライトサイクロン	空・星	3×575	30.5	18.7	6.32	111.8	5.76	10.5	230	108	4.4				兩
32	121b XP2 M1			偵	4	ライトサイクロン	空・星	2×575	30.5	18.7	4.82	111.8	4.58	8.38	205	103	3.2		3.1		兩
34	139 YB-10	輕	輕	爆	4—5	ライトサイクロン SGR-1820 F-38	空・星	2×750	21.5	13.6	3.48	63.00	4.08	7.11	344		7.6	436	2.2		陸(引込脚)
34	139 YB-12	輕	輕	爆	4—5	プ・ウイ・ホーネツト	空・星														陸
35	エクスペリメンタル			爆	4—5	ライト・サイクロン	空・星	2×800	23.2						400				1.0 (h)		陸
35	BM—2			爆	2	プ・ウイ 16)-C		1×620													陸
35	130	輕	輕	旅	52	プ・ウイ・トウインワスプ R—1830	空・星	4×800	39.6	27.7	7.52	201.5	10.5	23.1	274				4.8		
35	150	輕	輕	旅		プ・ウイ・トウインワスプ R—1830	空・星	4×800	39.7	27.1		215.0	10.5	23.2	290	110	6.1				
	マツトリ Mattley Airplane & Motor Company. Inc. (192 San Bruno Avenue, San Bruno Cal.)																				
32	フライヴア	木布	鋼布	ス	1—2	コンチネンタル A—40	空・—	1×40	9.45	6.13	1.86				152	45	3.6	180			陸
	ミーテイア General Western Aero Corporation, Ltd. (Santa Barbara, Cal.)																				
32	ミーテイア	木布	鋼布	ス	2	キンナ	空・星	1×100	9.76	7.30	2.39	15.14	0.48	0.79	201	64		360			陸
	モノクペ Monocoupe Corporation. (Lambert Field, Robertson, Mo.)																				
32	90	木布	鋼布	ス	2	ランバト R—226	空・星	1×90	9.76	6.30	2.10	12.28	0.44	0.72	188	76	3.9	250			陸
32	110	木布	鋼布	ス	2	ワーナスカラブ	空・星	1×110	9.76	6.30	2.10	12.28	0.46	0.73	227	77	5.4	360			陸
	ライアン Ryan Aircraft Corporation. (Lindbergh Field, San Diego, Cal.)																				
34	S—T	木布	輕	ス	2	メナスコ B—4	空・倒	1×95	9.14	6.60	2.10	11.50	0.47	0.70	241	61	6.5	366	0.6		陸
	ライダー Rider Aircraft Corp. (San-Francisco.)																				
33	サンフランシスコ 1			ス	1	メナスコ	空・倒	1×260													陸
	ラスコムフアンタム Luscomb Airplane Corporation. (West Trenton, New-Jersy.)																				
34	ラスコムフアンタム	ヂ	ヂ	旅	2	ワーナシユーパスカラブ	空・星	1×145	9.45	6.56		12.30	0.59	0.89	271	73			0.9		陸
	リアウイン Rearwin Airplane, Inc. (Fairfax Airpot, Kansas City, Kansas.)																				
34	ジユーニア	木布	鋼布	ス	2	エアロマリーン	空・星	1×50	10.9	6.50	2.20	16.60	0.24	0.47	146	40	4.9	214	0.4		陸
34	スピードスタ	木布	鋼布	ス	2	アメリカンシラス	空・倒	1×95	9.75	6.55	2.95	13.50	0.45	0.73	232	68		244	1.0		陸
35	スポーツスタ	木布	鋼布	輕	2	ルブロン	空・星	1×70	10.7	6.78	2.05	15.40	0.38	0.61	176	62		191	0.8		陸
	ロングヘツド Longhead Bros., Aircraft Corporation. (Los-Angels, Cal.)																				

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千粁	重量 全備 千粁	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/秒	性能 航續力 千粁	機型	備考
32	Duo—4 オリムピック	木板	木板	客	4—5	メナスコ C—4	空•倒	2×125	12.8			25.00	1.03		224	75					陸
34	Duo—6 アルコー	木板	木板	貨客	6	メナスコバガニア	空•星	2×320	12.8	8.69			1.21	2.14	295	92	5.8	426			陸

ロ ー ズ Rose Airplane & Mortor Co. (4415, Eastclark Street, Chicago.)

35	パラキート	木布	鋼布	輕	1	コンチネンタル A—40	空•一	1×39	6.10	4.88	1.82	10.77	0.21	0.33	160	56	4.3	214	0.4		陸

ロ ー キ ッ ド The Lockheed Aircraft Corporation. (Burbank, Cal.)

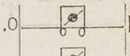
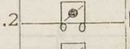
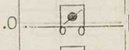
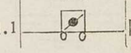
32	ヴィーガ	木板	木板	客	5—7	プ・ウイ・ワスプ	空•星	1×420	12.5	8.38	2.40	25.50	1.18	2.15	288	98	6.0	411	1.1		陸
32	オリオン	木板	鋼布	客	6	プ・ウイ・ワスプ	空•星	1×500	13.0	8.38	2.90	25.50	1.45	2.36	358	102	7.2	564			陸(引込脚)
32	アルテア	木板	鋼布	郵	2	プ・ウイ・ワスプ	空•星	1×500	13.0	8.38	2.90	25.50									陸(引込脚)
34	10A イレクトラ	輕	輕	客	12	プ・ウイ・ワスプジュニア	空•星	2×400	16.8	11.8	3.07	42.50	1.20	4.08	356	101	6.1	366	1.2		陸(引込脚)
35	12A			客	8	プ・ウイ・ワスプ ジュニア SB	空•星	2×450	14.9	11.0	2.74	106.7	2.45	3.58	373	89	8.2	427	0.9		陸(引込脚)
35	8E アルテア	木板	木板	貨	1	プ・ウイ・ワスプ S1 D1	空•星	1×550	13.0	8.81	2.82	27.30	1.61	2.63	354	102	6.7	486	1.6		陸(引込脚)
35	9D オリオン	木板	木板	客	7	プ・ウイ・ワスプ S1 D1	空•星	1×550	13.0	8.64	2.95	27.30	1.65	2.63	362	102	6.7	486	1.2		陸(引込脚)
35	ヴィーガ 5C	木板	木板	客	7	プ・ウイ・ワスプ S3 D1	空•星	1×450	12.5	8.38	2.74	25.90	1.29	2.16	306	98	5.6	372	0.9		陸(引込脚)
35	XP—900	木板	金	戰	2	カーチスコンカラ SV—1570—F	プ•Y	1×730	13.0	8.80		27.30	1.42	2.19	391		10	372			陸(引込脚)
35	12A	輕	輕	客	8	プ・ウイ・ワスプ ジュニア SB	空•星	2×450	15.0	11.0	2.78	107.2	2.44	3.60	372	105	8.2	122			陸(引込脚)
35	12B	輕	輕	客	8	ライト ワールウインド	空•星	2×440	15.0	11.0	2.78	107.2									陸(引込脚)
35	12F	輕	輕	客	8	ライト ワールウインド	空•星	2×760	15.0	11.0	2.78	107.2									陸(引込脚)
35	12M	輕	輕	客	8	メナスコ	空•倒	2×290	15.0	11.0	2.78	107.2									陸(引込脚)

ロ ー ニ ン グ Grover Loening Aircraft Company, Inc. (Garden City, Long Island, N. Y.)

	ダグリング				2	ワーナスカラブ	空•星	1×	11.1	8.45											
28	OL8			偵	2	プ・ウイ・ワスプ	空•星	1×425	13.7	10.8	3.73	46.50	1.47	2.39	200	80	3.9				
35	モノダツク			客	4	ライト・ワール ウインド J—6	空•星	1×300					1.41	1.95	216						

アルゼンチン

コ ル ド バ Military Aircraft Factory. (Cordoba)

32	Aec-1	木布	鋼布	ス	3	ア•ス•シドレー モングーズ	空•星	1×130	12.2			20.00	0.50	0.90	210	75	6.5		1.0		陸
32	Aec-2	木布	鋼布	ス	2	ライト・ワールウインド	空 星	1×165	12.2	7.90	2.60	20.00	0.65	1.15	240	80	7.3	250	1.2		陸
34	Ae.M.O.1	木布	鋼布	練	2	ライト・ワール ウインド	空•星	1×240	12.3	7.85	2.70	19.00	0.95	1.43	220	90	6.2	250	1.0		陸
34	Aec-3	木布	鋼布	ス	2	ア•ス•シドレー ヂエネツトメヂア	空•星	1×140	12.3	8.20	2.50	19.00	0.67	0.96	170	80	4.5	186			陸
34	Ae.T-1	木板	鋼布	客	7	ロレーヌ	水•扇	1×450	17.3	9.70	4.36	33.00	1.75	2.81	225				1.1		陸

ツ ウ イ キ Zwickey. (Buenos Aires.)

33				ス	1	A B C		1×40	8.00	5.25											陸

建造年月 1930	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/秒	性能 航續力 千粁	機型	備考

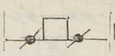
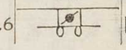
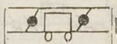
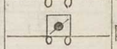
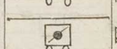
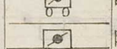
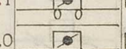
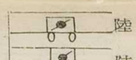
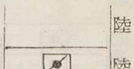
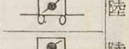
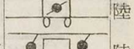
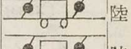
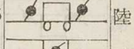
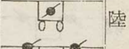
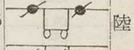
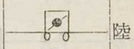
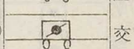
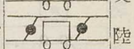
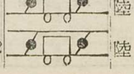
イ　ギ　リ　ス

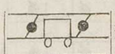
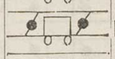
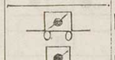
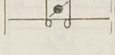
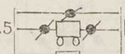
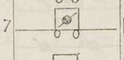
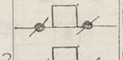
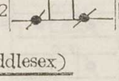
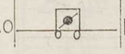
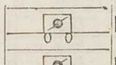
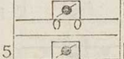
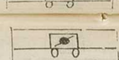
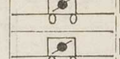
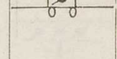
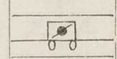
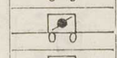
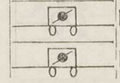
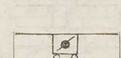
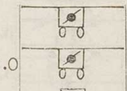
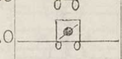
アヴロ　A. V. Roe & Co., Ltd. (Newton Heoth, Manchester.)

26	アヴエンチャ	木布	木布	戰	1	ナピアライアン	水・扇	1×570	8.54	7.77	2.97	22.70	1.07	1.55	290		6.7	630			陸
28	Ava			爆	4	ロールスロイス		2×650	30.0												陸
29	アンテロープ	布		偵	2	ロールスロイス F.XI.B	水・Y	1×538	11.0	9.49	3.27	35.02	1.24	2.06	273	102	6.0	440	1.1		陸
31	5	木布	鋼布	客	5	ア・ス・シドレーヂエネツトメヂア	空・星	3×100	14.3	10.9	2.89	30.70	1.29	2.11	182		3.9				陸
31	6	木布	鋼布	客	6	ア・ス・シドレーヂエネツトメヂア	空・星	3×100	15.5	11.0	2.89	33.40	1.36	2.26	182		3.6				陸
31	10	木布	鋼布	客	10	ア・ス・リンクス	空・星	3×215	21.7	14.5	3.90	67.50	2.73	10.2	185	95	4.3	222			陸
32	アヴイアン	木布	木布	ス	2	シラスハーメス 2B	空・併	1×115	8.54	7.40	2.59	22.70	0.46	0.71	173	65	3.8				陸
32	アヴイアンスポーツ	木布	鋼布	ス	2	シラスハーメス	空・併	1×115	8.54	7.39	2.59	22.70	0.45	0.72	193	72	4.0		0.4		陸
32	621 テユータ	鋼布	鋼	練	2	ア・ス・シドレーリンクス	空・星	1×215	10.4	8.08	2.92	27.90	0.81	1.11	185	80	4.5		0.2		陸
32	621	鋼布	鋼	練	2	ア・ス・シドレーリンクス	空・星	1×215	10.4	8.95	3.50	27.87	0.98	1.27	180		3.3		0.2		水
32	626	金布	鋼布	練	2	ア・ス・シドレーリンクス	空・星	1×215	10.4	8.08	2.92	27.90	0.88	1.24	180	80	4.5		0.2		陸
32	626	金布	鋼布	練	2	ア・ス・シドレーリンクス	空・星	1×215	10.4	8.95	3.50	27.87	1.03	1.32	176		3.3		0.2		水
32	631 カデツト	木布	鋼	練	2	ア・ス・シドレーヂエネツトメヂア	空・星	1×135	9.15	7.50	2.70	24.30	0.54	0.82	182	72	3.9	306	0.6		陸
32	631	木布	鋼	練	2	ア・ス・シドレーヂエネツトメヂア	空・星	1×135	9.15	8.35	3.13	24.30	0.64	0.88	175	79	3.4		0.6		水
33	642	木板	鋼布	客	14	ア・ス・ジヤガ 6. D	空・星	2×460	21.7	16.2	3.50	67.70	3.04	5.08	225	100	4.6	343			陸
33	641 コマドー	木布	鋼ア	客	5	ア・ス・シドレーリンクス	空・星	1×215	11.4	8.31	3.05	28.50	1.01	1.59	209	80	3.5	198			陸
33	642	木板	鋼布	客	14	ア・ス・シドレージヤガ 6. D	空・星	2×460	21.7	16.2	3.50	67.70	3.04	5.08	225	100	4.6	253			陸
34	652	木布	鋼布	客	8	ア・ス・チーター	空・星	2×275	17.2	12.9	2.95	38.10	1.93	3.09	282	96	6.3	348			陸
34	660	木板	鋼布	客	7	ア・ス・ヂエネツトメヂア	空・星	2×135	13.1	9.60	2.74	22.20	1.11	1.63	266	98	4.9	439			陸
34	637	輕	輕	爆	2	ア・ス・シドレーテウータ	空・星	1×260	11.0	8.31	2.96	29.20	0.90	1.41	209	89	4.3	274	0.9		陸
35	642	木板	鋼布	客	16	リンクス 4c		4×	21.7	16.2	3.50	67.70	3.83	5.47	241	108	4.3				陸
35	カデツト 643, 2	鋼布	鋼布	練	2	ア・ス・シドレヂエネツトメヂア 1A	空・星	1×150	9.14	7.55	2.70	24.40	0.58	0.91	187	69	3.7	229			陸
35	636			戰	2	ア・ス・シドレーパンサ11		1×640	10.1	8.22	3.40		1.35	1.95	370		9.8	689			陸
35				ス	1	カーデンフオード 10		1×30	6.70				0.16	0.25	113						陸
35	504 N			練	2			1×215	11.0	8.81	3.30		0.72	1.02	161		5.2	235			陸

アームストロング・ウイトワース　Sir W. G. Armstrong Whitworth Aircraft, Ltd.

28	シスキン3a	鋼布	鋼	戰	1	ア・ス・シドレジヤガチ "4"	空・星	1×385	9.80	7.72	2.94	27.22	0.95	1.36	247	85	8.2	367			陸
29	AW 14	木布	鋼布	戰	1	ア・ス・シドレ・ジヤガ	空・星	1×425	9.56	7.68	3.20	22.90		1.39	272		6.6	406	0.5		陸
29	AW 16			戰	1	ア・ス・シドレー	空・星	1×530	10.0	7.60	3.50	24.20	1.39	1.63	298		7.2	473			陸
29	アトラス			偵	2	ア・ス・シドレジヤガ	空・星	1×385	12.0			36.50		2.04	228		4.4	218			陸
32	15アタランタ	木布	鋼布	客	22	ア・ス・ダブルモングーズ	空・星	4×340	27.4	21.8		119.3	5.72	9.54	251			246	0.6		陸
32	アトラス 2			偵	2	ア・ス・シドレパンサ	空・星	1×530	12.2	8.84	3.28	36.40	1.82	2.27	255		6.1	350			陸
34	AW 35 シミター	鋼布	木布	戰	1	ア・ス・シドレパンサ 7	空・星	1×640	10.0	7.60	3.50	24.20	0.65	1.86	343		9.3	673	0.7		陸
35	AW 19	布	鋼布	爆		ア・ス・シドレータイガ 6	空・星	1×	15.1	12.8	3.97	60.55	1.95	3.97	165			326			陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓦	重量 全備 千瓦	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/秒	性能 航續力 千粁	機型	備考
35	AW 23	輕布	鋼布	爆		シドレタイガ 6	空・星	2×810	28.8	26.4	6.40										陸(引込脚)
	R. A. E. R. A. E. (South Farnborough, Hants)																				
32	PB-スカラブ			ス	—	ブリストル		1×32	9.15	6.40	2.05	11.80		0.29	124	51					陸
	アルテイス Altis. (London)																				
33				ス		A. B. C		1×36	10.5	5.94		11.10	0.24			60					陸
	アロー Arrow Aircraft, Ltd. (Little Russe ll street, Leeds)																				
32	アクテイヴ	鋼布	鋼	ス	1	シラスハーメス 2B	空・倒	1×100	7.32	5.66	2.11	12.00	0.38	0.54	224	80	6.1	250	0.4		陸
32	アクテイヴ 2	鋼布	鋼	ス	1	ゼプシー 3	空・倒	1×12	7.32	5.74	2.32	11.15	0.42	0.60	232	80		254	0.6		陸
	ウエストランド Westland Aircraft, Ltd. (Yeovil, Somerset)																				
28	ウエストベリ	ヂ布	鋼布	爆	4	ブリストル ジュピタ 6	空・星	2×400	20.8	13.2	4.19	81.30	2.20	3.58	201		6.4	237			陸
29	F20—27	ヂ		戰	1	ブリストル マーキュリ24	空・星	1×500	11.6	7.41	2.94	18.95									陸
29	ウイツチ	木布	鋼ヂ	爆	2	ブリストル ジュピタ 8	空・星	1×480	18.6	11.5	3.50	49.61									陸
32	ワピテイ	輕布	輕布	偵	2	ブリストル ジュピタ 8 F	空・星	1×480	14.1	10.4	3.60	45.40	1.44	2.45	225	90		381	1.1		陸
32	ワピテイ	輕布	輕布	偵	2	ブリストル ジュピタ 8 F	空・星	1×480	14.1	10.9		45.40	1.65	2.45	215		5.5	254	1.0		陸
33	ウエセックス	木布	木布	客	8	ア・ス・デユネツトメヂア	空・星	3×149	17.5	11.5	2.90	45.50	1.75	2.86	196		3.5	186	0.7		陸
33	ウオラス	輕布	輕布	軍	2	ブリストル ペガサス 2M3	空・星	1×570	14.1	10.4	3.51	45.40	1.74	2.61	253		7.8	401	1.8		交
34	ハウストン	金布	金布	ス	2	ブリストル ペガサス S-3	空・星	1×580	14.2	10.4	2.50	46.50	1.58	2.25	278	85	10.0	288			陸
34	F7/30	ヂ布		戰	1	ロ・ロ・ゴショーク			11.7	8.99	3.27										陸
	ヴイカス Vickers Ltd. (Byfleet Road, Weybridge, Surrey)																				
27	123			戰	1	イスパノ		1×400	10.4	8.68	3.27	35.11	1.02	1.49	224	79	8.8	334			陸
27	ヴイクスン			偵	2	ロ・ロ・コンドル 3		1×700	13.7	10.5		54.81	1.72	2.51	238	82	8.6	385			陸
28	ヴエスパ	輕	輕	偵	2	ブリストル ジュピタ 6	空・星	1×450	15.2	9.42	3.12	52.12	1.10	1.78	195	71	8.8	313			陸
31	ヴイローア	金布	ヂ布	客	10	ブリストル ジュピタ XIF	空・星	2×525	23.5	14.6	5.00	129.0	3.36	5.67	220	84	4.8		0.5		陸
31	ヴイローア	金布	ヂ布	客	10	ブリストル ジュピタ-F	空・星	2×525	23.5			129.0	3.59		205		4.6	210	0.5		陸
32	ヴイアストラ	ヂ		客	14	ブリストル ペガサス 1M3	空・星	1×500	21.3	14.8	3.90	74.70	2.91	4.16	235	92	5.8	200	1.2		陸
32	2 ヴイアストラ	ヂ		客	14	ブリストル ペガサス 1M3	空・星	2×500	21.3	14.8	3.90	74.70	3.57	5.61	239	105	6.2	330	0.5		陸
32	3 ヴイアストラ	ヂ		客	14	ブリストル ジュピター6FM	空・星	3×500	21.3	14.8	3.90	74.70	3.94	5.89	245	106	5.3	300	0.5		陸
32	143			戰	1	ブリストル		1×480	10.6	8.38	3.27	30.70	1.02	1.41	283	86	8.0	423			陸
32	151	輕布	輕	戰	1	ブリストル	空・星	1×525	9.95	7.00	2.50	13.90	1.02	1.43	352	105	9.6	630			陸
32	ヴイルド ビースト	ヂ布	ヂ布	偵	2	ブリストル ペガサス	空・星	1×550	14.9	11.2	4.47	67.75	2.02	3.78	230	90	6.0	308	1.0		交
32	ヴアーヂニア	輕布	輕布	爆	4	ナピアライアン 5		2×285	26.3	15.2	5.18		4.27	7.98	183	80	4.1	231	1.7		陸
32	ヴイクトリア	輕布	輕布	爆	4	ブリストル ペガサス 1-M3	空・星	2×615	26.6	18.1	5.40	202.0	4.45	8.04	209	80	5.5	176	1.3		陸
32	B19/27	輕布	輕布	爆	4	ロ・ロ・ケストレル	水	2×480	23.3	18.4	5.87	127.0		7.16							陸
32	163	輕布	輕布	爆	5	ロ・ロ・ケストレル 3S		4×480	27.4	20.3	6.80	178.2		116.							陸
32		輕布	輕布	爆	4	ブリストル ペガサス1M3	空・星	2×622													陸
32	ヴイク トーリア			軍輸	25	ナピア・ライアン XI		2×	26.6	18.1	5.40	202.0	4.55	8.04	176	82	4.9	136	1.2		陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	発動機 型式	発動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/秒	性能 航續力 千粁	機型	備考
34	ヴエロツクス	金布	ヂ布	客	14	ブリストル ペガサス 1M3	空・星	2×580	23.2	15.4	4.95	127.6	3.62	6.12							交
35	ヴアレンシア			輸	24	ブリストル ペガサス 2M3	空・星	2×	26.6	18.1	5.41	202.4	4.96	8.84							陸
35	G4/31	輕布	輕金	偵	2	ブリストル ペガサス3M3	空・星	1×690	16.0	11.3	3.81			3.79							陸
35	ウエルズリ	ヂ	ヂ	偵	2	ブリストル ペガサス3M3	空・星	1×690	22.4	11.7	3.66			4.54							陸(引込脚)
	エアースピード Airspeed, Ltd, (Piccadilly, York.)																				
32	フエリー	金布	木金	客	12	ヂプシー 3 ヂプシー 2	空・倒	1×120 2×120	16.8	12.1	4.34	59.50	1.56	2.46	173	79	3.9	180	0.5		陸
33	クリア	木布	鋼板	客	7	ア・ス・ リンクス 4C	空・星	1×240	14.3	8.69	2.60	23.22	0.95	1.77	259	85	6.4	250	0.7		陸
34	エンヴオイ	木布	木布	客	8	ア・ス・ リンクス 4C	空・星	2×240	15.9	10.5	2.89	31.50	1.40	2.41	274	89	5.2	279			陸
34	ヴアイスロイ	木布	木布	客	10	ア・ス・チーター	空・星	2×315	16.0	10.5	2.90	27.80	1.77	2.86	338	108		336	2.2		陸
	クレム The British Klemm Aeroplane Co., Ltd. (Hauworth Aerodrome, Feltham, Middlesex)																				
34	スウオロー	木板	木板	ス	2	ブリテイシユ サルムソン 9		1×75	13.0	8.00	2.14	20.40	0.44	0.68	163	51	4.9	228	0.7		陸
34	イーグル	木布	木布	ス	3	デ・ハ・ ヂプシーメヂア	水	1×130	12.0	7.90	2.05	18.60	0.61	1.05	236	72	4.9	197	1.0		陸
	グロスタ The Gloster Aircraft Co., Ltd, (Hucclecote, Glos.)																				
26	ゴーコツク	木布	鋼布	戰	1	ナピア・ライアン	水	1×525	8.68			23.22	1.01	1.38	269	90		587			陸
27	ゴラル	鋼布	鋼布	偵	2	ブリストル ジユピタ 6	空・星	1×450					1.31	2.09	225		6.6	267			陸
28	ゴーリング	木布	木布	爆	2	ブリストル ジユピタ 6	空・星	1×450	12.8			41.80		2.54	235		5.0	201.7	1.5		陸
28	ゴーリング	木布	木布	爆	2	ブリストル ジユピタ 9	空・星	1×450	12.8			41.80		2.54	227	77	3.9	265			水
29	ゴールドインチ	ヂ	鋼布	戰	1	ブリストル ジユピタ	空・星	1×470	9.10	6.80	3.20	25.50		1.38	277	91	8.1	499			陸
32	S. S. 18	鋼布	輕布	戰	1	ブリストル ジユピタク F	空・星	1×450	10.0	7.85	3.35	27.90		1.49	322	97	8.9	672			陸
32	S. S. 19	鋼布	鋼布	防戰	1	ブリストル マーキユリ6S2		1×450	10.0	7.85	3.35	27.90									陸
32	ナツツナバ 3	鋼布	輕布	戰	1	ロ・ロ・ ケストレル 2S	蒸・Y	1×540													陸
32		ヂ布	ヂ	爆		ロ・ロ・ケストレル	Y	4×540	28.9	24.6	7.92		8.22	12.9							陸
33	S.S. 19 B	鋼布	輕布	戰	1	ブリストル マーキユリ4S2	空・倒	1×560	10.0	7.90	3.00	27.90			352			520			陸
33	S.S. 35	鋼布	輕布	戰	1	ロ・ロ・ ケストレル 2S	蒸・Y														陸
34	ゴーントレツト	鋼布	輕	戰	1	ブリストル マーキユリー6S2	空・星		10.0	7.90	3.00	27.90		1.78	367	95	11	633			陸
35	グラデイエイタ	輕	輕	戰	1	ブリストル マーキユリ IX	空・星	1×715	9.81	8.38		29.97	1.47	2.00	419	97	1.1	786			陸
	コムパ The Comper Aircraft Co., Ltd, (Hooton park, Wirral, Cheshire)																				
32	スウイフト 1	木布	木	ス	1	ポブジオイ R	空・倒	1×85	7.32	5.40	1.16	8.36	0.25	0.49	216	56	7.3				陸
32	スウイフト 2	木布	木	ス	1	デ・ハ・ヂプシ 3	空・倒	1×120	7.32	5.40	1.16	8.36							1.0		陸
33	マウス	木布	木板	輕	3	デ・ハ・ ヂプシ・メヂア	空・倒	1×130	11.4	7.65	2.06	16.00	0.59	1.01	209				1.0		陸
34	ストリーク			輕	1	デ・ハ・ ヂプシ・メヂア	空・倒	1×146	7.16	5.49	1.75	7.43	0.40	0.65							陸
34	カイト			輕	2	ポブジオイ ナイアガラ R	空	1×90		7.44			0.30	0.54	250						陸
	サーロ Saunders-Roe Ltd. (East Cowes, Isle of wight.)																				
32	ウインドホヴア	木板	輕	客	6	デ・ハ ヂプシ 2	空・倒	3×120	16.6	12.6	4.42	52.20	1.64	2.52	176				0.4		兩
32	クラウド a	木板		客	11	ア・ス・シドレー ダブルモングーズ	空・星	2×340	19.5	15.2	4.80	60.40	2.61	4.36	194				0.6		陸
32	カテイサーク	木板	輕	ス	4	ア・ス・シドレー ヂエネトメヂア	空・星	2×150	13.7	10.4	3.40	29.80	1.23	1.81	169		3.2	198	0.5		兩
32	クラウド	木板	輕	偵		ア・ス・シドレー ダブルモングーズ	空・星	2×340	19.5	15.2	4.80	60.40	2.83	4.17	190		4.2	230			陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇牽 分	性能 航續力 千粁	機型	備考
34	A—27			哨		ブリストル ペガサス	空・星	2×580	24.4	17.2	57.0										
35	クラウド	鋼布	鋼布	軍	8	ア・ス・シドレー サーヴアル	空・星	2×340	19.5	15.2	4.80	60.40	2.95	4.31	190		4.3	230			

シウーパマリーン The Supermarine Aviation Works Ltd. (Woolston and Hythe, Southampton)

27	ソラント	輕布	ヂ	爆	6	ア・ス・シドレ ジャガ	空・星	3×400	22.8	15.3	5.78	130.0	4.33	7.40	183	87	3.3	150			
31	S—6B	ヂ布		ス	1	ロ・ロ・	水	1×2.00	9.15	8.40	3.66	13.40	2.07	2.67							水
32	エアヨツト	ヂ布	ヂ	ス		ア・ス・シドレバンサ	空	3×525	28.0	20.6	6.71	136.7	6.83	11.1	188			154			
32	サバンプトン	輕布	ヂ	爆	4	ロ・ロ・ケストレル 2MS	水	2×540	22.9	15.2	5.66	12.35									
32	サバンプトン 10	ヂ		爆	6	ブリストル ジュピタXFBN	空・星	3×525	21.3	16.9	6.40	114.7	6.35	10.2	208	109	4.6	153			
33	シーホーク			爆	4	シドレー		3×530	24.0												陸
33	スカパ	ヂア	輕	偵	6	ロ・ロ・ケストレル 3NB	水・Y	2×	22.9	16.2	6.40	121.0									
34	スピツトファイア			戰	1	ロ・ロ・ゴシヨーク	蒸														陸

シヤヴア Cieva, The, Autogiro Co, Ltd, Boush House, Aldwich, London W, C. 2

32	C19MK-4			ス	2	シドレー		1×100	10.4	10.4	3.04		0.48	0.65	164	41	3.3				陸
32	C-24			ス	2	デ・ハ		1×120	10.4	10.4	2.70		0.58	0.81	184	40			0.6		陸

シヤクルトン・アンド・リー・ミユリ W. S. Shackleton and Lee Murray (175, Picadilly, London, W. 1.)

33	SM-1	木布	木板	ス	2	ヒルト H. M 66	空・列	1×70	12.2	7.81	2.29	19.50	0.38	0.66	145	57	4.3		0.4		陸

シヨート Short Bros. Ltd. (41, Whitehall, S W. 1.)

32	ヴアレツタ	ヂ		客	17	ブリストル ジュピター2F	空・星	3×490—525	32.6	21.2	5.94	128.4	6.59	10.2	217	105	4.3	259	0.8		交
32	ガーナド	ヂ	鋼布	艦偵	2	ロ・ロ・ケストレル	水・星	1×540	11.3	8.40	3.74	39.90	1.48	2.18	243	83	6.1	391			陸
32	カルカタ	ヂ	ヂ	客	15	ブリストル ジュピター 2F	空・星	3×525	28.4	19.8	6.80	170.0	8.08	10.2	196	99	3.6	180	0.7		
32	シビオ	ヂ	ヂ	客	18	ブリストル シュピターXFBM	空・星	4×500	34.4	23.9	8.50	245.2	8.58	14.5	219	96	5.5		0.7		
32	ラングーン	ヂ	ヂ	爆	4	ブリストル シュピター 2F	空・星	3×525	28.4	19.8	6.80	170.0	8.08	10.2	196	99	3.6	200	1.2		
32	R6/28	輕布	輕全	爆	4	ロ・ロ・バザド 3MS		6×820	36.6	27.3	9.24		31.7								
32	ガーナドA	ヂ	鋼布	偵	2	ロ・ロ・ケストレル	水・星	1×540	11.3	9.60	4.27	39.90	1.66	2.36	239	87	5.6	245			交
32	シンガポール			爆哨	4	R. R. ケストレル	水・星	4×540	27.4	19.4	7.02	162.6	8.35	12.6	222		3.7		1.8		
34	シラ	ヂ		客	43	ブリストル ジュピター 11F.B.M.	空・星	4×600	34.4	26.3	8.99	242.9	10.3	15.2	219						陸
34	シオン	ヂ布	鋼布	客	6	ポブジオイ ナイアガラ	空・星	2×90	12.8	9.60	3.28	23.75	0.78	1.36	201	80		214	0.6		交
34	シンガポール 3			哨		ロ・ロ・ケストレル	水・Y	4×560	27.4	19.5	7.20	170.5	8.36	12.5	233	105	4.6	213	1.6		
35	サラフアンド	ヂ布	ヂ	哨		ロ・ロ・バザド 3MS	水・Y	6×930	36.6	27.3	10.2	165.5	20.3	31.8	242		4.0	228	2.3		

ジエネラル・エアクラフト General Aircraft Ltd. (Airport of London, Croy don, Surrey)

32	ST—4 モノスパー	金布	金	ス	4	ポブジオイ R	空・星	2×85	12.2	8.03	2.13		0.59	1.04	212	74	5.2	240			陸
34	ST-10 モノスパー	金布	金	旅	5	ポブジオイ ナイアガラ	空・星	2×90	12.2	8.03	2.39	20.2	0.67	1.16	228	77			0.9		陸
34	ST-11 モノスパー	金布	金	客	4	ポブジオイ ナイアガラ	空・星	2×90	12.3	8.04	2.44	20.15	0.69	1.16	250	81	5.9		1.0		陸
35	ST-12 モノスパー	金	木	旅	4	ヂプシー メヂア	空	2×130	12.3	7.95		20.15	0.84	1.31	254	87	5.9	378	0.7		陸
35	ST-18 モノスパー	金屬		客	12	プ・ウイ・ワスプジュニア	空・星	2×400	18.2	13.0	4.12	48.2	2.42	4.08	301	105	7.3	426	1.6		陸

建造年月 1000	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/分	性能 航續力 千粁	機型	備考
35	ST-12 モノスパー	金布	金	客	4	ヂプシーメヂア		2×130	12.3	7.95		20.15	0.84	1.31	254	87	6.4	378			陸
35	ST-25 モノスパー	金布	金	客	5	ボブジオイ ナイアガラ 2		2×90	12.0	7.80	2.10	20.00	0.76	1.30	230	83	4.8	240	0.9		陸
	スパータン SPartan Aircraft, Ltd. (53, Parliament Street, London, S, W. 1.)																				
32	アロー 1	木布	木板	ス	2	デ・ハ・ヂプシー2	空・列	1×120	9.32	7.60	2.90	23.30	0.44	0.79	161	66		210			陸
32	アロー 1S	木布	木板	ス	2	デ・ハ・ヂプシー2	空・列	1×120	9.32			23.30		0.84	153	77					水
32	アロー 2	木布		ス	3	シラス ハーメス4	空・列	1×130	8.79	8.00	2.95	22.30	0.52	0.84	169	74			0.5		陸
33	クルーザ	木布	金ア	客	6	デ・ハ・ ヂプシー 3	空・倒	3×130	16.5	12.0	3.05	40.50	1.54	2.49	218		4.5	183			陸
35	スウオロー2				2	ボブジオイ カタラクト		1×85	9.60					0.68	130	40	5.2				
	ド・ハヴイランド The De Havilland Aircraft Co., Ltd. (Stag Lane, Edgeware, Middlesex)																				
28	65ハウンド	ヂ布	木布	偵	2	ナピア ライアン IX		1×450	13.7	10.2		42.80	1.35	2.32	251	91	7.7	180	1.6		陸
30	D. H. 77			戰	1	ナピア ラピア	空・星	1×300	9.80	7.46	2.29					96					陸
32	D. H. 61ヂアイアントモス	木板	木板	客	9	ブリストル ジュピター—9	空・星	1×450–500	15.9	11.8	4.00	57.00	1.69	3.18	212	87	4.9	274			陸
32	D. H. 66ハーキュリーズ	木布	鋼布	客	16	ブリストル ジュピター—6	空・星	3×450	24.2	17.1	5.56	143.7	4.03	7.03	209	84	4.0	193			陸
32	D. H. 60ヂプシーモス	木布		ス	2	デ・ハ・ヂプシー1	空・倒	1×100	9.15	7.30	2.68	23.40	0.43	0.79	161	71	4.4	176			陸
32	D. H. 6 ヂプシーモス	木布		ス	2	デ・ハ・ヂプシー1	空・倒	1×100	9.15	7.59	3.09	23.40	0.50	0.79	154	74	3.1	117			水
32	D. H. 80 プス…	木布	木布	ス	3	デ・ハ・ヂプシー3	空・倒	1×120	11.2	7.62	2.08		0.53	0.92			4.8	198			陸
32	D. H. 83 フオクスモス	木布	木布	ス	4	デ・ハ・ヂプシー3	空・倒	1×120	9.45	7.85	2.53	22.90	0.50	0.94	172	82	3.0		0.7		陸
32	D. H. 83 Sm	木布	木布	ス	4	デ・ハ・ ヂプシーメヂア	空・倒	1×135	9.45	7.85	2.50	22.90			198	83	4.5		0.7		陸
32	D. H. 82 タイガモス	木布	鋼布	軍	2	デ・ハ・ヂプシー3		1×120	8.95	7.32	2.71	22.20	0.50	0.83	169	73	4.5	177	0.5		交
32	D. H. 82 タイガモス	木布	鋼布	軍	2	デ・ハ・ ヂプシーメヂア	空・倒	1×130	8.95	7.32	2.71	22.20	0.50	0.83	175	73	4.9	205	0.5		交
32	セヴアン			偵	5	ブリストル		3×485	26.8	18.6	5.49	19.33									陸
33	D. H. 84 ドラゴン	木布	木板	客	10	ヂプシーメヂア	空・倒	2×130	14.3	10.5	3.08	35.00	1.04	1.91	208	93	4.4	194	0.7		陸
34	D. H. 86エ・エ・アライナ	木鋼	木板	客	12	デ・ハ・ヂプシー6	空・倒	4×205	19.7	14.1	3.97	59.55	2.51	4.18	279	110	4.1	330	1.2		陸
34	D. H. 89 ドラゴン.6	木布	木布	客	7	デ・ハ・ヂプシー6	空・倒	2×200	14.6	10.5	3.00	31.21	1.29	2.27	266		5.9	257	0.9		陸
34	D. H. 88 コメット	木布	木	競	2	スペシャル デ・ハ・ヂプシー 6	空・倒	2×224	13.4	8.87	2.74	19.74		2.38	376				4.6		陸
34	D. H. 85 レパドモス	木布	木板	ス	3	デ・ハ・ ヂプシーメヂア	空・倒	1×130	11.4	7.47	2.67	17.26	0.62	1.01	225	80	5.3	303			陸
34	タイガーモス			練	2	ヂプシーメヂア		1×130	8.93	7.44	2.46	70.30	0.50	0.83	169						陸
34	T. K—1	木布	木板	ス	2	デ・ハ・ヂプシー3	空・倒	1×120	8.23	7.07	2.60	17.00	0.43	0.66	189	74	6.0	278			陸
35	D. H. 87 ホーネツトモス	木布		ス	2	デ・ハ・ ヂプシーメヂア	空・倒	1×130	9.96	7.56		18.94	0.56	0.89	211	64	5.4	262	1.1		陸
35	T. K—2	木板	木板	ス	2	デ・ハ・ ヂプシーメヂア	空・倒	1×140	9.75	6.72		11.61	0.45	0.68							陸
	ハンドレー・ページ Handley Page, Ltd. (Cricklewood, London, N. W. 2)																				
26	ヒナイデイ	木布	木布	爆	4	ブリストル ジュピター 8	空・星	2×450	22.9	18.0	5.17	137.0	3.65	6.58	181		4.7	110			陸
28	ハロー 2	木布	鋼	爆	2	ナピア・ライアン	水	1×450	14.0	10.6	4.12	55.00	1.87	3.32	199	80					陸
29	ヘア 2	輕布	輕	爆	2	ブリストル ジュピター 8	空・星	1×500	39.6	27.1				12.9							陸
32	42 E	ヂ布	ヂ	客	38	ブリストル ジュピター XI	空・星	4×550	39.6	27.4	8.20			13.4	194	81		241			陸
32	42 W	ヂ布	ヂ	客	38	ブリストル ジュピターXFBM	空・星	4×550	39.6	27.4	8.20			13.4	205	83		204			陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/分	性能 航續力 千粁	機型	備考
32	ヘイフアド			爆	4	ロ・ロ・ケストレル 3S	水・Y	2×525	22.9	17.7	6.25	136.5		7.04							陸
32	Clive	ヂ布	鋼布	軍輸		ブリストル ジュピター 8	空・星	2×440	22.9	17.7	6.25	136.5		7.03	225	90		163	1.2		陸
33	38			爆	5	ロ・ロ		2×525	22.9	17.7	6.25			7.00							陸
34	ヘイフアド 1	輕布	輕	爆	4	ロ・ロ・ケストレル 3	水・Y	2×630	22.9	17.7	5.40	136.5		7.60	227		6.4		1.5		陸
34	ヘイフアド 2	輕布	輕	爆	4	ロ・ロ・ケストレル 6	水	2×630	22.9	17.7	5.40	136.5									陸
35	H. P. 51	輕	輕布	輸	4	ア・ス・シドレー タイガー 4	空・星	2×700	27.5	23.9	4.57	108.6									陸
35	H. P. 47	輕	輕	偵	2	ブリストル ペガサス 3MS	空・星	1×690													陸
	パーシヴアル Edgar. W. Percival (81. St. George's Square, London, S. W. 1)																				
32	ガル	木布	木板	ス	3	シラスハーメス 4	空・倒	1×130	11.0	7.52		18.20	5.30	9.30	233	68	4.8		1.1		陸
34	ミウガル	木板	木板	ス	1	デ・ハ・ヂプシー6	空・倒	1×200	7.32	5.56	2.70	7.24	4.72	7.01	326	104			0.9		陸
35	1935型ガル	木布	木	旅	3	デ・ハ・ヂプシー6	空・倒	1×200	11.0	7.62		15.7	6.58	1.04	277	69			1.0		陸
35	ガル	木布	木板	輕	3	デ・ハ・ヂプシーメヂア	空・倒	1×130	11.0	7.34	2.10		5.82	1.04	246				1.2		陸
35	ヴイーガガル	木	木板	旅	4	デ・ハ・ヂプシー6	空・倒	1×200	12.0	7.72	2.25	17.10	0.74	1.25	274	71			1.0		陸
	パーナル George Parnall & Co. (Colisium Works, Park Raw, Bristol)																				
24	プラヴア			戰	1	ブリストル		1×420													陸
27	パイク			偵	3	ナピア・ライアン		1×450													陸
32	パラソル	鋼板	鋼	輕	2	ア・ス・リンクス	空・星	1×230	12.8	9.25	2.9	27.33	1.01	13.0	191	91	8.9	229			陸
	ビアドモー William Beardmore & Co., Ltd. (Parkhead Steel Works, Glasgow.)																				
25	W—26	木板	鋼板	偵	2	ロ・ロ・イーグル9		1×360	11.6	9.76		33.00	1.15	1.80	222	92	6.1	250			陸
28	インフレクシブル	ヂ	ヂ	爆	5	ロ・ロ・コンドル	水	3×650	47.9	23.0	6.45	183.0		17.0							陸
	B. A. C. B. A. C., Ltd. (London air Park, Feltham, Middlesex.)																				
34	ドローン	木布	木板	ス	1	ダグラス	空・—	1×	12.4	6.7	2.5	16.6	2.20	3.00	96	40		380	0.5		陸
	フエアリー The Fairey Aviation Co., Ltd. (Hayes, Middlesex.)																				
31	ロングレーインヂ	木布	木布	ス	2	ナピア・ライアン	水	1×530	25.0	14.8	3.65	77.10		7.94	146						陸
32	フライキャツチア 1A			戰	1	ア・ス・シドレー		1×385					0.93	1.37	216	88	6.2	3.0			陸
32	フアイア・フライ 2M	輕布	輕布	戰	1	ロ・ロ・ケストレル	水・Y	1×480	9.76	7.50	2.64										陸
32	フアイア・フライ 3M	輕布	輕布	戰	1	ロ・ロ・ケストレル	水・Y	1×480	10.2	7.80	2.63										陸
32	3F	鋼布	鋼木	偵	3	ナピア ライアン XI	水・Y	1×570	14.2	9.95	3.51										陸
32	ゴードン	鋼布	鋼木	偵爆	2	ア・ス・シドレーパンサ	空・星	1×525	14.2	9.95	3.51										陸
32	シール	鋼布	鋼木	偵	3	ア・ス・シドレーパンサ	空・星	1×525	14.2	9.95	3.51			2.70					1.0		交
32	N.B ヘンドン	輕金	輕金	爆	4	ロ・ロ・ケストレル 3S		2×	30.5					8.65							陸
32	フオクス 2M	輕布	輕布	爆	2	ロ・ロ・ケストレル	水・Y	1×480													陸
34	フオクス 4M	輕布	輕布	爆	2	ロ・ロ・ケストレル	水・Y	1×480													水
35	フアンタム	輕布	輕	戰	1	イスパノスイザ 12Ycrs	水・Y	1×860	11.1	8.38	2.79				400	120		5.0			陸
	ブラツクバーン The Blackburn Aeroplane & Motor Co., Ltd. (Brough, E. Yorks.)																				
25	ダート 2			雷	2	ナピア・ライアン		1×450	13.8	12.2		58.50			160						陸
26	b			偵	2	ナピア・ライアン		1×450	14.6												陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/秒	性能 航續力 千粁	機型	備考
32		金布	ヂア	客	12	ア・ス・ジャガ 4C	空・星	2×400	19.5	16.7	4.75	96.40	3.70	5.51	198	97	3.4	192	0.6		陸
32		金布	ヂア	客	12	ア・ス・ジャガ 4C	空・星	2×400	26.2	16.7	4.26	99.10	3.72	5.71	199	92	4.5	222	0.6		陸
32	スグレイヴ	木板	ア	客	4	デ・ハ・ヂプシー3	空・倒	2×120	12.0	8.60	2.36	21.30	1.02	1.50	221	95	4.3	242			陸
32	B—2	鋼布	ヂア	練	2	デ・ハ・ヂプシー3	水・倒	1×120	9.20	7.40	2.75	22.90	0.51	0.79	180	74		213	0.5		陸
32	リンコツク			戰	1	ア・ス・シドレー リンクスメヂア		1×250	7.40	5.90	2.20	17.80	0.65	0.94	260	96	6.1	450			陸
32	リボン	輕布	輕	爆雷	2	ナピア ライアン XI	水・Y	1×530	13.9	11.2	4.07	66.88	2.01	3.36	202	95	3.0	185	0.6		陸
32	3 M. R. 4	ヂ布	鋼布	爆雷	3	イスパノスイザ	水・Y	1×625	15.0	10.1	3.78		1.92	3.40	216	96	4.3	240	1.3		陸
32	アイリス 5	布	ヂ	哨		ロ・ロ・ バザド 2MS	水・Y	3×825	29.4	20.4	7.70										
32	シドニ	ヂ	ヂ	爆	4	ロ・ロ・ ケストレル2MS	水・Y	3×525	30.5	20.0	5.80	139.3	8.25	11.3	203	101			1.4		
33	バフイン	布	木布	雷爆	2	ブリストル ペガサス 1M3	空・星	1×565	13.9	11.6	4.20	63.35	1.90	3.45	218	96	4.6	183	0.2		陸
34	H. S. T. 10	ヂ		客	14	ナピア ラピア 6型 H型	空・Y	2×340	17.5	12.8	3.66	41.00	2.51	3.90	328	101	7.3	360			陸
34	シャーク	鋼布	ヂ	雷爆	3	ア・ス・ シドレータイガ	空・星	1×700	14.0	10.4	3.68	45.40	1.83	3.57	245	101	5.0	250	0.9		陸
34	バース	ヂ布	鋼ア	哨	5	ロ・ロ・ バザド 2MS	水・Y	3×825	29.5	21.4	7.76	233.0	9.50	14.8	212	101	3.5	234	2.8		
35								1×	9.75	5.40	2.30		0.49	0.73	247	68	4.9				陸

ブリストル The Bristol Aeroplane Co., Ltd. (Filon, Bristol.)

27	101	鋼布	木板	偵	2	ブリストル ジュピター 6	空・星	1×450	10.2	8.22	2.89	33.50	0.95	1.60	240	96	6.4				陸
28	93A ビーヴア	輕布	輕布	偵	2	ブリストル ジュピター 8	空・星	1×450	13.4	9.58	3.53	43.15	1.35	2.02	217		6.7				陸
31	89 A	木金	木板	練	2	ブリストル ジュピター 6	空・星	1×450	11.9	7.60	2.90	37.60	1.06	1.45	176						陸
31	118	鋼布	鋼	偵	2	ブリストル ジュピターXFA		1×525	12.4	10.4	3.66			2.36							陸
31	118	鋼布	鋼布	偵	2	ブリストル ジュピタXFA	空・星	1×525	12.4	10.4	3.66		1.50	2.36	225		7.8				陸
32	11 A 2			客	5	ブリストル		1×315													陸
32	ブルドツグ 4			戰	1	ブリストル		1×450	10.4	7.54		28.50	1.00	1.58	274		7.6	411			陸
32	ブルドツグTS			戰	2	ブリストル		1×450	10.4	7.54		28.50	1.00	1.58	274		7.6	411			陸
32	ブルドツグ3A			戰	1	ブリストル		1×450	10.4	7.54		28.50			320						陸
32	ブルパプ	輕	輕布	戰	1	ブリストル ジュピター 7	空・星	1×450	9.84	7.59	3.28										陸
32	II A	鋼布	鋼布	戰	1	ブリストル ジュピター	空・星	1×450	10.4	7.54		28.50	1.01	1.58	274		7.7	411			陸
32	120	鋼布	鋼布	軍偵	2	ブリストル ペガサス M2	空・星	1×615	12.4	10.4	3.66		1.64	2.36	270		6.7	375			陸
33	ブルドツグ 4			戰	1	ブリストル マーキユリ6S-2	空・星		10.3	7.68	3.01	27.27	1.27	1.86	335	105	9.7	721			陸
34	120	鋼布	鋼	偵	2	ブリストル ペガサス M2	空・星		12.4	10.4	3.66		1.65	2.36	270		6.7	375			陸
35	133	輕布	輕布	戰	1	ブリストル ペガサス 6.S	空	1×605													陸

ヘストン Heston Aircraft Co., Ltd. (Heston Airport, Middlesex)

35	フエニクス	木布	木板	客	5	デ・ハ・ヂプシー6	空・倒	1×200	12.3	9.20	2.60	28.20	0.91	1.50	234	88	4.3	200	0.8		陸(引込脚)

ヘンダスン The Hendy Aircraft Company (7, Park Lane' London, W. 1.)

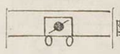
32	ホーボー			ス	1	A. B. C スコーピオン		1×40													陸
33	ヘツク	木板	木板	客	2	デ・ハ・ヂプシー6	空・倒	1×205	9.60	7.98	2.59		0.82	1.18	272	64			1.0		陸(引込脚)
35	ヘツク	木板	木板	ス	2	ウーズリアライズ		1×225	9.46	7.92	2.45										陸

ホーカ The H. G. Hawkar Engineering Co., Ltd. (Kingston-on-Thame, S.)

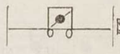
28	ホーフインチ	ヂ布	ヂ布	戰	1	ブリストル ジュピター	空・星	1×450	10.2	7.40	2.90	27.40	0.83	1.24	275	95	9.1	660			交

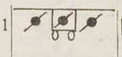
建造年月 1960	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	発動機 名称	発動機 型式	発動機 数×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/秒	性能 航続力 千粁	機型	備考
32	トムテイツト	木金	木布	練	2	ア・ス・シドレー モングーズ	空・星	1×130	8.70	7.13	2.64	22.10	0.49	0.79	199	73	6.0	206			陸
32	デイーマン	ヂ布	ヂ布	戦	2	ロ・ロ・ケストレル		1×540													陸
32	フユーリ	ヂ布	ヂ布	戦	1	ロ・ロ・ケストレル	水・Y	1×540							342						陸
32	ニムロド	ヂ布	ヂ布	戦	1	ロ・ロ・ケストレル	水・Y	1×540							308	98					陸
32	ホーズリ	木布	鋼布	爆	2	ロ・ロ・コンドル	水・Y	1×690	17.3	11.7	4.30	64.35	2.24	4.38	206	99	4.9	282			陸
32	ハート	輕布	輕布	爆	2	ロ・ロ・ケストレル 1B	水・Y	1×540						1.96	296			405			陸
33	オスプリ	布ヂ	ヂ布	戦	2	ロ・ロ・		1×540													陸
33	フープー			戦	1	シドレー		1×530													陸
33	シユーパフユーリ			戦	1	ロ・ロ・ケストレル		1×600							402						陸
33	F7/30			戦	1	ロ・ロ・ゴショーク	蒸	1×													陸
33	ダントープ			雷	3	シドレー		1×800	17.0	13.0				5.00	220				1.8		陸
35	ハインド	輕布	輕布	爆	2	ケストレル	水・Y	1×700							322						陸
ホフマン																					
35	ホフマン	輕布			2	ル・ブロン		1×70	6.70	5.79		83.80	0,26								陸(翼)
35	フライングウイング			ス	2	シラス		1×85	6.90	5.18		72.20	0.41		217	45					陸
ボウルトン・アンド・ポール Boulton & Paul, Ltd. (Riverside Works, Horwich)																					
26	ビウーグル 2	鋼	鋼	爆	3	ナピア・ライアン		2×450	19.1	12.1		86.00									陸
28	バートリツヂ	ヂ	ヂ	戦	1	ブリストル ジュピター 7	空・星	1×450	10.6	7.10	2.90	28.70	0.91	1.40	267	98	7.9	653			陸
32	サイドストランド	鋼	ヂ	爆	3	ブリストル ジュピター 9F	空・星	2×480	22.0	12.5	4.51	91.00	2.73	4.63	224	87	7.3	305			陸
32	P. 32	ヂ	ヂ	爆	4	ブリストル ペガサス	空・星	3×555	30.5	21.0	6.70	194.0		10.3							陸
32	P. 64	鋼布	鋼ヂ	郵	2	ブリストル ペガサス 1M2	空・星	2×575	16.5	13.3	3.96	70.00	2.78	4.77	314	97	6.8				陸
32	P. 64	鋼布	鋼ヂ	郵	2	ブリストル ペガサス 1M2	空・星	2×575	16.5			70.00			290						水
35	オーヴアストランドA	鋼ヂ	鋼ヂ	爆		ブリストル ペガサス 2	空・星	2×580	21.9	14.0	4.70	91.00	3.60	5.46	245		6.9	336	1.0		陸
35	オーヴアストランドB	鋼ヂ	鋼ヂ	爆		ブリストル ペガサス 2	空・星	2×580	21.9	14.0	4.70	91.00	3.46	5.46	285		8.5	354	1.0		陸
35	シユーパーストランド	鋼布	鋼布	爆	3	ブリストル ペガサス 4型	空・星	2×670	21.9	13.9		91.00	4.00	6.81	308	105	8.4	357	1.7		陸
35	P. 71A	ヂ	ヂ	客	16	ア・ス・シドレー ジャガ 6A	空・星	2×425	16.5	13.5	4.57	73.81	2.77	4.31		100	6.4	442	0.7		水
マイルズ F. G. Miles. (c/o Philips & Powis Aircraft Ltd., Woodley Aerodrome, Reading)																					
32	Sa'yr サター	木金	木布	ス	1	ポアジョイ R	空・星	1×75	6.40			10.86	0.26	0.40	196	71					陸
34	Hawk	木板	木板	旅	3	シラス 3A	空・倒	1×95	9.97	7.32	2.28	15.70	0.46	0.82	186	64	5.4		0.8		陸
34	フオールカン	木板	木板	旅	4	デ・ハ・ヂプシーメヂア	空・倒	1×130	10.7	7.62	1.98	17.00	0.59	1.04	193	71	5.5	276			陸
35	マーリン	木板	木板	旅	5	デ・ハ・ヂプシー6	空	1×200	10.7	7.87	2.27		0.72	1.36	250	77					陸(引込脚)
35	ホークド・リュクス	木板	木板	ス	2	ヂプシーメヂア		1×130	10.4	7.31	1.85	53.00			241	64					陸
35	ホークトレーナ	木板	木板	練	2	ヂプシーメヂア		1×130	10.4	7.31	1.85	53.00			241	64					陸
35	ホークスピード.6	木板	木板	競	1	ヂプシー 6		1×200					0.61	0.86	298	72					陸
35	ナイトホーク	木板	木板	練	4	ヂプシー 6		1×200													
35	ペレグリーン	木板				デ・ハーヂプシー6	空・倒	2×200	14.0	9.75	2.58	91.40	1.45	2.27	302	64	7.0	335			陸
マーチンベーカ Martin-Baker Aircraft Co., Ltd. (Higher Denham, Buckinghamshire.)																					
34	MB—1	木布	鋼布	ス	2	ナピア・ジャヴリン	空・倒	1×155	11.3	8.80				1.07	280	80					陸
36	マランダズ			輕	2			1×	8.53	6.52			0.40	0.09	214	72					陸

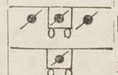
建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千粁	重量 全備 千粁	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/分	性能 航續力 千粁	機型	備考
	レツド・ウイング Redwing Aircraft Co., Ltd. (Gatwick Aerodrome, Lowfield Heath, Surrey.)																				
32	MK 2	木布	板	ス	2	ア・ス・シドレー ヂエネツト	空・星	1×88	9.30	6.78	2.60	23.20	0.38	0.65	152	48					陸
	ロウ・ワイルド Lowe-Wylde, Croydon, Surrey.																				
33				ス	1	A. B. C.		1×40							80	39					陸

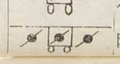


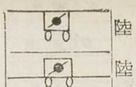
イ タ リ ー

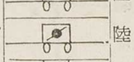


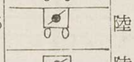


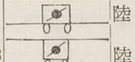


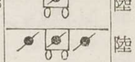




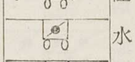


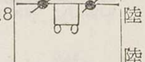


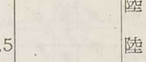


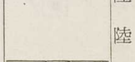


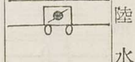
建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千粁	重量 全備 千粁	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/分	性能 航續力 千粁	機型	備考
	A.G. Colonel G.A. Aldo Guglielmetti.																				
34	A. G.			ス	2	デ・ス・ヂプシー1		1×105	10.5	7.68	3.00	16.45	0.53	0.78	212	80	6.3	236			陸
	カプローニ Societa Italiana Caproni. (Via Mecenate 76, Milan.)																				
30	90 P.B.	鋼布	鋼布	爆	5	イソツタ フラシニアツソ18	水	6×1,000	34.9	26.9	10.8	496.7	15.0	30.0	205	90	4.5		1.1		陸
31	Ca. 95 Trg. A.			郵		イソツタ		3×1,000	41.4	21.8	5.55	234	0.75	1.50	260	90	5.0		30		陸
31	Ca. 97	鋼布	鋼布	客	6	ロレーヌ デイトリツヂ 5	空・星	3×130	16.0	10.9	3.50	40.00	1.20	2.20	195	99	5.0				陸
32	Ca. 97	鋼布	鋼布	客	6	ジユピター		1×500	16.0			40.00	1.90	2.85	220		5.0				水
32	Ca. 101 Tv. Co.	鋼布	鋼布	客		シドレー ロメヲ		3×260	19.8	13.6	3.80	55.00	2.15	3.60	195		4.0				陸
32	Ca. 111	鋼布	鋼布	客	4	フイアツト 12	水・Y	1×750	23.0	15.3	3.8	85.00	3.0	4.50	215		6.0		1.1		陸
32	Ca. 113	鋼布	鋼布	練	2	ウオールタ カースタ	空・星	1×240	10.5	7.30	2.75	27.00	0.68	0.84	215		6.0				陸
32	Ca. 100	木布	木板	ス	2	デ・ハ・ヂプシー1		1×120	8.35	7.29	2.73	24.40	0.40	0.68	164	64	4.0	182	0.7		陸
32	Ca. 105	木布	鋼布	客	4	ア・ス・シドレーリンクス	空・星	1×200	14.0	9.70	3.00	26.00	0.85	1.35	180	80	4.0	206	0.5		陸
32	Ca. 109	木布	木板	練	2	ロメオ・リンクス	空・星	1×200	10.5	7.50	2.70	27.00	0.60	0.85	200		5.5				陸
32	97 a	鋼布	鋼	偵	3	ロメオ・ジユピター	空・星	1×420	16.0	10.9	3.50	40.00	1.45	2.45	218	91	4.5	250	0.8		陸
32	97 b	鋼布	鋼	偵	3	ロレーヌ 5	空・星	3×130	16.0	10.9	3.50	40.00	1.50	2.50	185	90	4.0				陸
32	97	鋼布	鋼	偵	3	ロメオ ジユピター	空・星	1×500					1.85	2.85	220		5.0				水
32	101	鋼布	鋼	偵		ウオールタ カースタ	空・星	3×240	18.8	13.5	3.60	55.00	2.60	4.10	210	85			0.8		陸
32	102	鋼布	鋼	偵		ロメオ・ジユピター	空・星	2×500	18.8	13.5	3.60	55.00	2.50	4.00	240	90	6.0	256	0.8		陸
32	74		木板	爆	6	イソツタ フラシユアツソ12	水	2×500	18.0	15.1	5.60	143.0	3.40	5.70	196	80		143			陸
32	79		鋼ヂ	爆	6	イソツタ フラシニアツソ12	水	4×500	33.0	16.4	7.00	220.0	6.50	11.0	190	90	4.6	200	1.5		陸
32	103	木布	鋼布	爆	6	フイアツト 12	水・Y	2×750	23.0	14.5	6.00	130.0	4.20	6.70	200		6.0				陸
32	101	鋼布	鋼布	軍輸		ウオールタ カースタ	空・星	3×240	18.8	13.5	3.60	55.00	2.60	4.10	210	85			1.0		陸
33	Ca. 113	鋼布	鋼布	練	2	ピアツヂオ ステラ 7	空・星	1×370	10.5	7.30	2.75	27.00	0.85	1.10	250	80	7.5	540			陸
33	Ca. 100 Ti			ス	2	イソツタ		1×120	10.0												水
33	Ca.-125	鋼布	鋼布	ス	2	コロンボ S-63.6	空・併	1×180	8.85	7.25	2.55		0.05	0.77	225	60	5.0		0.8		交
33	サウロ			ス	2	フアリーナ		1×130	11.4	5.59	2.20		0.48	0.74	225		6.0		1.2		陸
33	95	ヂ布	ヂ布	爆	4	イソツタ・フラシニアツソ 1,000 18	水・扇	3×1000	41.4	21.9	5.72	234.0	3.40	5.70	250	90	5.0		3.0		陸
33	111	鋼布	鋼布	爆	4	イソツタ・フラシニアツソ700.18	水・扇	1×880	19.7	15.3	3.85	58.50	2.95	4.65	245	100	5.5	250	2.0		交
35	97	鋼布	鋼布	軍輸		ジユピター	空・星	1×500	16.0	10.9	3.50	40.00	1.45	2.45	230	90	5.5	310			交

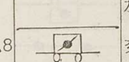


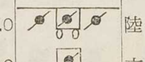


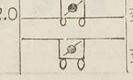


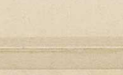


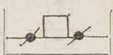


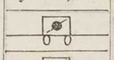


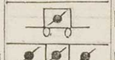


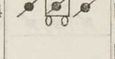


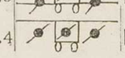


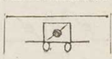


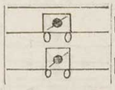


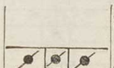


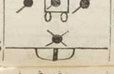




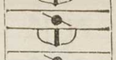


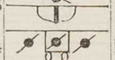


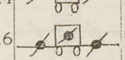


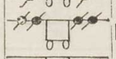


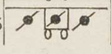
建造年月 900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/分	性能 航續力 千粁	機型	備考
35	Ca. 123	木板	鋼布	客	22	ノームローヌ K—14	空・星	2×880	27.9	18.2	4.50	90.00	5.30	8.80	340	114		632			陸
35	Ca-114	木布	鋼布	練	1	ブリストル マーキユリ4-S2	空・星	1×420	10.5	7.69	2.54	25.70	1.05	1.40	355	100	9.5	672			陸
35	S.V.A. 5			偵	1																陸
35	133	鋼布	鋼布	軍輸		ピアツヂオ ステラ 7	空・星	3×430	21.4	15.4	3.60	65.00	3.90		2.5	110	6.0	300	1.4		陸
35	C.H. 1	ヂ布	鋼布	戰	1	ノームローヌ 14 Kfs	空・星	1×780	8.60	7.15	2.90	19.00	1.50	2.10	440			1000			陸
35	132	ヂ板	鋼布	客	22	ピアツヂオ ステラ×RC	空・星	3×610	26.0	16.5	4.95	85.00	6.00	9.50	330	110	6.1		1.5		陸(引込脚)
35	133	鋼布	鋼布	軍輸		ピアツヂオ ステラ 7	空・星	3×430	21.2	15.4	4.00	65.00	3.90	6.40	260	90	6.5	386	1.4		陸
	ガバルデイーニ Societa Anonima Gabardini Per L Incrementr Dell'aviszione (Aerodromodi Cameri, Novara																				
25	C—8	木布	鋼布	戰	1	イスパノ 1		1×140	8.34	5.55		22.06	0.58	0.78				478			陸
	S. A. I Societa Aeronautica Italiana (Passignano)																				
35	1	木布	木	旅	2	フイアツト A-54	空・星	1×140	8.60	6.50	2.50	17.20	0.61	0.93	220	85					陸
35	2	木板	木	客	5	フイアツト A-54	空・星	1×140	10.2	7.10	2.40	15.80	0.70	1.07	240	85					陸
	サヴオイア Societa Idrovolanti Alta Italia "Savoia" (42, Via Monforte, Milan.)																				
32	S 67			戰	1	フイアツト		1×440	13.1			27.20	1.17	1.60	261	80					陸
32	S-71	木		客	10	ウオールタ ボルツクス 2	空・星	3×340	21.2	14.0	4.10	60.00	3.15	4.95	255	99		344			陸
35	S55C	木板	木板	客	7	フイアツト A-24R	水・Y	2×700	24.0	16.5	5.00	92.00	5.20	7.70	236	109		209	3.5		
32	S 66	木板	木	客	16	フイアツト A22R	水・Y	3×560	33.0	16.6	4.90	125.0	7.06	10.1	235	95	5.0	180	1.2		
32	S 62	木布	木	偵	3	イソツタ フラシニアツソ	水	1×500	15.5	11.0	400	65.00	1.90	3.00	200	85	4.2	214			
32	S 62 bis	木布	木	偵	3	イソツタ フラシニアツソ		1×750	16.6	12.3	4.19	69.00	2.60	4.10	225	100	4.5				
32	S 55 X	木板	木板	爆	4	フイアツト A-24R	水・Y	2×750	24.0	16.5	5.00	93.00	5.75	10.7	280	109	4.2	250	4.5		
33	S-78	木布	木	偵	3	イソツタ フラシニアツソ	水・扇	1×900	16.7	12.3	4.30	69.50	2.95	5.15	245			286	2.5		
34	S-72	木板	鋼布	爆		ブリストル ペガサス S-2	空・星	3×550	30.0	19.3	5.50	120.0	6.80	12.3	295	95		388	3.4		陸
35	S-73 P	木板	鋼布	客	22	ノーム ローヌ 9Kfr	空・星	3×650	24.0	17.5	6.00	93.00	5.80	9.30	300	92	7.0	548	1.6		陸
35	S-74	木板	鋼	客	29	ピアツヂヨ ステラ XR	空・星	4×700	30.0	19.5	5.50	120.0	7.80	14.0	320		6.0	582			陸
35	S-79	木布	鋼布	客	10	ピアツヂヨ ステラ 9RC	空・星	3×610	21.2	16.2	4.10	60.00			355	105	7.1	643	1.5		陸
	C.M.A.S.A. Construcioni Mecchaniche Aeronautiche, S.A. (Marina di Pisa.)																				
32	MF-5	鋼布	鋼	爆		フイアツト A-24R		2×750	23.2	18.3	5.75	110.2	4.50	7.50	230	90	4.5	200	1.0		
	C.N.A. Compagnia Nazionale Aeronautica. (Via Sistina 23, Rome.)																				
32	デルタ	木板	木鋼	客	3	フイアツト A-50	空・星	3×90	16.7	9.51	2.55		1.46	2.95	205	90	4.0	200			陸
32	テータ	木布	木板	練	2	アルフア ロメオ・リンクス	空・星	1×220	8.95	6.89	2.84	17.30	0.69		216	85		240			陸
32				戰	2	ロメオ		1×200													陸
32				偵	2	ロメオ		1×200													陸
34	"Eta"	木板	鋼布	ス	2	C.N.A. C-7	空・星	1×170	10.0	6.50	2.50		0.41		218	64		307			交
	ステイーパ Dott. Ing. Luigi Stipa (Via Ravenna 9, Rome.)																				
33	エクスペリメンタル	木布	木布	ス	2	デ・ハ・ヂプシー3	空・倒	1×120	14.3	5.92	3.42	19.00	0.78	0.85	133	68	3.7				陸

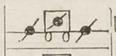


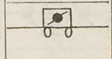


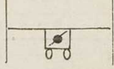


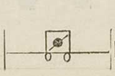












建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	発動機 名称	発動機 型式	発動機 数×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 粁/分	性能 航続力 千粁	機型	備考
フイアット Aeronautica D'Italia (Turin)																					
32	G—3	ヂ		客	6	デ・ハ・ヂプシー3	空・倒	3×120	18.0	11.9	3.51	40.50	1.63	2.50	235	90	5.1	250			陸
32	A.S—2	木布	木	ス	2	フイアット A-50	空・星	1×85	10.4	6.15	2.47	17.50	0.46	0.74	160		5.3	203	0.5		交
32	T.R—1	ヂ		ス	2	フイアット	空・星	1×95	9.00		2.58	13.50	0.44	0.72	195				0.8		陸
32	CR 20	鋼布	ヂ布	戦	1	フイアット A20		1×430	9.80	6.70	2.75	25.65	0.98	1.40	270		8.5	400			交
32	CR 30	輕布	輕	戦	1	フイアット A-30R	水・Y	1×600	10.4	6.70	2.75	26.97	1.26	1.84	370	104	9.5	673	0.8		陸
32	A—120	ヂ布	ヂ布	偵	2	フイアット A-24	水	1×700	13.9	8.81	3.20	30.00	1.55	2.55	248	59	6.8	313	1.7		陸
32	BR—3	木板	木布	爆	2	フイアット A-25	水・Y	1×950	17.3	10.6	3.91	77.20	2.85	4.55	241		5.6	250	1.2		陸
33	G.2. MK2	ヂ		商	6	フイアット A-60	空・倒	1×130	16.4	11.9	3.00	38.50	18.0	2.80	247		5.2	259			陸
33	R—22	ヂ布	ヂ	偵	2	フイアット A-22	水・Y	1×620	14.2	9.20	3.50	51.00	1.60	2.50	242		6.6	250	1.2		陸
34	G-2	ヂ		客	6	フイアット A-54	空・星	3×135	16.2	11.9	3.00	38.30	1.80	2.80	242		5.2	237	0.7		陸
34	G-5	木板	鋼布	ス	3	フイアット A-54	空・星	1×135	10.4	7.85	2.43	17.25	0.58	0.86	230		5.8	303	0.8		陸
34	G-8	木布	鋼布	ス	2	フイアット A-54	空・星	1×135	8.76	6.83	2.61	18.91	0.57	0.85	215		5.0	276	0.8		陸
34	C. R. G.	ヂ	ヂ	爆	4	フイアット A-24	水	3×700	30.2	17.8	5.36	141.0	6.10	12.0	230		4.0		3.0		陸
35	G—18	鋼	ヂ	客	20	フイアット A-59R	空・星	2×700	25.0	18.8		88.00	5.35	8.00	340		6.5		1.5		陸
35	A.P.R. 2	ヂ布		客	15	フイアット A-59R	空・星	2×700	19.5	14.3	3.55	59.00	4.00	5.43	380	102	8.0		2.0		陸(引込脚)
35	CR—32	輕布	輕布	客	1	フイアット A-32RA	水・Y	1×550	9.50	7.45		22.10	12.7	1.80	390		9.5	689	0.9		陸
ピアッヂオ Societa Anonima Piaggio & Co. (2-12, Via Petrarca, Genoa.)																					
32	P.C.—7	木布	木布	競	1	イソッタ・フラシニ	水・Y	1×850	8.76	8.86	2.45	8.45	1.40	1.68	600						水
32	P—12	木板	ア	ス	4			2×120	12.0	8.60	2.36	21.30	1.02	15.0	221	95	4.3	242			陸
32	P—6ter	木布	木板	偵	2	フイアット A-20	水・Y	1×420	13.6	9.77	4.02	43.00									水
32	P—8	ヂ	木板	偵	1	シラス 3	空・列	1×95	12.0	7.04	2.55	19.00									陸
32	P—10	ヂ布	木板	偵	3	ピアヂオ・ジュピター	空・星	1×450	13.8	10.3	2.49	45.63									水
34	P—16	ヂ布	ヂ布	爆		ピアッヂオ ステラ 9RC	空・星	3×700	22.0	13.4	3.50	70.00		8.45	400	105		353	1.5		陸(引込脚)
ブレタ Societa Italiana Ernesto Breda. (Via Bordoni 9, Milan.)																					
28	A—9	木布	木布	戦	1	イソタフラツシニ セミアツソ	水	1×250	9.32	7.95	2.97	27.00	0.77	1.05	185	75	6.0				陸
28	A—7	木布	鋼布	偵	2	イソタフラツシニ アツソ	水	1×500	15.8	10.5		43.00	1.50	2.50	245	75	8.0	250			陸
28	A—7Idro	木布	鋼布	偵	2	イソタフラツシニ アツソ	水	1×500	15.8	11.0	3.89	43.00	1.75	2.65	200	78	5.5				水
31	9	木		練	2	ス・パ又はイソタフラツシニ・セミアツソ	水	1×200 1×250	9.32	7.95	2.97	27.00	0.77		185	75					陸
32	25	鋼木	鋼布	練	2	メオ・リンクス又はウオルタカースタ	空・星	1×220	10.0	8.00	4.00	25.00	0.75	1.00	205	70	6.2	211	0.5		交
32	32	ヂ	ヂ	旅	15	プ・ウイ・ワスプ・ジュニア	空・星	3×320	26.6			85.00	3.80	6.49	235	92	5.3	222	0.8		陸
32	15			ス	2	デ・ハ・ヂプシー3	空・倒	1×120	11.2	6.75	2.52	22.00									陸
32	15			ス	2	デ・ハ・ヂプシー3	空・倒	1×120	11.2		4.25	22.00									水
32	15 S			ス	2	デ・ハ・ヂプシー3	空・倒	1×120	10.9	7.15	2.20	17.50	0.48	0.76	195	70	5.7	321	0.8		陸
32	19	金布	鋼布	練	2	ア・ス・シドレーリンクス	空・星	1×200	9.00	6.80	3.65	25.00			220	76					陸
32	26	金布	鋼布	練	2	ウオールタ NZ	空・星	1×120	11.6	8.10	4.00	32.00	0.69	0.92	150	65	4.3		0.4		陸
32	33	木板	鋼布	ス	2	デ・ハ・ヂプシー3	空・倒	1×120	9.40	6.80	2.00	15.00	0.43	0.73	230	85	7.0	249	1.8		陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	発動機 名称	発動機 型式	発動機 数×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 粁/分	性能 航續力 千粁	機型	備考
32	16	鋼布	鋼布	偵	3	イソツタ フラシニアツソ	水	1×500	15.8	10.5	3.15	43.00	1.55	2.55	230	75	6.0		1.1		陸
32	16h	鋼布	鋼布	偵	3	イソツタ・フラシニアツソ	水	1×500	15.8	11.0	3.89	43.00	1.75	2.65	200	78	5.5		1.1		水
33	39	金布	鋼布	旅	2	コロムボ S-63	空・併	1×140	10.4	7.45	2.95	17.50	0.56	0.84	220	60	6.0	245	0.9		陸
34	28	鋼		練	2	ピアツヂヨ・ステラ 7	空・星	1×380	10.0	7.80	3.40	30.00	0.96	1.20	240	75	7.5	330			陸
34	44	木布	鋼布	客	6	コロムボ S-63	空・併	2×155	13.2	10.4	3.10	34.50	1.20	2.00	185	88	3.9				陸
34	39—S 42	木布	鋼布	旅	3	コロンボ S-63 6	空・併	1×150	10.1	7.80	3.15	15.80	0.56	0.91		75					陸
34	27	木板	鋼	戰	1	アルフア・ロメオマアキユリ	空・星	1×570	10.7	7.60	3.40	18.85	1.26	1.79	380	100	9.0	612			陸
35	46	ヂ布	ヂ布	爆		アルフア・ロメオ・ペガサス	空・星	3×550	30.0	15.5	4.20	104.0	5.00	8.90	320	110	7.7	438	2.0		陸

ベルガメスキ　Cantieri Aeronautici Bergameschi (Ponte san Pietro, Bergamo.)

35	P. L. 3	木布	鋼布	競	2	フイアツトA-57S	空・星	1×700	11.8	9.0	2.78	24.00	17.0	3.50	360			343	3.1		陸
35	A. P. 1	木布	鋼布	戰	1	ピアツヂオ・ステラ 9RC	空・星	1×600	12.0	8.96	2.82	24.00	1.60	2.33	315	100	7.5	573			陸
35	P. S. 1	鋼布	鋼布	客	4	フイアツト A-70	空・星	1×200	10.7	7.19	2.15	17.55	0.66	1.05	260	60	6.5	390	0.8		陸(引込脚)
35	ボレア	木布	木布	客	6	ウオールタ・メデア	空・倒	2×200	16.2	12.9	3.27	38.40	1.70	2.60	250	82	5.4	258	1.5		陸

ボ　ノ　ミ　Aeronautica Vittorio Bonomi (Via Gesu 6, Milan.)

32	SC—4			ス	1			1×240													陸
32	28	木板	木板	ス	2	フアリーナ・7 アリオス	空・星	1×80	9.34	6.80	2.10	11.00	0.39	0.62	200	80					陸

マ　ツ　キ　Aeronautica Macchi (Varese)

28	M—53	ヂ布	ヂ布	偵	2	A. D. C. シラス	空・併	1×80	10.8	5.67	2.75	16.00	0.48	0.68	144	75		152			水
29	M—24			爆	3	フイアツト		2×300	22.0	13.7	4.60	90.00	2.97	4.51	180	100	3.5	200			水
32	M—18	木布	木	偵	3	イソタ・フラシニセミ・アツソ	水	1×250	15.8	9.75	3.25	45.00	12.7	1.78	184	92	5.5	210			
33	マツキ・カストルデイ 72	ヂ	金	競	1	フイアツト A.S. 6	水・Y	1×2,500					2.50	3.03	682						水
33	M—40			偵	2	フイアツト		1×440													水
34	マツキ・カストルデイ 72	ヂ	木	競	1	フイアツト A.S. 6	水・Y	1×3,100					2.50	3.03	709						水
35	M.C. 77	木板	鋼布	偵爆		イソツタ・フラシニアツソ	扇	1×750	17.8	12.6	3.95	50.00	3.00	4.80							
35	C—94	木板	鋼	客	24	ピアツヂオ ステラ 10RC	空・星	2×700	22.7	15.5	5.40	75.00	4.40	6.60	284	100	6.6		0.9		

マ　ー　ニ　Piero Magni Aviazione S. A. I. (Aeroporto Taliedo, Strada Paullese, Milan.)

35	マーニヴアーレ PM—3	木板	木板	戰	1	フアリートナ T-58	空・星	1×130	8.90	5.50	2.02	10.69	0.54	0.77	250	90	7.0		1.0		陸

モンフアルコーネ　Contieri Riuniti Dell, Adriatico. (Monfalcone, Trieste.)

32	10 ter	木	ヂ布	客	6	イソツタ・フラシニアツソ	水	1×500	15.2	11.0	4.10	57.80	2.00	2.90	200	90	5.1	250			
32	22 R1	木布	布板	客	9	イ・フ・アツソ イ・フ・アツソ	Y	1×500 2×250	21.2	16.0	5.55	100.0	4.50	7.00	203	100	3.5	185			
32	23	ヂ		客	10	イ・フ・アツソ イ・フ・アツソ	水	1×500 2×250	21.0	14.0	4.80	92.00	4.20	6.20	214		3.5	222			陸
32	36	木布	木板	練	2	イソツタ・フラシニアツソ 200	空	1×250	10.5	8.55	3.10	28.00	0.99	1.20	210	90		270			陸
32	26	木布	木布	ス	2	フイアツト		1×85	10.7	6.63	2.60	23.76	0.42	0.70							陸
32	26 h	木布	木布	ス	2	フイアツト		1×85		7.28	3.10	23.76	0.53	0.87							陸
32	10 MR 1	ヂ布	木板	爆偵	3	イ・フラ・シニアツソ 500R-1	水	1×500	16.0	10.7	4.05	58.00	2.16	3.26	217		4.3	220	1.2		

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	発動機 型式	発動機 数×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 粁/分	性能 航續力 千粁	機型	備考
33	21 bis	木布	木板	偵	2	イソツタ・フラシニアツソ	水	1×500	16.0	10.8	3.90	58.40	2.29	3.39	217	90	5.0	222	3.0		
35	Z—501	木布	木	偵	4	イソツタ・フラシニアツソ750	水・扇	1×750	22.5	14.3	4.43	62.00	3.40	5.50	260			248	2.4		
35		木ヂ	木板	艦戰	1	フイアツト A-20	水	1×400	10.4	8.75	3.12	30.90	1.28	1.71	245	88	6.2	360	0.9		
35	Z—506	木板	木	客	12	ピアツヂオ・ステラ 9RC	空・星	3×700	26.5	18.9	6.77	85.00	5.90	8.80	310	106		470	1.1		ダ
35	Z—1010			客	5	デ・ハ・ヂプシーメヂア		1×130	12.6	8.07	2.60	16.00	0.60	1.00	206	80	6.0				陸

ロ メ ア Officine Ferroviarie Meridionali (Corso Orientale al Vasto, Naples.)

27	Ro-1			偵	2	ロメオ・ジユピター	空・星	1×420	15.3	9.46		39.30	1.27	1.17	225	86	6.0	355			陸
33	26	木布	鋼ヂ	練	2	ロメオ・リンクス	空・星	1×200	8.89	6.65	2.68	21.80	0.70	0.95	218	78	5.7				交
34	Ro-30	木布	鋼ヂ	軍	3	アルフア・ロメオ マーキユリ	空・星	1×530	15.8	10.2	3.50	39.80	1.60	2.65	250	95	7.5	380	1.6		陸
35	R-41			戰	1	ピアツヂオ・ステラ 7C2	空・星	1×430													陸

オーストラリヤ

ジユネアコ General Aircraft Co., Ltd. (Mascot,Sydney.)

32		木布	木板	ス	3	シラス・ハーメス 2	空・併	1×115	9.37				0.42	0.95	168	61		240			陸
32		木布	木板	商	5	シラス・ハーメス 2	空・併	1×115	10.6				0.45	0.90	168	61					陸

デハヴイランド The De Harilland Aircraft Proprietary, Ltd. (Mascot Aerodrome, Sydney, N. S. W.)

32	DH—60	木布	木布	ス	2	デ・ハ・ヂプシー1	空・併	1×100	9.15	7.30	2.68	23.40	0.43	0.79	161	71	4.4	186			陸
32	DH—80	木布	木布	ス	3	デ・ハ・ヂプシー3	空・併	1×100	11.2	7.62	2.08		0.53	0.92			4.8	260			陸
32	DH—83	木布	木布	ス	4	デ・ハ・ヂプシー3	空・倒	1×120	9.45	7.85	2.53	22.90	0.50	0.94	172	82	3.0				陸
35	ヴイツクナウイザド			ス	1	シラス 2		1×95							192		80				陸

コドツク The Cockatoo Dockyard & Engineering Co., Ltd. (Cockatoo Island, Sydney, N. S. W.)

34	コドツク	木板	鋼		6	ナピア・ジヤヴリン		2×165							224		5.8				陸

オーストリヤ

ホツプナ Th. Hopfner, Flugzeugbau (Stubenring 16, Vienna 1.)

32	HS. 932	木布	鋼布	ス	2	デ・ハ・ヂプシー3	空・倒	1×120	10.0	7.40			0.50	0.85	180		5.0	368			陸
33	HS-1033	鋼布	鋼	旅	3	デ・ハ・ヂプシー・メヂア	空・倒	1×130	11.3	7.40	2.10	19.00	0.51	0.86	195		5.2	250			陸
33	HA-1133	木板	木板	旅	4	シーメンス Sh 14a	空・星	2×160	14.1	10.2		28.00	1.10	1.80	190		4.5	1.0	1.0		

ラモール Ramor Flugzeugwerke (Gratz)

33	KE—14	木板	木板	客	4	デ・ハ・ヂプシー1	空・併	1×110	11.1	7.50	2.30	17.70		0.78	162	72			0.7		陸

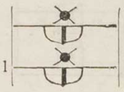
ピンチユ Iulius Pintsh A. G. (Nemelkagasse 9, Vienna XI.)

35	ラーブ・シユヴアルベ 2	木布	鋼布	練	2	シーメンス Sh 12	空・星	1×125													陸
35	ラ・テ・シユヴアルベ 2	木布	鋼布	練	2	ウオールタ・カースタ 2	空・星	1×340													陸

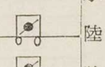
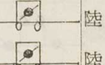
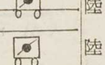
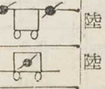
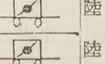
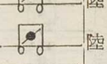
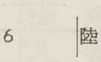
建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/分	性能 航續力 千粁	機型	備考

オ ラ ン ダ

アヴイオランダ Maatschappij voor vliegtuigbouw N. V., "Aviolanda" (Papendrecht.)

28	ヴアール			偵	6	ナピア・ライアン	空・星	2×450													
35	ドルニエ ヴアール					ロレーヌ・クーリス 12Fb	空・星	2×500						6.40	230	95		224	2.1		

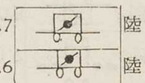
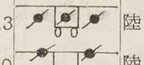
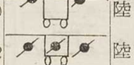
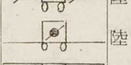
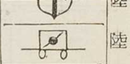
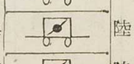
コールホーフエン Koolhoven Vliegtuigen. (Waalhaven Aerodrome. Rotterdam.)

27	F. K.-36			偵	2	ブリストル		1×450	11.5	8.60		24.00	0.90	1.54	260	85	7.8				陸
27	F. K.-36W			偵	2	ブリストル		1×450	12.0	9.35											水
32	F. K. 40	木板	鋼布	客	8	ノムローヌ・テイタン	空・星	1×230	14.1	11.3	3.40	30.00	1.00	2.05	190	90	5.6	166	0.9		陸
32	F. K. 42	木板	木板	練	2	シラス・ハーメス	空・併	1×115	11.0	7.90	2.40	17.00	0.44	0.78	192	71	4.0	233	0.6		陸
32	F. K. 43	木板	鋼布	ス	4	シラス・ハーメス 2	空・併	1×115	11.5	7.75	2.40	16.50	0.48	0.95	188		3.3	212	0.8		陸
32	F. K. 44	木板	鋼布	練	2	シラス・ハーメス 2B	空・倒	1×115	11.0	7.85	2.40	15.36	0.45	0.80	190		5.0	232	0.8		陸
32	F. K. 45	木板	木板	ス	1	シラス・ハーメス 2B	空・倒	1×115	7.05	5.50	1.95	13.82	0.38	0.56	198	80	6.0	250			陸
33	F. K. 48	木板	鋼布	客	6	デ・ハ・ヂプシー・メヂア	空・倒	2×260	14.8	11.8	3.00	32.30	1.05	2.00	210				0.9		陸
33	F. K. 46	木板	木	練	2	デ・ハ・ヂプシー・メヂア	空・倒	1×130	8.00	7.10	2.80	22.00	0.52	0.85	175	70			0.6		陸
33	F. K. 47	木板	木板	練	2	デ・ハ・ヂプシー・メヂア	空・倒	1×130	8.00	6.80	2.50	20.00	0.50	0.80	200		5.5		0.8		陸
34	F. K. 50	木板	木板	客	16	ブリストル・ペガサス	空・星	2×500	19.8	16.0	4.06	60.00	3.60	6.20	318	98			0.9		陸
35	F. K. 49	木板	布鋼	測		ヂプシー・メヂア		2×						2.12	119		4.0		0.8		陸
35	F. K. 41	木	木布	旅	3	デ・ハ・ヂプシー・メヂア		1×130	10.5	7.80	2.20	17.00	0.55	0.90	195						陸
35	F. K. 43	木板	鋼布	輕	4	デ・ハ・ヂプシー・メヂア	空・倒	1×130	11.0	7.90	2.50	17.00	0.55	1.05	195		4.2		0.9		陸
35	F. K. 51	木板	鋼布	練	2	ア・ス・シドレー チータV	空・星	1×270	9.00	7.40	2.80	27.00	0.87	1.26	217		5.0	463	0.5		陸

シ エ ル デ Koninklijke Maatschappij "De Schelde" Vlissengen)

35	S—12	木板	木板	ス旅	4	デ・ハ・ヂプシー・メヂア	空・倒	1×130	12.0	9.00	2.30	19.00	0.68	1.05	215	80	4.5	180	1.0	16	陸

フ オ ッ カ ー The N. V. Nederlandsche Vliegtuigenfabriek. Fokker. (Paraverweg 31–33 Amsterdam–noord).

30	C—5D	木板	鋼布	戰	2	イスパノ スイザ	空・星	1×650	12.5	9.30	3.60	28.80	1.53	2.15	280	103	7.8	560	0.7		陸
31	D—16	木板	鋼布	戰	1	ア・ス・シドレージャガ	空・星	1×425	9.40	7.30	2.70	18.50	0.92	1.39	320	107	8.5	630	0.6		陸
32	F—7a	木板	鋼布	客	8	ライト・サイクロン	空・星	1×575	19.3	14.5	3.90	38.00	2.05	3.70	203	93	4.5	212	0.9		陸
32	F—7b	木板	鋼布	客	12	ライト・ワールウインド	空・星	3×300	21.7	14.5	3.90	67.60	3.10	5.30	210	103	4.8	236	1.3		陸
32	F—8	木	鋼布	客	17	プ・ウイ・ホーネット	空・星	2×585	23.0	16.8	4.20	83.00	3.35	6.00	205	100	4.5	199	1.0		陸
32	F—9	木板	鋼	客	22	プ・ウイ・ホーネットB	空・星	3×575	27.2	19.3	4.80	103.0	5.30	9.30	215	110	3.5	195	1.2		陸
32	F—11	鋼板	鋼布	客	8	ライト・ワールウインド	空・星	1×300	16.4	11.1	3.10	36.00	12.3	1.90	180	80	4.8	202	0.8		陸
32	F—12	木板	鋼布	客	18	プ・ウイ・ワスプ・S. D.	空・星	3×425	23.0	17.5	4.30	83.00	4.35	7.45	230	112	4.0	200	1.4		陸
32	F—18	木板	鋼	客	16	プ・ウイ・Cワスプ・S. D.	空・星	3×440	24.5	18.5	4.70	84.00	4.35	7.55	245	112	3.9	210	1.5		陸
32	B—4	木布	ヂ	客	8	プ・ウイ・ホーネット	空・星	1×525	18.0	13.8	4.50	51.00	2.25	3.30	185	100	2.9	190	0.7		陸
32	S—4	木布	鋼布	練	2	ア・ス・シドレーモングーズ	空・星	1×150	11.2	8.50	3.10	27.60	0.75	1.02	150	68	3.0		0.7		陸
32	D—17	木板	鋼布	戰	1	イスパノ・スイザ 12Xbrs	水・Y	1×645	9.60	7.20	3.00	20.00	1.12	1.50	350	105	9.7	710	0.4		陸
32	D—17A	木布	鋼布	戰	1	シドレー	空	1×590	9.60	7.20	3.00	20.00	1.05	1.50	330	105	8.7	683	0.5		陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	発動機 名称	発動機 型式	発動機 数×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 粁/分	性能 航續力 千粁	機型	備考
32	C—5E	木板	鋼布	偵	2	イスパノ・スイザ		1×900	15.3	9.30	3.60	39.30	1.65	2.45	300	96	9.6		0.7		陸
32	C—7W	木布	鋼布	偵	2	ア・ス・シドレー・ダブルモングーズ	空・星	1×288	12.9	10.2	3.40	37.00	12.4	1.70	177	90	3.6	250	0.9		水
32	C—8W	木板	鋼布	偵	3	ロレーヌ		1×450	18.0	11.5	3.60	44.50	1.91	2.75	200	115	5.4	207	0.9		水
32	C—9			偵	3	ブリストル		1×525	15.3	9.95	3.65	39.30	1.70	2.60	235	95	6.1		0.6		水
32	C. C. 2	木板	鋼布	爆	3	ア・ス・シドレー・パンサ G. F.		2×700	25.8	16.2	4.00	94.30	3.86	6.70	210	100	4.0	181	1.0		陸
32	T—4	木板	鋼布	爆雷	4	ライト・サイクロン SR-1820-F2	空・星	2×700	26.2	17.6	6.00	97.80	4.25	6.70	237		6.0		0.9		陸
33	F—20	木布	鋼布	商	16	ライト・サイクロン R-1820-E-3	空・星	3×712	25.7	16.5		96.00	5.20	8.70	290		5.9	432	0.7		陸
33	F—22	木布	鋼布	客	26	プ・ウイ・ワスプ T. D.	空・星	4×525	30.0	21.7	4.60	130.0	7.60	12.8	265	97	4.9	260	1.5		陸
33	F—36	木板	鋼布	客	34	ライト・サイクロン G1-R1 1820F	空・星	4×650	33.0	24.0	6.00	172.0	9.90	16.5	300		5.0	210	1.7		陸
34	D—19	木板	鋼布	戰	1	ロ・ロ・ケストレル4	水・Y	1×650	9.60	7.20	3.00	20.00	1.22	1.74	395		9.7	750	0.8		陸
34	T—5	木板	鋼布	爆偵		イスパノ・スイザ 12Ydtrs		2×	21.0	14.8	3.45	65.00	4.15	6.50	395	103	8.3	435	1.4		陸
34	T—5	木板	鋼布	爆偵		ノームローヌ 14Kjrs		2×	21.0	14.0	3.45	65.00	4.13	6.50	385	103	7.8	455	1.4		陸
34	C—5E	木布	鋼布	爆偵	2	ブリストル・ペガサス 2M-2	空・星	1×635	15.3	9.75	3.60	39.30	1.55	2.45	280	93	8.1	400	1.2		陸
35	C—10	木布	鋼布	偵	2	ロ・ロ・ケストレル 4	水・Y	1×650	12.0	9.40	3.89	31.70	1.53	2.20	330	100	8.3	680	0.9		陸
35	D—21	木板	鋼布	戰	1	イスパノ・スイザ 12Ycrs		1×860	11.0	7.20	3.00	16.00	1.35	1.89	440		10	876	0.9		陸
35	D—21	木板	鋼布	戰	1	ブリストル・マーキュリ 6S		1×645	11.0	7.20	3.00	16.00	1.23	1.75	395		9.4	810	0.9		陸
35	C.XI—W	木布	鋼ア	艦戰	2	ライト・サイクロン SR-1820F.2	空・星	1×700	13.0	9.90	4.00	40.00	1.72	2.45	262	85	6.7	522	0.5		水
35	C.XI—W	木布	鋼ア	艦戰	2	ブリストル・ペガサス 3	空・星	1×700	13.0	9.90	4.00	40.00	1.77	2.45	270	85	7.0	506	0.5		水

パンダ H. Pander & Zonen. (The Hague.)

32	EF—85	木板	鋼	ス	2	ウオールタ・ヴイーガ	空・星	1×85	10.0	6.50	2.65	17.70	0.42	0.70	160	80	4.5	180	0.4		陸
32	D—3	木板	鋼布	ス	2	デ・ハ・ヂプシー3	空・倒	1×120	9.40	6.80	2.05	14.50	0.49	0.80	210	80	3.7	200	0.7		陸
33	EG—100	木布	鋼板	ス	2	デ・ハ・ヂプシー1	空・併	1×100	10.0	6.85	2.65	17.70	0.43	0.65	165	80	5.0				陸
33	EG—100	木布	鋼板	ス	1	デ・ハ・ヂプシー1	空・併	1×100	10.0	6.85	2.65	17.70	0.50	0.85							陸
33	マルテイプロ	木板	木板	ス	2	ポプジョイ R	空・星	1×85	11.3	7.80	2.15	17.80	0.42	0.70	164	68		182	0.7		陸
34	Post-Jager	木板	木板	郵	3	ライト・ワールウインド	空・星	3×420	16.6	12.5	2.90	45.00	3.03	5.50	360	95					陸

カナダ

オツタワ The Ottawa Car Manufacturing Co., Ltd. (Ottawa.)

32	テウータ	鋼布	鋼	練	2	ア・ス・シドレー・リンクス 7	空・星	1×215	10.4	8.08	2.92	27.90	0.81	1.11	185	80	4.5				陸

カナデイアン・ヴイツカース Canadian Vickers Limited. (Montreal, que.)

32	ヴデツト 6	木布	ア	哨	3	ライト・ワールウインド (J-6)	空・星	1×300	12.8	10.0	3.35	46.00	1.23	1.82	176	96	4.3	183	0.4		
32	ヴアンクーヴア	ヂ		哨	8	ライト・ワールウインド (J-6)	空・星	2×300	16.8	11.4	4.70	71.80	2.34	3.45	192	72					
32	クリア	木布	鋼布	郵	1	デ・ハ・ヂプシー3	空・併	1×120	9.10	6.40	2.24	13.50	0.48	0.79	219		4.5	250	0.9		交
32	ラムブラ 1	木布	鋼	ス	2	デ・ハ・ヂプシー1		1×100	10.0	6.85	2.43	22.00	0.45	0.75	163	61		229	0.5		陸
32	ラムブラ 2	木布	鋼	ス	2	シラス・ハーメス	空・併	1×115	10.0	6.85	2.43	22.00	0.47	0.75	179	64		259	0.5		陸
32	ラムブラ 3	木布	鋼	ス	2	デ・ハ・ヂプシー3	空・倒	1×120	10.0	7.00	2.43	22.00	0.47	0.75	201	67			0.6		陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千米	性能 上昇率 米/秒	性能 航續力 千粁	機型	備考

デ・ハヴィランド The De Havilland Aircraft of Canada, Ltd. (Bay-Richmond Building, 372, Bay Street, Toronts.)

32	DH-61	木板	木板	客	9		空・星	1×500	15.9	11.8	4.00	57.00	1.69	3.18	212	87	4.9	274		陸
32	DH—80	木布	木布	ス	3	デ・ハ・ヂプシー3	空・倒	1×120	11.2	7.62	2.08		0.53	0.92			4.8	263		陸
32	7 A			ス	2	ワーナー		1×110	8.53	6.50	2.40	18.00	0.51	0.84	184	80	4.8	221		陸
32	トーテム	木布	鋼布	客	5	プ・ウイ・ワスプ・ジュニア	空・星	1×300						1.13	210	88	5.2	225		
33	71—C	木布	鋼布	客	7	プ・ウイ・ワスプ C	空・星	1×420	15.3	10.0	2.80	28.70	1.43	2.72	212	104	4.0	183		交

フエヤチヤイルド Fairchild Aircraft, Ltd. (Longueuil, Moutreal ,P.Q.)

33	22—B	木布	鋼	ス	2	デ・ハ・ヂプシー3		1×120	10.0	6.70	2.40	15.80	0.49	0.82	198	72	4.6	220		交

フ リ ー ト Fleet Aircraft of Canada, Ltd. (Fort Erie, Ontario.)

34	シューパー71	木布	ア	客	12	プ・ウイ・ワスプ 1D1	空・星	1×520	17.7	11.0		36.40	1.55	3.09	230	92		269	1.3		交

ボーイング Boeing Aireraft of Canada, Ltd. (Vancouver, B. C.)

35	82—A	木布	鋼布	客	12	プ・ウイ・ [illegible] T 1D	空・星	1×520	15.5	11.3		31.80	1.39	2.72	240	80	5.2	232	1.1		陸

ギ リ シ ヤ

G. N. A. F. The Greek National Aircraft Factory. (Old Phaleron, Athens.)

26	ヴエロス			雷	2																水
26	スウイフト 2			雷	2																陸
27	ヘリトン			偵	2	アームストロングシドレー・リンクス		1×12〔illegible〕							145						陸
32	504—O			練	2			1×													交
32	505 N			練	2			1×215	11.0	8.81	3.30		0.72	1.02	161		5.2	235			陸

ス イ ス

コ ム テ Alfred Comte. (Oberrieden.)

25	A.C.—1	木布	ヂ	戰	1	ノーム・ローヌ・ジユピター	空・星	1×420	12.0	7.10	3.12	24.00	0.87	1.34	245	80	9.6	540			陸
32	A.C.—8	鋼布	鋼布	客	6	ライト J—6	空・星	1×300	14.5	9.20	2.90	28.00	1.12	1.75	214	90	5.0	265	0.9		陸
32	A.C.11—V	木布	鋼布	客	2	ア・ス・シドレーリンクスMK4	空・星	1×220	14.6	8.40	2.90	24.40	0.90	1.42	190			227			陸
32	A.C.12 モスキート	木布	鋼布	ス	3	アルグス As 8	空・併	1×95	11.6	7.50	2.25	15.80	0.50	0.90	180		5.0	203			陸

トゥーン Thun, Eidgenössische Konstruktionwerkstätten. (Thun.)

22	DH—3			偵	2	イスパノ		1×150													陸
23	DH—5 ヘフエリー			偵	2	ウインタトウア		1×200	11.5	7.60	3.10	30.00	0.75	1.18	175		6.4	172			陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 粁/秒	性能 航續力 千粁	機型	備考

ドルニエル A. G. Für Dornier-Flugzeuge. (Zürich.)

25	B. Bil			偵	2	B. M. W.		1×600	19.6	12.5		62.00	2.25	3.60	190		5.2				陸
32	Superval	鋼布	鋼布	客		ブリストル・ジュピター 8	空・星	4×300	28.5	23.6	52.0	141.0	7.80	15.0	220						陸
32	Do. X	木布		客	12	カーチス・コンカラ		12×600	48.0	40.0	10.1	45.00	33.0	56.0	210		2.1	189	2.8		陸
33	Do. Y	ヂ布	ヂ布	爆	4	ブリストル・ジュピター 6	空・星	3×500	28.0	18.2	6.10	111.0	5.00	8.50	250	90	6.0		1.5		陸
35	Do. C-4	ヂ布	鋼布	戰	2	ロ・ロ・ケストル 1S	水・Y	1×500	15.0	10.6	3.40	32.00	1.60	2.20	320		9.5	720	0.6		陸
35	Do. C. 3 (Do22)	ヂ布	鋼布	偵雷	3	イスパノ・スイザ 12Ybrs	水・Y	1×860	16.2	13.0	4.72	45.00	2.30	4.00	322		9.5	476	1.0		水
35	Do. C. 3 (Do22)	ヂ布	ヂ布	爆雷	3	イスパノ・スイザ 12Ybrs	水・Y	1×860	16.2	13.0	4.72	45.00	2.30	4.00	322		9.5	480	1.0		陸

スエーデン

C. F. V. Cenrala Flygver kstad

26	J24B			戰	1	イスパノ・スイザ	水・Y	1×300	9.80	7.25		24.00	0.88	1.26	233		7.3				陸
27	2			偵	2	イスパノ		1×300				28.00		1.45	200						陸

SVENSKA The Aktiebolaget Svenska Järnvägsverkstäderna. (Linköping.)

2	ヴアイキング	木布	鋼布	ス	3	ウオールタ・マーズ	空・星	1×145	11.2	8.00	2.40	22.00		0.65	165				0.7		陸
32	ヴアイキング	木布	鋼布	ス	3	ウオールタ・マーズ	空・星	1×145	11.2	8.20	3.00	22.00		0.76	160						水
32	ティーゲル ミュワルベ	木布	鋼布	練	2	ウオールタ・カースタ 1A	空・星	1×240	8.40	6.44	2.70	20.22	0.74	1.05	200			235			陸
32	ヤクト フアルク	木布	鋼布	戰	1	ア・ス・シドレー ヂヤガ 追	空・星	1×500	9.00	7.10	3.46	22.00	0.97	1.47	285	92	7.8	532			陸
32	2 (Ö.9)		鋼布	偵	2	ライト・ワールウインド R-975	空・星	1×325	12.6	9.25	3.39	40.00	1.07	3.52	185			200			交
32	フアルケン	鋼布	鋼布	練	2	ア・ス・シドレー モングーズ	空・星	1×135	9.40	7.50	2.85	25.30	0.60	0.90	175	75		197			陸
32	ピラート	木布	鋼布	偵	2	ア・ス・シドレー・ジヤガ	空・星	1×425	10.4	8.72	3.37	32.00									交
33	ピラート	木布	鋼布		2	ア・ス・シドレー・ヂヤガ	空・星	1×425	10.4	8.72	3.37	32.00									交

ユンカス A. B. Flygindustri. (Limhamn.)

33	K—47	ヂ	ヂ	戰	2	ブリストル・マーキュリ 4S2乙	空・星	1×540	12.4	8.80	2.90	23.30	1.15	1.75	324		9.7	500	0.7		陸

スペイン

アダーロ Adaro (Jng. D. Jnlio Adaro)

35	チルタ	鋼布	鋼布	練	2	ウオールタ ジューニア	空・倒	1×120	10.0	6.50	2.50	20.00	0.45	0.72	180	70	5.0		1.0		陸

A. M. E. The Military Aircraft Works (Cuatro Vientos)

27	AME 9	ヂ		戰	1	ブリストル・ジュピター 6		1×450	12.3	7.10			0.90	1.47	250	90	11.				陸
27	AME 6A			偵	2	イスパノ・スイザ		1×300													陸
27	AME 8			偵	2	ブリストル		1×450	19.0	12.7			1.07	2.70	226	98	9.0				

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/秒	性能 航續力 千粁	機型	備考
イスパノ Sociedad Ia Hispano S. A. (Carretera de Ribas 279 Barcelona.)																					
32	E-30-H	木布	鋼	練	2	イスパノ・スイザ	水・Y	1×180	12.0	7.95	3.30	22.47	0.75	1.15	180	85	5.5	306			陸
35	E.30	木布	ヂ	練	2	イスパノ・スイザ	空・星	1×250	12.0	7.95	3.53	22.47	0.92	1.35	227	94	6.5	341			陸
35	E.34	木布	鋼布	練	2	ウオールタ・ジュニア	空・倒	1×120	9.10	7.34		21.50	0.52	0.77	170	56		143			陸
C. A. S. A. Construcciones Aeronauticas S. A. (Arlaban 7, Madrid.)																					
26	ヴアール			偵	4																
32	C. A. S. A	ヂ	鋼布	ス	2	デ・ハ・ヂアシー1		1×95	11.6	7.50	2.50	18.00	0.48	0.80	200	68	4.2	333			陸
G. P. D. Artyro Gonzalez Gil & D. Jose Pazo Montes																					
35	G. P. 1	木板	木板	ス	2	ウオールタ・ジュニア	空・倒	1×105	11.6			18.00	0.53	0.88	216	69	7.5	227	1.0		陸
ローリング Dr. Jorge Loring. (Antonio Maura, 18, Madrid.)																					
32	R 3	木布	鋼布	偵	2	イスパノ・スイザ	水・Y	1×600	14.5	9.70		46.50	1.46	2.38	235	82	8.0	333			陸
32	E—2	鋼布		ス	2	キンナ K-5	空・星	1×100							185			347	1.5		陸

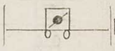
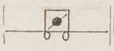
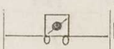
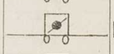
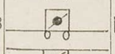
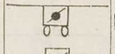
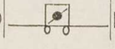
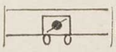
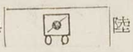
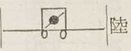
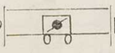
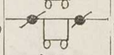
チエツコスロバキヤ

アヴイア Avia (Prague—Cakovice.)

27	28	木板	鋼板	戰	2	ア・ス・シドレー・ジャガ	空・星	1×385	11.8	9.05	3.35	36.50	1.15	1.92	225	90	6.0				陸
32	F7b-3m	木板	鋼布	客	8	ウオールタ・カースタ		3×240	21.7	14.7	3.90	67.60	2.89	5.00	209		5.3	210			陸
32	33L	木板	鋼布	戰	1	アヴイア L	水・扇	1×500	9.50	7.22	3.13	25.20	1.11	1.62	282	98	8.7				陸
32	34	鋼布	鋼布	戰	1	イスパノ・スイザ	水・Y	1×650	9.40	7.25		24.00	1.19	1.78	315		7.5	877			陸
32	F—39	木板	鋼布	爆	4	ノームローヌ ジュピター 6	空・星	3×450	27.2	19.3	4.80	103.0	1.10	2.25	215		4.0	377			陸
33	534/11	鋼布	鋼布	戰	1	イスパノ・スイザ 12Ybrs	水・Y	1×650	9.40	8.20		24.00		1.80	388		11.0	970			陸
34	51	ヂ布		客	6	アヴイア R12S	空・星	3×200	15.1	10.8	3.50	38.00	2.99	3.79	273	100	5.0	240	0.8		陸
34	57	ヂ布		客	16	イスパノ 9V	空・星	3×575	22.5	15.9	4.45	82.00	5.10	8.20	330	98	5.6	360	1.2		陸
34	122	木布	鋼布	練	2	ウオールタ・カースタ	空・星	1×260	8.85	6.55	2.65	22.00		0.98	240		6.0	335			陸
34	534			戰	1	イスパノ・スイザ 12Ybrs	水・Y	1×850	9.40	8.20	2.82	24.00	1.38	1.83	406		11.0	150			陸
35	F—39	木板	鋼布	客	22	ウオールタ・ペガサス 2M2	空・星	3×	21.2	19.3	4.80	10.30	6.25	9.60	272		6.0	566			陸
アエロ Aero Tovarna Letadel. Dr. Kabes. (Praha-Vysocany.)																					
30	A11b	木布	鋼布	偵	2	ウオールタ	水・併	1×420	12.8	8.20	3.10	36.50	10.3	1.54	215		7.6	500			陸
32	A—35	木布	鋼布	客	5	ウオールタ・カースタ	空・星	1×240	14.5	9.70	2.60	29.00	1.12	1.85	197						陸
32	A—38	木布	鋼布	客	9	ノーム・ローヌ・ジュピター	空・星	1×420	16.6	12.8	4.50	67.00	17·9	3.20	190						陸
32	A—34	木布	木布	ス	2	ウオールタ・ヴイーガ	空・星	1×85	8.80	6.80	2.50	21.80	0.40	0.64	160	55					陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/秒	性能 航續力 千粁	機型	備考
32	A—30	木布	鋼布	偵	2	アバイアL	水・扇	1×450	15.3	10.0		51.50	1.42	2.38	235		5.8	370			
32	A—32	木布	鋼布	偵	2	ノーム・ローヌ・ジュピター	空・星	1×420	12.4	8.20	3.20	36.45	1.07	1.93	230	80		375			
32	A—42		鋼布	爆	4	イソタ・フラシツニアツソ	水・扇	1×1,000	20.8	13.8	3.40	59.00	2.94	4.74	270			432			
32	A—46	木布	木布	練	2	イスパノ・スイザ	水・Y	1×300	11.8	8.45	3.02	32.58	1.13	1.49	197	91	4.9	230			
34	A—200	木板	鋼布	旅	4	ウオールタ・ボラ	空・星	1×220	11.1	7.80	2.40	16.58	0.56	0.95	255	54					
34	100	鋼布	鋼布	偵	2	アヴイア Vr36	水・Y	1×650	14.7	10.6	3.50	44.30	2.04	3.22	270		6.5	250	1.0		
	Pアベネム・Jムラーズ																				
35	Be50S			練	2	ワルター・マイナ	空	1×95	12.2	6.60	1.95	16.32	0.42	0.70	200	45	5.2	200	0.8		
35	Be60	木布	木板	ス	2	ワルター・ミクロン	空	1×50	11.2	6.65	1.75	15.20	0.29	0.49	152	55	4.0	222	0.5		
35	パタ			練	2	パーシ	空・倒	1×50	10.0	7.68	1.86	12.00	0.27	0.45	150	60		140	0.4		
	プラーガ Ceskomoravska-Kolben-Dnek. (Prague 8-Liben.)																				
32	BH—41	木布	鋼布	練	2	イスパノ・スイザ	水・Y	1×300	11.2	7.72	3.05	29.40	1.01	1.37	215	75	5.5	221	0.5		
32	BH—39	木布	鋼布	練	2	ウオールタ	空・星	1×120	10.0	7.00	2.60	23.70	0.55	0.82	162	65	3.9	189	0.5		
32	BH—111	木板	鋼布	ス	2	デ・ハ・ヂプシー3	空・倒	1×120	10.5	7.40	2.90	15.10	0.47	0.77	230	70	4.5	246	1.1		
32	BH—44	木板	鋼布	戰	1	プラーガ ES	水・Y	1×550	9.55			23.25		1.65							
34	F—36	木布	鋼布	偵	2	イスパノ・スイザ 12Nbr	水・Y	1×650	14.2	9.67	3.89	47.00	1.95	3.25	270	110	6.5	275			
35	BH—114 エア・ベビー	木板	木板	ス	2	プラーガ B	空	1×36	11.0	7.10	1.68	15.25	0.27	0.47	150	60	3.3	184	0.5		
35	プラーガ 114 エア・ベビー	木板	木板		2	ポブジョイ・カタラクト		1×40	11.0	7.10	1.68		0.28	0.51	193	63		188	0.5		陸
	リートフ Vojenska Tovarna Na Letadla. (Praha-Letnany.)																				
35	S—32	ヂ		客	5	ウオールタ・マース	空・星	3×145	17.2	11.6	3.20	39.92	1.48	2.40	180		2.5		0.6		陸
32	S—39	木板	鋼布	ス	2	オライアン		1×50	10.0	6.14	2.35	14.40	0.27	0.48	150	60	3.2		0.5		陸
32	S—139	木板	鋼布	ス	2	ウオールタ・ボラーリス	空・星	1×50	10.0	6.14	2.35	14.40	0.32	0.52	150	60	3.3		0.5		陸
32	S—31	ヂ布	ヂ布	戰	1	ウオールタ・ジュピター		1×450	9.80	7.15	2.95	21.80		1.26	254			559			陸
32	S—16	鋼布	鋼布	偵	2	プラーガ ES	水・Y	1×550	15.3	10.2	3.23	46.40		2.66	225		6.3	360	1.0		陸
32	S—25			偵	2	イスパノ		1×300	11.4	9.45	3.05	33.60	0.93	1.34	206		5.5	250			陸
32	S—228E	鋼布		偵	2	ノーム・ローヌ・マーキユリ 7A	空・星	1×530	13.2	9.50	3.20	39.20	1.32	2.12	262		7.3	455	0.8		陸
33	S—231—2	ヂ布	ヂ布	戰	1	ブリストル・マーキユリ 5S2	空・星	1×560	10.1	7.85	3.00	21.50	1.24	1.72	348		9.8	693			陸
34	S—328 S—428	ヂ布	鋼布	偵	2	ブリストル・ペガサス 2M-2	空・星	1×580	13.7	9.88	334	39.40	1.68	2.64	280		7.2	298			陸
35	S—239	木布	鋼布	ス	2	ウオールタ・マイナ 4	空・倒	1×95	10.4	6.60		14.30	0.37	0.58	172	60	4.3	199	0.5		陸
35	S—528	ヂ布	鋼布	偵	2	ノーム・ローヌ 14Krsd	空・星	1×800	13.7	9.88	3.34	39.40	1.82	2.90	314		8.5	535			陸
35	S—331	ヂ布	鋼布	戰	1	ノーム・ローヌ 14Kfs	空・星	1×900	10.1	7.85	3.00	21.50	1.45	1.95	405		11.5	865			陸
	ローネク Lonek. J. Lonek (Otrohovice)																				
35	L—8	木	木板	輕	3	ヴオールタ NZ 60	空・星	1×60	9.76	7.75	2.20				205			168			陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/分	性能 航續力 千粁	機型	備考
	中華民國																				
	The Uaval Air Establishment.																				
32	江鶴 a	木布	木布	練	2	ライト・ワールウインド	空・星	1×165	10.5	8.33	3.56	31.40	0.74	1.18	177	85	4.3	150			陸
32	江鶴 b	木布	木布	練	2	ライト・ワールウインド	空・星	1×165	1.05			31.40	0.75	1.12							水
32	江鶴	木布	木布	偵	2	ライト・ワールウインド	空・星	1×165	9.83	7.28	3.00	22.76	0.68	1.04	196	87	4.3	148	1.3		陸
34	寧海	木布	木布	偵	1	神風	空・星	1×130	9.20	7.00	2.96	19.38	0.64	0.82	177	82	4.4	150	0.7		水
	福州 厦門 N. A. E. 支那																				
29	デイング			雷爆	3	R. R.		1×360	14.0	11.2	5.30			2.41							水
	デンマーク																				
	The Royal Naval Dockyard (Copenhagen.)																				
32	ブルドッグ			戰	1	ブリストル		1×450	10.4	7.54		28.50	10.0	1.58	274		7.6	6.1			陸
32	O			偵	2	B. M. W.		1×200													陸
32	C 5			偵	2																陸
32	H. M. 2	木板	鋼布	偵	3	ア・ス・シドレー・ジャガ	空・星	1×430	16.8	11.7	4.40	45.00	1.68	2.65	212	96	6.0	313			水
	ドイツ																				
	アードラ Adlerwerke vorm. Heinrich Kleyer A. G. (Frankfurt am Main.)																				
34	G2 RC	鋼布	鋼	ス	2	ヒルト H. M-60		1×70	7.20	6.32	2.12	12.50	0.31	0.50	160	55	4.5	189	0.5		陸
	アラドー Arado Flugzeugwerke G. m. b. H. (Warnemunde, Schliessfach 28.)																				
32	Ar. 66	木布	鋼布	練	2	アルグス As 10	空・倒	1×220	10.0	8.10	2.70	29.63	0.85	1.27	210	79	4.5	250	0.6		陸
32	Ar. 66	木布	鋼布	練	2	アルグス As 10	空・倒	1×240	10.0	8.85	3.15	29.63	1.03	1.39	192	80	3.5	166	0.6		水
34	69a. 69b	鋼布	木布	練	2	アルグス As 8b	空・倒	1×135	9.00	7.22	2.75	20.74	0.51	0.65	184	70	5.9	366			陸
35	Ar. 76	木板	鋼布	練	1	アルグス As 10c	空・Y	1×240	9.50	7.20	2.55	13.34	0.71	0.99	272	100	6.4	488			陸
	エスペンラウプ Espenlaub-Flugzeugbau. (Dusseldorf-Flughafen.)																				
34		木布	木布	旅	5	ジーメンス Sh 12	空・星	1×125	14.4	7.61			0.80	12.0							陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/秒	性能 航續力 千粁	機型	備考
34	E—14	木板	木板	ス	2	アルグス As 8	空・倒	1×110	11.5	6.00		16.00			200	40		250			陸
	エルラ Erla-waschienenuerk g. m. b. H. (Heoterblick 17d. Sommerfelder Weg Leipzig, N. 24)																				
33	Me—5A	木板	木板	ス	1	D. K. W.	水	1×20	11.0	6.20	1.75	13.70	0.22	0.37	125	48	3.5	137	0.6		陸
	クレム Leichtflugzeugbau Kl mm G. m. b. H. (Böbliugen.)																				
31	25b. 26a	木布	木布	ス	2	B. M. W. Xa		1×60	13.0	7.78	2.70	20.00	0.37	0.70	140	60	3.6	123			陸
32	28			ス	2	ジーメンス sh14a	空・星	1×160													陸
32	31	木布	鋼布	ス	4	ジーメンス sh14a	空・星	1×150	13.5	8.60	2.30	20.60	0.62	1.00	165	75		100	0.4		陸
32	32	木板	木板	ス	2	ジーメンス sh14a	空・星	1×150	12.0	7.70	2.05	17.00	0.46	0.78	230	63	7.5	339	0.8		陸
33	33	木	鋼	ス	1	D. K. W.	水	1×10													陸
34	K. L. 36	木板	鋼布	旅	4	ヒルト H.M 8u 8	空・倒	1×275 1×210	11.0	9.20	3.28	19.50	0.56	1.05	267	55	5.9	293	1.0		陸
	グロップ																				
33	ツアウンケ ヨーニヒ			ス	1	J. A. P.		1×9	13.0	5.85	2.50	15.00			50						陸
	ゲルナ Frankfurter Flugzeugbau Max Gerner G. m. b. H. (Frankfurt am wain.)																				
33	G2. Rb	鋼布	鋼ア	ス	2	ヒルト H.M. 60	空・倒	1×70	7.20	6.00	2.20				180						陸
	シエラ Flugjzeugbau Bernhard Scheller. (Vorwerksgasse 9,Celle.)																				
33	S. 4. 32b	鋼布	鋼布	ス	2	ジーメンス sh13A	空・星	1×80	10.6	6.10	2.60	13.00	0.38	0.63	240	65		286			陸
	シユターマ Stamer. (Rhon-Rossitten Gesellschaft e. V. Fliegerlager.)																				
32	フムマル	木布	木	ス	1	D. K. W.	水	1×18					0.20	0.30	100	35			0.4		陸
	ゾルデンホツフ Firma Soldenhoff. (Böblingen.)																				
32	So. A.	木板	木板	ス	2	サルムソン	空・星	1×40	10.0	5.05	1.65	17.50	0.54		160	80			0.5		陸
	ダイケ Deicke, Munehen.																				
33				ス	1	ダイケ		1×21													陸
	ダルムシユタツト The Darmstadt University Aviation Society. (Technische Hochschule, Dormstadt)																				
32	D—22	木布	木	ス	2	アルグス Ao 8R	空・倒	1×150	7.40	6.45	2.40	13.00	0.37	0.67	240	70		333	0.9		陸
	ドルニエル Dornier Wetallbauten. (Friedrichshafen A. B.)																				
32	Do. K.	ヂ布	鋼布	客	10	ウオルータ・カースタ	空・星	4×240	25.0	16.5	4.60	89.00	4.12	6.20	230	90	6.0	240	0.8		陸
32	シウーパ ヴアル	鋼布	鋼ヂ	商		ブリストル・ジユピター 8	空・星	4×300	28.5	23.6	5.20	141.0	7.80	15.0	220						陸
32	デルフイン 3			商		B. M. W.		1×450	19.6	14.4	3.65	60.00									
32	ヴアル 32	鋼	ヂ	郵	4	ロ・ロ・ケストレル 3A	水・Y	2×500	23.2	18.2	5.50	112.0	4.20	7.00	235	100	5.0				
33	Do. C2.	ヂ布	鋼布	郵	1	イスパノ・スイザ 12 Nbr	水・Y	1×650	15.0	12.7	5.05	32.40	2.70	3.30	240	90	6.0	335	0.7		水
33	Do. F.	ヂ		郵	3	ジーメンス・ジユピター	空・星	2×450	28.0	18.7	5.55	111.0	4.77	8.00	250	100	4.7	262	0.9		陸
33	Do. 12リベレ	ヂ		輕	3	アルグス As 10	空・倒	1×220	13.0	8.90	3.20	25.00	0.92	1.20	195	90	4.5		1.0		
33	ヴアル 33		ヂ	郵	4	B. M. W. 6	水・Y	2×600	27.2	18.2	5.80	113.2	5.60	10.0	230	100	4.5		3.6		
33	Do. O3			郵		イスパノ		4×640	31.0	25.8	7.85	186.0	10.6	15.0	210	90					陸
35	Do. 18			郵		ユンカス・ユモ 205	水・倒	2×560	23.7	19.3	5.45	98.00	5.37	9.20	250	90	4.4		4.5		
35	23		ヂ	爆輸		B. M. W. 6u	水・Y	2×750	25.6	18.8	5.40	108.1	5.65	9.20	260	87	5.8		1.2		陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	発動機 名称	発動機 型式	発動機 数×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/分	性能 航続力 千粁	機型	備考
35	Do. C3			偵爆	3	イスパノ 12 Ybrs	水・Y	1×890	16.2	13.0	4.72	45.00	2.30	4.00	322		9.4	581	1.0		水
35	Do. 23	ヂ布	ヂ布	爆		B. M. W. 6u	プ	2×750	25.6	18.8	5.40	108.1		9.20	260	87	5.8		1.2		陸
	ハインケル The Heinkel Flugzeugwerke G. m. b. H. (Marienehe.)																				
30	He. 58	鋼布	鋼布	郵	2	プ・ウイ・ホーネット	空・星	1×450	17.2	11.8		49.40	1.85	3.14	204	93	3.8	200			水
32	He. 42	木板	金	練	2	B. M. W. va	水・併	1×350	14.0	10.5	4.15	56.03	1.55	2.15	185	80					水
32	He. 55	木布	木板	郵	2	ジーメンス	空・星	1×500	14.0	10.4	4.10	56.90	15.2	2.22	194	71	4.6	250			水
32	H. D. 63	鋼	鋼	練	2	アルグス As 10	空・倒	1×220	10.0	7.90	2.70	24.10	0.71	1.16	200	84	4.5	198			陸
32	H. D. 63	鋼	鋼	練	2	アルグス As 10	空・倒	1×220	10.0	8.00	3.00	30.10	0.98	1.30	190	78	3.7	203			水
32	H. E. 70	木	ヂ	郵	7	B. M. W. 6	水・Y	1×630	13.9	11.0	3.80	32.00	2.18	3.16	315		4.9	332			陸
32	He. 57	鋼布		客	6	プ・ウイ・ワスプ	空・星	1×400	16.0	11.8		39.20	1.82	2.52	180	95	3.8				陸
33	H. E. 70B	木板	ヂ	客	7	B. M. W.		1×660	14.8	11.5	3.10	36.50	2.35	3.35	377	104	5.8	369	0.8		陸
33	He. 64C	木板	木板	ス	2	アルグス As 8R	空・倒	1×150	9.80	8.31	2.06	14 40	0.47	0.77	245	52	6.0	349	0.9		陸
33	He. 71B	木布	木板	ス	1	ヒルト H. M. 60	空・倒	1×80	9.50	6.97	1.70	12.90	0.33	0.67	212	68	5.7	248			陸
33	He. 72 カデット	木布	鋼布	練	2	アルグス As8R	空・倒	1×135	9.00	7.80	2.70	20.70	0.50	0.79	180	75	4.7	200	0.7		陸
33	He. 72 BL	木板	鋼布	練	2	ジーメンス sh14a	空・星	1×150	9.00	7.80	2.70	20.70	0.51	0.81	185	77	5.0	209	0.6		陸
35	He. 111 C-O	ヂ		客	12	B. M. W. 6-60Z	水	2×660	22.6	17.1	3.90	87.60	5.19	7.60	345	100		500	1.5		陸
35	He. 72 カデット	木板	鋼布	練	2	ジーメンス sh14a	空・星	1×150	9.00	7.50	2.70	20.70	0.59	0.90	180	80	3.5	270			陸
35	111			客	10	B. M. W.	水・Y	2×660							344						陸
	ビュッカ Bucker Flugzeugbau G. m. b. H. (Rangsdorf bei Berlin.)																				
34	ユングマン Bu 131	木布	鋼布	練	2	ヒルト H.M. 60R.	空・倒	1×80	7.40	6.66	2.25	13.50	0.34	0.60	170	70	4.0	198	0.7		陸
35	ユングマスター 133	木布	鋼布	練	1	ヒルト H. M. 6	空・倒	1×140	6.60	6.15	2.37	12.00	0.41	0.59	230	80		420	0.5		陸
	フィーゼラ Fieseler-Flugzeugbau G. m. b. H. (Kassel-Bettenhausen.)																				
32	F-2 タイガー	木布	鋼布	ス	2	ウオールタ・ポルツクス	空・星	1×360–450	1.00	6.80	2.73	23.35	0.81	1.20	240	80	7.0				陸
33	F—5	木布	鋼布	ス	2	ヒルト H.M. 60R	空・倒	1×78	10.0	6.60		13.60	0.35	0.61	210	65	4.2		0.6		陸
34	Fi—97	木板	鋼布	旅	4	ヒルト H.M. 8u	空・倒	1×225	10.7	8.24	2.36	15.30	0.56	1.05	260	56		348			陸
	フオツケウルフ Focke-wulf Flugzeugbau. A. G. (Bendlerstr 23,1 Berlin. W. 10.)																				
32	A—32 バザド	木板	鋼布	客	6	ユンカース L-5	水・併	1×280–310	16.0	12.2	3.25	34.50	1.47	2.30	190	80		188			陸
32	A—38 メーウエ	木板	鋼布	客	12	ジーメンス・ジユピター-6	空・星	1×510	2.00	15.4	5.30	62.50	2.20	4.40	204	75	3.1	176	0.8		陸
32	F-19a エンテ	木板	鋼布	客	4	ジーメンス SH-14	空・星	2×110	10.0	10.5		29.50	1.18	1.65	142	83		165			陸
32	A—43 フアルケ	木	鋼布	客	3	アルグス As 10	空・倒	1×220	10.0	8.30	2.30	14.00	0.73	1.13	225		5.1	221	1.1		陸
32	A—47	木布	鋼布	測	2	アルグス As 10	空・倒	1×195–220	17.8	10.5	3.04	35.00	0.95	1.48	172	77		186			陸
32	L—102	鋼布	鋼布	練	2	アルグス As 10	空・倒	1×195–220	13.3	8.80	3.10	22.20	0.70	1.20	210	88	5.0	284			陸
32	W—102	鋼布	鋼布	練	2	アルグス As 10	空・倒	1×195–220	13.3	9.40	3.80	31.40	0.97	13.5	185	78	4.5	213			水
33	FW-44 シュテイーグリツツ	木布	鋼布	ス	2	ジーメンス Sh14a	空・星	1×160	8.93	6.60	2.65		0.47	0.75	192	67	6.3	232	0.6		陸
35	FW—56A	木布	鋼布	練	1	アルグス As 10C	空・倒	1×240	10.6	7.62	2.55	14.00	0.67	0.99	288	90	6.0	419			陸
35	F.W. 58			爆	3	アルグス As 10C	水・倒	2×240	21.0	14.0		47.00	1.91	2.83	256	80		408			陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 粁	性能 航續力 千粁	機型	備考
	ブレスラウ Prof. Dr. Schmeidler. (Technische Hochoschule Brslau.)																				
32	シュナイトラ	木板	木板	ス	2	B. M. W. X	空・星	1×55	11.4	6.20	2.10	15.25	0.33	0.47	140	60					陸
	ヘンシエル Henschel Flugzeugwerke A. G. (Berlin W. 62, Kurfurstenstr. 133.)																				
35	Hs 122			偵	2	ジーメンス SAM 22	空・星	1×	14.5	10.1	3.40	34.70	1.68	2.56	270	82	6.6	400	0.6		陸
	ベルリン Akademische Fliegergruppe an der techinchen Hochschule Berlin e. V. (Gross Berliner Damm 39. Berlin-Johannisthal.)																				
32	A. B. 4	木布	木	ス	1	メルチエデス	空・併	1×20	9.00	5.00	1.90	10.00	0.19	0.30	130	65	3.0	166			陸
	マイアラーヘン Herr Mayer (Technische Hoschule, Aachen.)																				
32	M. M. -1	木布	木	ス	1	メルチエデス	空・併	1×20	10.0	7.16	1.96	12.50	0.28	0.38	110						陸
	ミュラー Boots und Flugzeugbau Gebr. Muller (Griesheim bei Darmstodt.)																				
32	G. M. G. V	木板	木布	ス	2	B. M. W. Xa	空・星	1×55	11.0	6.50	1.70	16.30	0.30	0.53	160	62			0.7		陸
	メツサシユミツト Bayerische Flugzeugwerke A. G. (Augsberg.)																				
32	M—18d	ヂ		客	8	ライト・ワールウインド	空・星	1×325	15.8	9.00	2.70	25.30	0.84	1.62	197	86	5.0	211			陸
32	M—18d	ヂ		客	8	ライト・ワールウインド	空・星	1×300	15.8	9.40	3.80	25.30	1.04	1.90	196	93	3.7	227			水
32	M—20b	ヂ		客	12	B. M. W. 6a	水・Y	1×500	25.5	16.2	4.80	65.00	2.99	4.80	205	86	4.0	222			陸
32	M—24b	ヂ		輸	10	B. M. W. ホーネツト	空・星	1×525	16.6	12.8	3.20	43.00	1.63	2.88	215	87	5.3	250	0.7		陸
32	M—28	金		郵	1	B. M. W. ホーネツト	空・星	1×$\frac{450-}{-525}$						2.75	225	117	5.0	200	1.9		陸
32	M—26	ヂ布	金布	ス	3	ジーメンス sh 14	空・星	1×110	12.4	7.20	2.40	14.30	0.48	0.68	170	85	2.7	203	0.9		陸
32	M—27	木布	鋼布	ス	2	アルグス As 8	空・倒	1×115	12.0	7.60	2.00	14.30	0.37	0.63	185	70	5.1	200			陸
32	M—29	木板	鋼布	ス	2	アルグス As 8	空・倒	1×150	11.0	7.75	2.00	14.50	0.39	0.70	262	60	6.0	339			陸
32	M—31	木板	鋼布	ス	2	ヒルト	空・星	1×70	12.0	7.85	1.90	17.00	0.35	0.65	175	70	4.8	225			陸
34	Me—108	ヂ		旅	4	ヒルト H.M. 8u	空・倒	1×225	10.3	8.06	2.10	16.00	0.56	1.05	287	63			0.7		陸
34	M—35	木布	鋼布	旅	2	ジーメンスSh14a	空・星	1×150	11.6	7.48	2.70	17.00	0.50	0.80	235	85	6.3	257			陸
	ユンカース Junkers-Flugzeugwerk A. G. (Dessau.)																				
30	G—38	輕	ヂ	客	41	ユンカース・ユモ4	水・倒	4×750	44.0	23.0	6.85	305.0	14.9	2.40	223		6.4	363			陸
31	W—33L	ヂ		郵	2	ユンカースL-5	水・併	1×310	17.8	10.6	3.18	44.00	1.47	3.00	191		3.2	236	0.8		陸
31	W—33W	ヂ		郵	2	ユンーカスL-5	水・併	1×310	17.8	11.1	3.90	44.00	1.76	3.00	175			188	0.9		水
31	W—34L	ヂ		郵	2	ジユピター6		1×600	17.8	10.3	3.18	44.00	1.50	3.00					0.9		陸
31	W—34W	ヂ		郵	2	ジーメンス Sh 20		1×600	17.8	11.1	3.90	44.00	1.79	3.00	201		4.5	156	0.8		水
32	F—13L	ヂ		客	4	ユンカースL-5	水・併	1×$\frac{280-}{-310}$	17.8	10.6	3.60	44.00	1.51	2.70	198		5.1	181	1.0		陸
32	F—13W	ヂ		客	4	ユンカースL-5	水・併	1×$\frac{280-}{-310}$	17.8	11.1	3.90	44.00	1.81	2.70	181		4.4	180	0.9		水
32	F—24K	ヂ		客	11	ユンカース ユモ 4	水 倒	1×720	26.0	15.6	5.50	82.00	3.70	4.70	196		5.1	262	0.8		陸
32	G—31	ヂ		客	14	ユピター		3×$\frac{452-}{-480}$	30.3	17.3	6.00	10.20	5.25	8.50	214	118	4.4	225			陸
32	G—38	ヂ		郵	43	ユンカースL.88a	水・Y	4×$\frac{650-}{-800}$	44.0	23.0	7.20	30.50	16.5	24.0	228	90		256	1.2		陸
32	Ju—46	ヂ		客	6	B. M. W. 7au	水・併	1×525	17.8	11.2	3.90	44.00	16.3	3.20	247		5.3	252	0.8		陸
32	Ju—52L	ヂ		客		B. M. W. 7au	水・併	1×685	29.5	18.3	6.30	110.0	3.83	7.20	192	80	3.3	199	2.0		陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千米	性能 上昇率 分	性能 航續力 千粁	機型	備考
32	Jn-52/3m	ヂ		客		ホーネット B-1	空・星	3×575	29.5	18.3	6.30	110.0	4.88	9.00	232	100	5.2	200	0.9		陸
32	Ju-52/3m	ヂ		ス	14—19	ホーネット B-1	空・星	3×575	29.5			110.3	5.61	9.00	225	100	5.0	213	0.9		水
32	ジュニア A—50	ヂ		客	2	ア・ス・シドレー デエネット		1×88	10.0	7.12	2.40	13.80	0.35	0.60	175	74	3.8	231			陸
33	Ju—69	ヂ		輸	6	ホーネット C	空・星	1×600	14.3	11.5	3.50	35.00	2.10	3.10	283		5.2		1.0		陸
34	Ju—160	ヂ		客	8	B. M. W. ホーネット	空・星	1×700	14.3	11.7	3.50	35.00	2.40	3.55	340						陸
	ヴアーゲナ Flugzeugbau Wagener (Halle 8. Hamburg Flugl'afen.)																				
33	H. W.—4A	木布	木布	ス	1	フェステンベルク パーキツシュ		1×30	9.00	5.70			0.20		110	40					陸

ハンガリー

ゲール Müegyetemi Sportrepülö Egyesület. (Budapest.)

34	12	鋼布	木布	ス	2	ワイス・マンフレツト Sp 3	空・倒	1×130	8.95	7.25	2.75	21.70	0.45	0.70	160	60		183			

ワイス Manfred Weiss Flugzeug und Motorenfabrik Aktiengesellschaft (V.Maria Valeria Utca 17. Budapest)

28	C—5	木板	鋼布	偵	2	イスパノ・スイザ		1×900	15.3	9.30	3.60	39.30	1.65	2.45	300	96	9.6				陸
32	W. M. 10	鋼	鋼布	練	2	W. M. 11	空・併	1×120	9.50	7.20	2.74	21.75	0.45	0.70	192	74	5.2				陸
35	W. M. 13	鋼布	鋼布	練	2	W. M. SP 3	空・倒	1×130	9.50	7.20	2.74	21.75	0.53	0.93	192	74	5.1	200	1.2		陸

フィンランド

サースキ Osakeyhtiö Sääski. (12, Bulevardi, Helsinki.)

32	2	木布		ス	2	ジーメンス ハルケス型 Sh12	空・星	1×125	8.80	7.40	2.70	22.00	0.53	0.85	96			186	0.6		陸
32	2	木布		ス	2	ジーメンス ハルケス型 S 12	空・星	1×125	8.80	7.75	3.15	22.00	0.60	0.92	154			186	0.6		水

V. L. Valtion Lentokonetehdas. (Suomenlinna & Santahamina, Helsinki.)

28	ハウツカ 2	木板		戰	1	ブリストル	空・星	1×480	9.50	6.80	2.80	24.00	0.99	1.29	260		9.8	555			陸
32	リポン 2			偵	2	ア・ス シドレー・パンサ															陸
32	コトカ			偵	2	ブリストル・ジュピター	空・星	1×480													水
35	Tuiskn	木布	鋼布	練	2	ライカミング R-680	空・星	1×215	9.10		3.50	33.65	1.35	1.47	200	78			1.0		交

ブラジル

32	M—5	木板	木	ス	2	イスパノ・スイザ	水・併	1×100	12.0	7.10		18.00	0.60	0.86	205				0.8		陸

フ ラ ン ス

ア ミ オ Société Démboutissage Et De Constructions Mechaniques. (171-183, Boulevard du Havre, Colombes.)

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/分	性能 航續力 千粁	機型	備考
31	122 BP—3		ヂ	爆	3	ロレーヌ	水・扇	2×325	21.5	13.6	4.92	90.00	2.12	3.90	215		6.8	438	0.1		陸
32	140—M	ヂ	ヂ	戰	6	ロレーヌ 12FA	水・扇	2×650	24.5	17.0	3.50	100.0	4.20	5.69			8.0	393	0.8		陸
32	141—M	ヂ	ヂ	戰	6	ロレーヌ・オーリオン	水・扇	2×700	24.5	17.0	3.50	100.0		68.5	180						陸
32	123 BP—3		ヂ	爆	3	ロレーヌ・オーリオン 18 GAd	水・扇	1×700	20.0	13.7	5.15	87.60									陸
32	124 BP—3		ヂ	爆	3	イスパノ・スイザ	水・Y	1×1,000	20.0	13.6	5.15	87.60	2.74	5.00	254	80	7.1	477	1.2		陸
32	180 BN 5	ヂ	ヂ	爆	5	ロレーヌクルリス	水・扇	4×600													陸
32	110	ヂ	輕ヂ	偵	4	イスパノ・スイザ 12Nb	水・Y	1×650	23.3	15.8	4.90	71.00	2.71	4.13	215	89	5.0	250	1.0		陸
33	142—M			偵		イスパノ・スイザ 12 Ybrs	水・Y	2×650	24.5	17.9	5.17	100.0	5.00	7.13	315	105	9.5	250	1.0		陸
34	143—M4	ヂ	ヂ	戰	4	ノーム・ローヌ 14 Kdrs	空	2×760	24.5	18.0	5.68	100.0	4.88	6.85	305		8.0				陸
35	142—M	ヂ	ヂ	爆	2	イスパノ・スイザ 12 Ybrs	水・Y	2×650	24.5	17.9	5.17	100.0	5.00	8.40	315	105	9.5	430	0.6		陸
35	143—M	ヂ	ヂ	爆	2	ノーム・ローヌ 14 Kbrs	空・星	2×800	24.5	17.9	5.17	100.0	4.88	6.85	305		9.5		2.0		陸
35	144—M	ヂ	ヂ	爆	2			2×							356	85	9.3	488			陸

ア ル ベ ル Albert-Aeronautigue. (Rue du Petit Drancy, Droucy.)

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/分	性能 航續力 千粁	機型	備考
31	A—120	木板	木板	ス	1	サルムソン	空・星	1×40	8.80	5.50	1.98	10.00	0.25	0.38	145	78	203				陸
32	A—10	木布	木板	郵		イスパノ・スイザ	水・併	1×100					0.67	1.04	168			186			陸
32	A—20	木板	木板	郵	2		星	2×100	15.0	8.97	2.90	25.00	0.95	1.45	175	70	5.0		0.9		陸
32	A—61	木板	木板	ス	2	サルムソン	空・星	1×95	11.5	7.50	1.75	15.00	0.45	0.75	175	70	5.0		0.7		陸
32	A—11	木板	木板	患輸	2	サルムソン	空・星	1×120 135	12.5	8.50	3.00	22.00	0.70	1.15	170	70	5.0		0.7		陸
33	140 RV	木板		ス	1	レニエ	空・倒	1×220	6.50	7.00				0.76							陸
33	60			ス	2	ウオールタ		1×95													陸

アルムラセヌモ Avions Armella-Senemaud. (5 Rue de Pomercu. Paris.)

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/分	性能 航續力 千粁	機型	備考
34	ミストラル	木板	木布	旅	4	デ・ハ・ヂプシー・メヂア	倒	2×130	15.0	10.0	3.00	25.00	1.15	2.00	240	75	5.0		1.0		

ア ン リ オ Compagnie des Avions Hanriot. (I. Avenue Aristide-Briand. Arcueil.)

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/分	性能 航續力 千粁	機型	備考
28	H—43	ヂ	ヂ布	偵	2	サルムソン CM 9	水・星	1×260	10.6	7.24	3.30	28.00	0.92	1.40	185	85	6.0	250			陸
31	LH—10	木布	木板	練	2	ロレーヌ	空・星	1×100	11.9	7.43	2.80	22.00	0.58	0.85	147		4.5	213			陸
32	LH—30	木布	輕	練	2	ロレーヌ・ミザー	空・星	1×240	11.9	8.15	3.40	21.25	0.90	1.27	191	93	6.0	343	0.9		陸
32	LH—130	木金	ヂ	練	1	ロレーヌ・アルゴル・ジユニア	空・星	1×230	10.0	7.0	3.10	16.60	0.90	1.10	272	99	7.5		0.4		陸
32	LH—437	ヂ		練	2	ロレーヌ・ミザー	空・星	1×240	11.4	8.12	3.30	30.24	0.93	1.27	184		4.7	215			陸
32	LH—12	木布	木板	練	2	ロレーヌ	空・星	1×100	11.9	7.54	2.79	22.00	0.64	0.92	152		4.0	239			陸
32	LH—437	ヂ木	ヂ	患輸	2	ロレーヌ・ミザー	空・星	1×240	11.4	8.12	3.30	30.24	0.93	1.27	184		4.7	180			陸
33	LH 13—15	木布	木板	練	2	ロレーヌ	空・星	1×110	11.9	7.54	2.79	22.00	0.67	0.91	140		4.5	210			陸
34	184	金木	ヂ布	旅	3	ルノー・ベンガリ	空・倒	1×120	12.0	7.15	3.08	19.00	0.56	0.91			5.5	212			陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/分	性能 航續力 千粁	機型	備考
34	H—180T	木布	ヂ	旅	3	4pei ベンガリ 4	空・倒	1×140	12.0	7.16	2.88	19.97	0.56	0.91							陸
34	H—180T	ヂ		練	2	ルノー		1×140	12.0	7.00	2.88		0.52	0.85	19		5.8	306			陸
34	LH—130			戰	1	ロレーヌ・アルゴル・ジユニア	空・星	1×230	10.0	7.00	3.10	16.60	0.90	1.10	272	96	7.5	500			陸
34	H—110. c1	ヂ金	ヂ	戰	1	イスパノ・スイザ 12Xbrs		1×600	13.5	8.00	2.70	24.00	1.26	1.75	355		1.1	730			陸
34	H—130	木布	ヂ布	戰	1	ノーム・ローヌ K-9	空・星	1×600	10.0	7.00	3.10	16.60		1.60	430		1.1	660			陸

ヴイボー Chantiers aéronautiques Wibault-Penhöet. (7, Rue Auber, Paris.)

24	7c—1			戰	1	ジユピター	空・星	1×300	11.0	7.45	2.79	22.00	0.97	1.44	233	105	8.5	359			陸
28	70c—1			戰	1	トルナド		1×400	12.0		2.79	22.00	0.90	1.45							陸
28	130c—1 トロム	ヂ		戰	1	イスパノ・スイザ 12—Jb	水・Y	1×450	9.07	6.83	2.77	17.00	0.89	1.24	253	104		522			陸
30	260R2			偵	2	イスパノ		1×650	14.9	10.4	3.62	30.34	1.80	2.57			5.0		0.9		陸
30	220 RN3			偵	4	ノーム		2×425	18.8	12.0	4.40	25.00	27.9	3.45							陸
31	281T—12	木ヂ	ヂ	客	12	ノーム・ローヌ・テイタン K-7B	空・星	3×300	22.6	17.0	5.75	63.50	3.71	5.92	179			188	1.1		陸
32	360	ヂ		客	4	ノーム・ローヌ K—7b	空・星	1×230	16.9	11.2	2.90	31.80	1.32	2.30	246		7.0				陸
33	282T—12	ヂ		客	10	ノーム・ローヌ 7Kd テイタン・メヂア	空・星	3×350	22.6	17.0	5.75	63.80	3.79	6.20	251		5.0	220	1.0		陸
33	360T—5	金	ヂ	客	5	サルムソン 9A6	空・星	1×230	17.0	11.2	2.90	31.81	1.27	1.90	203		5.8	233	0.5		陸
33	365T—7	金	金	郵客	5	ノーム・ローヌ 9kbrs	空・星	1×500	17.0	11.9	3.58	35.51	1.51	2.90	290	110	6.2	333	1.0		陸
33	313			戰	1	ノーム・ローヌ		1×500													陸
34	28T	ヂ		客	10	ノーム・ローヌ 7Kd テイタン・メヂア	空・星	3×350	22.6	17.0	5.75	63.80	6.38	3.78	6.20	251			218		陸

ウエイマン Avions Weywann (28, Rue Valentin Levallois-Perret)

30	10			偵	2	イスパノ		1×650	15.1	11.5	3.10	33.75									陸
31	52	ヂ布	鋼布	ス	2	ルノー 4	空・併	1×95	12.0	9.30	3.10	24.00	0.47	0.75	145						陸
32	130	木板	鋼布	ス	2	ルノー 4	空・併	1×95	9.75	6.60	2.00	20.00	0.48	0.73	180	80	4.5		0.6		陸
32	80R2	ヂ布	鋼布	偵	2	イスパノ・スイザ12Nb	水・Y	1×650	14.0	8.80	3.20	42.00	1.45	2.25	270		8.5	370	1.0		陸

ヴイリエ

26	4Hb			偵	2	ロレーヌ		1×450	14.0	9.70		42.00	1.95	2.30	202	82	6.5	270			水
28	24			戰	2	ロレーヌ・デイートリチ	水・扇	1×450	13.0	8.75	3.30	42.00	1.46	2.21	212	75		362			交
30	26			偵	2	ノーム		1×420	219	12.7	4.76	66.00	1.82	2.80	175	55	6.0		0.9		水

S. A. F. A. Société Anonyme Française Aéronautique. (Toussus-le-Noble.)

32	FK—43	木板	鋼布	ス	4	シラス・ハーメス	空・併	1×115	11.0	7.80		17.00	0.50	0.95	185	60	5.0	277			陸
35	メレ 20	木板	木板	旅	3	レニエ R—6	空・倒	1×180	10.0	8.00	2.20	17.00	0.65	1.15	290	65	6.2		1.5		陸

S. F. C. A.

35	マイエ 20 リニエル	木	木	旅	2	レニエ	空	1×180	10.3	7.68	2.85	15.00			330						陸(引込脚)

S. F. A. N.

35	1			輕	1	ポアンサール	空	1×27	12.5	6.72	2.27	16.50		0.29	115	35		120	0.5		

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 米	性能 最小速 米	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 粁	性能 航續力 千粁	機型	備考
S. P. C. A. Société Provençale de Constructions Aéronautiques. (3, Rue de la Baume, Paris.)																					
32	40—T	金	ヂ	郵		サルムソン	空・星	3×120	20.0	13.2	3.25	53.00	2.27	3.14	180		3.7		0.5		陸
32	81col 2	金		客	6	レーム・ローヌ K7	空・星	1×300	15.0	11.0	3.81	31.50		2.03	219		6.2		0.7		陸
32	30M—4	ヂ		戰	5	ロレーヌ 18kd	水	2×650	26.5	17.2	4.10	10.00		6.00	255	90	7.0	285			陸
34	91—T	金		客	8	ノーム・ローヌ 7—kd	空・星	3×350	22.4	15.6	5.03	65.00		5.43	235						陸
34	814col—2	ヂ	ヂ	軍輸	6	ノーム・ローヌ 7K6	空・星	1×300	15.0	11.0	3.14	31.50		2.03	219		6.2		0.7		陸
34	90col—3	ヂ	ヂ	軍輸	7	ノーム・ローヌ 7kd	空・星	3×350	22.4	15.6	5.03	65.00		5.25	238				1.3		陸
F. B. A. シュレク Hydravions Schreck-F. B. A. (Qvai de Seine, Argenteuil.)																					
32	290	木布	木	ス	4	ロレーヌ・アルゴル	空・星	1×300	13.1	9.47	4.04	40.15	1.40	2.00	170		4.1	155	0.5		
32	310	木布	木	ス	2	ロレーヌ	空・星	1×120	12.0	7.60	2.78	21.00	0.65	0.90	150		4.0	140	0.3		
C. A. M. S. Chantiers Aéro-Maritimes de la Seine. (75 Avenue des Champs-Elysées, Paris.)																					
27	51R3	木	木	爆	4	ノーム・ローヌ ジュピター	空・星	2×420	20.4	17.4		113.0	3.00	5.10	200	90	4.6	213			
30	57			旅		ルノー		2×500	20.4	14.8	5.52	115.0	4.00	7.00	210		5.3	172			水
30	50			軍	2	ノーム		2×480	20.4	14.8	5.40	115.0	4.55	6.70	220	100	5.4	244			
32	60	木布	木金	輸	5	ロレーヌ・アンタレス		2×590	30.4	16.0	6.40	117.0	5.00	7.58	200		4.6	250			交
32	32[12]	木布	木板		3	ロレーヌ 12Fd		1×450	14.5	10.7	4.58	59.90	2.27	2.97	168	102	3.3	230			
32	58[9]	木布	木板	郵	6	イスパノ・スイザ 12Nbr	水・Y	2×600	24.3	14.8	5.50	126.5	5.75	11.6	215		3.3	250	4.2		
32	58[2]	木布	木	鋼客		ロレーヌ・アルゴル	空・星	4×300	24.3	14.9	6.14	126.5	5.00	8.60	220		4.5	430			
32	37[2]	木布	木板	偵	2	ロレーヌ 12Ed	水・扇	1×450	14.5	10.7	4.07	59.90	2.13	2.97	176	98	3.6	240			
32	54GR	木布	木	偵	2	イスパノ・スイザ		2×500													
32	55[3]	木布		偵	4	イスパノ・スイザ 12Lbr	水・Y	2×600	20.5	15.0	5.40	114.0	4.00	6.90	205	100	3.7	220			
32	55[6]	木布		偵	4	ノーム・ローヌ ジュピター9AKx	空・星	2×480	20.5	15.0	5.40	114.0	4.05	6.50	200	95	3.3	213			
32	55[11]	木布		偵	4	ノーム・ローヌ 9Kdr	空・星	2×500	20.5	15.0	5.40	114.0									
32	80	ア	輕	偵	3	イスパノ・スイザ 12Nbr	水・Y	1×650	24.6	13.0	5.10	62.24	2.77	4.12	210		6.5	224	1.3		
33	90	木布	ヂ	偵	2	ロレーヌ・ミザ	空・星	1×240	13.0	9.07	3.59	41.98	1.12	1.60	174	70	5.7	187	0.4		
34	110	木	ヂ	哨爆		イスパノ 12Ybrs	水・Y	2×860	22.5	16.3	6.00	115.1	5.34	10.5	250	108	7.0	363	2.4		
35	55[1]	木布	木	偵		イスパノ・スイザ 12Lbr	水・Y	2×	20.4	14.9	5.70	114.0	5.10	7.00	200	100	3.5	214			
35	55[10]	木布	木	爆偵		ノーム・ローヌ 9Kdr	空・星	2×500	20.4	14.9	5.70	114.0	4.59	6.60	195	95	3.5	220			
クージネ Société des Avions René Couzinet.																					
32	33	木板	木板	ス	4	デ・ハ・ヂプシー3	空・倒	3×120	16.2	11.7	2.70	31.00	1.65	3.61							陸
32	40	木板	木板	ス	4	ノーム・ローヌ K-7	星	3×300	28.0			85.00	4.10	6.46							陸
32	60	木板	木板	郵		イスパノ・スイザ	水・Y	3×650	30.0			92.00	6.65	13.5							陸
33	70 アルカンシエル	木板	木板	郵	4	イスパノ・スイザ 12Nb	水・Y	3×650	30.0	16.2	4.00	90.00	7.31	16.8	280				1.1		陸
33	110	木板	木板	客	6	サルムソン 9NC	空・星	3×135	16.5	12.1	2.50	26.00	1.84	2.90	250		4.0	200			陸
34	101	木板	木板	客	3	ポプジョイ R	空・星	3×85	13.5	10.1	3.00	20.00	0.90	1.42	250		5.8	339			陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/分	性能 航續力 千粁	機型	備考
	ケルネ・ベシユロ Société Kellner-Béchereau. (185, Avenue Edouord Vaillant, Billancourt.)																				
32				ス	2	サルムソン	空・星	1×95	14.0	8.74	2.16	23.10	0.56	0.86	164			208	0.3		
	コードロン Société des Avions Caudron. (52—72 Rue Guynemer, Jssy-Les-Moulineaux)																				
26	C—107	木布	木板	偵	2	サルムソン		1×500	14.6	9.10		44.00	1.33	2.26	231		6.9	300			陸
29	59ET—2	木布	木	練	2	イスパノ・スイザ	水・Y	1×180	10.2					1.00	180		2.0				陸
31	C—232	木布	木板	ス	2	ルノー	空・併	1×95	11.0	7.86		24.00	0.42	0.70	150	72	4.3		0.4		陸
31	リウシヨル	木布	木布	ス	2	ルノー 4	空・星	1×95	11.0	7.86	2.70	24.00	0.20	0.30	140	72	4.0		0.5		陸
32	フアレーヌ	木布	木布	ス	3	デ・ハ・ヂプシー3	水・倒	1×120	11.6	8.25	2.05	22.00	0.53	0.96	185	70	4.5		0.8		陸
32	C—240	木布	ヂ布	ス	4	サルムソン A.C 9	空・星	1×120	15.0	10.1	3.00	32.80	0.80	1.30	165		3.5		0.7		陸
32	C—180	ヂ	ヂ	軍輸	12	ロレーヌ・アルゴ	空・星	3×300	24.5	15.1	3.75	70.00	2.60	5.00	225	100	7.0		1.0		陸
33	C—360	木布	木布	競	1	ルノー・ベンガリ	空・倒	1×165	6.80	6.87	2.30		0.40	0.70	370	110	3.5	565			陸
33	C—362			ス	1	ルノー・ベンガリ		1×170	6.80	6.80	2.30	7.00	0.40	0.69	380						陸
33	シウパ フアレーヌ	木布	木布	ス	4	デ・ハ・ヂプシ 3	水・倒		11.4	8.06		20.00	0.55	10.5	200	60	5.6		0.7		陸
34	C—440	金板	金板	客	8	ルノー 454	空・列	2×210	17.6	13.3	3.50	40.00	1.79	3.30	290	95	5.0	426	2.6		陸
34	C—272—3 リウシヨル	木布	木布	ス	2	ルノー ベンガリ	空・列	1×120	9.90	7.60	2.76		0.57	0.85	165	59	5.0				陸
34	C—282—8 フアレーヌ	木布	木布	ス		ルノー・ベンガリ	空・列	1×120	11.6	8.25	2.05	23.35		1.10	185	70	4.5				陸
34	C—430	木	木	ス	2	ルノー・ベンガリ	空・列	1×130	7.70	7.10		9.00	0.48	0.82	305	95	5.8				陸
34	C—530 ラフアル	木板	木布	ス	2	ルノー・ベンガリ	空・倒	1×140	9.20	7.50	1.90	12.00		0.88	300	85	6.3		1.3		陸
34	C—480 フレガツト	木	金	旅	3	ルノー 4pei	空・直	1×140	11.9	8.18	2.12	20.00	0.60	1.05	215	75	4.5		0.9		陸
34	C—500 C—520	木板	木板	旅	4	ルノー 6pfi	空・直	1—190	10.4	8.66	1.15	16.00	0.64	1.12	300	75	6.0				陸
34	C—510 ペリカン	木布	木布	旅	4	ルノー 4pei	空・直	1×140	11.8	8.25	1.49	23.75	0.63	1.14	176	60			1.0		陸
34	C—600 エグロン	木板	鋼板	ス	2	ルノー	空・直	1×100	11.8	7.60	2.00	15.00	0.44	0.70	200	60			0.7		陸
35	C—640 テイフオン	木板	木布	客	8	ルノー	空・直	2×220	14.8	11.0	3.00	28.00	2.00	3.60	369	108	7.0		5.1		陸
35	C—450	木		ス	1	ルノー・ベンガリ	空・倒	1×140	6.75	7.13		7.00	0.53								陸
35	C—460	木		ス	1	ルノー・ベンガリ	空・倒	1×140					0.54								陸
35	C-620 シムン	木板	木板	旅	4	ルノー・ベンガリ6	空・倒	1×195	10.4	8.70	2.15	16.00	0.79	1.35	300	75	6.0		1.0		陸
	ギーユマン Guillmin, J., Suresnes Seine																				
32	J. G—40	木板		郵	2	ロレーヌ	空・星	1×120	13.5	7.70	3.50	25.00	0.68	0.98							陸
32	J. G—10	木板	ヂ	ス	2	ルノー	空・直	1×95	13.0			23.00	0.55	0.85							陸
33	J. G—10	木布	ヂ	輕	2	ドラージユ	水・Y	1×370		6.60		10.60		0.98							陸
	ゲルシエ Avions Guerchais (54 Avenue du Marechal-Foch, Saint Cloud.)																				
32	110			ス	2	ロレーヌ・オーリオン	水・扇	1×700	18.0	11.7	3.80	45.50		2.50	337		15.0		0.9		陸
32	T—9			ス	2	ルノー	空・併	1×120	9.60			15.00	0.47								陸
	サブリエルゴーニユ Sablier-Legogne, Paris																				
	SAF Jc—4			ス	1	クレルゲー		1×18	6.70	5.00	1.60	8.00	0.10	0.18	110	45	3.5				陸
	サルムソン Societé des Moteurs Salmson. (102, Rue de Point-du-Jour, Billancourt.)																				
34	フリガース	木布	鋼布	旅	3	サルムソン 9—Nc	空・星	1×135	11.7	7.66	2.36	22.50	0.64	1.10	195	54	6.5		1.0		陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千粁	重量 全備 千粁	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 粁	性能 航續力 千粁	機型	備考
	タムピエ Tampier, R., Levallois-Perret, Seine, 28 Rue Valentin.																				
26	T 6	木布	木布	爆	3	ルノー	水・Y	2×600	28.0			145.0	3.36	5.60	197		6.0	250			陸
	ドヴアテイーヌ Societe' Aeronautique Française (66 Rue Boissiéreparis, Xule.)																				
32	D—28			旅		ルノー		1×500							210	110			0.9		陸
32	D—30	ヂ布	ヂ布	客	10	イスパノ・スイザ 12Nbr	水・Y	1×650	25.2	14.3	5.85		1.47	2.93	220		6.2				陸
32	D—31			旅		ノーム		3×230													陸
32	D—48	木板	金布	練	2	サルムソン 7AC	空・星	1×95	12.7	7.39	2.83	19.00	0.64	0.90	175	84	4.5		0.6		陸
32	D—27	ヂ布	ヂ	戰	1	イスパノ・スイザ 12Mb	水・Y	1×500	10.3	6.50	2.90	17.50	0.99	1.33	310	860	9.7	573			陸
32	D—37	ヂ布	ヂ	戰	1	ノームローヌ・シストラル14Ksb	空・星	1×700	10.3	6.50	2.90	17.50									陸
32	D—535			戰	1	イスパノ・スイザ 12Xbrs	水・Y	1×500	10.3	6.50	2.90	17.50									陸
32	D—560			戰	1	イスパノ・スイザ 12Xbrs		1×650	12.4			17.30	1.25	1.69	355	120	11.5	822			陸
33	D—33	ヂ		ス	2	イスパノ・スイザ	水・Y	1×650													陸
33	D—332	ヂ		旅	11	イスパノ・スイザ 9V	空・星	3×575	29.0	17.2	5.35	80.00	4.25	8.40	300			348			陸
33	D—333	ヂ		客	11	イスパノ・スイザ 9V	空・星	3×575	29.0	17.2	5.35	96.00	4.92	9.36	301			332			陸
33	D—412			ス	1	イスパノ		1×1,500	9.60	7.65	3.50	12.00	1.68	1.99	500						水
33	D—371	ヂ		戰	1	ノーム・ローヌ 14Kds	空・星	1×680	11.8			18.20	1.17	1.63	360	90		816			陸
34	D—334	ヂ		客	30	イスパノ・スイザ 9V	空・星	3×575	29.0		5.35	96.00									陸
34	D—335	ヂ		客	20	イスパノ・スイザ 9V	空・星	3×575	29.0	17.2	5.35	96.00									陸
34	D—372	ヂ布	ヂ	戰	1	ノーム・ローヌ 14Kfs	空・星	1×900	11.8	7.44	3.20	17.80	1.22	1.68	400		1.1	976			陸
34	D—500	ヂ		戰	1	イスパノ・スイザ 12×brs	水・Y	1×500	12.1	7.74	2.70	16.50	1.27	1.71	372			669			陸
35	センデユモン			客		イスパノ・スイザ 12Nbr	水・Y	4×650													水
35	D—620			客	30	ノーム・ローヌ 14Krsd		3×880	29.4	23.6	5.72	97.34	6.90	11.9	350	102	7.7				陸(引込脚)
35	D—338			客	24	イスパノ 9Vb	空・星	3×575	29.4	22.1	6.32	99.00									陸
35	D—510	ヂ		戰	1	イスパノ 12Ycrs	水・Y	1×860	12.1	7.94	2.42	16.50	1.43	1.92	403	120	1.1	708			陸
35	D—513			戰	1	イスパノ・スイザ 12Ycrs	水・Y	1×860	12.1	7.86	3.42	18.32	1.52	2.12	480		1.4	891			陸(引込脚)
	ドユピウイ Dupuy, Marseille.																				
33	D—40			ス	1	サルムソン		1×40	10.5	9.10	1.90	5.38	0.26	0.42	150	55		188	0.8		陸
	ニウポールドラージユ Societe' Anonyme Niupport-Delage. (46—50, Gallieni Issy-les-Maulineux.)																				
28	72C—1	ヂ		戰	1	イスパノ・スイザ	水・Y	1×500	12.0	7.50	3.00	28.00	1.36	18.0	268	97	9.3	627			陸
31	481	ヂ	ヂ	ス	1	ロレーヌ・ミザー	空・星	1×240	10.0	6.50	2.80	18.80	0.92	1.54	235			548			陸
31	540	ヂ		旅	10	ロレーヌ・クルリ	水・扇	1×600	23.4	15.0	3.80	60.00	2.90	4.41	202	97	4.5	275	0.8		陸
31	641	木板		旅	6	ロレーヌ・ミザー	空・星	1×240	15.4	9.45	3.19	30.87	1.20	1.90	210	106	5.4	281	0.6		陸
32	120C—1			戰	1	イスパノ・スイザ 12Xbrs	水・Y	1×655	13.0	7.12	3.00	22.00	1.23	1.68	348	105	11.5	669	0.6		陸
32	121			戰	1	イスパノ	水・Y	1×650	13.0	7.12	3.00	22.00	1.26	1.70	370		12.0	819			陸
32	580R—2	ヂ	ヂ	偵	2	イスパノ・スイザ 12Nbs	水・Y	1×650	15.0	11.3	3.58	38.00	18.3	2.63	249	95	7.8	400	0.9		陸
32	590 Col3			偵	3	ロレーヌ・アルゴル	空・星	3×300	25.9	14.7	3.96	70.00	3.25	5.00	212	93	8.0	250	1.3		陸
32	980			偵	2	イスパノ	水・Y	1×650													陸
33	941T	鋼布		ス	2	ロレーヌ 5pc	空・星	1×120	13.3	5.05	2.35	27.00	0.61	1.04	220	70	6.8	320			陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 分	性能 航續力 千粁	機型	備考
33	121C—1			戰	1	ロレーヌ・ペトレル	水・V	1×	13.0	7.12	3.00	22.00		1.68							陸
33	122C—1			戰	1	イスパノ・スイザ 12Xbrs	水・Y	1×655	13.0	7.12	3.00	22.00	1.23	1.68	362	105	1.1	872	0.6		陸
34	125C—1			戰	1	イスパノ 12Ycrs	水・Y	1×860	13.0	7.28	3.39	22.00		1.94	400		1.1	855			陸
35	140			攻	2	イスパノ 12Xcrs	水・Y	1×690	14.0	9.57	2.98	26.82		2.48	336			563			陸
35	140C—2	ヂ		爆	1	イスパノ・スイザ 12Xcrs	水・Y	1×690	14.0	9,60				2.50							陸
35	690 Col. 2			軍輸		ロレーヌ・アルゴル	空・星	1 K 300	17.2	12.1	3 48	38.20	1.64	2.43	200	85	5.5		0.8		陸

フアルマン　Avions Henri, Maurice et Diek Earman. (167 Rue de Silly, Billancourt)

24	F-140			爆	6	フアルマン・ブロードアロ	水・倒	4×500	35.0	19.7		266.0	7.15	11.6	185		6.5	200			陸
25	F—60			爆	4	ノーム		2×420	26.5	14.8	4.90	161.0	2.90	5.40	170		5.1	152			陸
26	F-160			爆	4	フアルマン12W.E	水・倒	2×500	26.8	14.9	4.30	20.00	4.00	7.00	186		6.0	182			陸
30	F-300	木布	木板	旅	10	サルムソン	空・星	3×230	19.1	13.4	3.20	66.00	2.40	4.20	230		5.0	213			陸
31	F-230	木板	木板	ス	2	サルムソン	空・星	1×40	8.11	5.58	1.70	11.00	2.70	0.45	170	70					陸
32	F-196	金		ス	4	ノーム・ローヌ 7kbr	空・星	1×300	15.7	10.2	2.58	40.00			215		7.0		0.8		陸
32	F-1000					フアルマン		1×400				70.00					20.				陸
32	F—250			ス	2	ノーム		1×380													陸
32	F-206	木板	木板	ス	2	サルムソン	空・星	1×120	11.2	8.00	2.40	25.00			170	60			1.2		陸
32	F—231	木板	木板	ス	2	ルノー		1×95	10.3	6.25	2.00	15.60	380	0.65	190	70					陸
32	F-232	木板	木板	ス	2	ミシエル		1×100	10.3	6.25	2.00	15.60	0.38	0.65	190	70					陸
32	F-233	木板	木板	ス	2	デ・ハ・ヂプシー		1×95	10.3	6.25	2.00	15.60									陸
32	F-234	木板	木板	ス	2	サルムソン		1×95	10.3	6.25	2.00	15.60									陸
32	F-235	木板	木板	ス	2	イスパノ・スイザ		1×100	10.3	6.25	2.00	15.60			210	70					陸
32	F-237	木板	木板	ス	2	ルノー	星	1×100	10.3	6.25	2.00	15.60			210	70					陸
32	F-238	木板	木板	ス	2	デ・ハ・ヂプシー3	水 倒	1×120	10.3	6.25	2.00	15.60									陸
32	F-351	木板	木板	ス	2	ルノー	空・併	1×95	9.10	6.73	2.30	15.80									陸
32	F-393			旅	4	フアルマン		1×190	14.9	10.8		40.00	1.08	1.80	207	80	6.0		1.0		陸
32	F-211	木布	木布	爆	6	ノーム・ローヌ 7kbrs	空・星	4×300	23.0	15.9	4.22	109.0	5.05	7.40	220				5.5		陸
33				旅		ルノー		3×95													陸
33	F-356	木板	木板	ス	2	ルノー	空 倒	1×120	9.11	6.38	1.90	14.40			200				0.8		陸
33	F-355	木板	木板	ス	2	ルノー	空・倒	1×120	9.11	6.70	2.30	14.40			200				0.8		陸
33	フアルマン	木板		ス	1	4	空・倒	1×165	6.00	5.50		6.00		0.55							陸(引込脚)
33	F-400	木板	木板	ス	3	ルノー	空・倒	1×120	11.7	8.25	2.7	21.50			195				0.8		陸
34				ス	1	フアルマン		1×420	7.90	6.80		9.50		1.13							陸
34	F-190	木ヂ		旅	5	ノーム・ローヌ テイタン	空・星	1×230	14.1	9.00	3.00	40.00			180						陸
34	F-430	木板	木板	輕客	6	ヂプシーメヂア	空・倒	2×130	15.4	11.7		36.00	1.29	2.15	210						陸
37	F-431	木板	木板	客	7	ルノー 7Pbi		2×190	15.4	12.0	2.80	36.00	1.44	2.50	245				0.9		陸
35	F-220			客		イスパノ・スイザ	水・Y	4×600													陸
35	224			客	40	ノーム・ローム	k-14 空・星	4×800	36.0	23.3	5.20			16.3	310						陸

建造年月 1000	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千米	性能 上昇率 秒	性能 航續力 千粁	機型	備考
35	F-420	木板	木板	戰		ノーム・ローヌ 14Kdrs	空・星	2×825	22.0	14.5	3.5	69.00	3.80	6.90	350		7.5	872	1.4		陸
35	F-221	ヂ	ヂ	爆		ノーム・ローヌ 14kbr	空・星	4×700	36.0			186.0		17.8	276		8.0	400			陸
35	F-222			爆	5	ノーム・ローヌ 14krsd	空・星	4×810	36.0	21.0	5.20	186.0		18.7	325				2.0		陸
35	F-271			爆雷		ノーム・ローヌ 14krsd	空・星	2×800	26.0	18.5	6.00	153.0		9.50	250		8.5	350	2.5	19	陸
	バ ス ー Bassou, Paris.																				
33	リユビス			ス	2	サルムソン		1×40	11.0	5.50	2.30	13.00	0.23	0.56	143	50					陸
	ブレゲー Société Anonyme des Ateliers d'Aviation Louis Breguet (24,Rue Georges-Bizet, Povris.)																				
31	23	ヂ布	ヂ布	爆	2	イスパノ・スイザ 12N6	水・Y	1×650	17.5	11.0	4.14		1.76	3.60	240		6.5	267	0.7		陸
32	39—2T	ヂ		貨	2	ノーム・ローヌk-7	空・星	3×350	20.7	14.6	3.70	66.46	2.81	5.19	220			220			陸
32	39—3T	ヂ		客	12	ノーム・ローヌk-7	空・星	3×350	20.7	14.6	3.70	66.46	2.81	5.19	220			220			陸
32	19B	ヂ布	ヂ布	偵	2	ノーム・ローヌ ミストラルk-14	空・星	1×700	14.8	9.50	3.34	50.00	1.57	2.98							陸
32	33R2			偵	2	イスパノ	水・Y	1×650													陸
32	19—8	ヂ布	ヂ布	偵	2	ノームローヌ ミストラルk-14	空・星	1×700	14.8	9.50	3.34	50.00	1.62	3.15	380		1.0	388	1.3		陸
32	19—9	ヂ布	ヂ布	偵	2	イスパノ・スイザ 12kbrs	水	1×700	14.8	9.50	3.34	50.00	1.62	3.15	280		1.0	388	1.3		陸
33	41	ヂ		戰	6	イスパノ・スイザ 12Hb	水・Y	2×500	20.2	11.3	3.96	67.15	3.01	4.65	240		6.9	420			陸
33	27	鋼ヂ	鋼ヂ	偵	2	イスパノ・スイザ 12Hb	水・Y	1×500	17.0	9.76	3.58	49.00	1.75	2.39	236		7.7	270			陸
33	27—3			偵		イスパノ・スイザ 12Ybrs	水・Y	1×550							310		9.6	500			陸
34	460T フュルギュール	金		客	16	ノーム・ローヌ 14kdrs	空・星	2×760	20.5	14.3	6.45	55.00	3.99	6.78	385				0.9		陸
34	660			戰爆		ノーム・ローヌ 12krsd	空・星		24.7	16.0	4.50	77.75	4.60	10.0	365		8.5				陸
34	274	輕	輕金	爆偵	2	ノーム・ローヌ 14krsd	空・星	1×825	17.0	9.28	3.57	49.67	1.96	3.60	305		9.5	563	1.4		陸
34	Bizerte	ヂ	ヂュ	軍		ノーム・ローヌ 14kdrs	空・星	3×860	35.1	18.9		169.8	8.12	13.5	240		7.5	263	1.8		
35	ブレゲーウイボー 670T21	ヂ		客	21	ノーム・ローヌ14k	空・星	2×810	24.9	18.7	7.20	78.60		9.00							陸
35	460M-5			戰爆	5	ノーム・ローヌ 14kdrs	空・星	2×825	20.5	12.8		56.60	3.96	7.20	385	125	10.0	583			陸
35	セゴン	ヂ	ヂュ	客	21	イスパノ・スイザ 12Ybr	水・Y	3×785	35.1	18.9		167.0	8.35	15.0	240		6.6		1.1		
35	670	輕	輕金	客	18	ノーム・ローヌ 14krsd	空・星	2×825	24.9	18.7		78.60	5.06	9.01	340				1.0		陸(引込脚)
	ブレリオ Blériot-Aeronautique. (1-7, Rue Gallieni Svresnes.)																				
29	195b	木布	木布	爆	4	イスパノ・スイザ	水・Y	4×250	23.2	15.1	4.60	90.00	4.20	8.50	195						陸
32	110	木布	木布	ス	2	イスパノ・スイザ	水・Y	1×600	26.5	14.6	4.90	81.00	2.50	8.60	220		2.0		1.3		陸
32	127	木板	木板	客	5	イスパノ・スイザ	水・Y	1×400	16.0	10.9	3.20	34.00	1.30	2.30	195	98	5.5				陸
32	125	木鋼	木板	旅	14	イスパノ・スイザ	水・Y	2×500	29.4	13.8	4.00	100.0	3.93	6.33	205						陸
93	922			練	2	サルムソン		1×230													陸
32	127	木布	木板	戰	6	イスパノ・スイザ	水・Y	2×500	23.2	14.5	3.40	88.00	3.25	4.46	221	81		408			陸
32	137	木布	木布	戰	6	イスパノ・スイザ	水・Y	2×500	23.3	14.4	3.20	93.00	3.60	5.60						19	陸
32	110	木	木	ス	2	イスパノ・スイザ	水・Y	1×650	24.5	14.8	4.00	70.00	3.10	8.62	250						陸
32	290	木布	木板	ス	3	サルムソン 9ab	空・星	1×230	14.6	9.70	3.50	32.00	1.24	1.70	185		4.7		0.5		
33	スパド 1	布	布	戰	1	イスパノ・スイザ 12Mb	水・Y	1×500	8.65	6.52	2.94	22.00	11.5	1.45	279		8.1	666			陸
33	5190			輸	8	イスパノ・スイザ 12Mbr	水・Y	4×650	43.0	26.0		222.0	11.2	22.5	220				3.2		
34	スパド 510	布	布	戰	1	イスパノ・スイザ 12Xbrs	水・Y	1×500	8.84	6.70	3.00	22.00		1.62	350	90	10.5	911			陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千瓩	性能 上昇率 米/秒	性能 航續力 千粁	機型	備考
	ブロッシュ Avions Marcel Bloch (Ouai Paul-Doumer, Courbevoie.)																				
32	90			ス	2	デ・ハ・		1×120				13.00	0.32		220	80	6.5				兩
32	80	ヂ	ヂ	患輸	2	ロレーヌ 5pc	空・星	1×120							172		6.8	180			陸
33	90			ス	2	デ・ハ・		1×120				13.00	0.32		220	80	6.5				兩
34	130 ギユイヌメール			戰		ノーム ローヌ 14kdrs	空・星	2×760	18.8	15.6	5.80	52.00	3.54	6.58							陸
34	200 BN4			爆	4	ノーム ローヌ 14kdrs	空・星	2×760	22.5	15.8	3.92	67.00	3.90	6.58					1.5		陸
34	210	輕	鋼	爆		ノーム ローム 14krsd	空・星	2×760	25.1	18.4	7.40	77.00	4.40	7.60					2.0		交
35	200			爆		ノーム ローム 14kdrs	空・星	2×930	22.5	15.8	3.92	67.00	3.90	7.15	292			308	1.0		陸
35	81	ヂ	ヂ	患輸	2	ロレーヌ 5pc	空・星	1×120							172		6.8	180			陸
35	300	輕	輕	客	30	ノームローヌk-14	空・星	3×900	27.6	23.0		100.0	5.52	10.6	355				2.7		陸
	プロヴアンス Provence, C. P. A., La Courneuve, Seine.																				
26	CPA1			爆	4	イスパノ		2×500	22.8	13.4		84.00	3.35	4.60	205	90	6.0				陸
	ベシエロ Béchéreau, Paris.																				
32	Avia 32E			ス	1	Jap		2×14	10.6	5.40		10.50		0.28	75	35					陸
	ベルナール Société des Avions Bernard (Quai de Seine, Argentueil.)																				
26	12C—1			戰	1	ノーム ローヌ ジュピター	空・星	1×420	12.0	7.20		12.00	0.91	1.45	265		8.0				陸
30	72C—1			戰	1	ノーム		1×230	9.20	6.70		13.45	0.68	0.93							陸
32	81	木板	木板	ス	2	イスパノ・スイザ 12Nb	水・Y	1×650	24.5	14.8	4.00	70.00	3.10	8.62	250				1.3		陸
32	191GR			旅	2			1×													陸
32	74C—1	木板		輕戰	1	ノーム ローヌ 7Kbs	空・星	1×360	9.20	6.72		14.47	0.82	1.10							陸
32	260C—1	木板	木板	戰	1	イスパノ 12Xbrs		1×500													陸
32	160			偵		ノームローヌ k-7	空・星	3×300													陸
33	200T	ヂ		ス	4	デ・ハ・ヂプシ 3		1×120	11.1	8.18	2.00	17.00	0.53	0.88	195	75	4.5				陸
33	75C—1	木板	木板	輕戰	1	ノーム ローヌ 7kbrs	空・星	1×500	9.20			13.40			355						陸
33	80GR			偵	2	イスパノ		1×650													陸
34	V—4	木金		競	1	イスパノ 18R	水	1×1,600	8.65	7.45	3.32	12.50	1.74	1.90	540						陸
34	52C—1	ヂ		戰	1	ノーム ローヌ 9krsd	空	1×460	11.3	8.92	4.40	18.20	1.51	1.84	329	95	9.0				水
35	82B—3			爆	3	イスパノ・スイザ 12Ybrs	水・Y	1×1,037	27.1	18.0		90.00			317				2.8		陸
	ボルドレーズ Société Aérienne Bordelaise (2, Rue Blanche, Paris.)																				
26	DB—10			爆	4	ノーム		2×420	25.0	13.6	4.67	93.00	3.15	5.60	195		6.0				陸
29	DB—20			戰	3	ノーム		2×420	21.0	13.5	4.67	73.00	2.30	4.70	220			150	0.4		陸
31	DB—70			客	30	イスパノ・スイザ	水・Y	3×600	37.0	20.0	6.00	218.0	8.82	14.1	190	100	4.0	199			陸
31	DB—71	ヂ		客	30	ロレーヌ オーリオン	空・星	3×700	37.0	20.0	6.00	206.0	7.85	13.2	220		5.0	235			陸
33	AB—20	ヂ	ヂ	爆	6	ロレーヌ・クルリ		4×600	37.0	21.5	7.40	206.0	9.65	14.6	210	4.7	182	0.9			陸
33	AB—21	ヂ	ヂ	爆	6	ロレーヌ・ペトレル		4×500	36.7	21.9	6.84	201.0	8.45	13.2	210	110	5.5	182	1.0		陸
34	AB—80	ヂ		戰	4	イスパノ 12Ybrs	水・Y	2×860	24.0	18.5	6.07	81.75	4.30	8.10	330	125	8.5	576			陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/秒	性能 航續力 千粁	機型	備考
	P. A. M. A. Constructions de Planeurs á Moteur Auxiliaire. (26, Rue de Bassano, Paris.)																				
34		木板	木布	ス	1	ブアンサール	空•—	1×20	9.00	5.95	1.90	16.00	0.19	0.30	120	35	5.0	240	0.6		陸
	ペーツ Peitz, Rosny-Sous-Bois.																				
33	101			ス	2	アンザーニ		1×50	11.0	6.80	2.20	15.00	0.30	0.54	145	87	6.0	215	0.4		陸
	ポテー Aér planes Henry Patez (75, Avenue Champs-Elysée, Paris.)																				
29	28	木板	木板	偵	2	ルノー		1×550	16.2	11.0		63.00	1.90	4.77	210		5.2		5.0		陸
31	40	鋼ヂ	鋼ヂ	偵	3	サルムソン	空•星	3×230	18.5	14.4	3.45	63.00	2.58	4.07							陸
32	36	木布	ヂ布	ス	2	サルムソンA.C.7	星	1×95	10.4	7.69	2.47	20.00	0.45	0.76	150	56	4.0	225	0.6		陸
33	35	木布	ヂ布	ス	2	ポテー 6AC	空•星	1×100	11.3	7.44	2.59	19.20	0.39	0.86	170	60	4.5	235	0.7		陸
32	25A—2	木布	木布	偵	2	ロレーヌ 12Eb		1×450	14.1	9.10	3.62	47.00	1.33	1.96	219	81	7.0	300			陸
32	37R—2	鋼ヂ	ヂ	偵	2	イスパノ・スイザ	水•Y	1×500	14.3	10.3	3.50	35.00	1.86	2.53	264		7.1	455			陸
32	39—A2	鋼ヂ	ヂ	偵	2	イスパノ・スイザ 12Hb	水•Y	1×500	16.0	10.0	3.40	35.00	1.65	2.26	242		7.4	420	0.7		陸
32	402—Col	鋼ヂ	ヂ	偵	4	ロレーヌ・アルゴル	空•星	3×300	20.2	14.4	3.60	66.00	3.24	4.74	230		5.5	300	1.1		陸
30	50—A2			偵	2	ノーム・ローヌ 14-kbrs	空•星	1×700	14.8	9.40	3.60	42.00	1.62	2.28	310		9.2	480			陸
33	53	木板		ス	1	ポテー 9b	空•星	1×250	6.65	5.40	1.80	7.20	0.55	0.90	380						陸
33	25	木[illegible]		偵	2	ロレーヌ 12Eb		1×450	14.1	9.10	3.62	47.00	1.45	2.50	217			307			陸
33	49—Toe1			偵	2	イスパノ		1×580	16.0	11.0	3.40	33.00	1.75	2.49	237		6.9	307	0.9		陸
33	49T oe2			偵	2	イスパノ		1×580	16.0	11.0	3.40	33.00	1.88	2.84	210		6.4	232	0.8		陸
34	53	木板	木板	競	1	ポテー 9B	空•星	1×250	6.65	5.40	1.80	7.20	0.55	0.90	380						陸
34	56	木板	木板	客	7	ポテー 9Ab	空•星	2×185	16.0	11.8	3.10	33.00	1.48	2.48	260		6.0		1.1		陸
34	58	木布	木板	ス	3	ポテー 6B	空•星	1×120	11.3	7.44	2.36	19.00	0.51	0.90	190	55	5.5		0.8		陸
34	60	木布	木	ス	2	ポテー 3B	空•星	1×70	10.0	6.97	2.35	14.00	0.29	0.55	145	50	3.5	215	0.7		陸
34	54	ヂ布	木板	戰	兩座	イスパノ 12Xbrs	水•Y	2×690	22.1	16.2	3.88	76.00	3.73	5.56	320			762			陸
34	41BN4			爆		イスパノ・スイザ 12Ybrs	水•Y	4×840	38.5	25.0				17.0	320						陸
34	42	木	鋼	患輸	3	ポテー		1×250													陸
35	62	ヂ	木板	客	14	ノーム・ローヌ 14kfr	空•星	2×500	22.5	17.3	3.90	76.00	4.68	7.16	325		7.5		1.7		陸
35	39A—2	ヂ	ヂ	偵	2	ロレーヌ 12Hars	水		16.0	10.0	3.40	35.00	1.72	2.43	295		9.0	480	0.8		陸
35	542	木布	木	偵	2	イスパノ・スイザ 9QD	空•星	1×300	13.0	10.0	3.26	24.30	1.06	1.50	222	72	6.5	249	0.8		
35	453	木板	木	戰	1	イスパノ・スイザ 80	空•星	1×650	11.2	10.2		19.00	1.42	1.84	335	94		863			
	マコニーヌ MakhoniSe, uillacoullay.																				
32			木	ス	2	ロレーヌ	水•扇	1×480	21.0			33.00	2.35	5.00	250	50			1.2		陸
	ミニエ Henri Mignet (53, Rue Dombasle, Paris.)																				
35	プデウシエル	木布	木板	輕	1	オビエデューヌ	空•倒	1×17	6.00	3.50			0.10		100			150			陸
	ミルヴオアイユ Mm. Bessard et Millevoye																				
35	モアノ	木布	鋼布	輕	1	ボアンサール		1×40	7.00	5.10		12.00	0.19	0.31	130	50	3.5		0.4		陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 粁	性能 航續力 千粁	機型	備考
		ミュロー Les Ateliers de Constructions du Nord de la France et des Mureaux. (54, Avenue morceau, Paris.)																		
	170C—1	ア輕	ア輕	戰	1	イスパノ 12Xbrs	水・Y	1×650	11.4	7.80	2.86	19.56	1.20	1.67	380	106	11.	777			陸
34	180C—2			戰	2	イスパノ 12Xcrs	水・Y	1×650	11.4	7.80	2.86	19.56	1.24	1.85	380		11.	791			陸
34	113R2	ヂ	ヂ	偵	2	イスパノ・スイザ 12Ybrs	水・Y	1×850	15.4	10.0	3.88	34.90	1.65	2.51	320	97	11.	509			陸
35	115R2			偵	2	イスパノ 12Ybrs	水・Y	1×860	15.4	10.0	3.63	35.00		2.43	340	97	11.	625	1.5		陸
35	180C2			戰	2	イスパノ・スイザ 12Xcrs	水・Y	1×690	11.4	7.83	3.26	19.56	1.18	1.88	380		11.	902			陸
		モーブサン Avions Mauboussin (1. Rue Choiseul, Paris.)																			
33	M—112	木板	鋼布	ス	2	サルムソン 9Ad	空・星	1×40	11.8			14.40	0.31	0.54	150	60	4.0	225			陸
33	M—120	木布	鋼布	ス	2	サルムソン 9A-d	空・星	1×60	11.8			14.75	0.37	0.62	165	65	5.0	245			陸
33	M—121	木布	鋼布	ス	2	サルムソン 9A-d	空・星	1×80	11.8			14.75	0.38	0.64	180	65		270	0.7		陸
35	121—35			旅	2	ポプジョイ カタラクト	空・星	1×95	11.8	6.79		13.60	0.36	0.62	202		7.1	302	0.7		陸
35	122	木布	鋼布	旅	2	サルムソン 9Aers	空・星	1×85	11.8	6.79		13.60	0.36	0.62	195		6.9	303	0.6		陸
		モラーヌソルニエ Aeroplanes Morane-Saulnier (3, Rue Volta, Puteaux.)																			
28	140	木鋼	鋼布	患輸	3	ノーム・ローヌ	空	1×80	11.1	7.43	3.13	35.00	0.61	0.86	126			180			陸
29	222			戰	1	ノーム		1×600	9.80	6.50	2.98	16.00	0.94	1.25	265		12.	618	1.3		陸
32	230	木布	ヂ布	練	2	サルムソン Ab9	空・星	1×250	10.7	6.94	2.73	19.70	0.79	1.15	205			215			陸
32	231	木布	ヂ布	練	2	ロレーヌ 7Me	空・星	1×240	10.7	6.94	2.73	19.70									陸
32	232	木布	ヂ布	練	2	クレルゲー 9c	空・星	1×200	10.7	6.94	2.73	19.70									陸
32	233	木布	ヂ布	練	2	ノームローヌ 5Ba	空・星	1×230	10.7	6.94	2.73	19.70									陸
32	234	木布	ヂ布	練	2	イスパノ・スイザ 9Qa	水・Y	1×250	10.7	6.94	2.73	19.70									陸
32	235	木布	ヂ布	練	2	ノーム・ローヌ 7 Kb	空・星	1×300	10.7	6.94	2.73	19.70									陸
32	236	木布	ヂ布	練	2	デ・ス・シドレー リンクス	空・星	1×215	10.7	6.94	2.73	19.70									陸
32	250	木布	ヂ布	練	2	サルムソン 9Ab	空・星	1×250	13.0	8.48	2.99	27.50	1.08	1.55	189	5.1	212				陸
32	251	木布	ヂ布	練	2	ロレーヌ 7Me	空・星	1×240	13.0	8.48	2.99	27.50									陸
32	330	木布	ヂ布	練	2	サルムソン 9Ab	空・星	1×250	11.3	7.41	2.79	20.80	0.90	1.24							陸
32	331	木布	ヂ布	練	2	ロレーヌ 7Me	空・星	1×240	11.3	7.41	2.79	20.80									陸
32	332	木布	ヂ布	練	2	イスパノ・スイザ 9Qa	水	1×250	11.3	7.41	2.79	20.80									陸
32	229	木ヂ	木ヂ	練	2	イスパノ・スイザ 8—AC	水・Y	1×180	10.7	6.94	2.73	19.70									陸
32	260	ヂ布	ヂ布	ス	2	デ・ハ・ヂプシー3	空・倒	1×120	12.0	7.80	2.00	20.00	0.60	0.93	200		4.0		1.0		陸
32	314	木ヂ	木ヂ	練	2	クレルゲー 9B	空・星	1×130	12.0	8.53	3.73	24.50	0.78	1.02	145			215			水
32	315	木布	木布	練	2	サルムソン 9No	空・星	1×135	12.0	7.57	2.62	21.60	0.67	0.95	171		4.1	256			陸
32	224	ヂ木	鋼布	戰	1	ノーム・ローヌ ジユピター7	空・星	1×480	10.4	7.18	3.02	17.00	1.08	1.45	303		1.1	690			陸
32	225	ヂ木	鋼布	戰	1	ノーム・ローヌ 9kbrs	空・星	1×500	10.6	7.12	3.29	17.20	1.11	1.51	303		1.1	690			陸
33	225C—1	ヂ木	ヂ布	戰	1	ノーム・ローヌ 9kbrs	空・星	1×500	10.6	7.24	3.30	17.20	1.22	1.58	334		9.9	722			陸
33	325	ヂ		戰	1	イスパノ・スイザ 12Xbrs	水・Y	1×600	11.8	8.22	3.70	19.75	1.35	1.79	375		1.2				陸
34	227			戰	1	イスパノ 12Xcrs	水・Y	1×650													陸
35	341	木ヂ	木ヂ	練	2	ルノー 4pdi	空・倒	1×120	10.2	6.77		15.80	0.55	0.86	200		5.5	307			陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	発動機 名称	発動機 型式	発動機 数×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 粁/分	性能 航続力 千粁	機型	備考
35	345			ス	2	ルノー	空・倒	1×140	10.2	6.95	2.47	15.73	0.62	0.92	210			180	0.6		陸
35	325C1			戦	1	イスパノ 12Xbrs	水・Y	1×600	11.8	8.25	2.70	19.75	1.36	1.79							陸
35	275C—1	木布	ヂ布	戦	1	ノーム・ローヌ 9Krse	空・星	1×600	10.6	7.25		17.20	1.38	1.74	360		12.	715	1.2		陸
35	T350			輕	1	ルノー 6pei	空・倒	1×220	8.40	6.40	2.42	19.50	0.85								陸
35	T350			輕	1	サルムソン 6Tes	空・倒	1×220	8.40	6.40	2.42	19.50									陸

ラテコエール La Société Industrielle Dāviation Latécoére (79 Avenue Marceau, Paris.)

25	19			爆	4	ロレーヌ・デイートリチ		2×270	18.0	11.9		54.00	2.00	3.30	178		4.3				
32	28—1	金布		客	8	イスパノ・スイザ 12Hbr	水・Y	1×500	13.5	13.5	3.60	48.60	2.12	4.04	240			368			陸
32	28—3	金布		郵	2	イスパノ・スイザ 12Hbr	水・Y	1×500	13.6	13.6	5.00	58.20	2.68	5.02	219			283			水
32	23—5	金布		郵	2	イスパノ・スイザ	水・Y	1×650	13.6	13.6	5.00	58.20	2.89	5.69	237				5.3		水
32	42R—2	ヂ	ヂ	偵	2	イスパノ・スイザ 12Mb	水・Y	1×650	14.6	8.70	2.90	26.30	1.79	2.57	275		8.0	273	0.9		陸
32	29—0a	布	布	雷	3	イスパノ・スイザ 12Nbr	水・Y	1×650	19.3		6.08	58.40	2.87	4.64	200	101	4.5	278			水
32	29— b	布	布	雷	3	イスパノ・スイザ 12Nbr	水・Y	1×650	19.3		4.85	58.40	2.87	4.65	200	101	4.8	278			水
32	30—0			郵	4	イスパノ・スイザ 12Nbr	水・Y	4×625	44.2	25.8	6.00	306.0	10.6	22.4	202		4.1		3.2		
32	38—0		ヂ	郵	3	イスパノ・スイザ 12Nbr	水・Y	2×650	31.4	16.8	6.04	130.6	5.53	10.6	214		4.2		4.5		
32	38—1		ヂ	偵	5	イスパノ・スイザ 12Nbr	水・Y	2×650	31.4	18.4	6.31	130.0	6.12	9.28	200		4.3	220			
33	35—0	金布		客	12	イスパノ・スイザ	水	3×450	22.4	15.0	3.55	74.80	3.77	5.87	239	114	6.3	260			陸
33	49—0			偵	2	イスパノ		1×650													
33	49—1	ヂ		偵	2	イスパノ・スイザ 12Nb	水	Y 1×650	14.6	10.0	2.90	26.30	1.90	2.39	276		8.1	324	1.0		陸
33	30—1	布	輕	郵	4	イスパノ・スイザ 12Nbr	水・Y	4×650	44.2	25.8	6.00	306.0	10.6	22.4	202		4.1		3.2		
33	50—1	輕	輕	客	12	イスパノ・スイザ 12Jb	水・Y	3×400	23.0	17.4	4.18	80.00	3.72	6.20	244		5.7	245			
35	29—0	布	布	雷		イスパノ・スイザ 12Nbr	水・Y	1×650	19.2	14.7	5.14	58.20									陸
35	29—0	布	布	雷		イスパノ・スイザ 12Nbr	水・Y	1×650	19.3	14.7	6.08	58.20	2.87	4.65	200	100	4.8	255			水
35	550			爆	5																陸
35	294	布	布	雷		ノーム・ローヌ 14krsd	空・星	1×800	19.3	14.5	6.38	58.20	30.7	5.18	215			211			交
35	50—0	輕	輕	郵	4	イスパノ・スイザ	水	3×400	31.4	17.7	4.95	128.0	4.45	9.82	210		4.6		4.8		
35	521		輕	客	80	イスパノ・スイザ 12Ybrs	水・Y	6×890	49.3	31.6	9.07	330.0	17.75	37.0	262		6.3		1.5		

リオレ・オリヴイエ Etablissements Lioré-et-Olivier (66. Rue Boissiére. Paris.)

26	LOH 135			偵	4	イスパノ		2×150	16.0	12.0		58.00	1.70	2.84	150			168			
31	LeO—21	ヂ		客	18	ルノー 12Jc	水・Y	2×450	23.0	16.0	4.38	109.0	3.15	5.70	190		4.4	216			陸
31	LeO—25	ヂ	ヂ	爆	4	イスパノ		2×500													陸
31	LeO—203	ヂ	ヂ	爆	6	ノーム・ローヌ テイタンK-7	空・星	4×365	24.5	14.8	4.64	119.0	3.64	8.10	215		6.2	206			陸
32	LeO—20	ヂ	ヂ布	爆	4	ノーム・ローヌ ジユピター	空・星	2×430	22.2	13.8	4.25	105.0	2.63	5.75	196		5.7	274			陸
32	LeO—30			爆	6	イスパノ・スイザ 12Jb	水・Y	4×650	38.0	24.0	7.50	185.0	8.60	14.0							
32	LeO 30—1			爆	6	イスパノ・スイザ 12Ybrs	水・Y	4×	38.0	24.4	8.30	185.0	7.60	14.8	300		8.0				
32	LeO—206			爆	6	ノーム・ローヌ 7kds		4×280	24.5	14.8	4.64	119.0	3.72	8.10	225		7.5				

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	発動機 名称	発動機 型式	発動機 数×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 粁	性能 航続力 千粁	機型	備考
32	Leo—254			雷爆	4	イスパノ・スイザ 12Mbr	水・Y	2×500	24.8	15.8	5.25	120.0	4.25	7.20	198		5.7	288			水
32	Leo—255			雷爆	4	イスパノ・スイザ 12Xbrs	水・Y	2×500	24.8	15.8	5.25	120.0	4.25	7.20	220		6.8	250			水
32	24	ヂ	ヂ	郵	3	ルノー 12Jb	水・Y	2×500	26.2	18.6	6.30	105.2	4.64	7.42	200		3.6				
32	24—2	ヂ	ヂ	郵	3	ノーム・ローヌ 7kd	空・星	4×300	28.0	18.5	6.10	116.0	4.56	7.42	230		5.8				
32	27			郵	3	イスパノ・スイザ 12Mbr	水・Y	4×600	34.0	21.0	6.50	165.0		16.8	225		3.0		4.0		
32	H—199	木布	木	客	7	ノーム・ローヌ K—7	空・星	2×300	18.0	14.5	4.10	72.40	2.30	3.85	215		5.5	278			
33	Leo OH23-2	木布	木板	偵		イスパノ・スイザ 12Nbr	水・Y	1×650	21.3	13.7	4.54	66.00	2.40	4.00	210		5.0	222	1.1		
33	Leo—256			雷爆	4	イスパノ・スイザ 12Nbr	水・Y	2×650	25.5	17.5	6.80	140.0	4.25	7.20	918		5.5	231			水
33	Leo—257			雷爆	4	イスパノ・スイザ 12Ybrs	水・Y	2×650	25.5	17.5	6.80	140.0	4.65	8.00	225		8.0				水
33	H—23—2	木布	木板	偵	6	イスパノ・スイザ 12Nbr	水・Y	1×650	21,3	13.7	4.54	66.00	2.40	4.00	210		5.0	234	1.1		
33	Leo H 43	ヂ布	ヂ布	偵	3	イスパノ・スイザ 9 Va	空	1×575	16.0	11.0	3.85	36.00	1.76	2.87	225	90	4.5	800	0.8		水
35	Leo—208	ヂ布	ヂ布	重爆	4	ノーム・ローヌ 14kirs	空・星	2×760	24.9	15.0	5.50	90.00	4.49	7.20	300				2.0		陸(引込脚)
35	Leo—259	ヂ布	ヂ布	爆偵	4	イスパノ・スイザ 12Ybrs	水・Y	2×860	25.5	17.3	6.80	133.0	5.25	11.4	259				1.8		水

ルヴアスール P. Levasseur (17/21 Place Félix Faure, Paris.)

31	4R3B	木板	木板	偵	3	ロレーヌ	水・扇	1×450	14.6	9.70	3.91	60.00	1.65	2.55	175		5.0	375	0.8		陸
31	10R3B	木	木	艦偵	3	イスパノ・スイザ 12Lb	水・Y	1×600	14.2	9.57	3.75	60.00		2.80	200						陸
32	P.L.7	木		雷爆	3	イスパノ・スイザ	水・Y	1×600	18.0	11.7	4.90	75.00		3.85	175		4.0	248	0.8		陸
32	P. L. 14		木	雷爆	2	イスパノ・スイザ		1×650	18.0			75.00			170		3.2		0.5		水
33	P. L. 15			雷	3	イスパノ・スイザ 12Lbr	水・Y	1×650	18.0	12.9	5.10	74.50	2.90	4.35	190		4.0	160	1.2		陸
34	P. L. 101	木	木	艦偵	3	イスパノ・スイザ 12Lb	水・Y	1×600	14.2	9.57	3.75	56.85	2.20	3.15	200		5.2	480	0.9		陸
35	P. L. 200	ヂ布		艦偵	3	イスパノ・スイザ 9Vbrs	空・星	1×750	16.0	10.2	3.58			3.50	230						水

レトヴ Letov, Voyénska Tovarna na Letadla, Letnany.

34	S—231			戦	1	ノーム・ローヌ 14kfs	空・星	1×900	10.1	7.80	3.15	21.50			405		1.0	875			陸

ルアール Les Ateliers et Chantiers de la Loire. (4, Rue de Téhéran, Paris.)

26	32	ヂ木	ヂ木	戦	1	ノーム・ローヌ ジュピター	空・星	1×420	12.2	7.55	2.95	25.00	0.96	1.37	270	90	9.7	789			陸
28	34—1	ヂ木	ヂ布	戦	1	イスパノ・スイザ		1×500	12.2	7.55		27.50	1.11	1.66	270						陸
32	48—2			戦	1	イスパノ・スイザ		1×650													陸
32	43			戦	1	イスパノ・スイザ		1×650	12.0	7.90	2.60	20.60	12.4	1.68	360		1.1	650			陸
32	11	ヂ		偵	3	ロレーヌ・アルゴル	空・星	1×300	16.5	10.0	3.25	35.00	1.12	1.92	201	70			0.6		陸
32	50	ヂ布	ヂ布	ヌ	3	サルムソン	空・星	1×230	16.0	10.8	4.45	38.50	1.17	1.77	165		3.8		0.8		
33	45C—1			戦	1	ノーム・ローヌ 14kds	空・星	1×750	11.8	7.50	3.80	19.50		1.79	370		12.	976			陸
84	46C—1			戦	1	ノーム・ローヌ 14kfs	空・星	1×900	11.8	7.70	3.80	19.50	1.42	2.04	400		11.		0.8		陸
34	70		布	爆	6	ノーム・ローヌ 9krd	空・星	3×550	30.0	19.3	5.91	136.0	5.90	11.5	234		6.0		2.4		
35	L—250			追	2	イスパノ・スイザ 79—Ha	空・星	1×1,000	10.8	7.82	3.72	16.00	1.50	2.00	480	105		1,000			陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/分	性能 航續力 千粁	機型	備考
	ロマーノ Chantiers Aeronavals E. Romano. (3, Square Mérimée, Cannes.)																				
27	24	木	木	偵	2	サルムソン		1×230	11.4	8.58	3.20	32.00	1.04	1.44	177	85					水
33	R—5	ヂ鋼	ヂ	偵	5	イスパノ・スイザ 12Nbr	水・Y	1×650	22.6	16.0	4.50	67.50		4.30	217		6.7	240	1.2		
35	R—90	木布	鋼布	戰	1	イスパノ 9Vps	空・星	1×720	8.89	8.64				1.79		84	9.4	720			水
35	R—80	木布	鋼布	練	2	サルムソン 9AB	空・星	1×230	10.5	7.50	2.95	25.25	0.88	1.28	235	75	7.5		0.8		水

ブルガリヤ

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/分	性能 航續力 千粁	機型	備考
	D. A. R. Darjavna Aeroplanna Rabotilnitza (Bojourishte Aerodrome, Sofia.)																				
33	4	木布	木布	客	6	ウオールタ・マーズ	空・星	3×145	14.0	10.9	3.75	44.10	1.33	2.17	195	88	4.5		0.5		陸
33	6	木布	鋼布	練	2	ウオールタ・マーズ	空・星	1×145	9.05	6.85	2.85	19.30	0.45	0.71	149	73	3.5	224	0.7		陸

ベルギー

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/分	性能 航續力 千粁	機型	備考
	S. A. B. C. A Société Anonyme Belge de Constructions Aéronautiques (Haren-Brussels)																				
24	29C—1			戰	1																陸
27	B—19			偵	2	イスパノ・スイザ		1×450	14.8	9.57	3.34	50.00	1.22	2.03	235		7.6	386			陸
28	BH—21	木板	木板	戰	1	イスパノ・スイザ	水	1×300	8.90	6.87	2.74	22.00	0.77	1.08	250	70	8.5				陸
33	L.A.C.AB.T-7			練	2	ロレーヌ・アルゴル	空・星	1×300		6.90	2.82	30.00	1.02	1.45	222	90		286			陸
35	S-20	木板	木板	輕	3	ウオールタ・メヂア	空・倒	1×130	11.0	7.80	2.15	14.00	0.58	0.90	225	80			0.6		陸
	グルデントプス Etablissement Jef Guldentps.																				
34		木		ス	2	ルノー	空・星	1×120							170	78		235			陸
	ザコ Zeebrugge Aéronautical Consructional Co. (216, Avenue de Terveren, Brussels.)																				
27	C—2			戰偵	2	イスパノ・スイザ		1×500	12.5	8.25	3.40	40.56	1.26	2.07	250	60	7.5	480			陸
27	HC—1			戰	1	イスパノ・スイザ		1×600						1.50	280		8.6	330			陸
	スタムプエ・ブエルトンヂエン J. Stampe et m. Vertongen. (Deurne-Sud. Antwerp.)																				
29	RSV22	木布	木布	偵	2	ノーヌ・テイタン	空・星	1×230	9.12	7.85	2.70	22.00	0.72	1.11	220	75	6.0	323			陸
32	26-Lynx	木布	木布	練	2	ア・ス・シドレーリンクス	空・星	1×215	10.3	7.85	2.80	26.00		1.10	175	72					陸
32	3	木布	木布	ス	2	デ・ハ・ヂプシ-3	空・倒	1×120	10.8	7.60	2.85		0.55	0.98	175	72			1.6		陸
32	28—180N	木布	木布	練	2	イスパノ・スイザ	水・Y	1×180				26.00		0.95	160	70					陸
32	32-G-11	木布	木布	ス	2	デ・ハ・ヂプシー	空 倒	1×120	11.2	7.50	2.80	32.00		0.88	150	68		225			陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 粍	性能 航續力 千粁	機型	備考
33	22-Lynx	木布	木布	練	2	ア・ス・シドレー リンクス	空・星	1×215	9.05			23.40		1.04	220	75	6.0	365			陸
33	S.V.7	木布	布	偵	2	ブ・ウイ・ワスプ SF	空・星	1×500	10.5	8.00	3.10	26.70	10.3	1.70	332	105	9.5	453			陸
33	S.V.5	木布	布	練	2	ア・ス・シドレー サーヴアル	空・星	1×355	10.5	7.78	2.90	26.00	0.89	1.34	272	85	7.5	500			陸
35	S.V.10			爆偵	2	ノーム・ローヌ 14krsd	空・星	2×800	18.0			53.00		4.50	350		8.0	471			陸
35	S.V.4-メヂア	木布	木布	旅	2	デ・ハ・ヂプシー メヂア	空・倒	1×130	9.70	7.10	2.60	24.00	0.48	0.75	180	70	5.5				陸
	センユーベル Atelier de Constructions Aeronautiques de st. Hubert. (Saint-Hubert.)																				
32	Orta 2			ス	2	ルノー		1×120					0.16	0.31	150						陸
	テープス E. O. Tips. (Gosselies Aerodrome.)																				
35	テイプシー3	木布	木板	ス	1	ダグラス 600	空・倒	1×	7.01	5.50	1.21	30.40	0.13	0.24	130	65					陸
	フェアリ Société Anonyme Belge "Avions Fairey" S. G. B. A. (Gosselies.)																				
30	Fox	布	布	爆	2	ロ・ロ・ ケストレル	水	1×480													陸
31	フアイアフライ	布	布	戰	1	ロ・ロ・ ケストレル	水・Y	1×480	9.76	7.50	2.64										陸
33	Fox—4M			偵戰	2	イスパノ・スイザ 12Ybrs	水・Y	1×650					1.49	2.18	348	65					陸
35	フアイアフライ4			戰	1	イスパノ・スイザ 12Xbrs	水・Y	1×785					1.12	1.55	353	91	9.0	880	0.6		陸
35	フオツクス 7 カンガルー			戰	2	イスパノ Y		1×860													陸
35	GR 8	木板	鋼板	戰	5	ノーム・ローヌ	空・星	2×820					3.46	5.02	354	105	10	462	0.9		陸
	ルナール Constructions Aéronautiques g. Renard. (34, Avenue Jules Bordet. Evére.)																				
31	3 エバヴイア			戰	1	ロ・ロ・ ケストレル	水・Y	1×480	10.4	7.25	2.80	20.00	0.92	1.42	342		9.8	679			陸
32	R.30	ヂ布		客	7	ルノー	空・星	3×120	15.0	10.0	3.40	34.00	1.25	2.65	195	100	6.1	223	1.4		陸
32	R.17	金布	鋼布	輕	4	ルノー	空・星	1×120	9.80	6.80	2.40	18.00	0.52	0.92	165	72	4.2	247	0.5		陸
32	R.31			偵	2	ロ・ロ・ ケストレル 2S	水・Y	1×480	14.4	9.20	2.90	32.00	1.14	1.94	325	93	1.0	444	1.0		陸
33	R.34	ヂ布	ヂ布	練	2	ルノー	空・星	1×200					0.70	1.10	240	75	6.0				陸
34	R.33	木布	鋼布	練	2	ルノー	空・星	1×120	12.0	6.85		16.50	0.50	0.78	190	65	5.5	275			陸

ポーランド

C. W. L. C. W. L. (Warsaw.)

29	W. Z. 10	木布	木	戰	2	ロレーヌ・ デイートリチ	水・Y	1×450	11.3	8.21	3.07	33.18	1.24	1.91	205		6.3				陸

R. W. D. Doswiadczalne Warsztaty Lotnicze. (Okecie Airport, Warsaw.)

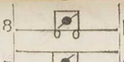
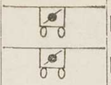
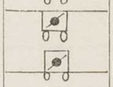
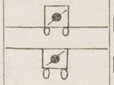
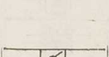
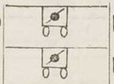
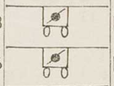
32	R.W.D.4	木板	木板	ス	2	シラス・ハーメス	空・併	1×115	10.5	7.00	2.20	15.00	0.39	0.78	205		5.0	303			陸
32	R.W.D.6	木布	鋼布	ス	2	ア・ス・シドレ ヂエネツトメヂア	空・星	1×140	11.0	6.20			0.47	0.75	220		7.0		0.7		陸
34	R.W.D.8	木	鋼布	練	2	ウオールタ・ ジユニア	空・併	1×110	11.0	8.00	2.30		0.48	0.75	170	75	5.0		0.5		陸
34	R.W.D.9	木布	鋼布	旅	4	スコダ GR760	空・星	1×260	11.6	8.00	2.00	16.00	0.56	1.05	275	55		343	0.7		陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千米	性能 上昇率 粁	性能 航續力 千粁	機型	備考
34	R. W. D. 10	鋼布		練	2	シラス・ハーメス 2B	空・倒	1×120	7.40	6.00	1.90		0.34	0.47	205	95	6.0				陸
35	13	木布	鋼布	輕	3	ウオールタ・メヂア	空・倒	1×130	11.5	7.85	2.05	16.00	0.53	0.89	210	70	4.2	258	0.9		陸

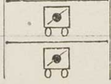
P. W. S. Podlaska Wytwórnia Samolotów S. A. (Biala Podlaska.)

27	1	鋼布		偵	2	ロレーヌ・デイートリチ		1×450	13.1	8.54	3.21	30.50	1.44	1.99							陸
32	12S.P.	木布	鋼布	練	2	スコダ・ライト J5B	空・星	1×220	9.00	6.90	2.85	25.00	0.74	1.05	190	75	4.5	252			陸
32	20	木布	金板	客	8	スコダ・ロレーヌ	水・扇	1×450	17.6	12.7	3.71	52.90	1.85	3.20	200	93	3.8				陸
32	24T	木板	鋼布	客	5	スコダ・ライト	空・星	1×220	15.0	10.5	3.00	31.75	1.19	1.89	190	80	3.5				陸
32	11 S. M.	木板	木布	練	2	I. 5 B. スコダ・ライト	空・星	1×200	9.00	6.65	2.44	15.00	0.66	0.90	210	91	5.4	347			陸
32	10	木板	鋼布	戰	1	スコダ・ロレーヌ	水	1×450	11.0	7.50	2.70	18.00	1.08	1.55	258		6.5	586			陸
32	19	木布	鋼布	偵	2	ホーネツトHT-2	空・星	1×520	14.5	9.05	3.16	29.00	1.34	1.95	255		7.2	299			陸
32	6	木	木布	偵	2	スコダ・ライト	空・星	1×220	9.60	7.00	2.95	25.00	0.78	1.17	190	70	5.8				陸
33	54T	木板	鋼布	客	4—5	スコダ・ライト	空・星	1×220	12.3	9.25	2.50	21.30	0.93	1.53	231		4.5	266			陸

P. Z. L. Panstwowe Zaklady Lotnicze. (Pulawska 2 A. Warsaw.)

30	P—1	ヂ		戰	1	イスパノ・スイヂ	水・Y	1×600	10.9	6.98	3.05	19.50	1.06	1.56	297		8.0	653	0.6		陸
32	P—2	ヂ布		偵	2	ライト・ワールウインド J—5	空・星	1×225	13.4	7.92	2.70	25.80		1.28	183			191			陸
32	4			客		スコダ		3×300						5.60	230						陸
32	P—19	木金	鋼布	ス	2	デ・ハ・ヂプシ 3	空・倒	1×120	10.4	7.20	2.00	16.00	0.47	0.79	225				0.8		陸
32	P—11	ヂ		戰	1	ブリストル・マーキユリ 4A	空・星	1×550	10.9	6.98	3.05	19.50	1.02	1.49	334		10.	722	0.7		陸
32	P—6	ヂ		戰	1	ノーム・ローヌ	空・星	1×450	10.9	6.98	3.05	19.50	0.87	1.34	292	103	9.0	635			陸
32	P—10			偵	2	ライト		1×200	13.5	8.33	2.98	26.00	0.90	1.30	180	65	6.0		0.9		陸
32	P—2	ヂ布	ヂ布	偵	2	ライト・ワールウインド J-5	空・星	1×225	13.4	7.92	2.70	25.80		1.28	183			225			陸
33	P—8	ヂ		戰	1	ロレーヌ・ペトレル	水・Y		10.5	7.56	2.75	18.00	1.10	1.57	350	105	9.0	810			陸
34	26	輕	鋼布	旅	4	メナスコ・パカニア B6S3	空・倒	1×265	10.4	7.50		16.34	0.56	1.01	241	61					陸
34	P—24	ヂ		戰	1	ノーム・ローヌミストラルメヂア	空・星	1×700	10.6	7.40	2.85	18.00	1.12	1.68	405	110	10.	994			陸
35	27	木布	鋼	客	7	ヂプシ・メヂア	空・倒	3×130	13.3	10.7	2.52	25.16	1.47	2.32	265		4.0		0.7		陸

ルブラン E. Plage & T. Laskiewicz. (Lubiin.)

32	R—11	木布	鋼	客郵	5	ライト・ワールウインド J—5	空・星	1×220	15.0	9.80	2.40	30.00	1.03	1.70	215	85	6.0	291	1.0		陸
32	R—14	木布	鋼布	練	2	ライト・ワールウインド J—5	空・星	1×220	13.3	8.00	2.75	24.50	0.80	1.14	198	85	4.5	403			陸
32	R—16	木板	鋼布	客	4	ライト	空・星	1×220	14.7	9.90	3.00	30.00	0.99	1.60	190	80	5.0		0.8		陸
32	R—12	木板	鋼布	ス	3	ア・ス・シドレヂエネツト 5	空・星	1×88	11.5	7.62	2.36	18.54	0.50	0.82	156	73	4.7		0.6		陸
32	R—13	木布	鋼布	偵	2	ライト	空・星	1×220	13.3	8.20	2.76	24.50	0.80	1.29	177		4.1	173	0.8		陸
32	R—13bis	木布	鋼布	偵	2	ライト	空・星	1×220	13.3			24.50	0.91	1.40	175						水
32	R—19	木布	鋼布	偵	2	ライト	空・星	1×220													陸
32	R—14	木布	鋼布	偵	2	ライト・ワールウインド J—5	空・星	1×220	13.3	8.00	2.75	24.50	0.80	1.13	198	85	4.5	500			陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/秒	性能 航續力 千粁	機型	備考

メキシコ

T. N. C. A. Talleres Nacionales De Construcciones Aeronauticas. (Valbuena. Mexico City.)

24	4E—131			偵	2	B. M. W.	水・併	1×185	15.3	8.22		33.00	1.13	1.75	200	75	6.5				陸
29	アゾカラーテ E	木布	木板	練	2	ライト・ワールウインド J—6	空・星	1×150	10.5	6.80	2.57	23.54	0.66	0.96	165	65	4.0	243			陸
29	D—E—1	木布	木板	偵爆	2	B. M. W.	水・併	1×185	15.5	9.60	4.30	43.00	1.04	1.70	160		6.7	210			陸
30	Cossair			偵	2																陸

日本

愛知 愛知時計電氣株式會社（15，千歲船方町，名古屋.）

32	AB—3	鋼布		戰	1	神風	空・星	1×130	9.00	6.68	3.25	19.50	0.58	0.79	195	65	4.3	150			水
34	海軍型—92					ロレーヌ		1×500—600	14.8	10.0	3.60			3.00							陸

石川島 石川島航空機製作所（丸ノ內 1，6 麹町區，東京.）

32	R—3	木金	鋼布	ス	2	シラス MK2	空・倒	1×95	9.80	7.52	2.90	24.50	0.45	0.68	145	65	4.8	176			陸
32	T—3	ヂ布	鋼布	偵	2	B. M. W.		1×600	14.0	10.5	3.70	49.10	1.38	2.79	232	90	7.1	333			陸
34	R—5	木布	鋼布	練	2	シラス・ハーメス	空・倒	1×130	9.55	7.10		19.00	0.52	0.76	190	75	4.9	231			陸
35		木布	木布	患輸	4	シラス・ハーメス 4	空・倒	1×130	10.0	7.90	2.38	22.00	0.50	0.98	160			143			陸

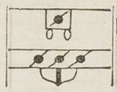
小栗

22				偵	2	イスパノ		1×180	8.70	7.00		30.00	0.76	0.95	160						陸

川崎 川崎造船所（東川崎町，兵庫縣）

25	DO.C			偵	2	ナピア		1×450	19.6	12.5		62.00	2.00	3.60	185	4.6					陸
26	87Do.N.			爆	4	川崎		2×600	26.8	18.0		121.0	4.30	6.50	180		5.0				陸
32	92			戰	1	川崎 B. M. W	水・Y	1×450	9.50	7.20	3.20			1.70	330			555			陸
32	88			偵	2	川崎 B. M. W	水・Y	1×450	15.2	11.3	3.38	48.00	1.76	2.80	220		5.0	150			陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千粁	重量 全備 千粁	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 粁	性能 航續力 千粁	機型	備考
32	88	布	布	爆	2	川崎 B. M. W.	水・Y	1×450	15.2	11.3	3.38		1.90	3.10							陸
33	K.D.C 2	金		客	7	川崎 B. M. W.	水・Y	1×450	14.3	11.2	3.39	48.00		3.12	180						交
34	A—6	木		郵	2	川崎 B. M W. 8	水・Y	1×600	12.4	9.26	3.05	34.50	1.56	2.73	295		6.5		2.0		陸
34	C—5	金		郵	3	川崎 B. M. W.	水・Y	1×800	13.4	9.25	3.95	30.00	1.62	2.72	335		7.0		2.0		陸
34	93			爆	2	川崎 B. M. W.	水・Y	2×	27.0	15.0		91.00		8.10	220		5.0	214			陸
34	93			爆偵	2	川崎 B. M. W.	水・Y	1×600							260						陸
	川西 川西航空機株式會社（鳴尾，武庫郡，兵庫縣）																				
32				偵	3	中島ジユピター	空・星	1×450	10.5	10.5	3.10										水
33	報國			偵	2	ブリストル		1×450	14.5	10.5	4.10										水
	東京瓦斯電 東京瓦斯電氣株式會社（大森，東京.）																				
34	千鳥號	木布	木板	旅	3	神風 3	空・星	1×150	9.20	7.88	2.75	22.00	0.55	0.98	197	84	5.5	342	0.7		交
35	千鳥號 K.R-2	木布	鋼布	旅	4	神風 3	空・星	1×150	9.20	7.71	2.70	17.68	0.57	0.98	215	85	4.5	356			交
	中島 中島航空機製作所（太田，群馬縣.）																				
24	B—19			偵	2	イスパノ・スイザ		1×450	14.8	9.57	3.34	50.00	1.22	2.03	235		7.6	386			陸
24	W—29			偵	2																水
24	F—60			爆	4																陸
32				監	2	イスパノ		1×300	13.5	9.56	3.58	44.00	1.42	2.01	172	95			3.0		陸（山林監視機）
32	ユニバーサル			客	8	フオツカー・ユニバーサル		1×	15.3	11.3	2.75	35.95	1.58	3.49	229			120			陸
32	シユーバー・ユニバーサル	木	金	旅	8	ジユピター 6型 A. L.		1×420	15.4	11.3	2.72	36.00	1.58	2.50	215	90	5.5	525	1.0		交
32	90			戰	1	中島ジユピター	空・星	1×450							310	80		761			陸
32	91	布		戰	1	中島ジユピター	空・星	1×450	11.0	7.30	3.10	20.00		1.50	300			500			陸
33	90—11	木布	鋼布	偵	2	中島ジユピター	空・星	1×450	12.0	9.00											水
34	P—1	木布	鋼布	郵	1	ジユピター	空・星	1×420	11.0	7.66	3.10	29.57	1.29	2.06	237	95		546	2.0		陸
34	90—1			旅	3	ジユピター 6		1×420	12.0	9.01	3.80	35.80	1.29	1.95	220	88	5.8	125	3.0		水
	三菱 三菱重工業株式會社（2,4.丸ノ內,麹町區,東京.）																				
23	Nr 2			偵	2	イスパノ		1×300													陸
24	A 2			偵	2																陸
24				偵	2	三菱		1×300													水
24	Ro.2			偵	4			2×													陸
25	Ro.3			爆	4			2×													陸
32				客	6	三菱		1×300													陸
32				雷	2	三菱		1×450													陸
32				雷	2	三菱		1×300													陸
33	92			偵	2	三菱 ジヤガ	空・星	1×42	12.7	8.50	3.00		1.80	2.50	220		6.0	250			陸
33	90式 1				6	イスパノ・スイザ		3×660	30.0	21.0				12.0	220						
35	93			爆		ブリストル・ジユピター	空・星	2×	20.0	13.0		56.00		4.60	250		8.0	300			陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千粁	性能 上昇率 米/分	性能 航續力 千粁	機型	備考
25		木布	鋼布	患輸	5	ジユピター	空・星	1×450	16.4	11.0				2.50	190						陸
32	90 式 2				6	ロールス・ロイス		3×800	30.0	20.0				13.0							

ノールウエー

M. F. F. The Navy Aircraft Factory. (Horten.)

22	C 13			偵	2																
32	M. F. 10	木布	鋼布	練	2	ア・ス・シドレチーター	空・星	1×260													水
32	M. F. 9	木布	鋼	戰	1	イスパノ・スイザ	水	1×300	10.5	7.77	3.12	28.00	8.60	1.23							水
32	W. 33	木布	木	偵	2	メルチエデス	水	1×260	15.6	11.0	3.30	43.50	1.43	20.5	167	90	4.4	250			水
32	M. F. 11			偵	3	ア・ス・シドレパンサ	空・星	1×535													水

ラトビヤ

Zuckurs, H., Riga.

33	u—12			練	2	BFWU 12 b		1×													陸

Brackmann Co., Riga.

33	C—3			ス	2	ルノー		1×80	10.9	6.94		16.00			140	95					陸

リトアニヤ

グスタイテイス Gustaitis, Kowno 又ハ The Lithuanian Army, Aircraft Factory.(Kovno.)

29	アンボ 2			ス	2	ウオールタ		1×60	10.7	6.80	2.57	23.54	0.66	0.96	165	65	4.0				陸
32	4	木布	鋼	偵	2	ブ・ウイ・ワスプ	空・星	1×450	13.2	8.40		29.00	1.28	1.98							陸
33	Anbo 6			練	2	カーチス・チヤリンヂヤ	空・星	1×185	10.6	7.25		18.30	0.72	1.07	205	80		402			陸
35	4			偵	2	ブリストル・ペガサス L2	空・星	1×600	13.2	8.80		29.00	1.45	2.20	302	92		417			陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速粁	性能 最小速粁	性能 上昇限千米	性能 上昇率 千米	性能 航續力 千粁	備考 機型
ル ー マ ニ ヤ																				
I. A. R. Societate Anonima Industria Aeronautica Romana. (Str. Anastasie Simu 6, Bucharest.)																				
32	I.A.R. 21	木布	木デ	練	2	ロレーヌ	空・星	1×130	12.0	7.08	2.50	20.45	0.58	0.85	190	74	5.5	260	0.4	陸
32	I.A.R. 22	木布	木デ	ス	2	ロレーヌ	空・星	1×130	11.0	7.08	2.30	18.15	0.58	0.85	200	78	5.0		0.6	陸
32	I.A.R. 12	デ布	デ布	戰	1	イスパノ・スイザ 12MC	水・Y	1×500	11.7	7.20	2.70	19.80	1.09	1.55	330		9.3	720		陸
33	I.A.R. 13			戰	1	イスパノ		1×500	11.7	7.34	2.50	19.80		1.53	329	110	9.3	730		陸
34	23	木板	デ布	客	2	イスパノ・スイザ 9Qa	空・星	1×340	12.0	8.40		22.30	1.10	1.07	265	105	4.1	309	2.5	陸
34	I.A.R. 14	デ布	デ布	戰	1	ロレーヌ 12Eb	水・陽	1×450	11.7	7.37	2.60	20.30	1.26	1.55	294	110	7.9	593	0.5	陸
34	I.A.R. 15	デ布	鋼布	戰	1	ノーム・ローヌ 9krsd	空・星	1×500	11.0	7.76	2.70	19.00	1.22	1.65	345	107	10.8	20		陸
34	I.A.R. 16	デ布	デ布	戰	1	ブリストル・マーキュリ 4S	空・星	1×		11.7	7.37	2.60	20.30	1.22	1.65	342	110	12.8	06	陸
35	I.A.R. 24	木板	木布	練	2	デ・ハ・ヂアシン・メヂア	空・倒	1×130	11.5	7.52		20.80	0.65	0.88	193	74	6.0	200		陸
35	I.A.R. 24	木板	木布	輕	2	I.A.R. ノーム・ローヌ 7kd	空・星	1×395	12.0	8.40		22.30	1.10	1.95	280	105	4.5		2.3	陸
I. C. A. R. Intreprindere Pentru Construcții Aeronautice Romane. (Bucharest, 6.)																				
35		木布	鋼布	客	8	ア・ス・シドレ・サーヴァル	空・星	1×360	15.4	9.80	2.80	30.50	0.93	2.25	250	88	5.0	298	0.7	陸
S. E. T. Fabrica de Avioane S. F. T. (Str. Popa Lazar 13-15, Bucharest.)																				
26	2			偵	2	ロレーヌ		1×450	13.4			46.20	1.16	1.97	213	83		333		陸
26	R. A. S. 1			偵	3	ピュロ		1×220												陸
32	7			練	2	ア・ス・シドレー ジャガ		1×365	9.80	7.30	3.15	26.60	0.91	1.31	240			543		陸
32	10			練	2	ウオールタース・マーズ	空・星	1×120	9.46	7.00	2.85	22.00	0.59	0.84	180	70		270	0.3	陸
32	S.E.T. 10			戰	1	ア・ス・シドレ ジャガ	空・星	1×365	8.70	7.30	3.10	18.50	0.89	1.18	260			512	0.5	陸
32	44			偵	2	ロレーヌ・ミザ	空・星	1×240	9.80	7.20	3.15	26.60	0.82	1.12	205			232		陸
32	31			練	2	サルムソン 9Ab	空・星	1×230	9.80	7.20	3.15	26.60	0.82	1.12	205			500		陸
33	41			練	2	サルムソン 9Ab	空・星	1×230	9.80	7.20	3.15	26.60	0.87	1.17	206	81		222		陸
34	S.E.T. 15	鋼	鋼	戰	1	ノーム・ローヌ 9krsd	空・星	1×500	9.40		3.00	18.65		1.50	350	113	9.4	875		陸

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速粁	性能 最小速粁	性能 上昇限千米	性能 上昇率 千米	性能 航續力 千粁	備考 機型
ロ シ ヤ																				
A. N. T. The General Aero Hydrodynamics Institute. (Vosnessenskaya 17, Moscaw.)																				
32	**9**	金	ア	客	12	ノーム・ローヌ デイタン	空・星	3×230	23.7	17.0	4.86	84.00	3.35	5.04	209	120	3.8	186	0.9	
32	14	ア		客	38	ジュピタ 9AKK	空・星	5×480	40.4	26.5	5.40	240.0	10.7	17.3	220	75	4.0			
32	3	ア	ア	偵郵	2	リバテイー M5	V	1×450	13.0	9.50	3.90	38.00	13.5	2.10	210	90	5.0	200		
32	S. H. 2	デ布	木布		3	M. 11	空・星	1×100	13.0	8.20		24.70	0.65	0.94	136	103		93	1.0	
35	25	金				M34	水	1×950	34.0					11.0					13.0	

建造年月 1900	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	發動機 數×馬力	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	翼面積 平方米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性龍 最大速 米	性龍 最小速 米	性龍 上昇限 千粁	性龍 上昇率 米/分	性龍 航續力 千粁	機型	備考
	オソアヴイアヒム Osoaviachim. (Moscow.)																				
32	A. I. R. 4	木	鋼板	ス	2	ウオールタ	空・星	1×60	11.0	7.05	2.30	16.50	0.39	0.63	150	66	4.0	225			陸
33	A. I. R. 5	木布	鋼ヂ	旅	4	ライト・ワールウインド J—4B	空・星	1×200	12.8	8.00	2.46	23.00	0.81	13.9	190	75	4.5	270			陸
33	A. I. R. 6	木布	鋼布	旅	3	M. 11.	空・星	1×100	11.9	7.80	2.26	19.00	0.58	0.97	170	60	4.5				陸
33	A. I. R. 7	木鋼	ヂ布	輕	2	M. 22.	空・星	1×	11.0	7.60		17.50	1.00	1.40							陸
	カリーニン Plant C. H. (Kharkov.)																				
28	K—4	布ア	布ア	患輸	4	イスパノ・スイザ M 6	水	1×300	16.7	11.4	3.80	40.00	1.40	2.36	185	75		143			陸
31	K—9	鋼	木布	ス	2	ウオールタ	空・星	1×60													陸
32	K—5	木布	鋼布	客	10	M—15	空・星	1×450	20.5	15.7		56.25		3.50	198	90	4.5	206			陸
32	K—6	鋼	木鋼	郵	2	ノーム・ローヌ ジユピタ	空・星	1×420													陸
	スタル The Scientific Research Institute of the Civil Air Fleet.																				
32	2	鋼布		客	6	M—26	空	1×300	15.2	9.75	2.97	31.00	1.03	1.81	205		5.2	263	0.8		陸
34	1—2bis	木		戰	1	M—17	水・Y	1×650													陸
34	1—3	木	木	戰	1	M—17	水・Y	1×650													
34	1—4	ア	ア	戰	1	M—22	空・星	1×580													
34	1—6	板		戰	1	M—15	空・星	1×625													陸
34	D1—2	木		戰	2	M—17	水・Y	1×650													陸
34	D1—3	鋼布		戰	2	M—17	水・Y	1×650													陸

ユーゴースラビヤ

	イカールス Icarus A. D. (Novi Sad & Zemun.)																				
26	1 M			偵	2	リバテイ		1×400	15.2	10.4		42.00	1.50	2.25	200	90	6.5				水
26	10 M			偵	2	リバテイ		1×375	15.2	10.4		47.50	1.60	2.45	170	75	4.5				水
26	25	木布	木布	長偵	2	ロレーヌ 12E—b		1×450	14.1	9.10	3.62	47.00	1.33	1.96	219	81	7.0	300			陸
33	BH 33			戰	1		空・星														陸
	Z. M. A. J. Fabrika Aeroplana Hidroplana "Zmaj" (Zenwn)																				
32	B—3			戰	1																陸
32	D—27	ヂ布	ヂ	戰	1	イスパノ・スイザ 12Mb	水・Y	1×500	10.3	6.50	2.90	17.50	0.99	1.33	310	86	9.7	698			陸
32	A—32			偵	2																陸
32	H—41			偵	2																陸
32				偵	2	ライト・ワールウインド		1×200													陸

建造年月 1100	型式	主材 翼	主材 胴	用途	座席	發動機 名稱	發動機 型式	寸法 翼面積 平方米	寸法 全幅 米	寸法 全長 米	寸法 全高 米	重量 自重 千瓩	重量 全備 千瓩	性能 最大速 粁	性能 最小速 粁	性能 上昇限 千米	性能 上昇率 分	性能 航續力 粁	機型	備考
26	FIZIER			偵	2	ウオールタ	1×260	12.6	8.33		35.00	11.0	1.58	190	68	6.0	273		陸	
Rogojarsky Prva Srpska Fabrika Aeroplana Zivojin Rogojarsky. (Knez Danilova, 29, Belgrade.)																				
32		木板		偵	2	ウオールタ・カースタ	空・星 1×240	10.6	7.55	3.05	27.00		1.46	215	90	6.0	195		陸	
35	P.V.T.	木布	木	練	2	ノーム・ローヌ7K	空・星 1×420	11.2	6.95	2.81	22.10	0.95	1.31	249	95	7.0	546		陸	
35	R.W.D. 8	木布	鋼布	輕	2	ウオールタ NZ120	空・星 1×120	11.0	8.00	2.30	20.00	0.50	0.81	175	70	5.0	250	0.5	陸	

滿洲航空株式會社

創立 昭和七年九月二十六日

資本金 滿洲國幣參百八拾五萬圓

本社 滿洲國奉天商埠地五經路九緯路第三號

支店及管區（支所、出張所）**並航空工廠**

東京支店 麹町區內幸町一ノ三 大阪ビル新館內

奉天管區 奉天東塔飛行場

奉天飛行場事務所 奉天東塔飛行場

桓仁出張所 桓仁飛行場

通化出張所 通化飛行場

錦州支所 錦州飛行場

朝陽出張所 朝陽飛行場

赤峰出張所 赤峰飛行場

山海關出張所 山海關飛行場

林西出張所 林西飛行場

承德支所 承德火神廟町

大連支所 大連市外周水子飛行場

新義州支所 新義州飛行場（朝鮮平安北道）

新京管區 新京飛行場

新京飛行場事務所 新京飛行場

延吉支所 延吉飛行場

琿春出張所 琿春飛行場

清津支所 清津飛行場（朝鮮咸鏡北道）

吉林出張所 吉林出張所

鄭家屯出張所 鄭家屯飛行場

通遼出張所 通遼飛行場

開魯出張所 開魯飛行場

哈爾賓管區 哈爾賓飛行場

哈爾賓飛行場事務所 哈爾賓飛行場

齊々哈爾支所 齊々哈爾飛行場

滿洲里出張所 滿洲里飛行場

海拉爾出張所 海拉爾飛行場

嫩江出張所 嫩江飛行場

北安鎭出張所 北安鎭飛行場

大黑河支所 大黑河飛行場

佳木斯支所 佳木斯飛行場

富錦出張所 富錦飛行場

依蘭出張所 依蘭飛行場

牡丹江支所 牡丹江飛行場

勃利出張所 勃利飛行場

穆稜站出張所 穆稜站飛行場

東寧出張所 東寧飛行場

綏芬河出張所 綏芬河飛行場

八面通出張所 八面通飛行場

航空工廠 奉天城外東塔

沿革 昭和七年三月、滿洲國建國せらるゝに當り、滿洲國政府は滿洲國に於ける航空交通政策の根本を樹立せむが爲め、關東軍指導の下に日滿合辨の滿洲國法人たる航空會社設立に着手し、滿洲國、滿鐵及住友合資會社の出資と滿洲國及滿鐵との補助金とに依り、昭和七年九月二十六日滿洲航空株式會社を設立し、同年十一月三日より營業開始、現在左記航空線路上の營業に從事しつゝあり。尙本會社は關東軍の指令に基く（管理官廳の指令に基く軍用）定期航空及臨時航空をも實施しつゝあり。

目的 航空機を以てする滿洲國內及滿洲國と隣接國間に於ける旅客貨物及郵便物の輸送航空機の製造及修理、以上の外、管理官廳の命令又は認可の下に次の諸事業を爲し得。

航空機の賃貸事業及び其他航空機を以てする一切の事業並に航空事業の便益の爲にする左記附帶事業。

（イ）滿洲國に於ける航空事業の發達を促進するため有効なる事業。

（ロ）航空事業の普及並に之に關聯する事業。併せて敍上の目的のためにする投資事業。

役員

取締役社長	榮	源
同 副社長	兒玉常雄	
第一常務取締役	後藤廣三	
第二常務取締役	岩崎安美	
取締役	石本憲治	
同	川田順	
同	楊文緒	
同	根橋禎二	
同	安邊浩	
同	監査役 山本信夫	
同	大澤愼一	
同	周培炳	

職員

總務部長	武宮豐治
運航部長	永淵三郎
經理部長	中富貫之
寫眞班長	柴田秀雄
（東京支店長兼）航空工廠總務部長	安邊浩
同 技術部長	佐野武夫
同發動機部長（兼）	佐野武夫
同	岩崎安美
同 社用工場長	柴入春吉
奉天管區長	河井田義匡
新京管區長	德留清一
哈爾賓管區長心得	金谷準

航空線路

線路區間	距離（粁）	航空回數	備考
大連―奉天	三五五	每週七往復	定期航空
奉天―新京	二七五	每週十四往復	
新京―哈爾賓	二三五	每週十四往復	
哈爾賓―齊々哈爾	二七五	每週七往復	
齊々哈爾―海拉爾	四〇〇	每週二往復	
海拉爾―滿洲里	一七五	同 右	
奉天―新義州線	二一〇	每週七往復	定期航空
奉天―山海關線	二三〇	每週七往復	定期航空
	一七〇	每週七往復	定期航空
錦州―承德線	錦州―朝陽	八五	每週七往復	定期航空
	朝陽―承德	二三〇	同 右	
新京―羅南線	新京―吉林	一〇〇	每週二往復	定期航空
	吉林―延吉	二七五	同 右	
	延吉―琿春	七五	同 右	
	琿春―清津	一五〇	同 右	
哈爾賓―依蘭	二五〇	每週七往復	定期航空
哈爾賓―富錦線	依蘭―佳木斯	七五	同 右	
	佳木斯―富錦	一四〇	同 右	
哈爾賓―北安鎭	二八〇	每週二往復	定期航空
哈爾賓―大黑河線	北安鎭―大黑河	二三〇	同 右	
哈爾賓―牡丹江	二八〇	每週二回	（軍用）定期航空
哈爾賓―密山線	牡丹江―穆稜站	五〇	同 右	
	穆稜站―東寧	一〇〇	同 右	
	東寧―綏芬河	四五	同 右	
	綏芬河―八面通	七五	同 右	
	八面通―半截河	一〇〇	同 右	
	半截河―密山	四〇	同 右	
	密山―虎林	一五〇	同 右	
	虎林―饒河	一〇〇	同 右	
	饒河―同江	一四五	同 右	
	同江―富錦	六〇	同 右	
奉天―通化線	奉天―桓仁	一七〇	每週一往復	（軍用）定期航空
	桓仁―通化	七〇	同 右	
齊々哈爾―大黑河線	齊々哈爾―嫩江	二三〇	每週一往復	定期航空
	嫩江―大黑河	二一〇	同 右	
新京―牡丹江線	新京―牡丹江	三五〇	每週二往復	定期航空
奉天―通化線	奉天―桓仁	一七〇	每週一往復	定期航空
	桓仁―通化	七〇	同 右	
牡丹江―佳木斯線	牡丹江―勃利	一六五	每週二往復	定期航空
	勃利―佳木斯	一一〇	同 右	
新京―錦州線	新京―鄭家屯	一五五	每週一往復	定期航空
	鄭家屯―通遼	一〇〇	同 右	
	通遼―開魯	八五	同 右	
	開魯―林西	二五五	同 右	
	林西―赤峰	一五五	同 右	
	赤峰―錦州	一五〇	同 右	

旅客運賃並區間表

新京—羅南

新京	10圓	37圓	44圓	49圓
100粁	吉林	27	34	39
375粁	275	延吉	7	12
450粁	350	75	琿春	12
600粁	500	225	150	清津

奉天—承德

奉天	15圓	24圓	47圓
230粁	錦州	9	32
315粁	85	朝陽	23
545粁	315	230	承德

錦州—山海關

錦州	11圓
170粁	山海關

奉天—通化

奉天	17圓	24圓
170粁	桓仁	7
240粁	70圓	通化

新京—牡丹江

新京	42圓
350粁	牡丹江

新京—錦州

新京	16圓	26圓	36圓	67圓	85圓	100圓	109圓
155粁	鄭家屯	10圓	20	51	69	84	93
255粁	100	通遼	10	41	59	74	83
340粁	185	85	開魯	31	49	64	73
595粁	440	340	255	林西	18	33	42
750粁	595	495	410	155	赤峰	15	24
900粁	745	645	560	305	150	朝陽	9
985粁	830	730	645	390	235	85	錦州

齊々哈爾—富錦

哈爾賓	35圓	46圓	66圓
250粁	依蘭	11	31
325粁	75	佳木斯	20
465粁	215	140	富錦

牡丹江—佳木斯

牡丹江	23圓	38圓
165粁	勃利	15
275粁	110	佳木斯

哈爾賓—大黒河

哈爾賓	28圓	56圓
280粁	北安鎭	28
510粁	230	大黒河

齊々哈爾—大黒河

齊々哈爾	23圓	48圓
230粁	嫩江	25
440粁	210	大黒河

哈爾賓—富錦間（密山廻り）

矢印ノ方向ニ計算ス

	哈爾賓	牡丹江	穆稜站	東寧	綏芬河	八面通	牛蔵河	密山	虎林	饒河	同江	富錦	同江	鶴河	虎林	密山	牛蔵河	八面通	穆稜站	牡丹江	哈爾賓
哈爾賓		47圓	55圓	72圓	81圓	94圓	111圓	118圓	144圓	161圓	180圓	193圓									
牡丹江	8																				
穆稜站	17	25																			
東寧	8	33	25																		
綏芬河	8	33	25																		
八面通	14	47	39	22	22																
牛蔵河	17	64	56	39	39																
密山	31	71	63	46	46																
虎林	17	97	89	72	72																
饒河	33	114	106	89	89																
同江	25	139	131	114	114																
富錦	35	149	141	124	124																
同江	10																				
鶴河	25																				
虎林	35																				
密山	17																				
牛蔵河	28																				
八面通	7																				
穆稜站	17																				
牡丹江	8																				
哈爾賓	47	55	72	81	94	111	118	144	161	180	193										

本邦民間飛行機數

（昭和十一年七月末）

本邦民間航空機乘員數

（昭和十一年七月末）

本邦民間飛行機種

（昭和十一年五月）

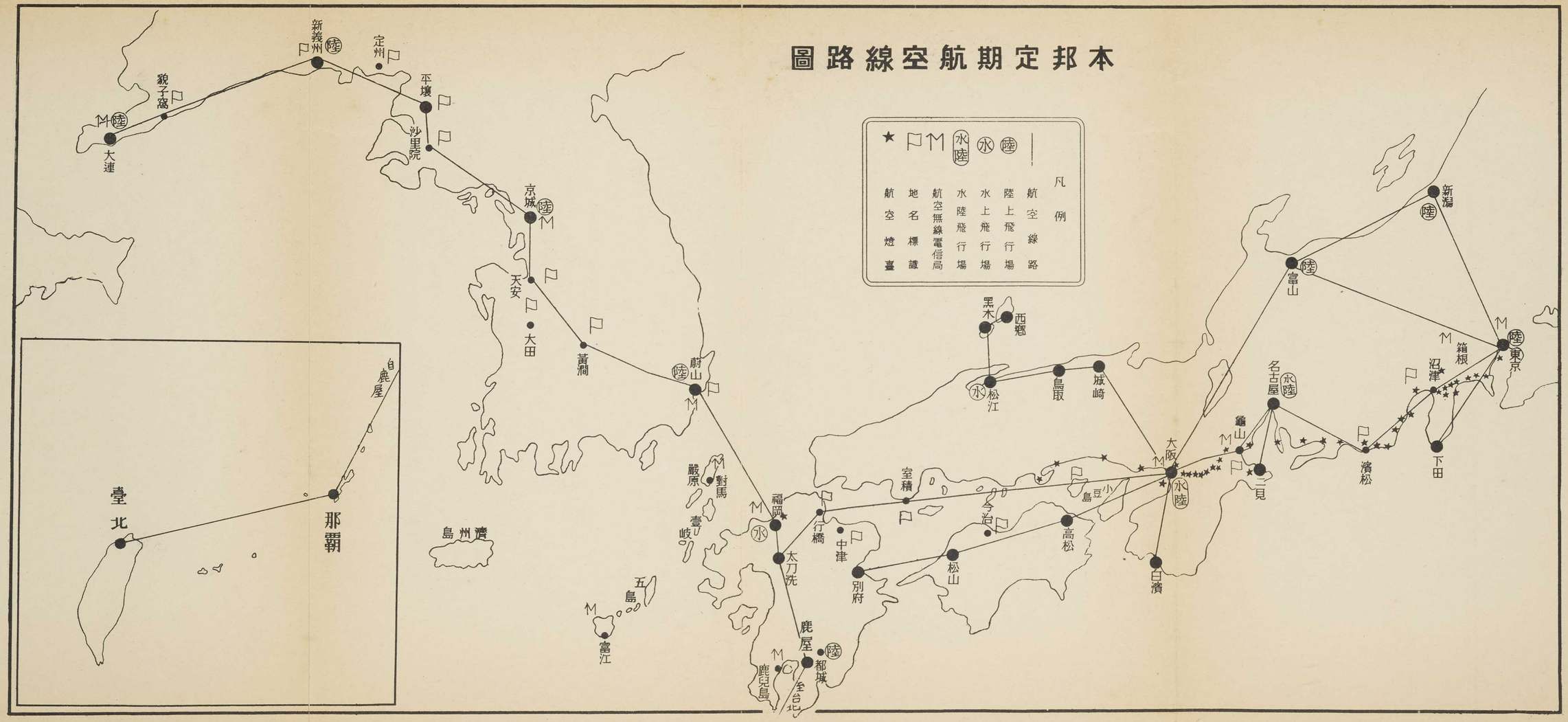
型式	發動機	性能 全備重量	性能 搭載量	性能 航續時間	性能 時速	摘要
ニユーポール式二四型	ル・ローン 一二〇又ハ八〇 馬力	六二五瓩	一〇五瓩	一時三〇分	一六〇粁	陸・複・單座・練
ニユーポール式八一型	ル・ローン 八	七六〇	二七〇	一、〇〇	一三〇	同・複・二座・練
ニユーポール式二九型	イスパノ・スヰザ 三	一、一五〇	三三五	二、〇〇 最大	二一〇	同・複・單座・練
アンリオ式二八型	ル・ローン 八	八〇〇	二三五	三、〇〇	一〇〇	同・複・二座・練
アヴロ式五〇四K型	ル・ローン 一	八三〇	一七三	三、〇〇	一四四	同右
アヴロ式五〇四L型	B・R一型 一	九一〇	二七四	二、〇〇	一三〇	水・複・二座・練
サルムソン式二A二型	サルムソン 一二	一、四五二	五四六	三、〇〇	一八〇	陸・複・二座・一般
ドルニエ式コメツト型	B・M・W 四	三、〇九五	一、〇三一	六、三〇	一八五	同・單・四座・新
川崎式DC二型	B・M・W 四	二、九七二	一、三五	七、〇〇	二一〇	水陸交・複・六座・新
川崎式A六型	B・M・W 六	二、七五五	一、三七	七、〇〇 最大	三〇〇	陸・複・二座・新
中島式三座型	イスパノ・スヰザ 三	一、〇〇七	三四三	四、三〇	一六三	水・複・三座・輸
中島式P一型	ジユピター六型 四	二、〇〇〇	七二〇	五、〇〇	三三五	陸・複・單座・輸

中島式N一型	壽二型	五五〇	一、一七七	三二七	五、〇〇	三五〇	陸・單・單座・新
愛知式AB一型	ロレーン	四五〇	(三、二七〇) 三、一四〇	(一、二四〇) 一、四三〇	六、〇〇	一八〇	水・複・四座・輸
愛知式AB四型	浦風式	三二〇	二、四〇〇	六六八	一〇、〇〇	九〇	艇・複・七座・輸
三菱式RT三A二型	イスパノ・スヰザ	三〇〇	一、四五五	九一五	三、三〇	一九〇	陸・複・新
三菱式T・一・二型改造	イスパノ・スヰザ	四五〇	二、八〇〇	一、一八〇	五、〇〇	二〇五	同・複・三座・新
三菱式T・一・二型	ネピア・ライオン	四五〇	二、六六〇	一、一九五	二、四〇	二〇〇	同・複・四座・新
三菱式C一型	ジヤガー	三八五	二、七〇五	一、六四五	六、〇〇	一八〇	水・複・七座・輸
三菱式三ME六型	イスパノ・スヰザ	四五〇	二、九〇〇	一、七三五	一一、〇〇	二〇〇	陸・複・三座・新
NH式一型	ポアンサール	二五	二三〇	一〇〇	三、〇〇	一〇〇	同・單座
ハンザ式單葉水上機	イスパノ・スヰザ	二〇〇	一、五二六	四五四	四、〇〇	一六三	水・單・二座・輸
デ・ハヴイランド式プス・モス型	ジプシー	一〇五	九三〇	三八〇	七、〇〇	二〇四	陸・單・三座・新
ユンカース式F一三型	ユンカース	二八〇	二、一〇〇	八五二	六、〇〇	一八五	水陸交替機
ユンカース式W三三型	ユンカース	二八〇	二、五〇〇	一、三〇〇	—	一九七	陸・單・四座・輸
ユンカース式A五〇型	ジエネット	八〇	六三五	二六一	四、〇〇	一六〇	同・單・二座・新
フォッカー式スーパー・ユニバーサル型	ジユピター	四二〇	二、四二五	九三〇	四、三〇	二三〇	同・單・八座・輸
フォッカー式スーパー・ユニバーサル型	ジユピター	四二〇	二、五七五	九三〇	四、三〇	一七五	水・單・八座・輸
フオツカー式F七B型	ライト・ホワール・ウインド	二〇〇 (三基)	四、〇七六	一、五〇〇	六、〇〇	一八五	陸・單・一〇座・輸
フオツカー式F七B型	ライト・ホワール・ウインド	二二五 (三基)	四、〇七六	一、六七六	六、〇〇	一六〇	同右
フオツカー式CV型	ネピア・ライオン	四五〇	二、六一七	一、〇八八	一〇、〇〇	一六五	同・複・二座・新
一三式水上機	ベンツ	一三〇	一、〇五五	二六九	三、〇〇	一三〇	水・複・二座・練

一四式改造型	ロレーン	四〇〇	二、六〇〇	九二〇	九、〇〇	一七五	水・複・五座・輸
一五式改造型	イスパノ・スヰザ	三〇〇	一、九五〇	五四〇	四、三〇	一七八	同・複・四座・輸
一三式陸上機	モングース	一三〇	八五〇	二五〇	二、三〇	一〇〇	陸・複・二座・練
石川島式R二型	シーラス・ハーメス二型	七五	六三〇	二〇〇	三、〇〇	一三〇	同右
石川島式R三型	シーラス・ハーメス三型	一〇五	六九〇	二二五	三、〇〇	一六〇	同右
石川島式R五型	シーラス・ハーメス四型	一二五	七八三	二四五	三、三〇	一八二	同右
石川島式T三型	B・M・W	五〇〇	二、七九〇	一、四一〇	七、〇〇	二三二	同右
瓦斯電式KR一型	神風三型	一五〇	一、〇〇〇	三八八	三、二〇	一七〇	水・複・四座・輸
瓦斯電式KR二型	神風三型	一五〇	九八〇	四三〇	四、〇〇	一九〇	陸・複・四座・輸
パーシヴアル式ガル型	ネピア・ジヤブリン	一五五	一、〇二〇	三六〇	五、〇〇 最大	二六五	同・單・三座・新
フエアチヤイルド式二二型	メナスコ	一二五	七九〇	三〇四	四、〇〇	一八八	同・單・二座・新
フオツクス・モス	ジプシー三型	一〇五	九四〇	四一六	四、三〇	一七〇	同・複・三座・私
ブレダ式三三型	ジプシー三型	一〇五	八三〇	三四五	一〇、三〇	一六五	同・單・三座・新
ロツクヒード式アルテア型	ワスプ・スーパーD型	四五〇	二、五八四	一、〇五九	九、〇〇	二六七	同右
スチンソン式リライアント型	ライカミング	二二五	一、五八〇	四四〇	七、〇〇 最大	二〇〇	同右
ブラツクバーン式リンコツク型	シドレー・リンクス・メージヤー	二五〇	九四三	三〇〇	二、〇〇	二二〇	同・複・三座・私
シェルヴアー・オートジャイロC一九型	ジエネット・メージヤー	一〇〇	七〇三	二二七	二、四〇	一四五	同・二座・新
相羽式ツバメ六型	神風改一型	一五〇	一、〇四二	三六五	四、〇〇	一五三	同・複・四座・輸
モノスパー式ST四型	ポブジョイ	七五(二基)	一、一五八	四九三	四、二〇	一八五	同・單・四座・新
エヤスピード式エンヴオイ型	ウーズレー・AR九・MK一	一八五(二基)	二、五〇〇	八六五	—	二一〇	同・單・八座・輸

エヤスピード式 エンヴオイ型	二	五	〇	二、六六〇	八七〇	—	二三五	陸・單・八座・輸
ロツクヒード・ニユ・アルテア	二	五	〇	二、八三〇	一、〇六〇	一、〇〇〇	三五四	同・單・三座・新
ダグラス D C 二型	二	七	一	七、九四五	二、五九七	三、三五〇	三五〇	同・單・十六座・輸
サヴオイア C 七 二型	三	五	三（二基）〇	三、三九〇	一、〇〇〇	二、一〇〇	二〇〇	艇・複・五座・輸
ライアン N Y P 二型	二	一	〇	二、一二九二	九三七	五、一〇〇	一六〇	陸・單・單座・新
トラベルエア 四〇〇〇型	二	一	〇	一、一七〇	四五〇	六、〇〇	三〇	同・複・三座・私

シドレー・リンクス四C	二	二	三	二、六六〇	八七〇	—	二三五	陸・單・八座・輸
ワスプS—P	五	五	〇	二、八三〇	一、〇六〇	一、〇〇〇	三五四	同・單・三座・新
ライト・サイクロン	七	一	〇	七、九四五	二、五九七	三、三五〇	三五〇	同・單・十六座・輸
イソタ・フラスキニ	五	三	〇（二基）	三、三九〇	一、〇〇〇	二、一〇〇	二〇〇	艇・複・五座・輸
ライトJ五	二	一	〇	二、一二九二	九三七	五、一〇〇	一六〇	陸・單・單座・新
ライトJ五	二	一	〇	一、一七〇	四五〇	六、〇〇	三〇	同・複・三座・私


本邦定期航空線路圖
凡例
航空線路
陸上飛行場
水上飛行場
水陸飛行場
航空無線電信局
地名標識
航空燈臺
新義州
定州
平壤
沙里院
貌子窩
大連
京城
天安
大田
黃澗
蔚山
嚴原
對馬
壹岐
福岡
太刀洗
行橋
中津
別府
室積
今治
松山
高松
小豆島
白濱
大阪
龜山
二見
名古屋
濱松
下田
沼津
箱根
東京
新潟
富山
黑木
西鄉
松江
鳥取
城崎
鹿屋
都城
鹿兒島
至台北
五島
富江
濟州島
臺北
那覇
自鹿屋

本邦民間飛行場（昭和十年十月調）

名稱	所在地	水陸の別	滑走區域	備考
（一）公共用飛行場				
東京飛行場	東京市蒲田區羽田江戸見町	陸	南北 六〇〇米 西 六〇〇米	
大阪飛行場	大阪市大正區船町	水・陸	東 七二〇米 西 四〇〇米 南北	
福岡飛行場	福岡縣糟屋郡多々良村大字名島	水	福岡灣東寄水面一帶	
蔚山飛行場	朝鮮慶尙南道蔚山郡蔚山面三山里	陸	東西 六〇〇米 南北 六〇〇米	
京城飛行場	同　京畿道東陽郡龍江面汝矣島	陸	東西 六〇〇米 南北 六〇〇米	
大連飛行場	關東州周水子會周水子屯、郭家屯及泡崖屯	陸	直徑六〇〇米ノ圓形地	
新義州飛行場	朝鮮平安北道義州郡光城面豐里洞	陸	長 六〇〇米 幅 六〇〇米	
新潟飛行場	新潟縣北蒲原郡松ヶ崎村	陸	長 六〇〇米 幅 一二五米	
松江飛行場	松江市灘町	水	長 四二七米 幅 一二五米	水上滑走區域は大阪築港外水面一帶
富山飛行場	富山縣婦負郡倉垣村	陸	松江市白潟埋立地先宍道湖水面 長 七〇〇米 幅 一五〇米	

都城飛行場	宮崎縣北諸縣郡五十市村	陸	長七〇〇米 長六〇〇米	幅三〇〇米 幅三〇〇米	
名古屋飛行場	名古屋市南區稻永新田地先第十號埋立地	水・陸	東五五〇米 南七五〇米	西五〇〇米 北三〇〇米	

(二) 非公共用飛行場

中島大井飛行場	東京市品川區大井南濱町一、九〇〇ノ四	水	所在地先水面		
川西鳴尾飛行場	兵庫縣武庫郡鳴尾村	水	鳴尾村鳴尾字大東一番地先水面		
城崎飛行場	同　城崎町	水	圓山川水面		
東雲原飛行場	秋田縣山本郡東雲村	陸	東西 七〇〇米 南北 七〇〇米		
堺大濱飛行場	堺市大濱南町南新公園第八十八號地海岸	水	所在地先水面一〇〇平方粁		
高知飛行場	高知縣吾川郡長濱町大字橫濱字孕小脇三番地ノ五	水	東西 七〇〇米 南北 六五〇米		
宮島飛行場	廣島縣佐伯郡大野村字鼓ヶ濱	水	長幅 五〇〇米 三〇〇米		
館山寺飛行場	靜岡縣濱名郡南庄內村	水	濱名湖 長 二、三〇〇米 水面 幅 一、一〇〇米 內浦 長 一、二四〇米 水面 幅 四〇〇米		
桐生愛國飛行場	群馬縣新田郡笠懸村大字鹿ノ川	陸	東西 三〇〇米 南北 四三〇米		
衣ケ原飛行場	愛知縣西加茂郡擧母町大字擧母字細谷及下細谷	陸	東西 五〇〇米 南北 二二〇米		水上滑走區域は十號埋立地南東の水面一帶

本邦航空無線電信局

（昭和十年十月現在）

局名	呼出符號	所在地
東京中央電信局	JXS	東京市麴町區大手町二丁目
箱根無線電信局	JXH	靜岡縣田方郡三島町字施行平
龜山無線電信局	JXK	三重縣鈴鹿郡龜山町大字龜田字落崎
大阪中央電信局	JXO	大阪市北區堂島濱通二丁目
福岡無線電信局	JXF	福岡縣糟屋郡多々良村名島
嚴原無線電信局	JXI	長崎縣下縣郡嚴原町
富江無線電信局	JXY	同　南松浦郡富江村
鹿兒島郵便局	JKB	鹿兒島市山下町
那覇郵便局	JCX	那覇市天妃町
蔚山無線電信局	JBM	朝鮮慶尙南道蔚山郡蔚山面北亭洞
京城無線電信局	JBB	同　京畿道京城府本町一丁目
大連電報局	JDP	關東州大連市監部通
臺北電信局	JFQ	臺北市京町

本邦航空標識

（昭和十一年三月）

（一）地名標識

名稱	所在地
沼津地名標識	靜岡縣駿東郡大岡村字鶴田二、一一四ノ二
濱松地名標識	同　濱名郡富塚村段子川字二里山八三一ノ四〇
龜山地名標識	三重縣鈴鹿郡龜山町大字野村一、三四七ノ三
小豆島地名標識	香川縣小豆郡四海村大字小江字野田ヶ原六八五ノ二
今治地名標識	愛媛縣今治市大字大濱字相ノ谷庚五九ノ四
室積地名標識	山口縣熊毛郡室積町大字室積村字油田五、五八〇ノ二
中津地名標識	大分縣中津市大字角本字巴一七六ノ二
行橋地名標識	福岡縣京都郡行橋町大字行事字殿垣二四一ノ二
蔚山地名標識	朝鮮慶尚南道蔚山面三山里
黃澗地名標識	同　忠淸北道永同郡黃澗面馬山里
大田地名標識	同　忠淸南道大田郡外南面孔道里
天安地名標識	同　同　天安郡天安面星井里
沙里院地名標識	朝鮮黃海道鳳山郡沙里院面鐵山里
平壤地名標識	同　平安南道大同郡西川面仁興里
定州地名標識	同　平安北道定州郡定州面城外洞
新義州地名標識	同　平安北道義州郡光城面彌勒洞
貔子窩地名標識	關東州貔子窩

（備考）地名標識は當該地名を白色の片假名にて表示す。以上は官設にして、市町村等に於ける私設的のものは左の如し。

標識	設置場所
クニタチ	東京府北多摩郡國立大學町
アイハラ	日本自動車株式會社航空機工場
カミミゾ	神奈川縣高座郡相原村旭小學校
オホザワ	同　同　上溝町上溝小學校
アリマ	同　同　大澤村大澤小學校
シブヤ	同　同　有馬村有馬小學校
オホノ	同　同　澁谷村澁谷小學校
アヤセ	同　同　大野村大野小學校
ムツアヒ	同　同　綾瀨村綾瀨小學校
タナサミゾ	同　同　六會村六會小學校
	同　同　田名小學校
	同　同　麻溝小學校
ゴシヨミ	神奈川縣高座郡御所見小學校
カマクラ	同　鎌倉郡鎌倉町鎌倉第一小學校
カタセ	同　同　片瀨町片瀨小學校
タイシヨウ	同　同　大正村大正小學校
ホンゴウ	同　同　本鄉村本鄉小學校
セヤ	同　同　瀨谷村瀨谷小學校
トツカ	同　同　戶塚町戶塚小學校
ムラオカ	同　同　村岡村村岡小學校
アイカワ	同　中郡相川村相川小學校
ツチヤ	同　同　土屋小學校
タカベヤ	同　同　高部屋小學校

| | | |

巣雲山	靜岡縣田方郡下大見村	E 139° N 35° 0′		小	C		〃	青 赤		笠岡ノモノヲ流用
沼津	同　沼津市上香貫	E 138° 52′ 45″ N 35° 5′ 29″	208	小	C	橙	〃	青 76° 赤 284°	15	
田子浦	同　富士郡田子浦村	E 138° 41′ 7″ N 35° 7′ 49″	44	小	C	白	〃	青 104° 赤 230°	24	
三保	同　清水市三保町	E 138° 40′ 20.7″ N 35° 7′ 27.1″	16	小	C	橙	〃	青 50° 赤 233°	15	
久能	同　同　蛇塚	E 138° 28′ 21″ N 34° 58′ 10″	313	補		モールス符號ク	全夜	ナシ	5	
燒津	同　志太郡東益津村	E 138° 20′ 45″ N 34° 54′ 18″	465	大	A	白赤白	自 2.30 日沒 至 日出 11.00	青 53° 赤 244°	15	
金谷	同　小笠郡河城村	E 138° 6′ 29″ N 34° 48′ 24″	297	小	C	青	〃	青 64° 赤 258.5°	15	
袋井	同　周智郡久努西村	E 137° 55′ 12″ N 34° 46′ 15″	74	小	C	白	〃	青 76° 赤 262°	24	
濱松	同　濱名郡吉野村	E 137° 43′ 2″ N 34° 44′ 55″	65	小	C	橙	〃	青 78.5° 赤 281.5°	21	
豐橋	愛知縣八名郡石巻村	E 137° 29′ 47″ N 34° 47′ 6″	425	小	C	橙	自 2.30 日沒 至 日出 11.00	青 101.5° 赤 274°	15	
御油	同　寶飯郡御津村	E 137° 18′ 51″ N 34° 48′ 55″	97	補		モールス符號コ	全夜	ナシ	5	
幡豆	同　幡豆郡幡豆町	E 137° 8′ 54″ N 34° 48′ 17″	346	小	C	赤	自 2.30 日沒 至 日出 11.00	青 94° 赤 287°	15	
知多本宮山	同　知多郡西浦町	E 136° 52′ 36″ N 34° 52′ 27″	102	大	A	白白白	〃	青 107° 白 206° 赤 263°	15	白ハ明野向
明野	三重縣度會郡北濱村	E 136° 40′ 20″ N 34° 31′ 45″	27	小	C	橙	自 3.00 日沒 至 日出 9.00	青 26° 赤 352°	21	青 知多本宮山向 赤 千世崎向
千世崎	同　河藝郡若松村	E 136° 37′ 3″ N 34° 51′ 0″	26	中	B	赤白	〃	青 83° 白 171° 赤 267.5°	24	白 明野向
關	同　鈴鹿郡關町	E 136° 22′ 18″ N 34° 50′ 33″	309	小	C	青	〃	青 87.5° 赤 266°	15	
笠取山	同　阿山郡阿波村	E 136° 17′ 59″ N 34° 43′ 51″	850	小	C	赤	〃	青 65° 赤 276°	5	加太ノモノヲ流用
加太	同　鈴鹿郡加太村	E 136° 17′ 36″ N 34° 50′ 17″	440	補		モールス符號カ	全夜	ナシ	15	
靈山寺山	同　阿山郡西柘植村	E 136° 15′ 49″ N 34° 48′ 49″	771	中	B	白青	自 3.00 日沒 至 日出 9.00	青 73° 赤 248°	5	宇部ノモノヲ流用
柘植	同　同	E 136° 12′ 57″ N 34° 49′ 39″	243	中	B	白白	〃	青 81° 赤 235°	15	
上野	同　同　長田村	E 136° 4′ 42″ N 34° 44′ 58″	317	小	C	青	〃	青 55° 赤 266°	15	
大河原	京都府相樂郡南大河原村	E 135° 59′ 53″ N 34° 45′ 47″	308	補		モールス符號オ	全夜	ナシ	5	
笠置	同　同　笠置村	E 135° 56′ 19″ N 34° 44′ 30″	371	小	C	白	自 3.00 日沒 至 日出 9.00	青 86° 赤 252°	15	
木津	同　同　木津町	E 135° 50′ 45″ N 34° 43′ 27″	142	補		モールス符號キ	全夜	ナシ	5	
生駒山	奈良縣生駒郡生駒町	E 135° 40′ 50″ N 34° 40′ 17″	645	大	A	白青白	自 3.00 日沒 至 日出 9.00	青 72° 赤 255°	15	
大阪飛行場	大阪市大正區船町	E 135° 27′ 55″ N 34° 37′ 30″	17	小	C	橙	隨時	青 75° 赤 272.5°	15	

大阪朝日	大阪市北區中ノ島	E 135° 29′ 54″ N 34° 41′ 23″	64			青白赤	自 日沒 至 9.00	ナシ		公認私設
須磨	神戸市須磨區鉢伏山	E 135° 6′ 58″ N 34° 38′ 18″	262	中	B	白白	自 5.30 日沒 至 日出 7.30	青 92.5° 赤 286°	15	
室津	同 揖保郡室津村	E 134° 30′ 52″ N 34° 46′ 24″	281	中	B	白赤	〃	青 106° 赤 247.5°	15	
玉津	岡山縣邑久郡玉津村	E 134° 10′ 13″ N 34° 39′ 32″	155	小	C	白	〃	青 67.5° 赤 262.5°	15	
早島	同 都窪郡早島町	E 133° 49′ 50″ N 34° 37′ 17″	95	小	C	橙	自 5.30 日沒 至 日出 7.30	青 82.5° 赤 245°	15	
笠岡	同 小田郡笠岡町		234	小	C	青			15	
糸崎	廣島縣御調郡糸崎町	E 133° 7′ 55″ N 34° 23′ 21″	445	中	B	青白	未點燈	青 71.5° 赤 274.5°	15	
上北方	同 豐田郡上北方村	E 132° 56′ 13″ N 34° 24′ 11″	343	小	C	白	〃	青 94.5° 赤 263.5°	15	
三永	同 賀茂郡三永村	E 132° 44′ 46″ N 34° 23′ 11″	235	小	C	青	〃	青 83.5° 赤 270.5°	15	
熊野跡	同 同 熊野跡村	E 132° 36′ 59″ N 34° 23′ 19″	725	大	A	白白赤	〃	青 90.5 赤 262°	15	
五日市	同 佐伯郡五日市町			小	C	橙		青 82° 赤 217°	15	
岩國	山口縣岩國町	E 132° 11′ 44″ N 34° 10′ 29″	293	大	A	白青白	〃	青 37° 赤 230.5°	15	
高森	同 玖珂郡高森町	E 132° 2′ 21″ N 34° 4′ 9″	339	小	C	赤	〃	青 50.5° 赤 254.5°	15	

櫛ヶ濱	山口縣都濃郡太華村境界地	E 131° 50′ 38″ N 34° 1′ 19″	139						15	
中ノ關	同 中ノ關町	E 131° 32′ 6″ N 34° 1′ 3″	237	小	C	赤	〃	青 89° 赤 247.5°	15	
宇部	同 宇部市大字沖宇部	E 131° 16′ 23″ N 33° 55′ 22″	19						15	
行橋	福岡縣京都郡苅田町	E 130° 59′ 0″ N 33° 48′ 0″	144	大	A	白赤白	〃	青 62.5° 赤 299°	15	
若松	同 若松市大字藤木	E 130° 46′ 0″ N 33° 54′ 0″	295	小	C	白	〃	青 119° 赤 265°	15	
福岡飛行場										
福岡松屋	福岡市橋口町	E 130° 24′ 4″ N 33° 35′ 23″	43	小	C		自 日沒 至 11.00			公認私設
筑前鐘崎	福岡縣宗像郡岬村	E 130° 32′ 0″ N 33° 53′ 0″		小	C	青	未點燈	青 85° 赤 199°	15	
秋月	同 朝倉郡秋月町	E 130° 41′ 7″ N 33° 29′ 17″	655	大	A	白白白	〃	青 291° 赤 215.5°	15	
大牟田	同 三池郡銀水村岬字仲屋敷	E 130° 25′ 57″ N 33° 4′ 15″	74	補		モールス符號オ	全夜	ナシ	15	
川内	鹿兒島縣日置部郡串木野町大字羽島	E 130° 13′ 52″ N 31° 46′ 38″	535	補		モールス符號セ	全夜	ナシ	15	

本邦帆走飛行發達便覽

明治四十二年

東京不忍池畔にて佛國大使館付武官ル・ブリアール中尉、相原海軍大尉共同で製作したカーチス型グライダーを自動車にて曳行、小飛行後、池中に墜落。

明治四十三年

板橋に於て伊賀氏廣氏、弓形翼グライダーに搭乘、自動車にて牽引し、一米の高さをもつて十五米飛行。

同年、代々木練兵場に於て、古島四郎氏自作のグライダーを自動車で曳行し、五米に上昇後破損。

大正五年

田中省巳氏、仙臺に於て自作單葉グライダーを製作し、數回試乘。

（この時代以後、世界大戰末まで、米國カーチス式の箱凧型、ハング・グライダーを製作して飛行を試みたるもの少からずと雖も、記錄するほどのものなし）

大正十二年

東京帝大航空研究所の小野教授は、山崎助手と共にヘンツェン型を試作中、震災にて燒失。

昭和三年

一月 小野正一教授は川西航空機會社に入社後、昇降舵を廢して主翼後緣に下翼を有する特殊型を製作し、乾飛行士が木津川飛行場で試驗滑空したが、強風のため地面に激突大破。

昭和五年

所澤陸軍飛行學校教官藤田雄三中尉がプルフリング型を試作。

五月 箱根仙石原にて練習機デクソン型を製作す。

六月 九州帝大の佐藤助教授、前田健一氏、伊藤隆吉、志鶴忠夫氏等グライダー同好の士によつて九州帝大航空會結成、前田ビルにて練習機製作。

七月 日本グライダー・クラブは東京で夏期講習會を開く。

八月 同會は信州管平に練習會を開き、清水六助一分五十五秒、金澤辰二分十五秒、片岡文三郎三分三十六秒、更に清水三分四十九秒とレコードを向上す。

十月 來朝中のエツツドルフ孃によりグライダー講話會を開く。

十一月 雜誌「グライダー」發刊、渡部一英氏主宰。

この間、北海道の葛西氏のプライマリー、東京白石襄治、上村秀次郎氏のセコンダリー、山崎好雄氏のソアラー等製作さる。

昭和七年

一月 神戸の人山本勳氏、堺大濱にてプライマリー機を製作、試乘して好成績を擧ぐ。

二月 中正夫、鵜飼良行兩氏は大阪に於て日本グライダー聯盟を組織し、二十三日、南郊信太山に於て片岡文三郎、清水六助氏を招き、關西最初の滑空を公開。

四月 九大航空會の練習機成り、志鶴氏試乘。

五月 九大航空會、九州航空會共同主催にて、福岡練兵場で志鶴飛行士等公開飛行。

六月 山本勳氏、岡山日本原に於て練習 更に一臺を製作。

七月二十七日 日本グライダー・クラブは山崎式帆走機（J-BESO わかもと號）にて富士山二合目より飛行、四分五十五秒後、靑陸の際轉覆し、片岡飛行士負傷。

八月 九大航空會は別府市外十文字原で練習 新造の翼風帆走機（九帝四型）にて志鶴氏試乘。

九月十日 九帝十文字號は、海拔四五〇米の陣笠山より八分三十四秒の滑空にて別府海水浴場に飛行。

同十八日 岡山の山本勳氏、プライマリー二臺（J-BBUH）（J-BBYH）を完成。

十月 神奈川縣中丸海岸にて、白石襄治氏の強風用帆走機白鷗第一號試乘され、鵜飼照彥氏數回飛行したが、十一月十四日暴風の爲め倉庫倒潰して破壞。

十一月 日本グライダー聯盟は、京都奈良電鐵沿線木津川に常設滑空場を開く。中、鵜飼、清水、外數氏、伊藤式及び小野氏の下翼型の二臺を用ふ。

十一月七日 豫て中央氣象臺藤原咲平博士と、「考へ方」の藤森良藏氏等により霧ヶ峰にグライダー練習所設立が議せられてゐたが、一つ橋學士會館にて霧ヶ峰グライダー研究會創立總會行なはる。

昭和八年

二月 霧ヶ峰グライダー研究會では、白石氏指揮のもとに練習機三臺製作。

三月 日本グライダー聯盟は、京都大丸に於て最初のグライダー展覽會を開く。

四月 山本勳氏は鳥取縣舞坂海岸にて四分十秒飛行。

七月 霧ヶ峰の三機は洲崎にて飛行檢査後、二十三日より練習會を開き、一ヶ月間に二十人を養成。

八月 日本グライダー聯盟の清水六助氏は、木津川飯岡山より四分三十秒の滑空を、京都第一工業學校倉橋周藏氏製作機にて行なふ。

磯部鉄吉氏、ツエクリング型を完成し、五月二十一日、所澤飛行場で片岡飛行士操縱、五秒間に八十米を飛び、我國最初の滑空を行なふ。

六月 磯部氏等、日本グライダー・クラブを組織、茨城縣鹿島砂丘にて練習飛行、二十秒に百七十米飛行。

九月 同クラブは東京板橋にて練習開始。

十月四日 同クラブ主催で東京駒澤練兵場にて最初の公開飛行を行なひ、更に神奈川縣新丸子多摩川濱にて練習、セコンダリー機を製作。

昭和六年

一月 日本グライダー・クラブのセコンダリー完成し、羽田飛行場にて航空局の檢査を受く。三月十六日より箱根仙石原にて片岡飛行士指導のもとに澤、清水、鵜飼、白石、服部、原、上林 高原各會員の練習。片岡飛行士は一分二十秒飛行。

九州帝大航空會は、阿蘇山中にて九帝五型の實驗を行なひ、十九日志鶴飛行士は杵島嶽より立野町まで二十分に八粁の飛行記錄を作り、日本最初の山嶽斜面帆走のレコードを得た。

十一月 日本グライダー聯盟解消。

昭和九年

一月 霧ヶ峰グライダー研究會は雪上グライダーを實驗。

三月 山本勳氏は神戸に於てグライダーの製作を開始。

七月 霧ヶ峰グライダー研究會では夏季練習を開始、霧ヶ峰第一、二、三の外、新造第四、トイフエル型五號を加へ、吉原清治氏が指導を行なひ、最終日の九月六日、鵜飼昭彦氏の第五號は十六分三十秒、六粁を飛んだ。

九月 九大航空會佐藤助教授指揮のもとに、大分縣久住高原で練習中の志鶴忠夫氏は十一日九帝五型にて肥前城頂上より一時間二十六分十秒の滯空に成功。

十月 霧ヶ峰グライダー研究會では十八日、同地角間吹上げの斜面上昇風の利用に成功。

十一月 吉原清治氏は再び同地に於て五分間同一高度を保持した。

東京飛行館に於ける日本航空學會第三回講演會に於て、佐藤助教授より帆走飛行の理論及び實際の講演があつた。

十二月 霧ヶ峰グライダー研究會の東京附近練習場として、武藏鐵道奥武藏スキー場で實驗飛行を行なふ。

昭和十年

一月 大阪毎日・東京日日新聞社提唱により、日本帆走飛行聯盟の組織發表さる。

霧ヶ峰グライダー研究會では報知新聞社後援、筑波山のグライダー公開飛行を行なひ、霧ヶ峰第六號（日土一號）伊藤式四號を吉原氏操縱、十三分十五秒滯空。

二月 日本少年飛行團の發團式が川口市船戸で行なはれ、上村秀二郎氏主宰となつて初歩練習にかゝる。

筑波山第二回帆走大會は、日土一、筑波一號を吉原、鵜飼兩氏各々飛行した。

三月 霧ヶ峰グライダー研究會平地練習場上井草運動場の開場式が行なはれ、新造霧ヶ峰八號（日土二號、同六號が使用された。

四月 帝國飛行協會では、グライダー製作奬勵金下附規則、グライダー操縱士飛行證下附の新奬勵法を公布。

五月 大阪盾津飛行場に於て、日本帆走飛行聯盟結成式が擧げられ、九帝、東京、愛國、名古屋、霧ヶ峰、神戸各グライダー・クラブ、神戸山本滑空機研究所等參加、田中館博士、荒蒔、四王天兩中將等を首腦者に推戴、夜は講演會を大毎講堂に開く。

東京朝日新聞社航空部では、高性能朝日一型（J-BDAA）帆走機を完成。

六月 九帝五型「阿蘇」號に志鶴飛行士搭乘、大阪盾津に於て本邦最初の自動車曳行に成功、つゞいて大阪毎日新聞社松下氏操縱機に曳行されて、最初の空中列車として大阪市上を二十六分間飛行。

霧ヶ峰グライダー研究會吉原飛行士は、筑波一號で風返峠で一時間一分の滯空に成功。

七月 霧ヶ峰グライダー研究會夏期練習を行なひ、グライダー飛行證を下附。

八月 名古屋飛行學校、國粹義勇飛行隊及び學生航空聯盟內に、グライダー部組織さる。

九月 九帝七型（J-BCWH）で志鶴飛行士は阿蘇山にて三時間四分、つゞいて四時間十二分の新日本記錄を作る。

十月 獨逸帆走界の第一人者ウオルフ・ヒルト氏來朝し、所澤、上田等各地に於て帆走技術を指導し、又曲技飛行を公開。

十月 名古屋飛行學校元島飛行士はグライダー操縱中墜死し、斯界最初の犧牲となる。

十一月 ヒルト氏は東京——名古屋——大阪間の良行を行なひ、大阪に於て日本帆走聯盟主催でヒルト、志鶴兩機雁行して曲技飛行を行なふ。

十二月 大阪木津川飛行場にヒルト紀念グライダー・クラブ結成。

日本帆走飛行聯盟其他に於ける講習者に對し、グライダー飛行證を帝國飛行協會より授與したるもの一級一名、三級三十八名に達す。

帝國飛行協會のグライダー製作費補助は五十機に止る。

（尙、昭和十年度に於けるグライダー界は別項「本邦航空一年史」及び各團體の項參照）

本邦定期航空路

（昭和十年度）

○

日本航空輸送株式會社

創　立　昭和三年十月二十日

資本金　壹千萬圓

本　社　東京市芝區田村町一の三　飛行館

支所及出張所

東京支所　東京市蒲田區羽田江戸見町（東京飛行場）

大阪支所　大阪市大正區船町八（大阪飛行場）

福岡支所　福岡縣粕屋郡多々良村大字名島字城山（福岡飛行場）

大刀洗支所　福岡縣三井郡大刀洗村大字山隅字藤倉堀（大刀洗飛行場）

京城支所　京城府汝矣島町（京城飛行場）

大連支所　關東州周水子（大連飛行場）

臺北支所　臺北州七星郡松山庄（臺北飛行場）

名古屋出張所　名古屋市南區稻永新田地先第十號埋立地（名古屋飛行場）

蔚山出張所　慶尚南道蔚山郡蔚山面三山里（蔚山飛行場）

平壤出張所　平安南道大同郡大同江面鰲村里（平壤飛行場）

新義州出張所　平安北道義州郡光城面豐西洞（新義州飛行場）

那覇出張所　沖繩縣島尻郡小祿村字當間安座間原（那覇飛行場）

富山出張所　富山縣婦負郡倉垣村（富山飛行場）

經營航空路

航空路	距離	間	航空回數	備考
東京・大連線	二九六粁	東京—名古屋	毎週十四往復	
	一三九	名古屋—大阪	同右	
東京・富山線	二一〇	東京—富山	毎週二往復	（夏期）
大阪・上海線	一四五〇	（大阪—福岡	七往復	
		福岡—上海）	—	豫定
福岡・臺北線	七〇〇	福岡—那覇	同右	
	九一〇	那覇—臺北	同右	
大阪—福岡	五〇〇	大阪—福岡	同右	
	一四〇	福岡—蔚山	同右	
蔚山—京城	三一〇	蔚山—京城	同右	
京城—平壤	二〇〇	京城—平壤	同右	
平壤—新義州	一六〇	平壤—新義州	同右	
新義州—大連	二七三	新義州—大連	同右	
東京—富山	三八〇	東京—富山	毎週二往復	
大阪—福岡	一四五〇	（大阪—福岡	七往復	
福岡—上海		福岡—上海）	—	豫定
福岡—那覇	九一〇	福岡—那覇	同右	
那覇—臺北	七〇〇	那覇—臺北	同右	

營業所

東京營業所　東京市芝區田村町一の三飛行館

大阪營業所　大阪市西區靱南通一の一〇　日清生命館

福岡營業所　福岡市上呉服町二三　片倉ビル

京城營業所　京城府長谷川町一一六京城ビル

大連營業所　大連市常盤町二

臺北營業所　臺北市太町三の一

營業種目　航空輸送、其他航空に關する業務及之に附帶する業務

昭和十年度事業成績（昭和十年四月同十一年三月）

飛行回數　五、八七三回

飛行距離　二、一七四、八四六粁

飛行時間　二、五四一時〇二分

旅客數　一四、六九九人

貨物數　五、〇四一個

郵便物數　一、八七〇、七三〇通

沿革（前年度本年鑑參照）

役員

取締役社長　原　邦造

常務取締役　戸川政治

取締役　稻畑勝太郎

職員

庶務課長　指山達二

營業課長　齋藤外男

運航課長　安邊浩

同副長（兼）　小川寛爾

技術課長（缺）

同副長　森川三郎

東京支所長　小川寛爾

東京營業所主任　木村寛一

大阪支所長　石田房雄

大阪營業所主任　大西洋三郎

大阪工場主任　中里五一

福岡支所長　可兒滿壽夫

福岡營業所主任　中島猪作

京城支所長　神津幸右衞門

京城營業所主任　三宅耕一

大連支所長　中山賴道

大連營業所主任　辻五郎

大連工場主任　齋藤鶴吉

臺北支所長　淺香良一

臺北營業所主任　武田萬兵衞

名古屋出張所主任　西隆一

富山出張所主任　藤枝祐夫

蔚山出張所主任　小田荒太郎

平壤出張所主任　蔭平春治

新義州出張所主任　小沼淺次郎

那覇出張所主任　鵜野政東

所屬操縱士

小川寛爾　鈴木友茂　鳥居清次

大橋新太郎　大川平三郎　根津嘉一郎　橋本圭三郎　米田奈良吉　森村勇　阪谷芳郎

豐島　晃　石上　全尚　大森　正男
加賀　要助　有賀　光司　青木　峰藏
荻野　了　森田　勝人　藤田　三郎
桑野　稔　平松　牛郎　安部　藤平
齋藤　羊五　宮本　正義　海野　昌男
細川　優　松崎彌十郎　㊢本　德次
曾根原　眞　前田　岩夫　峯　忠光
日比　省三　南出　廣　山田　好雄
野寺誠次郎　津本　正市　黒木　正明
瀨川　貞雄　池田　照雄　諏訪　勝義

○

日本航空輸送研究所

創　立　大正十一年六月四日
資本金　五拾萬圓
本　部　堺市大濱南町南新公園（電堺一三五九）
支所及出張所
營業所　大阪市南區道頓堀松竹座西（電南一七七七）
出張所　同　木津川尻大阪飛行場（電櫻川三〇八〇）
高松市濱ノ町（電三七九〇）
松山市外高濱（電三津濱三一〇）
別府市流川通一丁目
和歌山縣白濱町
事　業　航空輸送及附屬水上航空學校、航空撮影並遊覽、宣傳、時間貸飛行
經營航空路
大阪—高松—松山線每週六往復
大阪—白濱線每週三往復
大阪—別府線每週一往復
昭和十年度定期航空成績（自昭和十年四月一日至同十一年三月三十一日）
飛行距離　一九九、九八〇粁
飛行時間　一、四一七時五六分
旅客數　二、八二一名
貨物量　二、一八四瓩六四
郵便量　二、八二四瓩三五
沿　革（前年度本年鑑參照）
役員並職員
所　長　井上長一
支配人　林　松太郎
機體主任　中前政二
發動機主任　佐藤辰司
飛行部主任　張　德昌
松山出張所主任　清水忠臣
（兼操縱士）
高松出張所主任　長尾一郎
（同）　井上國一
木津川運航部主任　片山久太郎　池田　安平
所屬操縱士
田中　武雄　武石　米三　大渡　勝　藤本　保　飯島　勇
新井　亮介　小川　正信　岡　信男　高橋　義光　富山　一夫

○

日本海航空株式會社

創　立　昭和六年七月
資本金　拾萬圓
本　社　兵庫縣城崎郡城崎町湯島七七〇
出張所　鳥取市本町二丁目
營業種目　旅客航空輸送及定期航空、遊覽飛行其他宣傳飛行
昭和十年度事業成績
飛行回數　四〇九回
飛行距離　二八、四〇八粁
乘客數　三六九名
沿　革（前年度本年鑑參照）
役員及職員
取締役會長　中島久太郎
常務取締役　西村佐兵衞

常任監査役　豐田良一
飛行場主任　淺見富藏
所屬操縱士
長島　榮作　米澤　峯藏

○

東京航空株式會社

創　立　大正五年八月（日本飛行機製作所、東京航空輸送社繼承）
資本金　八拾萬圓
本　社　東京市蒲田區新宿町一〇
支　所　東京支所　東京市蒲田區羽田江戸見町（東京飛行場）
清水支所　清水市三保眞崎
下田支所　靜岡縣下田町武ヶ濱
營業種目
旅客、貨物、郵便物の定期航空輸送、遊覽飛行、宣傳飛行、空中寫眞、魚群探見、エア・タキシー等
經營航空路
東京—下田—清水（二六〇粁）
每週月、水、金曜日の三往復
昭和十年度事業成績
飛行回數　八八九回
飛行距離　三三、九一〇粁
旅客數　二、〇四四名
郵便物量　一九、六五〇瓦
貨物量　一一七、六〇〇瓦
沿　革
大正五年八月、羽田飛行場を開設して日本飛行機製作所と稱し、相羽有氏の個人經營なりしが昭和三年、東京航空輸送社と改稱、同十年十二月、株式會社組織として今日に及ぶ。
役　員
取締役社長　相羽有
取締役　木暮武美
同　吉村二郎
監査役　相羽芳造
同　富小路洪次郎
職　員
營業課長　木暮武美
庶務課長　佐藤茂三郎
運航課長　伏見善一
同副長　江島三郎
技術課長　野崎正雄
清水支所主任　黒瀨寅雄
下田支所主任　北島昌藏
所屬操縱士
東京支所　伏見　善一　江島　三郎
柴田　德藏　並木　米三
清水支所　黒瀨　寅雄
飛行機
愛知式AB一型水上旅客機七人乘（ロレーン四五〇馬力）、九〇式一型水上旅客機三人乘（ジュピタア四五〇馬力）、一五式水上旅客機三人乘（イスパノ・スキザア三〇〇馬力）、瓦斯電式KR二型陸上旅客機四人乘（神風一五〇馬力）、相羽式ツバメ六型陸上旅客機四人乘（神風一五〇馬力）

○

朝日定期航空會（朝日新聞社航空部）

創　立　昭和二年三月
本社及格納庫
本　社　大阪市北區中之島三の三　大阪朝日新聞社
支　社　東京市麹町區有樂町二の三　東京朝日新聞社
格納庫　東京市蒲田區羽田江戸見町　東京飛行場
同　大阪市東成區　大阪城東練兵場

同　新潟市沼垂飛行場

資本金　六百萬圓の株式會社朝日新聞社の支持

沿革　（別項「新聞社並通信社航空部」の朝日新聞社と同じ）

營業種目　定期郵便飛行（羽田－新潟。大阪－富山－新潟）新聞通信飛行等

昭和十年度新潟定期事業成績

飛行回數	一〇四回
飛行距離	三九、五二〇粁
飛行時間	二三四時間三五分

役員

航空部長	河内一彦
同次長（大阪）	新野百三郎
所屬操縱士	中島　忠英　飯沼　正明　長友　重光 小俣　壽雄　川崎　一

安藤飛行機研究所

創立　大正九年一月十日

資本金　拾五萬圓

本所　愛知縣知多郡旭村大字日長字七〇

支所及出張所　名古屋支所（名古屋市南區稻永新田地先（名古屋飛行場）

二見出張所　三重縣度會郡二見町　朝日旅館內

營業種目　航空運送、遊覽飛行、其他航空關係一般

經營航空路　名古屋－二見間

昭和十年度定期航空成績（自昭和十年四月十五日至同年十月十四日）

飛行距離	八、八四四粁
飛行時間	七二時四一分
旅客數	一五七名
郵便量	一〇、六五五瓦

役員並職員

所長	安藤孝三
主任技師	辻田護

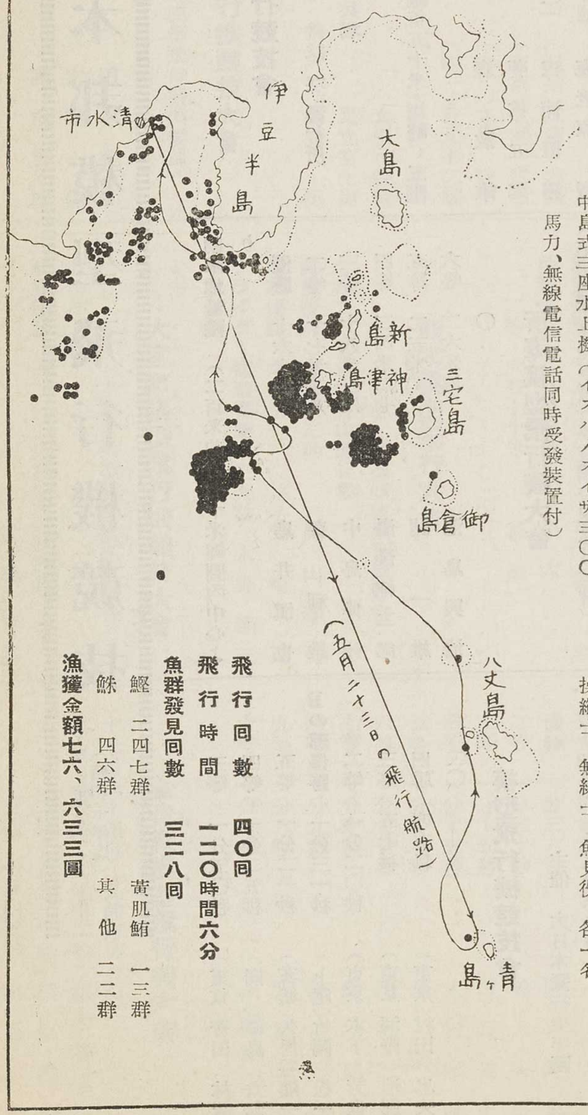
所屬操縱士　吉田榮　大須賀俊介　早弓勝三　加古光夫

機關士　小松滋美

本邦魚群探見飛行成績

（自昭和十年四月七月至同）

東京航空株式會社の經營する魚群探見飛行（昭和十年度）の實施成績下の如し。



探見用飛行機　中島式三座水上機（イスパノスイザ三〇〇馬力、無線電信電話同時受發裝置付）

機上作業員　操縱士、無線士、魚見役、各一名

飛行回數　四〇回

飛行時間　一二〇時間六分

魚群發見回數　三二八回

鰹	二四七群	黃肌鮪	一三群
鮪	四六群	其他	二二群

漁獲金額七六、六三三圓

本邦模型飛行機競技

（昭和十年度）

○

特殊模型飛行競技會

主催　雜誌「空」發行所

一月二十日　代々木練兵場

參加機　二百六十機

模擬英濠飛行リレー（距離百五十米・川崎C五型機）

優勝　一分二秒　森　政雄
二等　一分四一秒　菅代五郎
三等　二分三秒五分ノ二　三浦恒男
四等　二分五秒　海老原廣

エア・エンジン附競技

優勝　二分七秒二　山口隆司
二等　一分五二秒　柳平安雄
三等　一分七秒　柳　平（弟）
四等　一分二秒　日永榮一
五等　一分　波多野武

制限地着陸（二百米前方七十米經圓內中心より）

優勝　十六米四　島井愼也
二等　十七米三八　森　利雄
三等　十八米三四　中島偉州
四等　二四米二七　湯淺神二郎
五等　二五米　關　一雄
六等　二六米四　池島與治

○

所澤模型飛行機大會

（第四回所澤陸軍飛行學校開校記念日例會）

主催　所澤町協贊會

四月十四日　目黑競馬場跡

優勝　十六分二〇秒　川畑

○

阪神模型園體競技

十月六日　阪神沿線田中遊園地

優勝　二六分一七秒　川邊
三等　一分五〇秒　（東京）菅田林造
四等　一分二五秒　（同）福島太郎
五等　一分二一秒　（茨城）久保谷隆一
Bの部優勝　一分三一秒　（上尾）竹岡松一
二等　一分二〇秒　（東京）木下芳也
三等　五七秒　（東京）河野清郎
四等　四五秒　（東京）村田忠夫

○

模型飛行機競技會

主催　大日本飛行少年團

九月十五日　目黑競馬場跡

優勝　十六分二〇秒　川畑

○

阪神模型園體競技

十月六日　阪神沿線田中遊園地

優勝　二六分一七秒　川邊
二等　一五分七秒　久米
三等　八分四二秒　松本

○

日露戰役三十周年記念大會

主催　日本模型飛行機聯盟

十月六日　目黑競馬場跡

優勝　十六分
二等　十五分五五秒　（桐生）武藤吉勝
三等　十四分五〇秒　（東京）廣瀨武士
四等　十二分四九秒　（同）立松政市
五等　十二分二四秒　（同）野元不二雄
六等　十一分一六秒　松原幸男
七等　十分一五秒　太田雅量
八等　五分四八秒　足立富士男

○

愛國模型飛行機競技大會

主催　京都愛國模型飛行機倶樂部

十月十二日　御室廣場

優勝　一分四十秒　田中義雄
二等　一分二六秒　宮尾一郎
三等　一分二五秒　高橋英雄
二等　十五分七秒　久米
三等　八分四二秒　松本

○

和歌山模型飛行機倶樂部
第四十二回大會

主催　大阪模型飛行機倶樂部和歌山支部

十月二十七日

滯空優勝　十二分五〇秒　中野哲
距離優勝　八百三十米　川本
二等　六百七十米　杉田

○

熊本模型飛行大會

主催　濱部商會模型同好會

十月二十八日　帶山練兵場

滯空優勝　五分四三秒　奥山春男
距離優勝　六百米　矢崎茂
グライダー模型優勝　三九秒　永野隆三

○

大宮町模型飛行機競技大會

主催　模型飛行機商工組合

十一月三日

滯空優勝　四二分三十秒（非公認記錄）　武藤吉勝
二等　四十分五十秒　名取久作

○

全東京模型飛行機大會

主催　東京模型飛行機聯盟

十一月十七日　日比谷公園

優勝　一分三六秒　岡野靜男
三百四十機參加
二等　一分三十秒　鈴木秀雄
三等　一分十五秒　芳賀友次
四等　一分十五秒　大岩米次
五等　一分十二秒　森　愼一
六等　一分十一秒　田村五郎
七等　一分十秒　鈴木眞一
八等　一分九秒　松原綠
九等　一分八秒　大瀨五郎
十等　一分五秒　永原鎌太郎

○

全青森模型飛行機大會

十一月二十四日　弘前市雀森山

大型機優勝　五分四二秒　海老名陽一
二等　三分三十秒　福原誠藏
三等　一分四五秒　中村忠夫

四等　一分二五秒　竹内弘七
五等　一分二十秒　齋藤貞次郎
輕量機優勝　五分四七秒　齋藤誠一
二等　四分二五秒　柴田健一
三等　四分二十秒　中村忠夫
四等　三分二十秒　海老名陽一
五等　二分五十秒　安田幸三
一齊飛行優勝　二分五十秒　福原誠藏
二等　二分四五秒　野村哲郎

○

愛國模型飛行機競技大會

主催　京都愛國模型飛行機倶樂部

十一月二十四日　金閣寺山國民射撃場
優勝　一分四四秒　佐藤史郎
二等　一分二七秒　增田信次郎
三等　一分二一秒　角川定藏
四等　一分十八秒　宮尾一郎
五等　一分十五秒　高橋英雄
六等　一分十二秒　宮内增太郎
七等　一分十一秒　宮内善之助
八等　一分十秒　塚田新

○

堺市模型飛行機競技會

十一月二十四日　堺市遊園地
スケール・モデル離着陸競技
優勝　九八點　松尾正一
二等　八八點七　黒田貞次
三等　八五點　中村勝

○

大連市模型飛行機大會

主催　大連模型飛行機同好會
十二月八日　新公園
優勝　十七分二二秒　岩本
二等　十五分　田邊

本邦航空關係出版物

（自昭和十年一月　至同十二月）

（書名）	（著者）	（發行所）
飛行機	小川太一郎氏	岩波書店
航空力學と飛行機の設計	竹内孝一郎氏	同右
グライダー	增田正文氏	同右
飛行機の强度計算法と設計例		
航空計器	甲斐茂吉氏	内田老鶴圃
航空發動機（上）	佐々木達治郎氏	岩波書店
航空發動機	小川清二氏	工業雜誌社
航空發動機	大友清氏	丸善株式會社
航空發動機	富塚清・井上博氏	共立社
航空發動機	柴田浩氏	アルス
航空機	小川太一郎氏	アルス
發動機用材料	東彌三・三枝定氏	共立社
故障及修理法	鈴木德藏氏	同右
最近の飛行船	酒井二郎氏	航空研究會
航空に關する外國特許要覽（英）		日本學術振興會
同（獨）		同右
航空に關する外國特許要覽（佛）		日本學術振興會
航空工業用ニツケル合金		日本ニツケル情報局
航空統計並事故統計の研究	大林良一氏	海軍航空本部
航空參考資料輯錄（第九號）		遞信省航空局
昭和八年航空統計年表		帝國飛行協會
昭和十年航空年鑑	北尾龜男氏	同右
增補改訂日本航空法規集	同	同右
昭和十年日本航空殉難史	同	同右
翔ける大空	井上四郎氏	同右
世界は動く	同	同右
民間航空對策に就て	同	同右
我航空界の今昔	四王天延孝氏	同右
日本航空搖籃の實相	荻原史郎氏	工人社
寫眞航空年鑑	加藤倚雄氏其他	海と空社
列强軍用機集	横關愛造氏	同右
世界飛行機圖解	木村秀政氏	同右

寫眞日本航空史　大場彌平氏　海と空社
不壞の銀翼　中正夫氏　日本航空輸送研究所
望空夜話　北村小松氏　岡倉書院
南方飛行便　堀口大學氏　第一書房
猛る空中艦隊　小泉泰明氏　香風閣
チエリスキン號の最後　平岡雅英氏　ナウカ社
空の王者　武富邦茂氏　實業の日本社
北方への旅　深澤正策氏　改造社
航空用語辭典　日本建築協會　航空用語音及會
都市の武裝

定期刊行物

（限定配布のもの）

（誌名）　（發行所）

航空旬報　遞信省航空局
帝國大學航空研究所彙報　其所
同右報告　同右
交星會月報　其會
航空學會誌　日本航空學會

滿洲航空　滿洲航空株式會社
第三路　日本航空輸送株式會社内其會
學生航空聯盟關西支部會報　其部
J・A・E・A　日本航空機々關士會

（一般頒布のもの）

（誌名）　（編輯者）　（發行所）

飛行　北尾龜男氏　帝國飛行協會
飛行時報　同右　同右
航空時代　渡部一英氏　其社
航空記事　森川廉郎氏　陸軍航空本部内航空會
航空事情　同右　同右
海と空　横關愛造氏　其社
航空知識　林信寛氏　同右
航空制　野溝光氏　大日本飛行少年團
近代科學　荒川金次郎氏　平原社
スピード　南鎭夫氏　其社
空　荻原史郎氏　工人社
海防　多田憲一氏　海防義會
日本航空新聞　渡邊忠雄氏　其社
武相の大空　菊池武寧氏　帝國飛行協會神奈川地方本部

獻納飛行機（昭和十一年四月）

愛國號（陸軍）

愛國番號	飛行機種	獻納者	命名式 月日	命名式 場所
一二二（臺灣保甲）	九三式双輕爆	臺灣總督府保甲壯丁團		臺北
一二三（臺灣壯丁團）	同 右	同 右		同 右
一二四（酒井）	小型輸送機	故酒井よね子		東京
一二五（酒井）	小型輸送機	故酒井よね子		東京

（備考）第一號より第一二一號までは昭和七、八、九、十年度本年鑑參照。

報國號（海軍）

第八二（東日本洋服）	艦上戰鬪機	東日本洋服商工組合聯合會	九・七	東京
第八三（青島）	水上偵察機	青島方面在留邦人有志	七・二九	
第八四（第一兒童）	艦上戰鬪機	大日本飛行少年團	九・七	東京
第八五（教育）	九四式艦上輕爆機	全國聯合教職員、兒童、生徒	一〇・三〇	同 右
第八六（女學生）	九五式艦上戰鬪機	全國高等女學校、女子職業並專門學校	（昭和十一年）三・二六	同 右

（備考）第一號より第八二號までは昭和八、九、十年度本年鑑參照。

遞信省航空局總覽

大正八年十一月、軍事航空を除きたる一般航空事業の指導奬勵及取締並國際航空條約の件の施設に關する事項を調査審議する爲め、勅令を以て臨時航空委員會官制を制定し、各省より適任者を委員に任命、陸軍大臣の諮問機關として航空法の立案審議をなす。

大正九年八月、航空委員會を廢止し、航空局創設せられ陸軍大臣の管理に屬す。

大正十二年四月、從來陸軍大臣の管理に屬したる航空局を、爾今遞信大臣の管理に移す。

大正十二年十一月、航空局は遞信省内の一局となる。

事業

航空局に於て處理すべき事項は前揭官制に依つて明かであるが、首要なる事項につき之が實施の情況を具體的に說明すれば左の如くである。

民間航空事業保護、奬勵

一、日本航空輸送會社

二、定期航空補助

日本航空輸送研究所（大阪——高松——松山線）

安藤飛行機研究所（名古屋——神宮線）（新舞子——蒲郡——二見線）

大阪、東京朝日新聞社定期航空會（東京——新潟線）

東京航空輸送社（東京——下田——清水線）

三、設計試作の奬勵

内地航空工業の發達奬勵のため、年々民間航空の情況に應じ、時機に適する目標を定め、之に適合する條件を具備する機體を設計試作せしめ相當の奬勵金を交付す。現在までに實施したもの左の如くである。

（1）大正十四年度

貨客輸送營業用飛行機設計を懸賞を以て募集し、斯界の權威に委囑して審議す。其結果左の如し。

一等　森　盛　重

二等　三木鐵夫

三等　森　眞　助

（2）大正十五年度

大正十四年懸賞に入選せる營業用飛行機の試作を愛知時計電機株式會社に命ず。

本機は各種事情のため年度内に完結せず、翌昭和二年度に完成す。

（3）昭和二年度

中距離用貨客輸送機（滯空時間六時間）の試作を三菱航空機株式會社、中島飛行機製作所に命ず。

右二機の内、中島製作の分は不幸試驗飛行に際し破損、使用に耐へざるに至つたが、三菱の分は前年試作の改造せる愛知機と共に、朝日新聞社東西定期航空會に實用せしめ、概ね所望の性能を發揮した。

（4）昭和三年度

（イ）安定性附加翼（スロテッド・ウイング）を附着せる小型飛行機試作を石川島飛行機製作所に命ず。完成の結果、成績良好にして本邦航空機の同翼附着の動

機を與へた。

（ロ）貨客輸送飛行機用發動機の試作として、當時其目的の最適合を認めらるゝジュピター四五〇馬力發動機二臺を中島飛行機製作所に命ず。完成の結果、概ね所望の性能を得たり。

（5）昭和四年度

遠距離貨客輸送用水上機の試作として、當時川崎造船所に於て所有せるドルニエ・ワール水上艇を改造し、之が馬力を增加し、客室並貨物搭載等の設備を完成し、同年十一月下旬完成す。

（6）昭和五年度

定期航空用機體の内地製作奬勵のため昭和五年五月中島飛行機株式會社に對しフオツカー・スーパーユニバーサル機の試作を命し、昭和六年三月完成す。

（7）昭和六年度

航空發動機用點火栓の國產奬勵の目的を以て、昭和六年八月立川工作所に對し、點火栓一五〇個の試作を命し、昭和七年二月完成す。

（8）昭和七年度

（イ）「スーパー」旅客機の性能を向上し、空氣抵抗を減少せしむるため昭和七年十二月、中島飛行機株式會社に對し、「タウンエンドリング」（壽發動機裝備）の試作を命じ昭和八年二月完成す。

（ロ）航空機用計器類の國產奬勵の目的を以て昭和七年十二月、日本計器製造株式會社に對し特殊自記高度計二個の試作を命じ、昭和八年三月完成す。

（9）昭和十年度

（イ）低空に於て正確なる高度を表示する精密高度計の必要を認め昭和十年六月、東京計器製作所、柳製作所及び日本計器製造株式會社に對し試作を命し、試作品六個の内二個は同年九月、何れも良好の成績を以て完成す。

（ロ）北海道及び北陸方面に到る航空路は、冬季に於ては降雪のため使用飛行機に雪橇を使用せざるべからず。然るに出發點たる東京・大阪等は降雪稀にして雪橇による離着陸は不可能なるを以て、右の航空路に使用すべき飛行機には特殊の降着裝置を裝備する必要あるを以て、昭和十年十月、中島飛行機株式會社に對し飛行機用車輪兼用雪橇の試作を命じ、昭和十一年二月未完成す。

四、航空機維持奬勵金の支給

成るべく多數の完成機を國内に於て保有するため、民間航空機にして破損等の場合修理を實施し、完全なる狀態に復舊したる際には、其の修理費の一部を補助支給す。

昭和三年度に補助した機數一二三

昭和四年度　同　一三一

昭和五年度　同　一三三

昭和六年度　同　一四〇

昭和七年度　同　一六二

昭和八年度　同　一五七

昭和九年度　同　一七七

昭和十年度　同　二一三

五、其の他

以上の外、航空事業に對する保護奬勵の爲め實施し、又は實施しつゝある重なる事項左の如し。

（1）陸海軍に於て不用に歸したる航空機の保管轉換を受け、民間航空事業に拂下げて航空機の所有を容易ならしむ。

（2）飛行機の各種競技會に賞品を下附し、且つ競技會、展覽會等の指導援助をなす。

（3）航空功勞者を表彰す。

（4）航空事業從業者の災害に對し救濟の資に充つる等の爲め、帝國飛行協會に對し、奬勵金を支給す。

航空の指導取締

一、法規の起案制定

國際航空條約に基く國内法規の制定並之に關連する諸法則を起案實施す。其の主なるもの左の如し。

航空法施行規則

航空機檢査規則

航空機乘員試驗規則
飛行場使用規則
航空機乘員體格檢査規則
夜間燈火信號運航に關する規定

二、檢　査

本邦內に於て航空に使用せんとする航空機に對しては、之を航空の用に供し、差支なきことを證明する意味に於て、其の用途に應じ相當の檢査を行ふ。

三、登　錄

檢査に合格せる航空機の所有者の求めに依り、之を本邦機籍に登錄し證明書を交附す。

四、航空勤務者の養成（別項參照）

(1)航空機操縱士　將來、飛行機操縱士たらんとするものを募集し、陸上機操縱者は所澤陸軍飛行學校に、水上機操縱者は霞ヶ浦海軍航空隊に其の教育を委託し、概ね各八ヶ月を以て二等操縱士並二等航空士としての資格を得せしむ。

(2)航空機機關士　將來、航空機機關士たらんとするものを募集し、二ヶ年間之を東京府立工藝學校に委託し、教育の上航空機機關士としての技倆を得せしむ。

航空路設備

一、飛行場

(1)東　京
(2)大　阪
(3)福　岡（第一飛行場／第二飛行場）
(4)那　覇
(5)蔚　山
(6)京　城
(7)新義州
(8)大　連
(9)臺　北

二、航空標識

左記各所に航空標識を設置す。

東京——大阪間
沼津、濱松、龜山
大阪——福岡間
小豆島、今治、宰積、中津、行橋
福岡——大連間
蔚山、黃澗、大田、天安、沙里院、平壤、定州、新義州、貔子窩

三、航空無線電信局

東京、箱根、龜山、大阪、福岡、嚴原、富江、鹿兒島、那覇、蔚山、京城、大連、臺北

歷代航空局長

第一　波多野保二
第二　柳谷酉三
第三　戸川政治

航空局職員錄

（昭和十一年五月一日現在）

局長
航空官（外國在留中）佐々木利吉　片岡直道

監理課
課長書記官　福原敬次
書記官　中尾國次郎
事務官　守屋秀雄
逓信屬　篠田久次郎
同　吉川政治
同　川北要
同　帆足元夫
同　細谷俊夫
同　勝野正恭
同　前川弘一
同　鷲坂愛次
同　倉澤岩雄
同　森岡嘉晝
同　篠原敏鵬
同　森　嚴夫
同　栗本領一
囑託　今泉德治郎
同　村上治雄
同　高野文雄

技術課
課長航空官　新井三郎
同　山田道行
同　森　蕃樹
同　駒林榮太郎
同　西川雋吉
同　南波辰夫
同　石田正規
同　井上喜代司
逓信屬　辻本義德
逓信技手　坂本定治
同　齋藤近之介

同　早川　正

大阪飛行場
同　木目田知
同　井上精一
同　大庭哲夫

東京飛行場
場長航空官　福士　剛
逓信技手　堀井貞泰
同　遊上尙麿
囑託　小原常人

航空局大阪出張所
所長航空官　玉宮善治郎
逓信技手　大場末吉
同　畠山義三郎

鹿屋飛行場航空局駐在員
坂井守太

東京府立工藝學校航空局出張員
池田勝太郎

所澤陸軍飛行學校航空局出張員
鍔本重信

霞ヶ浦海軍航空隊航空局出張員
瀧澤金二郎
兼職事務官
氣象臺技師　築地宜雄
地方技師　近藤榮助
海軍主計中佐　大西達三郎
陸軍航空兵中佐　山瀨昌雄
場長兼航空官　玉宮善治郎
逓信屬　關　俊信
逓信技手　岩崎五郎
同　太田三郎

福岡飛行場
場長航空官　松浦四郎
逓信屬　奈良間俊三
兼職事務官
氣象臺技師　宇都米二
逓信技手　久保忠躬

名古屋飛行場航空局駐在員
奥田鉉一郎
海軍中佐　星　一男
陸軍航空兵中佐　能見義幸
陸軍航空兵少佐　加藤敏雄
陸軍三等主計正　田島　彰
陸軍航空兵中佐　田中友道
東京帝國大學教授
佐々木達治郎
陸軍一等軍醫　園田太郎
朝鮮總督府逓信事務官
岩男省三
關東逓信官署逓信事務官
靱　勉

逓信省養成操縱士（昭和十一年五月現在）

卒業年度	採用人員	教育中事故者	卒業後事故者	卒業後の就職先	
昭和五年	陸軍ニ委託セルモノ 四	○	○	陸軍關係	一
	海軍ニ委託セルモノ 四	一	○	民間航空	三
同六年	陸軍ニ委託セルモノ 四	○	○	陸軍現役	一
	海軍ニ委託セルモノ 四	○	○	民間航空	二
		中途退學		民間航空	四

同七年	陸軍ニ委託セルモノ	四		〇	〇	民間航空	四
	海軍ニ委託セルモノ	四	中途退學	一	〇	海軍關係 民間航空	一 二
同八年	陸軍ニ委託セルモノ	四		〇	〇	陸軍關係	四
	海軍ニ委託セルモノ	四		〇	〇	民間航空	四
同九年	陸軍ニ委託セルモノ	四		〇	〇	陸軍現役 陸軍關係	一 三
	海軍ニ委託セルモノ	四	中途退學	一	〇	民間航空	三
同十年	陸軍ニ委託セルモノ	四		〇	〇	陸軍關係	四
	海軍ニ委託セルモノ	四		〇	〇	民間航空	四

帝國飛行協會總覽

沿革

明治四十四年秋、日本飛行協會創立運動が着手され、大正元年十一月、成立と同時に日本航空協會と改稱、同二年四月、帝國飛行協會と合併、理事制を廢して會長に故侯爵大隈重信、副會長に男爵阪谷芳郎氏を推し、同三年夏、財團法人組織と共に國際航空聯合會に加入、各府縣廳に支部を置いて寄附金募集に努め、同七年國民飛行會と合併して今日に至る。

御下賜金

大正七年八月、畏き邊より協會事業御奬勵の思召をもつて、金五拾萬圓御下賜の恩命を拜す。

總裁奉戴

大正三年十一月三日、允許を得て、久邇宮邦彥王殿下を總裁に推戴す。

昭和四年一月二十七日、久邇總裁宮殿下薨去遊ばさる。

昭和六年九月二十三日、允許を得て、梨本宮守正王殿下を總裁に推戴す。

懸賞競技其他

第一回民間飛行大會 大正三年六月、兵庫縣鳴尾競馬場に於て第一回民間飛行大會擧行。

發動機製作競技 大正三年八月、三萬五千圓の賞を懸けて飛行機用發動機製作競技を實施したが、一等に入選するものなく、大阪島津楢藏氏提出の星型空冷式八〇馬力が二等に當選、賞金壹萬圓を贈る。

所澤—大阪間無着陸飛行 大正六年七月、協會技師後藤正雄はモーリス・ファルマン式(ルノー七〇馬力)一四年型をもつて、所澤飛行場—大阪城東練兵場間無着陸飛行を六時間三十分で遂行し、本邦長距離飛行の記錄を作る。

巡回飛行 大正五、六年に亘り、內地を始め朝鮮各地を本會飛行機をもつて巡回飛行し、航空思想普及宣傳に資す。

第一回懸賞郵便飛行 大正八年十月、東京—大阪間第一回郵便飛行を擧行し、第一日は洲崎より大阪城東練兵場まで。第二日歸還飛行。

第一回遠距離飛行 大正九年四月、東京—大阪間無着陸往復飛行。

第一回懸賞飛行大會 大正九年八月、洲崎飛行場に於て高度、速度、高等飛行術の競技大會を擧行。

第二回懸賞郵便飛行 大正九年十一月、大阪—久留米間第二回郵便飛行。第一日は大阪—岡山—善通寺練兵場。第二日は善通寺—松山—大分練兵場。第三日は大分—福岡縣宇の島—久留米。

第二回懸賞飛行大會 大正十年五月、洲崎飛

行場に於て曲技飛行競技を擧行し、併せて船橋―千葉間の往復飛行による速度競技。

第三回懸賞郵便飛行　大正十年十一月、金澤―廣島間郵便飛行。

第三回懸賞飛行大會　大正十一年六月、千葉縣下志津飛行場に於て高度、離着陸競技。

第四回懸賞郵便飛行　大正十一年八月、東京―盛岡間往復郵便飛行を實施せしも、往復成功者なし。

第五回懸賞郵便飛行　大正十一年十月、東京―大阪間聯絡定期郵便飛行。

第四回懸賞飛行大會　大正十二年六月、下志津飛行場に於て一、二等操縦士には距離飛行、三等操縦士には離着陸競技。

震災郵便飛行　大正十二年九月の關東地方大震災に際し、日本飛行學校、日本航空株式會社東西定期航空會、第一航空學校、福長飛行機研究所等と協同し、飛行郵便を實施。

第一回特別優勝杯競技飛行大會（第五回懸賞飛行大會）大正十三年十二月、伊勢灣外周航續競技。

第一回航空デイスプレー　大正十四年三月、國民新聞社と共同主催、代々木練兵場に於て陸海軍、民間六十餘機參加、高射砲、高射機關銃も出陳し、諸種の高等飛行實施。

第六回懸賞飛行大會　大正十四年四月、代々木練兵場に於て一、二等操縦士には代々木―所澤間リレー、三等操縦士には離陸及高度目測判定競技。

第二回特別優勝杯競技飛行大會　大正十四年十月、京都市附近及近江地方に於て一、二等操縦士の航續競技。

第七回懸賞飛行大會　大正十四年十月、三等操縦士の爲めに離着陸と高度判定競技。

航空デー　大正十四年十二月、民間機八機により東京市上空に於て航空デーを催し航空宣傳に資す。

第二回航空デイスプレー　大正十五年四月國民新聞社と共同主催。代々木練兵場に於て陸軍三十七機、海軍三十四機、民間十八機、其他患者輸送機、航空船、氣球等參加、編隊飛行、高等飛行、落下傘降下、模擬都市爆破等を演じ、夜は特に陸海軍機の東京市模擬爆撃演習を行つた。同時に銀座松坂屋に航空展覽會を開催。

第三回航空デイスプレー　大正十五年十月、大阪に於て陸軍機三十一機、海軍機十一機、民間機二十三機參加し、同時に大丸呉服店に航空展覽會を開催。

第三回特別優勝杯競技飛行大會　大正十五年十一月、明治神宮體育大會競技參加を兼ねて擧行。飛行は入間川、浦和を中心とした地物捜査、整備はマグネトーの着脱、車輪タイヤパンクの應急修理。

第四回航空デイスプレー　昭和二年四月、名古屋城北練兵場に於て陸軍機三十九、海軍機六民間機二十九參加し晝間各種演技を行ひ、夜間は民間二機名古屋市上空を飛翔。

宣傳飛行　昭和二年四月、廣島に於て海軍機三、民間機四、又福山に於て民間機二を以て夫々實施。

太平洋横斷飛行　昭和二年六月、太平洋横斷飛行計畫を發表、調査委員會、實行委員會を設置し、川西航空機製作所試作の横斷機二機を實驗した結果、計畫遂行上困難なる點を發見し、翌三年十一月、この企圖は繼續するも、從來の實施方法を一段落とし、更に改めて考究することにした。

第一回全日本模型飛行競技會　昭和三年八月代々木練兵場に距離、滯空の二種を競技。

御大禮記念第四回特別優勝杯競技大會　昭和三年十月、陸上機は大阪木津川を基點とし、八日市、明野の三角コース、水上機は堺大濱を基點とし、諸種の高等飛行競技を擧行し、併せて船橋―千葉間の往復飛行による速度競技。

第三回懸賞郵便飛行　大正十年十一月、金澤―廣島間郵便飛行。

第三回懸賞飛行大會　大正十一年六月、千葉縣下志津飛行場に於て高度、離着陸競技。

第四回懸賞郵便飛行　大正十一年八月、東京―盛岡間往復郵便飛行を實施せしも、往復成功者なし。

第五回懸賞郵便飛行　大正十一年十月、東京―大阪間聯絡定期郵便飛行。

第四回懸賞飛行大會　大正十二年六月、下志津飛行場に於て一、二等操縦士には距離飛行、三等操縦士には離着陸競技。

震災郵便飛行　大正十二年九月の關東地方大震災に際し、日本飛行學校、日本航空株式會社東西定期航空會、第一航空學校、福長飛行機研究所等と協同し、飛行郵便を實施。

第一回特別優勝杯競技飛行大會（第五回懸賞飛行大會）大正十三年十二月、伊勢灣外周航續競技。

第一回航空デイスプレー　大正十四年三月、國民新聞社と共同主催、代々木練兵場に於て陸海軍、民間六十餘機參加、高射砲、高射機關銃も出陳し、諸種の高等飛行實施。

第六回懸賞飛行大會　大正十四年四月、代々木練兵場に於て一、二等操縦士には代々木―所澤間リレー、三等操縦士には離陸及高度目測判定競技。

第二回特別優勝杯競技飛行大會　大正十四年十月、京都市附近及近江地方に於て一、二等操縦士の航續競技。

第七回懸賞飛行大會　大正十四年十月、三等操縦士の爲めに離着陸と高度判定競技。

航空デー　大正十四年十二月、民間機八機により東京市上空に於て航空デーを催し航空宣傳に資す。

第二回航空デイスプレー　大正十五年四月國民新聞社と共同主催。代々木練兵場に於て陸軍三十七機、海軍三十四機、民間十八機、其他患者輸送機、航空船、氣球等參加、編隊飛行、高等飛行、落下傘降下、模擬都市爆破等を演じ、夜は特に陸海軍機の東京市模擬爆撃演習を行つた。同時に銀座松坂屋に航空展覽會を開催。

第三回航空デイスプレー　大正十五年十月、大阪に於て陸軍機三十一機、海軍機十一機、民間機二十三機參加し、同時に大丸呉服店に航空展覽會を開催。

第三回特別優勝杯競技飛行大會　大正十五年十一月、明治神宮體育大會競技參加を兼ねて擧行。飛行は入間川、浦和を中心とした地物捜査、整備はマグネトーの着脱、車輪タイヤパンクの應急修理。

第四回航空デイスプレー　昭和二年四月、名古屋城北練兵場に於て陸軍機三十九、海軍機六民間機二十九參加し晝間各種演技を行ひ、夜間は民間二機名古屋市上空を飛翔。

宣傳飛行　昭和二年四月、廣島に於て海軍機三、民間機四、又福山に於て民間機二を以て夫々實施。

太平洋横斷飛行　昭和二年六月、太平洋横斷飛行計畫を發表、調査委員會、實行委員會を設置し、川西航空機製作所試作の横斷機二機を實驗した結果、計畫遂行上困難なる點を發見し、翌三年十一月、この企圖は繼續するも、從來の實施方法を一段落とし、更に改めて考究することにした。

第一回全日本模型飛行競技會　昭和三年八月代々木練兵場に距離、滯空の二種を競技。

御大禮記念第四回特別優勝杯競技大會　昭和三年十月、陸上機は大阪木津川を基點とし、八日市、明野の三角コース、水上機は堺大濱を基點とし、

點とし、飾磨、高松の三角コースを競技。

第二回全日本模型飛行機競技會　昭和五年三月、代々木練兵場に於てトラクターに依る距離競技。

北海道樺太飛行　昭和五年五月、協會所屬のオイローパ號を遠藤一等操縦士操縦、新井機關士、安達參事同乘、航空思想の普及宣傳、長距離飛行の試練並航空路の試驗開拓等の目的を以て北海道、樺太各地を飛行。

第三回全日本模型飛行機競技會　昭和六年四月、羽田飛行場に於てトラクターに依る距離競技。參加者四百十七名。

所有飛行機

（協會第一號第二號）　ルムプラー式タウベ型メルセデス・ダイムラー一〇〇馬力二臺。

大正三年一月、獨逸から購入し、同年八月陸軍省に買上げらる。

（第三號）　ルムプラー式改造型　オホストロ・ダイムラー九〇馬力。

大正四年二月、發動機を英國より購入。同年五月、協會所澤飛行場工場で機體製作。

（第四號）「三重號」モーリス・フアルマン式ルノー七〇馬力。

大正四年四月、東京砲兵工廠より發動機及機體購入。三重縣入會寄附者の希望により「三重號」と命名。

（第五號）　モーリス・フアルマン式一四年型ルノー七〇馬力。

大正四年十月、協會所澤飛行場工場に於て機體製作、東京砲兵工廠より發動機購入。

（第六號）「會我號」複葉牽引式。

大阪市會我一郎氏の寄附金中より協會所澤飛行場工場に於て機體製作。發動機は第三飛行場工場に於て機體製作、東京砲兵工廠より發動機購入。號裝備のものを轉用。

（第七號）　モーリス・フアルマン式一四年型ルノー七〇馬力。

大正六年九月、臨時軍用氣球研究會より拂下げを受く。

（第八號）　モーリス・フアルマン式一四年型ルノー七〇馬力。

大正七年一月、協會所澤飛行場工場に於て機體製作。發動機轉用。

（第九號）「在米同胞號」中島式複葉スターテバンド二一〇馬力。

朝鮮同胞寄附金中より大正九年四月、中島飛行機製作所に託して製作。

（第一〇號）「櫻號」川西一二型一號B・M・W五〇〇馬力。

太平洋横斷飛行用として昭和四年七月、川西機械製作所に託して製作。

（第一一號）「オイローパ號　ユンカース式W三三型ユンカース式L五型二八〇馬力。

昭和三年十一月、獨逸フオン・フユーネフエルド男爵より寄贈さる。目下報知新聞社に貸與。

（第一二號）「海外同胞號」瓦斯電式K・R二型旅客機、神風一五〇馬力。

海外在留同胞寄附金中より昭和十年三月東京瓦斯電氣工業株式會社に託して製作。

（第一三號）「ペルー同胞號」相羽式ツバメ六型輕旅客機、神風一五〇馬力。

ペルー在留同胞寄附金中より昭和十一年五月、東京航空株式會社に託して製作。前十二號と共に同社に貸與、エア・タクシー、遊覽飛行等に使用中。

（第一四號）「朝鮮同胞號」瓦斯電式K・R二型輕旅客機、神風一五〇馬力。

朝鮮同胞寄附金中より東京瓦斯電氣工業株式會社に託して製作、朝鮮航空事業社に貸與、定期航空、遊覽飛行等に使用。

但し現存のものは第一一號以下四臺にして他

は自然廢棄。

養成操縱士

大正三、四、五年に亙り、本會に於て養成し又は臨時軍用氣球研究會に託して訓練した操縱士は左の七名である。

（第一期）尾崎行輝　扇野竹治
（第二期）後藤正雄　佐藤要藏
（第三期）後藤勇吉　飯沼金太郎　田中六郎

機關雜誌

大正三年十一月以降、「帝國飛行協會々報」發行、同四年一月、改題して「航空界」となり、市井に頒布。同年十一月號限り廢刊。同七年八月「帝國飛行」發刊、同九年八月號限り休刊。同年十一月、「飛行」發刊、市井に頒布。同十一年十二月號限り廢刊し、當分の內、日本飛行學校出版の「スピード」をもつて機關雜誌とす。同十五年四月、再び「帝國飛行協會々報」を發行し、昭和四年四月、更に「飛行」と改題して爾來今日に至る。

昭和十年三月、別に新聞紙型「飛行時報」を月一回發刊す。

飛行場其他

大正三年十一月、臨時軍用氣球研究會より所澤飛行場の一部使用許可を得、その東北隅に格納庫一棟を建設。同七年撤去。

大正七年、埼玉縣大里郡及群馬縣新田郡地先利根河原を兩縣より借り受け飛行場とす。

昭和七年二月、東京市の許可を得、東京市越中島地先深川浦第六號及第七號埋立地約三十二萬坪を民間飛行機臨時離着陸場として管理することになり、目下東京飛行學校、亞細亞航空學校、小栗飛行學校、帝都在鄉軍人航空研究會、田中航空研究所等を收容し、民間公共練習所の觀を呈し、漸次殷賑の域に達しつゝあり。

尚、各地に於ける飛行場建設に對し、本會が指導奬勵の結果、開設を見たるものは、富山、新潟、香川、大阪、名古屋、都城、桐生、千歲、米澤、山梨、米子、松江及び室蘭、黒木、江戸川、八幡原。

又、既設の飛行場には昭和九年以來百圓乃至千圓の維持費補助をなす。

尚ほ、本會にて管理中の飛行場は前述の尾島深川浦を始め、富山、香川、坂東、中越、桐生各地に亙りつゝあり。

本會所在地

創立當時、日比谷ビルデイング內に事務所を設け、大正四年三月、丸の內三菱二十一號館內に移り、昭和三年三月、芝區田村町一丁目に「飛行館」五階建設の上棟式を擧行、同四年六月竣成して七月一日こゝに全く移轉を終り、地階を食堂とし、一階を陳列室、二階、三階を貸室とし、四階を本會事務所及び會議用其他の廣間とし、五階を講堂に充て、屋上に航空神社を鎭座す。

航空神社

飛行館屋上に航空神社を建設し、民間並に陸海軍航空殉職者三百二十五名の靈を合祀し、昭和六年十一月、遺族其他來賓列席の上鎭座祭を執行し、爾來每年秋季を期して例祭並合祀祭を擧行す。現在靈位六百二十九柱を祀る。

二十週年記念式典

昭和八年は恰も本會創立二十週年に相當し、十月五日　總裁宮殿下の台臨を仰いで記念式典を催し、南遞信大臣の講演をJOAKより全國に放送。又全國の航空デーとなし、各地飛行聯隊、海軍航空隊及び日本航空輸送會社其他定期航空路沿線並に各地飛行學校、飛行機製作所、新聞社等の飛行機にて、「空を護れ」の宣傳ビラ百萬枚を撒布する外、北海道各地、富山、靜岡、奈良、大津、大阪、神戸、姫路、廣島、福岡等二十箇處に於て航空講演會を開催して、全國民に航空の重要性を認識せしむるに效果があつた。

競技奬勵其他

大正十四年十一月、朝日新聞社主催の訪歐飛行完成に對し、金參萬圓を贈與したるを始め、報知新聞社主催の太平洋横斷飛行には當初よりこれが援助に力め、昭和六年五月、奬勵金として金壹萬圓を贈呈、且つ飛行機オイローパ號を貸與した。

昭和六年五月、日本學生航空聯盟代表訪歐飛行奬勵のため金貳千圓を贈與し、同年八月以降日本グライダー協會事業に對し、滑翔機奬勵のため金五百五拾圓を交付し、又、昭和七年十月名古屋新聞社主催の日滿商業懸賞飛行競技に關し、飛行實施を援助したるが、參加操縱士七名に奬勵金各金百五拾圓を交付した。

昭和九年十一月、朝日新聞社主催第一回全日本學生航空選手權大會擧行に付、本會は優賞牌一個を贈呈した。

二等操縱士松本キク子孃及び同馬淵テフ子孃は、昭和九年十一月、各日滿親善飛行を行ひ東京－新京間の飛行を完成に付、各金參百圓を贈與した。

昭和九年九月二十一日、本邦に稀有の颱風襲來し、關東關西に於ける民間航空の被害甚大に付、本會は夫々調査の上、見舞金千參百圓を贈呈した。

大阪府野中貞人氏は豫て熱心にパラシュートを研究し、野中式パラシュート完成に付、昭和九年五月三十一日、奬勵金百圓を贈呈した。

九州帝國大學航空會は創立以來、滑空機の研究に努力し昭和九年九月、其の製作機滑翔試驗に於て滯空一時間二十六分十秒の本邦記錄を作成に付、金貳百圓を、更に同十年十月、滯空四時間十二分の記錄樹立に對し、金參百圓を贈與した。

英國製輕旅客機クレム・イーグル式百二十馬力を購入、單身倫敦から本邦人最初の南方コースを翔破して東京に歸朝した二等操縱士阿野勝太郎氏に金千圓を贈與した。朝鮮出身一等操縱士愼鏞頊氏は內、鮮、滿、支をサルムソン式二

A二型機で連絡翔破し、克く東亞親善の實を擧げたに對し金五百圓を贈與した。

四月一日、東京飛行場に於ける日本飛行倶樂部主催の第七回全國飛行機操縱士競技大會に對し、委員を派して計畫實施に參與せしめ且つ賞金並實行費として金壹千五百圓を補助した。

十月二十八日、大阪盾津陸軍飛行場に於ける大阪朝日新聞社主催の第二回全日本學生航空選手權大會に優勝大楯を贈り、勝者たる神戸高等工業學校航空研究會チームに授與した。

日本學生航空聯盟の事業を助成する爲め、昭和九年以來、每年度補助金貳千圓を贈與してゐる。

地上航空標識

航空の安全を圖ると共に、航空思想普及の一助として全國主要各市町村の學校、停車場、劇場、公會堂等の屋根を利用し、これに簡單な地名又は方位を書き表す方法によつて、地上航空標識の設置を提唱勸說し、福岡縣十七個所、岐阜縣一個所、北海道四個所、神奈川縣三十三個所、新潟縣三個所、沖繩縣二個所及び東京府下一個所に、これが實現を見るに至つた。

操縱士講習會

操縱士の技術向上を圖り、空中航法、氣象學磁氣並に羅鍼盤取扱等二等航空士たるに必要な學術講習會を開き、第一回は二等操縱士三十名を所澤陸軍飛行學校に委託して、昭和八年七月三日より二十二日まで三週間、第二回は一二等操縱士二十三名を十二月一日より二十二日まで橫須賀海軍航空隊に委託し、第三回は昭和九年十二月一日より同二十一日まで、橫須賀海軍航空隊に於て二等操縱士のみ二十名に授業せしめ、昨年度は五月十七日より同二十三日まで深川浦飛行場に於て、一等操縱士一名、二等操縱士二名に對し、所澤陸軍飛行學校教官によつて甲式四型戰鬪機の操縱術を教習した。

操縱士奬勵金

毎年交附しつゝある一二等操縱士奬勵金の昭和十年度分は一等操縱士二十八名(各金參百圓)二等操縱士五十七名(各金貳百圓)に及んだ。

飛行奬勵金其他

操縱士の技術向上と航空思想普及の幇助として昭和八年以來、「飛行奬勵規程」(別項)を實施し、頗る好結果を示したが、昭和十年度に於ては延人員四十一名に及び、總距離二九四五〇粁、交附金額貳千八百五拾圓に上つた。

防空演習參加

昭和九年以來、東京、橫濱、川崎三市聯合防護團防空演習に本會は東京警備司令部、遞信省航空局、警視廳、各地防護團及び飛行機を有する東京附近新聞社、民間飛行學校、日本學生航空聯盟並同海洋部等の贊同を得て義勇飛行隊を組織し、飛行經費の一部を支出しつゝあり。

又、昨年九月一日、名古屋市附近に於ける防空演習に參加したる名古屋飛行學校に對し、所要經費の一部を補助した。

グライダー製作費補助其他

最近、頓にグライダー研究の機運勃興に鑑み研究又は練習用グライダー製作者に限り、本會は一臺に付金參百圓以內の補助金を交附することにし、昭和九年度には九機に對し金貳千四百九拾圓を支出し、十年度に於ては四十八機に金壹萬參千五拾圓を支出した。

又、グライダー飛行を奬勵し、その技倆向上を圖る爲め一級、二級、三級のグライダー飛行證を發行し、一級一名、二級六名、三級五十二名に飛行證を授與した。

尙、茨城縣筑波山頂御幸ヶ原にグライダー常設滑翔練習場を設置した。

航空慰助

昭和十年度中に於ける陸海軍及び民間航空殉職者九十六氏(陸軍三二、海軍六〇、民間六)に對し、本會は香華料又は遺族扶助金を贈呈して、その靈を慰むるところあり、民間負傷者に對しては、その程度に應じ定むるところの見舞金を贈つた。

講演會其他

昭和十年度中に本會講堂及び各地に於ける講演回數は實に四十七回、十三地方に亙り聽衆延人員三萬名に達し、この中過半數は航空映畫を添へ、JOAK(東京)中繼の全國放送一回の講演をした。

又、各地に於ける博覽會、展覽會に本會より飛行機模型、圖譜其他航空參考資料を出品陳列したる回數は十四回、出品數三百四十四點に及んだ。

宣傳紙其他

毎月、機關雜誌「飛行」發行の外に、新聞紙型菊版半截八頁の「飛行時報」を、昭和十年三月十五日より毎月十五日一回發行し、技術研究、內外航空事情等を網羅し、會員其他に配布して、航空思想の普及宣傳に資し、又別に隨時印行の印刷物は實に繪葉書其他十四種四十一萬六千五百餘部に達した。

昭和十一年度飛行場建設維持費補助規程

第一條　本規程ハ本年度內飛行場建設竝ニ維持費補助ニ關スルコトヲ規定ス

第二條　民間飛行場(航空法第二十九條但書後段ノ規定ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルモノヲ含ム)ノ建設及ヒ維持、整備ヲ助成スル爲申請ニ依リ其ノ地域ノ廣狹、利用價値ノ多寡、建設費若ハ維持費支辨ノ難易等ヲ參酌シ當該建設者又ハ管理者ニ對シ豫算ノ範圍內ニ於テ金千圓以內ノ補助金ヲ贈與ス

第三條　飛行機ノ發着シ得ヘキ地域若ハグライダー滑走場ヲ建設シ又ハ之ヲ維持、整備スル者ニ對シテハ申請ニ依リ前條ノ規定ニ準シ補助金ヲ贈與ス

第四條　前二條ノ補助金ヲ受ケントスル者ハ左記書類ヲ本會ニ提出スヘキモノトス

一、飛行場(グライダー滑走場)建設(維持)費補助申請書(様式第一略)(本申請書ニハ所在市町村長ノ認定奥書ヲ受クルコト)

二、飛行場(グライダー滑走場)調査書(様式第二略)

三、前年度中飛行場(グライダー滑走場)竝ニ(維持)費計算書(様式第三略)

四、本年度中飛行場(グライダー滑走場)建設(維持)費豫算書(様式第三略)

五、既往一ヶ年間飛行場利用狀況調(様式第四略)

飛行場又ハグライダー滑走場建設費ノ補助ヲ申請スル者ハ前項第五號飛行場利用狀況調ニ替ユルニ飛行場利用計畫書ヲ添付スヘキモノトス

第五條　本規程ニ依ル提出書類ハ其ノ所在地ヲ管スル本會地方本部長(朝鮮及臺灣ニ在リテハ聯合地方本部長)ヲ經由スヘキモノトス

昭和十一年度飛行機操縱士奬勵規程

第一條　本規程ハ本年度飛行機操縱士奬勵金贈與ニ關スルコトヲ規定ス

第二條　本年度內遞信省、朝鮮總督府、臺灣總督府若ハ關東局ヨリ初メテ一等若ハ二等飛行機操縱士免狀ヲ受ケタル本邦人ニハ豫算ノ範圍內ニ於テ左ノ通奬勵金ヲ贈與ス

一等飛行機操縱士　金五百圓以內

二等飛行機操縱士　金貳百圓以內

第三條　自己ノ出費ニ依ラシテ操縱術ヲ修得シタル二等飛行機操縱士及ヒ航空機乘員試驗規則第六條ノ試驗ヲ行ハレサリシ者ニ對シテハ前條及ヒ第四條ノ規程ヲ適用セス

第四條　一等飛行機操縱士ノ免狀ヲ受ケタル者ニシテ既ニ本會ヨリ二等若ハ三等飛行機操縱士奬勵金ヲ贈與シタル者竝ニ二等飛行機操縱士トナル迄若ハ其以後ニ於テ自己ノ出費ニ依ラシテ操縱術ヲ修得シタル者ニ對スル奬勵金ハ金參百圓以內トス

第五條　第二條及ヒ前條ニ依リ奬勵金ヲ受ケントスル者ハ左ノ書類ヲ本會ニ提出スヘキモノトス

奬勵金授與願　(様式第一略)

履歷書　(様式第二略)

一等(二等)飛行機操縱士免狀寫

戸籍謄本

寫眞（既往六ケ月以內ニ撮影シタル半身脫帽手札形）二葉

第六條　他ヨリ補助又ハ給與ヲ受クルコトナク全ク自己ノ經費ヲ以テ二等飛行機操縱士ヲ養成シ且將來ニ何等ノ義務ヲ課セサルコトヲ保證スル者ニ對シテハ其ノ養成操縱士一人ニ付豫算ノ範圍內ニ於テ金百圓以內ノ奬勵金ヲ贈與ス

第七條　前條ニ依リ養成シタル二等飛行機操縱士ニシテ航空機乘員試驗規則第六條ノ試驗ヲ行ハレサリシ者ニ對スル奬勵金ハ之ヲ贈與セス

第八條　第六條ニ依リ奬勵金ヲ受ケントスル者ハ左記書類ヲ本會ニ提出スヘキモノトス

奬勵金授與願　（樣式第三略）

養成二等飛行機操縱士ノ免狀寫

同　履歷書（樣式第二略）

同　寫眞（既往六ケ月以內ニ撮影シタル半身脫帽手札形）二葉

同　無料修業證明書（樣式第四略）

第九條　本規程ニ依リ本會ニ提出スヘキ書類ハ本會地方本部（朝鮮及臺灣ニ在リテハ聯合地方本部）ヲ經由スヘキモノトス

第十條　前年度規程該當事項ニシテ其ノ年度內完結セサリシモノハ本規程ヲ適用ス

昭和十一年度民間航空者慰助規程

第一條　本規程ハ昭和十一年度本協會民間航空者慰助金（以下單ニ慰助金ト稱ス）ノ交付ニ關スル事ヲ規定スルモノトス

第二條　慰助金ヲ分チテ左ノ四種トス

一、扶助金

二、負傷手當金

三、香花料

四、負傷見舞金

第三條　慰助金ハ本邦民間航空者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者各其ノ職務執行ノ爲航空機ニ搭乘シ航空中自己ノ重大ナル過失ニ因ルニアラスシテ死亡若ハ負傷シタルトキ其ノ遺族又ハ本人ニ之ヲ交付スルモノトス

但外國ニ於テ外國若ハ外國人ノ爲ニ死傷シタル場合ヲ除ク、又航空中ニ非ルモ當該職務執行中航空機又ハ同器材ノ爲負傷若ハ死亡シタルトキハ特別ノ詮議ニ依リ本條ノ例ニ準スルコトヲ得

一、航空機操縱士、同航空士、同機關士、通信士

二、航空機操縱生、同機關生、其ノ他ノ空中勤務者

第四條　慰助金額竝ニ其ノ區分ハ左表ニ依ルモノトス

第五條　前條慰助金ハ願出ニ依リ交付スヘシ但シ第四條ノ場合ニ於テハ豫算ノ範圍內ニ於テ第三條及ヒ第四條ノ飛行奬勵金（以下奬勵金ト略稱ス）ヲ贈與ス

第三條　場外飛行奬勵金ハ本年度內一人ニ付金參百圓ヲ限度トシ無着陸水飛行區間ノ直線距離一粁ニ付使用飛行機ノ裝備發動機三百馬力以上ノ場合ハ金拾五錢以內、二百馬力以上ノ場合ハ金拾參錢以內、二百馬力未滿ノ場合ハ金拾錢以內ヲ各燃料消費量ヲ顧慮シ贈與スヘキ其ノ贈與額ハ前項ノ規定ニ基キ左記ニ依リ之ヲ定ム

區分	負傷手當金			負傷見舞金	香花料
	イ號	ロ號	ハ號		
扶助金					
航空機操縱士、同航空士、同機關士、通信士	金三千圓以內	同上	金千八百圓以內	金九百圓以內	同上
航空機操縱生、同機關生、其ノ他ノ空中勤務者	金六百圓以內	同上	金四百圓以內	金二百圓以內	同上

一、負傷手當金

イ、附添人アルニ非レハ自用ヲ辨スル能ハサル者

ロ、癈疾トナリ終身職業ニ就クコト能ハサル者

ハ、終身不具トナリ輕易ナル職業ニ就クコトヲ得ル者

二、負傷見舞金

治療ニ十日以上ヲ要スル者

第六條　扶助金及ヒ香花料ハ左ノ順序ニ從ヒ遭難當時當該本人ト同一戶籍內ニ在ル者ニ之ヲ交付スルモノトス

寡婦、子、父母、祖父母、兄弟、姉妹

第七條　第二條ノ扶助金ヲ受ケントスル者ハ下附願書及ヒ印鑑證明書ニ遭難者ニ關スル左記書類ヲ添付シ地方本部（朝鮮及ヒ臺灣ニ在リテハ聯合地方本部）ヲ經由シ本會ニ提出スヘキモノトス

一、戶籍謄本

二、履歷書

三、航空機搭乘員免狀寫若ハ職務ヲ以テ航空機ニ搭乘シタルコトヲ證スルニ足ルヘキ書類

四、遭難報告書（航空ノ目的、遭難當時ノ狀況及ヒ危險防止ノ爲ニ講シタル方法等ヲ詳細ニ記載シ要スレハ圖面又ハ寫眞ヲ添付ス）

五、死亡證明書（戶籍謄本ニ死亡ノ記載アラサルモノニ限ル）

同條第二、第三號ノ慰助金ヲ受ケントスルモノ亦之ニ準ス但本條第五號ノ死亡證明書ニ替ユルニ醫師ノ診斷書ヲ以テスルモノトス

昭和十一年度飛行奬勵規程

第一條　本規程ハ昭和十一年度飛行奬勵金贈與ニ關スルコトヲ規定ス

第二條　飛行機操縱士タル本邦人ニシテ本年度內本協會ノ技倆向上ノ目的ヲ以テ飛行スル者ニ對シテハ豫算ノ範圍內ニ於テ第三條及ヒ第四條ノ飛行奬勵金（以下奬勵金ト略稱ス）ヲ贈與ス

第三條　場外飛行奬勵金ハ本年度內一人ニ付金參百圓ヲ限度トシ無着陸水飛行區間ノ直線距離一粁ニ付使用飛行機ノ裝備發動機三百馬力以上ノ場合ハ金拾五錢以內、二百馬力未滿ノ場合ハ金拾參錢以內、二百馬力未滿ノ場合ハ金拾錢以內ヲ各燃料消費量ヲ顧慮シ贈與スヘキ其ノ贈與額ハ前項ノ規定ニ基キ左記ニ依リ之ヲ定ム

項目	贈與額	記事
飛行經路		
甲、乙、丙其ノ他各地ニ着陸水シツツ巡回飛行ヲナシ再ヒ甲地ニ歸還スル場合出發地點ヨリ直線距離最モ大ナル着陸水地點以後ノ飛行	三割減	出發地點ヨリ直線距離最モ大ナル到達地點迄ノ往復直線距離ニヨリ奬勵金ヲ贈與ス此ノ場合右地點所在市町村長若ハ警察官吏等ノ通過證明提出ヲ要ス
概ネ定期航空路ニ沿ヒ飛行スルモノ	二割減	
途中無着陸水ニテ出發地點ニ歸還スルモノ	一割減	最初ノ一回ヲ限リ贈與ス
一定區間ヲ定期的ニ航空スヘキモノ		狀況ニ依リ第二回以後ニ於テモ贈與スルコトアリ此ノ場合ニ於ケル奬勵金ハ三割以上ヲ減額ス

無着陸水飛行區間ノ直線距離	備考
五百粁以上全額	
二百粁以上一割減	
百粁以上二割減	
百粁未滿贈與セス	一、二以上ノ減額事項ニ該當スル場合ハ當該減額率ノ合計ヲ以テ減額率トス 二、定期航空ニ使用シアラサル新設飛行場ニ離着陸スル者ニ對シテハ本條ノ減額率ヲ低下スルコトヲ得

第四條　特殊飛行ニ對スル奬勵金ハ左記ニ依ル

項目		贈與額	記事
夜間飛行	連續三十分以上	拾五圓以内	日沒後一時間ヨリ日出前一時間ニ至ル間ニ於テ實施スルモノトス
	連續一時間以上	貳拾五圓以内	月明時ニ於テ飛行スルモノニ對シテハ所定額二割ヲ減ス
高度飛行	四千米以上	拾圓以内	同一人ノ飛行ニ付本年度内五回（可成連續的ニ行フヲ要ス）以内ヲ限リ贈與ス
	五千米以上	拾五圓以内	同一人ノ飛行ニ付本年度内五回（可成連續的ニ行フヲ要ス）以内ヲ限リ贈與ス
備考			第三條ノ飛行ト本條ノ飛行ト同時ニ實施スルモノハ兩條ノ奬勵金ヲ併セ贈與スルモノトス

第五條　左記各號ノ一ニ該當スル者ニ對シテハ奬勵金ヲ贈與セス

一、飛行機操縱士試驗其ノ他官ノ命令又ハ官公署等ノ依託ニ依リ航空スルモノ

二、營業、興業官傳飛行其ノ他他ヨリ報酬又ハ給與ヲ受ケ飛行スルモノ

三、官公費若ハ之ニ準スル經費ニ依リ又ハ他ヨリ補助ヲ受ケ飛行スルモノ

第六條　本規程竝ニ一般航空法規ヲ遵守セサル飛行ニ對シテハ其ノ既ニ發シタル承認ヲ取消シ若ハ奬勵金ヲ減額シ又ハ之ヲ贈與セサルコトアルヘシ

第七條　奬勵金ヲ受ケントスル者ハ豫メ申請書ニ必要ナル書類ヲ添付提出シ本會ノ承認書到達ヲ俟テ飛行ヲ實施スルモノトス其ノ飛行終了シタル場合ハ實施報告書ニ必要ナル書類ヲ添付提出スヘキモノトス

申請書、實施報告書竝ニ添付書類ノ樣式及ヒ其ノ提出期日ハ左記ニ依ルヘキモノトス

第八條　本會ノ承認ヲ受ケ場外飛行及ヒ夜間飛行ヲ實施スル者ニシテ着陸（水）シタル場合ハ其ノ豫定セルトセサルトニ拘ラス其ノ都度第一表ニ依リ本會ニ電報スヘキモノトス

第九條　本規定ニ依ル申請報告書類ハ前條ニ依ル着陸（水）電報ノ外本會地方本部（朝鮮及ヒ臺灣ニ在リテハ聯合地方本部）ヲ經由スヘキモノトス

第十條　本規程ニ規定セサル事項ニ對シテハ其ノ都度定ムルモノトス

項目		飛行奬勵金授與申請書類	飛行實施報告書類
場外飛行	申請書	提出期日	提出期日
	申請書（樣式第一略）	實施二週間前ニ到達ノコト	實施後一週間以内ニ到達ノコト
特殊飛行	同右	同右	同右

飛行實施報告書（樣式第二略）
一、實施報告書（樣式第二略）
二、飛行場調査書（着陸セル場所ニ付調査シ樣式第三ニヨリ各一通宛）
一、實施報告書（樣式第五略）但書同上
二、飛行實施ヲ證明スヘキ書類（例ヘハ地方官公吏ノ證明書等ノ如シ）
三、高度飛行ニ在リテハ自記高度計及ヒ自記記錄紙

昭和十一年度グライダー製作維持費補助規程

第一條　本規程ハ本年度内グライダー製作、維持費補助ニ關スルコトヲ規定ス

第二條　營利ヲ目的トセサルグライダーノ研究又ハ練習團體ニシテ其ノ事業ノ用ニ供スル爲グライダーヲ製作シタル場合ハ申請ニ依リ其ノ利用方法、利用效果等ヲ參酌シ豫算ノ範圍内ニ於テ一機ニ付左ノ金額ヲ補助ス

プライマリー機　金貳百圓以内
セコンダリー機　金參百圓以内
ソアラー機　金五百圓以内

他ヨリ補助又ハ給與ヲ受ケ製作シタル場合ハ其ノ金額ヲ控除シ補助額ヨリ扣除ス

第三條　前條ノ補助金ヲ受ケントスル者ハ當該グライダー製作前左記書類ヲ本會ニ提出シ其ノ承認ヲ受クヘキモノトス

一、グライダー製作費見積書
二、設計仕樣書
三、製作契約書寫（自ラ製作スル者ハ不要）

（本申請書ニハ所在市町村長又ハ所屬學校長（專門學校以上ノ場合ニ限ル）ノ認定書ヲ受クルコト）

一略）

四、研究又ハ練習團體内容調書（樣式第二略）

五、練習場圖（樣式第三略）（研究團體ハ不要）

六、登錄證明書寫及ヒ堪航證明書寫（第四條ノ標識及ヒ機體全部ヲ認識シ得ルモノ）

第四條　前條ニ依リ本會ノ承認ヲ受ケタル者ハグライダーヲ製作シ樣式第四ノ要領ニ依リ其ノ機體ニ標識ヲ附シ本會ノ指示スル番號ヲ併記スヘキモノトス

第五條　前二條ニ依リ承認ヲ受ケ製作ヲ完了シタル場合ハ其ノ一週間以内ニ左記書類ヲ一機毎ニ取纏メ本會ニ提出スヘキモノトス

グライダー完成報告書（樣式第五略）
グライダー製作費計算書
登錄證明書寫及ヒ堪航證明書寫

第六條　第三條ノ承認後滿六ケ月以内ニ前條ノ報告ヲ提出セサル者ニ對シテハ第二條ノ補助金ヲ贈與セス但特別ノ事情アル場合ハ事由ヲ具シ期間延長ニ付本會ノ承認ヲ受クヘキモノトス

第七條　本規程ニ依リ補助ヲ受ケ製作シタルグライダーヲ製作後滿二ケ年以内ニ他人ニ貸與シ又ハ讓渡セントスル場合ハ豫メ其ノ理由、價格等ヲ具シ本會ノ承認ヲ受クヘキモノトス

第八條　本規程ニ依リ補助ヲ受ケグライダーヲ

製作シタル者ハ製作後滿一ヶ年間毎月五日迄ニ前月中ノ使用月報（樣式第六略）ヲ本會ニ提出スヘキモノトス

第九條　本規程ニ依リ補助ヲ受ケグライダーヲ製作後滿一ヶ年ヲ經過シタル者ニ對シテハ申請ニ依リ其ノ使用ノ經過、機體ノ現狀等ヲ考査シ維持費金五拾圓以內ヲ贈與ス

第十條　前條ニ依リ維持費ヲ受ケントスル者ハ左記書類ヲ本會ニ提出スヘキモノトス

グライダー維持費授與申請書（樣式第七略）

堪航證明書寫

第十一條　本規程ニ依ル申請報告書類ハ本會地方本部（朝鮮、臺灣ニ在リテハ聯合地方本部）ヲ經由提出スルモノトス

第十二條　前年度規程ニ依ル未完結ノ事項ハ本年度內其ノ規程ニ從フ

本規程ニ依リ本年度內完結セサル事項ハ翌年度ニ其ノ效力ヲ及ホスモノトス

グライダー飛行奬勵規程

第一條　本規程ハグライダー飛行奬勵ニ關スルコトヲ規定ス

第二條　本規程ハ本邦ニ於テグライダー飛行ヲ行フ本邦人ニシテ樣式第一ニ據ルグライダー飛行手帖ニ其ノ飛行ヲ記錄スル者ニ適用ス

第三條　本規程ニ依リ本會ニ提出スヘキ書類ハ其ノ住所ヲ管スル本會地方本部長（朝鮮及ヒ臺灣ニ在リテハ聯合地方本部長）ヲ經由スルモノトス

第四條　グライダー飛行團體指導者ハ豫メ本會ノ承認ヲ受クルニ非レハ本規程ニ定ムル職務ヲ執行シ得サルモノトス

第五條　本會ハ第六條ニ規定スル資格ヲ有スル者ニ對シ所屬團體指導者ノ申請ニ依リグライダー飛行證（樣式第二略）ヲ交付ス其ノ種類左ノ如シ

三級グライダー飛行證

二級グライダー飛行證

一級グライダー飛行證

但シ本會ニ於テ資格充分ナリト認ムル者ニ對シテハ第五條ノ規定ニ據ラス優位ノグライダー飛行證ヲ交付スルコトヲ得

第六條　グライダー飛行證ノ交付ヲ受ケントスル者ハ左ノ資格ヲ具フルヲ要ス

一、三級グライダー飛行證ノ交付ヲ受ケントスル者

イ、既往六ヶ月以內ニ自ラグライダーヲ操縱シ三十回以上ノ飛行ヲ終了シタルコト

ロ、イ號ノ飛行ニ於テ滯空時間二十秒以上ノ飛行ヲ三回以上終了シタルコト

ハ、ロ號ノ飛行終了後滯空時間三十秒以上ニシテ指定地ニ正規着陸スル飛行一回ヲ終リタルコト

二、二級グライダー飛行證ノ交付ヲ受ケントスル者

イ、三級グライダー飛行證受有者ニシテ當該證受領後自ラグライダーヲ操縱シ二十回以上ノ飛行ヲ終了シタルコト

ロ、イ號ノ飛行ニ於テ滯空時間四十五秒以上ニシテ指定地ニ正規着陸スル飛行ヲ三回以上終了シ且左右旋回各一回以上ヲ終了シタルコト

ハ、ロ號ノ飛行終了後滯空時間一分以上ニシテS字型旋回ヲナシ且指定地ニ正規着陸スル飛行一回ヲ終リタルコト

三、一級グライダー飛行證ノ交付ヲ受ケントスル者

イ、二級グライダー飛行證受有者ニシテ當該證受領後自ラグライダーヲ操縱シ二十回以上ノ飛行ヲ終了シタルコト

ロ、イ號ノ飛行ニ於テ滯空時間五分以上

ノ飛行ヲ十回以上終了シ且8字型旋回飛行、出發地點着陸各一回ヲ終了シタルコト

ハ、ロ號ノ飛行終了後出發地點又ハ夫以上ノ高度ヲ以テ五分以上ノ滑翔飛行一回ヲ終リタルコト

第七條　前條資格ノ認定ハ當該本人ノ所有スルグライダー飛行手帖ニ依リ之ヲ行フ

第八條　グライダー飛行證ノ交付ヲ受ケントスル者ハ左記書類ヲ所屬團體指導者ニ提出スヘシ

グライダー飛行手帖

飛行記錄（申請ニ必要ナル部分ヲグライダー飛行手帖より謄寫シタルモノ）

所有グライダー飛行證寫

所屬團體指導者ハ前項ノ書類ヲ查閱シ第二條及ヒ第五條ニ該當スルトキハ之ヲ樣式第三ニ依ルグライダー飛行證交付申請書ニ添付本會ニ提出スヘシ

第九條　本規程ノ適用ヲ受クル者ハグライダー飛行間グライダー飛行手帖ヲ携帶スヘシ

第十條　グライダー飛行手帖ヲ亡失シタルトキハ直チニ之ヲ作製スヘシ其ノ既ニ記載シアリタル飛行記錄ハ所屬團體指導者ノ保證奥書ヲ受ケ新グライダー飛行手帖ニ貼付スヘシ

第十一條　グライダー飛行證ヲ亡失シタルトキハ事由ヲ具シ再發行ヲ申請スヘシ

第十二條　グライダー飛行ニ付本邦記錄ヲ更新シタル者ニ對シテハ別ニ定ムル處ニ從ヒ表彰ス

第十三條　本規程實施ノ爲必要ナル事項ハ其ノ都度定ム

附　則

本規程ハ昭和十年四月一日ヨリ實施ス

本規程實施ノ日ヨリ六ヶ月以內ニグライダー飛行證ノ交付ヲ受ケントスル者ノ提出スヘキ飛行記錄中所有グライダー飛行手帖ニ記載シアラサル部分ニ對シテハ所屬團體指導者ノ保證奥書ヲ要ス

昭和十一年度超輕飛行機購買補助規程

第一條　本規程ハ本年度內五十馬力未滿ノ國產超輕飛行機購買補助ニ關スルコトヲ規程ス

第二條　新ニ製作シタル五十馬力未滿ノ國產超輕飛行機（以下超輕飛行機ト略稱ス）ヲ購買シタル者ニ對シ申請ニ依リ其ノ利用方法、利用效果等ヲ參酌シ豫算ノ範圍內ニ於テ一機ニ付金壹千圓以內ヲ補助ス

第三條　前條ノ補助金ヲ受ケントスル者ハ豫メ左記書類ヲ本會ニ提出シ其ノ承認ヲ受クヘキモノトス

一、超輕飛行機購買補助申請書（樣式第一略）

〔本申請書ニハ所在市區町村長又ハ所屬學校長（專門學校以上ノ場合ニ限ル）ノ認定奥書ヲ受クルコト〕

二、購買契約書寫

第四條　前條ニ依リ本會ノ承認ヲ受ケタル者ハ樣式第二ノ要領ニ依リ機體ニ標識ヲ附シ本會ノ指示スル番號ヲ併記スヘキモノトス

第五條　前二條ノ手續及ヒ購買ヲ了シタル場合ハ左記書類ヲ一機毎ニ取纏メ本會ニ提出スヘキモノトス

一、超輕飛行機購買報告書（樣式第三略）

二、登錄證明書及ヒ堪航證明書寫

三、寫眞（第四條ノ標識及ヒ機體全部ヲ認識シ得ルモノ）

第六條　第三條ノ承認後六ヶ月以內ニ前條ノ報告ヲ提出セサル者ニ對シテハ第二條ノ補助金ヲ贈與セス但特別ノ事情アル場合ハ事由ヲ具シ期間延長ニ付本會ノ承認ヲ受クヘキモノトス

第七條　本規程ニ依リ補助ヲ受ケ購買シタル超輕飛行機ヲ購買後滿二ヶ年以內ニ他人ニ貸與

シ又ハ譲渡セントスル場合ハ豫メ其ノ理由、價格等ヲ具シ本會ノ承認ヲ受クヘキモノトス

第八條　本規程ニ依リ補助ヲ受ケ超輕飛行機ヲ購買シタル者ハ購買後滿二ヶ年間毎月五日迄ニ前月中ノ使用月報（樣式第四略）ヲ本會ニ提出スヘキモノトス

第九條　本規程ニ依ル申請報告書類ハ本會地方本部長（朝鮮、臺灣ニ在リテハ聯合地方本部長）ヲ經由提出スルモノトス

第十條　本規程ニ依リ本年度內完結セサル事項ハ翌年度ニ其ノ效力ヲ及ホスモノトス

財團法人 帝國飛行協會寄附行爲

（昭和十年三月十八日改正）

第一章　總　則

第一條　本會ハ航空ニ關スル諸般ノ進歩發達ヲ奬勵シ且其ノ趣味智識ノ普及ト會員相互研究ノ便利トヲ謀ルヲ以テ目的トス

第二條　本會ハ帝國飛行協會ト稱ス

第三條　本會ハ事務所ヲ東京市芝區田村町一丁目三番地一ニ置キ必要ニ應シ各地ニ支部又ハ特別ナル機關ヲ設ク

第四條　本會ハ　皇族ヲ推戴シテ總裁トス

第二章　會　員

第五條　本會ハ　皇族王族ヲ推戴シ特別名譽會員トス

又理事會ノ推薦ニ依リ名譽會員ヲ置クモノトス

第六條　本會ノ趣旨ヲ賛成シ金拾圓以上ヲ寄附シタル者ヲ會員トシ金拾圓未滿ノ寄附者ヲ賛助員トス

第七條　會員ニハ別ニ定ムル所ノ會員章ヲ贈リ本會慶遇ノ義ヲ明カニス

第八條　會員ハ其ノ寄附金ノ使途ヲ指定スルコトヲ得

第三章　資　産

第九條　本會ノ資產ハ左ニ揭クルモノヲ以テ之ヲ組成ス

一、大正七年八月五日ノ御下賜金

二、寄附金

三、本會ノ事業又ハ財產ヨリ生スル收益

四、其ノ他本會ニ於テ取得スル財產

第十條　左記各號ノ資產ヲ以テ本會ノ基本財產トス

一、前條第一號ノ資產

二、基本財產トシテ指定寄附ノ金錢及ヒ物件

三、理事會ニ於テ基本財產ト議定シタル財產

第十一條　本會一切ノ經費ハ基本財產以外ノ資產ヲ以テ支辨シ其ノ剩餘ハ之ヲ翌年度ヘ繰越シ又ハ本會基本財產ニ繰入ル

第十二條　本會ノ會計年度ハ每年四月一日ヨリ起リ翌年三月三十一日ニ終ル

第四章　評　議　員

第十三條　本會ニ評議員百名以上ヲ置ク

第十四條　評議員ハ會長ノ推薦ニ依リ總裁之ヲ囑託シ其ノ任期ハ三ヶ年トス

評議員ハ名譽職トス

第十五條　評議員會ハ會長ノ招集ニ依リ之ヲ開ク

評議員會ノ議長ハ會長トシ出席員ノ過半數ヲ以テ議決ス

可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第五章　理事及監事

第十六條　本會ニ理事三十名以內監事五名以內ヲ置キ評議員會ニ於テ之ヲ互選シ其ノ任期ハ三ヶ年トス但再選スルコトヲ得

理事及ヒ監事ハ常務者ノ外名譽職トス

第十七條　理事ノ互選ニ依リ會長一名、副會長三名以內ヲ置ク

會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表シ且總裁事故アル場合又ハ已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ於テハ總裁ノ職務ヲ執行ス副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ其ノ任務ヲ代理ス

會長、副會長共ニ事故アルトキハ理事中ノ年長者其任務ヲ代理ス

第十八條　理事、監事任期滿了ノ場合ニ於テ其ノ後任者ノ就職スル迄ハ前任者ニ於テ其ノ職務ヲ行フモノトス

理事、監事ノ補缺員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第十九條　理事會ノ議長ハ會長トシ出席員ノ過半數ヲ以テ議決ス

可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

但寄附行爲ノ變更及ヒ基本財產ノ支出ハ理事三分ノ二以上ノ同意アルニ非サレハ之ヲ議決スルコトヲ得ス

寄附行爲ノ變更ハ主務官廳ノ認可ヲ受クルヲ要ス

第二十條　理事ハ年度開始前豫算ヲ調製ス

前年度ノ事業報告、收支決算報告等ハ雜誌「飛行」ニ揭載ス

第二十一條　理事ハ年度終了後ニ於テ前年度ノ事業報告、收支決算、財產目錄、貸借對照表ヲ作リ監事ノ承認ヲ經テ評議員會ニ報告スヘキモノトス

附　則

本改正ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ實施スルモノトス

本改正實施以前ニ會員タリシモノハ本改正ニ拘ハルコトナク依然會員タルノ資格ヲ有スルモノトス

財團法人 帝國飛行協會會則

（昭和十年三月十八日改正）

第一章　總　則

第一條　本會ノ會務ハ帝國飛行協會寄附行爲ニ定ムルモノノ外本會則ニ依リ取扱フモノトス

第二章　會　員

第二條　本會ノ會員ハ左ノ七種トス

一、特別名譽會員　本會寄附行爲第五條ニ依ルモノ

二、名譽會員　理事會ニ於テ推薦シタルモノ

三、特別有功會員　金壹萬圓以上ヲ一時ニ若ハ十ケ年以內ニ年賦ヲ以テ寄附スルモノ

四、有功會員　金壹千圓以上ヲ一時ニ若ハ十ケ年以內ニ年賦ヲ以テ寄附スルモノ

五、維持會員　本會ノ維持資金トシテ每年左ノ金額一口以上醵出スルモノ

一口ノ金額ヲ壹百圓トス

六、特別會員　金壹百圓以上ヲ一時ニ若ハ十ケ年以內ニ年賦ヲ以テ寄附スルモノ

七、正會員　一時ニ金拾圓以上ヲ寄附シタルモノ

法人又ハ團體ヲ以テ本條ノ會員タルコトヲ得

右ノ外本會ノ事業ヲ賛助シ拾圓未滿ノ金員ヲ一時ニ寄附シタル者ヲ賛助員トス

物件ノ寄附者モ亦前各項ニ准シ之ヲ取扱フモノトス

本會ノ會務ニ付功績アル者ハ別ニ定ムル處ニ從ヒ會員ニ列スルコトヲ得

第三條　會員ハ本會主催ノ航空**デイスプレー**、競技會、展覽會、映畫會、講演會其他航空宣傳ニ關スル會合等ニ招待セラレ又圖書閱覽竝ニ飛行館內ノ使用等ニ關シ特別ノ便宜ヲ受クルコトヲ得

本會ヘノ寄附者ハ其ノ額ニ依リ褒章條例ノ適

用ヲ受クルモノトス又正會員以上ニハ寄附金額ニ應シ定ムル期間本會機關雜誌「飛行」「飛行時報」ヲ贈呈ス

第四條　使途指定ノ寄附金ハ別途ニ之ヲ整理シ其ノ使用ニ當リテハ寄附者ノ氏名ヲ冠稱スルコトヲ得

第五條　入會ノ拒絶及ヒ會員ノ除名ハ理事會ニ於テ之ヲ議決シ其理由ハ之ヲ告知セサルモノトス

第三章　顧　問

第六條　本會ニ顧問若干名ヲ置ク

顧問ハ會員中ヨリ會長ノ推薦ニ依リ總裁之ヲ囑託ス

第七條　顧問ハ理事會、評議員會ニ出席シ意見ヲ陳フルコトヲ得

第四章　審　査　員

第八條　航空ニ關シ必要ナル事項ヲ諮問スル爲メ審査員ヲ置ク

但必要ニ應シ臨時審査員ヲ置クコトヲ得

第九條　審査員ハ會長ノ推薦ニ依リ總裁之ヲ囑託ス

第十條　審査員ハ必要ニ應シ會長其ノ全部若ハ一部ヲ招集シ會長議長トナリ會議ヲ開クモノトス

第十一條　審査員ノ任期ハ三ヶ年トス

第十二條　審査員ハ名譽職トス

第五章　圖書及ヒ陳列室

第十三條　本會ハ機關雜誌「飛行」「飛行時報」ヲ發行ス

第十四條　本會ハ必要ニ應シ航空ニ關スル圖書ヲ刊行ス

但會員ニハ實費ヲ以テ配付ス

第十五條　本會ニ航空ニ關スル圖書室及ヒ器材等ノ陳列室ヲ置キ公衆ノ閱覽ニ供ス

第六章　會員章、有功章、表彰狀

第十六條　會員ニハ本會所定ノ會員章ヲ交附ス

會員章ハ之ヲ左肋ニ佩フルモノトス

第十七條　本邦航空界ニ特ニ功績アル者若ハ金品ヲ寄附シ特ニ本會ノ事業ヲ幇助シタル者ニハ別ニ定ムル所ニ從ヒ有功章表彰狀感謝狀又ハ金品ヲ贈與ス

第七章　常務職員

第十八條　本會ニ總務理事、財務理事、常任監事、各一名、特別委員、參事、主事、書記以下若干名ヲ置ク

事務ノ都合ニ依リ囑託員ヲ置ク事ヲ得

第十九條　總務理事、財務理事、常任監事、特別委員、參事及ヒ囑託員ハ會長之ヲ囑託シ主事及書記ハ會長之ヲ命ス

第二十條　總務理事ハ會長ノ旨ヲ承ケ本會ノ事務ヲ管理ス

第二十一條　財務理事ハ會長ノ旨ヲ承ケ本會ノ財務一切ヲ管掌ス

第二十二條　常任監事ハ本會ノ事務及ヒ財務ヲ常時監査ス

第二十三條　特別委員ハ會長ノ旨ヲ承ケ重要事務ヲ審議立案ス

第二十四條　參事及主事ハ上長ノ旨ヲ受ケ分擔事務ヲ處理ス

書記以下ハ上長ノ旨ヲ受ケ各其ノ事務ニ服ス

第二十五條　參事其ノ他ノ分擔事務ハ別ニ定ムル所ノ處務規定ニ依ルモノトス

附　則

本改正ハ昭和八年七月二十日ヨリ之ヲ實施スルモノトス

本改正實施以前ニ白色會員章ヲ有スルモノハ特別有功會員、黃色會員章ヲ有スルモノハ有功會員、藍色會員章ヲ有スルモノハ特別會員、綠色會員章ヲ有スルモノハ正會員ノ待遇ヲ受クルモノトシ紅色會員章ヲ有スルモノモ亦同シ

財團法人　帝國飛行協會地方部規則

（昭和十年三月十八日改正）

第一條　道、府、縣廳ノ所在地ニ地方本部ヲ、市（市制第六條ニ該當スル市ニ在リテハ區役所）島廳及支廳ノ所在地ニ支部ヲ、町村役場（町村制ヲ施行セサル地方ニ在リテハ之ニ相當スル公署以下之ニ同シ）ノ所在地ニ町、村（町村ヲ置カサル地方ニ在リテハ之ニ相當スルモノ以下同シ）委員部ヲ置ク

地方本部、支部、委員部ノ名稱ハ各其ノ地方ノ行政區劃ノ名稱ヲ冠稱スルヲ通則トス

滿洲、朝鮮、臺灣及樺太ニ於ケル地方本部及支部等ノ設置ニ付テハ前二項ノ規定ニ準ス但シ朝鮮及臺灣ニ在リテハ聯合地方本部ヲ置ク

其ノ所管區劃、職員ノ編成竝ニ業務ハ地方本部ニ準シ聯合地方本部長ハ管區內ノ地方本部ヲ統轄ス

第二條　地方本部、支部、委員部ノ所管區域ハ概ネ各行政區劃ニ依ル

第三條　地方本部ニ左ノ職員ヲ置ク

本部長　本部長ハ其ノ所管區域內ノ事務ヲ管理ス

本部次長　本部長ヲ補佐シ部務ニ參ス

幹事　本部長ノ旨ヲ受ケ部務ニ參ス

主事　上長ノ旨ヲ受ケ事務ニ從事ス

第四條　東京市、京都市、大阪市、名古屋市ニ支部監督一名、支部副監督一名ヲ置キ市內ノ支部ヲ監督ス

第五條　市、島廳及支廳ノ支部ニ左ノ職員ヲ置ク

支部長　支部長ハ地方本部長ノ旨ヲ承ケ其ノ所管區域內ノ事務ヲ管理ス

要スル場合ハ副支部長ヲ置クコトヲ得、副支部長ハ支部長ノ旨ヲ承ケ其ノ所管區域內ノ事務ヲ管理ス

主事　支部長ノ旨ヲ承ケ事務ニ從事ス

第六條　委員部ニ左ノ職員ヲ置ク

委員長　本部長ノ旨ヲ受ケ所管區域內ノ事務ヲ處理ス

但支部管轄內ニ在ル委員長ハ支部長ノ旨ヲ承クルモノトス

委　員　委員長ノ旨ヲ受ケ事務ニ從事ス

第七條　地方本部、支部監督及ヒ支部長ハ必要ニ應シ本部理事及支部理事若干名ヲ置クコトヲ得理事ハ部長、監督ノ旨ヲ承ケ部務ニ參ス

第八條　地方本部長及支部監督ハ會長之ヲ推薦シ本部次長、支部副監督、幹事、支部長、副支部長、本部理事及支部理事ハ地方本部長ヨリ會長ニ會長ヨリ總裁之ヲ囑託ス

町村委員長、主事及委員ハ地方本部長之ヲ囑託ス

第九條　地方本部　支部監督部、支部及委員部ノ職員ハ名譽職トス但シ事務ノ都合ニ依リ有給ノ書記及雇員等ヲ置クコトヲ得

第十條　地方部管掌ノ事項概ネ左ノ如シ

一　本會ノ目的ヲ周知セシメ會務ノ擴張ヲ圖ルコト

二　飛行ニ關スル知識及趣味ノ普及ニ努ムルコト

三　會員ノ募集及其入退異動ニ關スル手續ヲ爲スコト

四　寄附金ノ集收、保管其ノ他必要ナル處理ヲ爲スコト

第十一條　地方部ニ於テ書記、雇員等ノ給料、通信、印刷其他一切ノ費用ハ募集內規第四條ニ定メタル範圍ニ於テ支辨スルモノトス

第十二條　地方本部ハ每月末ノ現在ニ依リ會員名簿、寄附金簿ヲ製シ且貸借對照表ヲ調製シ

置クヲ要ス

地方本部ハ毎年度ニ於ケル地方費收支決算書ヲ年度經過後一ヶ月以内ニ本部ニ報告スルモ

附則

第十三條　總裁ノ名ヲ以テスヘキ事項ハ總裁ヲ

ノトス

缺ク場合ニハ會長ノ名ヲ以テ之ヲ行フ

總裁　大勲位　梨本宮守正王殿下

會長　男爵　阪谷芳郎

副會長　男爵　田中館愛橘

同　橋本圭三郎

總務理事　四王天延孝

財務理事　佐藤吉郎

理事

男爵　阪谷芳郎　田中館愛橘　橋本圭三郎　伊勢谷次郎　稲畑勝太郎　磯谷廉介

侯爵　池田宣政　戸川政治

豐田副武　大橋新太郎

大村清一　和田小六　片岡直道　塚原二四三　根津嘉一郎　中島喜代一　久能司　牧野正迪　古川四郎　古田俊之助　古谷清　舟越楫四郎　赤間信義　安東昌喬　佐藤吉郎　三好重道　斯波孝四郎　四王天延孝　島田勝之助　杉浦正雄

監事

原邦造　西野恵之助　中松盛雄　澁澤武之助

評議員

伊藤音次郎　岩崎小彌太　伊豆凡夫　稲畑勝太郎　稲垣三郎　井上幾太郎　井上長一　井上匡四郎　今村繁三　岩原拓　磯谷廉介　井坂孝　井田磐楠　井野碩哉　池田仲博　池田宣政　伊勢谷次郎　伊東祐穀　伊藤文吉　伊藤重治郎　伊藤述史　伊藤博邦　伊藤正徳　伊藤長七　伊藤長次郎　伊藤長重　伊藤長正　伊藤長勝　伊藤長憲　伊藤長丸　伊藤長雄　伊藤長之助　伊藤長三郎　伊藤長七郎　伊藤長八郎　伊藤長九郎　伊藤長十郎　伊藤長十一郎　伊藤長十二郎　伊藤長十三郎　伊藤長十四郎　伊藤長十五郎　伊藤長十六郎　伊藤長十七郎　伊藤長十八郎　伊藤長十九郎　伊藤長二十郎　伊藤長二十一郎　伊藤長二十二郎　伊藤長二十三郎　伊藤長二十四郎　伊藤長二十五郎　伊藤長二十六郎　伊藤長二十七郎　伊藤長二十八郎　伊藤長二十九郎　伊藤長三十郎　伊藤長三十一郎　伊藤長三十二郎　伊藤長三十三郎　伊藤長三十四郎　伊藤長三十五郎　伊藤長三十六郎　伊藤長三十七郎　伊藤長三十八郎　伊藤長三十九郎　伊藤長四十郎　伊藤長四十一郎　伊藤長四十二郎　伊藤長四十三郎　伊藤長四十四郎　伊藤長四十五郎　伊藤長四十六郎　伊藤長四十七郎　伊藤長四十八郎　伊藤長四十九郎　伊藤長五十郎　伊藤長五十一郎　伊藤長五十二郎　伊藤長五十三郎　伊藤長五十四郎　伊藤長五十五郎　伊藤長五十六郎　伊藤長五十七郎　伊藤長五十八郎　伊藤長五十九郎　伊藤長六十郎　伊藤長六十一郎　伊藤長六十二郎　伊藤長六十三郎　伊藤長六十四郎　伊藤長六十五郎　伊藤長六十六郎　伊藤長六十七郎　伊藤長六十八郎　伊藤長六十九郎　伊藤長七十郎　伊藤長七十一郎　伊藤長七十二郎　伊藤長七十三郎　伊藤長七十四郎　伊藤長七十五郎　伊藤長七十六郎　伊藤長七十七郎　伊藤長七十八郎　伊藤長七十九郎　伊藤長八十郎　伊藤長八十一郎　伊藤長八十二郎　伊藤長八十三郎　伊藤長八十四郎　伊藤長八十五郎　伊藤長八十六郎　伊藤長八十七郎　伊藤長八十八郎　伊藤長八十九郎　伊藤長九十郎　伊藤長九十一郎　伊藤長九十二郎　伊藤長九十三郎　伊藤長九十四郎　伊藤長九十五郎　伊藤長九十六郎　伊藤長九十七郎　伊藤長九十八郎　伊藤長九十九郎　伊藤長百郎　伊藤長百一郎　伊藤長百二郎　伊藤長百三郎　伊藤長百四郎　伊藤長百五郎　伊藤長百六郎　伊藤長百七郎　伊藤長百八郎　伊藤長百九郎　伊藤長百十郎　伊藤長百十一郎　伊藤長百十二郎　伊藤長百十三郎　伊藤長百十四郎　伊藤長百十五郎　伊藤長百十六郎　伊藤長百十七郎　伊藤長百十八郎　伊藤長百十九郎　伊藤長百二十郎　伊藤長百二十一郎　伊藤長百二十二郎　伊藤長百二十三郎　伊藤長百二十四郎　伊藤長百二十五郎　伊藤長百二十六郎　伊藤長百二十七郎　伊藤長百二十八郎　伊藤長百二十九郎　伊藤長百三十郎　伊藤長百三十一郎　伊藤長百三十二郎　伊藤長百三十三郎　伊藤長百三十四郎　伊藤長百三十五郎　伊藤長百三十六郎　伊藤長百三十七郎　伊藤長百三十八郎　伊藤長百三十九郎　伊藤長百四十郎　伊藤長百四十一郎　伊藤長百四十二郎　伊藤長百四十三郎　伊藤長百四十四郎　伊藤長百四十五郎　伊藤長百四十六郎　伊藤長百四十七郎　伊藤長百四十八郎　伊藤長百四十九郎　伊藤長百五十郎　伊藤長百五十一郎　伊藤長百五十二郎　伊藤長百五十三郎　伊藤長百五十四郎　伊藤長百五十五郎　伊藤長百五十六郎　伊藤長百五十七郎　伊藤長百五十八郎　伊藤長百五十九郎　伊藤長百六十郎　伊藤長百六十一郎　伊藤長百六十二郎　伊藤長百六十三郎　伊藤長百六十四郎　伊藤長百六十五郎　伊藤長百六十六郎　伊藤長百六十七郎　伊藤長百六十八郎　伊藤長百六十九郎　伊藤長百七十郎　伊藤長百七十一郎　伊藤長百七十二郎　伊藤長百七十三郎　伊藤長百七十四郎　伊藤長百七十五郎　伊藤長百七十六郎　伊藤長百七十七郎　伊藤長百七十八郎　伊藤長百七十九郎　伊藤長百八十郎　伊藤長百八十一郎　伊藤長百八十二郎　伊藤長百八十三郎　伊藤長百八十四郎　伊藤長百八十五郎　伊藤長百八十六郎　伊藤長百八十七郎　伊藤長百八十八郎　伊藤長百八十九郎　伊藤長百九十郎　伊藤長百九十一郎　伊藤長百九十二郎　伊藤長百九十三郎　伊藤長百九十四郎　伊藤長百九十五郎　伊藤長百九十六郎　伊藤長百九十七郎　伊藤長百九十八郎　伊藤長百九十九郎　伊藤長二百郎　伊藤長二百一郎　伊藤長二百二郎　伊藤長二百三郎　伊藤長二百四郎　伊藤長二百五郎　伊藤長二百六郎　伊藤長二百七郎　伊藤長二百八郎　伊藤長二百九郎　伊藤長二百十郎　伊藤長二百十一郎　伊藤長二百十二郎　伊藤長二百十三郎　伊藤長二百十四郎　伊藤長二百十五郎　伊藤長二百十六郎　伊藤長二百十七郎　伊藤長二百十八郎　伊藤長二百十九郎　伊藤長二百二十郎　伊藤長二百二十一郎　伊藤長二百二十二郎　伊藤長二百二十三郎　伊藤長二百二十四郎　伊藤長二百二十五郎　伊藤長二百二十六郎　伊藤長二百二十七郎　伊藤長二百二十八郎　伊藤長二百二十九郎　伊藤長二百三十郎　伊藤長二百三十一郎　伊藤長二百三十二郎　伊藤長二百三十三郎　伊藤長二百三十四郎　伊藤長二百三十五郎　伊藤長二百三十六郎　伊藤長二百三十七郎　伊藤長二百三十八郎　伊藤長二百三十九郎　伊藤長二百四十郎　伊藤長二百四十一郎　伊藤長二百四十二郎　伊藤長二百四十三郎　伊藤長二百四十四郎　伊藤長二百四十五郎　伊藤長二百四十六郎　伊藤長二百四十七郎　伊藤長二百四十八郎　伊藤長二百四十九郎　伊藤長二百五十郎　伊藤長二百五十一郎　伊藤長二百五十二郎　伊藤長二百五十三郎　伊藤長二百五十四郎　伊藤長二百五十五郎　伊藤長二百五十六郎　伊藤長二百五十七郎　伊藤長二百五十八郎　伊藤長二百五十九郎　伊藤長二百六十郎　伊藤長二百六十一郎　伊藤長二百六十二郎　伊藤長二百六十三郎　伊藤長二百六十四郎　伊藤長二百六十五郎　伊藤長二百六十六郎　伊藤長二百六十七郎　伊藤長二百六十八郎　伊藤長二百六十九郎　伊藤長二百七十郎　伊藤長二百七十一郎　伊藤長二百七十二郎　伊藤長二百七十三郎　伊藤長二百七十四郎　伊藤長二百七十五郎　伊藤長二百七十六郎　伊藤長二百七十七郎　伊藤長二百七十八郎　伊藤長二百七十九郎　伊藤長二百八十郎　伊藤長二百八十一郎　伊藤長二百八十二郎　伊藤長二百八十三郎　伊藤長二百八十四郎　伊藤長二百八十五郎　伊藤長二百八十六郎　伊藤長二百八十七郎　伊藤長二百八十八郎　伊藤長二百八十九郎　伊藤長二百九十郎　伊藤長二百九十一郎　伊藤長二百九十二郎　伊藤長二百九十三郎　伊藤長二百九十四郎　伊藤長二百九十五郎　伊藤長二百九十六郎　伊藤長二百九十七郎　伊藤長二百九十八郎　伊藤長二百九十九郎　伊藤長三百郎　伊藤長三百一郎　伊藤長三百二郎　伊藤長三百三郎　伊藤長三百四郎　伊藤長三百五郎　伊藤長三百六郎　伊藤長三百七郎　伊藤長三百八郎　伊藤長三百九郎　伊藤長三百十郎　伊藤長三百十一郎　伊藤長三百十二郎　伊藤長三百十三郎　伊藤長三百十四郎　伊藤長三百十五郎　伊藤長三百十六郎　伊藤長三百十七郎　伊藤長三百十八郎　伊藤長三百十九郎　伊藤長三百二十郎　伊藤長三百二十一郎　伊藤長三百二十二郎　伊藤長三百二十三郎　伊藤長三百二十四郎　伊藤長三百二十五郎　伊藤長三百二十六郎　伊藤長三百二十七郎　伊藤長三百二十八郎　伊藤長三百二十九郎　伊藤長三百三十郎　伊藤長三百三十一郎　伊藤長三百三十二郎　伊藤長三百三十三郎　伊藤長三百三十四郎　伊藤長三百三十五郎　伊藤長三百三十六郎　伊藤長三百三十七郎　伊藤長三百三十八郎　伊藤長三百三十九郎　伊藤長三百四十郎　伊藤長三百四十一郎　伊藤長三百四十二郎　伊藤長三百四十三郎　伊藤長三百四十四郎　伊藤長三百四十五郎　伊藤長三百四十六郎　伊藤長三百四十七郎　伊藤長三百四十八郎　伊藤長三百四十九郎　伊藤長三百五十郎　伊藤長三百五十一郎　伊藤長三百五十二郎　伊藤長三百五十三郎　伊藤長三百五十四郎　伊藤長三百五十五郎　伊藤長三百五十六郎　伊藤長三百五十七郎　伊藤長三百五十八郎　伊藤長三百五十九郎　伊藤長三百六十郎　伊藤長三百六十一郎　伊藤長三百六十二郎　伊藤長三百六十三郎　伊藤長三百六十四郎　伊藤長三百六十五郎　伊藤長三百六十六郎　伊藤長三百六十七郎　伊藤長三百六十八郎　伊藤長三百六十九郎　伊藤長三百七十郎　伊藤長三百七十一郎　伊藤長三百七十二郎　伊藤長三百七十三郎　伊藤長三百七十四郎　伊藤長三百七十五郎　伊藤長三百七十六郎　伊藤長三百七十七郎　伊藤長三百七十八郎　伊藤長三百七十九郎　伊藤長三百八十郎　伊藤長三百八十一郎　伊藤長三百八十二郎　伊藤長三百八十三郎　伊藤長三百八十四郎　伊藤長三百八十五郎　伊藤長三百八十六郎　伊藤長三百八十七郎　伊藤長三百八十八郎　伊藤長三百八十九郎　伊藤長三百九十郎　伊藤長三百九十一郎　伊藤長三百九十二郎　伊藤長三百九十三郎　伊藤長三百九十四郎　伊藤長三百九十五郎　伊藤長三百九十六郎　伊藤長三百九十七郎　伊藤長三百九十八郎　伊藤長三百九十九郎　伊藤長四百郎　伊藤長四百一郎　伊藤長四百二郎　伊藤長四百三郎　伊藤長四百四郎　伊藤長四百五郎　伊藤長四百六郎　伊藤長四百七郎　伊藤長四百八郎　伊藤長四百九郎　伊藤長四百十郎　伊藤長四百十一郎　伊藤長四百十二郎　伊藤長四百十三郎　伊藤長四百十四郎　伊藤長四百十五郎　伊藤長四百十六郎　伊藤長四百十七郎　伊藤長四百十八郎　伊藤長四百十九郎　伊藤長四百二十郎　伊藤長四百二十一郎　伊藤長四百二十二郎　伊藤長四百二十三郎　伊藤長四百二十四郎　伊藤長四百二十五郎　伊藤長四百二十六郎　伊藤長四百二十七郎　伊藤長四百二十八郎　伊藤長四百二十九郎　伊藤長四百三十郎　伊藤長四百三十一郎　伊藤長四百三十二郎　伊藤長四百三十三郎　伊藤長四百三十四郎　伊藤長四百三十五郎　伊藤長四百三十六郎　伊藤長四百三十七郎　伊藤長四百三十八郎　伊藤長四百三十九郎　伊藤長四百四十郎　伊藤長四百四十一郎　伊藤長四百四十二郎　伊藤長四百四十三郎　伊藤長四百四十四郎　伊藤長四百四十五郎　伊藤長四百四十六郎　伊藤長四百四十七郎　伊藤長四百四十八郎　伊藤長四百四十九郎　伊藤長四百五十郎　伊藤長四百五十一郎　伊藤長四百五十二郎　伊藤長四百五十三郎　伊藤長四百五十四郎　伊藤長四百五十五郎　伊藤長四百五十六郎　伊藤長四百五十七郎　伊藤長四百五十八郎　伊藤長四百五十九郎　伊藤長四百六十郎　伊藤長四百六十一郎　伊藤長四百六十二郎　伊藤長四百六十三郎　伊藤長四百六十四郎　伊藤長四百六十五郎　伊藤長四百六十六郎　伊藤長四百六十七郎　伊藤長四百六十八郎　伊藤長四百六十九郎　伊藤長四百七十郎　伊藤長四百七十一郎　伊藤長四百七十二郎　伊藤長四百七十三郎　伊藤長四百七十四郎　伊藤長四百七十五郎　伊藤長四百七十六郎　伊藤長四百七十七郎　伊藤長四百七十八郎　伊藤長四百七十九郎　伊藤長四百八十郎　伊藤長四百八十一郎　伊藤長四百八十二郎　伊藤長四百八十三郎　伊藤長四百八十四郎　伊藤長四百八十五郎　伊藤長四百八十六郎　伊藤長四百八十七郎　伊藤長四百八十八郎　伊藤長四百八十九郎　伊藤長四百九十郎　伊藤長四百九十一郎　伊藤長四百九十二郎　伊藤長四百九十三郎　伊藤長四百九十四郎　伊藤長四百九十五郎　伊藤長四百九十六郎　伊藤長四百九十七郎　伊藤長四百九十八郎　伊藤長四百九十九郎　伊藤長五百郎　伊藤長五百一郎　伊藤長五百二郎　伊藤長五百三郎　伊藤長五百四郎　伊藤長五百五郎　伊藤長五百六郎　伊藤長五百七郎　伊藤長五百八郎　伊藤長五百九郎　伊藤長五百十郎　伊藤長五百十一郎　伊藤長五百十二郎　伊藤長五百十三郎　伊藤長五百十四郎　伊藤長五百十五郎　伊藤長五百十六郎　伊藤長五百十七郎　伊藤長五百十八郎　伊藤長五百十九郎　伊藤長五百二十郎　伊藤長五百二十一郎　伊藤長五百二十二郎　伊藤長五百二十三郎　伊藤長五百二十四郎　伊藤長五百二十五郎　伊藤長五百二十六郎　伊藤長五百二十七郎　伊藤長五百二十八郎　伊藤長五百二十九郎　伊藤長五百三十郎　伊藤長五百三十一郎　伊藤長五百三十二郎　伊藤長五百三十三郎　伊藤長五百三十四郎　伊藤長五百三十五郎　伊藤長五百三十六郎　伊藤長五百三十七郎　伊藤長五百三十八郎　伊藤長五百三十九郎　伊藤長五百四十郎　伊藤長五百四十一郎　伊藤長五百四十二郎　伊藤長五百四十三郎　伊藤長五百四十四郎　伊藤長五百四十五郎　伊藤長五百四十六郎　伊藤長五百四十七郎　伊藤長五百四十八郎　伊藤長五百四十九郎　伊藤長五百五十郎　伊藤長五百五十一郎　伊藤長五百五十二郎　伊藤長五百五十三郎　伊藤長五百五十四郎　伊藤長五百五十五郎　伊藤長五百五十六郎　伊藤長五百五十七郎　伊藤長五百五十八郎　伊藤長五百五十九郎　伊藤長五百六十郎　伊藤長五百六十一郎　伊藤長五百六十二郎　伊藤長五百六十三郎　伊藤長五百六十四郎　伊藤長五百六十五郎　伊藤長五百六十六郎　伊藤長五百六十七郎　伊藤長五百六十八郎　伊藤長五百六十九郎　伊藤長五百七十郎　伊藤長五百七十一郎　伊藤長五百七十二郎　伊藤長五百七十三郎　伊藤長五百七十四郎　伊藤長五百七十五郎　伊藤長五百七十六郎　伊藤長五百七十七郎　伊藤長五百七十八郎　伊藤長五百七十九郎　伊藤長五百八十郎　伊藤長五百八十一郎　伊藤長五百八十二郎　伊藤長五百八十三郎　伊藤長五百八十四郎　伊藤長五百八十五郎　伊藤長五百八十六郎　伊藤長五百八十七郎　伊藤長五百八十八郎　伊藤長五百八十九郎　伊藤長五百九十郎　伊藤長五百九十一郎　伊藤長五百九十二郎　伊藤長五百九十三郎　伊藤長五百九十四郎　伊藤長五百九十五郎　伊藤長五百九十六郎　伊藤長五百九十七郎　伊藤長五百九十八郎　伊藤長五百九十九郎　伊藤長六百郎　伊藤長六百一郎　伊藤長六百二郎　伊藤長六百三郎　伊藤長六百四郎　伊藤長六百五郎　伊藤長六百六郎　伊藤長六百七郎　伊藤長六百八郎　伊藤長六百九郎　伊藤長六百十郎　伊藤長六百十一郎　伊藤長六百十二郎　伊藤長六百十三郎　伊藤長六百十四郎　伊藤長六百十五郎　伊藤長六百十六郎　伊藤長六百十七郎　伊藤長六百十八郎　伊藤長六百十九郎　伊藤長六百二十郎　伊藤長六百二十一郎　伊藤長六百二十二郎　伊藤長六百二十三郎　伊藤長六百二十四郎　伊藤長六百二十五郎　伊藤長六百二十六郎　伊藤長六百二十七郎　伊藤長六百二十八郎　伊藤長六百二十九郎　伊藤長六百三十郎　伊藤長六百三十一郎　伊藤長六百三十二郎　伊藤長六百三十三郎　伊藤長六百三十四郎　伊藤長六百三十五郎　伊藤長六百三十六郎　伊藤長六百三十七郎　伊藤長六百三十八郎　伊藤長六百三十九郎　伊藤長六百四十郎　伊藤長六百四十一郎　伊藤長六百四十二郎　伊藤長六百四十三郎　伊藤長六百四十四郎　伊藤長六百四十五郎　伊藤長六百四十六郎　伊藤長六百四十七郎　伊藤長六百四十八郎　伊藤長六百四十九郎　伊藤長六百五十郎　伊藤長六百五十一郎　伊藤長六百五十二郎　伊藤長六百五十三郎　伊藤長六百五十四郎　伊藤長六百五十五郎　伊藤長六百五十六郎　伊藤長六百五十七郎　伊藤長六百五十八郎　伊藤長六百五十九郎　伊藤長六百六十郎　伊藤長六百六十一郎　伊藤長六百六十二郎　伊藤長六百六十三郎　伊藤長六百六十四郎　伊藤長六百六十五郎　伊藤長六百六十六郎　伊藤長六百六十七郎　伊藤長六百六十八郎　伊藤長六百六十九郎　伊藤長六百七十郎　伊藤長六百七十一郎　伊藤長六百七十二郎　伊藤長六百七十三郎　伊藤長六百七十四郎　伊藤長六百七十五郎　伊藤長六百七十六郎　伊藤長六百七十七郎　伊藤長六百七十八郎　伊藤長六百七十九郎　伊藤長六百八十郎　伊藤長六百八十一郎　伊藤長六百八十二郎　伊藤長六百八十三郎　伊藤長六百八十四郎　伊藤長六百八十五郎　伊藤長六百八十六郎　伊藤長六百八十七郎　伊藤長六百八十八郎　伊藤長六百八十九郎　伊藤長六百九十郎　伊藤長六百九十一郎　伊藤長六百九十二郎　伊藤長六百九十三郎　伊藤長六百九十四郎　伊藤長六百九十五郎　伊藤長六百九十六郎　伊藤長六百九十七郎　伊藤長六百九十八郎　伊藤長六百九十九郎　伊藤長七百郎　伊藤長七百一郎　伊藤長七百二郎　伊藤長七百三郎　伊藤長七百四郎　伊藤長七百五郎　伊藤長七百六郎　伊藤長七百七郎　伊藤長七百八郎　伊藤長七百九郎　伊藤長七百十郎　伊藤長七百十一郎　伊藤長七百十二郎　伊藤長七百十三郎　伊藤長七百十四郎　伊藤長七百十五郎　伊藤長七百十六郎　伊藤長七百十七郎　伊藤長七百十八郎　伊藤長七百十九郎　伊藤長七百二十郎　伊藤長七百二十一郎　伊藤長七百二十二郎　伊藤長七百二十三郎　伊藤長七百二十四郎　伊藤長七百二十五郎　伊藤長七百二十六郎　伊藤長七百二十七郎　伊藤長七百二十八郎　伊藤長七百二十九郎　伊藤長七百三十郎　伊藤長七百三十一郎　伊藤長七百三十二郎　伊藤長七百三十三郎　伊藤長七百三十四郎　伊藤長七百三十五郎　伊藤長七百三十六郎　伊藤長七百三十七郎　伊藤長七百三十八郎　伊藤長七百三十九郎　伊藤長七百四十郎　伊藤長七百四十一郎　伊藤長七百四十二郎　伊藤長七百四十三郎　伊藤長七百四十四郎　伊藤長七百四十五郎　伊藤長七百四十六郎　伊藤長七百四十七郎　伊藤長七百四十八郎　伊藤長七百四十九郎　伊藤長七百五十郎　伊藤長七百五十一郎　伊藤長七百五十二郎　伊藤長七百五十三郎　伊藤長七百五十四郎　伊藤長七百五十五郎　伊藤長七百五十六郎　伊藤長七百五十七郎　伊藤長七百五十八郎　伊藤長七百五十九郎　伊藤長七百六十郎　伊藤長七百六十一郎　伊藤長七百六十二郎　伊藤長七百六十三郎　伊藤長七百六十四郎　伊藤長七百六十五郎　伊藤長七百六十六郎　伊藤長七百六十七郎　伊藤長七百六十八郎　伊藤長七百六十九郎　伊藤長七百七十郎　伊藤長七百七十一郎　伊藤長七百七十二郎　伊藤長七百七十三郎　伊藤長七百七十四郎　伊藤長七百七十五郎　伊藤長七百七十六郎　伊藤長七百七十七郎　伊藤長七百七十八郎　伊藤長七百七十九郎　伊藤長七百八十郎　伊藤長七百八十一郎　伊藤長七百八十二郎　伊藤長七百八十三郎　伊藤長七百八十四郎　伊藤長七百八十五郎　伊藤長七百八十六郎　伊藤長七百八十七郎　伊藤長七百八十八郎　伊藤長七百八十九郎　伊藤長七百九十郎　伊藤長七百九十一郎　伊藤長七百九十二郎　伊藤長七百九十三郎　伊藤長七百九十四郎　伊藤長七百九十五郎　伊藤長七百九十六郎　伊藤長七百九十七郎　伊藤長七百九十八郎　伊藤長七百九十九郎　伊藤長八百郎　伊藤長八百一郎　伊藤長八百二郎　伊藤長八百三郎　伊藤長八百四郎　伊藤長八百五郎　伊藤長八百六郎　伊藤長八百七郎　伊藤長八百八郎　伊藤長八百九郎　伊藤長八百十郎　伊藤長八百十一郎　伊藤長八百十二郎　伊藤長八百十三郎　伊藤長八百十四郎　伊藤長八百十五郎　伊藤長八百十六郎　伊藤長八百十七郎　伊藤長八百十八郎　伊藤長八百十九郎　伊藤長八百二十郎　伊藤長八百二十一郎　伊藤長八百二十二郎　伊藤長八百二十三郎　伊藤長八百二十四郎　伊藤長八百二十五郎　伊藤長八百二十六郎　伊藤長八百二十七郎　伊藤長八百二十八郎　伊藤長八百二十九郎　伊藤長八百三十郎　伊藤長八百三十一郎　伊藤長八百三十二郎　伊藤長八百三十三郎　伊藤長八百三十四郎　伊藤長八百三十五郎　伊藤長八百三十六郎　伊藤長八百三十七郎　伊藤長八百三十八郎　伊藤長八百三十九郎　伊藤長八百四十郎　伊藤長八百四十一郎　伊藤長八百四十二郎　伊藤長八百四十三郎　伊藤長八百四十四郎　伊藤長八百四十五郎　伊藤長八百四十六郎　伊藤長八百四十七郎　伊藤長八百四十八郎　伊藤長八百四十九郎　伊藤長八百五十郎　伊藤長八百五十一郎　伊藤長八百五十二郎　伊藤長八百五十三郎　伊藤長八百五十四郎　伊藤長八百五十五郎　伊藤長八百五十六郎　伊藤長八百五十七郎　伊藤長八百五十八郎　伊藤長八百五十九郎　伊藤長八百六十郎　伊藤長八百六十一郎　伊藤長八百六十二郎　伊藤長八百六十三郎　伊藤長八百六十四郎　伊藤長八百六十五郎　伊藤長八百六十六郎　伊藤長八百六十七郎　伊藤長八百六十八郎　伊藤長八百六十九郎　伊藤長八百七十郎　伊藤長八百七十一郎　伊藤長八百七十二郎　伊藤長八百七十三郎　伊藤長八百七十四郎　伊藤長八百七十五郎　伊藤長八百七十六郎　伊藤長八百七十七郎　伊藤長八百七十八郎　伊藤長八百七十九郎　伊藤長八百八十郎　伊藤長八百八十一郎　伊藤長八百八十二郎　伊藤長八百八十三郎　伊藤長八百八十四郎　伊藤長八百八十五郎　伊藤長八百八十六郎　伊藤長八百八十七郎　伊藤長八百八十八郎　伊藤長八百八十九郎　伊藤長八百九十郎　伊藤長八百九十一郎　伊藤長八百九十二郎　伊藤長八百九十三郎　伊藤長八百九十四郎　伊藤長八百九十五郎　伊藤長八百九十六郎　伊藤長八百九十七郎　伊藤長八百九十八郎　伊藤長八百九十九郎　伊藤長九百郎　伊藤長九百一郎　伊藤長九百二郎　伊藤長九百三郎　伊藤長九百四郎　伊藤長九百五郎　伊藤長九百六郎　伊藤長九百七郎　伊藤長九百八郎　伊藤長九百九郎　伊藤長九百十郎　伊藤長九百十一郎　伊藤長九百十二郎　伊藤長九百十三郎　伊藤長九百十四郎　伊藤長九百十五郎　伊藤長九百十六郎　伊藤長九百十七郎　伊藤長九百十八郎　伊藤長九百十九郎　伊藤長九百二十郎　伊藤長九百二十一郎　伊藤長九百二十二郎　伊藤長九百二十三郎　伊藤長九百二十四郎　伊藤長九百二十五郎　伊藤長九百二十六郎　伊藤長九百二十七郎　伊藤長九百二十八郎　伊藤長九百二十九郎　伊藤長九百三十郎　伊藤長九百三十一郎　伊藤長九百三十二郎　伊藤長九百三十三郎　伊藤長九百三十四郎　伊藤長九百三十五郎　伊藤長九百三十六郎　伊藤長九百三十七郎　伊藤長九百三十八郎　伊藤長九百三十九郎　伊藤長九百四十郎　伊藤長九百四十一郎　伊藤長九百四十二郎　伊藤長九百四十三郎　伊藤長九百四十四郎　伊藤長九百四十五郎　伊藤長九百四十六郎　伊藤長九百四十七郎　伊藤長九百四十八郎　伊藤長九百四十九郎　伊藤長九百五十郎　伊藤長九百五十一郎　伊藤長九百五十二郎　伊藤長九百五十三郎　伊藤長九百五十四郎　伊藤長九百五十五郎　伊藤長九百五十六郎　伊藤長九百五十七郎　伊藤長九百五十八郎　伊藤長九百五十九郎　伊藤長九百六十郎　伊藤長九百六十一郎　伊藤長九百六十二郎　伊藤長九百六十三郎　伊藤長九百六十四郎　伊藤長九百六十五郎　伊藤長九百六十六郎　伊藤長九百六十七郎　伊藤長九百六十八郎　伊藤長九百六十九郎　伊藤長九百七十郎　伊藤長九百七十一郎　伊藤長九百七十二郎　伊藤長九百七十三郎　伊藤長九百七十四郎　伊藤長九百七十五郎　伊藤長九百七十六郎　伊藤長九百七十七郎　伊藤長九百七十八郎　伊藤長九百七十九郎　伊藤長九百八十郎　伊藤長九百八十一郎　伊藤長九百八十二郎　伊藤長九百八十三郎　伊藤長九百八十四郎　伊藤長九百八十五郎　伊藤長九百八十六郎　伊藤長九百八十七郎　伊藤長九百八十八郎　伊藤長九百八十九郎　伊藤長九百九十郎　伊藤長九百九十一郎　伊藤長九百九十二郎　伊藤長九百九十三郎　伊藤長九百九十四郎　伊藤長九百九十五郎　伊藤長九百九十六郎　伊藤長九百九十七郎　伊藤長九百九十八郎　伊藤長九百九十九郎　伊藤長千郎　伊藤長千一郎　伊藤長千二郎　伊藤長千三郎　伊藤長千四郎　伊藤長千五郎　伊藤長千六郎　伊藤長千七郎　伊藤長千八郎　伊藤長千九郎　伊藤長千十郎　伊藤長千十一郎　伊藤長千十二郎　伊藤長千十三郎　伊藤長千十四郎　伊藤長千十五郎　伊藤長千十六郎　伊藤長千十七郎　伊藤長千十八郎　伊藤長千十九郎　伊藤長千二十郎　伊藤長千二十一郎　伊藤長千二十二郎　伊藤長千二十三郎　伊藤長千二十四郎　伊藤長千二十五郎　伊藤長千二十六郎　伊藤長千二十七郎　伊藤長千二十八郎　伊藤長千二十九郎　伊藤長千三十郎　伊藤長千三十一郎　伊藤長千三十二郎　伊藤長千三十三郎　伊藤長千三十四郎　伊藤長千三十五郎　伊藤長千三十六郎　伊藤長千三十七郎　伊藤長千三十八郎　伊藤長千三十九郎　伊藤長千四十郎　伊藤長千四十一郎　伊藤長千四十二郎　伊藤長千四十三郎　伊藤長千四十四郎　伊藤長千四十五郎　伊藤長千四十六郎　伊藤長千四十七郎　伊藤長千四十八郎　伊藤長千四十九郎　伊藤長千五十郎　伊藤長千五十一郎　伊藤長千五十二郎　伊藤長千五十三郎　伊藤長千五十四郎　伊藤長千五十五郎　伊藤長千五十六郎　伊藤長千五十七郎　伊藤長千五十八郎　伊藤長千五十九郎　伊藤長千六十郎　伊藤長千六十一郎　伊藤長千六十二郎　伊藤長千六十三郎　伊藤長千六十四郎　伊藤長千六十五郎　伊藤長千六十六郎　伊藤長千六十七郎　伊藤長千六十八郎　伊藤長千六十九郎　伊藤長千七十郎　伊藤長千七十一郎　伊藤長千七十二郎　伊藤長千七十三郎　伊藤長千七十四郎　伊藤長千七十五郎　伊藤長千七十六郎　伊藤長千七十七郎　伊藤長千七十八郎　伊藤長千七十九郎　伊藤長千八十郎　伊藤長千八十一郎　伊藤長千八十二郎　伊藤長千八十三郎　伊藤長千八十四郎　伊藤長千八十五郎　伊藤長千八十六郎　伊藤長千八十七郎　伊藤長千八十八郎　伊藤長千八十九郎　伊藤長千九十郎　伊藤長千九十一郎　伊藤長千九十二郎　伊藤長千九十三郎　伊藤長千九十四郎　伊藤長千九十五郎　伊藤長千九十六郎　伊藤長千九十七郎　伊藤長千九十八郎　伊藤長千九十九郎　伊藤長千百郎　伊藤長千百一郎　伊藤長千百二郎　伊藤長千百三郎　伊藤長千百四郎　伊藤長千百五郎　伊藤長千百六郎　伊藤長千百七郎　伊藤長千百八郎　伊藤長千百九郎　伊藤長千百十郎　伊藤長千百十一郎　伊藤長千百十二郎　伊藤長千百十三郎　伊藤長千百十四郎　伊藤長千百十五郎　伊藤長千百十六郎　伊藤長千百十七郎　伊藤長千百十八郎　伊藤長千百十九郎　伊藤長千百二十郎　伊藤長千百二十一郎　伊藤長千百二十二郎　伊藤長千百二十三郎　伊藤長千百二十四郎　伊藤長千百二十五郎　伊藤長千百二十六郎　伊藤長千百二十七郎　伊藤長千百二十八郎　伊藤長千百二十九郎　伊藤長千百三十郎　伊藤長千百三十一郎　伊藤長千百三十二郎　伊藤長千百三十三郎　伊藤長千百三十四郎　伊藤長千百三十五郎　伊藤長千百三十六郎　伊藤長千百三十七郎　伊藤長千百三十八郎　伊藤長千百三十九郎　伊藤長千百四十郎　伊藤長千百四十一郎　伊藤長千百四十二郎　伊藤長千百四十三郎　伊藤長千百四十四郎　伊藤長千百四十五郎　伊藤長千百四十六郎　伊藤長千百四十七郎　伊藤長千百四十八郎　伊藤長千百四十九郎　伊藤長千百五十郎　伊藤長千百五十一郎　伊藤長千百五十二郎　伊藤長千百五十三郎　伊藤長千百五十四郎　伊藤長千百五十五郎　伊藤長千百五十六郎　伊藤長千百五十七郎　伊藤長千百五十八郎　伊藤長千百五十九郎　伊藤長千百六十郎　伊藤長千百六十一郎　伊藤長千百六十二郎　伊藤長千百六十三郎　伊藤長千百六十四郎　伊藤長千百六十五郎　伊藤長千百六十六郎　伊藤長千百六十七郎　伊藤長千百六十八郎　伊藤長千百六十九郎　伊藤長千百七十郎　伊藤長千百七十一郎　伊藤長千百七十二郎　伊藤長千百七十三郎　伊藤長千百七十四郎　伊藤長千百七十五郎　伊藤長千百七十六郎　伊藤長千百七十七郎　伊藤長千百七十八郎　伊藤長千百七十九郎　伊藤長千百八十郎　伊藤長千百八十一郎　伊藤長千百八十二郎　伊藤長千百八十三郎　伊藤長千百八十四郎　伊藤長千百八十五郎　伊藤長千百八十六郎　伊藤長千百八十七郎　伊藤長千百八十八郎　伊藤長千百八十九郎　伊藤長千百九十郎　伊藤長千百九十一郎　伊藤長千百九十二郎　伊藤長千百九十三郎　伊藤長千百九十四郎　伊藤長千百九十五郎　伊藤長千百九十六郎　伊藤長千百九十七郎　伊藤長千百九十八郎　伊藤長千百九十九郎　伊藤長千二百郎　伊藤長千二百一郎　伊藤長千二百二郎　伊藤長千二百三郎　伊藤長千二百四郎　伊藤長千二百五郎　伊藤長千二百六郎　伊藤長千二百七郎　伊藤長千二百八郎　伊藤長千二百九郎　伊藤長千二百十郎　伊藤長千二百十一郎　伊藤長千二百十二郎　伊藤長千二百十三郎　伊藤長千二百十四郎　伊藤長千二百十五郎　伊藤長千二百十六郎　伊藤長千二百十七郎　伊藤長千二百十八郎　伊藤長千二百十九郎　伊藤長千二百二十郎　伊藤長千二百二十一郎　伊藤長千二百二十二郎　伊藤長千二百二十三郎　伊藤長千二百二十四郎　伊藤長千二百二十五郎　伊藤長千二百二十六郎　伊藤長千二百二十七郎　伊藤長千二百二十八郎　伊藤長千二百二十九郎　伊藤長千二百三十郎　伊藤長千二百三十一郎　伊藤長千二百三十二郎　伊藤長千二百三十三郎　伊藤長千二百三十四郎　伊藤長千二百三十五郎　伊藤長千二百三十六郎　伊藤長千二百三十七郎　伊藤長千二百三十八

常務職員
庄司健吉
森蕃樹（囑託（總務部長））
同（普及部長　小野弁太郎
同　井上四郎
同（會計）高草木忠男
主事　北尾龜男
同　加治木智種

昭和十年度事業費

項目	金額
航空奬勵費	
操縱士交附金	三一、七九一、五一
飛行奬勵費	一九、八〇〇、〇〇
操縱士講習費	二、九四四、五二
航空奬勵費	六、〇〇〇
飛行場費	九、〇四〇、九九
飛行場建設維持補助金	一二、二八二、六五
飛行場管理費	一一、二七〇、八八
航空機材費	一、〇一一、七七
輕飛行機普及補助費	二五、六二八、二〇
グライダー普及補助費	一二、二五七、二〇〇
航空智識普及費	一三、三七一、〇〇
文庫費	二五、七〇二、一五
模型博覽會費	一、一九三、〇二
活動寫眞費	一、一八〇、三一
事業擴張用印刷物費	三五六、二二
航空智識普及印刷物費	三、三九八、九八
圖書刊行費	三、二九四、五四
集會及接待費	五、八一九、六九
徽章、記念品費	二、四〇三、六八
弔慰費	八、〇五五、七一
航空機搭乘員慰助金	四、五四六、二五
航空神社費	三、八六九、〇〇
國際航空費	一、六七八、二五
旅費車馬費	一、三六一、一九
	四、二二五、五七

科目	摘要	金額
土地	芝區田村町一丁目三番地ノ一所在一、宅地二六二坪六一	一二五、六五三、四二
	價格一〇九、九八〇、〇〇	
	群馬縣新田郡笠懸村大字鹿字笠掛四八二番一、山林六反九歩外四二筆	
	價格一五、六七三、四二	
建物	芝區田村町一丁目三番ノ地一所在建物	五九一、二五〇、〇〇
	延坪一、四八二、一三五	
備品	航空模型品、圖書其他備品	五〇、二一二、一二
飛行機	陸上飛行機二基	一〇、〇〇〇、〇〇
有價證券	日本電力株式會社社債、公債勸業債券	一二、〇二〇、〇〇
銀行預金	第一、住友、三井、三菱、安田各銀行預金	二六七、二四七、六一
信託預金	三井信託預金	一、四六六、四四
振替貯金		四、四二四、一一
計		一、〇六二、二七三、七〇

航空事業調査委員會

（昭和十一年五月十日現在）

遞信大臣の航空に關する諸問機關として、昭和八年九月十二日、朝野の關係者を集めて航空事業調査委員會を設立し、その組織を左の如く定め委員を任命す。

航空事業調査委員會組織

第一條　航空事業調査委員會ハ遞信大臣ノ監督ニ屬シ其ノ諮問ニ應シテ民間航空ニ關スル重要ナル事項ヲ調査審議ス

第二條　委員會ハ會長一人及委員若干人ヲ以テ之ヲ組織ス

特別ノ事項ヲ調査審議スル爲必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第三條　會長ハ遞信大臣ヲ以テ之ニ充ツ

委員及臨時委員ハ關係各廳高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ遞信大臣之ヲ命シ又ハ囑託ス

第四條　會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ遞信大臣ノ指名スル委員其ノ職務ヲ代理ス

第五條　委員會ニ幹事ヲ置ク遞信大臣之ヲ命シ又ハ囑託ス

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第六條　委員會ニ書記ヲ置ク遞信大臣之ヲ命ス

書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

委員會委員、臨時委員及幹事

委員	
對滿事務局次長	青木一男
外務次官	堀內謙介
外務省條約局長	栗山茂
大藏次官	川越丈雄
大藏省主計局長	賀屋興宣
陸軍次官	梅津美治郎
陸軍中將	磯谷廉介
陸軍少將	多田禮吉
陸軍中將	畑俊六
陸軍少將	牧野正迪
海軍次官	長谷川清
海軍中將	豐田副武
海軍中將	山本五十六
海軍少將	塚原二四三
海軍少將	原五郎
文部次官	三邊長治
東京帝國大學教授	和田小六
氣象臺技師	岡田武松
商工次官	吉野信次
拓務次官	入江海平
	伊藤乙次郎
	原邦造
	橋本圭三郎
理學博士	田中館愛橘
	中川正左
帝國飛行協會總務理事	四王天延孝
陸軍中將	前田房之助
遞信政務次官	
遞信次官	富安謙次
遞信參與官	多田滿長
遞信省郵務局長	伊勢谷次郎

同　電務局長　平澤要
同　工務局長　梶井剛
同　航空局長　片岡直道

臨時委員

陸軍少將　桑木崇明
海軍少將　高橋伊望

幹事

外務書記官　上村伸一
外務書記官　松本俊一
陸軍工兵大佐　安田武雄
陸軍工兵大佐　秋山德三郎
陸軍航空兵中佐　高橋常吉
海軍大佐　太田泰治
海軍大佐　草鹿龍之介
海軍大佐　和田操
遞信書記官　中村松次郎
遞信書記官　中山次郎
遞信書記官　渡邊晉二郎
遞信書記官　川面隆三
遞信技師　荒川大太郎
遞信書記官　福原敬次
航空官　新井三郎

東京帝國大學航空研究所

航空研究所は大正五年四月、東京帝國大學内に設置せられた航空學調査委員會の業務を繼承し航空機、航空船、氣球、航空用發動機、航空心理其他航空に關する諸般の研究を行ふ目的を以て、大正七年四月二日勅令第二百七十號に依り東京帝國大學に附屬創設せられた。

次で同十年七月、新に航空研究所官制公布せられ、其の組織を改めて東京帝國大學に附置せられることゝなつた。偶々大正十二年九月の震火災に際し、大部分の建物並設備は烏有に歸し、敷地全般に渉り約二尺の沈下を來し、此の敷地に於ける復興は到底困難なるを認め、大正十三年度以降五ヶ年の繼續事業として之が豫算を決定せられたが、偶々東京帝國大學の復興に伴ひ、不用となるべき目黒町上目黒駒場農學部敷地西隅の土地を充當せられるに及んで起工することゝし、昭和五年九月落成した。

本所は官制の定むる所に依り航空機全般に關する基礎的學理の研究を行ふものであつて、帝國大學教授、助教授中並に陸軍佐尉官同相當官、海軍佐尉官、若くは陸海軍技師中より特に命ぜられた所員が研究を擔當し左の十二部より成る。

一、物理部

流體力學及氣體力學に關する研究
▼航空物理學に關する實驗及研究
▼航空機推進機及發動機に關する理論的研究▼航空機及發動機素材の物理學的研究▼氣象特に高層氣象の調査並に研究▼航空用通信機に關する研究▼航空機に關聯する各種の物理學的問題の研究

二、化學部

天然瓦斯に關する調査並に研究▼航空機用ガソリンに關する調査並に研究▼ガソリン代用燃料の調査並に研究▼減摩劑に關する研究▼飛行機翼塗料並に一般塗料の製造法研究▼膠着劑に關する研究▼航空機及び發動機素材の化學的研究▼航空機に關聯する化學的事項の調査及研究

三、冶金部

航空機及發動機用輕金屬合金、特殊鋼等の製造法並に加工法の研究

四、材料部

航空機用材木、輕金屬、特殊鋼等の調査並に强力試驗▼航空機用覆布、膠着劑、塗料の調査並に研究▼各種結構の耐力試驗

五、風洞部

航空機の模型による性能の測定實驗▼氣流に關する各般の實驗並に研究▼氣流中に於ける計器類の性能研究

六、發動機部

航空原動機關の理論的及試驗的研究▼各種發動機及附屬機の調査及試驗▼發動機部分品製作方法の研究▼高空に於ける發動機性能の調査及研究▼發動機の設計及試作▼發動機用高壓發電機の調査及研究▼發動機用計測器に關する調査及研究

七、飛行機部

航空機構造の調査並に研究▼航空機の設計及試作▼實驗用飛行機に依る各般の研究

八、測　器　部

航空機に於ける各種測器の調査及研究

九、航空心理部

航空機操縱者として適材選拔に關する研究▼航空作業の分析的研究▼航空者の訓練法に關する研究▼航空諸條件の心身に及ぼす影響の研究▼航空に關する一般心理學的事項の研究

一〇、工　作　課

機械工場、仕上工場、木工場、鍛鑄工場、製圖室等より成り、各部に於ける調査及研究上に必要なる各種の裝置機器具類の實物並に模型の設計製作をなす

一一、圖　書　課

圖書の出納保管及整理に關する一切の事務を掌る

一二、庶　務　課

公文書類及成案文書の接受並に其の編纂保存、其の他構內取締及人事に關する事務を掌る

一三、會　計　課

豫算、決算、物品の出納保管、其の他收支に關する一切の事務を掌る

所在　東京市目黒區駒場町
電話青山　五七六〇、五七六一
五七六二、五七六三

所長　和田小六

事務官

所員	東大教授	永口吉藏
同	同	田中芳雄
同	同	後藤正治
同	同	竹村勘忠
同	同	岩本周平
同	同	小幡重一
同	同	寺澤寬一
同	同	井口常雄
同	同	小林辰男
同	同	富塚清
同	同	和田小六
同	同	妹澤克惟
同	同	永井雄三郎
同	同	佐々木達治郎
同	同	田中敬吉
同	東大助教授	拔山大三
同		中西不二夫
同		小川太一郎
同		河田三治
同		山口文之助
同		淡路圓治郎
同		佐藤孝二
同		深津了藏
同		山本峰雄
同		谷一郎
同		石田四郎
同		長畑順一郎
同	技師	石井定
同		佐藤直藏
同		玉野光男
同		簡野信行

國際航空路調査會

設立の主旨

國際間に於ける航空路擴張の勢ひは愈々熾烈となり、列強諸國は競つて國際航空路獲得の爲め最大の努力を成しつゝあり。我國に於ても斯かる國際情勢に對應し、進んで確固不動の航空國策を樹て、我が航空路の國際的進出を斷行するの機に直面するに至つたので、我國民間航空の指導的地位にある朝日新聞社は昭和十年來、これが調査研究を開始することになり、昭和十一年五月、これが實行機關として國際航空路調査會を朝日新聞社內に設置した。同會の事業は航空界緊心の國家的大事業であるから、朝日新聞社のみでは完璧を期し難いので、廣く朝野專門家の協力の下に實際的調査を行ふもので、これが使用機として朝日新聞社は純國產三菱式鵬型中鳥式空冷五五〇馬力二基の民間最高峯機を購入これに充てゝある。尙、同會の顧問、評議員の顏振は左の如くである。

顧　問

遞信省　次官、航空局長、郵務局長、電務局長
外務省　通商局長、東亞局長、歐亞局長
商工省　貿易局長、商務局長
拓務省　拓務局長
大藏省　主計局長
陸　軍　航空本部總務部長
海　軍　航空本部長、同總務部長
海防義會　理事長
航空研究所　所長
帝國飛行協會　會長、總務理事
日本學生航空聯盟　名譽會長
日本航空輸送株式會社　社長、常務取締役
滿洲航空株式會社　東京詰取締役
商工會議所　六大都市會頭

評議員

遞信省　航空局技術課長、同監理課長
外務省　東亞局第一課長
陸　軍　航空本部第二課長
海　軍　軍務局第二課長、航空本部總務部第一課長
商工省　貿易局貿易課長
拓務省　殖產局商工課長

朝日新聞社側からは取締役會長村山長挙氏以下重役、局部長等が、これに加はることになつてゐる。

國際航空路調査會規程

第一章　總則

第一條　本會ハ國際航空路調査會ト稱ス

第二條　本會ハ我國際航空ノ發達ヲ期スル爲之カ實際的調査ヲナスヲ以テ目的トス

第三條　本會ハ東京市麹町區有樂町貳丁目參番地東京朝日新聞社內ニ置ク

第二章　組織

第四條　本會ニ會長一名ヲ置キ會務ヲ總理ス

會長ハ株式會社朝日新聞社代表者ヲ以テ之ニ充ツ

第五條　本會ニ顧問若干名ヲ置ク

顧問ハ主トシテ我國航空界ノ有力

者ヲ以テシ會長之ヲ委囑ス
第六條　本會ニ評議員若干名ヲ置キ會長之ヲ委囑ス
評議員ハ重要ナル事項ヲ審議ス
第七條　本會ニ幹事其他必要ナル職員ヲ置キ會長之ヲ命免ス

第三章　會計

第八條　本會ノ收入ハ左ニ揭クルモノヲ以テス
一、株式會社朝日新聞社支出金
二、本會ニ對スル補助金又ハ寄付金
第九條　本會ノ經費ハ右收入金ヨリ支出スルモノトス
第十條　本會ノ事業年度ハ每年四月一日ヨリ翌年三月三十一日マテトス
第十一條　本會ハ每年度末事業報告書ヲ作成シテ之ヲ監督官廳ニ提出ス

航空關係諸團體

（昭和十一年六月）

國際航空聯合會

Fédération Aéronautique Internationale.
(F. A. I.)

創立　一九〇五年十月十四日
本部　佛蘭西　巴里
6, Rue Galilée, Paris.
加盟團體　F・A・I・（國際航空聯合會）に加盟せる各國飛行協會（倶樂部）は左の三十五個團體である。

獨逸
Aéro-club von Deutschland.
(Berlin)
アルゼンチン
Aéro-Club Argentino.
(Buenos-Ayres)
カナダ
Canadian Flying Clubs Association.
(Ottawa)
智利
Club Aereo de Chile.
(Santiago du chili)
キューバ
Club de Aviacion de Cuba.
(La Havane)
丁抹
Det Kongelige Danske Aeronautiske Selskab.
(Copenhague)
エヂプト
Aéro-Club d'Egypte.
(Le Caire)
西班牙
Fédéracion Aeronautica Espanola.
(Madrid)
北米合衆國
National Aeronautic Association of U. S. A.
(Washington)
フインランド
Aeroklubben i Finland.
(Helsinki)
佛蘭西
Aéro-Club de France.
(Paris)
英吉利
Royal Aero-Club of the United Kingdom.
(London)
ギリシア
Aéro-Club de Grèce.
墺地利
Österreicher Aéro-Club.
(Vienne)
白耳義
Aéro-Club Royal de Belgique.
(Bruxelles)
ブラジル
Aéro-Club do Brasil.
(Rio de Janeiro)
ブルガリア
Aero-Club de Bulgarie.
(Sofia)

(Athènes)

ハンガリー
Magyar Aero Szövetseg.
(Budapest)

伊太利
Reale Aéro-Club d'Italia.
(Rome)

日本
Teikoku Hikô Kyôkwai.
(Tokyo)

リトアニア
Lietuvos Aero Klubas.
(Kaunas)

リユクサンブウル
Aéro-Club du Luxenbourg.
(Luxenbourg)

諾威
Norsk Aéro-Klub.
(Oslo)

和蘭
Koninklijke Nederlandsche Vereenigingvoor Luchtvaart.
(La Haye)

ポーランド
Aeroklub Rzeczypospolitej Polskiej.
(Warzawa)

ポルトガル
Aéro-Club du Portugal.
(Lisbonne)

ルーマニア
Aero-Ciubul Regal al Romaniei
(Bucarest)

瑞典
Kungl Svenska Aeroklubben.
(Stockholm)

瑞西
Aéro-Club Suisse.
(Berne)

シリヤ
Aéro-Club de Syrie et du Liban
(Beyrouth)

土耳古
Türk Hava Kurumu.
(Ankara)

チエツコスロヴアキア
Aero-Klub Republiky Ceskoslovenske.
(Prague)

ソヴエト聯邦
Club Central de L'Ossoaviakhime.
(Moscou)

ウルグワイ
Centro Nacional de Aviacion.
(Montevideo)

ユーゴースラヴイア
Aéro-Club Kraljevine Jugoslavije.
(Belgrade)

目的 F・A・I・に加盟せる各國の飛行協會(倶樂部)は本部と連絡をとり、相互協力して左記の事業を行ふ。

一、世界航空の發展を助長すること

二、航空競技の國際的規程を確立すること

三、國際航空旅行の發展を助長すること

四、加盟各國に於ける航空奬勵運動の統一を圖り、且つ之に對しては有形無形の利益を保護すること

總會 定期總會は毎年一回行ふ。場所は前回の總會に於て決定した土地に開催する。又通常總會に於て會議未了の場合は臨時總會を開いて之を議了する。

加盟 F・A・I・に加盟し得る飛行協會(倶樂部)は原則として一國一個に限られてゐる。然し總會に於て三分の二以上の多數決に依り其の國の從屬地、領地、保護地、殖民地に於て一個の加盟團體を設くることが出來る。但し此の場合に於ては其國の公認倶樂部の承認を得なければならぬ。

……

國際航空聯合會は航空競技に關する各國の紛爭に對し、最後の決定を與へるものである。

(國際航空聯合會公認記錄參照)

本部役員

會長 S. A. le Prince

Georges Bibesco.

副會長
Colonel o'Gorman C.B.
(各通) Godfrey L. Cabot.
Comte d'Oultremont.
Colonel Messner.
Général Piccio.
Jonkheer van den Berch van Heemstede.
Louis Blériot.
Lt-Col. B. Kwiecinski.
Tadyia Sondermayer.
Wolfgang von Gronau.

總務理事 Paul Tissandier.

財務理事 Blondel la Rougery.

報告委員 Lt-col. B. Kwiecinski.

國際航空聯合會は一九〇五年第一回總會を巴里に開催した。本邦に於ては一九一九年帝國飛行協會これに加盟し、爾來總會毎に代表者派遣出席せしめしこと二十二回に及んだ。

第三十五回 一九三五年度定期總會は、九月九日より十二日まで四日間ユーゴースラヴイア國ドウブロフニク市に開催され、帝國飛行協會よりは代表として副會長田中館愛橘氏が出席した。

東京飛行記者會

航空記事の報導を司り主に各新聞社の航空關係記者に依つて成立し、飛行館に一室を有し毎木曜日が集會日になつて居る。現在會員は東京朝日、東京日日、報知、時事、中外商業、國民、都、讀賣、同盟通信、畫夜通信、大阪朝日、大阪毎日、新愛知、名古屋新聞の各社並雜誌「飛行」の十五社、十五名である。現在幹事(東京朝日)石尾市太郎、(都)樫村實、(飛行)北尾龜男。

關西飛行倶樂部

本倶樂部は昭和六年十二月創立、關西在住の飛行機操縱士、機關士並航空業務に直接携はる者をもつて組織し、會員相互の懇親を圖り航空界發展に寄與せんとしつゝある。現在大阪市中の島朝日ビル内にあり。(電話本局四、五〇〇)現在會員特別會員八名、正會員四十四名。

交星會

本邦民間航空の中堅たる航空局委託操縱生出身の飛行士を中心とする純航空技術者團體であつて、昭和三年一月に成立した。現在會員百餘名。尚航空局委託操縱生出身以外の者で、推薦に依り特別會員となつて居る者六名。

日本キヤタピラ倶樂部

航空事故のため落下傘によつて危難を脱した體驗者のみの倶樂部にして、昭和五年九月創立し、現在會員六十五名。

東京飛行倶樂部

東京附近に於ける民間航空關係實務者の社交親睦を旨とし、併て航空界の發達に寄與せんとして昭和八年八月三十一日創立し、西銀座電通ビル（電話銀座二、八一七）七階に一室を設く。現在會員七九名。（內特別會員一三名）幹事井上喜代司、羽太文夫、小川寛爾、河內一彥、熊川良太郎、北尾龜男。毎月一回例會を開くことになつてゐる。

日本航空學會

我國航空界は近時大いに見るべきものがあるが、綜合的に未だ甚だ充分でない點が多々あるので、これ等航空學藝全般を通じて經緯の脈絡となり、且つその集中機構たるべき學會の必要を各方面に於て痛感した結果、昭和九年三月三十一日創立せられ、飛行館に事務所を設け、「日本航空學會々誌」を毎月發行、隨時講演して講演等を催してゐる。現在會員百四十名。

航空十五會

星野錫、戸川政治、角德一、上原平太郎、四王天延孝及杉原榮三郎諸氏の發起によつて、談笑裡に航空を識り、又語るといふ目的の下に創立された航空同好者の會で毎月十五日十一月二十八日發會され、現在會員三十一名、幹事關東側渡部一英、北尾龜男、關西側福知新次、中正夫。顧問小西勝一氏。

航空野武士會

本邦民間航空黎明期より現在に至るまで引續き航空實務に携はり、相共に螢雪の勞苦を嘗めた初期時代純民間出身者の懇親機關で、昭和九年十一月二十八日發會され、現在會員三十一名、幹事關東側渡部一英、北尾龜男、關西側福知新次、中正夫。顧問小西勝一氏。

鳳翼會

日本學生航空聯盟關西支部出身者より成る會員相互の親睦と、航空發達を企圖して昭和十年二月十一日、大阪に結成されたもので現在會員二十一名、事務所を大阪飛行場の大阪飛行機研究所內に置き、會長には學生航空聯盟關西支部長の村山長擧氏、幹事に合田福太郎及び名倉三郎兩氏が當つてゐる。

東京アマチュア航空倶樂部

日本學生航空聯盟出身の關東方面在住者によつて結成され、社會人としての航空スポーツと、航空思想普及の目的を以て昭和十年五月二十六日、發會式を擧げ、東京朝日新聞社航空部內に事務所を置く。現在會員三十七名。

日本飛行倶樂部

本倶樂部は大正七年七月創立、本邦民間航空の發達と操縱技術の向上を圖るため各地に飛行競技大會を開催すること前後七回に及ぶ。現在會員百五十六名。事務所を東京飛行場東京航空株式會社內に置く。

常任理事　奈良原三次、木暮武美
理　事　御原福平、相羽有、遠藤辰五郎、飯沼金太郎、鈴木菊雄、梶原晉二郎

會　則

第一條　本倶樂部ハ日本飛行倶樂部ト稱ス
假事務所ヲ東京市蒲田區新宿町十番地日本飛行學校內ニ置ク
二、目　的
第二條　本倶樂部ハ航空事業ノ發達ヲ旨トシ會員相互ノ親睦並ニ會員共同ノ福祉增進ヲ計ルヲ以テ目的トス
但必要ニ應シ各種ノ催シヲ爲スコトアルヘシ
三、役　員
第三條　本倶樂部ニ左ノ役員ヲ置ク
會　長　一　名
理　事　若干名
評議員　若干名
理事ハ維持會員間ノ互選ヲ以テ選定シ會長ハ理事會ノ推薦ニヨル
理事ヨリ常任理事二名ヲ互選シ會務ヲ委任ス
理事會ノ決議ハ出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決定ス　但出席者五名未滿ノ時ハ流會トス
評議員ハ理事會ノ決議ヲ以テ推薦ス
役員ノ任期ハ概ネ壹ヶ年トス
四、支　部
第四條　本倶樂部ハ必要ト認メタル主要ナル都市ニ支部ヲ設置シ其ノ地在住ノ理事ヲ以テ支部長ニ囑託スルコトアルヘシ
五、會　員
第五條　本倶樂部會員ハ左記ノ資格アルモノニシテ維持會員、名譽會員、普通會員ノ三種トス
一、維持會員ハ民間飛行學校及飛行場經營者並ニ理事會ノ推薦ニ依ル者
二、名譽會員ハ理事ノ推薦ニ依ル者
三、普通會員ハ左記ニ該當スル者
イ、遞信省下附ノ航空機乘員免狀ヲ享有セル日本人ニシテ會員二名以上ノ紹介アル者
ロ、嘗テ陸海軍航空隊飛行機操縱士タリシコトアリシ者
ハ、嘗テ陸海軍及民間航空事業ニ關與シタル經驗アル者
ニ、其他理事會ノ推薦ニ依ル者
六、會員資格ノ喪失
第六條　本倶樂部會員タル體面ヲ毀損セリト認メタルトキハ（理事會出席ノ者）四分ノ三以上ノ決議ヲ以テ除名スルコトアルベシ
七、會　費
第七條　維持會員ハ入會金五圓ヲ納付シ每月會費トシテ壹圓宛納付スルモノトス
普通會員ハ特別ノ場合ノ外會費ヲ徵收セズ
八、集　會
第八條　每月第二木曜日ヲ懇談日ト定メ維持會員並ニ評議員ハ出席シテ航空諸問題ニツキ懇談又ハ意見ノ發表ヲナス
理事會並ニ評議員會ハ必要ノ都度開催ス
第九條　每春秋二回大會ヲ兼ネテ親睦會ヲ催シ會務並ニ會計其他ノ事項ニツキ報告ス

學生海洋飛行團概要

一、簡單ナル沿革

昭和九年勅令第二九三號ニ依リ、制度新設サレタル海軍航空豫備學生ノ志願者準備教育機關トシテ同年六月一日、財團法人日本學生航空聯盟内ニ海洋部ヲ設置シ、同年七月ヨリ準備教育ヲ開始ス。

昭和十一年七月十日組織ヲ變更、新ニ財團法人學生海洋飛行團ヲ設立、同時ニ關東支部ヲ設置シ、教育ヲ開始ス。尚同日海洋部ヲ廢止ス。但シ本飛行團ノ目的及事業等ハ從前通リトス。

二、事業ノ概要

(一) 事業

(1) 海軍航空豫備學生志願者ノ航空其ノ他一般軍事ニ關スル準備教育

(二) 團員ノ種類及資格

(1) 通常團員　大學令ニ依ル學部若ハ專門學校（專門部修學後大學ニ就學スルモノヲ除ク）學生、生徒ニシテ卒業後、海軍航空豫備學生ニ志願スルコトヲ誓約シ、且體格其ノ他ノ檢査ニ合格シタルモノ

(2) 豫科團員　大學豫科其ノ他ノ學生生徒ニシテ、前號通常團員ノ候補者タルベキモノ

(3) 特別團員　海軍航空豫備學生及同教程ヲ卒業シタル海軍豫備士官

(三) 教育期間

通常團員　三ヶ年以内、豫科團員一年以内、特別團員豫備後期間、何レモ修學又ハ職業ノ餘暇ニ於テ教育ヲ行フモノトス。

(四) 團員數及飛行機種並數

(1) 卒業者數　三十五名

(2) 現在通常團員タル學生數　六十名、豫科團員　二名

(3) 特別團員タル豫備士官數　二十二名、其他現在航空豫備學生數　十七名

(4) 飛行機種及數　アブロ陸上練習機五基、三式陸上練習機八基、一〇式艦上偵察機一基、計一四基

三、役員氏名

理事長　塚原二四三
理事　草鹿龍之介
理事　西野定市
同　鈴木亨
同　加藤唯雄
同　小池兼五郎
同　宮川義平
同　星一男
同　高田利種
同　富永昌三
常務理事　松浦義
同　松原雅太
外　評議員十名

四、其ノ他必要ナル事項

學生海洋飛行團同關東支部事務所
東京麹町區日比谷公園市政會館内
同關東支部飛行場　同蒲田區羽田東京飛行場
同關東支部々長　松原雅太

民間航空機・發動機・部分品製作所錄

航空機・發動機製作所

○

立川飛行機株式會社

一、創　立　大正十三年十一月
一、資本金　四百萬圓
一、本　社　東京市麹町區丸の内一丁目東京海上ビル新館
　工　場　東京府立川町三六二八
一、役　員
　取締役會長　門野重九郎
　專務取締役　横山虎三郎
　取　締　役　中村爲三郎
　同　山田馬次郎
　同　澁谷澄
　同　澁澤秀雄
　監　査　役　田中榮八郎
　同　後藤幸三
　相　談　役　大川平三郎
一、營業種目
　軍用並に民間用飛行機々體、發動機及び同附屬品の設計製作販賣
　製　品
　石川島2及R3、R5型練習機若くは輕飛行機、石川島シラスⅡ、Ⅲ及びハーメス型航空發動機、八八式偵察機々體、石川島NKF放熱器、石川島ハンドレー・ペーヂ・スロット翼
　以上の外、戰闘機、輸送機、練習機

○

日本飛行機株式會社

一、創　立　昭和九年十月
一、資本金　貳百萬圓
一、本　社　東京市麹町區丸の内一丁目東京海上ビル新館
　工　場　神奈川縣金澤町富岡昭和町
一、役　員
　取締役社長　加藤亮一
　常務取締役　多田永昌
　同　古仁所豐
　取締役　西野惠之助
　同　荻野元太郎
　同　淺川眞砂
　同　福島繁太郎
　同　加賀孝德
　監　査　役　長谷川平五郎
　同　稻垣平太郎
　同　中村久左衞門
　同　後藤啓一
一、營業種目
　飛行機、發動機の設計製作並販賣
　同上修理及部分品の製造

○

東京瓦斯電氣工業株式會社

一、創　立　明治四十三年八月
一、資本金　六百萬圓
一、本　社　東京市大森區入新井一の一〇〇
　工　場　同右
一、役　員
　取締役社長　松方五郎
　常務取締役　內山直

取締役　谷口贊三郎
同　横濱俊
同　星子勇
同　榮國嘉七
監査役　鍋倉春彦
同　室孝吉

一、營業種目
航空機々體及發動機、艦船用發動機、軍用保護自動車、計器、工作機械、電働ホキスト、機關銃

○

東京航空株式會社

一、創立　大正五年八月
一、資本金　八拾萬圓
一、本社及工場　東京市蒲田區新宿町一〇
分工場　東京市蒲田區羽田東京飛行場
一、役員
取締役社長　相羽有
取締役　木暮武美
同　吉村二郎
監査役　相羽芳造
同　富小路洪次郎
一、營業種目
飛行機の設計、製造、修理、部分品、附屬品の製作、相羽式ツバメ型旅客機其他の販賣

○

株式會社渡邊鐵工所

一、創立　明治十九年一月
一、資本金　參百萬圓
一、本社及工場　福岡市外雜餉隈
出張所　東京市麹町區丸の内東七號館
佐世保市小佐世保免一九六一の二
一、役員
取締役社長　渡邊福雄
常務取締役　岸井孝一
取締役　渡邊藤吉
同　三島藤太
同　藤一雄
同　支配人林良吉
同兵機部長　小川貞道
監査役　井口弘
同　渡邊良稻
一、營業種目
(イ)各種兵器及部分品、(ロ)飛行機々體、飛行機用車輪、飛行機用部分品、(ハ)淺川式木炭瓦斯發生機

○

川西航空機株式會社

一、創立　昭和三年十一月
一、資本金　五百萬圓
一、本社　兵庫縣武庫郡鳴尾村鳴尾大東一
一、役員
取締役社長　川西龍三
取締役　川西清司
同　高尾繁造
同　清水朔郎
同　有坂亮平
同　坂東舜一
監査役　井上治郎
同　西岡謙二
相談役　川西清兵衛
顧問　枝原百合一
同　託吉田太郎
東京事務所　東京市麹町區丸の内二の一二仲十三號館
駐在取締役　清水朔郎
主任中村忍
一、營業種目
軍用及商業用航空機及發動機附屬具及部品、木製プロペラー、金屬製プロペラー

○

株式會社川崎造船所
飛行機工場

一、創立　大正七年八月
一、資本金　八千萬圓の一部
一、本社　神戸市湊東區東川崎町二の一四
工場　神戸市林田區和田山通
分工場　岐阜縣稻葉郡蘇原村
一、役員
取締役社長兼飛行機工場所長　鑄谷正輔
總務部長　根本莊行
檢査部長　加藤正美
飛行機部長　東條壽
發動機部長　吉川進一
技術顧問　築山一郎
各務ヶ原分工場長　市川武輔
東京出張所顧問　櫻井養秀
一、航空關係營業種目
軍用飛行機(艇)、商用飛行機(艇)
航空用發動機、アンドレー冷却器、川崎酸素吸入器

○

中島飛行機株式會社

一、創立　大正六年十二月
一、資本金　壹千貳百萬圓
一、本社　群馬縣太田町
太田工場　同右
東京工場　東京市杉並區宿町
東京事務所　東京市麹町區丸の内三の四　有樂館
一、役員
取締役社長　中島喜代一
取締役副社長　中島乙未平
取締役　臼井國
同　玉置美之助
同　佐々木革次
同　中村祐眞
同　栗原甚吾
同　佐久間一郎
監査役　中島門吉
同　濱田雄彥
同　吉田四郎
顧問　鈴木富三
同　岡稻之助
一、營業種目
(イ)飛行機々體設計並製作—九一式、甲式四型・三型各種戰鬪機、一五式水上偵察機、P—一型、フォツカー式、ダグラス輸送機
(ロ)航空發動機設計並製作—水冷式中島ロレーン四五〇馬力、空冷式中島ジュピター四五〇馬力、「壽」式四五〇馬力

○

愛知時計電機株式會社

一、創立　明治三十一年三月
一、資本金　壹千萬圓
一、本店　東京市麹町區丸の内二の四
一、工場
長崎造船所　長崎市飽の浦町一丁目
一、營業種目
A、航空機部製品
飛行機、飛行艇、發動機、冷却器、プロペラ、同部分品並附屬品
B、電機部製品
兵器、計測器類、通信器類、齒輪裝置類
C、其の他の製品
安全硝子、强化硝子、飛行眼鏡(屈曲安全眼鏡)發煙劑、特殊接合劑(バルカメン)液狀膠(液體膠)アセチレン清淨劑(クラール)アルミニユーム及アルミニユーム輕合金防蝕劑、マグネシユーム及マグネシユーム輕合金防蝕劑、カゼイン接合劑、掛時計、量水器、メーター類

○

三菱重工業株式會社

一、創立　大正六年十月
一、資本金　六千萬圓
一、本店　東京市麹町區丸の内二の四

神戸造船所　神戸市兵庫區和田崎町三丁目
彥島造船所　下關市彥島一一三
○
長崎兵器製作所　長崎市茂里町四〇
名古屋航空機製作所　名古屋市南區大江町七
東京機器製作所　東京市品川區大井森前町五六〇〇
橫濱船渠　橫濱市中區長住町三

一、役員

取締役會長　斯波孝四郎
常務取締役　鄉古潔
同　伊藤達三
同　元良信太郎
取締役　岩崎彥彌太
同　三好重道
同　永原伸雄
同　川井源八
同　伊集院清彥
同　千頭一生
同　原耕三
同　笹本菊太郎
同　玉井喬介
同　松井小三郎
監査役　三宅川百太郎
同　山室宗文
同　武藤松次
相談役　武田秀雄
顧問　濱田彪
同工學博士　鹽田泰介
同　笹本菊太郎
同　海津良太郎
同　陰山金四郎
同　刈谷秀雄
同　牛丸福作
技術顧問　阿部政次郎
同理學博士　田中正平
同　藤伊魁
同工學博士　平賀讓
同　隈部一雄
同　松木壽
本店總務部長　原耕三
同副長　根本保
本店會計部長　福島弘次郎
同營業第一課長　八島俊一
同營業第二課長　武田次郎
同營業第三課長　吉田佳雄
同營業第四課長　登原剛藏
同營業第五課長　長田清治郎
同技術部長事務取扱　元良信太郎
長崎造船所長　玉井喬介
同副長　清水菊平
同　小川嘉樹
同　岡田壽吉
神戸造船所長　松井小三郎
同總務部長　岩崎勤一
同造船部長　蓑田兪吉
同造機部長　關川貞雄
同修繕部長　後藤正彥
彥島造船所長　矢野一郎
長崎兵器製作所長　千頭一生
名古屋航空機製作所長　後藤直太
同副長　野口松一
東京機器製作所長　渡部友次郎
同副長　佐藤光三
橫濱船渠所長　伊集院清彥

同副長　片岡祥一

一、航空機關係營業種目

各種軍用飛行機、各種商用飛行機、各種航空發動機、各種飛行機用部品並附屬品、各種發動機用部品並附屬品、各種航空用兵器特種器具及工具、三菱アンリオ飛行機（製作權所有）、三菱ユンカース軍用機（同右）、三菱ユンカース商用機（同右）、三菱ブラックバーン軍用機（同右）、三菱カーチス軍用機（同右）、三菱ひなづる旅客機（エアスピード・エンヴオイ製作權所有）、三菱イスパノスイザ航空發動機（同右）、三菱アームストロングシドレー航空發動機（同右）、三菱ユンカース航空發動機 同右、三菱明星發動機（ホルネット製作權所有、三菱リード金屬プロペラー（同右）、三菱ハンドレーベーヂスロット翼、三菱クローデル氣化器（同右）、三菱ヘルツマーク發動機始動裝置（同右）、三菱ルトム發動機始動裝置（同右）、三菱フアルマン發動機減速裝置（同右）、三菱ランブラン冷却器（同右）、各種車輪式並裝軌式特殊自動車、各種輕油發動機、各種高速度重油發動機、各種航空用器具、各種器具及工具

氣球・航空船製作所

○

東京イー・シー工業株式會社

一、創立　大正八年三月
一、資本金　壹百萬圓
一、本社及工場　東京市世田谷區池尻町四三七
大阪出張所　大阪市西區阿波座中通一の三六

一、役員

專務取締役　齋藤正平
取締役　桐島像一
同　小池厚之助
同　武田秀雄
同　岩崎正彌
監査役　小早川常雄
同　境豐吉

一、營業種目

航空機用諸材料
一、護謨引各種球皮及氣囊
二、特許ゴールドビータースキン各種球皮及氣囊類
三、特許可撓性耐油管及特許特種裝備油槽
四、氣囊舟、救命艇、救命套、落下傘類

電氣用諸材料
一、抵抗用合金類
二、發條用合金類
三、アルミニューム各種合金線鈑
四、耐酸性合金線鈑
五、接點用白金代用合金
六、鑞着用銀鑞及アルミニューム鑞
七、絕緣用ヴアニツシユ及コンパウンド類

護謨製品
一、護謨引雨衣類（仕立品）及防水布類各種
二、蓄電池室用耐酸性地質及仕立品
三、護謨代用絕緣カウチライト
四、特許敷物ヂユラビライト
五、型造絕緣物（ゴム質及合成樹脂質）
六、耐熱性絕緣物
七、耐アルカリ性、耐油性、耐寒性ゴム製品

○

藤倉工業株式會社

一、創立　明治三十四年十月
一、資本金　壹百五拾萬圓
一、本社　東京市品川區五反田三の一三二
工場　同右

一、役員

取締役社長　松本留吉
常務取締役　岡田顯三
同　青木團次
取締役　松本新太
同兼製造部長　平野又助
同兼營業部長　中內鉉一郎
同　井上源之丞
監査役　關口茂三治
同　兵藤嘉門
顧問　藤原英三郎
同　原田二郎
同　藤澤宅雄

一、營業種目

航空船、氣球類各種、航空船及氣球用索具類、航空機用材料各種、飛行機翼用塗料各種、飛行機用浮囊、海底電線施設用浮標、ゴム布製瓦斯タンク類

○

株式會社氣球製作所

一、創立　明治二十七年三月（大正八年三月株式會社に組織變更）
一、資本金　五拾萬圓

一、本　社　東京市蒲田區北糀谷町二四九〇
一、役　員
取締役社長　山田總一郎
專務取締役　豐間　靖
取締役　山田　重
監査役　後藤鐵五郎
一、營業種目
軍用飛行船、同氣球附屬品、ピロツトバロン、廣告用氣球並賃貸、飛行服、登山服其他ゴム製品

航空機修理・販賣・部分品製作所

ツエー・イリース・ウント・コンパニー
（通稱イリース商會）

○
一、創　立　明治六年
一、本　社　獨逸國漢堡市ミエンケベルグ街八
一、支店及出張所
獨逸國伯林市ボツダム街一
東京市麹町區丸の內一の一帝國生命館內
橫濱市山下町二三
大阪市東區今橋四の一三
菱信託ビルデイング
神戸市海岸通一二
大連市山縣通二一二
奉天市商埠地馬路灘
一、役　員
代表者　R・コープス
K・J・イリース
H・A・イリース
東京支店支配人
R・ヒルマン
一、營業種目（航空器材）
獨逸フリードリヒスハーフエン・ドルニエ會社
飛行機、飛行艇
和蘭ネーデルランドシエ・インスツルメンテン會社
獨逸ライプチヒ、ドクトル・テー・ホルン
飛行機用遠距離廻轉計
獨逸スツツトガルト・ロバートボツシュ社
點火栓及發電機
獨逸エレクトロ・アコスチツク社
無響高度計、空中聽音機其他音響に依る各種測定裝置

○

合資會社伊藤飛行機製作所

一、創　立　大正四年二月
一、資本金　拾萬圓
一、本社及工場　千葉縣津田沼町
一、社　長　伊藤音次郎
一、營業種目
飛行機、グライダー製作修理、同部分品製作販賣、航空タクシー

○

株式會社池貝鐵工所

一、創　立　明治二十二年六月
一、資金金　四百萬圓
一、本　社　東京市芝區三田四國町二
工作及印刷機械部
東京市芝區本芝入橫町一
發動機部　東京市芝區本芝四の一五
自動車部　同　右
一、役　員
專務取締役社長　池貝庄太郎
取締役副社長　千葉恒次郎
取締役　寺井雄一
同　今井四郎
同　池貝杉二
監査役　千葉胤吉
同　池貝秀雄
同　千葉龍太郎
相談役　今井三吉
顧問　森川要之助
同　矢崎博之
同　滑川眞平
同　疋田善太郎
一、營業種目
各種內燃機關、工作機械工具、高級印刷機械、ヂーゼル自動車

○

ハンサム商會

一、創　立　明治四十五年四月
一、資本金　參萬圓
一、營業所　東京市京橋區銀座西六の二
工　場　東京市淀橋區百人町二の二四二
一、役　員
店　主　相田與市
一、營業種目
航空被服、航空用品、洋服、羅紗並綿布類

○

株式會社濱松飛行機製作所

一、創　立　大正十年十月
一、資本金　貳拾五萬圓
一、本社及工場　濱松市段子川八三一
一、本　店　京橋區銀座四の二　千貳百五拾萬圓）
支　店　大阪市東區博勞町四の一七
工　場　東京市本所區太平町四の二
一、役　員
取締役社長　服部玄三
取締役　篠原三千郎
同　河田源三
同　服部正次
監査役　松山陸郎
同　渡邊喜助
一、航空關係營業種目
航空時計、標準時計、氣象機械等の製造販賣

○

株式會社濱松飛行機製作所

一、創　立　大正十年十月
一、資本金　貳拾五萬圓
一、本社及工場　濱松市段子川八三一
一、役　員
取締役社長　入江小四郎
常務取締役　目貫禮三
一、營業種目
飛行機の設計、製作並に修繕、飛行機及發動機各種部分品製作

○

日本パイプ製造株式會社

一、創　立　明治四十四年九月
一、資本金　六拾萬圓
一、本　社　東京市本所區竪川二の三
工　場　市川市菅野
一、役　員
取締役社長　松村鶴藏
同　服部一平
同　太田太
監査役　鹿島精一
一、營業種目
航空機用引拔鋼管　電線管

○

日本發動機油株式會社

一、創　立　昭和三年一月
一、資本金　四拾萬圓
一、本社及工場　宇部市東區海岸通
出張所　東京市麹町區丸の內二の八
大阪、臺灣、朝鮮、滿洲　其他各地代理店
一、役　員
取締役社長　高良宗七
常務取締役　高良四郎
取締役　藤本閑作
同　渡邊剛二
同　俵田明
同　新田宇市
同　金野藤衛
監査役　小島成美
同　渡邊傳四郎
東京出張所主任　岡村翁輔
一、營業種目
航空機用フルゴール、フルゴールモビール、シリンダー油、ダイナモ油、トランスミツシヨン油等各種高級潤滑油

○

日本特殊塗料合資會社

一、創　立　昭和三年十月
一、資本金　拾貳萬五千圓
一、本社及工場　東京市玉子區豐島町八七三
一、役　員
代表社員　仲西他七
技師長　高橋才一
顧問　渡邊延
一、營業種目
飛行機用金屬塗料、飛行機用羽布塗料、其の他金屬用塗料

○

日本特殊鋼合資會社

一、創　立　大正四年十一月
一、資本金　四百萬圓
一、本社及工場　東京市大森區大森一の六四七五
出張所　東京市芝區三島町一二名古屋市中區南大津町一の八
大阪市西區土佐堀通一の一　大同ビル內
吳市西二河通五の二
小倉市田町二の一一一
奉天千代田通二五福昌公司內
一、役　員
社　長　渡邊三郎
理　事　大河原榮之助
監　事　渡邊利二郎
同　渡邊富三郎
一、營業種目
航空機用鋼、自動車用鋼、兵器用鋼、一般構造用鋼、普通工具用鋼特殊工具用鋼、高速度工具用鋼、高級工具、型打火造品、永久磁石高級發條、鑄鋼品、兵器部品

○

日本蓄電池株式會社

一、創　立　大正五年十二月
一、資本金　五拾萬圓
一、本社及工場　東京市大森區入新井四の七四
一、役　員
取締役　田子正次
同　矢野續藏
同　白井恭三
監査役　山本小四郎
同　杉山寅三郎
支配人　坂口君義
一、營業種目
蓄電池及其性曹達一次電池並附屬品一般電氣機械器具

○

日本樂器製造株式會社

一、創　立　明治三十年九月二十八日
一、資本金　四百萬圓
一、本社及工場　濱松市中澤町二五

○

橫濱工場　橫濱市神奈川區鶴屋町

支　店　東京市京橋區銀座七丁目
大阪市西區北堀江上通一丁目
一、役　員
取締役社長　川上嘉市
常務取締役　吉田季三
同　林　慶吉
取締役　間淵榮一郎
同　申村圓一郎
同　中村藤吉
監査役　小竹祿之助
同　山葉良雄
プロペラー部長　中島又三
同總務課長　中木勝一
同製造課長　相佐春作
同技術課長　右田秀雄
一、營業種目
樂器、ベニヤ板、木、金プロペラー、家具製造販賣

○

日本曹達株式會社

一、創　立　大正九年二月一日
一、資本金　壹千萬圓
一、本　社　東京市麹町區丸の內二の一二
工　場　新潟縣二本木驛前
富山縣山室驛前
福島縣大寺驛前
高岡市向野町
東京市玉子區浮間町
一、役　員
取締役社長　中野友禮
取締役　辰澤茂乙
同　小長谷新太郎
同　神尾友修
同　沼間敏朗
監査役　安川隆治
同　武　鶴次郎
同　遠山元一
相談役　增田義一
同　鈴木寅彥
一、航空關係營業種目
(一)エチレングリコール、(二)水素瓦斯、(三)テトラリン、(四)鹽化ゴム

○

日本無線電信電話株式會社

一、創　立　大正六年四月合資會社創立（大正九年二月株式會社組織に變更）
一、資本金　壹百萬圓
一、本社及本工場　東京市品川區東大崎二の二九一
洗足工場　東京市目黑區洗足一三二七
神戸出張所　神戸市榮町通三の一九
大連出張所　大連市瓜生町一六
一、役　員
取締役會長　門野重九郎
專務取締役　中島進治
取締役　小穴秀一
同　九鬼紋七
同　山田馬次郎
同　九鬼金平
同　大橋進一郎
同　M・シュワープ
監査役　加納與四郎
同　吉田伊兵衞
同　武田正已
一、營業種目
航空機用無線電信電話機竝附屬部分品製作販賣

○

日本計器製造株式會社

一、創　立　大正六年十一月
一、資本金　參拾五萬圓
一、本　社　東京市芝區新堀町二
一、役　員
常務取締役　山田常次
取締役　西條新太郎
同　奧村競
監査役　守谷正毅
同　人見吉彥
一、營業種目
廻轉計、水溫計、油溫計、傾斜計、速度計、油壓計、油量計、高度計、旋廻計、飛行寒暖計、支柱寒暖計、酸素吸入器、飛行場用氣象觀測器一般、其の他一般計器類

○

日本光學工業株式會社

一、創　立　大正六年七月二十五日
一、資本金　貳百四拾萬圓
一、本　社　東京市品川區大井森前町五四四七
　大井工場　同　右
　芝工場　芝區三田豐岡町一三
一、役　員
　取締役會長　斯波孝四郎
　取　締　役　和田嘉衛
　同　藤井龍藏
　同　藤井光藏
　同　岡本春三
　同　宮坂助治郎
　同　堀豐太郎
　同兼支配人　波多野義男
　監　査　役　近藤滋彌
　同　福島弘次郎
一、營業種目
　測距儀潛望鏡、双眼鏡、天體望遠鏡、顯微鏡、寫眞機、光度計、スペクトロメーター、リーディングテレスコープ其他各種光學諸機械

○

日本高級塗料株式會社

一、創　立　大正十年十一月
一、資本金　貳拾七萬五千圓
一、本　社　東京市澁谷區幡ヶ谷笹塚町九八八
一、支　社　東京市京橋區築地一丁目　築地ビル內
一、役　員
　取締役會長　長谷川直藏
　專務取締役　手塚千代吉
　取　締　役　齋藤吉十郎
　同　幡生彈治郎
　監　査　役　岡野悌二
　同　松野千勝
一、營業種目
　航空機用塗料各種及漆液

○

日本電池株式會社

一、創　立　大正六年一月十七日
一、資本金　參百五拾萬圓
一、本　社　京都市上京區新町通今出川上ル
　九條工場　京都市下京區西九條南田町
　電機工場　京都市上京區下の森通下立賣上ル
　小川工場　京都市上京區小川通上立賣下ル
　營業所　東京市丸の內三丁目仲八號館
　大阪市東區本町一丁目
　福岡市中島町
　名古屋市中區大池町三丁目
　販賣所　廣島市大手町一丁目
　札幌市南一條西八丁目
　京城府若草町
一、役　員
　取締役社長　島津源藏
　常務取締役　岩城純一
　取締役　加藤武男
　同　島津常三郎
　同　大倉喜七郎
　同　脇道譽
　同　內貴清兵衞
　同　河村曉
　監　査　役　島津源吉
　同　松村龜太郎
　同　大倉直介
一、營業種目
　特許ジーエス蓄電池及其附屬品、特許グライダー水銀整流器、宇田式超短波無線電信電話機

○

株式會社日本アルミニユーム製造所

一、創　立　明治三十四年十月（個人經營にて）（但し昭和三年九月一日株式會社に組織變更す）
一、資本金　壹百萬圓
一、本　社　大阪市西淀川區浦江北四の一九
　支　店　東京市日本橋區大傳馬町三丁目
　浦江工場　大阪市西淀川區浦江北四の一九
　三國工場　大阪市東淀川區宮原町
一、役　員
　專務取締役　藪　重　雄
　取　締　役　高木ふと
　同　浪川卯三郎
　同　黒田秀太郎
　同　平川喜四郎
　監　査　役　和田甚右衞門
　同　風間武三郎
一、營業種目
　アルミニユーム塊、板、線、管、棒、同化學工業用機具、同航空機用諸材料、同艦船用諸材料、同陸海軍用器具、同內外食器具、同携帶用具其他、同機械鑄物等及アルマイト製品

○

日本酸素株式會社

一、創　立　大正七年七月
一、資本金　參百萬圓
一、本　社　東京市京橋區銀座三の三
　東京支社　東京市芝區田村町四の六
　仙臺支社　仙臺市小田原大行院丁一四
　新潟出張所　新潟市湊町四の丁三三五〇
　龜戸工場　東京市城東區龜戸町九の二九二
　郡山工場　郡山市北谷地三七
　名古屋支社　名古屋市中區白金町四の四
　大阪支社　大阪市東區今橋三の一五
　大阪工場　大阪市大正區平尾町九二
　廣島支社　廣島市船入川口町七二五
　小倉支社　小倉市篠崎四二〇
　同　福岡出張所　福岡市古小路町三二
一、役　員
　常務取締役　高橋直行
　取　締　役　山口武彦
　同　山下太郎
　監　査　役　藤崎三郎助
　同　杉浦宗三郎
　支配人　島野亨二
一、營業種目
　壓縮酸素瓦斯及各種壓縮瓦斯液化瓦斯各種鎔接、切斷用機械器具、化學製品、理化學工業に關する機械器具及材料の製造賣買、計量器の販賣等、その他關連する一切の業務

○

株式會社日本氣化器製作所

一、創　立　昭和七年二月
一、資本金　拾六萬圓
一、本社及工場　東京市品川區北品川五の四二八
一、役　員
　取締役社長　大來修治
　取　締　役　高田益三
　同　齋藤茂一郎
　監　査　役　藤崎三郎助
　同　岡田祐二
　顧　問　陸軍少將　須田實
　囑託　海軍機關大佐　横山勇三郎
一、營業種目
　氣化器（航空機用、自動車用、一般發動機用、船舶用　三輪車オートバイ用）燃料喞筒、窒氣清淨器、眞空槽、燃料油塵溜、燃料油面計、燃料噴射喞筒

○

日本自動車株式會社

一、創　立　明治四十二年十一月
一、資本金　參百萬圓
一、本　社　東京市赤坂區溜池町三
　工　場　同　右
　東京市中野區中野驛前六
　橫濱市守屋町三の三四
　四二

飛行機翼塗料化學工品製作工場
東京府國立町
一、役　員
相談役男爵　大倉喜七郎
同　門野重九郎
同　石澤愛三
同　加藤左武郎
取締役會長　玉木誠次郎
專務取締役　小川菊造
取　締　役　叉木周夫
同　稻原啓三郎
同　山口傳
同　齋藤繁二
同　清水秀樹
監　査　役　今井修二
同　野田寛治
同　武田正巳
一、營業種目
自動車、自動自轉車、飛行機、飛行船附屬品、材料及消耗品、機械及器具、羽布塗料各種、自動車用塗料、諸油、飛行機用始動自動車、瓦斯纏自動車、通信自動車、滑油補給車、飛行機用タイヤ、揮發油補給車、其の他各種航空器材並輸入製造販賣修繕、車室製作、塗替中張、自動車貸上保管、運送請負保險代理引受

○

日本自動車飛行機タイヤ製造株式會社

一、創　立　大正三年四月十八日
一、資本金　貳拾萬圓
一、本社及工場　東京市豐島區雜司ヶ谷町七の一〇〇〇
一、役　員
取締役會長　吉田藤一郎
取締役支配人技師　高木政勝
一、營業種目
航空機各種タイヤチューブ及防彈タンク

○

株式會社日本飛行機塗料製造所

一、創　立　昭和九年三月
一、資本金　貳拾萬圓
一、本社及工場　濱松市砂山町三八八
一、代理店　東京、横須賀、靜岡、吳、奉天
一、役　員
相談役　長谷川鐵雄
代表取締役　木下善壽
取締役　明石初太郎
同　眞鍋正男
監査役　乾豐
同　水野敏雄
一、營業種目
飛行機翼布塗料、「グライダー」用ドープ、ドープ隔離塗料、輕金屬用塗料、ラツカー類、耐酸耐アルカリ塗料、防蝕塗料、電氣絕緣塗料、セロフアン、箔、印刷インキ等

○

日本精工株式會社

一、創　立　大正五年十一月
一、資本金　五百萬圓
一、本　社　東京市品川區東大崎二の三六三
大崎工場　同　右
神崎工場　尼ヶ崎市西川町野元一一の一
鋼球工場　東京市蒲田區下丸子町三〇九
多摩川工場　同　右
一、役　員
取締役社長　高橋是賢
常務取締役　多胡秀藏
取締役　山口武彥
同　近藤靜郎
同　岸科政雄
同　宮司謙次
同兼支配人　安松俊雄
監査役　杉浦宗三郎
同　日置秀雄
顧　問　吉村文吉
囑　託　渡邊季四郎
同　吉田道安
一、航空關係營業種目
球入軸承及軸子軸承

○

日本石油株式會社

一、創　立　明治二十一年五月
一、資本金　八千萬圓
一、本　社　東京市麹町區丸の內三の四
一、鑛業所　柏崎、秋田、北海道、臺灣、樺太
製油所　新潟、柏崎、秋田、鶴見、下松、臺灣、北海道
試驗所　柏崎
販賣店　東京、大阪、下關、小樽、臺北、京城
一、役　員
社長取締役　橋本圭三郎
專務取締役　中野鐵平
同　水田政吉
取　締　役　山口誠太郎
同　白勢春三
同　津下紋太郎
同　西脇濟三郎
同　鶴見左吉雄
同　渡邊讓吉
監査役　渡部介
同　山本留次
相談役　大橋新太郎
一、營業種目
揮發油、燈油、輕油、潤滑油、重油、機械油、電氣油、其他各種油及アスファルト類

○

日淸製油株式會社

一、創　立　明治四十年二月
一、本　社　東京市京橋區新川二の二
工　場　橫濱市神奈川區千若町一の三
同　大連市寶町三
一、役　員
取締役社長　門野重九郎
專務取締役　松下外次郎
常務取締役　本多兵一
取　締　役　古澤丈作
同　小川政之助
同　佐久間寬
監査役　大倉粂馬
同　玉木誠次郎
同　村岡敬四郎
一、營業種目
飛行機用蓖麻子油

○

合資會社新田ベニヤ製造所

一、創　立　大正八年七月
一、資本金　壹百五拾萬圓
一、本　社　大阪市浪速區久保吉町工　場　東京市深川區白河町三丁目
十勝國中川郡幕別村止若
營業所　大阪市浪速區櫻川町四丁目
出張所　名古屋、福岡、小樽、大連
一、役　員
代表社員　新田長次郎
一、營業種目
新田式ベニヤ板、ベニヤドアー（航空關係―海陸飛行機用ベニヤ板）

○

合資會社東京螺子製作所

一、創　立　明治三十一年一月
一、資本金　參拾七萬圓
一、本社及工場　神奈川縣片瀨町一四八
東京事務所　東京市芝區本芝三の一八
本芝工作機械部　同　右
一、役　員
所　長　松本源三郎
顧　問　岡島詳吉
同　相浦小七
營業部長　大沼誠三郎
製作部長　高橋八郎
一、營業種目
飛行機々體及飛行機發動機用精密螺子竝に部分品、砲熕、水雷兵器用精密螺子竝部分品、信管、火管部品、タップ、ダイス、螺子ダージ各種、挾範、流線型緊張線　圓

型緊張線、造船、造機、電氣用螺釘、母螺座金及鋲、其他一般螺子類、ピストンリング工作機械

○

株式會社東京計器製作所

一、創　立　明治二十九年五月（明治三十五年五月合名會社に、大正六年五月株式會社に組織を改む）
一、資本金　參百萬圓
一、本　社　東京市蒲田區新宿町八六〇
一、役　員
　專務取締役社長　和田嘉衛
　專務取締役　相馬閏二
　常務取締役　堀越郎
　取締役　富井格
　同　阿部政次郎
　監査役　南條金雄
　同　近藤廉治
一、營業種目
　航空各種計器及照明機

○

東京製綱株式會社

一、創　立　明治二十年
一、資本金　壹千五拾萬圓
一、本　社　東京市日本橋區吳服橋三の五
　工　場　川崎市戸手
　神戸市兵庫區入江通
　小倉市砂津
一、役　員
　專務取締役　赤松範一
　常務取締役　戸村理順
　取締役　深山正
　同　大倉粂馬
　同　藤田好三郎
　監査役　山田進
　同　野口彌三
一、營業種目
　鋼索、撚線、鋼線、鐵線、荷造用ワイヤ及機械、鎔接棒、金具、マニラ綱、サイザル綱、白麻綱、テール綱、木綿綱、マニラトワインバインダートワイン、マニラ岩糸マニラ延繩

○

東洋酸素株式會社

一、創　立　大正七年十月八日
一、資本金　五拾萬圓
一、本社及工場　東京市荏原區戸越
一、役　員
　專務取締役社長　和田嘉衛
　取締役　石井太吉
　同　小西保平
　同　齋藤未知
　常務取締役　石川龍雄
　監査役　名和金次郎
　同　山田眞吉
　同　名和福次
一、營業種目
　酸素瓦斯、窒素瓦斯、液體空氣、液體酸素、亞酸瓦斯鑄掛諸材料、精密螺子類、兵器部品、航空機用部品、計量器、高壓ヴアルブ及コック、酸素製造機械製作

○

特殊製鋼株式會社

一、創　立　大正十三年八月
一、資本金　壹百萬圓
一、本　社　東京市蒲田區雜色町四三九
　營業所　東京市麹町區丸の內二の二　丸ビル內
　出張所　大阪市北區中之島七の一一
一、役　員
　社　長　石原米太郎
一、營業種目
　各種合金鋼、各種兵器鋼、各種工具鋼、各種炭素鋼、各種鑛用鋼、高級發條鋼、高級双物鋼、各種道具鋼、火造品一式、規格品一式、鑄鋼品

○

株式會社巴組鐵工所

一、創　立　大正十二年八月
一、資本金　貳拾萬圓
一、本社及工場　東京市京橋區月島東河岸通九の四
一、役　員
　取締役社長　E・アンドレー
　取締役　C・ハーデン
　同　田中昌英
　同　能勢陽太郎
一、營業種目
　(イ)ヨハンソン會社製ゲージブロック、スクリウゲージ、マイクロメーター、ハンドタップ、ダイス其他精密工具類、(ロ)英國トーマスファースヂヨンブラウン會社製飛行機用特殊鋼、(ハ)英國ファースヴイカース會社製耐熱材及コールドロール不錆鋼帶、(ニ)セー會社製飛行機用特殊鋼管、(ホ)ガネボ會社製ピアノワイヤー、冷狀伸延鋼線、(ヘ)エベレ會社製炭素鋼、合金鋼の冷狀壓延鋼帶、(ト)ウイツクマンシツタン會社製各種工具鋼、高速度鋼、(チ)ウエストロム會社製工具類、(リ)アルフア會社製各種試驗機及ベークライト製造機、(ヌ)オスモンド溫度自動調節器、(ル)ペンタ會社製各種ガソリンエンジン、(ヲ)ハスクバーナ會社製自動自轉車、(ワ)アリストス計算器、其他瑞典製各種機械工具材料、(カ)和蘭フイリツプス會社ラジオ眞空管其他ラジオ器具一切、工業用眞空管等

○

理研ピストンリング株式會社

一、創　立　昭和九年三月
一、資本金　六百萬圓
一、本　社　東京市京橋區銀座西七丁目
　柏崎工場　新潟縣柏崎町
　柏崎工場　新潟縣柏崎町
　東京工場　東京市本鄉區駒込富士前町
　大阪出張所　大阪市東區北濱四丁目
一、役　員
　取締役會長　工學博士子爵　大河內正敏
　專務取締役　岡　秀寶
　取締役　井田榮造
　同　矢部又吉
　同　岩崎恆二郎
　同　福岡成一
　同　安藤兵部
　監査役　山田多計治
　同　西鄉佳夫
　同顧問工學博士　林邊賢一郎
　同　海老原敬吉
　同　大越諄
　支配人　兵頭正治
　營業部長　荒木重義
　營業代理長　松澤健介
　同　細鄉軍三
　庶務課長　中村吉雄
　會計課長　名波佐一
　柏崎工場長　平野義夫
　同　事務長　內山小太郎
　東京工場長　千葉成男
　大阪出張所長　黑部武彥
一、營業種目
　ピストンリング、ピストン、ツヰストドリル、カツター、マグネチツクチヤツク、デイスクグライツダー、精密工作機、定盤、各種鑄

鋼鑄鐵、絕緣塗裝電線、其他理研系統各社製品

○

オリエンタル寫眞工業株式會社

一、創　立　大正八年九月
一、資本金　四百參拾萬圓
一、本社及工場　東京市淀橋區西落合二の四三〇
出張所　東京市京橋區銀座西六の五
　大阪市南區安堂寺橋通三の三三
一、役　員
　取締役社長　菊地學治
　常務取締役　菊地久吉
　取締役　五十嵐與七
同　大倉粂馬
同　鹽原又策
同　楠村泰二
監査役　佐々木彌太郎
同　小泉壽太郎
同　淺沼龍吉
同　參與　渡邊恒太郎
一、營業種目　航空關係營業種目　寫眞用畫紙、乾板、フヰルム、同藥品及同器具製造

○

合資會社大田計器製作所

一、創　立　昭和三年八月
一、資本金　拾萬圓
一、本社及工場　東京市本鄉區湯島新花町三四
一、役　員
　代表社員　大田彦市
一、營業種目　航空計器、氣象計器、金屬製溫度計、硝子製溫度計、浮秤

○

太田鐵工所

一、創　立　明治三十四年四月
一、資本金　七萬圓
一、本社及工場　東京市本所區龜澤町一の三一
一、營業種目　工場主太田筆吉　陸海軍關係、タップ、ダイス、チエザー並に航空機部品類

○

大倉商事株式會社

一、創　立　明治四十四年十一月
一、資本金　壹千萬圓
一、本社　東京市京橋區銀座二の二の九
一、役　員
　取締役會長　玉木誠次郎
　常務取締役　今井文平
同　皆川多三郎
同　脇道譽
同　石田直吉
同　大倉彦一郎
同　鈴木百一
監査役　武田正己
同　檀治
同　連水篤治郎
同　相談役　門野重九郎
同　山田馬次郎
一、航空關係營業種目　飛行機、發動機及部分品、計器類、照明設備、無線電信、飛行場設備其他一切

○

株式會社大隈鐵工所

一、創　立　明治三十一年一月
一、資本金　貳百萬圓
一、本　社　名古屋市東區布池町一七
　布池工場　同右
　大曾根工場　名古屋市東大曾根町三
　萩野工場　名古屋市外萩野村辻
　小倉工場　小倉市外企救町城野
　東京出張所　東京市麹町區丸の內　東京海上ビル
　關西販賣所　大阪市北區曾根崎上三の八日本精機商會
一、役　員
　取締役社長　大隈榮一
　同副社長　土屋富五郎
　常務取締役　鶴澤一作
　營業部長　村岡嘉六
　取締役　渡邊義郎
同　岡谷惣助
同　大曾根工場長　前川芳之輔
監査役　五味米吉
同　岩間昌生
同　米澤幸二郎
顧　問　富岡辰二郎
　庶務課長　千葉藤一郎
一、航空關係營業種目　航空機用工作機械、機體部品、發動機部品、航空機用檢査器類、發動機用治具取付器具

○

岡繁藏商店

一、創　立　營業開始慶應三年、現在工場開始明治三十八年
一、資本金　個人營業につき記載を省略す
　營業所　大阪市東區淡路町四の七
　工　場　大阪府北河內郡四條畷
　同製造部長　村岡嘉六
　取締役　渡邊義郎
同　岡谷惣助
同　大曾根工場長　前川芳之輔
監査役　五味米吉
同　岩間昌生
同　米澤幸二郎
顧　問　富岡辰二郎
　庶務課長　千葉藤一郎
一、航空關係營業種目　航空機用工作機械、機體部品、發動機部品、航空機用檢査器類、發動機用治具取付器具

○

岡繁藏商店

一、創　立　營業開始慶應三年、現在工場開始明治三十八年
一、資本金　個人營業につき記載を省略す
　營業所　大阪市東區淡路町四の七
　工　場　大阪府北河內郡四條畷　村中野（四條畷附近）
一、役　員
　營業主　岡繁藏
　支配人　杭全初三郎
　兼工場長
一、航空關係營業種目　緩衝護謨紐、落下傘用ゴム紐、氣球用護謨紐其他

○

岡本工業株式會社

（舊株式會社岡本自轉車自動車製作所）

一、創　立　大正八年三月
一、資本金　壹百五拾萬圓
一、本社及工場　名古屋市中區東郊通七の一五
　支　店　東京市神田區末廣町一
一、役　員
　取締役社長　岡本松造
　常務取締役　岡本德松
　取締役工業部長　岡本直治郎
　同營業部長　松崎房吉
　取締役　大澤德太郎
　監査役　織田了
　同　水野兼吉
　顧　問　林正男
同　男爵　前田勇
　東京支店長　和田圭三
一、營業種目　自轉車、自動自轉車、自動三輪車並に飛行機部品の製作

○

沖電氣株式會社

一、創　立　大正元年八月
一、資本金　五百萬圓
一、本　社　東京市麹町區丸の內一丁目東京海上ビル新館
　支　店　大阪市東區今橋二の二四
　同　大連市山縣通り一八
　出張所　神戸、廣島、名古屋、福岡、熊本、札幌、奉天、新京
　大崎工場　東京市品川區西大崎一の二
　芝浦工場　東京市芝區西芝浦四の一　大阪工場　大阪市西淀川區大仁西一の四八
一、役　員
　取締役會長　淺野總一郎
　常務取締役　小瀨虎
同　鈴木紋次郎
　取締役男爵　阪谷芳郎
同　安田善五郎
同　清水釘吉
同　技師長　押田三郎
監査役　戸澤芳樹
同　白石喜太郎
　常任監査役　馬場辰熊
一、航空關係營業種目　航空機用無線電信電話送受信裝置及材料一般

○

角一ゴム株式會社

一、創　立　昭和九年一月（明治三十八年創業）
一、資本金　壹百萬圓
一、本社及工場　大阪市西淀川區浦江中二の五

出張所　大阪市東區北濱二丁目
　　京城府南大門通二丁目
一、役　員
　社　長　阿部金次郎
　副社長　阿部兵太郎
　常務取締役　阿部一二郎
　監　査　役　阿部彦太郎
一、航空關係營業種目
　布入護謨管、發動機用間座
　○

關西製綱株式會社

一、創　立　明治四十五年四月
一、資本金　壹百五拾萬圓
一、本社及工場　大阪府貝塚町津田六五
　出張所　函館市末廣町道銀ビル
　東京市日本橋區通二丁目
　大阪市南區難波新地
　南海ビル
　長崎市五島町四九
　下關市東南部町三二
一、役　員
　取締役社長　寺田元之助
　取　締　役　寺田松三郎
　同　久住政七
　同　山田宗三郎
　支配人　山本賢三
　監　査　役　十場吉太郎
　同　岡田惣吉
一、營業種目
　營業部長　池田良之助
　鋼索部長　西岡多三郎
　麻索部長　木岡常吉
一、營業種目
　各種綱索、鐵鋼線、麻索（マニラ綱、トワイン白麻綱、テール綱）、飛行機用操縱索、片撚復撚一式、KS式鋼索、ピアノ線
　○

株式會社米井商店

一、創　立　創業明治三十一年（大正九年十一月株式會社に組織變更）
一、資本金　壹百萬圓
一、本　店　東京市京橋區銀座二の三
　支店及出張所　大阪、神戸、門司、横濱、横須賀、呉、大牟田、京城、大連、奉天、グラスゴー、ロンドン、マンチエスター、アントワープ
一、役　員
　取締役社長　松村昇
　取　締　役　鈴木壽助
　同　米井正夫
　同　三原裕
　同　吉田信夫
　監　査　役　田路胤夫
一、營業種目
　諸機械、工具、電氣機械、鐵鋼類金物材料、洋織物、肥料、ゴム製品、塗料其他諸雜貨類、輸出入並に賣買、火災保險代理
　航空關係取扱種目
　英國パーマー・タイヤ會社製飛行機用完全車輪及制動裝置、英國エス・スミス父子會社製飛行機用KLG發火栓、航空用計器類一式、英國ブラントン會社製飛行機用ワイヤー類、英國ケルビン・ボトムレー會社製航空用コンパス類、明治ゴム製造所製飛行機用タイヤ、チユーブ、ゴム管類、日本光機工業株式會社製航空燈臺、着陸場照明燈、信號燈、其他羅布及金屬用特殊塗料、機體用安全硝子、計器用發光塗料
　○

株式會社横河電機製作所

一、創　立　大正四年九月
一、資本金　壹百萬圓
一、本社及工場　東京府武藏野町吉祥寺三〇〇〇
　營業所　東京市麹町區丸の内一の二　仲二八號館
一、役　員
　專務取締役　横河一郎
　取　締　役　横河大祐
　同　技師長　青木晋
　同　吉原重時
　監　査　役　東郷安

同　山北與三郎
一、營業種目
　電氣計器及電氣測定器具類
　○

吉原製油株式會社

一、創　立　昭和九年十一月（組織變更）
一、資本金　四百萬圓
一、本　店　大阪市北區中之島三の七
　工　場　西宮市今津東濱二三二九
一、役　員
　取締役社長　吉原定次郎
　取　締　役　吉原徹郎
　同　大家源之助
　同　山本周平
　同　安部武夫
　監　査　役　吉原治良
　同　中村靜海
一、營業種目
　カストル油及植物性諸油
　○

田中製作所

一、創　立　大正八年八月
一、資本金　八拾萬圓
一、本社及工場　東京市大森區大森三の三六二
一、役　員
　所　主　田中松彦
　顧　問　稻留國彦
　同　竹内正
一、營業種目
　航空機用計器類製造
　○

株式會社立川工作所

一、創　立　大正十年（昭和九年八月株式會社に組織變更）
一、資本金　六拾萬圓
一、本　社　東京市京橋區銀座西五の二　共同建物ビル内
一、工　場　東京府立川町三〇四六
一、代表取締役　野澤三喜三
一、營業種目
　點火栓及航空機、自動車內燃機竝に上記に關聯する諸機械の製造竝に修理
　○

高島屋飯田株式會社

一、創　立　天保八年六月（株式會社繼承大正五年十一月）
一、資本金　四百萬圓
一、本　店　東京市京橋區銀座西二の一
　支　店　大阪市東區横堀一の一一
　神戸市神戸區京町七〇
　工　場　東京品川、京都西陣、大阪住吉
一、役　員
　取締役社長　飯田藤二郎
　常務取締役　後藤忠治郎
　同　齋藤良清
　取　締　役　飯田新七
　同　飯田直次郎
　同　太田有二
　同　山中政三郎
　同　喜多村三木造
　同　石原直道
　監　査　役　飯田新太郎
　同　小野傳治郎
　同　竹田量之助
一、營業種目
　飛行機用亞麻及綿製羽布、氣球用布、航空服及其附屬品一式、機上作業着帶、安全帶、機上傳聲管、落下傘、一般計器類、光學機械、レンズ
　○

株式會社玉屋商店

一、創　立　昭和七年八月
一、資本金　五拾萬圓
一、本　店　東京市京橋區銀座三の二
　支　店　大阪市東區高麗橋二の四五
　出張所　福岡市下奥の堂町一三
　工　場　東京市澁谷區原宿一の一〇二

東京市荒川區三河島七
の七一〇

一、役　員
取締役社長　宮田城之輔
專務取締役　津田定助
取締役　井上彌三郎
監査役　片山三平

一、營業種目
航空計器類、航空用光學器械類、氣象觀測器械類、測量製圖用品類
航空用時計類

○

株式會社園池製作所

一、創　立　大正元年六月
一、資本金　六拾萬圓
一、本社及工場　東京市品川區東大崎一の八五五
大阪營業所並分工場　大阪市大正區新炭屋町一五八
一、役　員
取締役會長　横山昌次郎
同　桑田權平
同　伊香志朗
同　小田碧
同　飯田定次郎
監査役　室孝吉
同　森俊六郎
同　川崎芳熊
一、營業種目
飛行機製作用各種ゲーヂ、治具、カツター、精密工具並に風洞天秤

○

株式會社津上製作所

一、創　立　昭和三年十二月
一、資本金　五百萬圓
一、本　社　東京市蒲田區下丸子町三〇三
一、役　員
專務取締役　三好廣
常務取締役　津上退助
同　岸科政雄
取締役　松本新太
同　住井辰男
同
常任監査役　矢島房脩
監査役　佐々田彰夫
同　加護谷祐太郎
相談役　安川雄之助
一、航空關係營業種目
航空機及航空用發動機部品並に之に使用する精密工具及檢査器

○

内外護謨合資會社

一、創　立　大正二年七月
一、資本金　五拾萬圓
一、本社及工場　神戸市林田區菅原通五の二
分工場　神戸市林田區若松町八の五
出張所　東京市京橋區木挽町二の四
一、役　員
代表社員　榎並充造
一、航空關係營業種目
飛行機用タイヤー中袋、布入耐油ゴム管、エボナイト製品及機體用ゴム部品各種

○

ライジングサン石油株式會社

一、創　立　明治三十三年四月
一、資本金　貳千萬圓
一、本　社　横濱市中區山下町五八
支　店　東京、大阪、京城、臺北、大連
營業所　小樽、仙臺、名古屋、福岡
油槽所　青森縣野內、横濱市鶴見、愛知縣武豐、神戸市野田、下關市彦島、福岡縣西戸崎、朝鮮釜山、朝鮮咸鏡南道文坪
一、役　員
代表取締役
T・G・エリー
取締役　P・B・ブラオン
同　N・C・スキツパース
監査役　W・ヘイワード
一、營業種目
揮發油、燈油、重油、機械油、蠟の輸入販賣

○

野澤組航空部

一、創　立　昭和七年六月
一、本　店　東京市京橋區銀座西五の二　共同建物ビル
支　店　神戸、臺北、シドニー、紐育、倫敦
工　場　東京府立川町
一、役　員
營業主　野澤三喜三
一、營業種目
モノスパー飛行機、ポツプジョイ發動機其他英米各種飛行機、發動機、航空器材及ハンバー、ヒルマン、コンマー自動車其他各種自動車並上記に關聯する諸機械の製造及修理
スタンダードバキユームオイル社製油脂類

○

合名會社國藤鐵工所

一、創　立　明治三十六年五月
一、資本金　八萬五千圓
一、本社及工場　東京市品川區東大崎五の三〇
一、役　員
代表社員　伊勢堅八郎
營業部長　伊勢久雄
工作部長　古賀福藏
顧　問　川崎宗武
同　市川市三
監査役　山口利國
一、營業種目
航空機部品、要具類、計測器類

○

株式會社山武商會大森製作所

（舊株式會社大森機械製作所）

一、創　立　大正五年二月
一、資本金　參拾萬圓
一、本社及營業所　東京市麹町區丸の内二の六
工　場　東京市大森區新井宿五の一二六
一、役　員
取締役社長　山口武彦
取締役　高橋治太郎
代表社員　山本熊太郎
一、營業種目
航空機々體金屬部品、落下傘金具一式、精密螺子及一般螺子類、眞鍮及鐵木捻子類、銅合金引拔棒及線材

○

株式會社松尾工場

一、創　立　明治三十七年十二月
一、資本金　參拾萬圓
一、本社及工場　東京市麻布區竹谷町二
一、役　員
常務取締役　吉富令藏
同　松尾富一
取締役　稻川與一
監査役　武富忠吉
工場長　今井阪一
一、營業種目
飛行機部分品、自動車部分品、兵器部分品、造船、造機、造兵並に艤裝金物及各種拳嘴類、高級合金鑄造、燃研式木炭瓦斯自動車

山本螺旋合名會社

一、創　立　明治十三年五月
一、資本金　五拾萬圓
一、本　社　東京市小石川區武島町二二
本工場　同右
旋工部　同右
伸銅部　東京市淀橋區下落合一の四五
落合工場　東京市淀橋區下落合一の七五
一、役　員

○

株式會社松尾螺子製作所

一、創　立　大正十四年二月
一、資本金　五拾萬圓
一、本社及工場　東京市澁谷區丹後町三二
一、役　員
取締役社長　桑　本　澄
專務取締役　松　尾　玄　吾
常務取締役　桑　本　龍　夫
監　査　役　相　羽　有
一、營業種目
飛行機用精密螺子並に部品の製造加工

○

フオツケスウント コツホ合資會社

一、創　立　昭和三年九月
一、資本金　拾五萬圓
一、本　店　東京市麹町區丸の內二の一四　仲一一號館
一、役　員　H・フオツケス　E・V・コツホ　高　不二郎

○

古河電氣工業株式會社

一、創　立　明治二十九年六月
一、資本金　貳千貳百六拾五萬圓
一、本　店　東京市日本橋區室町二の八
工　場
日光電氣精銅所　栃木縣日光町清瀧五〇〇
本社工場　横濱市神奈川區西平沼町四の二三
九州電線製造所　門司市大里町四三九二
大阪伸銅所　大阪市北區天神橋筋四の二四
尼崎伸銅所　尼崎市東向島東之町四四
大阪電池製作所　尼崎市東向島西之町八
一、航空關係營業種目
各種デユラルミン製品、各種エレクトロン、各種航空機用電線蓄電池

○

藤倉電線株式會社

一、創　立　明治十八年二月
一、資本金　壹千萬圓
一、本社及工場　東京市深川區平久町一の四
技術部長　高橋兼治郎
本社工場長　西田傳五郎
日光電氣精銅所長　西村啓造
理化試驗所長　鹽見勉
大阪伸銅所長　岩佐恭二郎
尼崎伸銅所長　圓城寺松一
九州電線製造所長　松浦英雄
大阪電池製作所長　立石金吾
大阪販賣店長　木村喜三郎
大連販賣店長　西田善藏
理化試驗所　東京市荏原區下神明町五二〇
販賣店　大阪、大連
出張所　札幌、京城、上海、臺北、新京、哈爾賓、奉天、名古屋、仙臺、門司
一、役　員
取締役社長　中川末吉
專務取締役　杉本五十鈴
取締役　三谷一二
取締役　長谷川鐵太郎
同　荻野元太郎
同　利根川守三郎
同　鈴木元
監査役　平沼亮三
同　河手捨二
同　佐々木敏綱
査業部長　鈴木元
經理部長　妻信篤
販賣店　大阪、名古屋、福岡、大連、上海
一、役　員
取締役社長　松本留吉
取締役　岡田顯三
同營業部長　關口善吉
同總務部長　松本新太
同製造部長　木村介次
同　小倉正恒
同　秋山武三郎
監査役　矢島富造
同　永井省三
一、航空關係營業種目
各種電線電纜

○

株式會社小糸製作所

一、創　業　大正四年
一、資本金　貳百五拾萬圓
一、本　社　東京市品川區東品川四の二六
出張所　大阪市北區堂島中二の三九
一、役　員
社　長　小糸源六郎
專務取締役　山本信吾
常務取締役　小糸榮一郎
同　加藤眞一
監査役　池田貞助
同　森　勝吉
設計課長　本庄叔郎
相談役　今泉恒顧問
同　日高新郎
同　町田琴太郎
一、航空關係營業種目
探照燈、航空燈臺、明滅燈、雲高燈、固定式及移動式着陸場照明燈、飛行機前照燈、障碍物標示燈、風向標示燈、移動作業燈

○

國産工業株式會社 安來製鋼所

（舊稱戸畑鑄物株式會社安來製鋼所）
一、創　立　明治三十二年
一、本所及工場　島根縣安來町安來町一の三一
出張所　東京市麹町區丸の內二の一六
大阪市北區中之島二の一五
戸畑市國産工業株式會社戸畑製作所內
名古屋市中區廣小路通三の四　第一ビル內
分工場　島根縣仁多郡島上村宇部市沖の山
一、役　員
所長　工藤治人
專務取締役　福島右三
副所長　菊田多利男
製造部長　石垣豐造
工務部長
一、營業種目
高速度鋼、工具用鋼、各種特殊鋼構成用鋼、（飛行機材料及兵器用各種材料其他）打双物及鋸用鍛鋼

○

國産電機株式會社

一、創　立　明治四十一年三月
一、資本金　六拾萬圓
一、本社及工場　東京市豐島區高田南三の七一七
一、役　員
取締役社長　岩井豐治
取締役　德川守
同　佐藤柱助
同　加藤正俊
同　澁谷澄
監査役　山本義民
顧問　阿部一郎
同　荒木事吉
一、營業種目
飛行機用高壓磁石發電機各種、同始動發電機各種、揮發油機關用磁石發電機、丙火艇機關用磁石發電機、其他部分品

○

株式會社神戸製鋼所

一、創　立　明治三十八年九月
一、資本金　貳千萬圓
一、本社及工場　神戸市葺合區脇濱町一の三一

分工場　三重縣鳥羽町　鳥羽電機製作工場
　　門司市小森江　門司伸銅工場
出張所　東京、大阪、吳
一、役　員
取締役社長　田宮嘉右衞門
常務取締役　森本準一
同　淺田長平
取締役　土屋行藏
同　酒井重之助
同　小田島修三
同　和田信房
同　川上義弘
監査役　子爵會我祐邦
同　佐々木義彥
一、航空關係營業種目
ディーゼル機關、冷却機、空氣及瓦斯壓搾機、風洞及附屬裝置、輕合金、銅、眞鍮管、鈑、棒、鑄鋼、鑄鐵、特殊鋼、マグネシウム合金、デュラルミン等合金類、無線用發電機、ヒーター用發電機

○

株式會社近藤製作所

一、創　業　明治四十五年三月
一、資本金　五拾萬圓
一、營業所　東京市荒川區南千住町五の一〇四
本工場　同右
分工場　東京市荒川區南千住町八の七四
品川工場　東京市品川區東品川四の一六〇
一、營業種目
飛行機々體部品製造

○

帝國製麻株式會社

一、創　立　明治四十年七月
一、資本金　壹千七百拾貳萬五千圓
一、本　社　東京市日本橋區室町一の一
支　店　大阪市北區宗是町　大阪ビル內
札幌市北七條東一の一
京城府黃金町二の一八
出張所　橫濱市中區常盤町　常盤ビル內
一、役　員
取締役社長　安田善次郎
常務取締役　河路寅三
同　下河邊行一
取　締　役　大橋新太郎
同　平塚直治
同　安田善五郎
同　玉木誠次郎
同　安田一
同　伊藤忠三
同　蒲澤安吉
監　査　役　飯田藤二郎
同　塚越丘二郎
同　松本烝治
一、航空關係營業種目
飛行機翼布、飛行機用縫絲、テープ

○

合資會社淺沼商會

一、創　立　明治三十五年三月
一、資本金　五拾萬圓

一、本　社　東京市日本橋區室町三工　場　東京市江戸川區平井町
支　店　大阪市南區順慶町四の一〇
出張所　京都市寺町通廣光寺
福岡市下西町三九
札幌市南一條西四丁目
京城府太平通二丁目
臺北市京町三丁目
一、役　員
代表者　淺沼治
一、營業種目
寫眞器械、活動寫眞器、印刷機械理化學用機械、双眼鏡、望遠鏡、顯微鏡及其附屬材料、藥品製造販賣及度量衡器の販賣

○

旭硝子株式會社

一、創　立　明治四十年九月八日
一、資本金　四千萬圓
一、本　社　東京市麴町區丸ノ內二の六
試驗所　橫濱市鶴見區潮田町二

東京支店　東京市日本橋區室町四の六
大阪支店　大阪市東區道修町四の七
門司出張所　門司市棧橋通一
小樽出張所　小樽市南濱町一の四
名古屋出張所　名古屋市中區廣小路通六の三
尼崎工場　尼崎市西向島町二
牧山工場　戸畑市大字戸畑字牧山四四三九
鶴見工場　橫濱市鶴見區末廣町一の一
一、役　員
取締役會長　山田三次郎
常務取締役　大野政吉
取　締　役　三好重道
同　三角愛三
同　林　雅之助
監　査　役　大山五郎
同　羽野友二
同　加藤武男
監　査　役　關口善吉
同　矢島富造
一、營業種目
磨板、型板、縞板、網入板、普通板、寫眞乾板用硝子、ソーダ灰、苛性ソーダ、純無水炭酸ソーダ、セスキカーボネートソーダ、重炭酸ソーダ、鹽化カルシウム
電融鑄造耐火煉瓦コルハート、珪石質及び粘土質耐火煉瓦の製造販賣

○

安立電氣株式會社

一、創　立　昭和六年三月
一、資本金　壹百萬圓
一、本社及工場　東京市麻布區富士見町三九
營業所　神戸市榮町六の三一
一、役　員
取締役會長　松本新太
專務取締役　小屋良吉
常務取締役　脇坂貫一
取　締　役　岡田顯三
同　堀江貞治
同　桑本澄
一、航空關係營業種目
飛行機材及工具類、デュラルミン製品一切、飛行機重心安定裝置

○

北河製品所

一、創　立　明治二十七年一月
一、資本金　五拾萬圓
一、本社及工場　靜岡縣島田町
一、役　員
所　長　北河豐次郎
副所長　北河淑
一、航空關係營業種目
(イ)飛行機翼布塗料、醋酸纖維素(特許)、醋酸纖維素假漆(特許)、醋酸纖維素溶解劑(特許)、耐濕吹付用醋酸纖維素塗料(特許)、被包式プロペラ用塗料、(ロ)飛行機用輕金屬塗料、輕金屬用塗料(特許)
金屬プロペラ用塗料、鋼材防錆塗料、輕金屬用パテ、(ハ)其他航空機用水密塗料、白色抵抗塗料、ポリッシングコンパウンド、K・Sポリッシュアセトン、メチールアルコール、クリーニングソルベン

ト

○

湯淺蓄電池製造株式會社

一、創　立　大正七年四月
一、資本金　五百萬圓
一、本　社　大阪府高槻町古曾部
一、支　店　東京市京橋區木挽町四の八
　　大阪市南區末吉橋通四の二八
　　名古屋市中區岩井通五の一〇
　　福岡市蓮池町二
　　出張所　神戸市榮町通五丁目
　　大連市山縣通一三八
一、役　員
　　取締役社長　湯淺七左衞門
　　專務取締役　山本小四郎
　　取締役　淺田美之助
　　同　湯淺佑一
　　監査役　田子正次
　　同　逸見知久
　　同　南條金雄
　　同　田中文藏
　　同　石田禮助
　　同　永島雄治
　　同　太田靜男
　　同　長谷川作次
　　同　中村幸助
　　同　鵜飼宗平
　　同　住井辰男
　　監査役（常任）御酒本德松
　　同　（同）市川純一
　　同　三井高光
　　同　武村貞一郎
　　同　瀨古孝之助
　　航空機關係社員
　　機械部長　淺田美之助
　　同　副部長　木村精三
　　同　館野竹之助
　　同部長代理　多田艮雄
一、營業種目
　　物品販賣業、問屋業、運送業、代理業、製材業、船舶業、繫造並陸上揚業及以上の各業の附帶事業

○

三菱電機株式會社

一、創　立　大正十年一月
一、資本金　壹千五百萬圓
一、本　店　東京市麹町區丸の內二の四
　　製作所　神戸市兵庫區和田崎町
　　長崎市平戸小屋町
　　名古屋市東區矢田町
一、役　員
　　取締役會長　川井源八
　　常務取締役　大內愛七
　　取締役　武田秀雄
　　同　斯波孝四郎
　　同　加藤恭平
　　同　正木良一
　　同　宮崎駒吉
　　監査役　永原伸雄
　　同　武藤松次
一、營業種目
　　(イ)機械部、飛行機、飛行船、氣球、航空發動機其他一般航空用材
　　(ロ)燃料部、ガソリン、潤滑油、ベンゾール、重油

○

三菱商事株式會社

一、創　立　大正七年四月
一、資本金　參千萬圓
一、本　店　東京市麹町區丸の內二の四
　　支　店　小樽、横濱、名古屋、大阪、神戸、吳、門司、臺北、高雄、京城、大連、天津、青島、上海、漢口、香港、新嘉坡、カルカッタ、孟買、スラバヤ、シドニー、倫敦、紐育、シアトル、桑港
　　出張所　長崎、佐世保、釜山、清津、哈爾賓、奉天、新京、アレキサンドリア、マニラ、盤谷
一、役　員
　　取締役會長　三宅川百太郎
　　常務取締役　田中完三
　　同　早川茂三
　　同　谷田友治
　　同　柳瀨篤二郎
　　取締役　加藤恭平
　　同　船田一雄
　　同　河手捨二
　　同　上野福三郎
　　同　三嶋清一
　　監査役　瀨下清
　　同　永原伸雄
　　同　川井源八
　　同　武藤松次
　　機械部長　三嶋清一
　　燃料部長　鈴木四郎
一、營業種目
　　(イ)機械部、飛行機、飛行船、氣球、航空發動機其他一般航空用材
　　(ロ)燃料部、ガソリン、潤滑油、ベンゾール、重油

○

株式會社芝浦製作所

一、創　立　明治三十七年六月
一、資本金　壹千五百萬圓
一、本社並營業部　東京市麹町區有樂町一の一〇

一、營業種目
　　蓄電池、乾電池、光明丹、亞硝酸曹達

○

合資會社明治ゴム製造所

一、創　立　明治三十三年二月
一、資本金　參拾五萬圓
一、本社及工場　東京市品川區北品川
　　販賣總代理　東京市京橋區銀座
　　株式會社米井商店
　　支店出張所　大阪、神戸、門司、横須賀、吳、佐世保、舞鶴、京城、臺北、大連、奉天
一、役　員
　　社　長　米井信夫
　　副社長　松村昇
一、營業種目
　　工業用ゴム製品、飛行機タイヤー
　　飛行機用ゴム管、緩衝ゴム、其他附屬品

○

株式會社明電舍

一、創　立　明治三十年十二月
一、資本金　五百萬圓
一、本社及工場　東京市品川區東大崎二の二七六
　　出張所　奉天市千代田通三四
　　名古屋工場　名古屋市外西枇杷島町
一、役　員
　　取締役社長　重宗芳水
　　專務取締役　重宗雄三
　　常務取締役　末野助市
　　取締役　高橋幸熊
　　同　金子金次郎
　　同　横田寅次郎
　　同　技師長　竹內壽太郎
　　監査役　北村文重
　　同　阿部太九三
　　同　大野清三郎
　　同　山田利平
一、營業種目
　　發電機、電動機、變壓器、配電盤

○

三井物産株式會社

一、創　立　明治九年七月
一、資本金　壹億圓
一、本　店　東京市日本橋區室町一の一
　　支　店　小樽、横濱、名古屋、大阪、神戸、門司、三池、長崎、臺北、高雄、京城、大連、天津、上海、青島、漢口、香港、馬尼剌、新嘉坡、斯土寧、泗水、孟買、甲谷他、倫敦、紐育
一、役　員
　　取締役會長　井上治兵衞
　　代表取締役　井上治兵衞
　　常務取締役　田島繁二
　　代表取締役　田島繁二
　　常務取締役　向井忠晴
　　取締役　三井高精
　　同　三井高修
　　其他

工　場　横濱市鶴見區末廣町二の四
出張所　大阪、門司、京城、大連
一、役　員
取締役會長　平田篤次郎
常務取締役　久保正吉
同　百田貞次
同　北村敏
取締役　岩原謙三
同　O・ブルースマン
同　安川雄之助
同　黃金井晴正
同　大田黑靜生
同　H・U・ピアース
同　山口喜三郎
同　田島繁二
常任監査役　小林康治
監査役　國安卯一
同　尾形次郎
一、航空關係營業種目
無線電信用電源裝置

○

株式會社品川製作所

一、創　立　明治三十九年
一、資　本　金貳百萬圓
一、本　社　東京市品川區北品川五の四二一
本工場並營業所　同右
分工場並營業所　名古屋市南區櫻田町五七
京都市下京區中堂寺鍵田町
福岡市千代町
一、役　員
取締役社長　武　鶴次郎
專務取締役　金田武男
顧　問　益田　濟
同　佐藤英夫
一、航空關係營業種目
航空計器一切及同試驗器類、電氣計器類

○

株式會社澁谷商店

一、創　立　大正十四年四月二十五日
一、資本金　拾萬圓
一、本　社　東京市麹町區丸の內二丁目八重洲ビル內
支　店　大阪市西區南堀江通一の二四
出張所　名古屋市南區熱田東町橫田二八
一、役　員
專務取締役　大木啓太郎
取締役　西岡小兵衞
一、營業種目
飛行機製作用並兵器用木材一般及螺旋機用胡桃材

○

株式會社島田製作所

一、創　立　昭和九年四月
一、資本金　拾貳萬五千圓
一、本　社　東京市麹町區丸の內二の一八　昭和ビル內
工　場　東京市大森區堤方町四一一
一、役　員
取締役社長　島田房太郎
取　締　役　山內伊平
同　岡本桂次郎
監　査　役　大塚正保
同　松井邑次郎
相　談　役　木村雄次
一、營業種目
兵器附屬用具の製造販賣、航空機用機械及器具の製造販賣、各種喞筒機械類の製造販賣、各種昇降機の製造販賣、以上に附帶する事業

○

株式會社昭和製作所

一、創　立　昭和三年四月
一、資本金　壹百萬圓
一、本社及工場　東京市大森區堤方町二二
一、役　員
代表取締役　山田馬次郎
常務取締役　伊藤善夫
取　締　役　石田直吉
同　玉木誠次郎
同　今井文平

監　査　役　脇道譽
同　田代平一
一、營業種目
航空兵器並器材其他軍用電氣器類製造

○

正田飛行機製作所

一、創　立　昭和八年十二月
一、資本金　四百萬圓
一、本社及工場　東京府北多摩郡三鷹村上連雀九九七
一、所　長　正田十吉
一、營業種目
航空用發動機、軍用輕發動機の設計及製造

○

合名會社平野護謨製造所

一、創　立　明治二十三年
一、資本金　五拾萬圓
一、本　社　大阪市西區薩摩堀東之町四
工　場　堺市大濱通三の六
支　店　東京市京橋區木挽町七の一
一、役　員
代表社員　平野光三郎
一、航空關係營業種目
各種航空機用布入ゴム管、各種の發動機用ゴムパッキング並にリング類、緩衝用ゴム

○

攝津製油株式會社

一、創　立　明治二十二年五月
一、資本金　壹百萬圓
一、本社及工場　大阪市此花區安井町一六
一、役　員
取締役社長　志方勢七
常務取締役　中村菊次郎
同　中田豐三郎
同　川谷恒規
監　査　役　木村平八
同　井上力松
一、營業種目
カストル油、其他植物性各種油製造

○

スタンダード・ヴアキユーム石油會社

一、創　立　昭和九年四月
一、資本金　拾貳萬五千圓
一、本　社　東京市麹町區丸の內二の一八　昭和ビル內
工　場　東京市大森區堤方町四一一
一、役　員
取締役會長　小倉正恒
專務取締役　秋山武三郎
常務取締役　小畑忠良
同　別宮貞俊
取締役　川田順
同　山本澮
同　J・E・フラム
同　矢島富造
同　志田文雄
監　査　役　松本順吉
同　今村幸男
同　大平賢作
一、營業種目
裸線、被覆電線、各種附屬品、丹礬

○

住友金屬工業株式會社

（舊住友伸銅鋼管株式會社）
一、創　立　明治三十年四月（大正

十五年七月株式會社に組織變更）

一、資本金　五千萬圓

一、本社及工場　大阪市此花區島屋町五六

伸銅所　同　右

製鋼所　大阪市此花區島屋町二四九

鋼管製造所　尼崎市東向島西之町二八

販賣店　東京　横須賀、名古屋　神戸、呉、福岡、京城　上海、仙臺、札幌

出張所　舞鶴、佐世保、長崎

一、役員

取締役會長　小倉正恒
專務取締役　古田俊之助
同　荒木宏
常務取締役　春日弘
同　田中作二
同　木下亮吉
取締役　川田順
同　山本信夫
同　杉浦稠三
監査役　八代則彦
同　松本順吉
同　今村幸男

一、航空關係營業種目

（1）ヂユラルミン、SA1及マグネシウム合金等各種輕合金の板、管棒、鋲、プロフイル、鑄物及鍛造品其他、プロペラー材及クランクケース、（2）輕合金鑄物各種、（3）アルミニユウム板、管、棒、冷間仕上繼目無鋼管（冷質引拔鋼管）不銹鋼管及プロフイル、鋼帶等

○

住江織物株式會社

一、創立　大正二年十二月

一、資本金　六拾萬圓

一、本社及工場　大阪市住吉區殿辻町二五

出張所　東京市京橋區銀座西二の一　大連市山縣通一三九

一、役員

會長　村田傳七
專務取締役　益子勇雄
取締役　飯田新七
同　飯田藤二郎
同　村田秀之助
監査役　後藤忠次郎
同　村田安次郎

一、航空關係營業種目

氣球袋用綿布、氣球用雜綿布、飛行機用麻布綿布、テープ用麻布絹布、防寒用模造毛皮

新聞社並通信社航空部一覽

（昭和十年六月現在）

日本電報通信社航空部

沿革及事業　航空部は昭和二年一月、通信事業の迅速、確實を期する目的を以て創立し、總務課に所屬せしむ。

以來、幾多の內外諸事件及び寫眞、廣告其他本社營業課目諸般に亙り活躍し、今日に及ぶ。

主任者　總務課　齋豐三郎
操縱士　一等操縱士　片山良治郎
二等航空士
機關士　航空機々關士　飯島勝一
飛行機　サルムソン式二A二型一臺フエヤチヤーイルド式二二C七A型一臺
飛行場　東京飛行場（蒲田區羽田）

○

報知新聞社飛行事務室

沿革及事業　昭和六年三月設置、同年――七年の間、五回に亙りて太平洋横斷飛行を實施し、成功に至らず。

昭和六年十二月――同七年一月の間、滿洲事變に際し、通信聯絡飛行を實施す。

昭和八年二月――三月の間、熱河事變に際し同右。其の間、北陸及關東地方に於ける陸軍特別大演習、三陸海嘯災害其の他、新聞ニユースに關する空中寫眞撮影、原稿輸送に從事し、現在に到る。昨春、東京飛行場に新格納庫を建設す。

主任者　飛行事務長　中村唯一
操縱士　一等操縱士　吉原清治
二等航空士　早川竹太郎
同　淺井兼吉
同　安田正毅
機關士　航空機機關士
飛行機　ユンカースA五〇型二臺
同　W三三型一臺
飛行場　東京飛行場（蒲田區羽田）

○

北海タイムス社航空部

沿革及事業　大正十五年設立。一等操縱士永田重治氏及羽泉機關士によつて北海道並樺太の航空路開拓と、航空思想普及並宣傳に努め、旭川――札幌――帶廣間には郵便定期試驗飛行を行ひつゝあり。

事業としては通信、空中寫眞等、將來は郵便定期飛行實施の計畫あり。

主任者　航空部長　河合裸石
操縱士　一等操縱士　上出松太郎
二等航空士
航空機機關士
整備員　山下正一
同　島田實
飛行機　サルムソン式二A二型二臺
一〇式艦上偵察機一臺
飛行場　札幌飛行場（札幌市北二十四條）

東京・大阪朝日新聞社航空部

沿革及事業 航空に盡すこと夙に明治四十三年以來にして、外人飛行家の招聘に、國內航空界の指導發達に、新聞通信飛行に、或は本邦最初の訪歐飛行、近くは南支即日飛行の快記錄樹立に成功、更に大正十二年、東西定期航空會を設立して東京——大阪間最初の定期空輸を開始、同十四年四月、これを仙臺まで延長、越へて昭和六年以降、東京——新潟間、同十年には大阪——新潟——富山間等の地方航空路開拓と共に定期郵便飛行を實施し、新聞通信飛行と相俟つて斯界の向上發達に努めつゝある。尙、今春陸海軍、遞信、外務、拓務、商工各省の支持を得て國際航空路調査會を設置し、航空國策に寄與することゝなつた

主任者 航空部長 河內一彥
一等操縱士 一等航空士 航空部次長 一等操縱士 二等航空士（大阪） 新野百三郎
同 中島忠英
同 飯沼正明
同 長友重光
同 小俣壽雄
同 川崎一
同 山本惠七郎

機關士並通信士 航空機機關士 塚越賢爾
同兼無線通信士 仙野利男
航空機機關士 小林英次郎
同 內野一三
同兼無線通信士 島崎清
同 近藤通
航空機機關士 堀口正春
同兼無線通信士 永田紀芳
同 下原繁久
同 小池壽二
同 中島憲三
同 半場角男
同 佐々木松五郎
坂井利男
富澤進
荒川正雄
木島幸郎
田丸幸三
川島元彥

飛行機 石川島式T三型（B・M・W五〇〇馬力）一臺
石川島式R三型（シラス・ハーメス型一〇五馬力）一臺
D・H式プス・モス型（ジプシー六型一〇五馬力 三臺
モノスパー式ST四型（ポツブジョイR型七五馬力二基 一臺
サルムソン式二A二型（Z九型二三〇馬力）二臺
フオツカー式CV型（ネピヤ・ライオン四五〇馬力）一臺
ドルニヱ式コメツト型（B・M・W式五〇〇馬力）一臺
シエルヴア式C一九型（ジエネツト・メーヂヤー一〇〇馬力）一臺
川崎式A六型（B・M・W式六〇〇馬力）一臺
中島式AN型（空冷五五〇馬力）一臺
三菱式鵬型双發（空冷五五〇馬力二基）
高性能ソアラー一臺

航空無電局
るり J-BAWA
ひわ J-BAXA
ひよ J-BBBA
よしきり J-BBDA

たか J-BBFA
おほとり J-BAAE

飛行場 大阪 城東練兵場（東成區）
東京 東京飛行場（蒲田區羽田）

○

大阪每日新聞社航空部

（東京日日新聞社）

沿革及事業 大正十三年三月、大阪每日新聞社航空課創設。主として新聞原稿の急速なる輸送、空中寫眞撮影及通信連絡に從ひ、日本山岳撮影飛行、日本海岸線撮影飛行等を實施、滿洲、上海事變には寫眞ニュース及び活動寫眞フイルムの輸送に當り、飛行區域は內地は鹿兒島より樺太まで、朝鮮及び滿洲は京城、奉天を中心として滿洲里、熱河に及ぶ。昭和九年八月には即日日本一周飛行に快速を誇り、十年十一月、日比親善飛行を完行賞讃を博せり。

昭和八年十月、航空課を航空部と改む。

主任者 航空部長 福知新次
航空副部長（東京駐在） 羽太文夫
機材主務 和田喜三郎

操縱士 一等操縱士（東京駐在） 羽太文夫
二等航空士（東京駐在） 松下辨二
同 大藏清三
同 岡貞文
同（東京駐在） 大多和齊
同（同） 志鶴忠夫
二等操縱士 土井藤信

機關士 航空機機關士 布施德司
小島純一
幾石能太
八百川長作
須田道次
（東京駐在） 梅本幸一
（同） 古泉順平
（同） 大阪 城東練兵場（東成區）
東京 東京飛行場（蒲田區羽田）

飛行機 ロツクヒード・ニュー・オルテア（ワスプ五五〇馬力）一臺
ロツクヒード・オルテア（ワスプ四五〇馬力 一臺
一三式陸上機（ベンツ一三〇馬力）一臺
パーシヴアル・ガル（ネピヤ・ジヤベリン一五五馬力）一臺
一三式改造輸送機 イスパノ・スイザ四五〇馬力）一臺
一〇式改造機 イスパノ・スイザ三〇〇馬力）三臺
ゲツピンゲン一型高性能帆走機一臺（豫備機）ライアンNYP二型（ライト一〇〇馬力）一臺
（同）一三式改造旅客機 ネピヤ・ライオン四五〇馬力）一臺

飛行場 大阪 城東練兵場（東成區）
東京 東京飛行場（蒲田區羽田）

○

讀賣新聞社航空部

沿革及事業 昭和七年五月、陸軍より乙式一型偵察機一臺の拂下げを受けて航空部を新設、同九年八月、米國スチンソン會社よりスチンソン・リライアント一臺を輸入、同十一年八月、獨逸バイエルン航空機會社よりB・F・W一〇八型一臺を輸入し、通信、原稿輸送、寫眞撮影及宣傳飛行等に從事、今日に及ぶ。

主任者 航空部長 庄田良（事業部長兼任）
主任 鴇澤幸治（社會部次長兼任）

操縱士 一等操縱士 熊川良太郎
二等航空士 中村正
同 飯島勝一

機關士 航空機機關士

同　石橋雅雄
同　佐々木春美
同　渡邊敬太郎

飛行機　サルムソン式二A二型　二臺
スチンソン・リライアント三四年型
二二五馬力　一臺
B・F・W一〇八b型二五〇馬力一臺

飛行場　深川浦飛行場（深川區）

○

高知新聞社航空部

沿革及事業　昭和八年六月、高知新聞一萬號を記念し、航空部を新設、通信網の完備と報導の迅速を圖り、以て新聞紙の使命を完からしめんことを期すると共に、航空思想の普及徹底に貢獻せんとす。

主任者　航空部長　島田稻助
操縱士　一等操縱士　青木清衞
二等航空士　楠瀨源水
機關士　（整備主任）
飛行機　ハインケル式、一三式、一四式等
四臺
飛行場　高知市外浦戸灣內横濱

民間飛行學校・同練習所其他

○

日本飛行學校（公認）

創立　大正五年八月
學校　東京市蒲田區新宿町一〇
電話蒲田二〇六七、二〇七五
二一〇四
飛行場　東京市蒲田區羽田江戸見町
東京飛行場　電話羽田二〇四
校長　相羽有
主事　木暮武美
教務　富小路洪次郎
教師　野崎正雄
一等操縱士　伏見善一
同　江島三郎
同　柴田德藏
同　並木米三
機關士　河內博
機關員　齋藤熊雄
同　疊隆
同　高橋義
機體係　野崎八郎
飛行機　アヴロ五〇四K型、アンリオ二八型、サルムソン二A二型、ニューポール二四型、同八一型、コードロンC一六一型
課目
正科　二ケ月卒業（飛行機操縱士、機關士志望者に學術及工術教育）
操縱科　一ケ年卒業（正科卒業後十ケ月間にして二等操縱士たらしめ更に研究科一ケ年にして一等操縱士たらしむ）
機關科　一ケ年卒業（正科卒業後十ケ月間にして飛行機及發動機の整備一般を習得せしむ）
事業　飛行機操縱士及機關士養成宣傳飛行、遊覽飛行、空中寫眞撮影、飛行機通信教授、航空關係圖書出版、飛行機自動車に關する學術雜誌刊行

○

日本輕飛行機倶樂部

創立　昭和四年十二月
事務所及飛行場　千葉縣津田沼町鷺沼一四四〇
會長　男爵　奈良原三次
理事　伊藤音次郎
兒玉靜治
主任教師　一等操縱士　安岡駒好
助教　二等操縱士　埴山芳瑞
飛行機　サルムソン二A二型、アヴロ五〇四K型、アンリオ二八型、ニューポール二九型、一三式陸上機
事業　飛行機操縱士養成、輕飛行機の宣傳利用

○

東北飛行學校

創立　昭和七年四月
事務所　秋田縣山本郡能代港町
飛行場　同縣同郡東雲原
校長　一等操縱士　鈴木菊雄
顧問　伊藤音次郎
小助川慶麟
伊藤萬吉
講師　工學士　淺居徹太郎
教師　一等操縱士　鈴木菊雄
助教　二等操縱士　山田益三
同　鈴木富雄
同　瀨川良立

同　大久保孝三

飛行機　アヴロ式五〇四K型、サルムソン式二A二型

事業　操縦士養成、遊覽飛行、其他航空機利用の企業一般

○

東亞飛行專門學校

創立　大正十四年

事務所及飛行場　千葉縣津田沼町鷺沼

校長　川邊　佐見

顧問　男爵　奈良原三次

教師　二等操縦士　五十嵐儀美
同　吳　盛玉
同　和田　正雄
同　矢澤　香六
同　高橋金三郎
西山スミ子

事業　飛行機操縦士並落下傘士養成及研究

○

東京飛行學校

學校　東京市深川浦埋立地

校長　一等操縦士　遠藤辰五郎

教師　同　芝谷　一雄
二等操縦士　塚田森三郎
機關士　村山　政男

飛行機　アヴロ五〇四K型

事業　飛行機操縦術教授

○

德島航空學校

創立　大正十四年十一月

事務所　德島市沖ノ洲町字高洲

飛行場　同右

校長　横山　友象

顧問　秋田　清
坂本政五郎
林　秀次郎

教師　工學士　川田　達人
一等操縦士　岩田　源一
二等操縦士　中川　伊澤
同　西内　滿喜

飛行機　ニューポール二四型二臺、アヴロ五〇四K型二臺、アンリオ二八型一臺、サルムソン二A二型一臺

事業　戰鬪操縦士養成（高等飛行空中射撃動作並戰鬪法）、機關士及航空機取扱職工養成、日本ライン及長良川遊覽飛行其他、航空思想普及宣傳

○

朝鮮航空事業社
（舊稱朝鮮飛行學校）

創立　昭和三年五月五日

事務所　京城府岡崎町七番地　電話龍山一三三六

飛行場　京城飛行場

社長　一等操縦士　愼鏞瑣

飛行機　瓦斯電式KR二型（朝鮮號）輕旅客機四人乘一機、サルムソン式二A二型五機、アヴロ式五〇四型一機

事業　京城——裡里間定期航空、エア・タクシー、遊覽飛行、教育飛行、朝鮮總督府依囑飛行

○

小栗飛行學校

學校　東京市深川浦埋立地

校長　二等操縦士　小栗常太郎

教師　陸軍中將　井上　一次
同　澤田鯉二郎
二等操縦士　芝谷　一雄
一等操縦士　塚田森三郎
猿田　秀文
機關士　村山　政男

飛行機　アヴロ五〇四K型

事業　飛行機操縦術教授

○

大阪飛行機研究所

創立　昭和九年十二月（舊西田飛行機研究所繼承）

事務所及格納庫　大阪市大正區船町大阪飛行場

所長　東京飛行機製作所長　木下耶麻次

主任　一等操縦士　乾　將顯

顧問　西田伸右衞門

操縦士　一等操縦士　馬道　才一
同　渡部　進

飛行機　サルムソン式二A二型一臺

三菱式R二・二型二臺

事業　一般宣傳飛行、空中寫眞、空中測量寫眞撮影、遊覽飛行、飛行機修理整備、其他空中サービス一切、日本海航空株式會社大阪出張所事務取扱

○

各務原高等飛行學校

創立　昭和七年十二月一日

學校　岐阜縣稻葉郡蘇原村三柿野八九八

飛行場　同右

校長兼操縦主任教師　陸軍航空兵特務曹長一等操縦士　野田　金一

發動機主任教師　鈴木　義雄

飛行機主任教師　陸軍航空兵伍長一等操縦士　神谷清四郎

外に操縦科助教五名、發動機科助教五名

飛行機　已式一型練習機五臺、甲式一型練習機二臺、甲式三型練習機二臺、乙式一型偵察機三臺、甲式四型戰鬪機二臺、アヴロ練習機一臺計一五臺、外に甲式二型、同四型、乙式一型機體一六臺

事業　戰鬪操縦士養成（高等飛行空中射撃動作並戰鬪法）、機關士及航空機取扱職工養成、日本ライン及長良川遊覽飛行其他、航空思想普及宣傳

○

田中飛行研究所

創立　昭和八年十一月三日

事務所　東京市日本橋區茅場町一の六

飛行場　東京市深川浦埋立地

所長　田中不二雄

教師　一等操縦士　田中　近美
同　林　茂
同　猿田　秀文
同　梶原音二郎

講師　陸軍航空兵少佐　戶田　作
元下志津陸軍飛行學校寫眞班教官　工藤　哲郎

顧問　元朝日新聞社航空部次長　久松　定夫
東京市參事會員　佐藤　榮志
日本飛行教育會長　鶴岡　一雄
二等操縦士　小泉喜久雄

助教　同　伊藤　良彌
同　別府　景光
同　西村　阜子
同　田居藤市郎
同　館内　清

機關士　松本　武夫

寫眞部　寫眞技師　菊地　輝彌

飛行機　サルムソン二A二型三臺、アヴロ五〇四K型四臺、アンリオ二八型一臺、ニューポール二四型一臺、同八一型二臺、計十一臺

事業　航空機乘員養成、航空事業の新生面開拓、航空輸送の研究、空中寫眞測量の研究

○

第一航空學校

事務所　千葉縣船橋町

校長　一等操縦士　靑木　松次

教師　二等操縦士　三溝　桃介
同　川北　新造
助教　同　村岡　彌市
同　菅原　正雄
同　中山　勇

飛行機　サルムソン二A二型三臺、甲式四型一臺、アヴロ五〇四K型三臺、アンリオ二八型三臺、計十臺

機關士　館内　清

事業　操縦術教授

○

高崎航空普及會

創立　昭和八年七月十二日

事務所　高崎市九藏町　高崎商工會議所内

飛行場　高崎市乘附練兵場

代表者　山田　德藏

外に理事二十一名、顧問八名

操縦士　一等操縦士　權田　善吉

飛行機　サルムソン二A二型一臺、三菱式R二・二型一臺、計二臺

事業　航空宣傳、飛行場建設、飛行士養成、航空路開拓其他

○

根岸飛行場

創立 大正十三年一月
事務所及飛行場 清水市三保ノ松原
電話三保一二八番
所長 中央氣象臺三保出張所長一等操縦士 根岸 錦藏
一等操縦士 池島 鹿治
機關士 川島 東作
同 三浦謙之助
飛行機 三菱式R二・二型、三式戰闘機、三菱式T一・二型改造機
事業 高層氣象觀測飛行、オホーツク海方面の結氷並流氷調査飛行

○

名古屋飛行學校(公認)

創立 大正十三年四月
事務所 名古屋市東區山口町一八
電話東四六一
飛行場 名古屋市外守山町小幡ヶ原
電話守山三九
校長 陸軍航空兵中佐 御原福平
派遣將校 陸軍航空兵大尉 甘粕三郎
教授 技師 佐藤 實
一等操縦士 柴田 熊雄
同 澤田 衆一
助教授 同 小阪 禪令
同 市川 楠三
同 渡邊 進
同 岡山 芳文
同 安田 倫久
飛行機 アンリオ二八型、アヴロ五〇四K型、ニューポール一型、同二四型、同二九型、サルムソンA二型、一三式、八七式輕爆撃機
事業 飛行機操縦士、航空機關士養成

○

宇部航空輸送研究所

創立 昭和三年十一月二十七日
事務所及飛行場 宇部市草江海岸
顧問 豫備航空兵少佐 前田研次
同參教師 高松三千代
所長 葉方 弘義
操縦教師(囑託) 一等操縦士 權田 善吉
二等操縦士 山崎房次郎
飛行機 ハンザ式水上機一臺、外に十年式戰闘機整備中
事業 航空輸送及一般航空に關する研究、飛行機操縦士及機關士、機體製作技術者養成、航空機修理其他一般

○

山梨在鄉軍人航空研究會
(附屬山梨飛行學校)

創立 昭和七年一月三十日
事務所 甲府市竪町六
飛行場 山梨縣中巨摩郡玉幡村(釜無川沿岸)
會長 梅澤 義三
教師 海軍機關特務少尉 山口 善清
機關部 機關士 內田 京一
操縦部 二等操縦士 篠田龜久三
同 原田 隆
軍事教官 砲兵特務曹長 有井千秋
飛行機 サルムソン二A二型二臺、アンリオ式四臺、三式一臺計七臺
グライダー一臺
事業 航空機機關士、操縦士の養成

○

國粹義勇飛行隊

創立 昭和七年九月五日
事務所 大阪市東區北濱一の二八
電話北濱四九六〇番
飛行場 大阪府中河內郡盾津村
電話河內稻田一二一〇番
隊長 笹川 良一
副隊長 笹川 春二
教師 操縦教師 一等操縦士 白石 重郎
學生監 二等操縦士 森本直一郎
助教 一等操縦士 小林 實
同 吉田 竹治
同 阿部 巳則
同 桑本廉之助
同 末永 規市
同 二等操縦士 石田 和夫
同 岡 嘉吉

發動機教師 竹島 透
機體教師 大川 秀治
會計主任 笹川 了平
庶務主任 木下勝之助
外事主任兼監察 村井 湟美
飛行機 一三式攻撃機二臺、同練習機一臺、三式練習機一臺、一〇式偵察機二臺、サルムソン式偵察機二臺、アヴロ五〇四K型一臺、アンリオ二八型六臺、ニューポール一型一臺、同二四型二臺計十八臺
主義 一人一艦撃沈
目的 非常時防空自警團
事業 「無料」民間飛行機操縦士、航空機關士養成

○

帝國飛行學校

創立 昭和三年四月
事務所及飛行場 千葉縣津田沼町鷺沼一三五
校長 一等操縦士 鈴木 菊雄
顧問 伊藤飛行機製作所長 伊藤音次郎
教師 一等操縦士 鈴木 菊雄
助教 二等操縦士 山田 益三
同 瀨川 良立
同 堀 四光
講師 日本航空輸送會社技師 淺井徹太郎
飛行機 アヴロ五〇四K型二臺、サルムソン二A二型二臺、アンリオ式一臺、ニューポール八一型一臺
同二四型一臺、計七臺
事業 主として操縦士養成をなし秋田縣能代町東北飛行學校と姉妹關係を保ち、關東關西は當所に於て、東北、北海道、樺太方面は東北飛行學校に於て分擔教育す

○

安藤飛行機研究所

創立 大正九年一月
飛行場及工場所在地 愛知縣知多郡旭村日長海岸
所長 一等操縦士 安藤 孝三
主任技師 辻田 護
機關士 小松 滋美
教師 一等操縦士 吉田 榮
同 伊藤飛行機製作所長 伊藤音次郎
一等操縦士 鈴木 菊雄
二等操縦士 早弓 勝巳
同 加古 光夫

校醫 醫學博士 坂本 光
同 和田 榮一
飛行機 サルムソン二A二型、アンリオ式二八型、アヴロ式五〇四K型各五臺、ニューポール式二四型同二九型各三臺、三菱式R二・二型二臺、一三式陸上練習機、一三式水上練習機、三式陸上練習機各一臺、亞細亞式改造グライダー二臺、九二式輕偵察機一臺、一三式艦上攻撃機、一五式水上偵察機、一四式水上偵察機各二臺、ニューポール式二九型戰闘機、三菱式R二・二型偵察機各三臺、サルムソン式二A二型機四臺
事業 航空機操縦士養成專門

○

亞細亞航空學校(公認)

創立 昭和三年四月二十二日
事務所 東京市杉並區宿町二三二
電話荻窪二〇二七、二一一五
飛行場 東京市深川浦埋立地 電話本所二〇一〇番(呼出)
校主 飯沼金太郎
校長 陸軍航空兵大佐 村上 第六
顧問 武藤金之丞
教師 一等操縦士 高垣 利一
同 寺山 繁光
同乘整備係 鎌田 毅
同 朴 奉祉
同 服部 良司
機關士 平岡 幸達
二等操縦士機關士 佐藤 勝平
機關整備員 佐藤 慶三
機體係 一等操縦士 伊藤 隆吉

亞細亞航空機關學校(公認)

創立 昭和八年四月二十二日
事務所 東京市杉並區宿町二三二
電話荻窪 二〇二七、二一一五
所在地 東京市板橋區石神井關町
校長 飯沼金太郎

顧問　村上　第六
講師　一等操縦士　青山　繁光
同　伊藤　隆吉
同　高垣　利一
経濟學士　稻村　駿司
機關士　早川　知之
一等操縦士　熊川良太郎
教師　主任　機關士　平岡　幸達
機關士二等操縦士　佐藤　勝平
二等操縦士　山田　秀市
機關係　佐藤　慶三
機體係　大塚　秀雄
校醫　醫學博士　熊谷己三郎
教材用發動機　ジュピター式六臺、九二式二臺、ヒスパノスイザー式一三臺、ロレーン式四臺、ネピアーライオン式三臺、B・M・W式一臺、ロールスロイス式一臺、名廠式二臺、三菱空冷式六臺、サルムソン式二六臺、ペンツ式二臺、ルローン式八十馬力一八臺、ルローン式一二〇馬力二五臺、外にマイバツハ式、ホールスコット式、ダイムラー式、ヒーロー式、シーメンス式、BR2式、BR1式、ルノー式、アンザニー式等五十餘臺
事業　航空機々關士養成
○

亞細亞航空機材料研究所

創立　昭和五年四月
事務所　東京市杉並區宿町二三二
電話荻窪二〇二七、二一一五
所長　飯沼金太郎
所員　總務部長　山田　秀市
機體部長　伊藤　隆吉
同　副部長　大塚　秀雄
發動機部長　平岡　幸達
同　副部長　佐藤　勝平
事業部長　稻村　駿司
飛行部長　鍾田　毅
同　副部長　朴　奉祉
課目　材料部長　馬島　喜八
航空映畫部長　江見澤喜三郎
自動車部長　根本甲次郎
庶務會計主任　石橋愛之助
事業　航空機の設計製作及修理宣傳飛行、空中寫眞及航空映畫撮影
航空機材並計器研究航空經濟研究
○

堺水上飛行學校

創立　昭和九年四月一日
事務所　大阪市南區九郎右衞門町五一
飛行場　堺市大濱南新公園地海岸
校長　勳六等　井上　長一
教師　一等操縦士　片山久太郎
中　正夫
佐藤　辰司
藤堂　正作
中前　政二
技手　野口　一雄
飛行機　一三式水上練習機、ハンザ一單葉機、KR一型水陸交替機
課目　整備科　一ケ年卒業、全學費金百貳拾圓（主として飛行機發動機の實地整備の教育）
操縦科　一ケ年（空中實習費一時間金參拾圓五十時間分練習後二等操縦士免狀の受檢をなさしむ）
○

宮島航空研究所

皷ケ濱航空學校

創立　昭和八年十月一日
事務所　廣島縣佐伯郡大野村字皷ケ濱九〇七七
飛行場　山陽線宮島驛前皷ケ濱海岸
校長　陸軍歩兵中佐　森　政三
校主　宮島航空研究所長　惠美　重美
教師　陸軍工兵大佐　高橋　勝馬
陸軍工兵大佐　窪田格太郎
高等工業學校教授　縣立二十日市工業學校教諭　高山　保
測候技師　金川治三郎
一等操縦士　竹内匡之丞
二等操縦士　佐竹　武雄
同　比屋　善文
飛行機　一五式水上機二臺、ハンザ式一臺、一四式水上機一臺、一三式一臺
事業　飛行機操縦士、機關士養成　エア・タクシー、遊覽飛行、賃貸飛行、宣傳飛行

日本學生航空聯盟

（昭和十一年八月）

一、創立　昭和五年四月二十九日
二、加盟校　（關東）早稻田大學、慶應大學、東京帝國大學、法政大學、明治大學、立教大學、專修大學、慈惠會醫科大學、第一高等學校、橫濱高等工業學校、關東學院、日本大學（關西）京都帝國大學、關西學院、大阪外國語學校、大阪商科大學　關西大學、神戸高等工業學校、立命館大學、大阪帝國大學、第三高等學校
三、會員總數　現在千名
四、經過　創立以來、操縦練習總時間二千九百時間、回數二萬五千回に達し、二等飛行機操縦士七名、三等飛行機操縦士三十名、現在單獨操縦の域にあるもの六十餘名。
五、事業　昭和六年五月二十九日、法政大學生栗本盛孝　熊川教授同乘）聯盟代表として「青年日本號」（石川島式R三型）をもつて伊太利ローマに至る訪歐飛行を決行、歐洲各國の大學を訪問交歡し、八月三十一日全航程を終る。
同七年七月七日、早稻田、明治兩大學生川上新太、三好研吉（早）山内保三、池原弘道（明）の四名は石川島R式三型機及びフイヤット式AS一型機を操縦して新滿洲國祝賀並在滿同胞慰問飛行を企て、東京代々木練兵場を出發。往復飛行を完成して八月二日、東京飛行場に歸着。
同九年十一月三日、東京飛行場に於て第一回全日本學生航空選手權大會を開き、（一）S字飛行（高度目測）（二）地上標識偵察飛行、（O・B團）（三）東西對抗三角飛行リレー、東京－立川－所澤間九〇粁）（四）制限地着陸、（五）直線水平飛行並模擬爆彈投下、（六）發動機故障發見の競技。參加者會員關東側二十二名。關西側十三名、計三十五名。使用機は石川島R三型二機、アヴロ五〇四K型四機、アンリオ二八型三機。
第一種競技S字飛行優勝者は八八點五の久野正雄（大阪商大）、次點は八四點八七の滑川博（明大）、第二種競技地上標識偵察飛行優勝者九五點二の井倉善彌（慶大）、次點は七五點の玉井秀雄（關西學院）、第三種競技東西對抗三角飛行リレーは一四一點六六で關西側優勝し第四種競技制限地着陸優勝者は八二點八三の盤井亮（明大）、次點は八二點五の谷上秀雄（法大）、第五種競技直線水平飛行模擬爆彈投下優勝者は八四點で荒川少意（關西大學）、次點は七八點で同學の永井要、第六種競技發動機故障發見は七分間完了の東京帝大、次點は十三分間の關西側。
同十年十月二十八日、大阪盾津陸軍飛行場に於て第二回全日本學生航空選手權大會を開き（一）東西對抗野外リレー飛行（盾津－丹波市－深草－神戸－木津川尻間（二）8字飛行、（三）制限地着陸、（四）曲技飛行、（五）通信筒吊上、（六）模擬爆彈投下、（七）高度目測水平直線飛行、（八）發動機分解組立競技

の各種目に對し參加會員二十八名、O・B團九名、使用機は甲四型、石川島K三型、アヴロ五〇四K型、アンリオ二八型、サルムソン二A二型機等十五臺。第一種競技野外リレーは五時間十七分（一九五點九）の關西チームが僅少の差をもつて優勝、第二種8字飛行は八七點四の金子良夫（關學、次點は八五點二の玉木五郎（慶大）、第三種制限地着陸は九四點の山内正一（早大、次點は八九點八六の杉山好彦（東大）、第四、五種の曲技、通信筒吊上は採點せざるも日大の縣信男、大阪商大の久野正雄出場、第六種模擬爆彈投下はO・B團の競技にして八八點二六の衣笠武男（關學出身）、次點は四八點七の滑川博（明大出身）、第七種高度目測水平直線飛行は九五點二の金子良夫（關學、次點は森重猛夫（同、第八種發動機分解組立は對校競技にして神戸高等工業學校優勝し、次點は大阪帝大チーム。概ね關西側の優勝に歸し、陸海軍、遞信各大臣賞盃、帝國飛行協會優勝楯、朝日新聞社優賞牌等を授與した。

六、所屬飛行機

アンリオ式二八型陸上練習機　八
アヴロ五〇四K型陸上練習機　五
石川島式K三型練習機　四
石川島式K五型練習機　一
フイアット式A・S・一型陸上機一
石川島式K二型　一
サルムソン式二A二型　三

七、役員

顧問

早稻田大學々長 法學博士	田中穗積	
慶應義塾々長 法學博士	林毅陸	
慈惠會醫科大學長 醫學博士	金杉英五郎	
明治大學々長 法學博士	横田秀雄	
專修大學々長 法學博士男爵	阪谷芳郎	
法政大學々長 法學博士	小山松吉	
橫濱關東シー・ビー・テンネー學院長	石尾市太郎	
平井常二郎		
中島忠英		
中野勝義		

（會則前年度本年鑑參照）

○ 法政大學航空研究會

一、創立　昭和四年七月
二、事務所　麴町區富士見町　法政大學內法政大學航空研究會事務室
飛行場　東京飛行場
三、組織事業　學生運動競技として航空機の操縱を演練し並に航空科學の一般を研究し以て航空思想を學生生活に普及せしむるを目的とす。
會務の區署を分ちて、研究部、操縱部、機關部、傳書鳩部、グライダー部、庶務部とし、各部の分擔事業は學生委員會の合議に依りて計劃立案し、各部長（學生）之が實施の責任を負ふ。
四、會長　教授　本多顯彰

○ 東京帝國大學學生航空研究會

一、創立　昭和五年十月十八日
二、事務所　東京帝國大學工學部機械工學科自動車實驗室內
三、組織　本學學生及卒業生の自治の團體にして、本學教授之が指導をなす。
四、事業　航空に關する一切の問題に對し、學究的並實地的研究を行ひ、航空の發達に貢獻せんとす。
五、會長　東大助教授　航空研究所所員　小川太一郎
顧問　東大名譽教授　田中館愛橘

東京瓦斯電氣工業株式會社々長	松方五郎
藤倉工業株式會社 取締役社長	松本留吉
遞信省航空局長	片岡直道
海防義會理事長 海軍中將	伊藤乙次郎
帝國飛行協會 總務理事陸軍中將	四王天延孝
日本航空輸送株式會社々長	原邦造
三菱重工業株式會社會長	斯波孝四郎
三井物産株式會社 代表取締役社長	三井守之助

名譽會長

理學博士	田中館愛橘

會長

缺員	

評議員

遞信省航空局 技術課長	新井三郎
同上監理課長	福原敬次
同上　航空官	森蓁樓
同上　航空官	玉宮善次郎
法政大學航空研究會長	本多顯彰
早稻田大學　同上	山本忠興
橫濱高等工業學校々長	鈴木達治
帝大航空研究所長 工學博士	和田小六
京都帝國大學總長 理學博士	松井元興
關西學院副院長	曾木銀次郎
大阪外國語學校々長	葉山萬次郎
大阪商科大學々長 法學博士	河田嗣郎
關西大學々長 法學博士	仁保龜松
神戸高等工業學校長	古宇田實
立命館大學總長	中川小十郎
大阪帝國大學工學部々長 工學博士	丸澤常哉
日本體育協會副會長	平沼亮三
朝日新聞社取締役 航空部長	村山長舉
東京朝日新聞社主筆	緒方竹虎
愛知時計電機株式會社々長	青木鎌太郎
中島飛行機株式會社々長	中島喜代一
石川島飛行機製作所長	澁澤武之助
川西航空機株式會社々長	川西龍三
川崎造船所取締役	鑄谷正輔

慶應義塾大學 明治大學 專修大學 慈惠會醫科大學 帝國大學農學部 橫濱關東學院 立教大學 橫濱高等工業學校	同上　增井幸雄 同上　關未代策 同上　道家齊一郎 同上　高木喜寬 同上　小川太一郎 同上　白山源三郎 同上　星野辰雄 同上　川原五郎
日本大學 京都帝國大學 關西大學 神戸高等工業學校 立命館大學 大阪工業大學 航空研究會副會長 關西學院航空研究會顧問 大阪外國語學校教授 大阪商科大學教授 東京朝日新聞社 編輯局長 東京朝日新聞社 航空部長 大阪朝日新聞社 航空部次長	同上　藤田駿 同上　濱部源次郎 同上　森下政一 同上　歌原定二 同上　田島錦治 河合定二 松尾永次郎 吉本正秋 河本修三 美土路昌一 河內一彥 新野百三郎

副會長	
教授	多田基
囑託一等飛行機操縱士 教官	櫻澤仁一
研究部長	良知勇
操縱部長	山下一郎
機關部長	林原基雄
傳書鳩部長	比護財治
グライダー部長	武久昌次
庶務部長	森謹吾
豫科委員	今小路孝正

○ 東京慈惠會醫科大學航空研究會

一、創立　昭和五年二月
二、事務所　東京慈惠會醫科大學內航空研究會
三、組織　學部學生を主體とし、大學各教室其他の後援に依りて事業を行ふ。
四、事業　航空に關する一切の問題に對し、學究的並實地的研究を行ひ、航空の發達に貢獻せんとす。
五、會長　東大助教授　航空研究所所員　小川太一郎
顧問　東大名譽教授　田中館愛橘

同	東大教授　航空研究所所長　和田小六
同	東大教授　航空研究所所員　富塚清
同	東大教授　航空研究所所員　中西不二夫
同	東大助教授　隈部一雄
幹事	文學士　高木貫一
同	經濟學士　影山桓虎
總務委員	阿曾眞一郎
操縱部委員	杉山好彥
技術部委員	坪井善清
同	井關武雄

六、會員數　操縱部　二〇名　技術部　四三名

四、事業
一、日本學生航空聯盟に加入
二、航空醫學の實地研究
三、飛行機操縦練習
四、航空講演會開催並航空諸施設の見學
五、總會並研究發表會の開催
六、會長教授醫博男爵　高木喜寛
副會長　教授醫博　永山　武美
顧問　學長　醫博　金杉英五郎
同　海軍々醫少將醫博田中肥後太郎
同　陸軍々醫監醫博　寺師　義信
今日まで聯盟員の身體檢査を施行す。昭和八年十一月には、第一回の航空醫學の實施研究をなし、九年春その發表を爲せり。尚、會員中二名は目下操縦練習中なり。

○

立教大學航空研究會

一、創立　昭和五年六月十日
二、事務所　豐島區池袋立教大學構内
三、組織　操縦部、機關研究部、普通研究部の三部門に分つ
四、事業　實施練習、研究會の開催見學、展覽會、各個研究其他、本年度より航空經濟の研究を爲す
五、會長　星野　辰雄（ホシノ　タツヲ）
設樂　長男（シタラ）
學生委員

○

立命館大學航空研究會

一、創立　昭和六年六月二十日
二、事務所　京都市上京區廣小路立命館大學内
三、組織　操縦部　七名
グライダー部　一名
地上部　十三名
四、事業、操縦部——飛行機及グライダー操縦
地上部——航空機に關する研究實習並自動車、寫眞（赤外線無電研究
五、名譽會長
總長　法學士　中川小十郎（缺員）
會長　學長

一、創立　昭和六年十月四日
二、所在地　大阪市北區東野田九丁目　大阪帝國大學工學部内
三、役員
會長　造船學科主任教授工學博士　河合　定二
副會長　機械工學科教授工學博士　南大路謙一
常務幹事　造船學科講師　小谷寛之丞
幹事　造船學科助教授　吉川彌三郎
同　造船學科助教授　太田　友彌
同　機械工學科助教授　楢松　時雄
顧問　造船學科教授工學博士　八代　準
同　東大航空研究所々員　中川　健二
同　小川太一郎
同　黒門航空會員一同
四、會員　五〇名（職員八名、學生四二名）

○

大阪外國語學校航空研究會

一、創立　昭和五年六月
二、事務所及飛行場　大阪市天王寺區外國語學校内、木津川飛行場
三、事業
A、工場、飛行場見學
B、講習會、映畫會
C、教官同乘飛行（一ヶ月一回乃至二回）
D、實習（毎土曜日）
四、會長　校長　葉山萬次郎
顧問　教授　吉本　正秋
同　志水　義暲

○

大阪帝國大學工學部航空研究會

一、創立　昭和五年十一月一日
二、事務所　大阪市住吉區杉本町大阪商科大學内
飛行場　大阪飛行場、城東練兵場
三、事業　航空機操縦術、航空機一般に關する研究及び航空經濟の實證的研究
四、會長　學長　河田　嗣郎
顧問　陸軍歩兵大佐　吉江　協中
所屬飛行士　一等操縦士　中島　忠英
同　弘中　正利
會員數　一一名

○

早稻田大學航空研究會

一、創立　昭和五年三月二十九日
二、事務所　淀橋區早稻田大學内
飛行場　東京飛行場
三、事業
操縦部——航空機に關する實際研究及操縦練習
技術部——同右及主として機關、機體に對する實際及理論的技術の研究
其他研究會として見學、機關紙の發行、輪講、講演會等を行ふ。
四、會長　工學博士　山本　忠興
副會長　工學博士　伊原　貞敏
幹事　山内　正一
同　松平　清
五、會員　四〇名

○

關東學院高商部
（航空部研究會）

一、創立　昭和五年四月十七日
二、事務所　横濱市中區三春臺關東學院高商部航空經濟研究室内
三、組織
高等商業部學友會により認められ操縦班、地上班、航空經濟研究班に分る。
四、事業
日本學生航空聯盟の方針、指導に從ひ、練習、機關研究をなす外、祝賀飛行、航空寫眞、時々の座談會等航空思想宣傳に努む。
本校所屬航空經濟研究室の事業を援助す。
五、會長　院長　坂田　祐
副會長　教授　白山源三郎
委員　管生　邦雄

○

關西學院航空研究會

一、創立　昭和五年六月二日
二、事務所　兵庫縣武庫郡甲東村關西學院内
三、目的、航空思想の普及を圖り、併て航空スポーツを通して身心の鍛錬を行ふ
四、事業、飛行機操縦部及グライダー部に分け、操縦術習得の爲の實地練習及航空に關する一切の研究を行ふ
五、會長　關西學院理事　曾木銀次郎
顧問　配屬將校　陸軍歩兵中佐　牧　重雄
六、會員　一五名（内二等操縦士三名、三等操縦士一名）

○

關西大學航空研究會

一、創立　昭和六年二月七日
二、所在地　大阪市外千里山　關西大學内
三、事業　操縦部員、グライダー部員、研究部員の三班とす。操縦練習及發動機分解を行ふ外に飛行機工場を見學す。
四、名譽會長　學長　法學博士　仁保　龜松
會長　教授　賀來　俊一
顧問　大阪市財務部長　森下　政一
同　教授　河村　信一
同　配屬將校　陸軍歩兵大佐　長谷川　長
總務　三等飛行士　吉田　正治
委員　操縦部　橋本　敏造
同　グライダー部　鶴田　則夫
會員數内譯（學生）
操縦部員　十三名
グライダー部員　八名
研究部員　五名
合計　二十六名

○

横濱高等工業學校航空研究會

一、創立　昭和五年四月二十三日
二、事務所　横濱市中區大岡町　横濱高等工業學校内
　飛行場　東京飛行場
三、事業
　イ、航空に關する學術的研究
　ロ、飛行機操縦練習
　ハ、其他、講演會、見學、會誌發行
四、會長　教授　川原　五郎
　副會長　同　近藤　政市
　總務　川本　浩光
　研究　井上　博之
　酒井　駿
　前川　正男
　坂田　典英
　鹽澤　信夫
　松田　一
　前川　正男
　石井　實雄
　會計　林　雄二郎
　東郷　正道
　水口　脩
　横山　寛
　庫
三、事業　實地研究、會員間の相互研究、講演會、見學
四、會長　教授　增井　幸雄
　會員數　六五名
　グライダー　一臺

○

第一高等學校航空研究會

一、創立　昭和五年九月
二、事務所　東京市目黒區駒場　第一高等學校寄宿寮　南寮五番室
三、事業　航空智識の普及及び操縦術の習得
四、會長　中村　弘道
五、會員　三〇名

○

慶應義塾大學航空研究會

一、創立　昭和五年一月
二、事務所　芝區三田　慶應義塾内　飛行場　東京飛行場海防義會格納
三、事業　研究發表會、雜誌講讀會、航空機製作工場見學、講演會、會誌發行
四、會長　教授工學博士濱部源次郎
　副會長　助教授　藤本　武助
　顧問　陸軍歩兵大佐　藤堂　高英
　同　陸軍歩兵少佐　富山　武雄
　所屬飛行士　弘中　正利
　會員五〇名（内五名操縦部員）

○

明治大學航空部

一、創立　昭和五年三月二十三日
二、事務所　明治大學體育館航空部室
三、組織　操縦部、グライダー班
四、事業　航空に關する學術的研究　飛行機操縦練習、航空經濟問題研究、航空に關する講演會及び航空施設見學等
五、部長　教授　關　未代策
　委員　熊谷　悌司
　白鳥　博雄
　山田　拓
六、會員　二〇名

毎週日、火、木、土曜、東京羽田飛行場にて飛行機操縦練習を實施
七、飛行機　サルムソン二A二型一臺（明大號）

○

專修大學航空研究會

一、創立　昭和五年三月二十日
二、事務所　東京市神田區神保町　專修大學内
三、組織　學生教職員を以て組織す
四、事業　飛行機操縦練習、航空に關する學術的研究、講演會、講義の開催、各種航空施設の見學、全日本學生航空選手權競技大會に選手を派遣す。
五、會長　道家齊一郎
　副會長　小泉　嘉章
　幹事　青木　千昭
　同　小川　周三
　同　及川　裕生

日本帆走飛行聯盟

大阪毎日新聞社・東京日日新聞社は、近年頓に勃興しつゝある無發動機飛行機の重要性に鑑み、これが進歩發達助成のため全國グライダー研究團體を糾合して日本帆走飛行聯盟を創設し、昭和十年五月十二日、大阪に於て聯盟結成會を擧行し、九團體の加盟を見たが、その後累加して現在二十八團體を數ふるに至つた。

その間、グライダー練習の指導、記錄の向上を圖り、同年六月十五日、大阪に於て九帝五型による本邦最初の曳航飛行に成功、九月八日には九州帝大航空會員によつて阿蘇連峰を背景に四時間十二分の滯空記錄を擧げ、一方關西に於ては聯盟主催のもとに上越上の原高原に一般大衆へのグライダー練習を公開し、僅々二期二十日間に三十五名の三級飛行證交附者を出した。

十月、世界的權威者たる獨逸ウオルフ・ヒルト氏一行による指導を得て急速なる進歩を示し、十一年一月、志鶴操縱士は九帝七型機をもつて生駒山附近に九時間二十三分の滯空記錄を獲得し、用機と地勢によつては世界記錄突破も亦難きにあらざることを立證した。

四月、新たに購入したゲッピンゲン式一型高性能帆走機及び國産九帝七型二機をもつて、大阪に一三式陸上機曳航による本邦最初の所謂空中列車に成功、越へて五月、ゲッピンゲン一機を曳航して日本一周飛行を決行、各地に高等飛行を繰返し、本邦帆走飛行の普及發達に盡しつゝある。

日本帆走飛行聯盟規約

第一條（名稱）

本聯盟ハ日本帆走飛行聯盟ト稱ス

Nippon Segelflug Verband 略稱 N S V

第二條（目的）

本聯盟ハ加盟各帆走飛行研究團體ヲ糾合シテ相互ノ連絡、統制ヲ保チ我國ニオケル帆走飛行ノ健全ナル普及、發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第三條（組織）

一、本聯盟會員ハ加盟各帆走飛行研究團體ヲ以テシ、ソノ負擔金年額金　圓トス

二、本聯盟特別會員ハ本聯盟ノ主旨ニ贊同シ會費年額金　圓ヲ納入セシモノトス

三、本聯盟ハ各帆走飛行研究團體ノ結合ヨリ成ル

四、本聯盟ニ加入セントスル團體ハ理事並ニ幹事會ノ決議ヲ要ス

第四條（本部）

本聯盟本部ヲ大阪毎日新聞社内ニ置キ關東地方事務部ヲ東京日日新聞社内ニ置ク

第五條（支部）

一、本聯盟ノ支部ヲ聯盟加入ノ各研究團體内ニ置ク

二、本聯盟ノ支部ハ本部ト連絡ヲトリ支部ノ事務ヲ處理スルモノトス

第六條（役員及ビ執行機關）

一、本聯盟ニ左ノ役員ヲ置ク

會長	一	名
副會長	二	名
理事長	一	名
理事	若干	名
幹事	若干	名
東京事務部長	一	名
支部長	若干	名

右ノ外總會ニ於テ名譽會長、顧問、相談役ヲ推薦スルコトヲ得

二、會長ハ本聯盟ヲ代表シ會務ヲ統轄シ、總會、理事會、幹事會ヲ招集スルコトヲ得

三、副會長ハ會長ヲ補佐シ、會長事故アルトキハ、ソノ職務ヲ代行スルコトヲ得

四、理事ハ會長ノ推薦シタルモノヲ以テス、理事ハ會長ノ召集ニ依リ理事會ニ出席シ本聯盟ノ重要事項ヲ協議決定ス、出席シ得ザル理事ハ書面ヲ以テ表決ヲナスコトヲ得

五、理事ノ互選ニヨリ理事長一名、常務理事二名ヲ置ク、理事長ハ理事會ヲ主宰シ常務理事ト共ニ本聯盟ノ常務ニ當ル

六、幹事ハ會長コレヲ指命シソノ互選ニヨリ常任幹事二名ヲ選ビ、常務理事ヲ補佐シ本聯盟ノ事務ヲ處理ス、幹事ハ會長ノ召集ニヨリ幹事會ニ出席シ本聯盟ノ技術、庶務事項ヲ協議決定ノ上、會長並ニ常務理事ニ申告スルモノトス

七、支部長ハ本聯盟加入倶樂部内ノ支部ノ責任者ヲ以テシ支部ノ常務ヲ掌ル

八、本聯盟ニ會計監査ヲ置キ本聯盟ノ業務及ビ財務ヲ監査ス

九、役員ノ任期ハ一年トシ重任ヲ妨ゲズ

第七條（事業）

一、日本帆走飛行競技會ヲ開催ス

二、「日本帆走飛行」記錄ノ作制援助並ニ公認

三、國際帆走飛行競技會ニ代表者ヲ選定派遣

四、帆走飛行ニ關スル學術的、技術的研究ノ援助並ニ奬勵

五、帆走飛行ニ關スル講習會、講演會ノ開催

六、加盟團體ニ講師、指導員ノ派遣

七、帆走飛行ニ關スル雜誌ソノ他定期不定期刊行物

八、本聯盟ノ目的ニ適ヲ事業ヲ行フモノトス

第八條（經費）

本聯盟ノ經費ハ左記ノモノヲ以テ支辨ス

一、加盟團體ノ負擔金

二、本聯盟ニ對スル寄附金

三、本聯盟ニ對スル補助金

四、ソノ他雜收入

五、本聯盟ハ理事會ノ議決ニヨリ、會長ノ認可ヲ得テ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第九條（議決機關）

一、總會ハ毎年一回開キ、本聯盟ノ議決機關トス、會長必要ト認メタルトキハ臨時ニ招集スルコトヲ得

二、理事會ハ必要ニ應ジテ開催シ、緊急事項議決ノ際ハ幹事會ト聯合シ總會ノ代リヲナシ、會長ノ承認ヲ得ルモノトス

三、幹事會ハ必要ニ應ジテ開催シ、議決事項ヲ理事會ニ申告スルモノトス

第十條（規約ノ變更並ニ細則）

一、本聯盟ノ規約事項ハ幹事會、理事會、總會ヲ經テ會長ノ承認ヲ得テ變更スルコトヲ得

二、本規約ノ施行ニ關シ、各條項ノ細則ハ必要ニ應ジ、理事會幹事會ノ聯合協議會ニテ之ヲ定ムルコトヲ得

第十一條　本聯盟ニ必要ナル職員ハ、會長隨時任命被免スルコトヲ得

主要役員

名譽會長　理學博士　田中館愛橘
會長　陸軍中將　荒蒔義勝
副會長　大阪毎日新聞專務取締役　奥村信太郎
理事長　同編輯總務　平川清風
外に理事、幹事其他

聯盟加入團體（五月末現在）

九州帝國大學航空會、大阪帝國大學グライダー部、神戸商科大學グライダー部、姫路高等工業學校グライダー部、名古屋グライダー研究會、東京グライダー研究會、神戸グライダー・クラブ、亞細亞航空機研究所グライダー部、霧ヶ峰グライダー研究會、東京飛行少年團、市川在鄉軍人分會グライダー部、日本滑空少年團、東京高等工業學校帆走飛行倶樂部、三島帆走飛行協會、厚木中學校友會グライダー部、極東帆走飛行倶樂部、神戸青年グライダー倶樂部、京都第一工業學校グライダー研究會、京都グライダー倶樂部、國粹義勇飛行隊グライダー部、大阪H・Mグライダー倶樂部、岡山グライダー倶樂部、大阪グライダー研究會、九州航空會、名古屋飛行學校グライダー部、岡本工業グライダークラブ、三菱重工業會社グライダー倶樂部、濱松グライダー研究會、滑走場　生駒山　箱根山

グライダー加盟團體其他

濱松グライダー研究會

創立　昭和十一年三月二十日
事務所　濱松市廣澤町二九五
飛行場　三方ヶ原
代表者　木下善壽
指導者　一等操縱士　谷口米一
練習機其他　R・F・D式ダグリン型改造一臺
練習員數　十五名
事業　(一)滑空士養成
(二)小型映寫機によるスローモーションを利用して地上教育等も行ふ

○

日本滑空少年團

創立　昭和十年二月十一日
事務所　浦和市三八三三
飛行場　東京深川浦飛行場
代表者　理事長　上村秀二郎
指導者　上村秀二郎
練習機其他　(一)R・F・D式ダグリン型一臺
ダグリン型セコンダリー)一臺
練習員數　四十八名（内二名三級グライダー飛行證）
事業　(一)滑翔練習の指導
(二)グライダーの組立、分解作業及び構造に關する理論と實際の指導訓練
(三)グライダーのスポーツ化
(四)航空思想並に防空知識の普及發達に必要なる諸運動

○

日本輕飛行機倶樂部グライダー部

創立　昭和十一年六月一日
事務所　千葉縣津田沼町　日本輕飛行機倶樂部内
飛行場　東京市江戸川區篠崎町
代表者　男爵　奈良原三次
指導者　一等操縱士　安岡　駒好
同　竹中政治郎
同　今井　仁
一等滑空士　清水　綠
練習機其他　伊藤式C一型　ソアラー一臺、同B二型セコンダリー一臺、同ユニバーサル一型プライマリー二臺、同三型一臺、曳航用飛行機（一三式陸上機）一臺及自動車二臺
事業　(一)スポーツとして空に親しむ爲めの練習
(二)グライダー練習指導者の養成
(三)飛行機操縱士希望者の豫備訓練

○

東京帆走飛行研究會

創立　昭和十年五月一日
事務所　千葉縣津田沼町　日本輕飛行機倶樂部内
飛行場　東京市江戸川區篠崎町
代表者　男爵　奈良原三次
指導者　一等操縱士　安岡　駒好
同　黒澤　健
同　武中政治郎
同　關口龜吉
同　今井　仁
二等操縱士　埴山芳瑞
同　荒木孝就
一等滑空士　清水　綠
事業　航空思想普及並に練習

グライダー　伊藤式ユニバーサル型プライマリー同B二型セコンダリー、同C一型ソアラー各一臺、自動車、ウインチ、飛行機、曳行の設備あり。

○

東京高工帆走飛行倶樂部

創立　昭和十年十月十六日
事務所　東京市芝區西芝浦三ノ一　東京高等工學校内
飛行場　東京市深川浦飛行場
代表者　喜多　藤吉
指導者　男爵　奈良原三次
一等操縱士　武中政治郎
練習機其他　伊藤式ユニバーサル型プライマリー一臺
練習員數　三十七名
事業　グライダーの研究及び操縱練習

○

東京飛行少年團

創立　昭和九年六月十五日
事務所　東京市瀧野川區瀧野川町二一一八
飛行場　東京市深川浦飛行場
代表者　出田　辰喜
指導者學科　出田　辰喜
操縱　一等操縱士　吉原　清治
一臺（天風號）
練習員數　十五名
事業　(一)滑空機操縱士養成
(二)「飛行畫報」發刊

○

大阪H・Mグライダー倶樂部

創立　昭和十年十二月九日
事務所　大阪市大正區船町大阪飛行場　日本航空輸送會社大阪支所内
飛行場　大阪飛行場
代表者　荻野　了
指導者　一般　王宮善治郎
操縱　一等操縱士　荻野　了
練習機其他　山本式C型プライマリー　一臺
練習員數　六十五名
事業　大阪飛行場關係者によるグライダーの研究並練習

○

岡本工業グライダー倶樂部

創立　昭和十一年二月二十日
事務所　名古屋市中區東郊通七ノ一五　岡本工業株式會社内

飛行場　名古屋飛行場
代表者　會長　吉水　宏
指導者　陸軍航空兵中佐　能見　義幸
　　海軍造兵大尉　巖谷　英一
練習機其他　R・F・D式ダグリン型改造一臺
練習員數　二十二名
事業　(一)航空に關する一般的常識養成程度の講話
(二)演練用機材を需め名古屋飛行場格納庫を借用し、概ね休日に同飛行場に於て實地練習を行ふ
(三)其の他本會の目的達成の爲必要なる事業

○

大阿蘇グライダー倶樂部

創立　昭和十年十月二十七日
事務所　熊本市花畑町　丸山自動車商會内
飛行場　熊本縣飽託郡廣畑村帶山練兵場
代表者　丸山一男
指導者　九州航空會　前田　建一
　　一等操縱士　久保田　太
練習機其他　佐藤式プライマリー一型一臺、同二型セコンダリー一臺
練習員數　二十名
事業　(一)グライダー操縱練習竝整備
(二)グライダー設計及試作
(三)グライダー搭乘研究報告の刊行
(四)其他本會の目的達成に必要なる事業

○

筑波グライダー倶樂部

創立　昭和十年一月二日
事務所　茨城縣廳帝國飛行協會地方本部内
飛行場　茨城縣筑波山頂御幸ヶ原
代表者　井坂　定義
指導者　一等操縱士　吉原　清治
　　鵜飼　照彦
練習機其他　R・F・D式ダグリン型改造セコンダリー級一臺
練習員數　二十六名
事業　滑空術練習

○

名古屋グライダー研究會

創立　昭和十年六月二日
事務所　名古屋市中區七本松町二ノ一九
　　三浦重雄方
飛行場　名古屋市外守山町小幡ヶ原
代表者　下出　義雄
指導者　名古屋飛行學校長　御原福平
練習機其他　プライマリー級一臺
練習員數　二十六名
事業　(一)グライダー操縱練習竝整備
(二)グライダー設計及試作
(三)グライダー搭乘研究報告の刊行
(四)其他本會の目的達成に必要なる事業

○

名古屋飛行學校グライダー部

創立　昭和十年四月一日
事務所　名古屋市外守山町小幡ヶ原　名古屋飛行學校内
飛行場　名古屋市外守山町小幡ヶ原
代表者　御原　福平
指導者　一等操縱士　柴田　熊雄
練習機其他　プライマリー機一臺
練習員數　二十名
事業　初歩練習

○

國粹義勇飛行隊「グライダー部」

創立　昭和十年七月一日
事務所　大阪市東區北濱一ノ二八
飛行場　大阪府中河内郡盾津村大阪陸軍飛行場
代表者　笹川　良一

指導者　一等操縱士　白石　重郎
同　小林　實
同　吉田　竹治
二等操縱士　志鶴　忠夫
練習機其他　プライマリー機一臺
練習員數　十五名
事業　飛行士養成附屬事業

○

帝國在鄉軍人會市川分會グライダー班

創立　昭和十年五月
事務所　市川市市川五ノ一〇六八
飛行場　鴻府臺陸軍練兵場及び江戸川區篠崎町
代表者　帝國在鄉軍人會市川分會長椎名秀男爵　奈良原三次
指導者　一等操縱士　武中政治郎
練習機其他　伊藤式ユニバーサル型プライマリー一臺
練習員數　十五名
事業　(一)航空思想普及助成の爲め出張公開滑空、講演、一般指導
(二)練習班員の技能練達の爲め所要の講習等を受けしめ准飛行士たるの目的達成援助

○

亞細亞航空學校グライダー倶樂部

創立　昭和九年四月二十二日
事務所　東京市杉並區宿町二三二
東京市深川浦飛行場
代表者　飯沼金太郎
指導者　一等操縱士　服部　良司
練習機其他　亞細亞式プライマリー機、亞細亞式セコンダリー機各一臺、亞細亞式ソアラー一臺目下製作中
曳航機一三式陸上練習機一、アブロ式五〇四K型各一臺
練習員數　三十五名
事業　グライダー操縱教育

○

亞細亞航空機關學校グライダー部

創立　昭和十一年四月二十二日
事務所　東京市杉並區宿町二三二
東京市深川浦飛行場
飛行場　東京市深川浦飛行場
代表者　飯沼金太郎
指導者　伊藤隆吉
練習機其他　プライマリー二臺
事業　グライダー操縱教育及設計製作

○

霧ケ峯グライダー研究會

創立　昭和七年十一月七日
事務所　東京市丸ノ内　中央氣象臺藤原咲平方、長野縣諏訪郡上諏訪町　信用組合内藤原彦方
工場　東京市芝區三田四國町　三田製作所内
飛行場　長野縣諏訪郡上諏訪町霧ケ峯
代表者　藤原　咲平
指導者　一等操縱士　吉原　清治
　　白石　襄治
　　鵜飼　照彦
練習機其他　プライマリー十臺、セコンダリー三臺
事業　グライダーの製作及其の機能等に關する研究、グライダーの飛翔練習及其等に關する研究、グライダーの普及と發達を計ること

○

極東帆走飛行倶樂部

創立　昭和十一年三月二十五日
事務所　東京市本所區向島須崎町七三
飛行場　東京市深川浦飛行場
代表者　利根川　薫

指導者　一等滑空士　清水　綠
　　一等操縱士　羽太　文夫
　　自動車曳行法　利根川　薫
　　ウキンチ捲取法　中里　敬二
　　製作　石黒安之助
練習機其他　プラリマリー三臺、セコンダリー一臺
練習員數　二十名
事業　操縱練習、講習、機體の研究、製作、競技會の開催、展覽會の開催その他會員相互の技倆の向上並一般に普及發達

○

京工エグライダー研究部

創立　昭和十年四月八日
事務所　京都市立第一工業學校
飛行場　京都市深草練兵場
代表者　岩森　彌助
指導者　倉橋　周藏
練習機其他　京工二型初等練習機、京工三型帆走練習機各一臺
練習員數　二十名
事業　グライダーの設計、製作及び操縱練習
（一）グライダーに關する公開講演會
（二）グライダー映畫會
（三）グライダーに關する趣味の手工講習會
（四）スキーグライダー及ベビー・グライダーの研究
（五）模型グライダー競技會

○

京都グライダー倶樂部（舊日本グライダー聯盟）

創立　昭和六年十一月二十八日
事務所　京都市上京區新町通北大路上ル三筋目東
飛行場　京都練兵場、深草練兵場、木津川原、玉水橋畔、長岡、三山木高地長池高原等、季節によつて隨時隨所使用
代表者　粟津　實
指導者　二等操縱士　信岡　正典
練習機其他　京工一型プライマリー、スキー・グライダー試作機、ベビー・グライダー試作機各一臺
練習員數　九十二名（內三級滑空士十一名、二級三名、一級一名）練習員十二名
（一）グライダーに關する公開講演會
（二）グライダー映畫會
（三）グライダーに關する趣味の手工講習會
（四）スキーグライダー及ベビー・グライダーの研究
（五）模型グライダー競技會

○

九州航空會

創立　昭和六年五月十日
事務所　福岡市住吉花園町一七一九前田ビルデイング
飛行場　（常設）福岡市六本松城外練兵場
（將來雁の巢飛行場に移轉の豫定）
（夏期及冬期）佐賀縣東松浦郡虹之松原鏡村鏡山（佐用姫山）
代表者　前田　建一
指導者　前田　建一
　　一等操縱士　久保田　太
　　顧問　佐藤　博
練習機其他　プライマリー前田式五型、同六型各一臺
練習員數　十二名
事業　（一）プライマリーによる練習飛行
（二）グライダー工作上の研究及改良
（三）夏期及冬期の練習講習會及帆走機による實驗飛行
（四）グライダー展覽會の開催及講

演
（五）グライダー映畫によるグライダー思想普及宣傳

○

九州帝國大學航空會

創立　昭和七年一月二十三日
事務所　九州帝國大學工學部航空學教室
飛行場　飛行の都度適當なる地を選定す
代表者　航空學助教授　佐藤　博
指導者　二等操縱士　志鶴　忠夫
練習機其他　高性能帆走機九帝七型、强風帆走練習機九帝五型（阿蘇號）初步練習機九帝八型
曳航用　アヴロ陸上機、オートヂヤイロ
事業　（一）グライダー輕飛行機の設計製作
（二）飛行練習
（三）會員相互の研究
（四）飛行スポーツの普及

○

三島帆走飛行協會

創立　昭和十一年一月二十六日
事務所　靜岡縣田方郡三島町役場
飛行場　主として三島野戰重砲兵第一旅團練兵場及三島南小學校々庭
代表者　遠藤　城
指導者　一等滑空士　清水　綠
　　鈴木　一雄
練習機其他　伊藤式ユニバーサル型一臺
練習員數　十八名

○

都留航空機グライダー同好會

創立　昭和十年十二月二十三日
事務所　名古屋市南區大江町、三菱重工業株式會社名古屋航空機製作所內
飛行場　同製作所內　飛行場
代表者　有川藤太郎
指導者　巖谷　英一（海軍造兵大尉）
練習機其他　プライマリー二臺
練習員數　二十四名

○

都空防會帆走飛行倶樂部

創立　昭和十年五月一日
事務所　東京市大森區大森三ノ二九
飛行場　千葉縣津田沼海岸及東京市江戸川區篠崎町
代表者　小林源次郎
指導者　二等操縱士　平松　時善
練習機其他　伊藤式ユニバーサル型プライマリー一臺、一〇式陸上機一臺
練習員數　四十五名
事業　航空知識普及

【補遺】

○

中國グライダー倶樂部

創立　昭和十一年七月十四日
事務所　岡山縣眞庭郡美甘村大字美甘
飛行場　同縣同郡川上村茅部野
代表者　横山　晃
指導者　横山　晃　蛤田　大二
　　織田　貫　松前　正吾
　　小田　勇　立川　六夫
練習機其他　横山式一型プライマリー、横山式二型、セコンダリー各一臺
練習員數　二〇名
事業　（一）グライダー製作、操縱の指導
（二）航空思想の普及發達

航空犧牲者氏名簿

（自昭和十年一月 至同 十二月）

（凡例）△は同乘、軍部官職名は略號

陸軍の部

官職	氏名	搭乘機	遭難時日	場所	原因
航中尉	佐伯喜太治	一型偵察機	一・一七	所澤陸軍飛行學校飛行場	
航特曹	福山吉則	偵察機	二・七	三重縣度會郡東外城田村	
△航曹長	宮村克德				
△航少尉	今村稔	爆撃機	三・二二	滿洲國吉林飛行場附近	
航特曹	大崎尙文				
△航曹長	佐古田四郎				
△同	佐原正雄				
△同	齋藤五郎				
△航中尉	川上敏夫	輕爆撃機	三・二五	太刀洗飛行第四聯隊飛行場	
航曹長	吉田潔				
△航大尉	佐野武	偵察機	五・三一	立川飛行第五聯隊飛行場	
航曹長	峰岸勝				
航曹長	長谷川孝	輕爆撃機	六・八	滿洲國賓江省鏡泊湖北部地區	
△航軍曹	三原伊東喜				
航曹長	田野武	戰闘機	六・一六	岐阜縣羽島郡川島村	
△航少佐	桐山敏夫	偵察機	六・二六	新潟縣北蒲原郡水原町東方水田	
航曹長	川口一三				
△航大尉	橋本末	同右	同	岐阜縣稻葉郡蘇原村東島	
航少尉	中澤昇				
航特曹	赤司文男	戰闘機			
△少將	田中毅一	新偵察機	七・一五	東京府立川町附近	
航中尉	歌代誠四郎				
航特曹	田中義雄	戰闘機	七・一六	臺北基隆海上	

海軍の部

航少佐	高田定太郎	戰闘機	七・一九	滿洲國齊々哈爾飛行場附近
航曹長	五十嵐政雄	同右	八・六	同右
航少佐	家里東陽夫	偵察機	八・九	東京府北多摩郡大和村
航特曹	濱谷憲三	雙發輕爆撃機	八・二九	福島縣石城郡夏井村海岸
△航伍長	櫓本正二			
航大尉	小川安正	輕爆撃機	一〇・二七	滿洲國熱河省建平
航少佐	青木篤	偵察機	一一・二	滿洲國錦州小凌河口沖
歩大尉	竹内保			
航少尉	築地豐彥	雙發輕爆撃機	一二・三	埼玉縣入間郡富岡村
△航曹長	淺井十四			
航曹長	筒井敏夫	單發輕爆撃機	同	朝鮮平壤飛行第六聯隊飛行場附近
航曹長	道見多作	戰闘機		

三航曹	坂井常喜	中間練習機	一・三一	茨城縣新治郡中家村
航曹長	山下淺次			
△一航曹	依田健	水上偵察機	二・五	大島三原山噴火口附近
△大尉	杉本昇	艦上攻撃機	二・六	浦賀水道
航曹長	菅芳太郎			
△整曹長	駒田新吉			
△二航曹	都築基文	三號水上偵察機	二・一〇	福岡縣糸島郡野北村山中
三航曹	宮本長明			
△一航兵	竹内幸雄			
一航曹	石川吉好	艦上戰闘機	三・六	鹿兒島縣高須港沖
航曹長	海江田義孝	飛行艇	三・二五	佐世保軍港外大島沖
△少尉	大谷利郎	飛行艇	三・三〇	館山海軍航空隊附近
三航曹	藤忠治			
△二航曹	乾一			
三航曹	河合芳郎	水上偵察機	四・七	福岡市中島町
同	高橋實	同右	四・二三	大湊海軍航空隊

一航兵	佐伯國盛	艦上戰闘機	五・三一	大村海軍航空隊附近
大尉	高橋豐	偵察機 水上	六・二三	朝鮮元山水源端東方沖
二航曹	松尾正雄	攻撃機 艦上	六・二九	朝鮮江原道江陵郡襄陽東沖
△三航曹	小森田義國			
△同	大丸忠雄			
△中尉	佐山田周枝	攻撃機 艦上	七・一三	高知縣足摺岬沖
△大尉	溝端嘉一	偵察機 水上	九・二	北海道襟裳岬沖
二航曹	高橋秀良			
一航兵曹	相原輝三	戰闘機 艦上	九・一二	千葉縣館山那古町附近
三航曹	大橋正則	同右	九・一四	長崎縣東彼杵郡沖
少佐	奥義光	同右	九・一六	津輕海峽西方
二航兵曹	藤澤辰次郎	練習機 中間	九・二〇	茨城縣新治郡大津村
三航曹	藤本儀晴	艦上戰闘機	一〇・八	佐伯海軍航空隊附近
一航兵曹	倉知守憲			

民間の部

△中尉	白地武人	偵察機 水上	一〇・一〇	香川縣三豐郡莊內村沖
久野豐一				
岸川春雄				
大尉	牧野喜久雄	攻撃機 艦上	一一・一一	廣島縣加茂郡上浦刈島村
航曹長	福地榮	偵察機 水上	一一・二九	橫須賀軍港內
△三航曹	增淵勝平			
大尉	近藤厚	偵察機 水上	一二・一〇	滋賀縣高島郡川上村黑禿山
△航曹長	小峰輝勇			
△三航曹	宮崎京一			
△三整曹	柴田政雄	飛行艇	同	西宮港內
技手	松尾義雄	實驗機	一二・一五	橫須賀海軍航空隊附近
△大尉	森岡仁太郎	攻撃機 艦上	一二・一七	神奈川縣鎌倉町由比ヶ濱沖
一航曹	中村桂治			

一等操縱士	黒崎七郎			二・一八	東京深川浦飛行場
同	清水孝作				
△航・機關士	原篠喜久郎			四・二六	關東州大洋河口
一等操縱士	志知亮	郵便機		六・二二	岐阜縣羽島郡竹鼻町
同	内村靜則			七・一一	名古屋港附近
同	元島喜讀	プライマリー・グライダー		一〇・二〇	名古屋市外守山町小幡ヶ原

航空機乘員・附・三等飛行機操縱士名簿

（昭和十一年四月末調査）

凡例

氏名の太字は技倆證明書のみを有する者　△『技・證』は技倆證明書番號　△『其他の資格』欄中△一飛は一等飛行機操縱士△二飛は二等飛行機操縱士△一航は一等航空士△二航は二等航空士△自氣は自由氣球操縱士△航機は航空機機關士△技は技倆證明書　△『生年月』中△明は明治△大は大正　△技倆證明書缺號は死亡其他

一等飛行機操縱士

技・證	出身	出身年月日	資格獲得年月日	其他ノ資格	本籍	現所屬	氏名	生年月
二	陸軍第一期委託生	大正一〇・九・一	昭和二・六・一	一航	福岡	東京朝日新聞社	河内一彦	明・三四・八
三	同右	同右	同右	二航	熊本	滿洲航空株式會社	國枝實	同・三四・一一
五	同右	同右	同右		鹿兒島	同	中尾純利	同・三六・二
七	同右	同右	同右		千葉	日本航空輸送株式會社東京支所	小川寛爾	同・三四・三
八	同右	同右	同右		東京	東京日日新聞社	羽太文夫	同・三四・一〇
九	海軍	同一〇・五・	同右		岩手		阿部勉	同・三三・六

一〇	陸軍第一期生委託	大正一〇・九・一	昭和二・六・一五	同	茨城	日本航空輸送株式會社鹿屋出張所	伊藤治郎	同・三四・一二
一一	同	同右	同右	同	長野	滿洲航空株式會社	永田重治	同・三四・五
一四	海軍	同八・六・	同右	同	群馬	愛知時計電機株式會社	横山金吉	同・二八・七
一六	陸軍第二期生委託	同一一・九・一五	同右	同	福岡	大阪朝日新聞社	新野百三郎	同・三五・四
一七	同	同右	同右	同	群馬	讀賣新聞社	熊川良太郎	同・三五・一
一八	伊藤飛行機製作所	同一三・三・	同二・六・一	同	朝鮮	日本航空輸送研究所	張徳昌	同・三六・五
一九	陸軍	同八・一〇・二四	同二・六・一五	同	香川	東京飛行機製作所	木下耶麻次	同・二六・一二
二〇	伊藤飛行機製作所	同一一・五・二〇	同二・六・一	同	廣島	日本航空輸送研究所	長尾一郎	同・二四・一二
二一	海軍第一期生委託	同一二・七・二三	同二・八・二二	同	群馬	日本航空輸送株式會社富山出張所	藤枝祐夫	同・三六・三
二二	陸軍第三期生委託	同一二・七・二八	同二・六・一五	二航	兵庫	大阪毎日新聞社	松下辨二	同・三七・三
二三	同	同右	同二・六・一	同	島根	野澤組航空部	熊野季福	同・三七・七
二四（一二一）	同	同右	同右	同	兵庫	日本航空輸送株式會社福岡支所	石上全尚	同・三七・二一
二六	伊藤飛行機所	同一一・一〇・	同右	同	東京		龜井五郎	同・三五・六
二七	陸軍第三期生委託	同一二・七・二八	同右	同	長野	大阪毎日新聞社	和田喜三郎	同・三六・一
二九	陸軍	同九・四・一二	同右	同	德島	大阪飛行機研究所	乾將顯	同・二九・九

三〇	陸軍第二期生委託	同一一・九・一〇	同右	同	埼玉	日本航空輸送株式會社京城支所	桑島稔	同・三五・一一
三一	海軍第四期生委託	同一五・一〇・一五	同二・六・一五	同	兵庫	同右	宮本正義	同・三九・三
三二	海軍第二期生委託	同一三・九・一二	同二・六・一	一航	同	同大連支所	岸本貞	同・三六・一二
三四（三四五）	海軍第三期生委託	同一四・一〇・一〇	同二・六・一五	同	東京	川西航空機株式會社	海江田信武	同・三八・一
三五（一三〇）	日本航空株式會社	同一三・一一・二三	同右	同	京都	東京瓦斯電氣工業株式會社	諏訪宇一	同・三五・一
三六	海軍第二期生委託	同一三・九・一八	同二・六・一	二航・技	石川		大場辰男	同・三七・三
三七	同	同一三・八・一八	同二・六・一五	一航	北海道	日本航空輸送株式會社福岡支所	加賀要助	同・三七・五
三九	海軍第三期生委託	同一四・一〇・一〇	同二・六・一	同	大分	同福岡支所	森田勝人	同・三九・一一
四〇	日本航空株式會社	同一四・八・二四	同二・六・一五	二航	埼玉	日本海航空株式會社	米澤峰藏	同・三二・九
四三	陸軍第三期生委託	同一二・七・二八	同右	同	群馬	東京朝日新聞社	中島忠英	同・三六・一一
四五	伊藤飛行機所製作	同一一・一〇・二四	同右	同	東京	日本航空輸送株式會社	井上正鑑	同・三二・六
四六	同	同右	同右	同	岡山	同東京支所	平松牛郎	同・三六・四
四八	海軍第四期生委託	同一五・一〇・一五	同右	同	兵庫	日本航空輸送研究所	藤原照夫	同・四〇・一
五〇	海軍第三期生委託	同一四・一〇・一〇	同右	同	東京	日本航空輸送株式會社福岡支所	藤田三郎	同・三九・六
五一	陸軍第四期生委託	同一三・九・二五	同右	同	岡山	同福岡支所	豐島晃	同・三八・一

五三	伊藤飛行機製作所	同一三・一・一八	二航	宮城	帝國飛行學校	鈴木菊雄	同二・六・二四
五四	陸軍委託生	同一二・七・二八	同	兵庫	日本航空輸送株式會社東京支所	鈴木友茂	同三・六・三
五五（三五二）	福長飛行機製作所	同一二・五・二四	同	静岡	同	鳥居清次	同三九・一
五六	伊藤飛行機製作所	同一一・一	同	兵庫	大阪毎日新聞社	大藏清三	同三七・一
五八	陸軍	同八・一〇	同	埼玉	陸軍航空本部技術部	町田三郎	同二八・八
五九	臺灣總督府警務局航空班	同一二・一一・一	二航・技	熊本	中島商事株式會社	松尾一男	同三一・七
六〇（一〇六）	臺灣總督府陸軍委託生	同一一・九・一〇	同	千葉	新日本空中撮影測量社	野口昻	同三六・一
六一	陸軍委託生	同一四・一〇・二六	二航	茨城	日本航空輸送株式會社大阪支所	荻野了	同三八・九
六二	陸軍委託生	同一三・九・二五	同	岡山	同福岡支所	大森正男	同三九・一
六三	海軍	同一三・五・三一	同	佐賀		下川正幸	同三五・一二
六四	陸軍	同一三・五・三〇	同	德島	德島航空學校	横山友象	同三二・一〇
六六	陸軍委託生	同一二・七・二八	同	千葉		岩佐正男	同三六・九
六七	白戸飛行練習所	同一二・八・一四	同	兵庫		石野俊夫	同三三・一
六八	陸軍委託生	同一四・一〇・二六	二航	滋賀	滿洲航空株式會社	松井勝吾	同三八・五
七〇	陸軍	同一〇・一二・八		長野	長谷川飛行研究所	長谷川清登	同二九・一二

七一	白戸飛行練習所	同一一・四・五	二航	兵庫	東京瓦斯電氣工業株式會社	乘池判治	同二・七・一六
七二	同	同右		山形		大場藤次郎	同三一・八
七三	陸軍委託生	同一四・一〇・二六		長野		小林善晴	同四〇・二
七四	陸軍委託生	同一〇・九・一		宮城	臺灣總督府警務局	松崎武夫	同三四・七
七五	佛國ファルマン飛行學校	同四・六・		千葉	日本自動車協會	石橋勝浪	同二六・四
七六	臺灣總督府陸軍委託生	同一一・九・一〇		宮城		早坂文之助	同二四・四
七七	臺灣總督府警務局航空班	同一二・一〇・一三		秋田	空中作業合資會社	奥山順治	同三三・一二
七八	海軍	同一二・八・一	二航	埼玉		黒米孝三	同三六・七
七九（一一七）	伊藤飛行機製作所	同一〇・一一・一四		兵庫		藤原延	同二一・八
八〇	臺灣總督府警務局航空班	同一一・九・一〇		新潟		五十嵐金一郎	同二八・二
八一	陸軍	同六・四・二八	自氣・技	北海道	日本航空輸送株式會社蔚山出張所	小田荒太郎	同一八・一〇
八二	同	同七・七・		茨城		熊倉米吉	同二七・六
八五	同	同九・八・一八		東京	東京飛行學校	遠藤辰五郎	同二五・一二
八六	直方飛行場	同一四・六・五	二航	山口		弘中正利	同三八・一
八八	伊藤飛行機製作所	同一一・三・		愛知	日本飛行機株式會社	片岡文三郎	同二八・

八九	日本航空輸送研究所	同	一三・二・一六	同	二・九・六	廣島	宮本茂 同・三五・一
九一	陸軍	同	一〇・五・二八	同	二・九・二〇	東京	**堀江辰吉** 同・二五・八
九二	伊藤飛行機製作所	同	九・一二・	同	二・一〇・一九	二航 高知	安岡駒好 同・三五・一〇
九三	安藤飛行機研究所	同	一三・一・二六	同	二・一一・九	愛知	安藤孝三 同・三一・五
九四	陸軍	同	一二・四・	同	二・一一・一一	二航 大阪	釜田善次郎 同・三四・一
九五	海軍	同	八・九・三〇	同	二・一二・七	二航・技 茨城	**早川正** 同・三一・四
九六	陸軍	同	一三・	同	二・一二・一三	福岡	**北島常次郎** 同・二七・三
九七	同	同	七・一〇・	同	三・一・二〇	埼玉	薄田勝正 同・二六・二
九九	海軍第五期委託生	昭和	二・七・一四	同	三・二・二五	一航 大分	安部藤平 同・四〇・八
一〇〇	同	同右		同	三・二・二五	同 茨城	齋藤羊五 同・四〇・五
一〇一	同	同右		同	三・三・一五	二航 同	海野昌男 同・四一・一
一〇三	陸軍第六期委託生	大正	一二・四・二七	同	三・三・一八	山梨	小尾龍治 同・三三・八
一〇五	福長飛行機製作所	昭和	二・一・二六	同	三・四・一八	二航 福岡	大里正義 同・四〇・七
一〇八	陸軍	大正	一一・五・二九	同	三・五・二六	同 東京	根岸錦藏 同・三五・三
一〇九	陸軍	同	八・一〇・二五	同	三・六・一二	千葉	四ノ宮清 同・二八・六

一一〇	海軍	同	一三・五・三	同	三・六・一八	埼玉	江田岩次 同・三四・一〇
一一一	陸軍第六期委託生	同	一五・一〇・三一	同	三・七・九	神奈川	**富澤象吉** 同・三九・一二
一一三	日本飛行學校	同	一三・一一・四	同	三・七・三一	二航 宮崎	伏見善一 同・三五・一一
一一五	陸軍	同	一二・九・	同	三・八・一三	同 愛知	飯島一二 同・三〇・三
一一六	福長飛行機製作所	同	一三・九・六	同	三・九・一三	同 兵庫	柴田熊雄 同・三七・一〇
一一八	陸軍	同	五・四・二八	同	四・二・二五	一航 大分	**安邊浩** 同・二三・一
一一九	同	同	六・七・五	同	四・二・五	同 廣島	麥田平雄 同・二四・七
一二〇	同	同	六・五・六	同右		同 埼玉	**中山賴道** 同・二五・一
一二二	帝大航空研究所陸軍委託生	同	一三・一・七	同	四・二・八一	二航 鳥取	**伊藤隆吉** 同・三三・四
一二三	陸軍	同	一三・五・三〇	同	四・三・二	同 静岡	土屋與作 同・三〇・一〇
一二五	陸軍	同	一二・四・二八	同	四・三・五	同 愛知	**都築德三郎** 同・二九・九
一二七	陸軍第七期委託生	昭和	二・一二・一六	同	四・三・五	同 長野	曾根原眞 同・四〇・一〇
一二八	陸軍	大正	八・一〇・二五	同右		同 茨城	小沼淺次郎 同・二八・七
一二九	同	同	九・六・一	同	四・三・九	一航 北海道	美濃勇一 同・三〇・一二
一三一	同	同	一三・五・三〇	同右		二航 長崎	金谷準 同・三二・一二

一三二	海軍	同六・六・一	同右	一航	岐阜	日本航空輸送株式會社福岡支所	可兒滿壽夫 同・二三・六
一三三	陸軍	同七・八・	同右	同	福岡	滿洲航空株式會社	岡部猛 同・二四・九
一三四	第一航空學校	同一二・一二・二一	同右	同	群馬	高崎航空音及會	權田善吉 同・三六・九
一三五	名古屋飛行學校	昭和二・一・一二	同四・三・九	二航	愛知	名古屋飛行學校	澤田兼一 同・三九・一一
一三六	海軍	大正一二・八・一	同四・四・三〇	同	三重	三菱重工業株式會社名古屋製作所	梶間義孝 同・三四・一一
一三七	同	同一〇・五・	同右	同	神奈川	日本航空輸送株式會社大連支所	青木峰藏 同・三五・二
一四一	福長飛行機製作所	同一二・一二・二〇	同四・六・一九	同	靜岡	東京瓦斯電氣工業株式會社	赤池萬作 同・三一・八
一四二	海軍	同一二・八・一	同四・六・二五	二航	愛媛	遞信省航空局大阪飛行場	**三好守治** 同・三三・八
一四三	陸軍	同一三・八・	同四・八・七	同	兵庫	加古川飛行場	**加古賢治** 同・三〇・七
一四四	伊藤飛行機製作所	同一一・一〇・二四	同四・八・一三	同	青森	九州航空會	久保田太 同・三七・五
一四五	海軍	同一四・四・	同四・九・一八	一航	熊本	日本航空輸送株式會社臺北支所	**淺香良一** 同・三四・五
一四六	海軍第六期委託生	昭和三・一一・二一	同四・九・二一	二航	長崎	滿洲航空株式會社	金丸末義 同・四二・九
一四七	同	同三・一一・二三	同四・九・二二	同	茨城	日本航空輸送株式會社福岡支所	野寺誠次郎 同・四三・六
一四八	海軍	大正一二・七・三〇	同四・一〇・三一	同	秋田	川崎飛行機造船所工場	高木昌巳 同・三五・三
一五一	同	同右	同右	同	山形	滿洲航空株式會社	佐藤正 同・四三・三
一五三	海軍第六期委託生	同三・一一・二二	同右	同	熊本	日本航空輸送株式會社名古屋出張所	西隆一 同・四一・六
一五四	第一航空學校	同二・三・一一	同四・一二・二六	同	愛媛		藤田武明 同・四〇・三
一五五	日本飛行學校	同二・一・二八	同五・一・二二	同	大阪		上川正義 同・三六・二
一五六	陸軍	同三・五・二六	同五・二・一〇	二航	兵庫		池內秀太郎 同・三八・一〇
一五八	名古屋飛行學校	同二・一・	同五・三・一九	同	鹿兒島	亞細亞航空學校	鎌田毅 同・三四・一
一五九	陸軍	同二・一・二六	同五・三・二〇	同	岐阜		岩井右內 同・三七・四
一六〇	同	大正二・六・三〇	同五・四・一四	一航	東京	三菱重工業株式會社	**武田次郎** 同・二三・九
一六一	同	同九・一〇・一九	同五・四・二五	同	愛媛	川崎造船所飛行機部	田中勘兵衞 同・二九・五
一六二	安藤飛行機研究所	昭和三・一一・二	同右	二航	同	田中飛行研究所	梶原音二郎 同・三六・四
一六三	日本航空株式會社	同二・四・一八	同五・五・二三	同	佐賀	報知新聞社	吉原清治 同・三八・八
一六四	海軍	大正一二・七・三〇	同五・六・三	同	千葉	遞信省航空局福岡飛行場	**塙義藏** 同・三六・三
一六五	陸軍	同一一・四・二九	同右	同	岐阜	陸軍航空本廠各務原支廠	堀剛 同・二七・九
一六七	海軍第七期委託生	昭和四・一一・	同五・七・八	同	山口	日本航空輸送株式會社京城支所	山田好雄 同・四四・二
一六八	福長飛行機製作所	大正一三・九・六	同五・七・二六	同	長野	滿洲航空株式會社	酒井市摩呂 同・四〇・二

一六九	安藤飛行機研究所	昭和四・六・二〇	同五・七・三一	二航	愛媛	宮島航空研究所
一七〇	東亞飛行專門學校	大正一五・三・三〇	同右	二航	青森	滿洲航空株式會社
一七二	米國セントポール陸軍飛行學校	同六・四・	同五・九・六	同	石川	
一七三	海軍	同一二・八・一	同右	同	宮城	
一七四	海軍第七期委託生	昭和四・一一・二三	同右	同	山口	
一七五	同	同四・一一・二二	同右	同	新潟	海軍技術研究所霞ケ浦出張所
一七六	伊藤飛行機作所	同三・八・一五	同六・二・四	同	千葉	田中飛行研究所
一七七	陸軍	大正一四・四・一七	同右	二航	靜岡	報知新聞社
一七八	海軍	同一四・三・二一	同右	同	島根	
一八〇	陸軍	昭和二・一・二六	同六・三・一六	同	佐賀	第一航空學校
一八一	同	大正一五・四・二六	同右	同	秋田	滿洲航空株式會社
一八二	陸軍第九期委託生	昭和四・一〇・一六	同右	同	群馬	日本航空輸送株式會社大阪支所
一八三	同	同右	同右	同	佐賀	同東京支所
一八五	陸軍	同三・九・二一	同六・五・一八	同	京都	石川島飛行機製作所
一八六	海軍	大正一三・五・三一	同右	二航	埼玉	日本海航空株式會社
一八八	同	同一二・八・	同六・六・五	同	栃木	愛知時計電機株式會社
一八九	伊藤飛行機作所	同一五・三・	同六・八・三一	同	秋田	滿洲航空株式會社
一九〇	陸軍	同一〇・四・二七	同右	同	德島	帝大學生航空研究會
一九二	陸軍第十期委託生	昭和五・一〇・二五	同六・九・二九	同	福岡	滿洲航空株式會社
一九三	同	同右	同右	同	鹿兒島	同
一九四	同	同右	同右	同	東京	横濱高等工業學校
一九五	同	同右	同右	同	北海道	所澤陸軍飛行學校
一九六	日本飛行學校	同二・一一・二九	同六・一〇・三〇	同	長崎	讀賣新聞社
一九七	海軍	大正一四・一一・二六	同六・一一・九	同	長野	法政大學航空研究會
一九八	同	同一二・八・一	同右	同	山梨	
一九九	陸軍	同一二・四・	同六・一二・五	同	愛知	報知新聞社
二〇〇	同	同九・四・二九	同七・一・二〇	一航	東京	三菱重工業株式會社名古屋製作所
二〇一	海軍	同五・五・	同右	同	新潟	愛知時計電機株式會社
二〇二	陸軍	同一五・四・二六	同七・一・二八	二航	宮崎	滿洲航空株式會社
二〇三	同	同八・七・	同七・二・二二	一航	福岡	渡邊鐵工所東京出張所

同	竹內匡之丞	同一〇・三八・一〇				
同	旦代次雄	同三・三三・七				
同	東善作	同二・二六・九				
同	針生金治	同三・三五・九				
同	山崎成位	同四・四四・八				
同	織田幸吉	同四・四三・八				
同	猿田秀文	同三・三二・四				
同	淺井兼吉	同三・三三・二				
同	山本信市	同三・三六・七				
同	青木松次	同三・三六・八				
同	富樫千代吉	同三・三四・九				
同	岡本德次	同四・四四・七				
同	松崎彌十郎	同四・四三・一二				
同	**生澤龜次郎**	同三・三七・一一				
同	長島榮作	同三・三五・一二				
同	天貝民藏	同三・三四・九				
同	伊藤光義	同三・三九・六				
同	延原正義	同三・三〇・一〇				
同	右田潔	同四・三・五				
同	兒玉實久	同四・四四・九				
同	藤澤秀雄	同四・四三・九				
同	吉田修作	同四・四五・一				
同	中村正	同四・四〇・八				
同	櫻澤仁一	同三・三六・三				
同	**伊藤善久**	同三・三三・四				
同	早川竹太郎	同三・三三・七				
同	山口元松	同三・三一・二				
同	室井留雄	同二・二三・五				
同	河野與助	同三・三四・三				
同	**谷甚吉**	同二・二・四				

二〇四	海軍	同一三・一一・	同七・二・二五	二航	熊本	末松春雄 同・三七・七
二〇六	陸軍	昭和二・九・	同右	同	長野	日本航空輸送株式會社大連支所 有賀光司 同・三五・九
二〇七	海軍第八期委託生	同六・三・二七	同七・四・一四	同	福島	同 黒木正明 大・元・一二
二〇八	同	同右	同右	同	岩手	同 瀬川貞雄 明・四五・二
二一〇	海軍	大正八・一二・	同七・六・三	一航	愛知	川西航空機株式會社 下山二郎 同・二三・一二
二一一	同	同一四・三・	同右	二航	山口	營口海邊警察隊航空班 山田松一 同・三八・二
二一二	同	同一三・五・	同右	同	香川	同 大浦市郎 同・三七・一二
二一三	陸軍	同一四・四・	同七・六・一七	同	三重	松葉賢雄 同・三六・三
二一四	御國飛行學校	同一五・五・三〇	同右	同	長野	中村厚美 同・三七・九
二一六	德島飛行學校	昭和三・七・二八	同右	同	德島	德島航空學校 岩田源一 同・四三・三
二一七	陸軍	大正一四・四・	同七・七・五	二航	栃木	各務ヶ原高等飛行學校 若林劍 同・三一・二
二一九	同	同一二・四・三〇	同七・七・二〇		愛知	野田金一 同・三一・七
二二〇	白戸飛行練習所	同一一・八・一五	同七・八・四	二航	岩手	伊東左内 同・三六・四
二二一	海軍第八期委託生	昭和六・三・二七	同七・一〇・五	同	石川	日本航空輸送研究所 片山久太郎 同・四四・五
二二二	陸軍第十一期委託生	同六・一〇・二六	同右	同	長野	大阪朝日新聞社 飯沼正明 大・元・八

二二三	同	同右	同右	同	群馬	滿洲航空株式會社 上原紀夫 明・四五・二
二二四	東亞飛行專門學校	大正一五・三・二五	同七・一〇・一五	同	朝鮮	朝鮮航空事業社 愼鏞頊 同・三四・一〇
二二六	日本航空輸送研究所	昭和二・八・三一	同七・一〇・一九	同	愛媛	日本航空輸送研究所 清水忠臣 同・四〇・一二
二二七	同	同二・一・二六	同七・一〇・二四	二航	熊本	滿洲航空株式會社 深野憲男 同・三四・二
二二八	同	同右	同七・一一・四	同	秋田	同 荒川久助 同・三六・八
二二九	同	同右	同右		新潟	同 古川貞吾 同・三九・一〇
二三〇	陸軍	同二・一・七	同右	二航	福岡	同 田中勝藏 同・三七・二
二三一	御國飛行學校	同五・六・一五	同七・一一・一〇	同	愛知	村松定延 同・四三・一
二三二	日本飛行學校	同四・八・一〇	同右		東京	日本飛行學校 柴田德藏 同・四二・九
二三三	同	大正一三・五・七	同七・一一・九	二航	岐阜	滿洲航空株式會社 片桐保一郎 同・三四・一
二三四	同	同一三・五・三〇	同七・一一・二一	同	長崎	同 久家元三 同・三二・四
二三五（二三四六〇）	海軍	同一五・一一・	同右	同	新潟	川西航空機株式會社 太田與助 同・三八・一
二三七	陸軍第九期委託生	昭和四・一〇・一六	同八・一・一六	同	廣島	日本航空輸送株式會社東京支所 齋藤忠光 同・四三・七
二三九	海軍	大正一三・一一・	同右	同	石川	廣海軍工廠航空機部檢査課 深美源八 同・三七・二
二四〇	同	同一四・三・	同右	同	德島	營口海邊警察隊航空班 中野政一 同・三八・二

二四一	同	同	一一・一〇・	同	八・二・一三	同	岡山	滿洲航空株式會社	丹原芳正	同・二九・一二
二四二	同	同	一三・五・	同	八・五・一	同	福岡	中島飛行機株式會社	高橋勇	同・三五・一二
二四四	名古屋飛行學校	昭和	六・一〇・二〇	同	八・五・二三	同	三重	日本航空輸送株式會社	南出廣	大・元・八
二四五	海軍第九期委託生	同	七・三・二九	同	八・五・三〇	同	福岡	東京航空輸送社	江島三郎	同・三・一
二四六	同	同右		同右		同		東京日日新聞社	岡貞文	同・三・二
二四七	同	同右		同右		同	熊本	堺水上飛行學校	池田安平	明・四五・六
二四八	同	同右		同右		同	大阪		漆原滋	大・三・一
二五一	陸軍	大正	一五・一一・	昭和	八・五	一航	愛知	滿洲航空株式會社	米津太平	明・三一・三
二五二	伊藤飛行機製作所	昭和	三・二・二四	同	八・八・二四	二航	東京	日本航空輸送株式會社東京支所	前田岩夫	同・三七・八
二五三	第一航空學校	大正	一三・六・二八	同右		同	鹿兒島	帝都在郷軍人航空研究會	田中近美	同・三六・一〇
二五四	陸軍第十二期委託生	昭和	七・一〇・二五	同	八・九・一四	同	宮崎	東京朝日新聞社	長友重光	大・三・三
二五五	同	同右		同右		同	愛知	滿洲航空株式會社	石田功	同・三・一〇
二五六	同	同右		同右		同	富山	同	本田長雄	明・四五・六
二五七	同	同右		同右		同	埼玉	同	上野博志	同・四五・五
二五八	日本飛行學校	同	二・三・三〇	同	八・一〇・三一	同	靜岡	日本電報通信社	片山良次郎	同・四一・九

二五九	陸軍	大正	一三・五・	同右		同	福岡	滿洲航空株式會社	中畑憲夫	同・三四・六
二六〇	海軍	昭和	五・四・二八	同	八・一一・六	同	栃木		大關昇	同・四〇・四
二六一	同	同右		同右		同	山形		渡部清藏	同・四〇・九
二六二	同	大正	一三・一一・二八	同右		同	千葉	渡邊鐵工所	前田七之助	同・三四・九
二六三	同	同右		同右		同	長野	同	松本功	同・三五・一一
二六四	同	昭和	二・五・二八	同右		同	長崎		金子市男	同・四一・八
二六五	同	大正	一三・一一・二八	同右		同	大分	海軍航空廠飛行實驗部	安部隆	同・三五・五
二六六	同	昭和	四・五・二八	同右		同	熊本		松本定	同・四一・六
二六七	同	同	三・一二・一八	同右		同	佐賀		武雄一夫	同・四一・九
二六八	同	同	五・四・二八	同右		同	東京		塚原勇造	同・四一・九
二六九	日本輕飛行機俱樂部	同	六・七・八	同	八・一一・一八	同	樺太		吉田重雄	同・四四・五
二七〇	同	同右		同右		同	富山	日本輕飛行機俱樂部	關口龜吉	同・四四・一二
二七一	西田飛行機研究所	同	二・四・	同右		同		大阪飛行機研究所	馬道才一	同・三五・五
二七三	海軍	大正	一五・五・二九	同	八・一二・五	二航	群馬	高知新聞社	青木清衛	同・三九・八
二七四	同	昭和	五・四・二八	同右		同	德島		志摩勝三	同・四〇・三

二七五	同	同右	同右	同	福岡	田中清治 同・四一・一一
二七六	同	同右	同右	同	千葉	尾形章 同・四二・一〇
二七七	同	同右	同右	同	福岡	國粋義勇飛行隊 白石重郎 同・四〇・八
二七九	陸軍	大正一四・四・	同八・一二・一二	同	岐阜	滿洲航空株式會社 荒木次郎 同・三六・八
二八〇	鈴木飛行研究所	昭和五・四・二五	同九・一・一三	同	北海道	第一航空學校 三溝桃介 同・四〇・六
二八一	米國		同九・二・二	二航	米國	ヴイクター・イー・ベルトランディアス 同・二七・五
二八三	日本飛行學校	同六・二・二七	同九・三・三一	二航	朝鮮	亞細亞航空學校 朴奉祉 同・四二・三
二八四	根岸飛行場	同四・五・二〇	同右	二航	兵庫	根岸飛行場 池島鹿治 同・四一・三
二八五	鈴木飛行研究所	同六・四・	同右	二航	三重	帝國飛行學校 伊藤定雄 大・元・一一
二八七	音更飛行場	同二・八・九	同九・五・三〇	二航機	北海道	北海タイムス社 上出松太郎 明・三二・一〇
二八八	海軍第十期委託生	同八・二・二八	同九・六・七	二航	同	東京日日新聞社 大多和齊 大・元・一二
二九〇	同	同右	同右	同	滋賀	藤本善雄 同・二・一〇
二九一	海軍	同二・五・二八	同右	同	佐賀	川崎鶴雄 明・三九・八
二九二	同	大正一五・一一・二四	同右	同	福岡	白石留藏 同・三六・一〇
二九三	海軍第十期委託生	昭和八・二・二八	同右	同	愛知	大堀修一 大・三・三

二九四	海軍	大正一四・五・三一	同右	同	千葉	石井進助 明・二八・三
二九六	福長飛行機製作所	同一五・四・一	同九・六・七	同	和歌山	濱グライダー研究會 谷口米一 同・四〇・一
二九八	海軍	昭和五・四・	同九・七・九	同	北海道	祝實之 同・四二・一
二九九	鈴木飛行研究所	同四・六・	同九・八・一〇	同	宮城	つばさ倶樂部 佐々木泰助 同四二・六
三〇〇	陸軍	同二・九・二八	同九・九・一一	同	和歌山	滿洲航空株式會社 水本佐一郎 同・三七・八
三〇一	海軍	同二・五・二八	同右	同	埼玉	勝畑清 同・三六・一二
三〇二	陸軍第十三期委託生	同八・一〇・二五	同九・九・一三	同	山梨	東京朝日新聞社 小俣壽雄 大・三・九
三〇三	陸軍	同三・九・	同九・九・一九	同	岐阜	亞細亞航空學校 高垣利一 明・三四・二
三〇四	米國カーチス飛行學校	大正一三・二・	同九・一一・一	同	鹿兒島	窪田純孝 同・三七・二
三〇五	陸軍第十三期委託生	昭和八・一〇・二五	同右	同	和歌山	日本航空輸送株式會社 津本正市 大・三・一
三〇六	同	同右	同右	同	德島	滿洲航空株式會社 平井岩太 同・三・五
三〇七	同	同右	同右	同	宮城	今野孝義 同・三・三
三〇八	陸軍	大正一四・四・二七	同右	同	埼玉	河野島八 明・三三・八
三〇九	同	昭和四・五・二七	同右	同	愛知	西野新兵衛 同・三七・一二
三一一	第一航空學校	同七・三・二〇	同九・一一・八	同	兵庫	新田茂彦 大・二・三

三一二	日本輕飛行機倶樂部	同	七・六・三	同右		
三一三	海軍	大正一五・五・二九	同	九・一一・二九	同右	
三一四	同	同右				
三一五	日本輕飛行機倶樂部	昭和	七・八・一五	同	九・一二・三	
三一六	名古屋飛行學校	同	七・一〇・三一	同	一〇・一・一五	
三一七	同	同	八・一〇・二八	同右		
三一九	海軍	大正一三・一一・二八	同	一〇・三・四		
三二〇	日本飛行學校	昭和七・一一・一〇	同	一〇・三・八		
三二一	各務原高等飛行學校	同	九・一・	同右		
三二二	帝國飛行學校	同	八・三・三一	同右		
三二三	日本飛行學校	同	三・一一・二六	同右		
三二四	陸軍第九期委託生	同	四・一〇・一六	同	一〇・三・一一	
三二五	名古屋飛行學校	同	九・一・一三	同右		
三二六	同	同	七・一〇・二二	同右		
三二七	海軍	同	一〇・三・一一	同右		

北海道	日本輕飛行機倶樂部	黒澤健	明・三六・九			
福岡	松尾義雄	同・三八・一				
香川	森川勳	同・四〇・二				
大阪	日本輕飛行機倶樂部	武中政治郎	同・四三・一			
三重	名古屋飛行學校	小坂禪令	大・二・二			
廣島	寺川健爾	明・四四・一一				
千葉	渡邊鐵工所	前田七之助				
神奈川	大西甫	大・三・六				
愛知	山口清					
福岡	帝國飛行學校	竹田伊三	大・四・一			
二航 東京	日本飛行學校	並木米三	明・四一・四			
同 岐阜	日本航空輸送株式會社大阪支所	日比省三	同・四三・四			
同 廣島	名古屋飛行學校	山野井勉	大・三・一			
同 岐阜	同	市川梢三	同・三・三			
和歌山	畑山武夫	同・四・七				

三二八	各務ヶ原高等飛行學校	同	八・七・一	同右		
三二九	名古屋飛行學校	同	七・一〇・二二	同右		
三三〇	海軍第十一期委託生	同	九・二・二〇	同	一〇・三・二二	
三三一	同	同右				
三三二	同	同右				
三三三	日本航空輸送研究所	同	七・一二・五	同	一〇・三・三〇	
三三四	同	大正一四・一二・二	同右			
三三五	同	同	一四・一二・五	同右		
三三六	日本飛行學校	昭和八・八・二四	同	一〇・四・二二		
三三七	同	同	八・六・八	同右		
三三八	同	同	六・一〇・二六	同右		
三三九	陸軍	昭和五・一〇・	同右			
三四〇	海軍	大正一五・一一・	同右			
三四一	陸軍	昭和二・一・	同右			
三四二	海軍	同	二・一一・	同	一〇・五・二	

岐阜	各務ヶ原高等飛行學校	神谷清四郎	明・四一・七			
二航 徳島	名古屋飛行學校	渡邊進	大・四・四			
同 富山	東京航空株式會社	黒瀬寅雄	同・三・九			
同 山梨	天虎飛行研究所	藤本直	同・三・一			
同 京都	西村大助	同・四・一二				
山口	日本航空輸送研究所	田中武雄	明・四三・二			
京都	同	新井亮助	同・三八・四			
二航 秋田	同	武石米三	同・四〇・二			
静岡	直井一雄	大・三・一一				
熊本	古閑達也	同・二・八				
二航 山形	日本飛行學校	熊谷悌司	明・四四・六			
愛知	亞細亞航空學校	青山繁光	同・四〇・六			
兵庫	林種次	同・三九・八				
滋賀	滿洲航空株式會社	間宮吉太郎	同・三六・一			
一航 福島	日本學生航空聯盟海洋部	大森伴白	同・三九・五			

三四三	同	大正一五・五・	同右	同	千葉	三菱重工業株式會社名古屋製作所
三四四	同	同一五・九・	同右	同	北海道	海軍航空廠飛行實驗部
三四七	陸軍	同一四・四・二七	同一〇・五・三〇	同	岐阜	各務ヶ原高等飛行學校
三四八	名古屋飛行學校	昭和一〇・六・二二	同一〇・六・二二	一航	山口	岩堀庄次郎 同・四〇・五
三四九	海軍	同二・五・二八	同右	同	長崎	高橋繁治郎 同・四〇・七
三五〇	同	大正一五・一一・	同右	同	廣島	石井正弘 同・四四・五
三五一	同	昭和六・五・一	同右	二航	兵庫	圓山芳文 大・三・八
三五三	名古屋飛行學校	同八・一〇・二六	同一〇・七・八	同	和歌山	林茂 明・四二・九
三五四	鈴木飛行研究所	同八・三・三一	同右	同	同	吉田竹治 同・四四・七
三五五	御國飛行學校	同八・一〇・三〇	同右	同	廣島	渡部進 同・四二・五
三五六	東亞飛行專門學校	同六・六・二四	同右	同	大分	桂林高廣 大・四・二
三五七	日本輕飛行機倶樂部	同九・五・三〇	同右	同	富山	飯田弘孝 同・三・三
三五八	同	同七・六・三	同右			**近藤源三郎**
三五九	陸軍	大正一五・一・	同一〇・八・一四	同	高知	鈴木兵助 明・三六・一一
三六一	海軍	大正一三・二・二八	同一〇・八・二二			

三六二	同	同一四・一一・	同右	熊本		勝崎利一 同・三五・三
三六三	日本飛行學校	同一五・九・一〇	同右	二航	茨城	青山伊吉 同・四一・六
三六四	陸軍第十四期委託生	昭和九・一〇・二五	同一〇・八・二五	五	東京	諏訪勝義 大・五・三
三六五	同	同右	同一〇・八・二三	同	千葉	川崎一 同・三・五
三六六	同	同右	同一〇・八・二五	三	長野	池田照雄 同・五・七
三六七	安藤飛行機研究所	同八・一・一六	同一〇・九・一七	同	兵庫	小林實 同・二・七
三六九	名古屋飛行學校	同九・九・一五	同一〇・一〇・二四	四	廣島	坂本成二郎 明・四四・八
三七〇	同	同右	同右	七		家花賴登 大・二・九
三七一	同	同九・一〇・二九	同右	五	愛知	生駒常一 同・四・一二
三七二	日本航空輸送研究所	同一〇・一・一五	同右	同	岡山	日本航空輸送研究所 岡信男 同・二・四
三七三	國粹義勇飛行隊	同右	同右	同	鳥取	國粹義勇飛行隊 桑本廉之助 同・三・一二
三七四	日本飛行學校	同九・八・二三	同右	同	東京	籠宮次郎 同・四・九
三七五	國粹義勇飛行隊	同一〇・一・一五	同右	同	德島	國粹義勇飛行隊 阿部巳則 同・三・六
三七七	御國飛行學校	同六・一〇・二	同右	明・四四・五	青森	藤田榮三郎
三七八	國粹義勇飛行隊	同一〇・一・一五	同右	大・四・八	兵庫	瀨川欣宣

三七九	名古屋飛行學校	同	九・一〇・二九	同右	
三八〇	日本航空輸送研究所	同	一〇・一・一五	同右	
三八一	國粹義勇飛行隊	同右			
三八二	海軍	同	一〇・一一・一四		
三八三	名古屋飛行學校	同	一〇・一一・二五	二航	京都
三八四	東亞飛行專門學校	同右	五・五・一〇	同	青森
三八五	陸軍	同右	九・五・三一	同	滋賀
三八六	第一飛行學校	同右	七・七・五	同	大阪
三八七	第一航空學校	同	九・一〇・一三	同	福島
三八八	海軍	大正	一五・一一・	同右	岩手
三八九	安藤飛行機研究所	昭和	八・五・二三	同	一〇・一二・九	同右	愛知
三九〇	名古屋飛行學校	同	八・一・一六	同右			
三九一	海軍	同	一〇・一二・一〇	同右			
三九二	同	同右					
三九三	同	同右					

愛知	安藤飛行機研究所	大須賀俊介	同・二・八		
島根	日本航空輸送研究所	勝部良三	同・四・一		
岡山		池田和夫	明・四五・一		
福島	日本學生航空聯盟海洋部	中野目廣肆	同・三七・五		
京都	名古屋飛行學校	安田倫久	大・四・七	二航	京都
青森		野呂忠三郎	明・三九・八	同	青森
滋賀		番野義弘	大・四・一	同	滋賀
大阪	東京飛行學校	芝谷一雄	同・二・七	同	大阪
福島		阿部美	同・五・一一	同	福島
岩手		菊地仁	明・三七・五	同	岩手
愛知	安藤飛行機研究所	吉田榮	大・二・七	同	愛知
京都		楢林壽一	同・四・三	二航	京都
東京		森屋芳郎	同・二・六	同	東京
同		瀧沖孟雄	同・二・三	同	同
茨城		武田正彥	明・四三・一		

三九四	同	同右	一〇・一二・一〇		
三九五	同	同右			
三九六	各務ヶ原高等飛行學校	同	一一・二・五	同	一一・二・五
三九七	第一航空學校	同	九・一一・一三	同	一一・一・二四
三九八	海軍第十二期委託生	同右	九・一二・一五		
三九九	同	同右			
四〇〇	同	同右			
四〇一	獨逸ザクセン航空學校	同	六・一・二	同右	
四〇二	日本飛行學校	同	七・八・一五	同	一一・二・一〇
四〇三	御國飛行學校	同	八・一〇・二六	同	一一・二・二〇
四〇四	第一航空學校	同	八・六・八	同右	
四〇五	名古屋飛行學校	大正	九・三・三一	同	一一・三・三

兵庫		荻野益男	大・二・九		
福井		西山勇	明・四五・六		
愛知		內藤康	大・三・一〇		
神奈川	日本航空輸送株式會社大阪支所	片倉幸夫	同・三・八	二航	神奈川
東京		岩崎三男二	同・五・一一	同	東京
兵庫	同福岡支所	福田昌次	同・六・一	同	兵庫
愛知	同大阪支所	松波義辰	同・五・三	同	愛知
長崎		阿野勝太郎	明・四二・一一		
埼玉	東京飛行機製作所	瀧澤美千代	大・三・七		
千葉	海軍航空廠飛行實驗部	高石晴夫	同・三・一	二航	千葉
福岡		久富巖	明・四五・一		
中華民國	名古屋飛行學校	黃可寬	同・四五・一〇		

（關東遞信官署發行免狀所有）

一	陸軍	大正一二・四・二八	昭和八・四・一四	二航	福岡
二	同右		同 八・一二・二六	同	關東遞信局

四	二航	福岡	關東遞信局	田中常吉	明・三二・九
同	同	同	同	半田才藏	同・三一・一二

三	同	同	一三・五・三一	同	九・三・二二	同	山口
五	同	昭和	三・五・二三	同	九・七・三	同	千葉
六	同	同右		同	九・九・五	同	山口
七	同	同	二・一・二二	同	九・一一・	同	岡山
八	同	同	五・一・三一	同	九・一二・二四	同	福岡
一〇	同	同	二・一・	同	一〇・九・三〇	同	岡山
一一	同	大正	一五・四・	同	一一・一・九	同	福岡
一二	同	昭和	二・九・	同	一一・二・四	同	熊本
一四	同	同	七・二・	同	一一・二・二六	同	静岡

（朝鮮總督府遞信局發行免狀所有）

一	陸軍	昭和	二・八・三一	昭和	二・八・三一	二航	奈良
二	同	大正	一二・四・二八	同	五・七・四	同	山梨

二等飛行機操縱士

技・證	出身	出身年月日	資格獲得年月日	其他ノ資格	本籍	現所屬	氏名	生年月
一	第一航空學校	大正一四・九・九	昭和二・六・二九	福島	北郷凉明・三四・七			
五	同	同一三・九・六	同右	同	大野資同・三四・一一			
一四	日本飛行學校	同一五・四・二〇	同右	二航	福岡	日本帆走飛行聯盟	志鶴忠夫同・四〇・三	
一五	福長飛行機製作所	同一三・四・四	同右	茨城			關房藏同・三三・二	
一六	第一航空學校	同一四・九・九	同右	愛媛			榊政行同・四〇・一〇	
二四	伊藤飛行機製作所	同一四・二・三	同一四・七・一六	二航	滋賀		戸野元同・三九・一一	
二八	日本中央飛行學校	同一四・一〇・一二	同右	宮城			相澤清同・三〇・八	
三〇	海軍	同九・四・二七	同右	三菱重工業株式會社名古屋製作所			森勘六同・二九・八	
三五	宮城飛行協會	同一二・一二・一八	同一二・八・二二	富山				
三六	臺灣總督府警務局航空班	同一五・七・二五	同右	福岡			加藤文海同・三五・七	
三八	海軍	同一二・八・一	同右	廣島			若宮稔同・三六・一二	
三九	白戸飛行練習所	同一一・五・二	同右	茨城			鈴木良之介同・三四・五	
				廣島	警視廳交通課		吉村豆意同・三五・一	

四三	同	同右	同一一・一二・一七	二航機	東京	福島孫七 同・三六・八
四六	同	同右	同一二・五・三一		福岡	亜細亜航空學校 山田秀市 同・二九・八
四七（一三六）	第一航空學校	同右	同一五・四・		山口	加藤信雄 同・四二・六
四八	米國カーチス飛行學校	同右	同六・六・九		愛知	小栗飛行學校 小栗常太郎 同・一九・九
五〇	宮城飛行協會	同右	同一四・五・七		兵庫	岸本密次 同・三四・九
五一	白戸飛行練習所	同右	同一一・五・二		宮城	高橋今朝治 同・三二・一二
五三	伊藤飛行機製作所	同右	同一三・五・五		東京	川西航空機株式會社東京事務所 信田五平治 同・三二・二
五七	白戸飛行練習所	同	同一二・一二・一	航機	奈良	東京日日新聞社 梅本幸一 同・三七・一
五八	日本飛行學校	同右	同一三・七・一五		埼玉	石川加一 同・三八・五
六〇	臺灣總督府警務局航空班	同右	同一五・七・二六		愛媛	後藤儀作 同・三四・一〇
六四	第一航空學校	同	同一三・一一・八		福岡	木部シゲノ 同・三六・一一
六六	伊藤飛行機製作所	同右	同一三・四・四		京都	小西金次郎 同・三四・七
六八	日本飛行學校	同	同一三・一一・四		静岡	平井二一 同・三五・八
六九	根岸飛行場	同右	同一四・七・一二		京都	今井小まつ 同・三一・八
七〇（二二六）	福長飛行機製作所	同右	同一五・一一・		福岡	岡山自動車學校航空部 淺川進一郎 同・三八・九

七三	陸軍第七期委託生	同右	昭和二・一二・二六	二航機	佐賀	船津勇 同・四二・六
七五	同	同右	同	同	岐阜	坂井菴 同・四二・八
七六	日本飛行學校	同	同二・一・二八		朝鮮	徐雄成 同・三九・五
七九	日本中央飛行學校	同右	大正一三・九・六		長野	藤森眞秀 同・三四・一二
八〇	日本飛行學校	同	昭和二・一一・三〇	航機	群馬	萩原嘉重 同・三四・六
八一	伊藤飛行機製作所	同右	大正一四・二・		富山	荒木清吉 同・三六・三
八三	第一航空學校	同	同一三・二・二七		福岡	木下豐吉 同・三二・一
八五	日本中央飛行學校	同右	同一五・一二・八		長崎	古賀功 同・三九・九
八九	佛國モラヌソルニエ飛行學校	同	昭和三・一・一九		東京	岩倉具邦 同・四一・一一
九〇	第一航空學校	同右	大正一四・三・	二航機	同	塚越賢爾 同・三三・一一
九九	東西定期航空會	同右	昭和二・一二・二四	同	千葉	近藤通 同・三六・四
一〇一	伊藤飛行機製作所	同	同二・一〇・一九		大阪	山本良三 同・四一・七
一〇二	日本中央飛行學校	同右	大正一三・八・		佐賀	末藤廣作 同・三八・九
一〇三	日本飛行學校	同右	昭和三・一二・二七		福岡	石橋虎眞早
一〇五	名古屋飛行學校	同	同二・三・三一		兵庫	藪內光子 同・四二・八

一〇六	同	三・三・二九	同右		
一〇七	根岸飛行場	同 四・五・二〇	同 四・五・二〇		
一〇九	東西定期航空會	同 二・一二・二四	同 四・六・五		
一一二（三七一）	日本飛行學校	同 二・一一・二九	同 四・七・三		
一一三	名古屋飛行學校	同 二・一二・三一	同 四・八・七		
一一五	同	同右	同右		
一一六	同	同 三・七・三一	同右		
一一八	同	同 三・一一・二六	同 四・九・二八		
一一九	御國飛行學校	同 三・一二・二一	同右		
一二九（一三四）	名古屋飛行學校	同 四・一二・二六	同 四・一二・二六		
一三二	日本飛行學校	同 三・一一・二六	同 五・三・一九		
一三三	名古屋飛行學校	同 五・三・一九	同右		
一三五	日本飛行學校	同 四・六・二〇	同 五・四・二五		
一三七	安藤飛行機研究所	同 五・六・一五	同 五・六・一五		
一四〇	長谷川飛行機研究所	同 五・一〇・二一	同 五・一〇・二一		

茨城	鈴木しめ	同・四二・二			
岐阜	天野嗣夫	同・三六・四			
朝鮮	金東業	同・三五・一〇			
同	日本飛行學校	李貞喜	同・四三・一		
愛媛		稻垣新吾	同・三七・八		
同		飯田量	同・四三・七		
朝鮮		金榮浩	同・四三・三		
同		田相國	同・四〇・一二		
東京		本庄兼則	同・四二・三		
中華民國		侯競寰	同・四一・五		
神奈川		澤雄一	同・四〇・八		
廣島	宇部航空輸送研究所	山崎房次郎	同・四四・一〇		
愛知		大崎資良	同・四三・五		
朝鮮		浩吉石	同・四一・八		
富山		惣万菊太郎	同・四二・一〇		

一四七	名古屋飛行學校	同 四・一・二八	同 五・一〇・二八		
一四八	同	同 五・七	同右		
一四九	日本輕飛行機倶樂部	同 五・一〇・三一	同 五・一〇・三一		
一五一	安藤飛行機研究所	同 五・一二・一二	同 五・一二・一二		
一五八	名古屋飛行學校	同 六・四・二	同 六・四・二		
一五九	御國飛行學校	同 五・一〇	同右		
一六一	東亞飛行專門學校	同 五・六・一五	同右		
一六二	日本飛行學校	同右	同右		
一六三	御國飛行學校	同 四・一二・二六	同 六・四・三〇		
一六四（二〇三）	法政大學航空研究會	同 六・四・三〇	同右		
一六六	福長飛行機製作所	大正一四・九・一九	同 六・五・一		
一六九	名古屋飛行學校	昭和六・六・一五	同 六・六・一五		
一七〇	同	同右	同右		
一七四	御國飛行學校	同 四・一二・二六	同 六・八・二七		
一七六	同	同 五・一二・	同右		

廣島	須浦好二	同・四四・九			
富山	水上俊明	同・四四・五			
東京	豐田安太郎	同・四三・一〇			
愛知	加藤正	同・四一・二			
長野	井上善一	同・三九・一二			
茨城	石橋雅雄	同・四二・二			
福島	五十嵐儀美	同・四三・一二			
大分	石田英勝	同・四一・一一			
東京	境岳	同・四二・四			
神奈川	栗村盛孝	同・四三・三			
岡山	鹽田平四郎	同・三八・三			
兵庫	前川貞一	大・二・八			
高知	上田茂樹	明・四四・一			
同	平松時善	同・四一・一一			
佐賀	大宅武次	大・元・九			

一七八	同	同	六・二・二	同	六・九・二九
一七九	日本輕飛行機倶樂部	同	六・九・二九	同右	
一八〇	北日本飛行學校	同	六・一〇・一〇	同	六・一〇・一〇
一八三	名古屋飛行學校	同	六・一〇・二〇	同	六・一〇・二〇
一八四	同	同右		同右	
一八八	陸軍第十一期委託生	同	六・一〇・二六	同	六・一〇・二六
一九一	日本飛行學校	同右		同右	
一九二	所澤陸軍飛行學校	同右		同右	
一九三	鈴木飛行研究所	同	六・四・二〇	同	六・一〇・三〇
一九四	日本飛行學校	同右		同	六・一・三〇
一九六	日本輕飛行機倶樂部	同右		同	六・六・一二
一九七	同	同右		同	五・一二・四
一九八	海軍	同	二・一一・二六	同	六・一一・九
一九九	安藤飛行機研究所	同	六・一二・五	同	六・一二・五
二〇一（四三七）	東亞飛行專門學校	同右		同右	
二〇二	同	同	六・二・二七	同右	
二〇四	名古屋飛行學校	同	六・一二・二三	同右	
二〇五	同	同右		同右	
二〇六	同	同右		同右	
二〇七	日本輕飛行機倶樂部	同	七・一・九	同	七・一・九
二〇八	日本飛行學校	同右		同右	
二〇九	御國飛行學校	同右		同右	
二一〇	東亞飛行專門學校	同	六・九・二九	同右	
二一一	日本飛行學校	同	七・七・八	同右	
二一二	御國飛行學校	同	七・一・九	同右	
二一三	諏訪飛行場	同	七・二・二五	同	七・二・二五
二一四	西田飛行機研究所	同右		同右	
二一五	福長飛行機製作所	大正一五・一・一		同	七・三・二三
二一六	日本飛行學校	昭和七・三・二三		同右	
二一七	鈴木飛行研究所	同右		同右	

二航	臺灣	明・四四・四	彭金國		
同	東京	同・二〇・一一	高橋英次		
北海道	北海道航空義會	同・四四・六	安多行英		
京都		同・四二・七	角替一彥		
三重		同・四四・一一	館二三一		
二航	群馬	同・四四・七	**高橋福次郎**		
同	山口	同・四五・四	佐々木留一		
静岡	千葉醫科大學	同・三一・一	山崎春雄		
京都		同・四四・一一	奥村六男		
朝鮮		同・四〇・一〇	尹昌鉉		
岐阜	日本輕飛行機倶樂部	同・四五・二	上仲鈴子		
東京		同・四三・三	田中春雄		
福島	安藤飛行機研究所	同・四二・二	**大須賀眞平**		
島根		大・三・六	早弓勝巳		
同	東亞飛行專門學校	同	吳成玉	明・四三・一一	
福岡	同	同	和田正雄	同・四四・一一	
愛知	濱松飛行機製作所	同・四二・一	加藤弘一		
二航	兵庫	大・三・一二	岩崎哲三		
中華民國		明・四三・四	陳鶴聲		
山形		大・元・八	澤田芳夫		
同		同・三・一二	佐藤德		
二航	兵庫	明・三八・二	川崎芳治		
長野	東亞飛行專門學校	同・四四・一一	矢野香六		
二航	同	同・四一・二	大野源次郎		
東京		同・四三・七	外山達夫		
愛知	山梨在鄉軍人航空研究會	同・四一・五	篠田龜久三		
奈良		大・二・三	谷口芳男		
廣島		明・三一・八	野崎八郎		
山口		大・元・八	富島隆		
二航	宮城	明・三五・二	鈴木富雄		

二一八	日本飛行學校	同	五・六・一二	同右	
二一九	東亞飛行專門學校	同	七・三・二三	同右	
二二四	安藤飛行機研究所	同	七・四・一四	同右	
二二五	同				
二二七	陸軍	同	七・四・二五	同右	
二二八	ドノールド・ウツド・ワード飛行場	同	三・五・	同右	
二二九	日本飛行學校	同	六・一〇・一四	同右	
二三〇	同	同	六・一二・五	同右	
二三一（四二四）	同	同	七・六・三	同右	
二三四	日本飛行學校	同	三・七・三〇	同右	
二三五	名古屋飛行學校	同	七・六・一七	同右	
二三六	同				
二三七	鈴木飛行研究所	同	五・六・一五	同右	
二三八	日本飛行學校	同	七・七・五	同右	
二三九	日本輕飛行機倶樂部	同	七・八・一五	同右	

二四〇	御國飛行學校	同右			
二四四	日本輕飛行機倶樂部	同	七・八・一五	同右	
二四五	名古屋飛行學校	同	七・九・二〇	同右	
二四六	同				
二四七	同				
二四八	日本飛行學校	同	七・九・二七	同右	
二五〇	德島航空學校	同	七・一〇・一九	二航 德島航空學校	
二五一	東亞飛行專門學校	同	七・五・	同右	
二五二	東京飛行學校	同	七・一〇・一九	同右	
二五四	同				
二五五	德島航空學校	同右			
二六一	御國飛行學校	同	七・一〇・一二	同右	
二六二	名古屋飛行學校	同	七・一〇・三一	同右	
二六五	同	同右			
二六八	日本輕飛行機倶樂部	同右			

愛知	本多 成	明・四五・五	東京	北島昌藏	同・四〇・四
三重	富谷政七	同・四二・九	埼玉	高橋金三郎	同・四二・二
廣島	鈴木昇一	同・四三・九	長野	神田正治	大・元・九
靜岡	渡邊義雄	大・元・一一	東京	鈴木克巳	同・二・八
愛知	河合忠夫	同・二・一	福岡	甲斐茂吉	明・三五・二
茨城	秋谷マリエ	明・四〇・八	北米合衆國	ルス・ネーソン	同・四三・四
二航 德島	中川伊澤	同・四四・一二	長野	關 孝	大・二二
福島	松崎二郎	同・四三・四	二航 東京	木下利正	同・二・五
東京	加藤高明	大・二・九	同	尹 公欽	同・二・五
二航 德島	大花義八	同・二・七	福島	濱野松太郎	明・三七・八
同	渡邊國重	同・三・七	大阪	小林直太郎	大・二・一〇
福岡	今川重行	同・二・八	三重	小林公平	明・四四・三
三重	小林實	同・二・一〇	二航 秋田	瀨川良立	同・四一・一一
愛知	日比野宗雄	同・三・五	北海道	小笠原米一	同・四五・一
福島	武內政夫	明・四五・三	神奈川	三膀泉藏	大・元・一〇

二七二	伊藤飛行機製作所	同	七・一二・三	同 七・一二・二一
二七三	日本輕飛行機倶樂部	同右		同右
二七四	御國飛行學校	同右		同右
二七五	鈴木飛行研究所	同右		同右
二七六	同	同右		同右
二七七	御國飛行學校	同右		同右
二七八	鈴木飛行研究所	同右		同右
二八〇	名古屋飛行學校	同	八・一・一六	同 八・一・一六
二八二	同	同右		同右
二八三	同	同右		同右
二八六	御國飛行學校	同	八・一・二八	同 八・一・二八
二八七	安藤飛行機研究所	同右		同右
二八八	名古屋飛行學校	同右		同右
二八九	同	同	八・二・四	同 八・二・四
二九三	安藤飛行機研究所	同	八・三・三一	同 八・三・三一
二九五	同	同右		同右
二九七	日本輕飛行機倶樂部	同	六・四・二	同右
二九八	帝國飛行學校	同	八・三・三一	同右
三〇〇	日本飛行學校	同右		同右
三〇三	同	同右		同右
三〇四	東亞飛行專門學校	同	二・五・三〇	同右
三〇五	日本飛行學校	同	八・三・三一	同右
三〇六	名古屋飛行學校	同	八・五・一	同 八・五・一
三〇七	同	同右		同右
三〇八	同	同右		同右
三〇九	同	同右		同右
三一〇	安藤飛行機研究所	同	八・五・二三	同 八・五・二三
三一四	英吉利	同	五・六・	同 八・六・三
三一五	御國飛行學校	同	三・二・二六	同 八・六・八
三一六	鈴木飛行研究所	同	七・五・	同右

千葉	日本輕飛行機倶樂部	鈴木正憲	同・三九・一二
新潟		山本良作	同・四五・四
愛知		宮野正夫	大・元・九
東京		伊藤良彌	同・二・八
石川		隅田悠紀雄	同・四・一一
愛知		加藤保	同・四・七
茨城		日貝整一	同・三・三
二航 和歌山		杉浦光夫	同・三・一一
二航 スペイン		ジョセフ・セレース	同・二・一
二航 福岡		伊藤信雄	同・四・七
二航 東京		遠山淡	明・四五・六
二航 兵庫		林由三	同・四二・二
同 三重		福島信夫	大・二・三
獨逸		グスターブ・ゼーリヒ	明・四五・一
岐阜		奥田弦一郎	同・四〇・七
石川		村上好盛	大・三・一〇
富山	日本輕飛行機倶樂部	埴山芳瑞	明・四二・三
滋賀		山岡義弘	大・四・一
京都		磯部昌夫	同・二・三
栃木		菊地東之助	明・四五・五
福岡		太田善藏	同・三八・五
東京		田中照久	大・三・一〇
臺灣		賴春貴	明・四四・四
二航 神奈川		鈴木保	大・元・一二
愛媛	新日本空中寫眞測量社	矢野敏男	同・三・三
臺灣		黃慶	明・四一・七
廣島	鼓ヶ濱航空學校	比屋善文	大・四・一一
東京		蜂須賀正氏	明・三六・二
同		伊藤酉夫	同・三〇・一二
秋田		淺利長司	大・四・三

三一八	同	同右			
三一九	日本輕飛行機倶樂部	同	七・一二・二一	同右	
三二〇	帝國飛行學校	同	七・一・	同右	
三二一	各務ヶ原高等飛行學校	同	八・七・一	同右	
三二三	名古屋飛行學校	同	八・四・八	同右	
三二五	安藤飛行機研究所	同	八・八・一七	同右	
三二六	同	同	八・八・一七	同右	
三二七	日本飛行學校	同	八・八・二四	同右	
三二九	日本輕飛行機倶樂部	同	八・八・二四	同右	
三三〇	日本飛行學校	同		同右	
三三一	同	同		同右	
三三二	帝國飛行學校	同		同右	
三三三	日本輕飛行機倶樂部	同		同右	
三三四	同	同		同右	
三三五	第一航空學校	同		同右	

山口	川地晋次	同	四・二		
東京	熊谷義則	同	三・六		
同	帝國飛行學校	山田益三	同	三・一	
石川		野村潔	同	四・一一	
和歌山		畑山武夫	同	四・七	
兵庫		大谷勇次	明	四五・一	
埼玉	亞細亞航空學校	松本キク	大	元・一一	
東京	東京計器製作所	道紺俊雄	明	四〇・一	
大阪		信岡正典	大	元・一一	
二航 靜岡		藤田敏雄	同	三・七	
東京		加藤守	同	二・四	
岩手	東北飛行學校	大久保孝三	同	四・一二	
茨城		萩原周夫	同	四・八	
栃木		大牧準四郎	同	二・一一	
二航 高知	土佐國防協會航空部	三谷勝龜	明	四二・一〇	

三三七	名古屋飛行學校	同	八・九・五	同右	
三四二	日本飛行學校	同	八・一〇・二六	同右	
三四三	第一航空學校	同	八・六・八	同右	
三四四	同	同	八・四・八	同右	
三四五	御國飛行學校	同	八・一〇・二六	同右	
三四七	日本飛行學校	同		同右	
三四八	御國飛行學校	同		同右	
三四九	帝國飛行學校	同		同右	
三五一	日本飛行學校	同		同右	
三五二	同	同		同右	
三五三	第一航空學校	同	六・一二・一四	同右	
三五四	御國飛行學校	同	八・一〇・二六	同右	
三五五	名古屋飛行學校	同		同右	
三五八	同	同		同右	
三五九	同	同		同右	

三重	森三佐男	同	三・八		
京都	後川利夫	明	四一・七		
同	第一航空學校	長山きよ子	同	四四・七	
東京	同	梅田芳江	大	四・一二	
廣島		土岐清	同	元・一二	
岡山		大岸眞左勝	同	五・六	
和歌山	國粹義勇飛行隊	村尾誓圓	同	五・九	
高知		北村謙	明	四三・九	
岡山		澤田義文	大	四・六	
埼玉		飯島行男	明	四四・四	
兵庫		淺野武夫	同	四〇・九	
長崎		山中善一	同	四三・七	
東京		眞貝三郎	大	四・一〇	
愛知		成田稔	同	四・一二	
三重	國粹義勇飛行隊	高階正二	同	二・二	

三六〇	同	同右	同	同右	
三六一	各務ヶ原高等飛行學校	同右	同・四・三	同右	
三六三	名古屋飛行學校	同右	同・三・八	同右	
三六四	同	同右	大原次郎	同右	
三六五	安藤飛機研究所	同右	同・三・一	同右	
三六六	名古屋飛行學校	同右	矢島虎雄	同右	
三六八	日本輕飛行機倶樂部	同右	同・三・一一	同右	
三六九	御國飛行學校	同右	飯島勇	同右	
三七〇	帝國飛行學校	同右	同・五・八	同右	
三七二	各務ヶ原高等飛行學校	同右	櫻田恒夫	同右	
三七四	同	同右	同・五・二	同右	
三七五	關西學生航空聯盟	同右	齋藤國松	同右	
三七六	帝國飛行學校	同右	同・四・一一	同右	
三七七	日本輕飛行機倶樂部	同右	影山太郎	同右	
三七八	各務ヶ原高等飛行學校	同右	同・五・三	同右	
三七九	田中飛行研究所	同右	足立金三郎	同右	
三八〇	各務ヶ原高等飛行學校	同右	明・四二・七	同右	
三八一	第一航空學校	同右	山口清	同右	
三八二	名古屋飛行學校	同右	同・四〇・七	同右	
三八三	日本輕飛行機倶樂部	同右	待場四平	同右	
三八四	各務ヶ原高等飛行學校	同右	大・五・一二	同右	
三八五	第一航空學校	同右	中川喜久造	同右	
三八六	同	同右	明・四一・一〇	同右	
三八七	日本航空輸送研究所	同右	田畑勝	同右	
三九一	日本航空輸送研究所	同右	大・二・三	同右	
三九二	福長飛行機製作所	同右	今井仁	同右	
三九三	日本航空輸送研究所	同右	同・三・一〇	同右	
三九四	同	同右	足立正一	同右	
三九五	海軍	同 八・一一・二八	桑原香	同 九・三・二四	二航技
三九六	大和航空研究所	同 九・三・三一	小木曾新十郎	同右	
三九七	第一航空學校	同右	大原次郎	同右	
			矢島虎雄	同右	
			飯島勇	同右	
			櫻田恒夫	同右	
			齋藤國松	同右	
			影山太郎	同右	
			足立金三郎	同右	
			山口清	同右	
			待場四平	同右	
			中川喜久造	同右	
			田畑勝	同右	
			今井仁	同右	
			足立正一	同右	

同	名古屋飛行學校	桑原香	同 九・四・三	同右	
岐阜	同右	小木曾新十郎	同 九・三・八	同右	
愛知	同右	大原次郎	同 九・三・一	同右	
京都	同右	矢島虎雄	同 八・三・一一	同右	
茨城	同右	飯島勇	同 九・五・八	同右	
兵庫	同右	櫻田恒夫	同 九・五・二	同右	
岩手	同右	齋藤國松	同 九・四・一一	同右	
岡山	同右	影山太郎	同 九・五・三	同右	
東京	同右	足立金三郎	明 四二・七	同右	
愛知	同右	山口清	同 四〇・七	同右	
兵庫	同右	待場四平	大 五・一二	同右	
同	大阪朝日新聞社	中川喜久造	明 四一・一〇	同右	
北海道	同右	田畑勝	大 二・三	同右	
千葉	日本輕飛行機倶樂部	今井仁	同 三・一〇	同右	
岐阜	同右	足立正一	明 四四・一	同右	
新潟	同右	石崎政市	大 四・四	同右	
岐阜	同右	杉本一男	同 元・一一	同右	
朝鮮	同右	李繼煥	明 四三・四	同右	
中華民國	同右	周盛科	大 元・七	同右	
千葉	同右	渡邊宏	同 三・二	同右	
愛知	同右	佐久間義雄	同 四・三	同右	
北海道	同右	小暮友吉	同 三・三	同右	
熊本	同右	沖田新人	明 四五・二	同右	
大分	日本航空輸送研究所	小川政信	同 三九・一一	同右	
兵庫	同右	大渡勝	同 三九・二	同右	
高知	同右	藤本保	大 三・六	同右	
愛媛	同右	高橋義光	明 四三・三	同右	
宮崎	同右	石井留吉	同 四二・二	同右	
北海道	大和航空研究所	阿部茂	同 四四・六	同右	
島根	第一航空學校	川北新造	同 四三・一	同右	

三九八	亞細亞航空學校	同右			同右
三九九	日本飛行學校	同右			同右
四〇〇	帝都在鄉軍人航空研究會	同右			同右
四〇一	帝國飛行學校	同右			同右
四〇二	大和航空研究所	同右	同	八・五・	同右
四〇三	日本輕飛行機倶樂部	同右	同	九・三・三一	同右
四〇四	同	同右			同右
四〇六	片岡飛行學校	同右			同右
四〇七	名古屋飛行學校	同右			同右
四〇八	同	同右			同右
四一〇	同	同右			同右
四一一	關西學生航空聯盟	同右	同	八・七・一	同 九・四・二八
四一二	日本飛行學校	同右	同	六・七・八	同右
四一三	德島航空學校	同右	同	九・四・二八	同右
四一四	同	同右			同右

東京	亞細亞航空學校	馬淵テフ子	同・四四・	六	
山形	山梨在鄉軍人航空研究會	小松原宗五	大・三・	八	
福岡		原田隆	同・三・	八	
東京		花形昭	明・四三・	一一	
山口		勝谷正	大・二・	七	
大阪		島吉正	明・四一・	六	
富山		高川一郎	同・四四・	一	
鹿兒島	田中飛行研究所	別府景光	同・三二・	七	
滋賀		今井勤	大・四・	八	
靜岡	國粹義勇飛行隊	和久田善雄	同・五・一〇		
京都		前野治郎	同・五・	四	
鳥取		久野正雄	同・二・	六	
香川		淺田金三郎	明・四一・一〇		
高知		高村守雄	大・四・二一		
同		西內滿喜	同・二・一一		

四一六	日本輕飛行機倶樂部	同	九・五・三〇	同 九・五・三〇	
四一七	帝國飛行學校	同右		同右	
四一九	日本輕飛行機倶樂部	同右		同右	
四二〇	名古屋飛行學校	同右		同右	
四二一	同	同右		同右	
四二二	同	同右		同右	
四二三	同	同右		同右	
四二七	小栗飛行學校	同	八・六・一三	同右	
四二八	日本飛行學校	同	九・八・二三	同右	
四二九	名古屋飛行學校	同	九・九・一五	同 九・九・一五	
四三〇	同	同右		同右	
四三三	同	同右		同右	
四三四	各務ヶ原高等飛行學校	同右		同右	
四三六	名古屋飛行學校	同右		同右	
四三八	第一航空學校	同	九・一〇・一三	同 九・一〇・一三	

大阪		伊谷明一	明・四二・	五	
朝鮮		鄭正基	同・四〇・	三	
靜岡		縣信男	同・四三・	六	
石川		新屋弘市			
愛知		清水清一郎	大・四・	一二	
印度		ケー・ガルラジ	同・二・	八	
比律賓		フランシスコ・レース	明・四五・	五	
石川		江尻信吉	同・四・	一	
朝鮮		申載佑	同・四四・	五	
岐阜		奥村正男	大・五・	一	
愛知		深谷吉五郎	同・三・	八	
福岡		片井滋夫	同・四・	九	
岐阜		岡崎正三	同・四・	一	
熊本		內田正二	同・三・	一	
埼玉	第一航空學校	村岡彌市	同・四・	五	

四三九	日本輕飛行機倶樂部	同右	同右		
四四〇	日本飛行學校	同右	同右		
四四一	亞細亞航空學校	同右	同右		
四四三	日本飛行學校	同右	同右		
四四五	陸軍第十四期生委託	同	九・一〇・二五	同	九・一〇・二五
四四八	安藤飛行機研究所	同	九・一〇・二九	同	九・一〇・二九
四四九	名古屋飛行學校	同右	同右		
四五〇	關西學生航空聯盟	同	九・一・一三	同右	
四五二	各務ヶ原高等飛行學校	同	九・一〇・二九	同右	
四五三	同	同右	同右		
四五五	同	同右	同右		
四五六	各務ヶ原高等飛行學校	同右	同右		
四五七	名古屋飛行學校	同右	同右		
四五八	同	同	九・一一・八	同	一〇・一・一五
四六三	國粹義勇飛行隊	同	一〇・一・一五	同右	

愛知	加藤二郎	同	二・一二		
東京	武藤長四郎	明	四一・四		
千葉	飯沼五郎	同	四四・二	亞細亞航空學校	
東京	若井福二郎	大	三・三		
長野	篠原益登	同	三・一〇	二航	
大阪	神田義忠	同	二・一一		
岐阜	梅村輝美	同	六・七		
兵庫	東儀正博	同	元・九	飛行第九聯隊	
同	長谷川新一郎	同	六・六		
岐阜	松野幸典	同	五・六		
同	遠藤儀一	同	四・九		
愛知	內藤康	同	三・一〇		
岐阜	渡邊敏秋	同	六・三		
印度	ガジヤナン・ジェー・パンデイヤ	明	四二・六		
廣島	高橋宗三郎	大	三・六		

四六六	同	同右	同右		
四六七	各務ヶ原高等飛行學校	同右	同右		
四七〇	日本航空輸送研究所	同右	同右		
四七一	安藤飛行機研究所	同右	同右		
四七二	國粹義勇飛行隊	同右	同右		
四七四	福長飛行機製作所	大正一三・九・六	同右		
四七五	日本飛行學校	昭和一〇・一・一五	同右		
四七六	帝國飛行學校	同右	同右		
四七七	小栗航空研究所	同右	同右		
四七八	日本輕飛行機倶樂部	同右	同右		
四七九	亞細亞航空學校	同右	同右		
四八〇	日本飛行學校	同右	同	一〇・一・二五	
四八一	海軍	同	五・六・	同	一〇・二・二六
四八二	第一航空學校	同	一〇・三・八	同	一〇・三・八
四八三	學生航空聯盟	同右	同右		

富山	同				
朝鮮	末永規市	同	四一・一		
愛媛	李永三	同	四一・一		
山口	富山一男	同	四五・五	日本航空輸送研究所	
熊本	熊谷榮一	大	五・五		
大阪	岡・嘉吉	明	四三・一〇	國粹義勇飛行隊	
滋賀	森本直一郎	同	三五・一二	同	
東京	北澤重雄	大	五・二		
愛媛	中島康雄	明	四三・八		
埼玉	河端福馬	大	六・一一		
靜岡	久田壽夫	同	三・二		
鳥取	服部良司	同	三・八	亞細亞航空學校	
宮城	矢倉憲	同	四・七		
山形	田中正志	同	三・一		
青森	菅原正雄	同	三・一〇	第一航空學校	
	山內保三	明	四三・三	學生海洋飛行團	

四八四	帝國飛行學校	同右		同右
四八五	日本飛行學校	同右		同右
四八六	日本輕飛行機俱樂部	同右		同右
四八七	亞細亞航空學校	同	四・八・	同右
四八八	學生航空聯盟	同	一〇・四・八	同右
四八九	日本飛行學校	同右		同右
四九〇	亞細亞航空學校	同右		同右
四九一	日本輕飛行機俱樂部	同右		同右
四九二	海軍	同	七・四・一一	同右
四九三	各務ヶ原高等飛行學校	同	一〇・七・八	同右
四九四	名古屋飛行學校	同	一〇・九・五	同右
四九五	田中飛行機研究所	同	一〇・七・八	同右
四九六	日本飛行學校	同	一〇・七・一六	同右
四九七	名古屋飛行學校	同	一〇・八・二二	同右
四九八	日本輕飛行機俱樂部	同	一〇・七・八	同右

二航

北海道	金田正治	同	四四・一〇	
石川	原田義雄	同	四五・三	
埼玉	荒木孝就	大	六・六	
日本輕飛行機俱樂部				
中華民國	李拓	同	二・三	
京都	木村和一郎	明	四四・一一	
學生海洋飛行團				
東京	當麻敦已	大	六・一	
同	木下喜代子	同	三・四	
福島	齋藤照夫	同	四・三	
兵庫	寺下清輝	明	四四・三	
岐阜	河合好夫	大	七・五	
佐賀	古賀達雄	同	七・三	
愛知	小泉喜久男	明	四四・四	
長野	小山三郎	同	四二・二	
臺灣	張坤燦	大	七・一	
名古屋飛行學校				
岡山	青木正三	同	三・二	

四九九	帝國飛行學校	同右		同右
五〇〇	日本輕飛行機俱樂部	同右		同右
五〇一	名古屋飛行學校	同	一〇・八・二二	同 一〇・八・二二
五〇二	安藤飛行機研究所	同右		同右
五〇三	名古屋飛行學校	同	一〇・九・五	同 一〇・九・五
五〇四	同	同右		同右
五〇五	亞細亞航空學校	同右		同右
五〇六	同	同右		同右
五〇七	名古屋飛行學校	同右		同右
五〇八	同	同右		同右
五〇九	第一航空學校	同右		同右
五一〇	日本飛行學校	同	一〇・九・一〇	同 一〇・九・一〇
五一一	名古屋飛行學校	同	一〇・九・一七	同 一〇・九・一七
五一二	各務ヶ原高等飛行學校	同右		同右
五一三	日本學生航空聯盟	同	九・九・一五	同右

二航

廣島	帝國飛行學校	堀四光	明四五・一	
福島	日本輕飛行機俱樂部	廣畑富男	大・六・二	
比律賓	名古屋飛行學校	マリオ・ベニト	同・四・四	
愛知	安藤飛行機研究所	加古光夫	同・七・五	
熊本	名古屋飛行學校	高濱嘉章	同・六・一	
兵庫	日本飛行學校	谷修治	同・四・七	
山口	亞細亞航空學校	安澤松夫	同・四・五	
富山	同	尾井角辰	同・五・五	
滋賀	名古屋飛行學校	上林繁	同・四・一	
愛知	同	壁谷安郎	同・七・七	
中華民國	第一航空學校	陳德儉	同・元・一	
岡山		守屋哲男	明・四四・四	
香川	名古屋飛行學校	帥雍靜夫	大・七・五	
岐阜	各務ヶ原高等飛行學校	小木曾甚作	明・四四・一	
同	熊谷陸軍飛行學校	太田稔	同・四三・一〇	

五一四	名古屋飛行學校	同	一〇・九・一七	同右	
五一五	日本學生航空聯盟	同右			
五一六	名古屋飛行學校	同右			
五一七	同	同右			
五一八	陸軍第十五期委託生	同	一〇・一〇・二五		
五一九	同	同右			
五二〇	同	同右			
五二一	同	同右			
五二二	日本學生航空聯盟	同	一〇・一〇・二六	同右	
五二三	同	同	九・一〇・一三	同右	
五二四	同	同	九・九・一五	同右	
五二五	同	同	九・一二・五	同右	
五二六	名古屋飛行學校	同	一〇・一一・二五	同右	
五二七	同	同右			
五二八	同	同右			
五二九	同	同右			
五三〇	各務ヶ原高等飛行學校	同右			
五三一	名古屋飛行學校	同右			
五三二	同	同右			
五三三	各務ヶ原高等飛行學校	同右			
五三四	名古屋飛行學校	同右			
五三五	同	同右			
五三六	日本飛行學校	同	一〇・一一・二六	同右	
五三七	日本輕飛行機俱樂部	同右			
五三八	學生航空聯盟海洋部	同右			
五三九	同	同右			
五四〇	同	同右			
五四一	日本飛行學校	同右			
五四二	林茂操縱士個人指導	同右			
五四三	田中飛行機研究所	同右			

中華民國	名古屋飛行學校	李	振之	同・四四・一	
和歌山		辻	賢造	大・二・二	
中華民國	名古屋飛行學校	陳	立奇	同・二・一一	
同		傳	玉德	同・五・八	
東京	下志津陸軍飛行學校	篠原	幹雄	同・五・一二	
和歌山	陸軍航空本部名古屋監督班各務庁在勤所	前地	泰雄	同・六・四	
富山	同立川在勤所	高田	文	同・四・四	
京都	所澤陸軍飛行學校	小谷八郎右衛門		同・五・六	
岡山	學生航空聯盟	田中	浩	同・三・六	
同	石川島造船所發動機部	黒田	元	明・四五・二	
大阪		荒川	少意	同・四三・三	
新潟	三田組	安達	則義	同・四三・七	
群馬	名古屋飛行學校	曾根	孝一郎	大・五・七	
山形		長谷川	英二	同・六・一一	
愛知		廣瀬	廣義	同・六・九	
中華民國	名古屋飛行學校	蘇	英傑	同・四・二	
鳥取		森田	節夫	同・六・一二	
岐阜	名古屋飛行學校	細野	勇	同・六・三	
香川	同	藤澤	典胤	同・五・三	
愛知		堀尾	薫	同・七・一〇	
佐賀	名古屋飛行學校	山崎	義房	同・六・一〇	
兵庫	同	酒井	正	同・七・二	
大阪	東京計器製作所	三好	研吉	明・四三・八	
東京		小林	晴夫	大・五・九	
北海道		田村	與志男	同・三・五	
東京		鈴木	信男	同・二・一	
大阪		新谷	春水	明・四五・五	
鹿兒島	日本飛行學校	篠原	弘	大・四・七	
富山		田居藤	市郎	明・四三・三	
埼玉	田中飛行機研究所	西村	阜子	大・三・一	

五四四	亞細亞航空學校	同右	同右	長谷川　正	同・五・一〇
五四五	學生航空聯盟海洋部	同右	同右	宇賀神正典	同・三・三
五四六	同	同右	同右	林原基雄	同・三・一一
五四七	同	同右	同右	吉田幸一	明・四五・四
五四八	第一航空學校	同右	同右	王　少年	大・二・一〇
五四九	帝國飛行學校	同右	同右	矢澤壽惠治	同・七・七
五五〇	第一航空學校	同右	同右	中山　勇	同・六・三
五五一	日本輕飛行機俱樂部	同右	同右	角　參吉	同・二・一一
五五二	帝國飛行學校	同右	同右	本田豐治	同・五・二一
五五三	第一航空學校	同右	同右	柿本芳之助	同・五・七
五五四	日本輕飛行機俱樂部	同右	同右	長谷川明治	同・六・一二
五五五	宮島航空研究所	同一〇・一二・一〇	同一・一・一〇	佐竹武雄	明・四二・三
五五六	海軍第十三期委託生	同一〇・一二・二〇	同一〇・一二・二〇	佐竹　仁	大・六・一一
五五七	同	同右	同右	麓　開作	同・六・四
五五八	同	同右	同右	鎌田正裕	同・七・一

五五九	同	同右	同右	高木喜一郎	同・五・一〇
五六〇	名古屋飛行學校	同一一・一・二四	同一一・一・二四	工藤　哲	同・六・五
五六一	同	同右	同右	鷲見節雄	同・七・一一
五六二	同	同右	同右	菅　義雄	同・五・八
五六三	同	同右	同右	北森隆生	明・四五・六
五六四	同	同右	同右	梅村光次	大・七・一二
五六五	同	同右	同右	小池信夫	同・六・五
五六六	同	同右	同右	閣　樹模	同・元・五
五六七	各務ヶ原高等飛行學校	同右	同右	倉橋道夫	同・五・一
五六八	同	同右	同右	清水源一郎	同・五・三
五六九	同	同右	同右	梅里　溪	同・四・一〇
五七〇	亞細亞航空機研究所	同右	同右	佐藤勝平	明・四一・三
五七一	亞細亞航空學校	同右	同右	表　明鎬	大・元・一一
五七二	第一航空學校	同右	同右	寺戸　實	同・六・七
五七三	同	同右	同右	前田　博	同・六・一

五七四	東京飛行學校	同右	同右	
五七五	亞細亞航空學校	同右	同右	
五七六	日本輕飛行機俱樂部	同右	同右	
五七七	第一航空學校	同右	同右	
五七八	帝國飛行學校	同右	同右	
五七九	同	同右	同右	
五八〇	第一航空學校	同右	同右	
五八一	同	同右	同右	
五八二	日本學生航空聯盟	同七・五・一〇	同一一・二・	
五八三	同	同九・一〇・一三	同右	
五八四	亞細亞航空學校	同一一・二・一〇	同一一・二・一〇	
五八五	日本學生航空聯盟	同九・一〇・一三	同右	
五八六	同	同七・五・一〇	同右	
五八八	帝國飛行學校	同一一・二・一〇	同右	
五八九	各務ヶ原高等飛行學校	同右	同右	

茨城	東京飛行學校	塚田森三郎	明・四四・六	
岡山	亞細亞航空學校	光田和雄	大・七・一一	
鳥取	日本輕飛行機俱樂部	足森喜代榮	明・三八・一一	
石川	第一航空學校	木下功	大・五・一二	
同	帝國飛行學校	尾西初三郎	同・元・八	
長野	同	石井義明	同・二・一	
朝鮮	第一航空學校	李起煥	同・五・七	
中華民國	同	方文鑫	同・三・一〇	
東京	陸軍航空技術研究所	溝口宗彥	明・四〇・一二	
栃木	日本航空輸送株式會社	影山桓虎	同・三八・四	
長崎	亞細亞航空學校	宗像正二	大・二・四	
千葉		谷上秀雄	明・四四・八	
群馬	日本航空輸送株式會社東京支所	高橋三郎	同・四三・八	
三重	帝國飛行學校	濱口達司	大・六・三	
中華民國	各務ヶ原高等飛行學校	張安汶	同・四・四	

五九〇	帝國飛行學校	同右	同右	
五九一	名古屋飛行學校	同一一・二・二六	同一一・二・二六	
五九二	同	同右	同右	
五九三	各務ヶ原高等飛行學校	同右	同右	
五九四	同	同一〇・三・五	同一〇・三・五	
五九六	同	同一一・二・一〇	同一一・二・一〇	

一等航空士

長野	帝國飛行學校	丸山茂鄕	同・五・四	
愛知	名古屋飛行學校	杉山惣烝	同・六・一〇	
中華民國	同	陳炯堅	同・九・二	
愛知	各務ヶ原高等飛行學校	柴田稔	同・七・一二	
中華民國	同	馮祐金	同・三・五	
同	同	陶叔謙	明・三九・一	

技・證	出身	資格獲得年月日	其他ノ資格
一	陸軍第一期生委託	昭和二・六・一	一飛
三	陸軍	同三・一・二二	
六	海軍第三期生委託	同三・七・九	一飛
七（一五）	日本航空株式會社	同右	同
八	陸軍	同四・二・二五	一飛・技
九	同	同右	一飛

現所屬	氏名	生年月	
東京朝日新聞社	河內一彥		
所澤陸軍飛行學校	關根幸雄	明・二三・一二	
川西航空機株式會社	海江田信武		
東京瓦斯電氣工業株式會社	諏訪宇一		
日本航空輸送會社滿洲航空會社東京支店	安邊浩		
	麥田平雄		

一〇	同	同右	同	同・技	中山賴道	日本航空輸送株式會社福岡支所	
一二	同	同	同	同・技	美濃勇一	滿洲航空株式會社	
一三	海軍	同右	同・四・三・九	一飛・技	**可兒滿壽夫**	日本航空輸送株式會社太刀洗支所	
一四	陸軍	同右	同	一飛	岡部猛	滿洲航空株式會社	
一六	海軍	同	同・四・九・一八	一飛・技	**淺香良一**	日本航空輸送株式會社臺北支所	
一七	海軍第二期委託生	同	同・四・一〇・一二	一飛	加賀要助	日本航空輸送株式會社福岡支所	
一八	同	同右	同	同	岸本貞	同大連支所	
一九	海軍第三期委託生	同右	同	同	森田勝人	同福岡支所	
二〇	海軍第五期委託生	同右	同	同	安部藤平	同	
二一	同	同右	同	同	齋藤羊五	同	
二二	陸軍	同	大正五・四・一四	同	**武田次郎**	三菱重工業株式會社	
二三	同	同	同・五・四・二五	同	田中勘兵衞	川崎造船所飛行機部	
二五	同	同	同・七・一・二〇	同	山口元松	三菱重工業株式會社名古屋製作所	
二六	海軍	同右	同	同・技	室井留雄	愛知時計電機株式會社	
二七	陸軍	同	同・七・二・二二	同・技	**谷甚吉**	渡邊鐵工所東京出張所	

二九	海軍	同	同・七・六・三	同・技	**下山二郎**	川西航空機株式會社	
三〇	陸軍	同	同・八・二・一三	一飛	丹原芳正	滿洲航空株式會社	
三一	同	同	同・八・八・五	同	米津太平	同	
三二	海軍	同	同・九・九・一一	同	勝畑清		

（「生年月」「本籍」は「一等飛行機操縦士」の項にあり）

二等航空士

	技・證	出身	資格獲得年月日	其他ノ資格	現所屬	氏名	
三	陸軍委託第一期生	昭和二・六・一	一飛	滿洲航空株式會社	國枝實		
五	同	同右	同	同	中尾純利		
七	同	同右	同	同	小川寬爾		
八	同	同右	同	同	羽太文夫		
一〇	陸軍第一期委託生	同右	同	同	伊藤治郎		
一一	同	同・二・六・一五	同	同	永田重治		
一四	海軍	同右	同	同	横山金吉		

一六	陸軍委託第二期生	同右	同	同	新野百三郎
一七	同	同右	同	同	熊川良太郎
一八	伊藤飛行機製作所	同二・六・一	同	同	張徳昌
一九	陸軍	同二・六・一五	同	同	木下耶麻次
二〇	伊藤飛行機製作所	同二・六・一	同	同	長尾一郎
二二	陸軍委託第三期生	同二・六・一五	同	同	松下辨二
二三	同	同二・六・一	同	同	熊野季福
二四（九六）	同	同右	同	同	石上全尚
二六	伊藤飛行機製作所	同右	同	同	龜井五郎
二七	陸軍委託第三期生	同右	同	同	和田喜三郎
二九	陸軍	同右	同	同	乾將顯
三〇（三一〇）	陸軍委託第二期生	同右	同	同	桑島稔
三一	海軍委託第四期生	同二・六・二四	同	同	宮本正義
三六	海軍委託第二期生	同二・六・一	同	同	大場辰雄
四〇	日本航空株式會社	同二・六・一五	一飛・技	同	米澤峰藏

四三	陸軍委託第三期生	同右	同	同	中島忠英
四五	伊藤飛行機製作所	同右	一飛・技	同	井上正鑑
四六	同	同右	一飛	同	平松牛郎
四八	海軍委託第四期生	同二・六・二四	同	同	藤原照夫
五〇	海軍委託第三期生	同右	同	同	藤田三郎
五一	陸軍委託第四期生	同二・六・一五	同	同	豐島昇
五四	陸軍委託第三期生	同二・六・二四	同	同	鈴木友茂
五五（三一六）	福長飛行機製作所	同二・六・一五	同	同	鳥居清次
五九	海軍委託第五期生	同二・七・一四	同	同	海野昌男
六〇	海軍	同二・一二・七	一飛・技	同	早川正
六一	陸軍委託第七期生	同二・一二・二六	二飛	同	船津勇
六二	同	同右	一飛	同	曾根原眞
六三	同	同右	二飛	同	坂井菴
六四	陸軍委託第四期生	同三・四・一八	一飛	同	大森正男
六六	陸軍委託第六期生	同右	同	同	大里正義

八一	陸軍第五期委託生	同	三・九・一六	二飛航機	荻野了
六七	第一航空學校	同	三・七・一一	同	塚越賢爾
八五	東亞飛行專門學校	同	三・九・二九	一飛	旦代次雄
六八	直方飛行場	同	三・七・一一	同	弘中正利
六九	白戸飛行練習所	同右			乘池判治
八〇	第一航空學校	同	三・八・二八	同	藤田武明
九三	陸軍第五期委託生	同	三・一二・二二	同	松井勝吾
九一	音更飛行場	同	三・一二・四	同	上出松太郎
七六	陸軍	同右			釜田善治郎
九〇	福長飛行機製作所	同	三・一二・四	同	根岸錦藏
七九	伊藤飛行機製作所	同	三・八・一六	同	伊藤光義
七四	日本飛行學校	同右			伏見善一
八二	陸軍第八期委託生	同	三・九・二一	同	細川優
八三	同	同右			佐藤正
八六	海軍第六期委託生	同	三・一一・二二	同	金丸末義

八七	同	同右			野寺誠次郎
九四	同	同右			西隆一
九二	陸軍	同	三・一二・四	一飛・技	飯島一二
九九	伊藤飛行機製作所	同	四・三・一九	一飛	鈴木菊雄
一〇〇	白戸飛行練習所	同右		二飛	山田秀市
九六	陸軍	同	四・三・一〇	一飛	都築德三郎
九八	同	同右			金谷準
一〇一	海軍	同	四・四・三〇	同	梶間義孝
一〇二	同	同右			青木峰藏
一七五	陸軍第九期委託生	同	八・一・一六	同	**峰忠光**
一〇七	同	同	四・一〇・一六	同	岡本德次
一〇九	同	同右			松崎彌十郎
一一〇	海軍	同	四・一一・五	同	高木昌巳
一一一	海軍第七期委託生	同	四・一一・二二	同	織田幸吉
一一二	同	同右			山崎成位

日本航空輸送株式會社大阪支所	
大阪朝日新聞社	
滿洲航空株式會社	
關西學生航空聯盟	
東京瓦斯電氣工業株式會社	
滿洲航空株式會社	
北海タイムス社	
立川飛行機株式會社	
根岸飛行場	
滿洲航空株式會社	
日本飛行學校	
日本航空輸送株式會社東京支所	
滿洲航空株式會社	
滿洲航空株式會社	

日本航空輸送株式會社福岡支所	
同名古屋出張所	
滿洲航空株式會社	
帝國飛行學校	
亞細亞航空學校	
滿洲航空株式會社	
同	
三菱重工業株式會社名古屋製作所	
日本航空輸送株式會社大連支所	
同東京支所	
同大阪支所	
同東京支所	
川崎造船所飛行機部	
安藤飛行機研究所	

一一三	同	同右			
一一五	陸軍	同 九・二・一三			
一一七	福長飛行機製作所	同 九・三・三一			
一一六	陸軍	同 五・三・二〇			
一一七	日本航空株式會社	同 五・五・二三			
一一八	陸軍	同 五・六・三			
一一八（三〇九）	米國セントポール陸軍飛行學校	同 五・九・六			
一二一	陸軍第十期生委託	同 五・一〇・二五			
一二二	同	同右			
一二三	同	同右			
一二五	海軍	同 五・一一・一五			
一二六	陸軍	同 六・二・四			
一二九	陸軍	同 六・三・一六			
一三〇	同	同右			
一三一	海軍第八期生委託	同 六・三・二七			

一三二	同	同右			
一三三	同	同右			
一三四	海軍	同 六・五・一八			
一三六	同	同 六・六・八			
一三七	陸軍	同 六・八・三一			
一四〇	陸軍第十一期生委託	同 六・一〇・二六			
一四一	同	同右			
一四三	海軍	同 六・一一・一六			
一四五	陸軍	同 六・一二・五			
一四六	同	同 七・一・二八			
一六三	海軍	同 七・九・二〇			
一四八	陸軍	同 七・二・二五			
一四九	海軍第九期生委託	同 七・三・二九			
一五〇	同	同右			
一五一	同	同右			

日本航空輸送株式會社京城支所	山田好雄		
同	池内秀太郎		
滿洲航空株式會社	酒井市摩呂		
同	岩井右内		
報知新聞社	吉原清治		
各務ヶ原陸軍航空支廠	堀剛		
同	東善作		
横濱高等工業學校	藤澤秀雄		
滿洲航空株式會社	右田潔		
同	兒玉實久		
報知新聞社	針生金治		
第一航空學校	淺井兼吉		
滿洲航空株式會社	青木松次		
日本航空輸送研究所	富樫千代吉		
同	片山久太郎		
日本航空輸送株式會社	黒木正明		
同	瀬川貞雄		
日本海航空株式會社	長島榮作		
愛知時計電機株式會社	天貝民藏		
關西學生航空聯盟	延原正義		
大阪朝日新聞社	飯沼正明		
滿洲航空株式會社	上原紀夫		
法大學生航空研究會	櫻澤仁一		
報知新聞社	早川竹太郎		
滿洲航空株式會社	河野與助		
同	末松春雄		
日本航空輸送株式會社大連支所	有賀光司		
東京航空株式會社	江島三郎		
堺水上飛行學校	池田安平		
東京日日新聞社	岡貞文		

一五二	同	同右	同	漆原滋	
一五三	海軍	同 七・六・三	同	日本航空輸送株式會社	
一五四	同	同右	同	山田松一	營口水上警察飛行班
一五五	陸軍	同 七・六・一七	同	大浦市郎	同
一五六	同	同 七・七・五	同	松葉賢雄	
一六二	日本飛行學校	同 七・九・二〇	二飛	若林劍	學生航空聯盟
一五七	同	同 七・八・一五	一飛	大野源次郎	
一五八	同	同右	同	柴田德藏	東京航空株式會社
一五九	名古屋飛行學校	同右	同	青山伊吉	
一六四	陸軍	同 七・一〇・二四	同	南出廣	日本航空輸送株式會社
一六五	陸軍第十二期委託生	同 七・一〇・二五	同	深野憲男	滿洲航空株式會社
一六六	同	同右	同	長友重光	東京朝日新聞社
一六七	同	同右	同	石田功	滿洲航空株式會社
一六八	同	同右	同	本田長雄	同
一六九	陸軍	同 七・一一・四	同	上野博志	同
				荒川久助	同

一七〇	同	同右	同	古川貞吾	
一七一	同	同右	同	田中勝藏	
一七二	同	同 七・一一・九	同	片桐保一郎	
一七三	同	同 七・一一・二一	同	久家元三	
（三〇八）	海軍	同右	同	太田與助	
一八一	同	同 八・三・八	同	深美源八	
一七七	同	同 八・二・四	同	中野政一	營口海邊警察隊航空班
一七八	海軍第十期委託生	同 八・二・二八	同	大多和齊	東京日日新聞社
一七九	同	同右	同	藤本善雄	日本航空輸送株式會社
一八〇	同	同右	同	大堀修一	同
一八三	海軍	同 八・五・一	同	高橋勇	中島飛行機株式會社
一八五	伊藤飛行機製作所	同 八・五・一五	同	大藏清三	大阪每日新聞社
一八六	同	同 八・五・三〇	同	安岡駒好	日本輕飛行機倶樂部
一八七	福長飛行機製作所	同右	同	柴田熊雄	名古屋飛行學校
一八八	日本飛行學校	同 八・九・二六	二飛	木下利正	

一八九	德島航空學校	中川伊澤	同右	同
一九〇	第一飛行學校	芝谷一雄	同八・一〇・六	同
一九二	名古屋飛行學校	小阪禪令	同八・九・二六	同
一九三	東亞飛行專門學校	渡部進	同右	同
一九五	御國飛行學校	遠山淡	同右	同
一九六	安藤飛行機研究所	林由三	同八・一〇・二八	同
一九七	陸軍第十三期委託生	小俣壽雄	同八・一〇・二五	同
一九八	同	津本正市	同右	同
一九九	同	平井岩太	同右	同
二〇〇	同	今野孝義	同右	同
二〇一	陸軍	中畑憲夫	同八・一〇・三一	同
二〇二	海軍	大關昇	同八・一一・六	同
二〇三	同	渡部清藏	同右	同
(二〇一)	同	前田七之助	同右	同
二〇五	同	松本功	同八・一一・六	同
二〇六	同	金子市男	同右	同
二一七	同	安部隆	同九・二・一五	同
二〇七	同	松本定	同八・一一・六	同
二〇八	同	武雄一夫	同右	同
二〇九	同	塚原勇造	同右	同
二一六	同	青木清衛	同九・二・一三	同
二一〇	同	志摩勝三	同八・一二・五	同
二一二	同	田中清治	同右	同
二一三	同	尾形章	同九・六・七	同
二四四	同	白石重郎	同八・一二・五	同
二一四	陸軍	荒木次郎	同八・一二・一二	同
二一八	海軍第十一期委託生	黒瀨寅雄	同九・二・二〇	同
二一九	同	片倉幸夫	同右	同
二二〇	同	西村大助	同右	同
二二一	同	藤本直	同右	同

德島航空學校	中川伊澤	
小栗飛行學校	芝谷一雄	
名古屋飛行學校	小阪禪令	
大阪飛行機研究所	渡部進	
同	遠山淡	
東京朝日新聞社	林由三	
日本航空輸送株式會社	小俣壽雄	
滿洲航空株式會社	津本正市	
同	平井岩太	
同	今野孝義	
同	中畑憲夫	
	大關昇	
	渡部清藏	
渡邊鐵工所	前田七之助	
	松本功	
小栗飛行學校	塚原勇造	
高知新聞社	青木清衛	
	志摩勝三	
	田中清治	
	尾形章	
國粹義勇飛行隊	白石重郎	
滿洲航空株式會社	荒木次郎	
東京航空株式會社	黒瀨寅雄	
	片倉幸夫	
	西村大助	
天虎飛行研究所	藤本直	

二一三	日本飛行學校	同	九・三・三一	同
二一四	安藤飛行機研究所	同右		同
二五〇	名古屋飛行學校	同	九・六・三	同
一六四	同	同	九・一〇・一二	同
二一三五	日本飛行學校	同	九・四・一八	同
二三八	名古屋飛行學校	同右		二飛
二一五	日本飛行學校	同右		一飛
二一六	第一航空學校	同右		同
二四〇	伊藤飛行機製作所	同	九・五・八	同
二五二	福長飛行機製作所	同	九・七・九	同
二三三	東京飛行學校	同右		二飛
二五九	名古屋飛行學校	同	九・八・二三	一飛
二四三	海軍	同	九・六・七	同
二二七	御國飛行學校	同	九・三・三一	同
二三六	名古屋飛行學校	同	九・四・二三	同

二三四	御國飛行學校	同	九・三・三一	同
二二八	鈴木飛行研究所	同右		同
二二九	日本飛行學校	同右		同
二四二	日本輕飛行機倶樂部	同	九・五・三〇	同
二三〇	安藤飛行機研究所	同右		同
二三七	御國飛行學校	同	九・四・二三	二飛
二三一	伊藤飛行機製作所	同	九・三・三一	一飛
二三二	日本飛行學校	同右		同
二四一	第一航空學校	同	九・五・一〇	同
二三九	白戸飛行練習所	同	九・四・二八	同
二三八	名古屋飛行學校	同	九・四・二三	同
二五三	御國飛行學校	同	九・七・九	同
二四六	海軍	同	九・六・七	同
二四七	同	同右		同
二四八	同	同右		同

二一三	熊谷悌司	同	九・三・三一	同
二一四	新田茂彦	同		同
二五〇	楢林壽一	同	九・六・三	同
一六四	市川楢三	同	九・一〇・一二	同
二一三五	朴奉祉	同	九・四・一八	同
二三八	福島信夫	同右		二飛
二一五	片山良次郎	同右		一飛
二一六	田中近美	同	九・五・八	同
二四〇	前田岩夫	同	九・七・九	同
二五二	谷口米一	同		同
二三三	大花義八	同右		二飛
二五九	渡邊進	同	九・八・二三	一飛
二四三	**小橋辰雄**	同	九・六・七	同
二二七	村松定延	同	九・三・三一	同
二三六	鎌田毅	同	九・四・二三	同

明・三八・二

二三四	志鶴忠夫	大阪毎日新聞社		二飛
二二八	鈴木富雄	帝國飛行學校		同
二二九	中村正	讀賣新聞社		一飛
二二九	吉田重雄	同		同
二二九	梶原音二郎	田中飛行研究所		同
二三七	石田英勝	朝鮮航空事業社		二飛
二三一	愼鏞頊	同		一飛
二三二	並木米三	日本飛行學校		同
二四一	權田善吉	同		同
二三九	伊藤左內	同		同
二三八	澤田兼一	名古屋飛行學校		同
二五三	中村厚美	同		同
二四六	川崎鶴雄	同		同
二四七	白石留藏	同		同
二四八	石井進助	同		同

二五八	鈴木飛行研究所	同	九・七・一六	伊藤定雄
二五四	日本航空輸送研究所	同	九・七・九	武石米三
二五一	鈴木飛行研究所	同	九・六・二一	佐々木泰助
二五五	名古屋飛行學校	二飛	九・七・九	杉浦光夫
二五七	東西定期航空會	同	九・七・一一	近藤通
二六〇	日本飛行學校	同	九、九・一一	佐々木留一
二五六	海軍	一飛	九・七・九	祝實之
二六五	陸軍第十四期委託生	同	九・一〇・二五	林茂
二六七	同	同右		池田照雄
二六八	同	同右		諏訪勝義
二七二	海軍第十二期委託生	同	九・一二・一五	福田昌次
二七三	同	同右		松波義辰
二六一	陸軍	同	九・九・一一	水本佐一郎
二六二	同	同	九・九・一九	高垣利一
二六三	同	同右		小泉万吉

二六六	陸軍第十四期委託生	同	九・一〇・二五	篠原益登
二六九	同	同	九・一一・八	河野島八
二七一	海軍	同	九・一二・三	森川勳
二七四	海軍第十二期委託生	同	九・一二・一五	岩崎三男二
二七五	名古屋飛行學校	二飛		福島信夫
二七七	御國飛行學校	一飛		高石晴夫
二七八	帝國飛行學校	同		竹田伊三
二七九	名古屋飛行學校	同		山野井勉
二八〇	日本飛行學校	同		大西甫
二八一	海軍	同		畑山武夫
二八三		同		藤田敏雄
二八二	名古屋飛行學校	同		圓山芳文
二八四	根岸飛行場	同	一〇・一・一五	池島鹿治
二八五	日本航空輸送研究所	同	一〇・一・一八	田中武雄
二八六	日本飛行學校	同	一〇・二・二六	直井一雄

二八七	日本飛行學校	同右	同	東京計器製作所	道紺俊雄
二八八	同	同右	同	同	籠宮次郎
二九一	名古屋飛行學校	同右	同	同	和久田善雄
二九二	關西學生航空聯盟	同右	二飛	大阪朝日新聞社	中川喜久造
二九三	鈴木飛行研究所	同右	一飛	同	林茂
二九四	安藤飛行機研究所	同右	二飛	鼓ヶ濱航空學校	比屋善文
二九五	日本飛行學校	同右	同	同	小松原宗五
二九六	東亞飛行專門學校	同右	二飛	同	矢野香六
二九七	御國飛行學校	同右	同	同	藤田榮三郎
二九八	安藤飛行機研究所	同右	同	同	早弓勝巳
二九九	日本輕飛行機倶樂部	同右	同	同	渡邊宏
三〇二	陸軍第九期委託生	同右	一飛	日本航空輸送株式會社大阪支所	日比省三
三〇三	海軍	同一〇・三・一一	同	同	寺下清輝
三〇四	陸軍	同一〇・四・一一	同	亞細亞航空學校	青山繁光
三〇五	海軍	同右	同	同	林種次
三〇六	海軍	同一〇・五・二	一飛	三菱重工業株式會社名古屋航空機製作所	岩堀庄次郎
三〇七	同	同一〇・五・七	同	海軍航空廠飛行實驗部	高橋繁治郎
三一〇	陸軍	同一〇・五・二九	同	滿洲航空株式會社	間宮吉太郎
三一一	同	同一〇・六・一一	同	各務原高等飛行學校	不破湜
三一三	海軍	同一〇・六・二八	同	學生海洋飛行團	大森伴白
三一四	同	同一〇・六・二二	同	海軍航空廠飛行實驗部	青木與
三一五	同	同一〇・六・二八	同	同	石井正弘
三一八	同	同一〇・八・二二	同	同	鈴木兵助
三一九	同	同右	同	同	藤崎利一
三二二	陸軍第十五期委託生	同一〇・一〇・二五	二飛	陸軍航空本部名古屋監督班各務原在勤所	前地泰雄
三二三	同	同右	同	同	高田文
三二四	同	同右	同	所澤陸軍飛行學校	小谷八郎右衞門
三二五	同	同右	同	下志津陸軍飛行學校	篠原幹雄
三二六	名古屋飛行學校	同一〇・一〇・二四	同	同	坂本成一郎
三二七	同	同右	同	同	家花賴登

三二八	同	同右	同	同	生駒常一	日本航空輸送研究所
三二九	日本航空輸送研究所	同右	同	同	岡信男	國粹義勇飛行隊
三三〇	國粹義勇飛行隊	同右	同	同	桑本廉之助	日本航空輸送研究所
三三一	同	同右	同	同	阿部巳則	學生海洋飛行團
三三二	同	同右	同	同	瀬川欣宣	
三三三	名古屋飛行學校	同右	同	同	大須賀俊介	
三三四	日本航空輸送研究所	同右	同	同	勝部良三	
三三五	國粹義勇飛行隊	同右	同	同	池田和夫	
三三六	海軍	同一〇・一一・一四	同	同	中野目廣肆	
三三七	第一航空學校	同一〇・一一・二六	同	同	河部美	
三三八	海軍	同右	同	同	菊地仁	
三三九	同	同一〇・一二・一〇	同	同	森屋芳郎	
三四〇	同	同右	同	同	瀧仲孟雄	
三四一	同	同右	同	同	武田正彦	
三四二	同	同右	同	同	萩野益男	

三四三	同	同右	同	同	西山勇	
三四四	海軍第三期委託生	同一〇・一二・二〇	同	同	佐竹仁	
三四五	同	同右	同	同	鷲開作	
三四六	同	同右	同	同	鎌田正裕	
三四七	同	同右	同	同	高木喜一郎	
三四八	日本飛行學校	同一一・二・五	同	同	阿野勝太郎	

自由氣球操縱士

技・證	出身	出身年月日	資格獲得年月日	其他ノ資格	本籍	現所屬	氏名
海軍	大正六・四・二八	昭和三・六・二	一飛		北海道	日本航空輸送株式會社蔚山出張所	小田荒太郎
同	同一一・六・二五	同右			東京	同	安井忠孝
同	同	昭和二・一一・			埼玉	同	松岡勝雄
同	大正一一・二・	同七・三・二八			青森		池田七
同	同一一・六・二二	同七・六・三			北海道		小濱鶴一
		同四・三・四					

航空機機關士

技・證	出身	出身年月日	資格獲得年月日	其他ノ資格	本籍	現所屬	氏名
二	遞信省第一期機關生	昭和二・三・三一	昭和二・六・一		宮城	日本航空輸送株式會社福岡支所	鈴木善助 明・三五・六
五	同右	同右	同右		埼玉	滿洲航空株式會社	伊藤靜次 同・三七・六
六	同右	同右	同右		東京	同	西田常次 同・三五・一一
七	同右	同右	同右		埼玉	中島飛行機株式會社	加藤健次 同・三六・八
九	同右	同右	同右	二飛航	東京	大阪朝日新聞社	塚越賢爾
一〇	同右	同右	同右		長野	東京朝日新聞社	島崎清 同・三六・八
一一	同右	同右	同・二・六・三		東京	立川飛行機株式會社	桑原英三郎 同・三七・一〇
一四	同右	同右	同右		秋田	遞信省航空局大阪出張所	畠山義三郎 同・三六・九
一五	海軍	大正一一・一〇・三一	同右		千葉	同	坂本定治
一六	同右	同・九・五・一	同・二・七・五		神奈川	日本航空輸送株式會社京城支所	黒川春雄 同・二六・三
一七	同右	同・九・一二・二八	同右		宮城	同福岡支所	齋藤潤 同・二七・五
一八	陸軍	同・一三・	同・二・七・三〇		東京	同	小泉修

一九	同	同・一〇・一二・	同・二・七・七		長崎	同	井原喜藤 同・三三・一〇
二〇	同	同・一〇・九・	同・二・七・三〇		福岡	同	吉村榮作
二一	海軍	同・一一・六・	同右		千葉	同大阪支所	石川政雄
二二（一一三）	同	同・一五・四・一五	同・二・八・四		同	東京朝日新聞社	小林英次郎 同・二八・一
二三	同	同右	同右		三重		宮田延雄 同・二八・一
二四	同	同・一一・九・	同右		岩手	滿洲航空株式會社	高橋寛二郎
二五	同	同・一二・一二・一三	同右		茨城	日本航空輸送株式會社太刀洗支所	岡田理平
二六	陸軍	同・一一・九・	同・二・八・六		愛知	朝鮮總督府遞信局新義州出張所	森改作 同・三〇・九
二八	航空局	同・一〇・三・	同・二・八・二五		神奈川	遞信省航空局	西川鶴吉
二九	海軍	同・八・五・	同右		宮城	同大阪出張所	大場末吉
三一（一〇五）	航空局陸軍委託機關生	同・一一・一二・	同・二・九・七		秋田		鈴木一郎
三一	同	同右	同右		東京	帝大航空研究所	井原慶一 同・三五・一一
三三	同	同右	同右		福岡	三菱重工業株式會社名古屋航空機製作所	金光利一 同・三〇・九
三四	同	同右	同右	二飛	群馬	所澤陸軍飛行學校	萩原嘉重
三六	陸軍	同・一五・一〇・	同・二・九・二七		千葉	同	三平利右衛門 同・三〇・三

三七	同	同一二・五・	同右	廣島	飛行第七聯隊	山内高造 同・三二・一二
三八	海軍	同一〇・四・	同右	靜岡	亞細亞航空機關學校	平岡勇 同・三三・八
三九	同	同一二・八・一	同右	愛知	愛知時計電機株式會社	後藤安太郎 同・三六・四
四一	同	同九・一二・	同一・一〇・六	德島	朝鮮總督府遞信局	山內豐信
四三	音更飛行場	同一〇・四・一六	同二・一〇・二五	北海道	北海タイムス社	上出松太郎
四五	海軍	同一〇・五・	同二・一〇・三一	宮城	三菱重工業株式會社名古屋航空機製作所	佐藤與一
四六	同	同八・九・	同二・一一・四	千葉	日本航空輸送株式會社福岡支所	原隆一 同・三一・三
五〇	同	昭和二・	同右	茨城	中島飛行機株式會社	青柳義房 同・三〇・二
五一	同	大正一二・五・五	同右	靜岡	遞信省航空局霞ヶ浦出張所	長瀨忠司
五二	同	昭和二・九・三〇	同右	宮城		內海善助 同・三九・一二
五三	同	大正一四・四・	同二・一二・三	千葉		河崎恒次
五四	同	昭和二・一〇・	同右	宮崎		兒玉七次
五五	陸軍	大正八・五・	同右	埼玉	所澤陸軍飛行學校	熊井義太郎 同・三〇・六
五六	海軍	同一五・一一・	同右	茨城	横須賀海軍軍需部	塚本英雄
五七	同	同一五・一〇・	同右	岩手	同	阿部新太郎 同・二八・一

五九	同	昭和二・一〇・	同右	北海道	海軍技術本部	田中了 同・二九・二
六〇	陸軍	大正九・一二・	同二・一二・二一	東京	所澤陸軍飛行學校	工藤久雄 同・二九・一一
六一	同	同一四・四・	同三・一・一〇	福井		江戸太一
六二	東西定期航空會	昭和二・一二・二四	同三・二・一四	千葉	東京朝日新聞社	近藤通
六四	日本航空株式會社	同二・二・	同右	青森	蔚山飛行場	村井定一
六五	陸軍	大正一五・六・	同右	滋賀	日本航空輸送株式會社太刀洗支所	羽泉清一郎
六六	同	同九・一・	同右	大阪	大阪每日新聞社	土井藤信 同・三三・三
六八	同	昭和二・二・	同右	東京	滿洲航空株式會社	小川利衛
六九	同	同右	同三・三・一七	埼玉	日本航空輸送株式會社東京支所	篠原春一郎
七〇	同	大正一二・六・	同三・四・二一	同	同大連支所	增田清二 同・三五・六
七一	同	同一三・二・	同右	群馬	同蔚山支所	佐々木定衛
七二	同	同七・一一・	同右	福岡	東京朝日新聞社	山本惠七郎
七三	海軍	同八・四・	同三・一二・五	神奈川		齋田宮之助
七四	日本航空株式會社	昭和三・九・	同右	宮崎	日本航空輸送株式會社太刀洗支所	黒木善道
七五	海軍	大正九・一一・	同右	德島	日本航空輸送研究所	新開三郎 同・三〇・八

七六	同		同九・一二・	同三・一二・一二	
(朝二)	陸軍			同四・八・二九	
七七	同		大正一三・四・	同四・一・三〇	
七八	同		昭和三・一一・	同右	
七九	同		大正九・一一・	同右	
八〇	遞信省第二期委託生		昭和四・三・二九	同四・三・二九	
八一	同		同右	同右	
八二	同		同右	同右	
八三	同		同右	同右	
八四	同		同右	同右	
八五	同		同右	同右	
八六	同		同右	同右	
八七	同		同右	同右	
八八	同		同右	同右	
八九	陸軍		昭和二・六・	同四・四・八	
沖縄		**花城寛俊**	同・三三・一二		
京都	滿洲航空株式會社	川端清一	(朝鮮總督府發行證明書)		
栃木	愛知時計電氣株式會社	**神保鉦正**	同・二八・八		
千葉	下志津陸軍飛行學校	**笠川與助**			
愛知	愛知時計電氣株式會社	**横地秀義**	同・三〇・六		
東京	滿洲航空株式會社	**武市勝己**			
同	日本航空輸送株式會社太刀洗支所	鈴木米太郎	同・三六・一一		
山形	滿洲航空株式會社	高橋正			
秋田	同	岡本虎男	同・三五・三		
静岡	同	石川金吾	同・四二・九		
德島	日本航空輸送株式會社	乾信明	同・三八・三		
東京	中島飛行機株式會社	早川知之			
同	日本航空輸送株式會社東京支所	川井喜一	同・三〇・三		
大阪	滿洲航空株式會社	赤澤三郎			
佐賀	同	**寺崎壽雄**			

九〇	海軍		大正九・一一・	同右	
九一	陸軍		同一三・九・	同右	
九三	同		同一五・四・	同四・四・一二	
九四	同		同一一・一一・	同四・八・三〇	
九五	海軍		昭和四・四・	同右	
九六	陸軍		同二・二・	同右	
九七	日本飛行學校		同四・六・	同右	
九八	大阪朝日新聞社		同五・一・一三	同五・一・一三	
一〇〇	日本航空輸送株式會社		同右	同右	
一〇一	陸軍		大正一四・	同右	
一〇二	海軍		昭和二・一・	同右	
一〇三	東西定期航空會		同四・一二・	同五・一・二一	
一〇四	石川ヘ飛行機製作所		同右	同右	
一〇六	海軍		大正一四・五・三〇	同五・七・一	
一〇七	陸軍		同一五・一一・	同右	
長崎	日本航空輸送株式會社福岡支所	**浦川壽一**			
群馬	滿洲航空株式會社	**金子武一**	同・三六・四		
神奈川	同大連支所	伊藤直人	同・三四・三		
大阪	日本航空輸送株式會社京城支所	佐久間稔	同・三四・八		
茨城	同	**飯村三藏**	同・三一・一		
山梨	同太刀洗支所	五味喜七	同・三七・六		
長野	川崎造船所飛行機部	井口義廣	同・三七・五		
大阪	大阪朝日新聞社	仙野利男	同・三九・一二		
静岡	滿洲航空株式會社	**長岡勵**	同・四三・三		
福島	同	**增子寅吉**	同・三六・一		
長崎	安藤飛行機研究所	辻田護	同・三七・一〇		
栃木	東京朝日新聞社	堀江正春	同・三七・五		
静岡	同	森田俊	同・四三・八		
宮城		鈴木滿平	同・三八・三		
同	滿洲航空株式會社	中山軍次郎	同・三七・一一		

一〇八	日本飛行學校	昭和四・三・	同右		
一〇九	陸軍	同三・一二・	同右		
一一〇	同	同五・七・一	同右		
一一一	川西航空機株式會社	同右			
一一二	陸軍	同二・五・	同右		
一一四	川西航空機株式會社	同六・一・一〇	同右		
一一五	安藤飛行機研究所	同右			
一一六	第三期委託航空機關生	同六・三・三〇	同右		
一一七	同	同右			
一一九	同	同右			
一二〇	同	同右			
一二一	同	同右			
一二二	同	同右			
一二三	同	同右			
一二五	同	同右			
一二六	陸軍	同三・一一・	同六・五・一三		
一二七	同	同六・五・一三	同右		
一二八	同	同五・四・	同右		
一二九	同	同三・一二・一〇	同六・五・一八		
一三〇	日本飛行學校	大正一五・八・三〇	同六・一一・五		
一三一	石川島飛行機製作所	昭和六・一・五	同右		
一三二	東京朝日新聞社	同六・一一・七	同六・一一・七		
一三三	陸軍	大正一三・一・	同七・五・二五		
一三四	海軍	昭和五・五・三一	同右		
一三五	日本自動車學校航空部	大正一三・三・	同右		
一三六	海軍	昭和六・四・八	同右		
一三七	石川島飛行機製作所	同七・一二・一	同七・一二・一		
一三八	日本大學高等工學校機械科	同五・八・	同右		
一三九	東京朝日新聞社	同七・一二・一	同右		
一四〇	第四期航空機關生	同八・三・三〇	同八・三・三〇		

愛媛	日本航空輸送株式會社東京支所	栗田利平	同三四・七		
新潟	同太刀洗支所	高津治三郎	同三九・一〇		
香川	大森晋	同三八・一〇			
山口	稚木甚一	同三九・六			
大阪	加賀山梅次郎	同三五・五			
同	日本航空輸送株式會社大連支所	寺本順二			
静岡	岡村武次				
神奈川	日本航空輸送株式會社	和田力藏	同四五・一		
東京	平野勝	同四四・一			
愛知	日本航空輸送株式會社太刀洗支所	岡部武夫	同四〇・八		
宮城	中島飛行機株式會社	大場榮治	同四四・二		
東京	日本航空輸送株式會社大阪支所	富樫彦三	同四四・九		
埼玉	同太刀洗支所	齋藤茂	同四五・三		
静岡	同福岡支所	大和田義正	同三九・三		
神奈川	滿洲航空株式會社	石井昌治	同四一・八		
大分	日本航空輸送株式會社太刀洗支所	田代精一郎	同三二・一		
新潟	滿洲航空株式會社	高橋晋作	同四三・五		
奈良	東京日日新聞社	梅本幸一			
兵庫	吉村安太郎	同四〇・九			
静岡	大阪朝日新聞社	永田紀芳	同四三・二一		
東京	滿洲航空株式會社	葉山忠次	同四二・九		
同	東京朝日新聞社	下原繁久	同四四・六		
愛媛	航空社飛行機製作所	梶原音二郎			
福島	深井航空社	遠藤六郎	同三六・六		
岡山	東京航空株式會社	河内博	同三七・二		
千葉	日本海航空株式會社	露崎一	同三四・九		
佐賀	立川飛行機株式會社	大久保寅來	同四二・五		
宮城	滿洲航空株式會社	伊藤齋	同三六・八		
長野	東京朝日新聞社	小池壽二	同四一・三		
東京	日本航空輸送株式會社大阪支所	有川健次郎	大二・一〇		

一四一	同	同右	同右	同右	
一四二	同	同右	同右	同右	
一四三	同	同右	同右	同右	
一四四	同	同右	同右	同右	
一四五	同	同右	同右	同右	
一四六	同	同右	同右	同右	
一四七	同	同右	同右	同右	
一四八	同	同右	同右	同右	
一四九	同	同右	同右	同右	
一五〇	日本航空輸送研究所	同	八	五・二二	
一五一	海軍	同	七・四・三〇	同右	
一五二	東京朝日新聞社	同	三・九・	同右	
一五三	同	同	八・五・二二	同右	
一五五	亞細亞航空機關學校	同	一〇・一・一五	同	一〇・一・一五
一五六	陸軍	同	六・二・二〇	同右	
一五七	日本飛行學校	同	八・四・一五	同右	
一五八	東京瓦斯電氣工業株式會社	同	一〇・一・一五	同右	
一五九	名古屋飛行學校	同	八・三・三一	同右	
一六〇	日本飛行學校	同	三・六・	同右	
一六一	第五期航空機關學生	同	一〇・三・二八	同	一〇・三・二八
一六二	同	同右			
一六三	同	同右			
一六四	同	同右			
一六五	同	同右			
一六六	同	同右			
一六七	同	同右			
一六八	同	同右			
一六九	同	同右			
一七〇	帝都在鄉軍人航空研究會	同	一〇・七・二〇	同	一〇・七・二〇
一七一	日本飛行學校	同右			

埼玉	滿洲航空株式會社	丸山丑三郎	同・二・一一	
熊本	日本航空輸送株式會社大阪支所	中尾正直	同・元・一二	
長野		荒井忠作	明・四二・一二	
山形	中島飛行機株式會社太田工場	佐藤左內	同・四〇・一一	
宮城		宮城丈夫	同・三九・三	
東京		穎川德一	同・四二・一	
同	日本航空輸送株式會社東京支所	米山又男	大・二・一一	
山形	同大阪支所	小山田二郎	明・四一・五	
宮城	同東京支所	遠藤久藏	同・四二・二	
新潟	同	佐藤辰司	同・三六・二	
廣島		來山福松	同・三六・二	
東京	東京朝日新聞社	中島憲三	同・四三・三	
同		內野一三	同・四五・一	
同	亞細亞航空研究所	佐藤勝平	同・四一・三	
熊本		佐々木春美	同・四四・五	
山梨	日本飛行學校	大森義一	大・三・一	
福島	東京瓦斯電氣工業株式會社	赤井弘明	同・四・一	
長崎	名古屋飛行學校	本多文治	同・四・二	
東京	日本飛行學校	河村吉文	同・二・一	
同	日本電氣株式會社	今村文次郎	大・元・一一	
宮城	東北帝國大學工學部	伊藤健二	明・四五・一	
富山	東京電燈株式會社	開久茂	同・四三・五	
長野	東京海軍技術研究所	高野秀雄	同・四四・一〇	
群馬	遞信省電氣試驗場	高橋良治	同・四二・一	
長野	日立製作所	久保忠躬	同・四三・八	
高知		八百川長作	同・四五・六	
埼玉		關根已智	大・四・六	
神奈川		須田正幸	同・四・六	
千葉		川邊利一	明・四四・三	
東京		內田京一	大・四・六	

一七二	安藤飛行機研究所	同右	同右	北海道	小松滋美	明・四五・一
一七三	陸軍	同 一一・四・一	同 一一・四・一	愛知	飛行第一聯隊	丹羽義房 同・四三・一二
一七四	名古屋飛行學校	同右	同右	香川	安藤飛行機研究所	根本保太郎 大・二・六
一七五	亞細亞航空機關學校	同右	同	中華民國	亞細亞航空機關學校	伍團雄 同・五・二
一七六	海軍	同 一一・四・一五	同 一一・四・一五	北海道	南洋驛	藤田權之助 明・三六・九

三等飛行機操縦士

技・證	出身	出身年月日	資格獲得年月日	其他ノ資格	本籍	現所屬	氏名	生年月
一	日本飛行學校	昭和二・六・八	昭和二・六・八		兵庫	川西航空機株式會社	羽館易明	三一・三
五	第一航空學校	同 二・七・三一	同 二・七・三一		熊本		藤井ヤエ 同	三八・五
一五	同	同 二・一一・三〇	同 二・一一・三〇		大分	池貝鐵工所發動機部	佐藤芳人 同	三一・一一
一六（七三）	白戸飛行練習所	大正一一・一二・二三	同右		大阪		西川輝雄 同	三五・四
二一	東亞飛行專門學校	昭和二・五・三一	同 二・一二・二		北海道		米山イヨ 同	四〇・一
二二	日本飛行學校	同 二・一・二八	同右		臺灣		陳金水 同	三九・七
二四	日本航空株式會社	同 二・二・二五	同右	航空機	青森	蔚山飛行場	村井定一 同	三四・一二
二五	第一航空學校	大正一三・三・一〇	同 二・一二・一〇		鹿兒島		石神安清 同	三八・二
二八	安藤飛行研究所	同 一四・四・三〇	同右		愛知		佐宗千藏 同	三九・一一
二九	東亞飛行專門學校	昭和二・三・三一	同右		朝鮮		姜遇陽 同	四〇・八
三二	西田飛行機研究所	同 二・四・一八	同右		廣島		竹原一雄 同	三六・九
三五	玉井飛行場	大正一〇・八・四	同右		三重		玉井藤一郎 同	二七・九
三六	根岸飛行場	同 一四・七・二七	同 二・一二・二三		大阪		譽田新次郎 同	三三・五
四〇	伊藤飛行機製作所	同 一三・一一・七	同右		東京		竹中泰門 同	三九・一二
四一	本田飛行學校	同 一五・一・一二	同右		島根		廣江由昌 同	三七・一
四三	福長飛行機製作所	同 一五・五・一二	同 二・一二・二四		靜岡		秦肇 同	四〇・八
四五	白戸飛行練習所	同 一三・四・三〇	同右		宮城		佐藤駒吉 同	二七・五
四六	第一航空學校	同 一三・九・六	同右		大分		佐藤悟 同	三七・七
五〇	日本中央飛行學校	同 一二・一二・一	同 三・一・二〇		愛媛		鷲見久雄 同	三八・三
五一	福長飛行機製作所	同右	同右		廣島		高本恂三 同	三四・一一
五四	同	同 一三・一一・七	同右		滋賀		平居源二郎 同	三〇・六
五五	安藤飛行機研究所	同 一四・一・二〇	同右		大分		安東四郎 同	三七・一一

五六	福長飛行機製作所	同右	一三・七・二	同右	
五七	日本中央飛行學校	同右		同右	
五八	伊藤飛行機製作所	同右	一三・九・二五	同右	
五九	日本飛行學校	昭和三・	一・二四	同	三・一二四
六〇	東亞飛行專門學校	同	二・五・三〇	同	三・二・一
六一	第一航空學校	大正一四・一二・一四		同右	
六二	安藤飛行機研究所	昭和二・	一・七	同	三・二・一四
六四	第一航空學校	大正一四・一一・六		同右	
六五	名古屋飛行學校	昭和三・	二・二五	同	三・二・二五
六六	同	同	三・三・二九	同	三・三・二九
六九	佛國モラーヌソルニエ飛行學校	同	三・二・	同	三・七・二八
八一	日本飛行學校	同	四・一・二一	同	四・二・一一
八四	伊藤飛行機製作所	同	四・七・三〇	同	四・七・三〇
八六	日本飛行學校	同	四・一〇・一二	同	四・一〇・一二
八七	同	同右		同右	

廣島	大倉鷹男	同	三九・八		
秋田	加々谷友太郎	同	三九・四		
朝鮮	金治玕	同	三〇・五		
高知	太田榮次郎	同	四一・一一		
山口	阿部榮	同	三七・四		
愛媛	大野重太郎	同	三八・九		
愛知	伏見二郎	同	三九・七		
朝鮮	鄭再燮	同	三六・一〇		
同	趙成洵	同	二九・一		
中華民國中央陸軍軍官學校	胡信	同	三八・九		
宮城	大塚安三郎	同	三五・九		
兵庫	大橋正直				
東京	田中飛行研究所 田中不二雄	同	三五・二		
中華民國	臧亞民	同	三九・八		
同	陳星熙	同	四二・九		

八八	同	同右			
九六	鈴木飛行研究所	同	五・六・一五	同	五・六・一五
一〇一（一三〇）	東亞飛行專門學校	同	五・七・八	同	五・七・八
一〇二	御國飛行學校	同	五・八・八	同	五・八・八
一〇三	名古屋飛行學校	同	五・九・二六	同	五・九・二六
一〇四	同	同	五・一〇・三一	同	
一〇五	北海タイムス社飛行場	同	五・一一・一五	同	五・一一・一五
一〇八	御國飛行學校	同	五・一二・二四	同	五・一二・二四
一〇九	同	同右		同右	
一一一	同	同右		同右	
一二〇	東亞飛行專門學校	同	六・六・一二	同	六・六・一二
一二五	日本飛行學校	同右		同右	
一三六	鈴木飛行研究所	同	七・一・一二	同	七・一・一二
一三九	日本飛行學校	同右		同右	
一四三	關東學生航空聯盟	同	七・五・一〇	同	七・五・一〇

山形	本登勝代	同	三九・七		
長野	佐藤不二夫	同	四三・一		
千葉	森田且守	同	四〇・一〇		
中華民國	王仁元	同	四五・三		
同	徐縉瞻	同	四二・七		
同	翁希下	同	四一・三		
北海道	北鄉欽也 北海タイムス社	同	四五・二		
中華民國	吳華樑	同	四四・一		
同	朱寶仁	同	三九・七		
同	孫省三	同	四三・三		
長崎	石原千四郎	同	四二・一		
熊本	德永恒夫	同	四五・一		
長崎	平野貞彥	同	四五・一		
長野	鄉道武郎	大・	元・八		
三重	野村證券株式會社 井倉善彌	明	四一・一		

一四五	同	同右				
一四七	同	同右				
一四九	同	同右				
一六一	關西學生航空聯盟	同	七・一二・一九			
一六六	帝國飛行學校	同	八・四・八			
一六八	同	同右				
一七〇	御國飛行學校	同右				
一七三	名古屋飛行學校	同	八・五・一			
一七四	日本航空輸送研究所	同	八・五・二三			
一七九	大和航空研究所	同	八・六・一三			
一八二	關西學生航空聯盟	同	八・七・一			
一八四	名古屋飛行學校	同	八・九・五			
一八五	北日本飛行學校	同	八・九・一四			
一八六	名古屋飛行學校	同	八・一〇・二六			
一八七	關西學生航空聯盟	同	九・一・一三			
一八八	同	同右				
一九〇	名古屋飛行學校	同右				
一九一	帝國飛行學校	同	九・五・三〇			
一九四	關西學生航空聯盟	同	九・九・一五			
一九五	同	同右				
一九八	關東學生航空聯盟	同	九・一〇・一三			
二〇〇	同	同右				
二〇二	日本輕飛行機俱樂部	同右				
二〇三	同	同右				
二〇四	安藤飛行機研究所	同	九・一〇・二九			
二〇七	關東學生航空聯盟	同	九・一二・五			
二〇八	同	同右				
二〇九	關西學生航空聯盟	同	一〇・五・二			
二一〇	同	同右				
二一二	同	海洋部	同右			

東京	關東學生航空聯盟	川上新太	同	四〇・八		
同	同	石井敏雄	同	四二・八		
同	同	染野六之輔	同	三八・五		
兵庫	大阪朝日新聞社	名倉三郎	同	四一・四		
東京		脇田典	大	四・一一		
新潟	飯塚電氣絕緣製作所	郡正三	同	三・三		
兵庫		山本誠行	同	三・二		
中華民國		劉開譜	明	四三・八		
愛媛	日本航空輸送研究所	富山一男	同	四五・五		
大阪		豐田新作	大	三・八		
同	京都帝國大學醫學部	深山杲	明	三五・五		
中華民國	名古屋飛行學校	林裕民	同	四四・一		
香川	北海道航空義會	河田儉三	大	二・八		
比律賓		アルフレット・アフワーブル	明	四五・一		
大阪	鳳製會	玉井秀雄	同	四三・八		
佐賀	同	小柳加壽雄	同	三九・六		
愛知	名古屋飛行學校	松浦庄三郎	大	四・六		
福岡		廣畑富男	同	六・二		
兵庫	關西學生航空聯盟	衣笠武男	同	三・九		
廣島	同	永井要	同	二・一		
東京	關東學生航空聯盟	山岡嘉郎	明	四五・三		
千葉	日本飛行機株式會社	滑川博	同	四三・一一		
石川	日本輕飛行機俱樂部	原田義雄	同	四五・三		
岡山	同	青木正三	大	三・二		
香川	安藤飛行機研究所	熊谷竹吉	明	四一・一二		
千葉	關東學生航空聯盟	磐井亮	明	四三・七		
長野	同	松村三郎	大	元・一二		
大阪	關西學生航空聯盟	中來田隆二	同	四・六		
石川	同	金子良夫	同	元・八		
高知	學生海洋飛行團	島崎春海	明	四三・一二		

二一三	同	同右	同右	北海道	田村與志男	大・三・五
二一四	同	同右	同右	東京	鈴木信雄	同・二・一
二一五	同	同右	同右	同	吉田幸一	明・四五・四
二一六	同	同右	同右	栃木	宇賀神正典	大・三・三
二一七	同	同右	同右	千葉	戸井孝夫	同・四・二
二一八	同	同右	同右	東京	林原基雄	同・三・一一
二一九	同	同右	同右	埼玉	石原喜平	同・三・一〇
二二〇	同	同右	同右	神奈川	田中公光	明・四二・一〇
二二一	東京学生航空聯盟	同一〇・五・三〇	同一〇・五・三〇	愛媛	菊池恭三	大・四・三
二二二	同	同一〇・一〇・二六	同一〇・一〇・二六	神奈川	森謹吾	同・五・一一
二二三	同	同右	同右	東京	玉木五郎	同・元・一〇
二二四	同	同右	同右	静岡	良知勇	同・四・三
二二五	同	海洋部 同一〇・一一・二五	同一〇・一一・二五	東京	鈴木一雄	明・四三・七
二二六	同	同右	同右	宮崎	川越武光	大・三・一
二二七	同	同右	同右	静岡	高部克巳	明・四五・四
二二八	同	同右	同右	神奈川	河原春光	大・五・三
二二九	同	同右	同右	同	加藤繼彦	明・四五・一

航空名鑑

一、原籍
二、現住所
三、生年月日
四、現職
五、航空略歴

昭和十一年九月二十八日印刷
昭和十一年十月　五　日發行

頒價　金參圓五拾錢

不許複製

編輯兼發行者　東京市麻布區谷町四番地　北尾龜男

印刷者　東京市芝區愛宕町二丁目十四番地　渡邊丑之助

印刷所　東京市芝區愛宕町二丁目十四番地　常磐印刷株式會社

發行所　東京市芝區田村町一丁目三番地　財團法人　帝國飛行協會
電話銀座五五六七番
振替口座東京二九六三六番

帝國飛行協會新刊書目

日本航空法規全集（隨錄）國際航空法規

所澤陸軍飛行學校教官 陸軍航空兵中尉 能登義雄述

三五寸版三百頁 送料金四錢 **定價金五拾錢**

空中航法

操縱士、航空士の指針

四六版一七二頁 插繪數十葉 送料金四錢 **定價金八拾錢**

所澤陸軍飛行學校教官 陸軍航空兵大尉 太田鐸治述

氣象學

地磁氣並航空羅鍼盤

所澤陸軍飛行學校教官 陸軍技師 關根幸雄述

昭和十年

日本航空殉難史

航空殉難者略歷

四六版八十頁 送料金四錢 **定價金貳拾錢**

霧ヶ峰グライダー研究會技術主任 白石襄治著

グライダーの造り方

四六倍版三三頁 插繪・寫眞數十 送料金六錢 **定價金五拾錢**

航空評議會選定 **增補改訂**

航空用語

日・英・米・獨・佛・各國語に分類二千六百餘語

四六版五百頁 **定價金參圓五拾錢** 送料金貳拾錢

機關雜誌

飛行

資料・研究・讀物 每號滿載

每月一回一日發行 **定價金參拾錢**（送料金壹錢）

機關紙

飛行時報

內外航空事情 趣味と實益

每月一回十五日發行 **定價金五錢**（送料金五厘）

東京市芝區田村町一丁目三番地

帝國飛行協會

振替口座東京二九六三六番

a30000912a